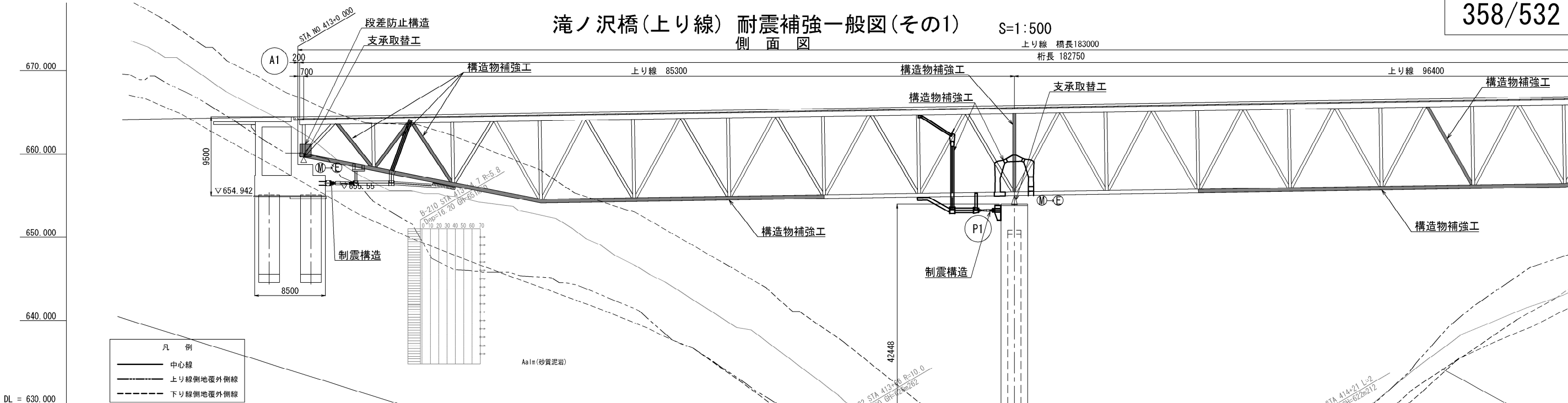


滝ノ沢橋 (耐震補強)

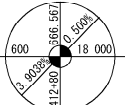
滝ノ沢橋(上り線) 耐震補強一般図(その1)
側 面 図

S=1:500
上り線 橋長183000
桁長 182750



凡 例

——	中心線
---	上り線側地覆外側線
---	下り線側地覆外側線



計 画 高

地 盤 高

累加距離

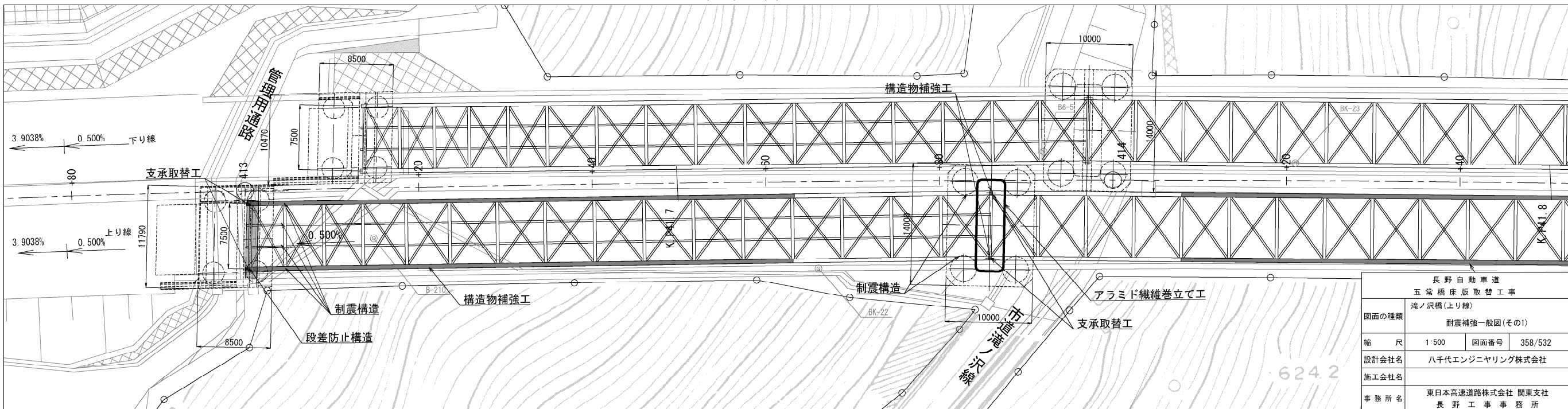
単 距 離

測 点

平面曲線

片勾配すり付図

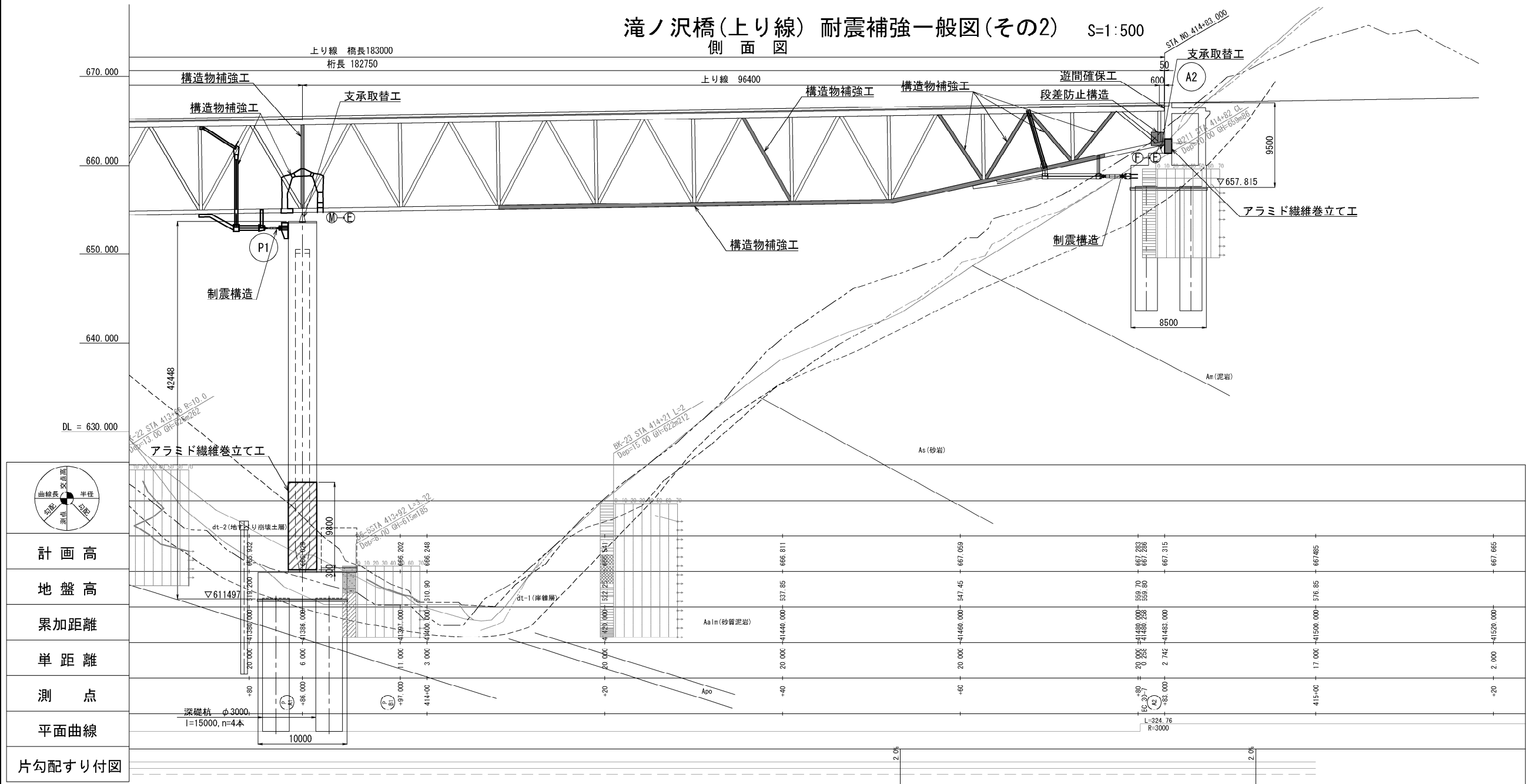
平 面 図



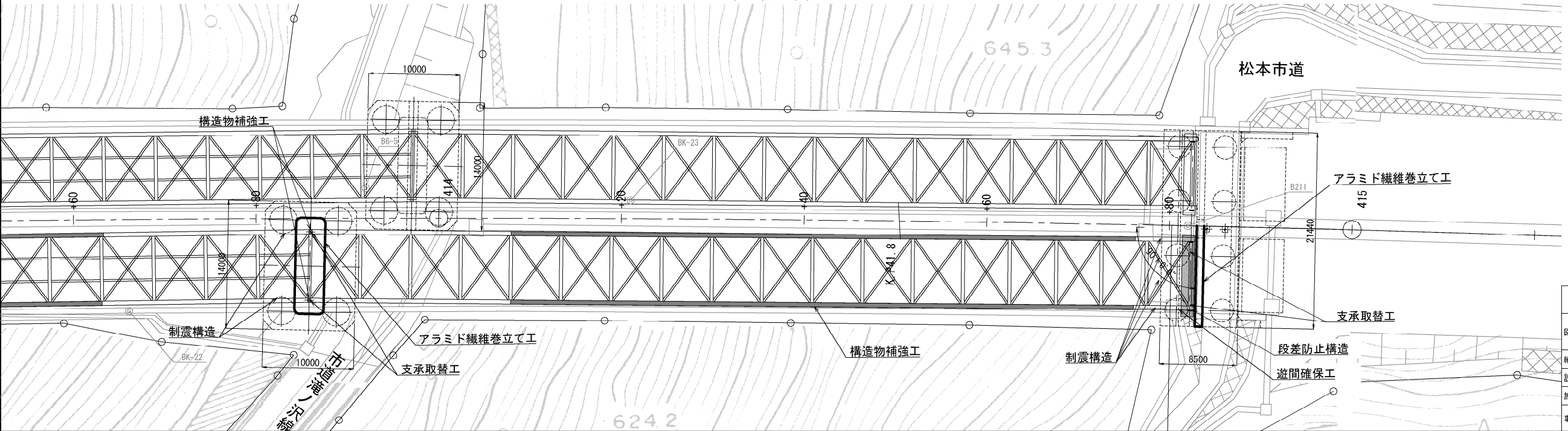
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 耐震補強一般図(その1)		
縮 尺	1:500	図面番号	358/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) 耐震補強一般図(その2) S=1:500

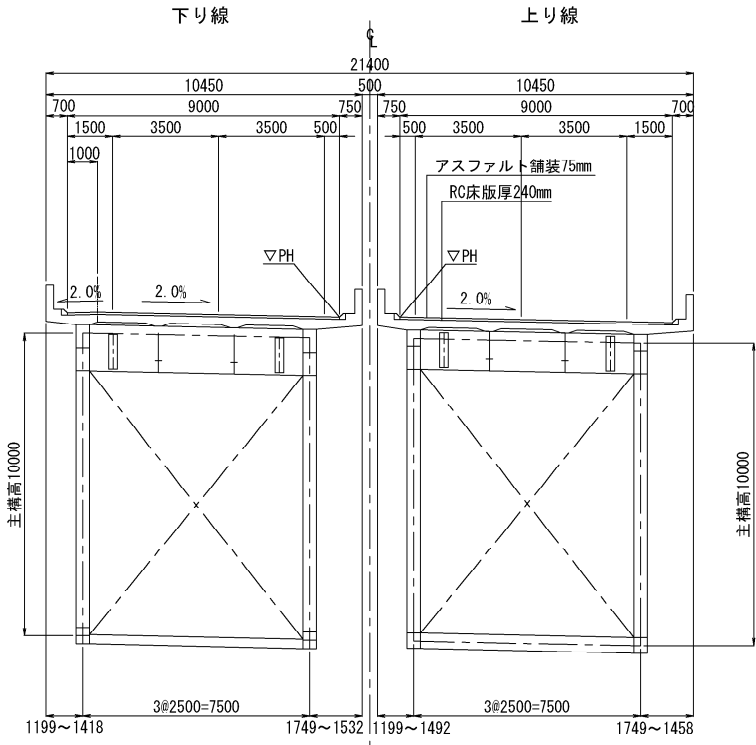
側面図



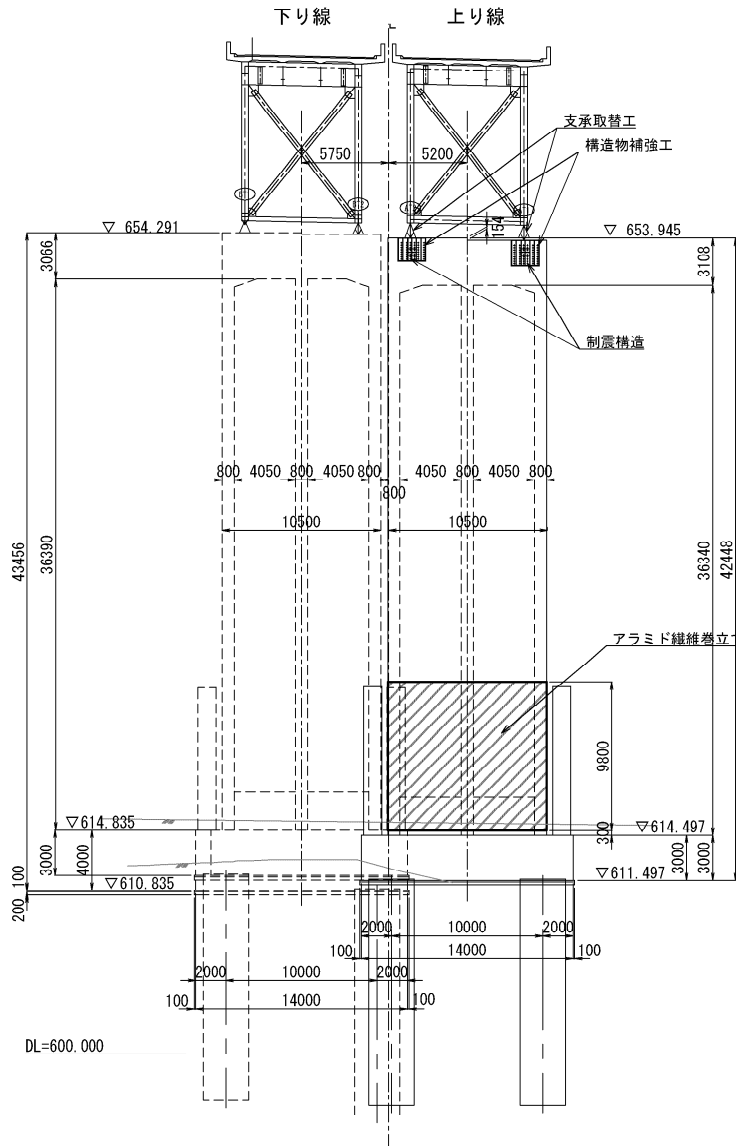
平面図



標準横断面図 S=1:250

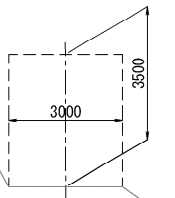


P1橋脚 S=1:500

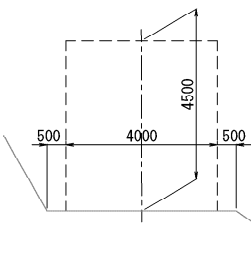


交差条件

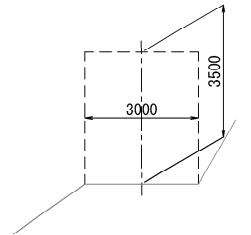
管理用通路



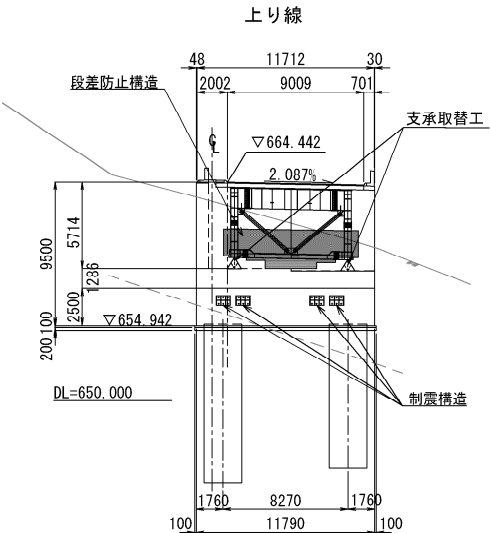
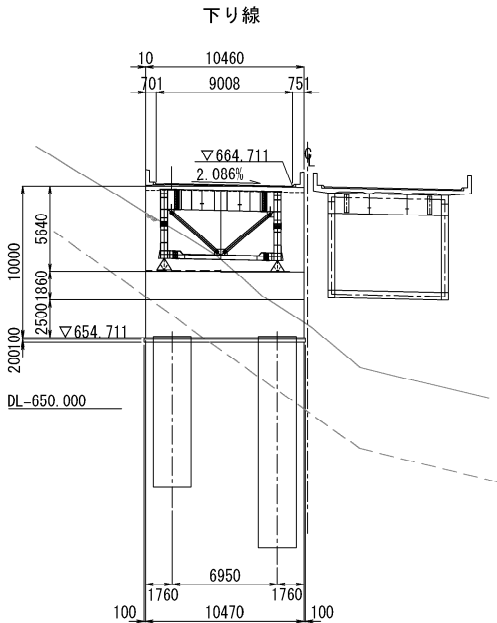
市道滝ノ沢線



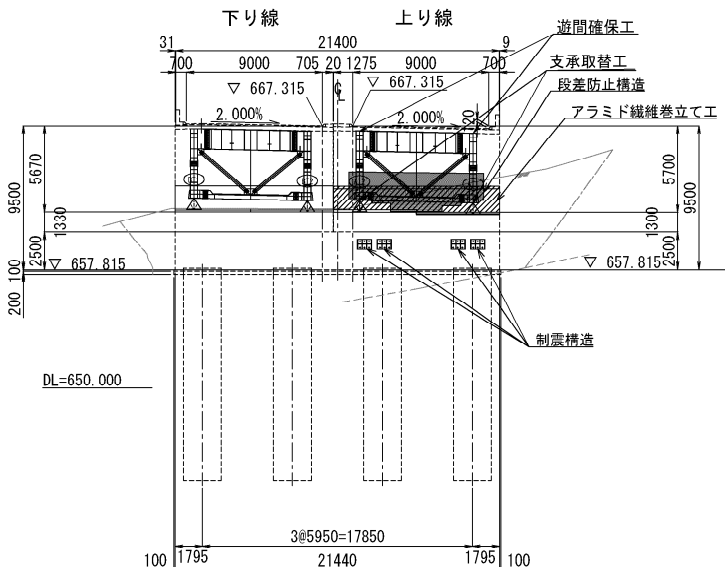
松本市道



A1橋台 S=1:500



A2橋台 S=1:500



建設時設計条件

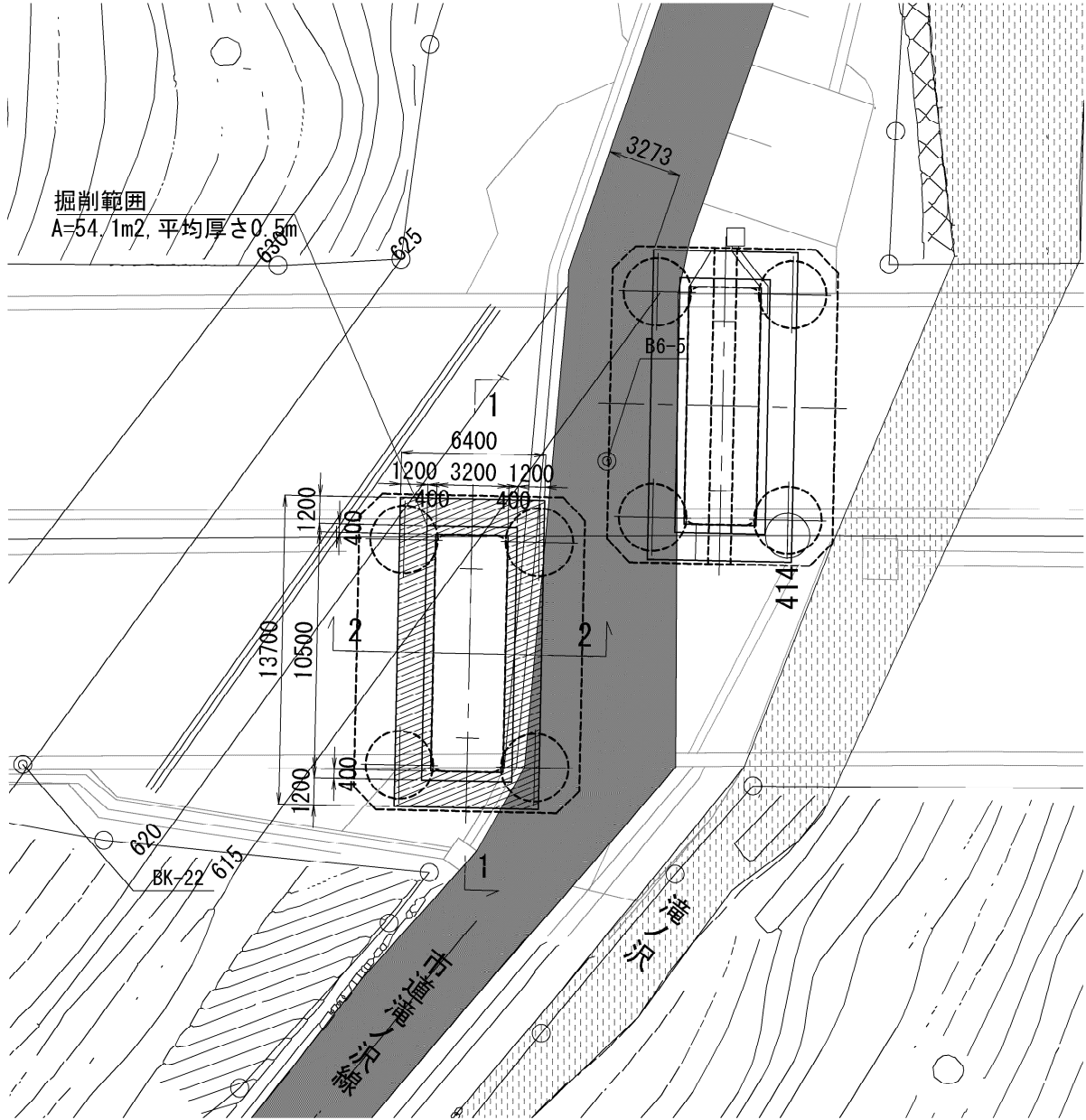
橋長	上り線	183.000m
	下り線	170.000m
支間長	上り線	85.300m+96.400m
	下り線	83.300m+85.400m
全幅員	上り線	10.450m
	下り線	10.450m
有効幅員	上り線	9.000m
	下り線	9.000m
上部工形式	上り線	鋼2径間連続トラス
	下り線	鋼2径間連続トラス
下部工形式	上り線	ラーメン橋台2基、RC中空式橋脚1基
	下り線	逆T式橋台1基、RC中空式橋脚1基、ラーメン橋台1基
活荷重		TL-20、TT-43
完成年月		平成5年3月
設計基準		平成2年2月 道路橋示方書・同解説
設計水平震度		K _h =0.20
使用材料	コンクリート	床版: $\sigma_{ck}=240\text{kgf/cm}^2$ 下部工: $\sigma_{ck}=240\text{kgf/cm}^2$
	鉄筋	床版: SD35 下部工: SD35
	鋼材	SS41, SM41, SM50Y, SM53

今回耐震補強設計条件

設計基準	R2設計要領 第二集 橋梁保全編
	H24道路橋示方書・同解説 IV下部橋構編 H24道路橋示方書・同解説 V耐震設計編
活荷重	B活荷重
使用材料	コンクリート 床版: $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ 下部工: $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$
	鉄筋 床版: SD345 下部工: SD345
補強内容	橋脚 アラミド繊維巻立て工
	橋台 アラミド繊維巻立て工
	上部工 支承取替工 免震支承(A1, P1, A2)
	段差防止構造 RC段差防止(A1, A2)
	制震構造 制震ダンパー(A1, P1, A2)
	当て板補強

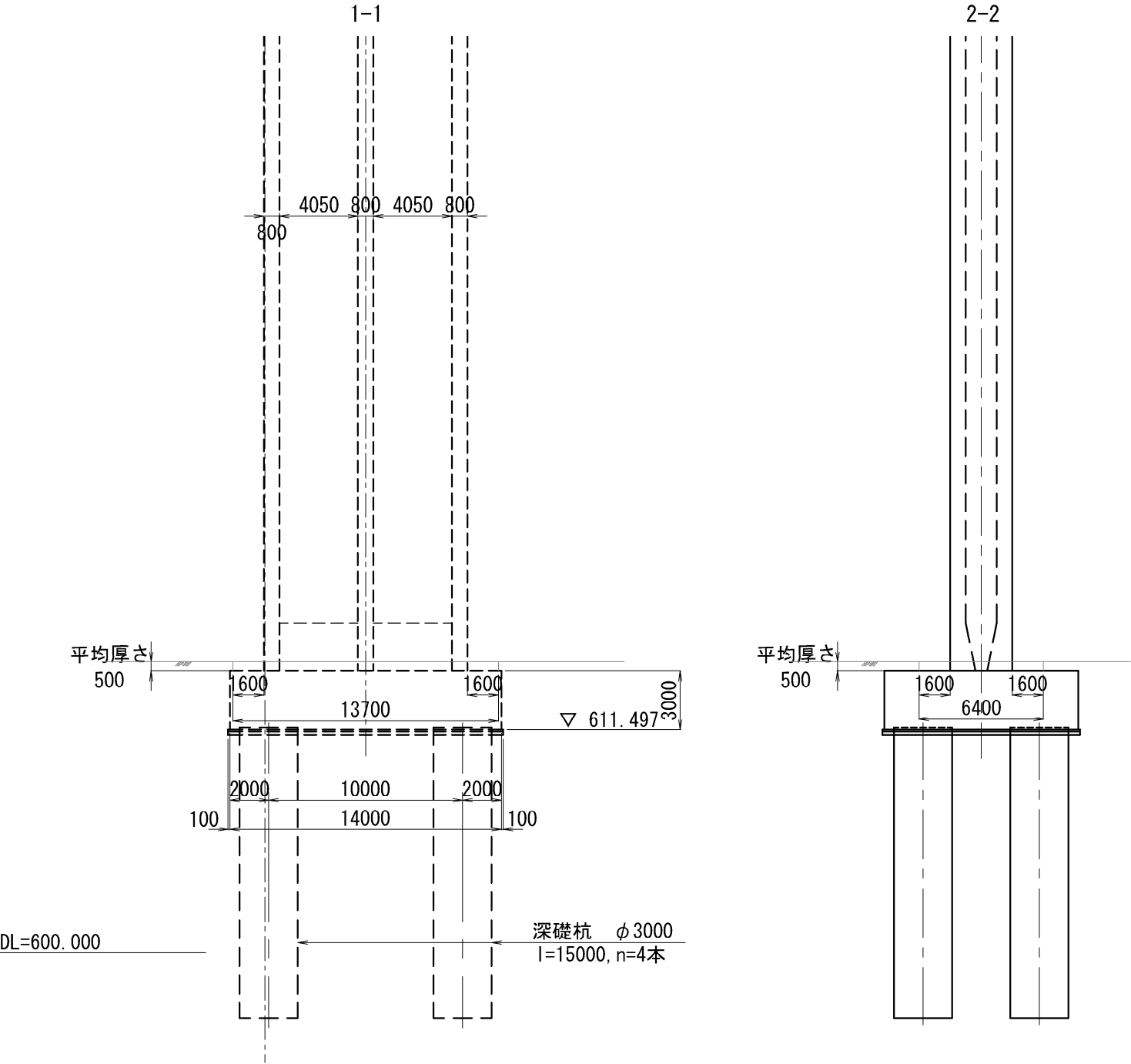
長野自動車道			
五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 耐震補強一般図(その3)		
縮尺	図示	図面番号	360/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社長 野工事事務所		

平面図 S=1:300



凡例 :掘削範囲

正面図 S=1:300

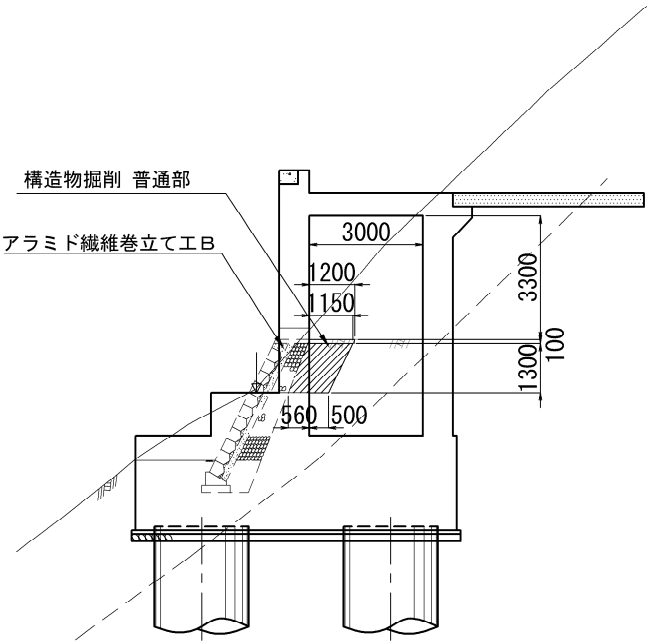
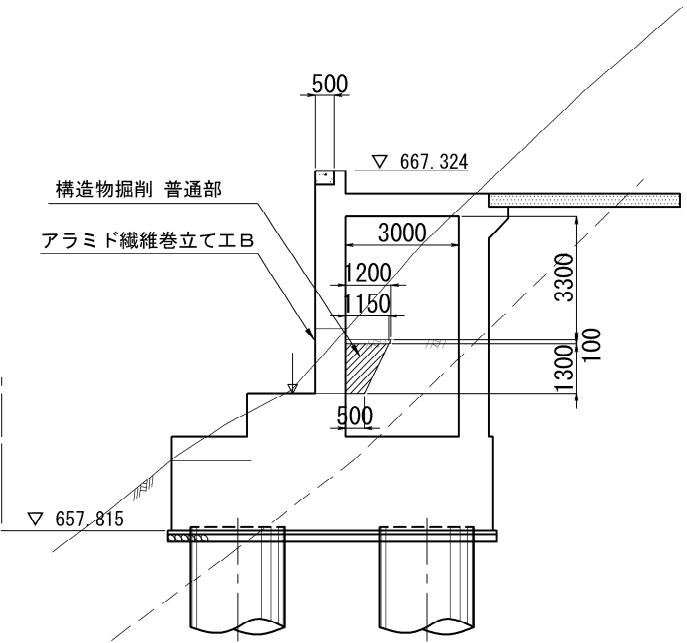
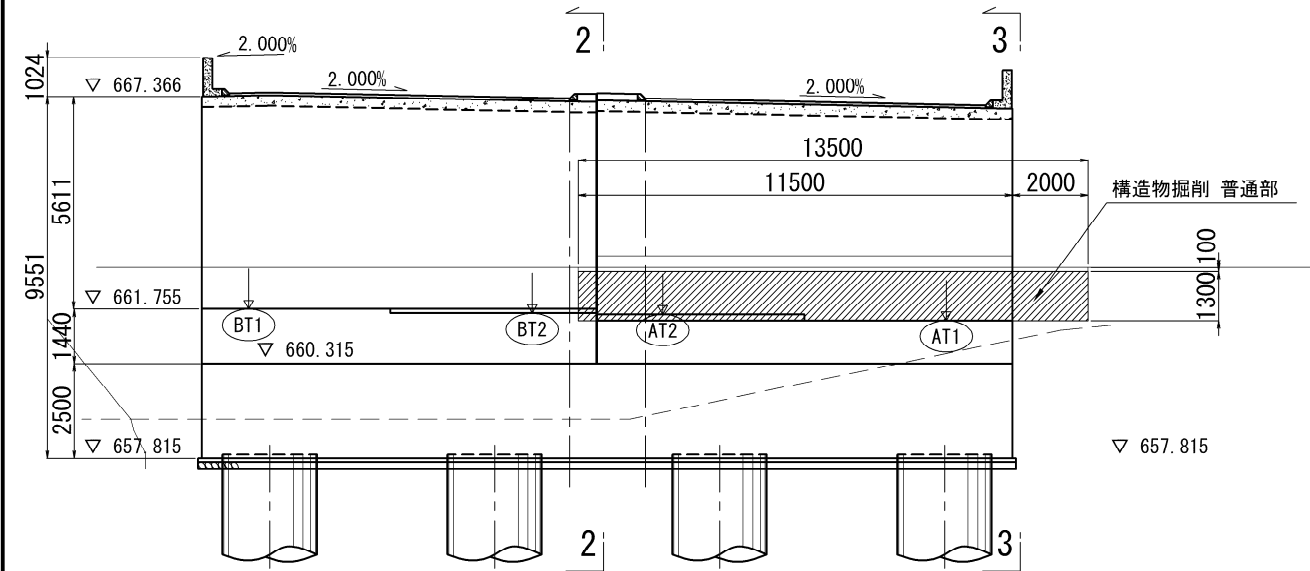


長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 構造物掘削図 普通部		
	縮尺	図示	図面番号 361/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

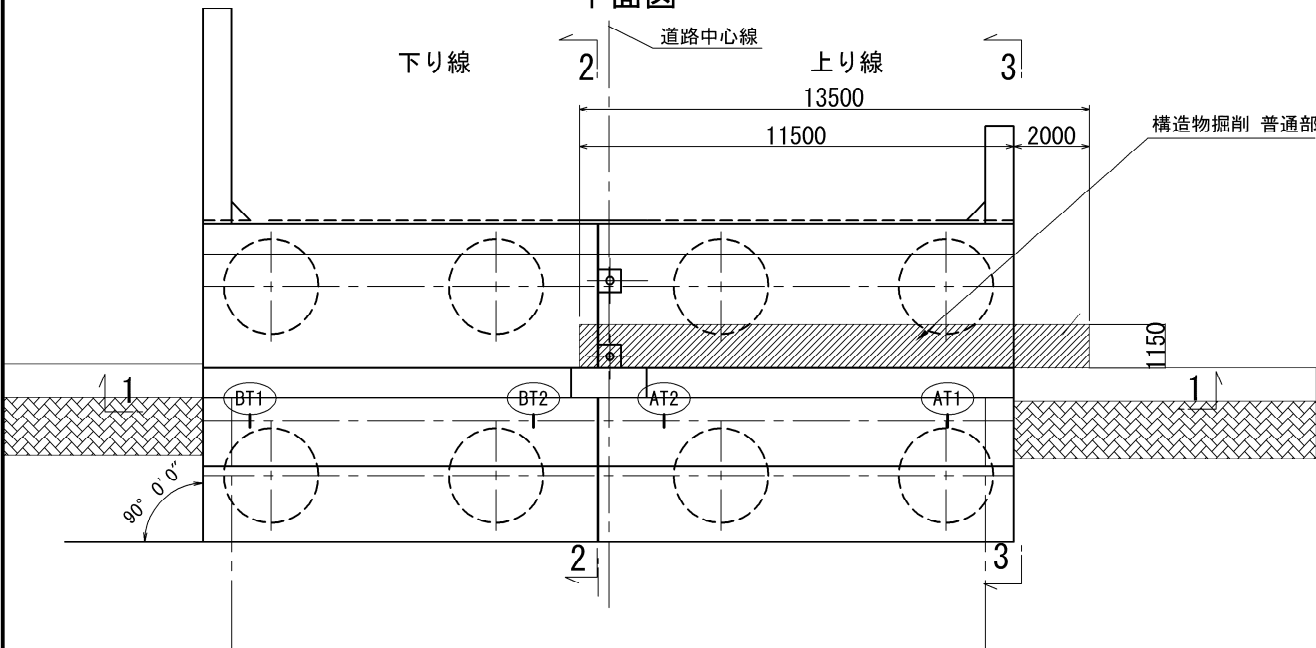
正面図 1-1

2-2

3-3

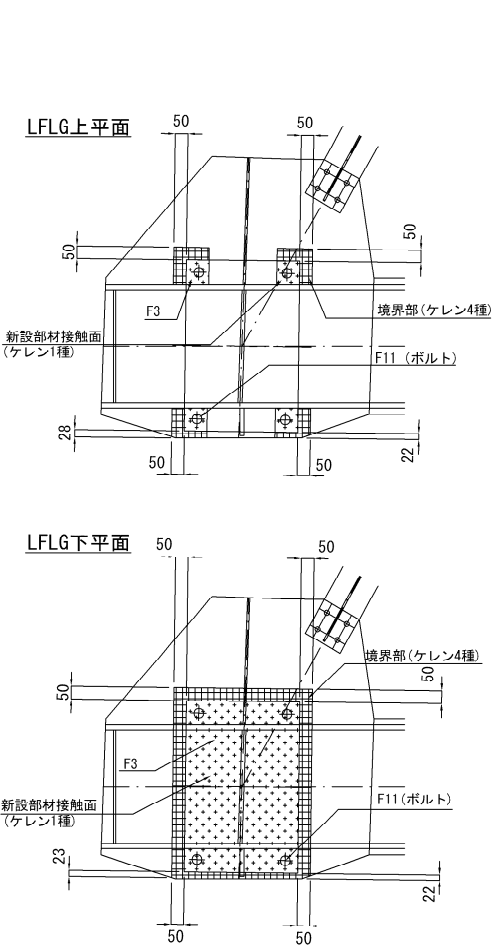


平面図

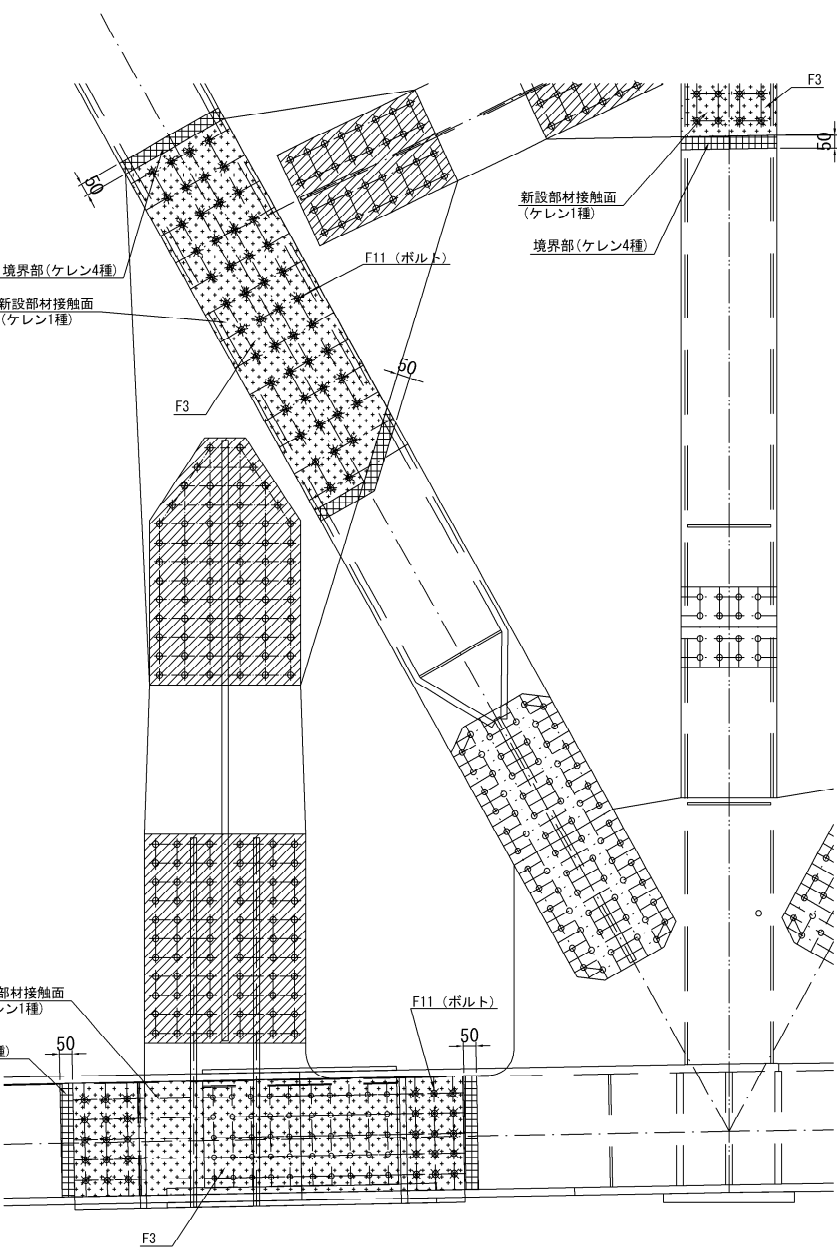


長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A2橋台 構造物掘削図 普通部		
縮 尺	図示	図面番号	362/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

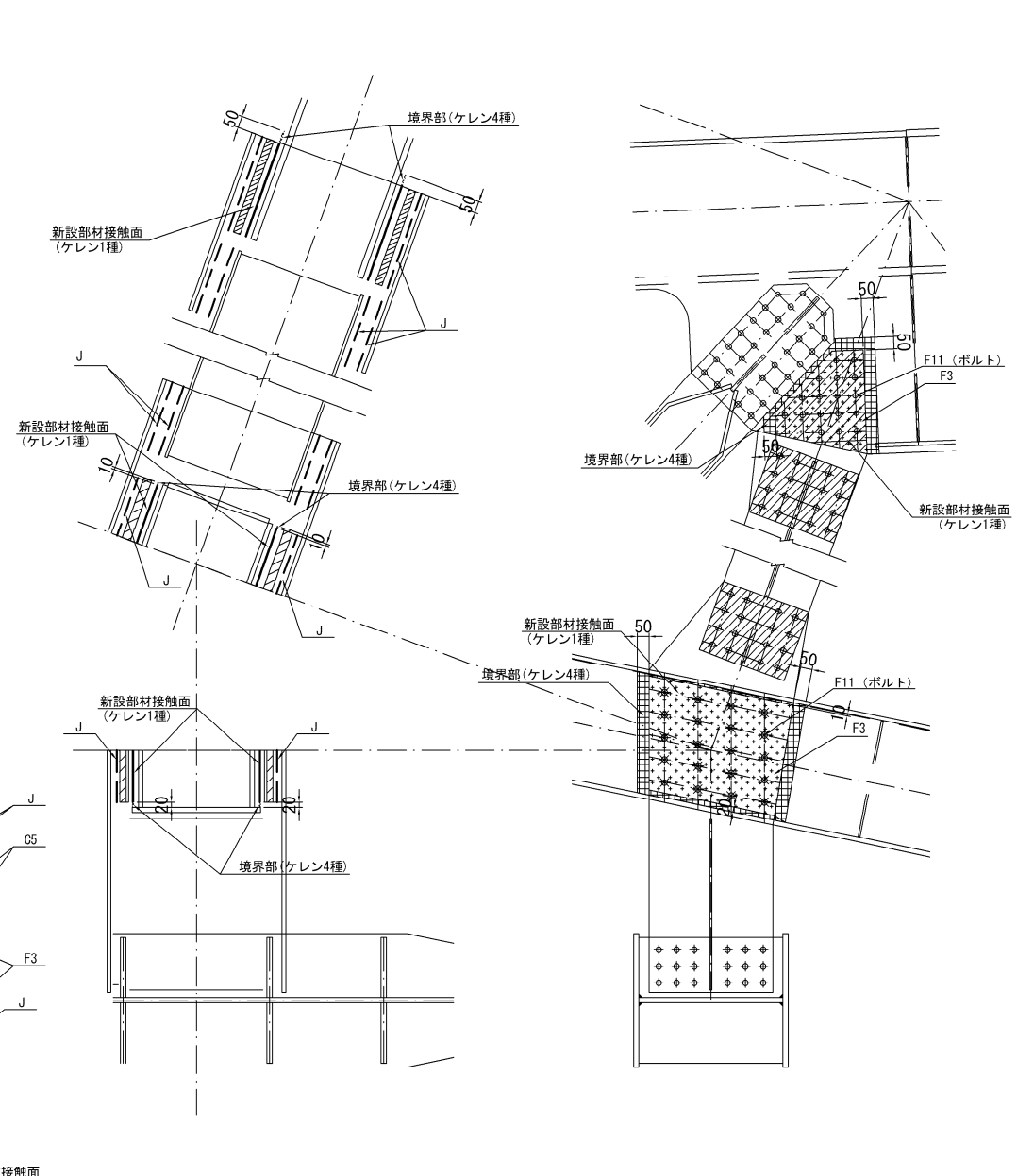
支承取替



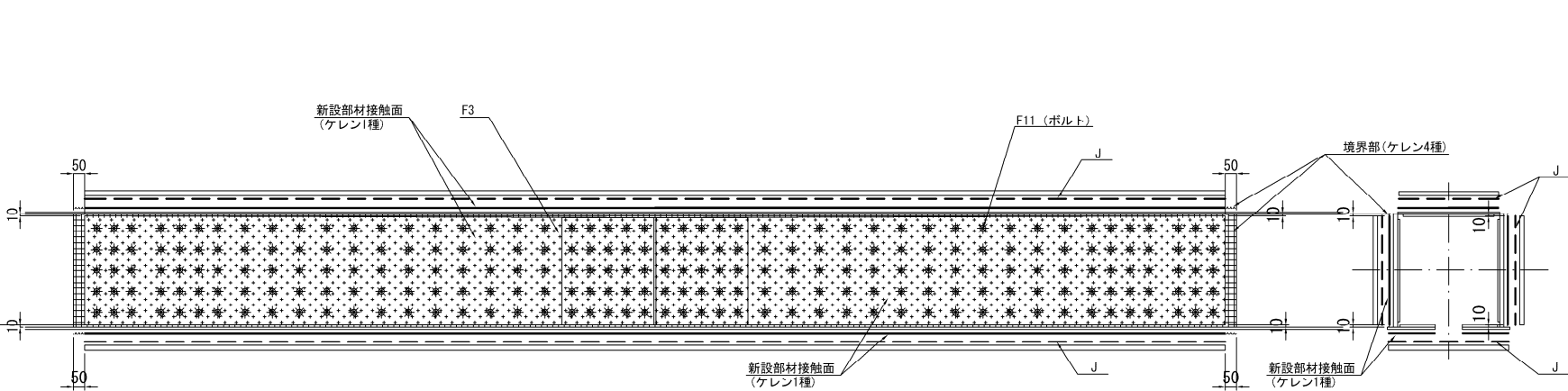
構造物補強工 (支承取替)



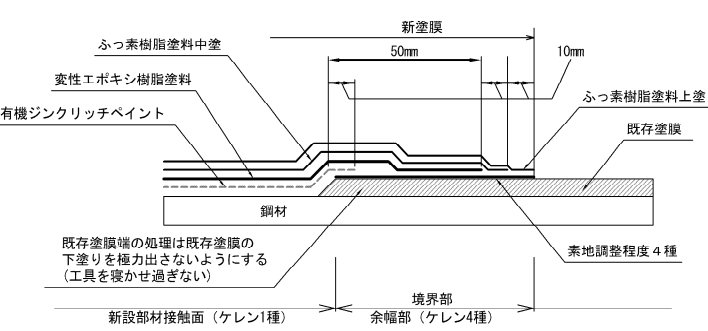
制震構造



構造物補強工 (当板補強)



既存塗膜との境界部の処理



ケレン区分の凡例	
	新設部材接触面(ケレン1種)
	熱影響部(ケレン1種)
	境界部(ケレン4種)
	・・・各部材の現場塗装

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 塗替塗装工 塗分け区分図(その1)		
縮 尺	1:30	図面番号	363/532
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工 事 事 務 所		

塗 装 仕 様

一般外面の塗装系（新設）

記 号	工 程		塗料または素地調整程度	標 準 使用量 (g/m2)	塗装間隔	標準 膜厚 (μ m)
C (C5)	前 処 理	素地調整	G-a	-	2hr 以内	-
		プライマー	無機ジンクリッチプライマー	ｽﾌﾟﾚｰ 160	～ 6ヶ月	(15)
	工場塗装	2次素地調整	G-a	-	2hr 以内	-
		下塗り第1層	無機ジンクリッチペイント	ｽﾌﾟﾚｰ 600	2 ～ 10日	75
		ミストコート	エポキシ樹脂塗料下塗りあるいは厚膜形エポキシ樹脂塗料下塗り (120 μ m)	ｽﾌﾟﾚｰ 160	1 ～ 10日	-
		下塗り第2層	厚膜形エポキシ樹脂塗料下塗り (120 μ m)	ｽﾌﾟﾚｰ 540	1 ～ 10日	120
		中塗り	ふっ素樹脂塗料用中塗	ｽﾌﾟﾚｰ 170	1 ～ 10日	30
		上塗り	ふっ素樹脂塗料上塗	ｽﾌﾟﾚｰ 140		25

高力ボルト接合部および現場溶接部（熱影響部以外）の塗装系（新設）

記 号	工 程		塗料または素地調整程度	標 準 使用量 (g/m2)	塗装間隔	標準 膜厚 (μ m)
F3	前 処 理	素地調整	G-a	-	2hr 以内	-
		プライマー	無機ジンクリッチプライマー	ｽﾌﾟﾚｰ 160	～ 6ヶ月	(15)
	工場塗装	2次素地調整	G-a	-	2hr 以内	-
		下塗り第1層	無機ジンクリッチペイント	ｽﾌﾟﾚｰ 600	2日 ～ 12ヶ月	75
	現場塗装	ミストコート	変性エポキシ樹脂塗料下塗りあるいは厚膜形変性エポキシ樹脂塗料下塗り (120 μ m)	(ｽﾌﾟﾚｰ160) ﾊﾞｯｸ 130	1 ～ 10日	-
		下塗り第2層	厚膜形変性エポキシ樹脂塗料下塗り (120 μ m)	(ｽﾌﾟﾚｰ360) ﾊﾞｯｸ 300	1 ～ 10日	90
		下塗り第3層	厚膜形変性エポキシ樹脂塗料下塗り (120 μ m)	(ｽﾌﾟﾚｰ360) ﾊﾞｯｸ 300	1 ～ 10日	90
		中塗り	ふっ素樹脂塗料用中塗り	(ｽﾌﾟﾚｰ170) ﾊﾞｯｸ 140	1 ～ 10日	30
		上塗り	ふっ素樹脂塗料上塗り	(ｽﾌﾟﾚｰ140) ﾊﾞｯｸ 120		25

高力ボルト接合部（接触面）の塗装系（新設）

記 号	工 程		塗料または素地調整程度	標 準 使用量 (g/m2)	塗装間隔	標準 膜厚 (μ m)
J	前 処 理	素地調整	G-a	-	2hr 以内	-
		プライマー	無機ジンクリッチプライマー	ｽﾌﾟﾚｰ 160	～ 6ヶ月	(15)
	工場塗装	2次素地調整	G-a	-	2hr 以内	-
		下塗り	無機ジンクリッチペイント	ｽﾌﾟﾚｰ 600		75

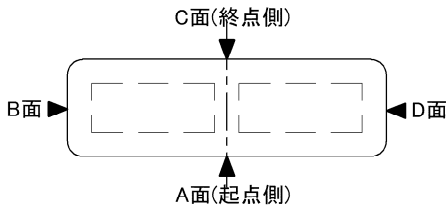
一般部（外面）の塗装系（境界部塗装）

記 号	工 程		塗料または素地調整程度	標 準 使用量 (g/m2)	塗装間隔	標準 膜厚 (μ m)
境界部	現場塗装 (4種)	素地調整	4種	-	4hr 以内	-
		下塗り	変性エポキシ樹脂塗料下塗り	ﾊﾞｯｸ 200	1 ～ 10日	60
		中塗り	ふっ素樹脂塗料用中塗	ﾊﾞｯｸ 140	1 ～ 10日	30
		上塗り	ふっ素樹脂塗料上塗	ﾊﾞｯｸ 120		25

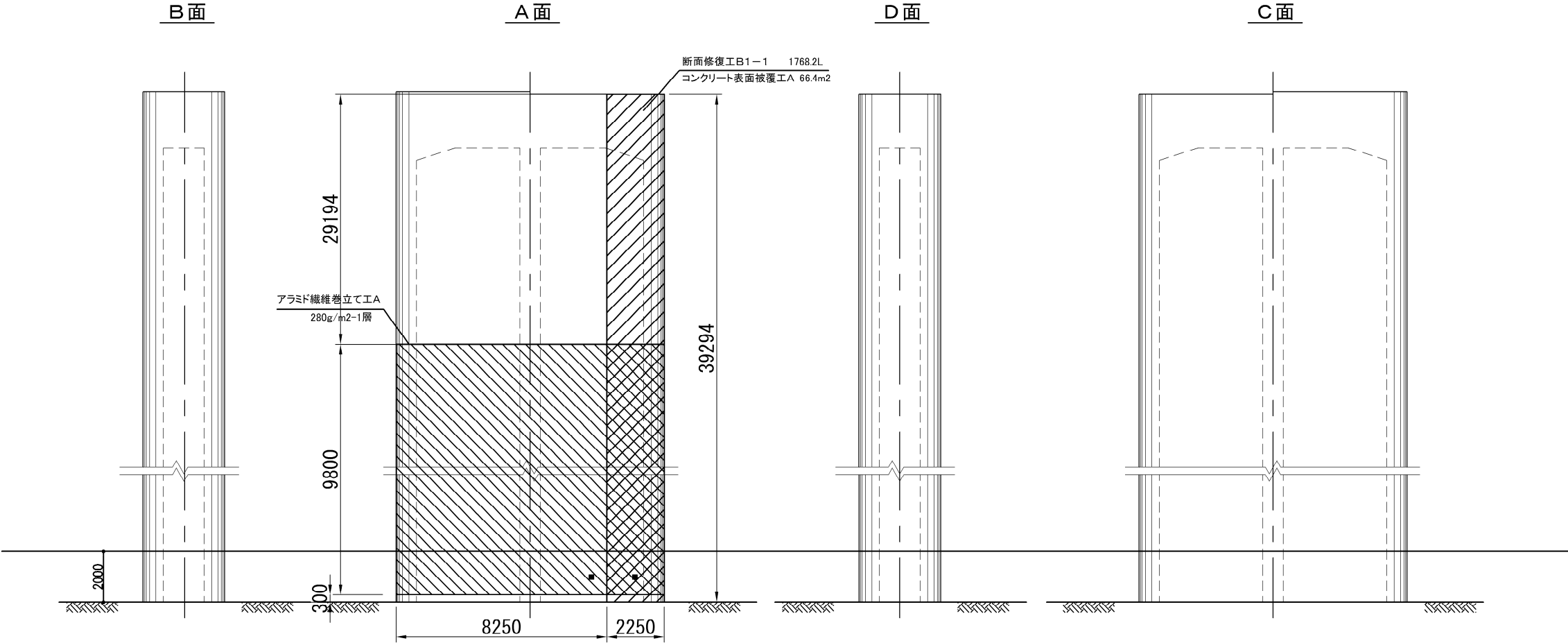
高力ボルト頭部および現場溶接部（熱影響部）の塗装系（新設）

記 号	工 程		塗料または素地調整程度	標 準 使用量 (g/m2)	塗装間隔	標準 膜厚 (μ m)
F11	現場塗装	素地調整	G-c	-	2hr 以内	-
		下塗り第1層	有機ジンクリッチペイント	ﾊﾞｯｸ 240	1 ～ 10日	30
		下塗り第2層	有機ジンクリッチペイント	ﾊﾞｯｸ 240	1 ～ 10日	30
		下塗り第3層	厚膜形変性エポキシ樹脂塗料下塗り (120 μ m)	(ｽﾌﾟﾚｰ360) ﾊﾞｯｸ 300	1 ～ 10日	90
		下塗り第4層	厚膜形変性エポキシ樹脂塗料下塗り (120 μ m)	(ｽﾌﾟﾚｰ360) ﾊﾞｯｸ 300	1 ～ 10日	90
		中塗り	ふっ素樹脂塗料用中塗り	(ｽﾌﾟﾚｰ170) ﾊﾞｯｸ 140	1 ～ 10日	30
		上塗り	ふっ素樹脂塗料上塗り	(ｽﾌﾟﾚｰ140) ﾊﾞｯｸ 120		25

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 塗替塗装工 塗分け区分図(その2)		
縮 尺	—	図面番号	364/532
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



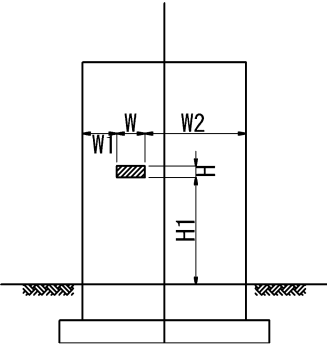
橋脚展開図 S=1:70



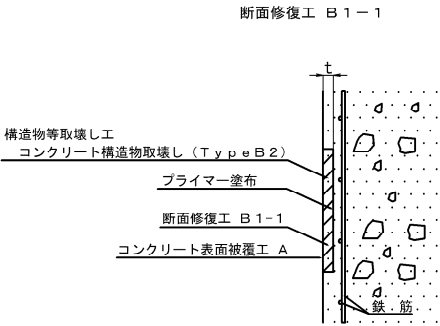
断面修復工 数量表

番 号	項 目	位 置							算 定 式(mm)				断 面 修 復 工 (L)			
		方向	W	W1	W2	H	H1	t	W	H	t					
①	B1—1	A面	2250	8250	0	39294	0	20	2250	X	39294	X	20	=	1,768,230,000 mm3	1768.2
									X		X			=		
									X		X			=		
									X		X			=		
									X		X			=		
									X		X			=		
									X		X			=		

断面修復工・表面被覆工施工箇所 凡例



補修断面図



注記
1. 対策範囲については、現地調査を行い、監督員と協議の上決定すること。
2. 対策深さについては、現地で変状深さを確認し、監督員と協議の上決定すること。
3. 使用する断面修復材の設計基準強度は、 $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ とする。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 構造物補修工 一般図		
縮 尺	図示	図面番号	365/532
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

STA NO. 412+00.000

上り線 橋長183000
桁長 182750

上り線 85300

上り線 96400

STA NO. 414+03.000

はく落防止対策工B1

アラミド繊維巻立て工A

▽611497

75° 0' 0"

300 200 700 50 600

30294 26854 29194 2340 2570 250 4800 500

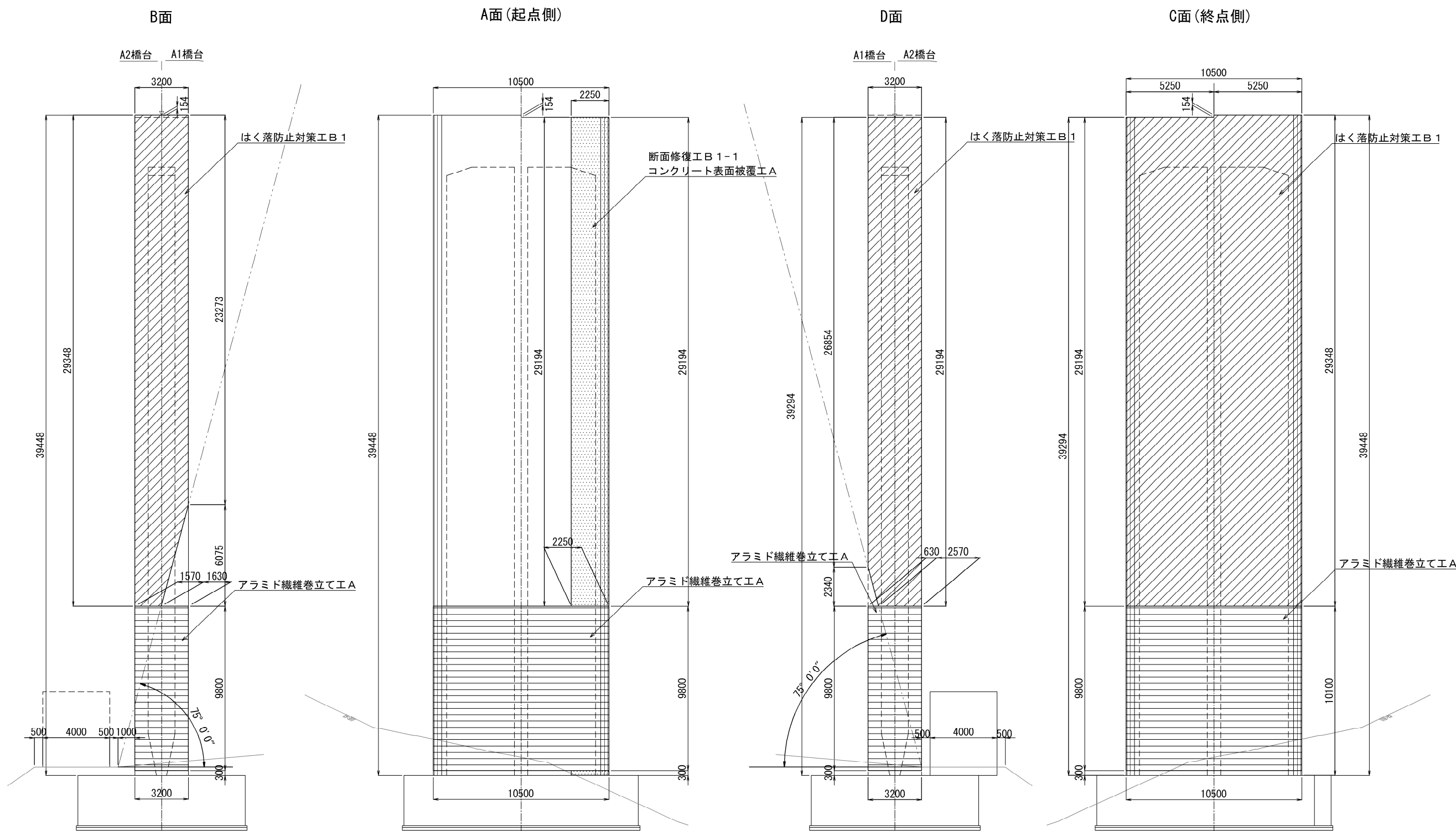
9000

This technical drawing illustrates a bridge structure, likely a truss bridge, spanning a waterway. The drawing includes the following details:

- Structure:** A long bridge with a truss design, featuring a central section with a different truss pattern (labeled BK-23).
- Elevation and Slope:** The bridge deck is shown with a 0.500% slope. The surrounding terrain is marked with contour lines and elevations such as 645.3, 624.2, 620, 618, 617, 616, 615, 614, 613, 612, 611, 610, 609, 608, 607, 606, 605, 604, 603, 602, 601, 600, 599, 598, 597, 596, 595, 594, 593, 592, 591, 590, 589, 588, 587, 586, 585, 584, 583, 582, 581, 580, 579, 578, 577, 576, 575, 574, 573, 572, 571, 570, 569, 568, 567, 566, 565, 564, 563, 562, 561, 560, 559, 558, 557, 556, 555, 554, 553, 552, 551, 550, 549, 548, 547, 546, 545, 544, 543, 542, 541, 540, 539, 538, 537, 536, 535, 534, 533, 532, 531, 530, 529, 528, 527, 526, 525, 524, 523, 522, 521, 520, 519, 518, 517, 516, 515, 514, 513, 512, 511, 510, 509, 508, 507, 506, 505, 504, 503, 502, 501, 500, 499, 498, 497, 496, 495, 494, 493, 492, 491, 490, 489, 488, 487, 486, 485, 484, 483, 482, 481, 480, 479, 478, 477, 476, 475, 474, 473, 472, 471, 470, 469, 468, 467, 466, 465, 464, 463, 462, 461, 460, 459, 458, 457, 456, 455, 454, 453, 452, 451, 450, 449, 448, 447, 446, 445, 444, 443, 442, 441, 440, 439, 438, 437, 436, 435, 434, 433, 432, 431, 430, 429, 428, 427, 426, 425, 424, 423, 422, 421, 420, 419, 418, 417, 416, 415, 414, 413, 412, 411, 410, 409, 408, 407, 406, 405, 404, 403, 402, 401, 400, 399, 398, 397, 396, 395, 394, 393, 392, 391, 390, 389, 388, 387, 386, 385, 384, 383, 382, 381, 380, 379, 378, 377, 376, 375, 374, 373, 372, 371, 370, 369, 368, 367, 366, 365, 364, 363, 362, 361, 360, 359, 358, 357, 356, 355, 354, 353, 352, 351, 350, 349, 348, 347, 346, 345, 344, 343, 342, 341, 340, 339, 338, 337, 336, 335, 334, 333, 332, 331, 330, 329, 328, 327, 326, 325, 324, 323, 322, 321, 320, 319, 318, 317, 316, 315, 314, 313, 312, 311, 310, 309, 308, 307, 306, 305, 304, 303, 302, 301, 300, 299, 298, 297, 296, 295, 294, 293, 292, 291, 290, 289, 288, 287, 286, 285, 284, 283, 282, 281, 280, 279, 278, 277, 276, 275, 274, 273, 272, 271, 270, 269, 268, 267, 266, 265, 264, 263, 262, 261, 260, 259, 258, 257, 256, 255, 254, 253, 252, 251, 250, 249, 248, 247, 246, 245, 244, 243, 242, 241, 240, 239, 238, 237, 236, 235, 234, 233, 232, 231, 230, 229, 228, 227, 226, 225, 224, 223, 222, 221, 220, 219, 218, 217, 216, 215, 214, 213, 212, 211, 210, 209, 208, 207, 206, 205, 204, 203, 202, 201, 200, 199, 198, 197, 196, 195, 194, 193, 192, 191, 190, 189, 188, 187, 186, 185, 184, 183, 182, 181, 180, 179, 178, 177, 176, 175, 174, 173, 172, 171, 170, 169, 168, 167, 166, 165, 164, 163, 162, 161, 160, 159, 158, 157, 156, 155, 154, 153, 152, 151, 150, 149, 148, 147, 146, 145, 144, 143, 142, 141, 140, 139, 138, 137, 136, 135, 134, 133, 132, 131, 130, 129, 128, 127, 126, 125, 124, 123, 122, 121, 120, 119, 118, 117, 116, 115, 114, 113, 112, 111, 110, 109, 108, 107, 106, 105, 104, 103, 102, 101, 100, 99, 98, 97, 96, 95, 94, 93, 92, 91, 90, 89, 88, 87, 86, 85, 84, 83, 82, 81, 80, 79, 78, 77, 76, 75, 74, 73, 72, 71, 70, 69, 68, 67, 66, 65, 64, 63, 62, 61, 60, 59, 58, 57, 56, 55, 54, 53, 52, 51, 50, 49, 48, 47, 46, 45, 44, 43, 42, 41, 40, 39, 38, 37, 36, 35, 34, 33, 32, 31, 30, 29, 28, 27, 26, 25, 24, 23, 22, 21, 20, 19, 18, 17, 16, 15, 14, 13, 12, 11, 10, 9, 8, 7, 6, 5, 4, 3, 2, 1, 0, -1, -2, -3, -4, -5, -6, -7, -8, -9, -10, -11, -12, -13, -14, -15, -16, -17, -18, -19, -20, -21, -22, -23, -24, -25, -26, -27, -28, -29, -30, -31, -32, -33, -34, -35, -36, -37, -38, -39, -40, -41, -42, -43, -44, -45, -46, -47, -48, -49, -50, -51, -52, -53, -54, -55, -56, -57, -58, -59, -60, -61, -62, -63, -64, -65, -66, -67, -68, -69, -70, -71, -72, -73, -74, -75, -76, -77, -78, -79, -80, -81, -82, -83, -84, -85, -86, -87, -88, -89, -90, -91, -92, -93, -94, -95, -96, -97, -98, -99, -100, -101, -102, -103, -104, -105, -106, -107, -108, -109, -110, -111, -112, -113, -114, -115, -116, -117, -118, -119, -120, -121, -122, -123, -124, -125, -126, -127, -128, -129, -130, -131, -132, -133, -134, -135, -136, -137, -138, -139, -140, -141, -142, -143, -144, -145, -146, -147, -148, -149, -150, -151, -152, -153, -154, -155, -156, -157, -158, -159, -160, -161, -162, -163, -164, -165, -166, -167, -168, -169, -170, -171, -172, -173, -174, -175, -176, -177, -178, -179, -180, -181, -182, -183, -184, -185, -186, -187, -188, -189, -190, -191, -192, -193, -194, -195, -196, -197, -198, -199, -200, -201, -202, -203, -204, -205, -206, -207, -208, -209, -210, -211, -212,

1) 対策範囲については、現地調査を行い、監督員と協議の上決定すること。

長野自動車道 五 常 橋 床 版 取 替 工 事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 はく落防止対策工 B-1 一般図(その1)		
縮 尺	1:600	図面番号	366/532
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 長野工 事 所		関東支 社

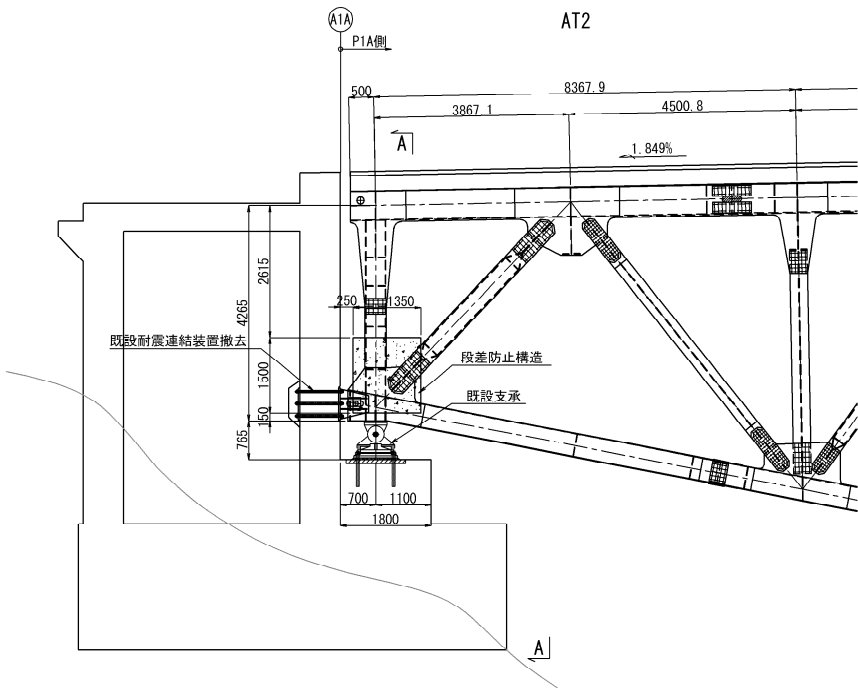
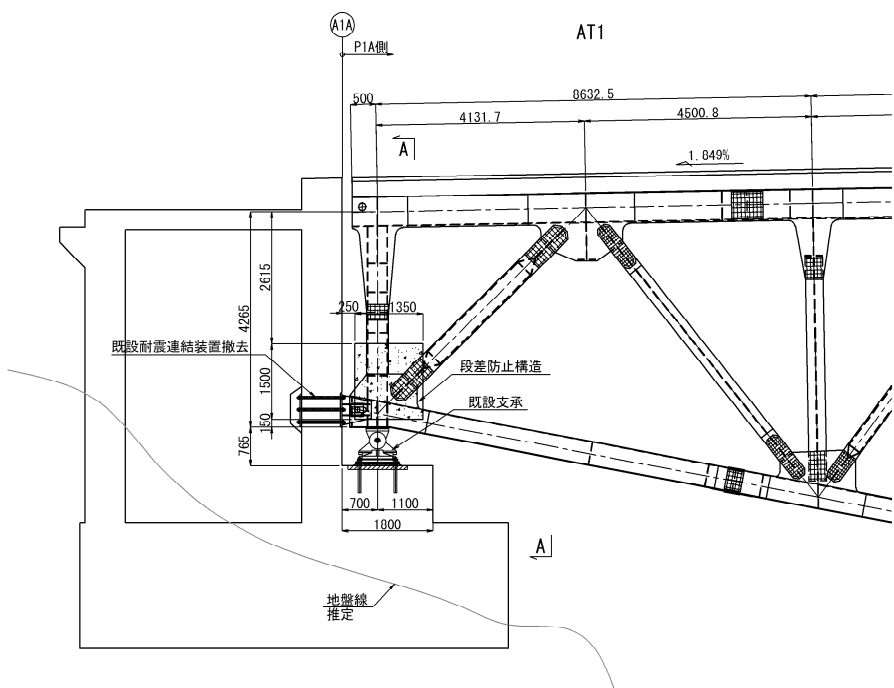


注記
1) 対策範囲については、現地調査を行い、監督員と協議の上決定すること。

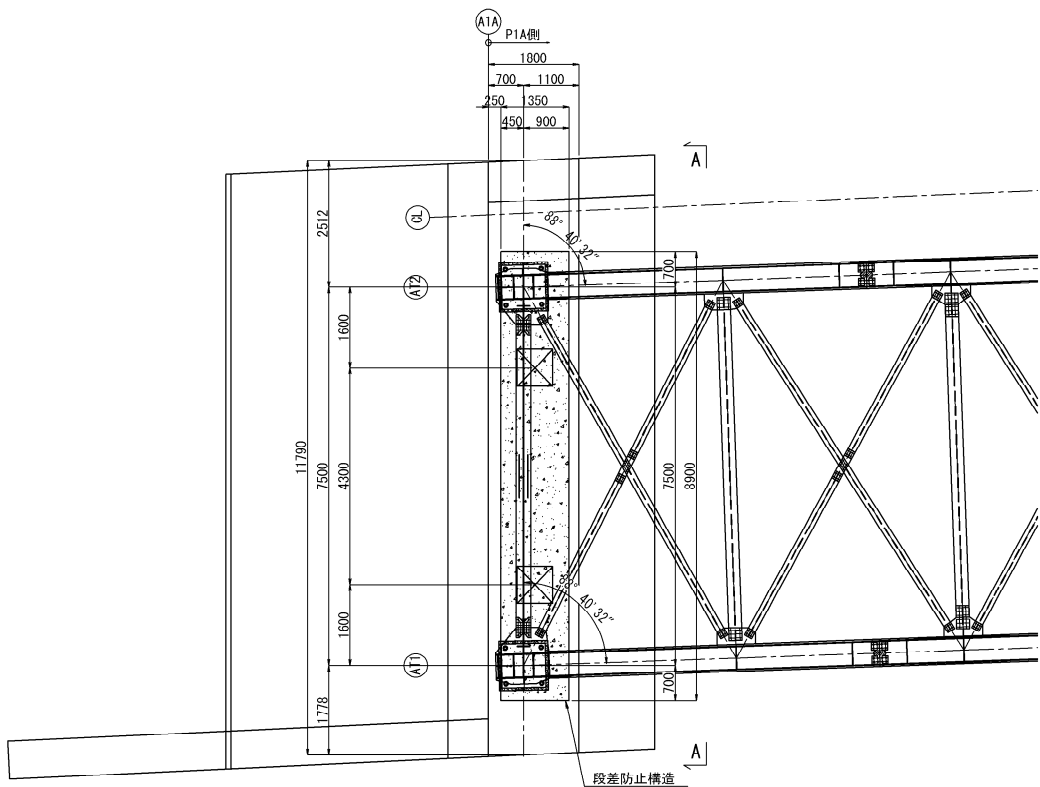
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 はく落防止対策工B 1 一般図(その2)		
縮 尺	1:250	図面番号	367/532
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

ジャッキアップ時

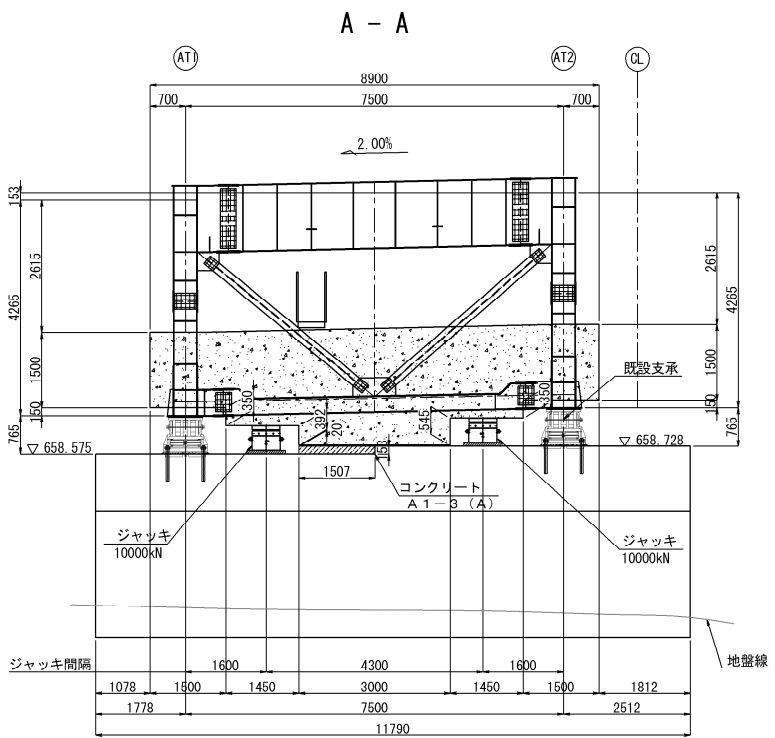
側面図



平面図



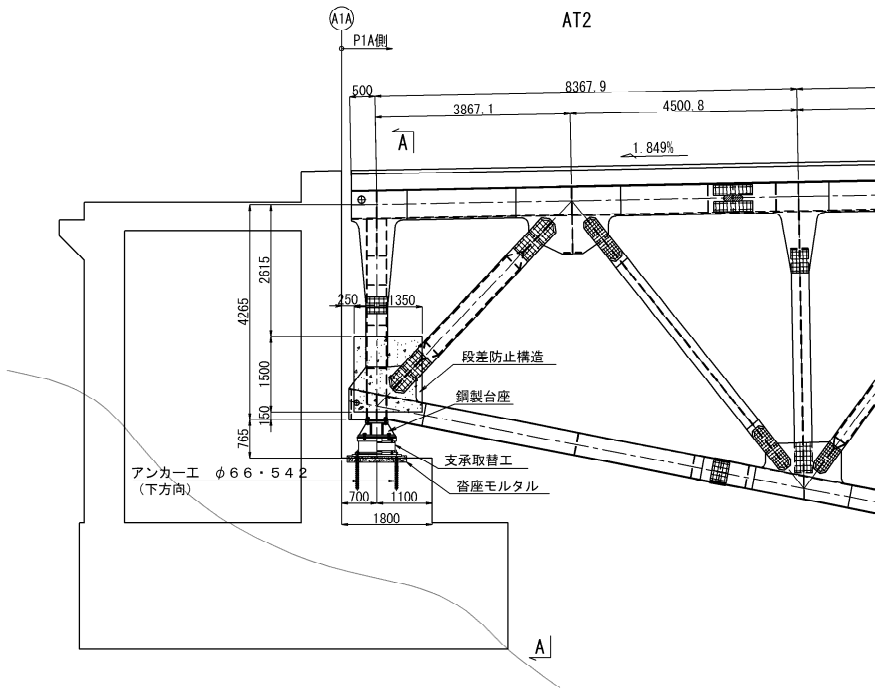
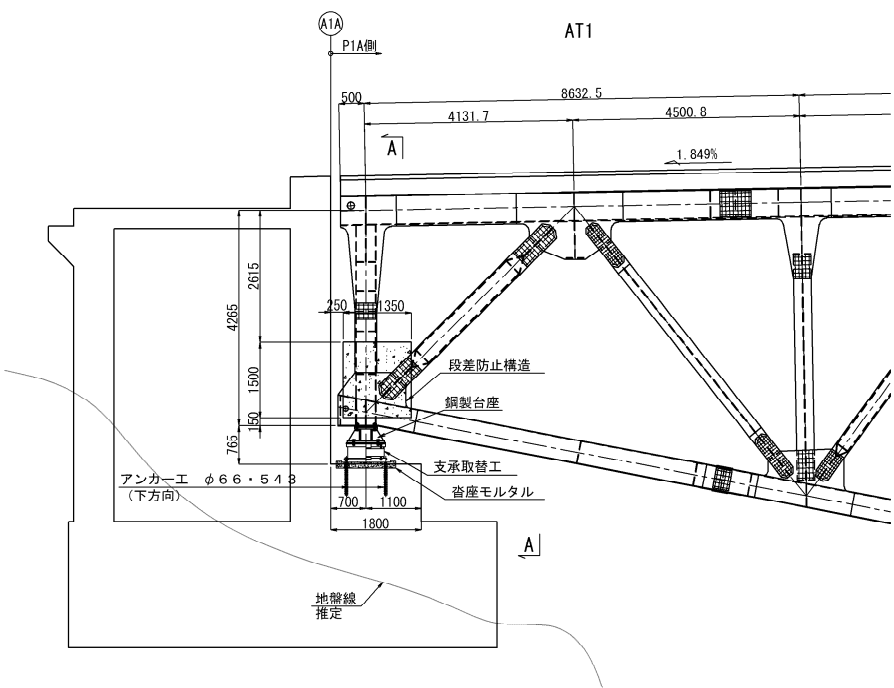
正面図



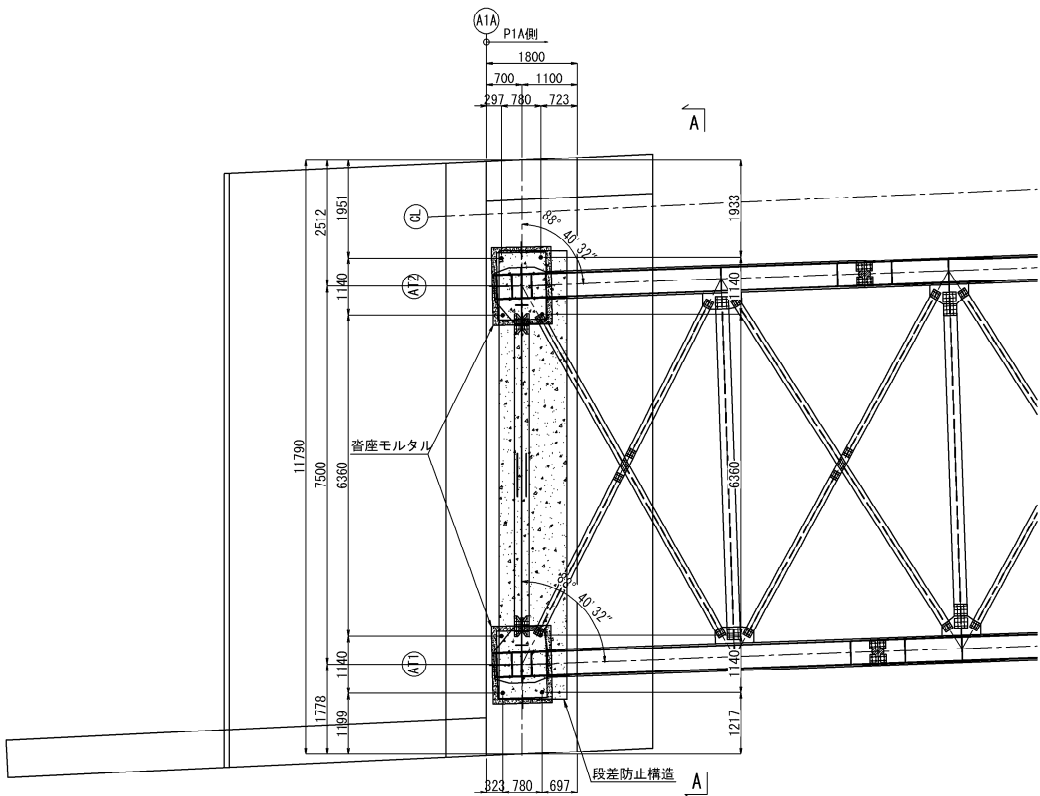
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A1橋台		
	支承取替工配置図(その1)		
縮尺	1:150	図面番号	368/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務所		

支承取替工

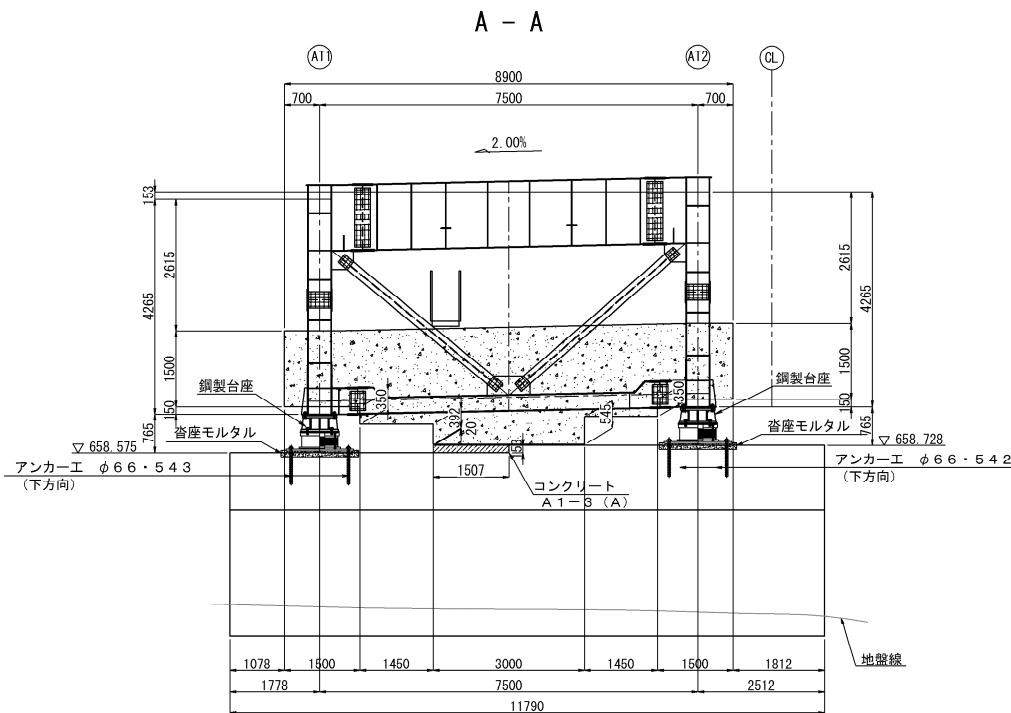
側面図



平面図



正面図

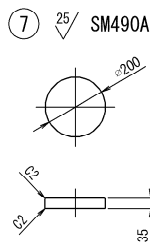
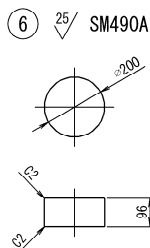
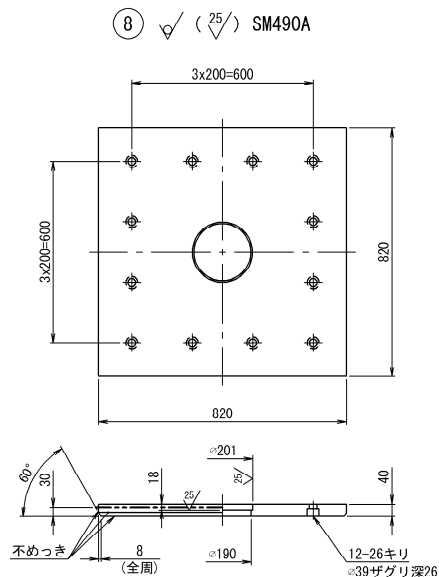
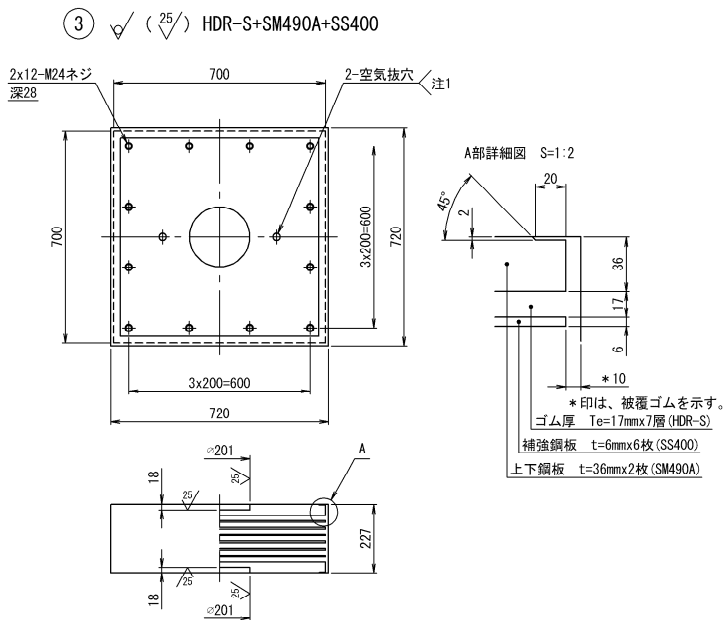
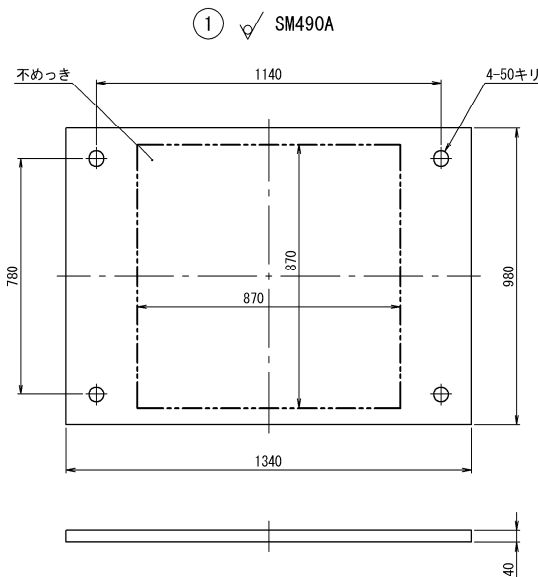
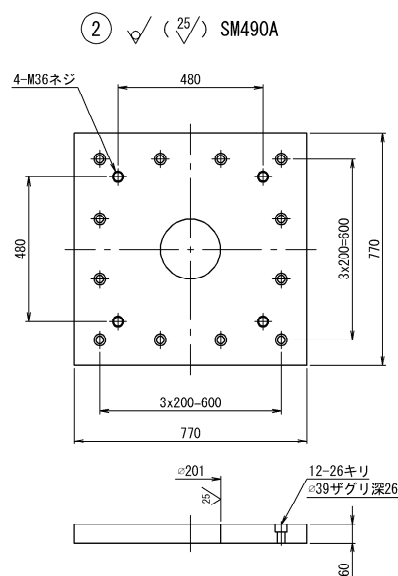
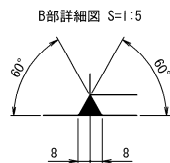
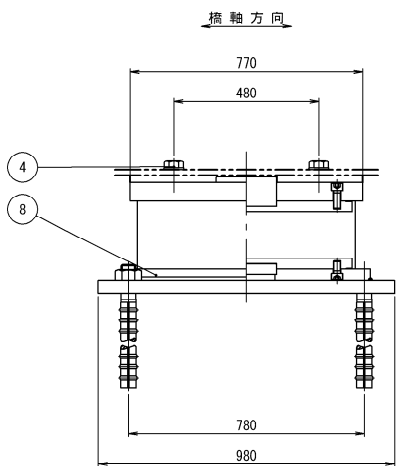
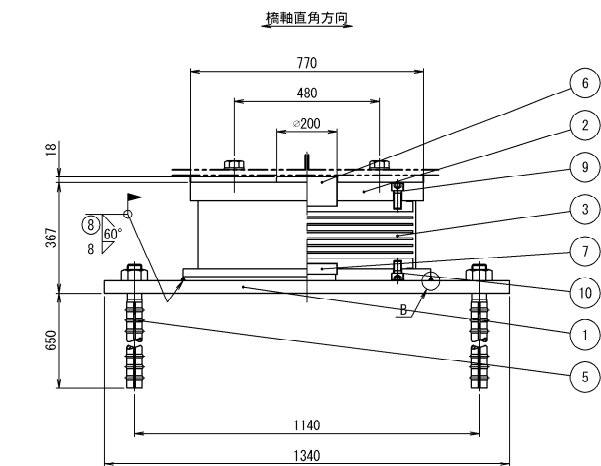


長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A1橋台		
	支承取替工配置図(その2)		
縮尺	1:150	図面番号	369/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

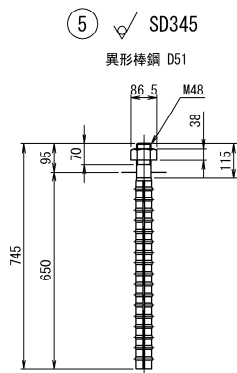
滝ノ沢橋(上り線) A1橋台 支承取替工詳細図(その1)(参考図) S=1:25

E-4 1 4 2 (1 4 4 0)

370/532



- ④ 六角ボルト 中 M36x 8.8
(平座金付き)
- ⑨ 六角穴付ボルト M24x60 10.9
- ⑩ 六角穴付ボルト M24x40 10.9



免震支承設計条件

反		力	
全	反	R	4142 kN
死	荷	Rd	2961 kN
橋軸方向水平力 (地震時)		Rh1e	555 kN
橋軸直角方向水平力 (地震時)		Rh2e	1004 kN
上	揚	V	888 kN
移		動	量
最	大	変	位
量	(地震時)	UB	± 232 mm
ゴ		ム	沓
せん	断	弾	性
係	数	Ge	1.0 N/mm ²
破	断	ひ	ず
み		γu	600 %
試	験	変	位
量		ΔL	± 208 mm
等	価	剛	性
KB			4.272 kN/mm
等	価	減	衰
定	数	hδ	17.3 %
許	容	せん	断
ひ	ず	γs	250 %
2	次	形	状
係	数	S2	5.88
照	査	荷	重
R1L			590.4 kN
照	査	荷	重
時	圧	縮	変
位	量	δcL	0.310 mm
支		承	部
支		持	条
支		持	条
橋軸方向: 免震		橋軸直角方向: 免震	

注) 上記の等価剛性・等価減衰定数は試験変位量に対する値を示す。

材 料 表

部番	部 品 名 称	材 質	個数	重量(kg)	備 考
①	ベースプレート	SM490A	1	409.9	
②	上	SM490A	1	257.9	
3	ゴ	HDR-S+SM490A SS400	1	478.7	
④	六角ボルト・座金	—	4	5.1	JIS B 1180
⑤	アンカーボルト・ナット	SU345	4	50.5	JIS B 1181
⑥	せん断キー	SM490A	1	23.7	
⑦	せん断キー	SM490A	1	8.6	
⑧	下	SM490A	1	198.2	
9	六角穴付ボルト	—	12	3.9	JIS B 1176
10	六角穴付ボルト	—	12	3.2	JIS B 1176
全 重 量				1439.7 (kg)	
一 般 外 面 の 防 食 処 理					
材料表部番の○印部品をめっきのこと。					
溶融亜鉛めっき JIS H 8641 HDZT77、HDZT49 (※ 別類)					

注 1) 製作会社において、不要な場合は設けなくてもよい。

注 2) 必要に応じて吊り用のネジ穴を設けてもよい。

注 3) ゴム支承の上下鋼板露出部は、金属亜鉛末を70%以上含む高濃度亜鉛末塗料を塗布のこと (塗膜厚75 μm以上)。

注 4) 六角穴付ボルトは黒色酸化皮膜処理ボルトを使用し、締付け後、高濃度亜鉛末塗料を塗布のこと。

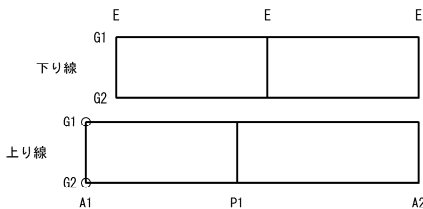
注 5) ゴム沓側面は、クロロスルホン化ポリエチレン系塗料を塗布のこと。

注 6) 部番4の六角ボルト・座金の重量は、参考値とする。

注 7) 現場溶接部付近はめっきとして開先防錆塗料を塗布し、溶接後高濃度亜鉛末塗料を塗布のこと。

注 8) アンカーボルト配置は、現場実測後決定のこと。

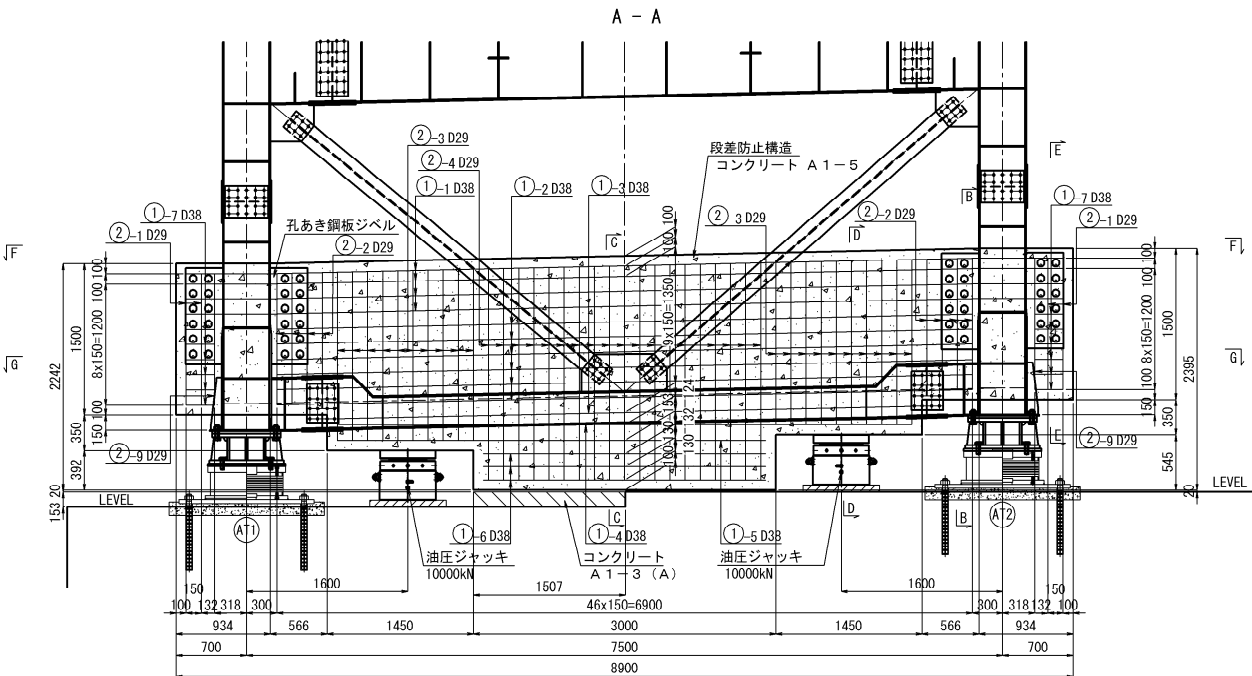
配 置 図



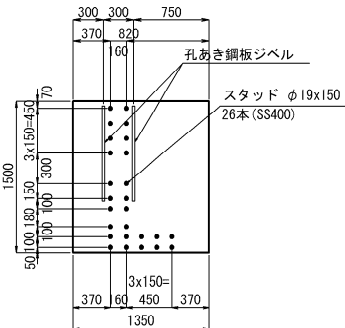
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A1橋台 支承取替工詳細図(その1)(参考図)		
縮 尺	1:25	図面番号	370/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) A1橋台 支承取替工詳細図(その2) S=1:75

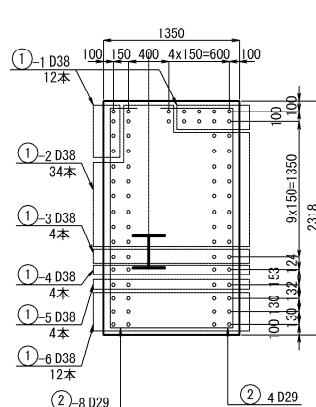
段差防止構造



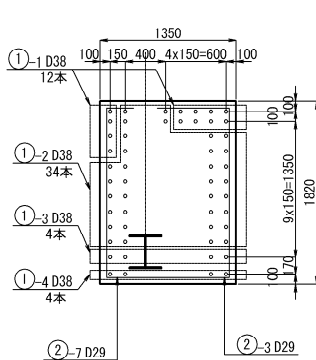
B - B (スタッド)



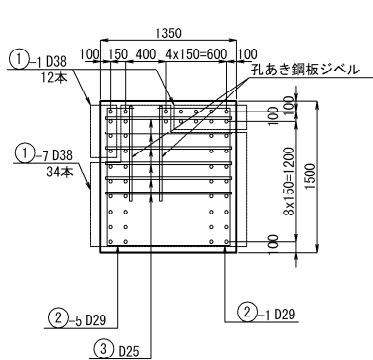
C - C (構造中心)



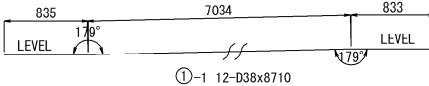
D - D (ジャッキ)



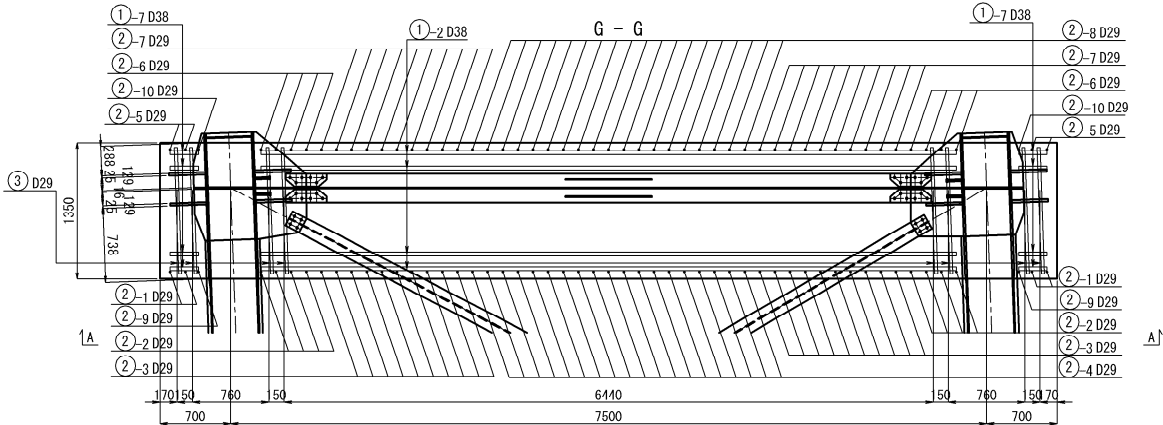
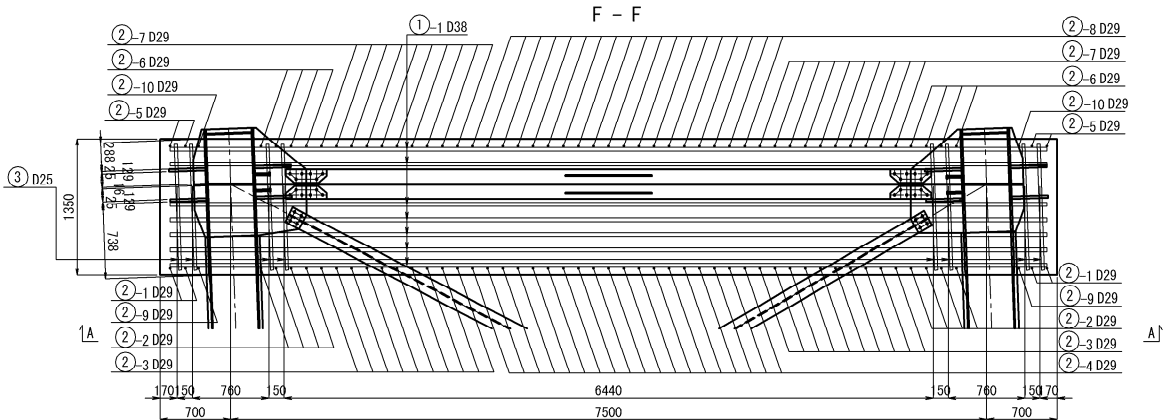
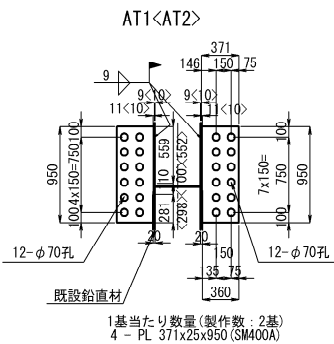
E - E (鋼板ジベル)



鉄筋加工図

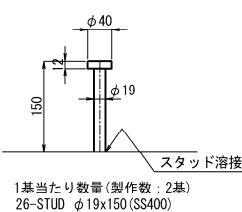


孔あき鋼板ジベル詳細



現場打ち頭付きスタッド詳細

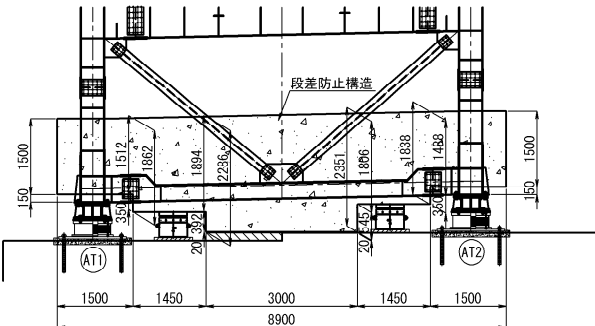
S=1:12.5



鉄筋曲げ加工表

主筋	径	$\theta \leq 90^\circ$		$\theta > 90^\circ$		ΔL
		R-3.0φ	R-5.5φ	a	ΔL	
D25	75	137	5	118	32	
D29	87	159	5	137	37	
D38	114	209	179	49		

段差防止構造詳細図 S=1:150



注記

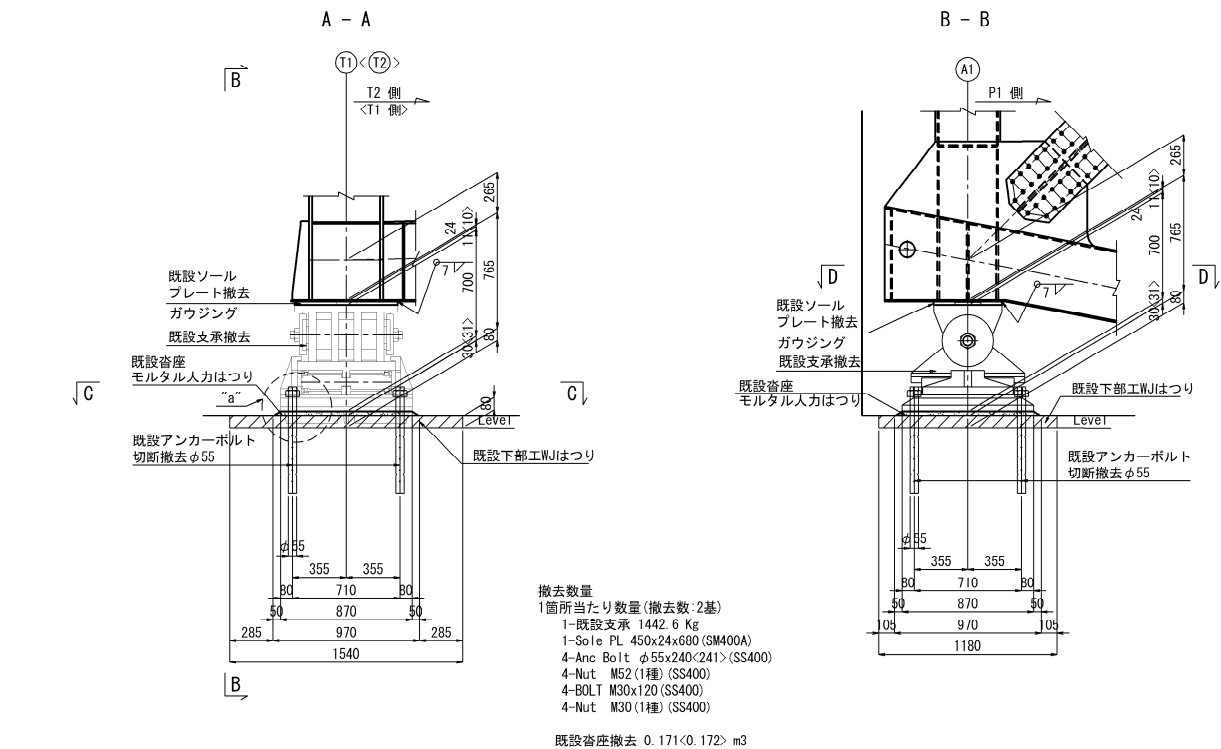
- 段差防止構造のコンクリート強度は $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ 、橋座部のコンクリート強度は $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ とする。
- 施工にあたっては現地測量を行い、既設構造寸法等を再確認すること。

材料表

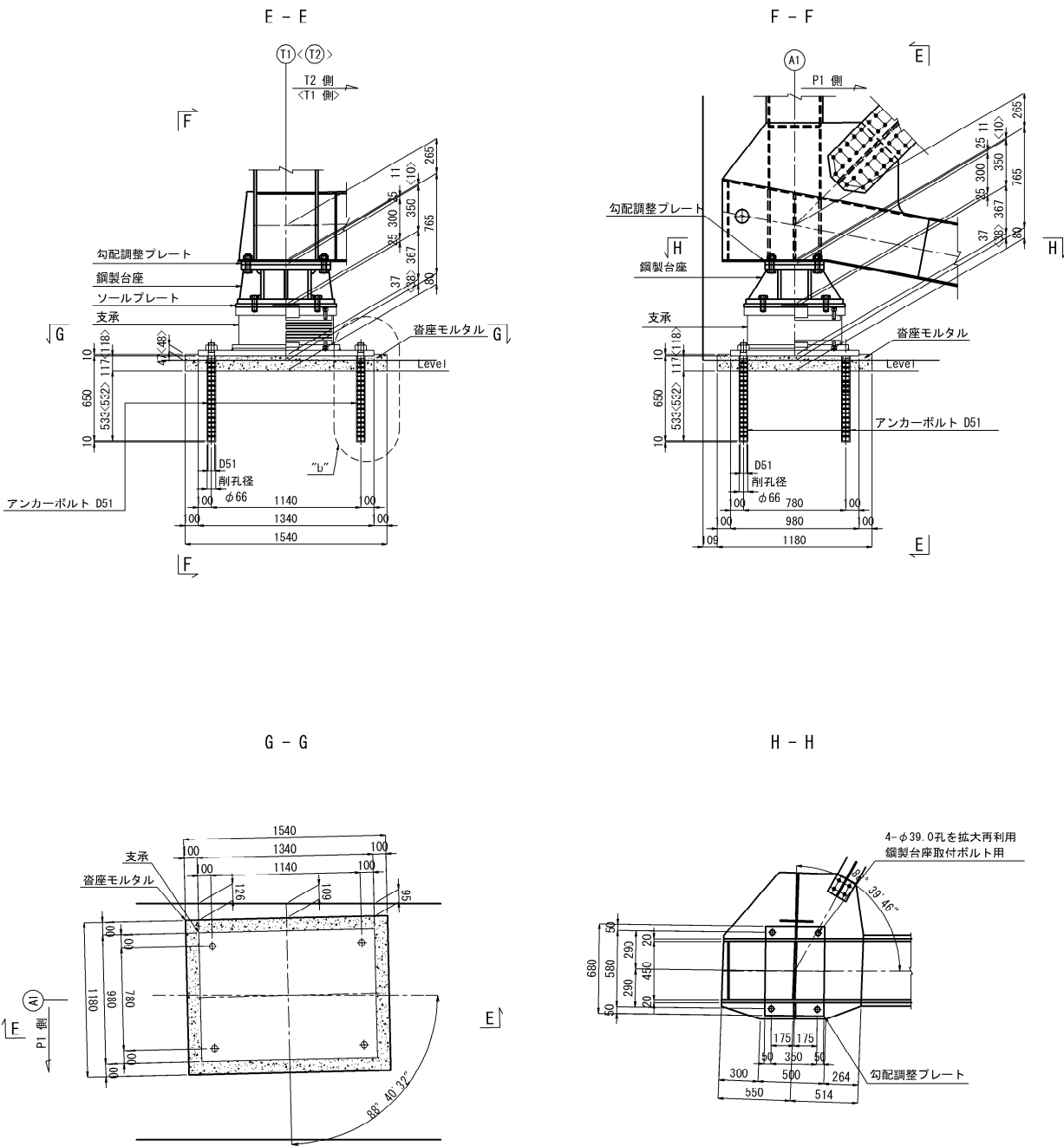
(一箇所当たり)

記号	径 (mm)	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
A1橋台							
1-1	D38	8710	12	8.95	78.0	936	
1-2	D38	6910	34	8.95	61.8	2101	
1-3	D38	5710	4	8.95	51.1	204	
1-4	D38	5700	4	8.95	51.0	204	
1-5	D38	4250	4	8.95	38.0	152	
1-6	D38	2800	12	8.95	25.1	301	
1-7	D38	290	34	8.95	2.60	88	
2-1	D29	3050	4	5.04	15.4	62	
2-2	D29	2730	8	5.04	13.8	110	
2-3	D29	3400	20	5.04	17.1	342	平均長
2-4	D29	3870	19	5.04	19.5	371	平均長
2-5	D29	2600	4	5.04	13.1	52	
2-6	D29	1830	8	5.04	9.22	74	
2-7	D29	2950	20	5.04	14.9	298	平均長
2-8	D29	3420	19	5.04	17.2	327	平均長
2-9	D29	2730	2	5.04	13.8	28	
2-10	D29	1830	2	5.04	9.22	18	
3	D25	1250	48	3.98	4.98	239	
							5907 kg
鉄筋質量				SD345	D38	3986 kg	
				SD345	D29	1682 kg	
				SD345	D25	239 kg	
現場打ち頭付きスタッド本数				$\phi 19 \times 150$ (SS400)		52 本	
コンクリート体積						22.7 m ³	
型枠面積						51.9 m ²	

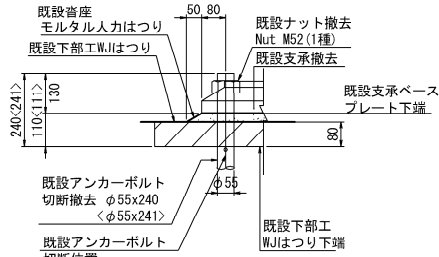
既設支承撤去図



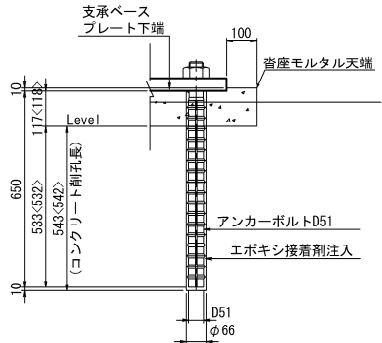
支承取付図



“a”部詳細 S=1:25



“b”部詳細 S=1:25



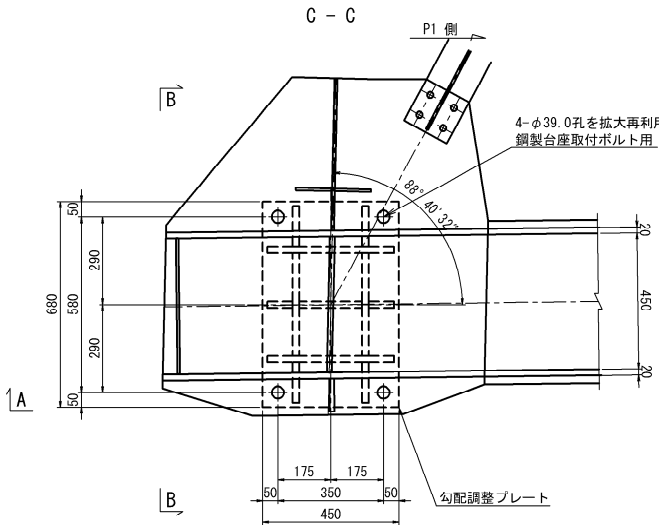
- 注 記
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
 2. 既設のコンクリート構造物に削孔を行う場合は既設の鉄筋に損傷を与えないように事前に入念に調査を行い施工すること。
 3. < >内は、T2桁を示す。
 4. 現場でのセットボルト及びアンカーボルト位置測定後に支承設計に反映すること。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A1橋台 支承取替工詳細図(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	372/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

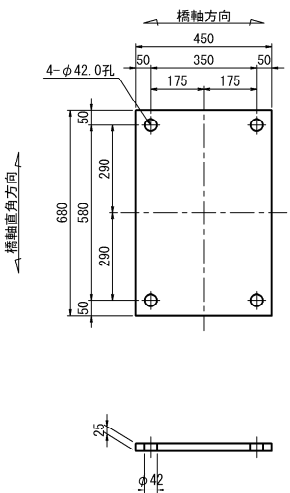
AT1・AT2

上部工側取付部詳細

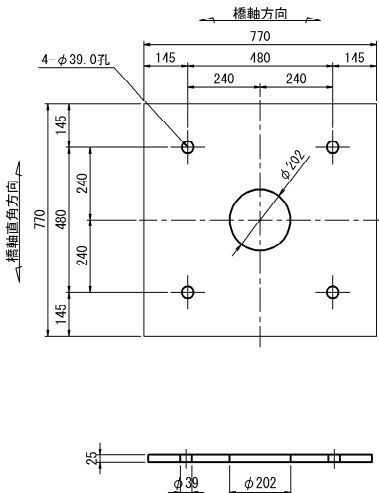
平面図



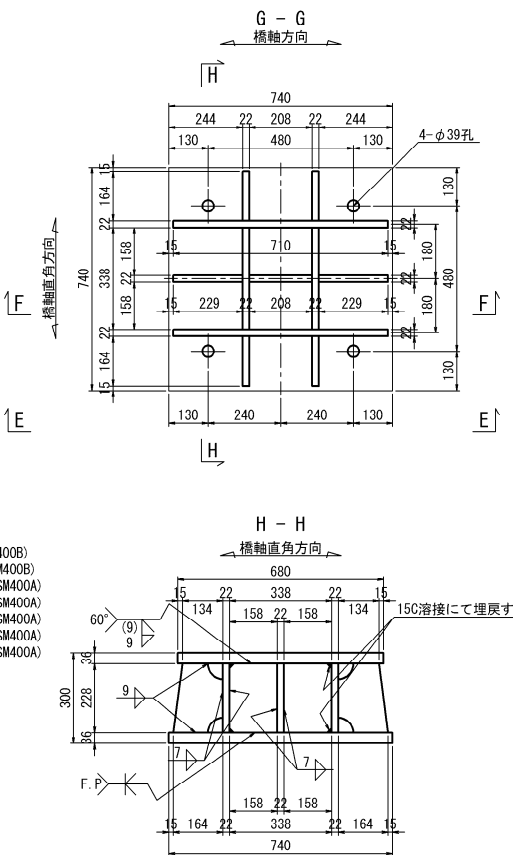
勾配調整プレート詳細



ソールプレート詳細



鋼製台座詳細



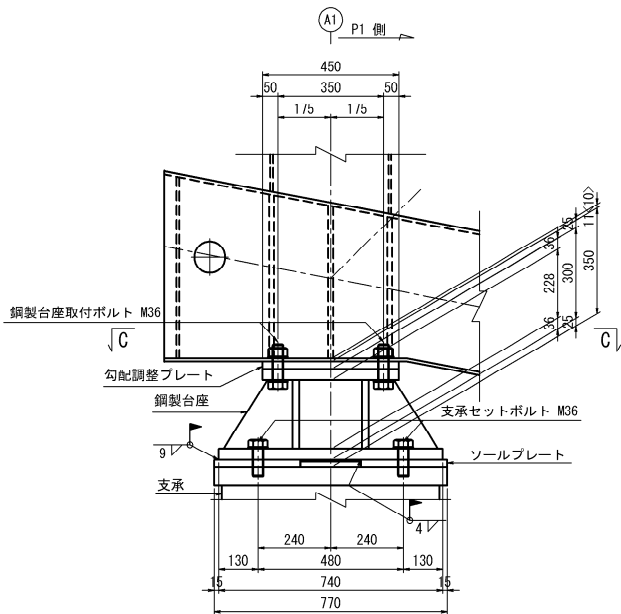
鋼製台座

1基当たり数量(製作数:2基)

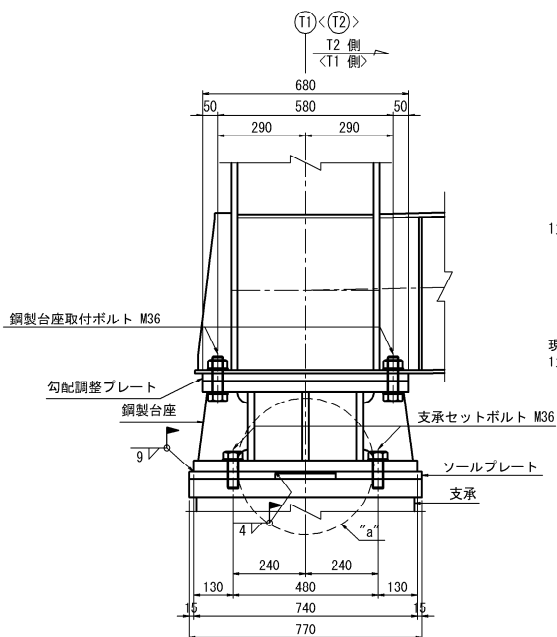
- 1-TOP PL 450x36x680 (SM400B)
- 1-BOTT PL 740x36x740 (SM400B)
- 2-WEB PL 228x22x710 (SM400A)
- 2-WEB PL 228x22x338 (SM400A)
- 2-RIB PL 228x22x229 (SM400A)
- 1-RIB PL 228x22x208 (SM400A)
- 4-RIB PL 228x22x164 (SM400A)

150溶接にて埋戻す

A-A



B-B



1主構当たり数量(製作数:2基)

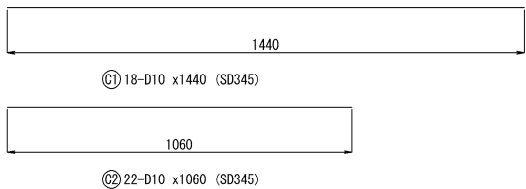
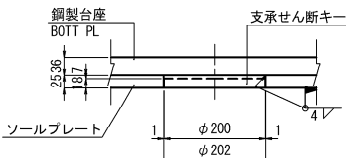
- 1-調整 PL 450x25x680 (SM400A)
- 1-SOLE PL 770x25x770 (SM400A)
- 4-BOLT M36x130 (SS400) (強度区分8.8)
- 4-Nut M36 (1種) (SS400)
- 8-座金 M36 (SS400)

現場孔明け上

- 1主構当たり数量(全:2箇所)
- φ39.0x4箇所 (SS400, t≤30)

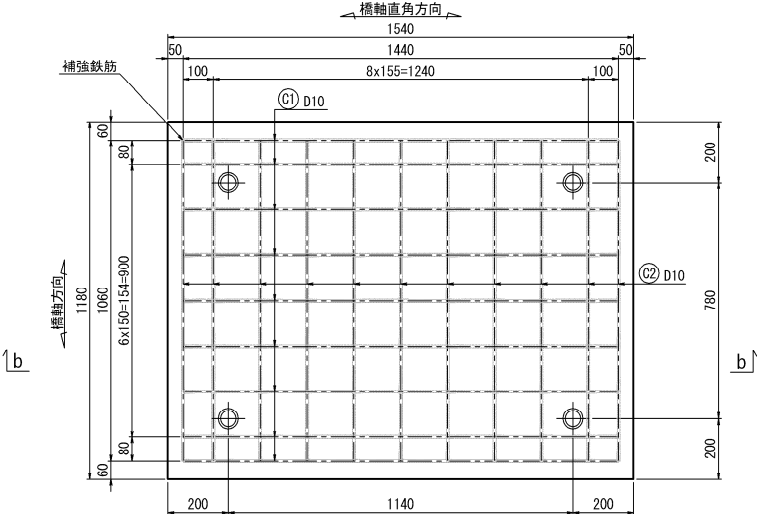
下部工側取付部詳細

“a”部詳細 S=1:15

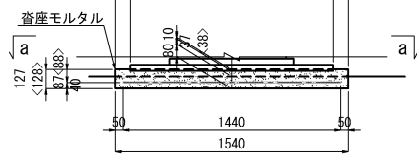


記号	径 (mm)	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
C1	D10	1440	18	0.560	0.806	15	
G2	D10	1060	22	0.560	0.594	13	
							28
鉄筋質量							
合計							28

a-a



b-b S=1:50

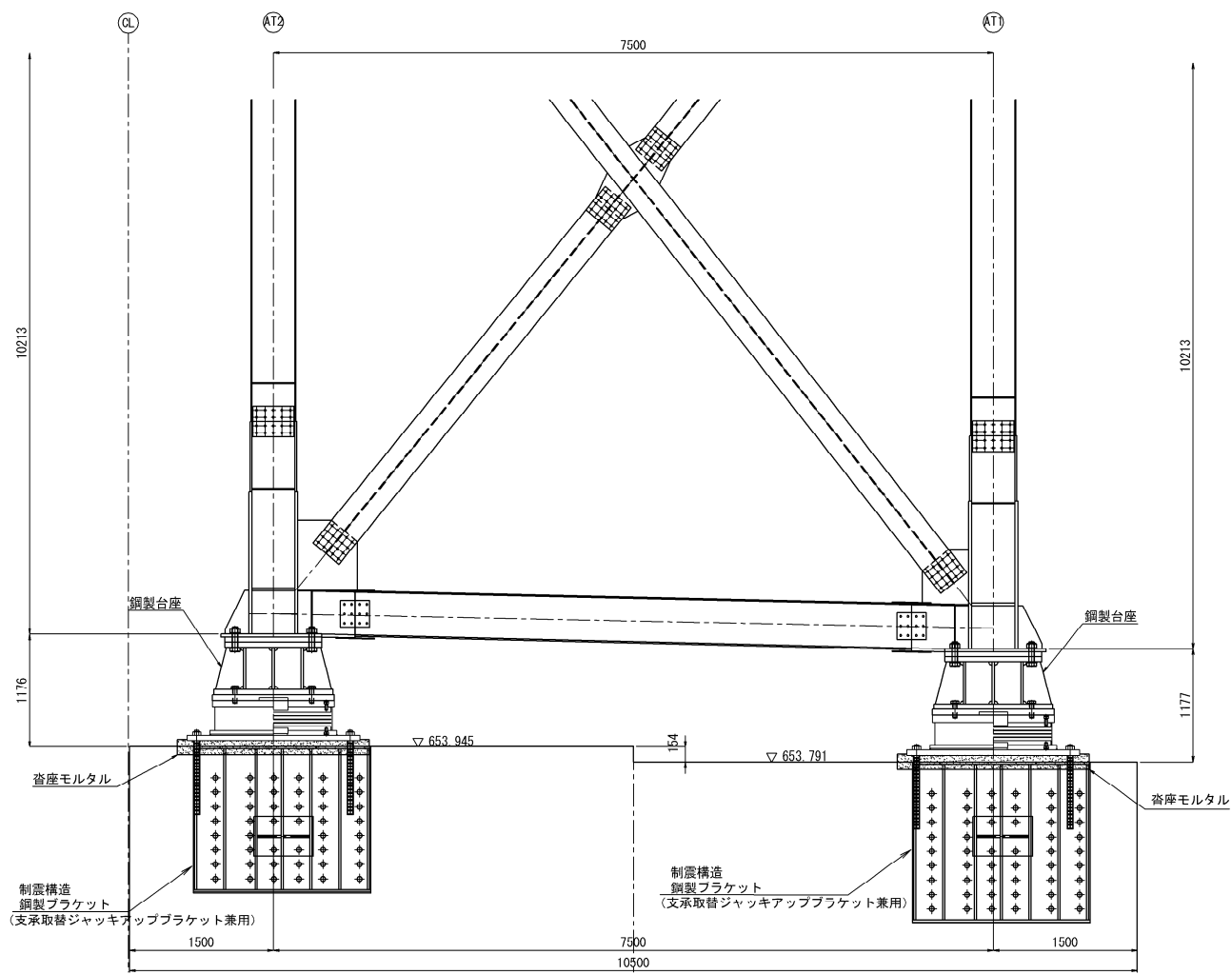


注記

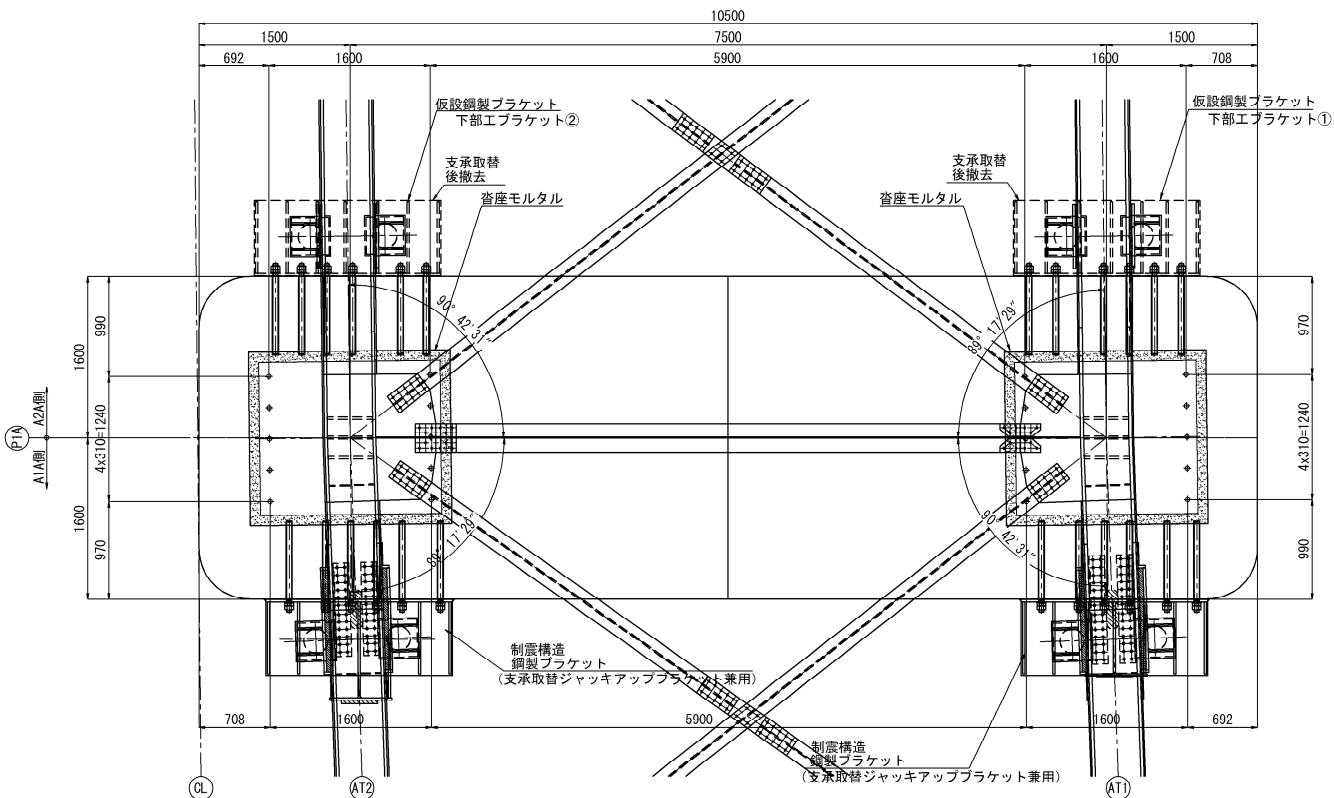
- 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
- 鋼材の加工は現橋の調査・計測を行い構造物の形状を最終的に決めてから行うこと。
- 現橋の調査・計測を元に構造物の形状を変更する場合は必要に応じて応力計算を行うこと。
- 特記なきスカーラップは50Rとする。
- <>内は、T2桁を示す。
- 「F.P.」の表示のある箇所は、完全溶込み溶接とする。
- 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。
- 現場でのセットボルト及びアンカーボルト位置測定後に支承設計に反映すること。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A1橋台 支承取替工詳細図(その4)		
縮尺	図示	図面番号	373/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

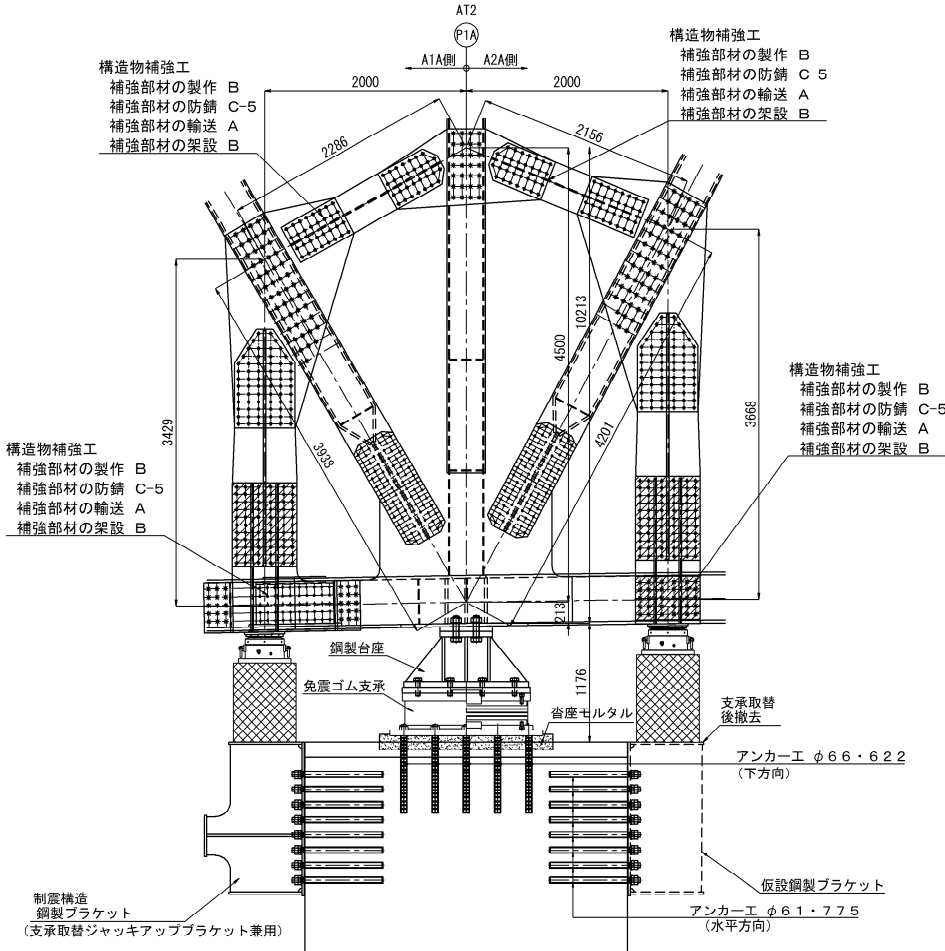
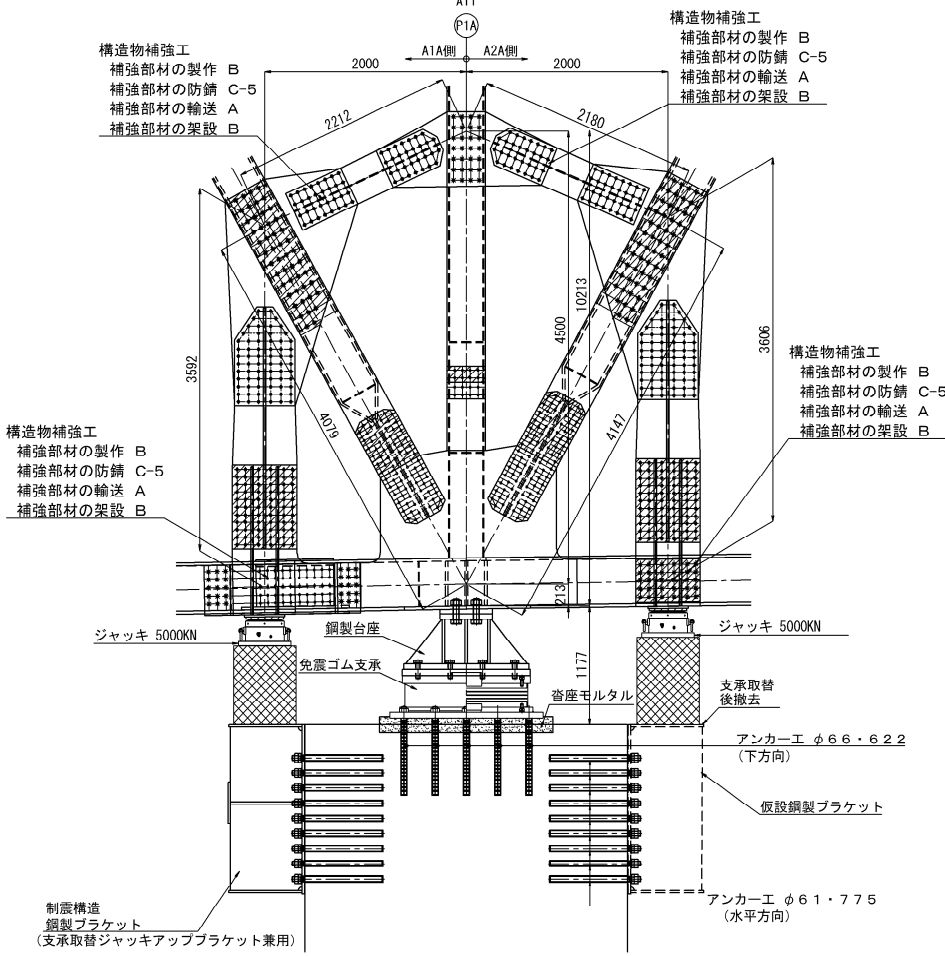
正面図



平面図



側面図

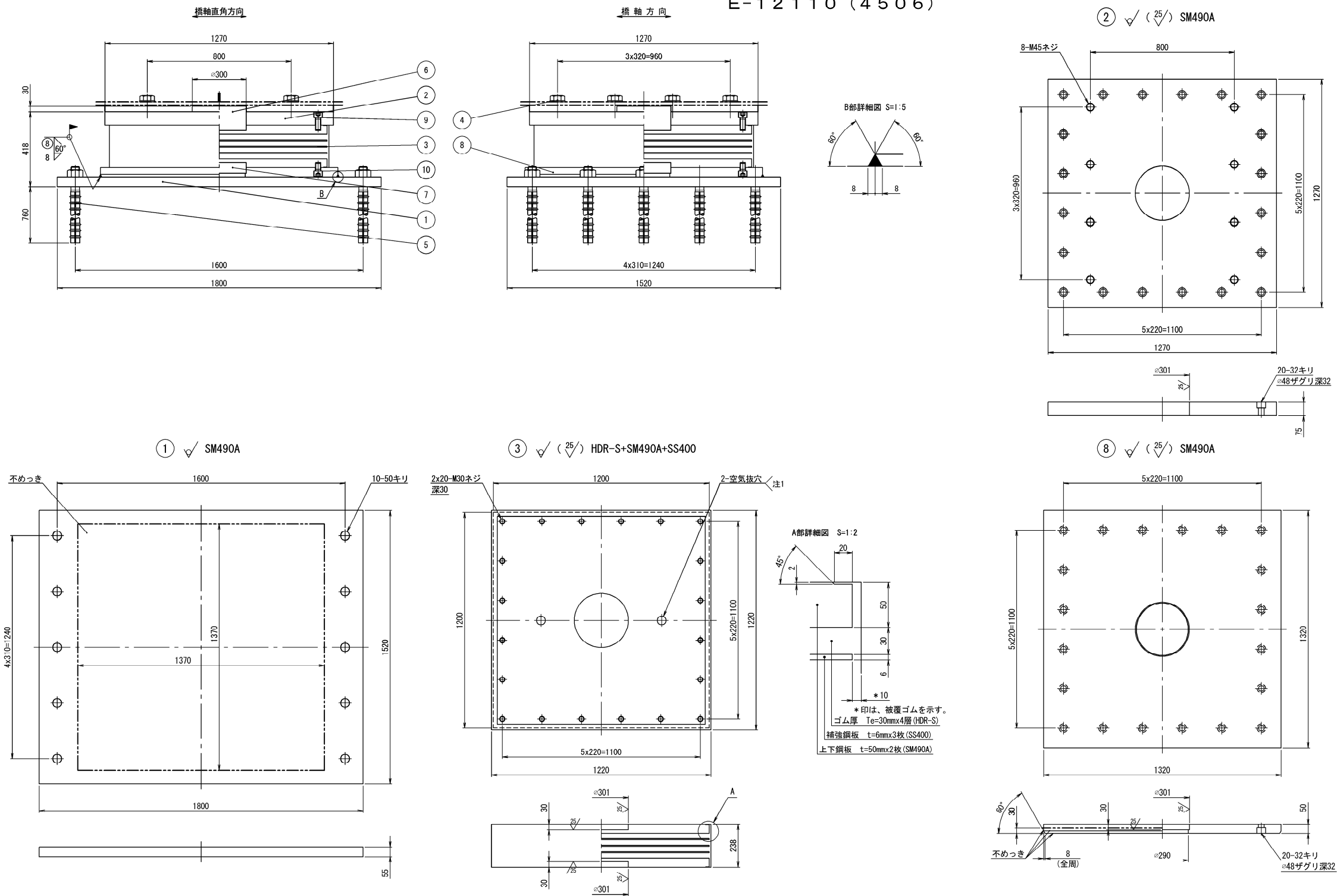


長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 支承取替工配置図		
縮尺	1:75	図面番号	374/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 支承取替工詳細図(その1)(参考図) S=1:25

375/532

E-12110 (4506)



免震支承設計条件

反力		力
全反力	R	12110 kN
死荷重反力	Rd	9350 kN
橋軸方向水平力 (地震時)	Rh1e	2545 kN
橋軸直角方向水平力 (地震時)	Rh2e	2743 kN
上揚力 (地震時)	V	2805 kN
移動量		
最大変位量 (地震時)	UB	± 220 mm
ゴム		
せん断弾性係数	Ge	1.0 N/mm ²
破断ひずみ	γu	600 %
試験変位量	ΔL	± 210 mm
等価剛性	KB	12.449 kN/mm
等価減衰定数	hB	17.3 %
許容せん断ひずみ	γs	250 %
2次形状係数	S2	10.00
支承部支持条件		
橋軸方向・免震		橋軸直角方向・免震

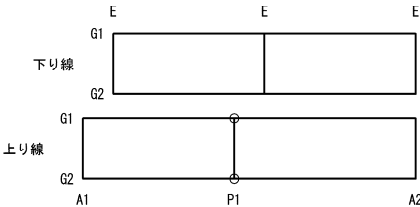
注) 上記の等価剛性・等価減衰定数は試験変位量に対する値を示す。

材料表

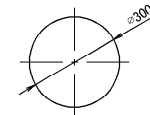
部番	部品名称	材質	個数	重量(kg)	備考
①	ベースプレート	SM490A	1	1172.8	
②	上 蓋	SM490A	1	886.0	
3	ゴム 沓	HDR-S+SM490A+SS400	1	1505.7	
④	六角ボルト・座金	—	8	18.9	JIS B 1180
⑤	アンカーボルト・ナット	SD345	10	145.9	JIS B 1181
⑥	せん断キー	SM490A	1	74.9	
⑦	せん断キー	SM490A	1	32.7	
⑧	下 蓋	SM490A	1	645.5	
9	六角穴付ボルト	—	20	12.9	JIS B 1176
10	六角穴付ボルト	—	20	10.5	JIS B 1176
全重量				4505.0 (kg)	
一般外面の防食処理					
材料表部番の○印部品をめっきのこと。					
溶融亜鉛めっき JIS H 8641 HDZT77, HDZT49 (めっき類)					

- 注1) 製作会社において、不要な場合は設けなくてもよい。
- 注2) 必要に応じて吊り用のネジ穴を設けてもよい。
- 注3) ゴム支承の上下鋼板露出部は、金属垂鉛末を70%以上含む高濃度垂鉛末塗料を塗布のこと (塗膜厚75 μm以上)。
- 注4) 六角穴付ボルトは黒色酸化皮膜処理ボルトを使用し、締付け後、高濃度垂鉛末塗料を塗布のこと。
- 注5) ゴム沓側面は、クロスルホン化ポリエチレン系塗料を塗布のこと。
- 注6) 部番4の六角ボルト・座金の重量は、参考値とする。
- 注7) 現場溶接部付近はめっきとして開先防錆塗料を塗布し、溶接後高濃度垂鉛末塗料を塗布のこと。
- 注8) アンカーボルト配置は、現場実測後決定のこと。

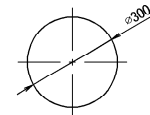
配置図



⑥ 25/ SM490A



⑦ 25/ SM490A



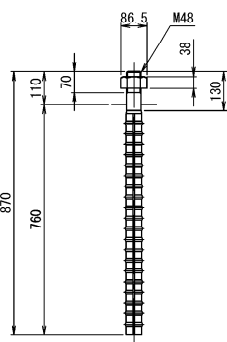
④ 六角ボルト 中 M45x 8.8 (平座金付き)

⑨ 六角穴付ボルト M30x70 10.9

⑩ 六角穴付ボルト M30x45 10.9

⑤ 25/ SD345

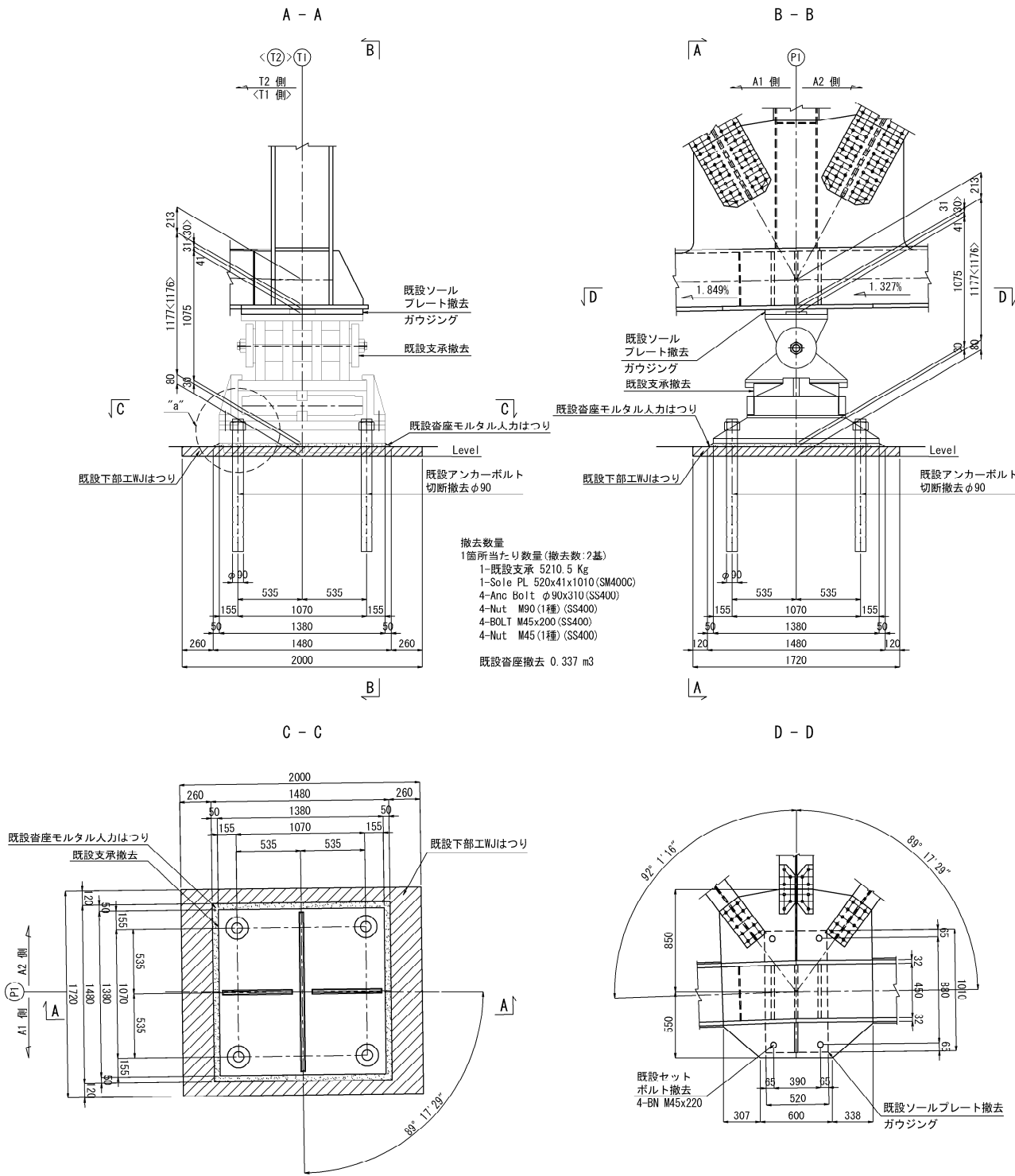
異形棒鋼 D51



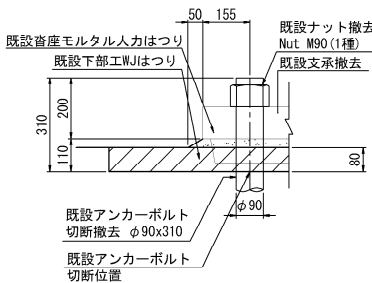
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 支承取替工詳細図(その1)(参考図)		
縮 尺	1 : 25	図面番号	375/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

既設支承撤去図

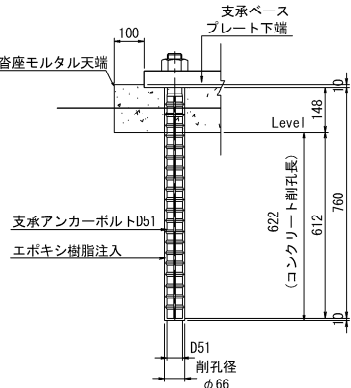
支承取付図



“a”部詳細 S=1:25



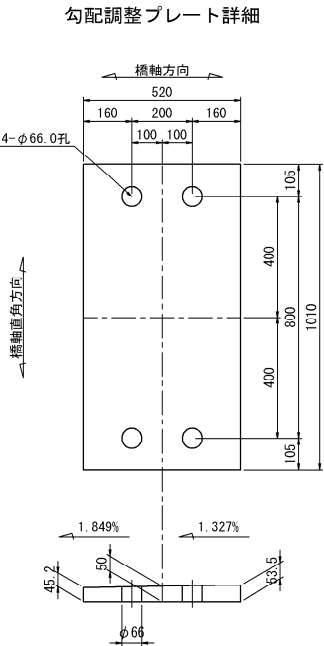
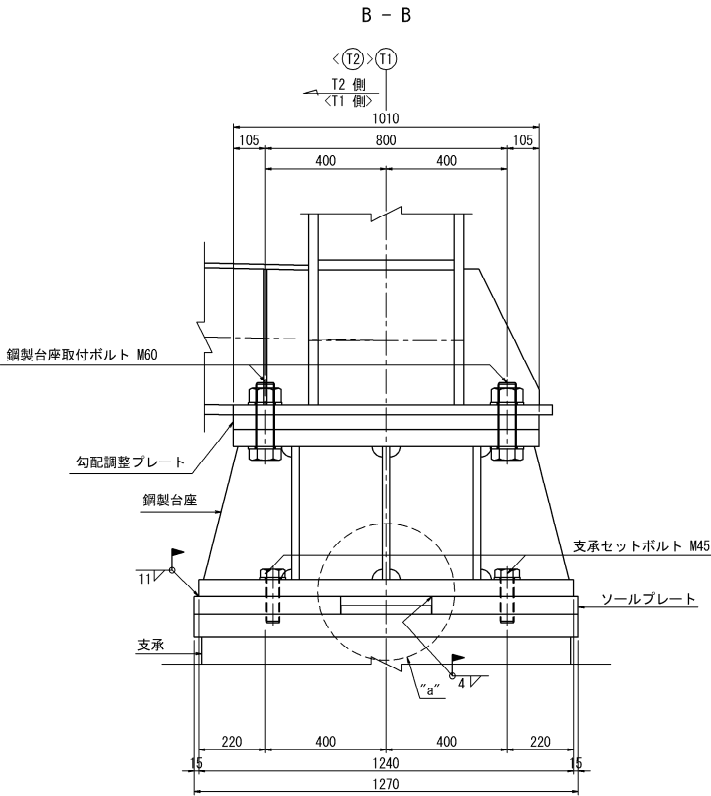
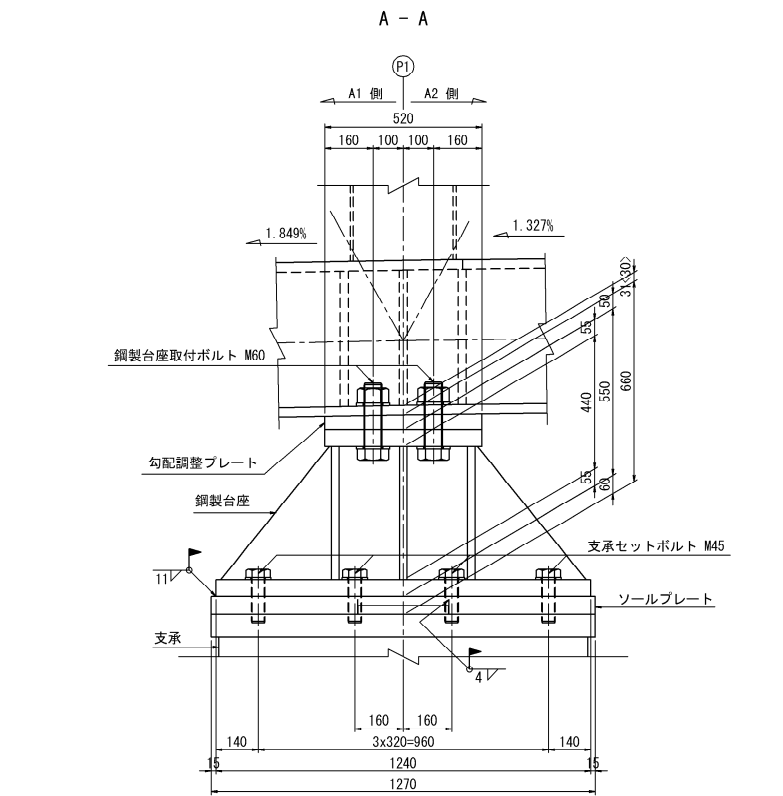
“b”部詳細 S=1:25



- 注 記
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
 2. 既設のコンクリート構造物に削孔を行う場合は既設の鉄筋に損傷を与えないように事前に入念に調査を行い施工すること。
 3. < >内は、T2桁を示す。
 4. コンクリート強度 $\sigma_{ck} \leq 30 \text{ N/mm}^2$ とする。
 5. 現場でのセットボルト及びアンカーボルト位置測定後に支承設計に反映すること。

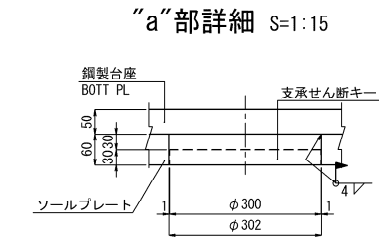
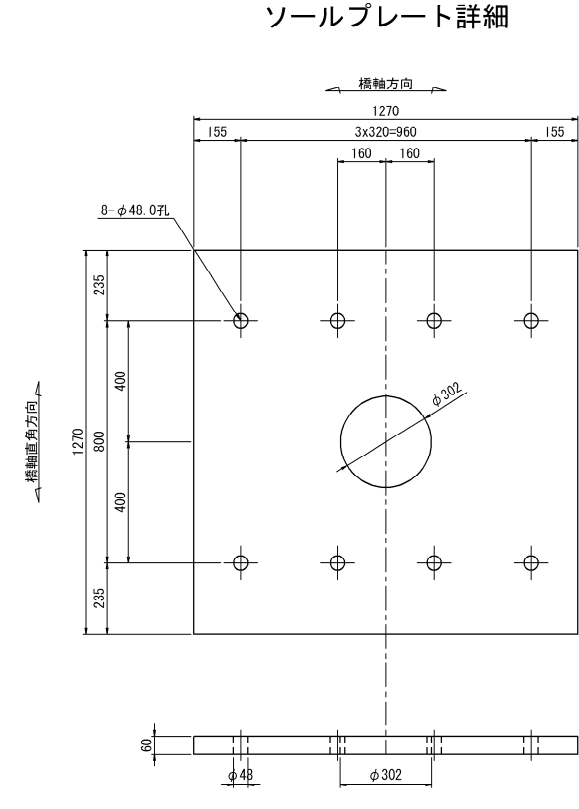
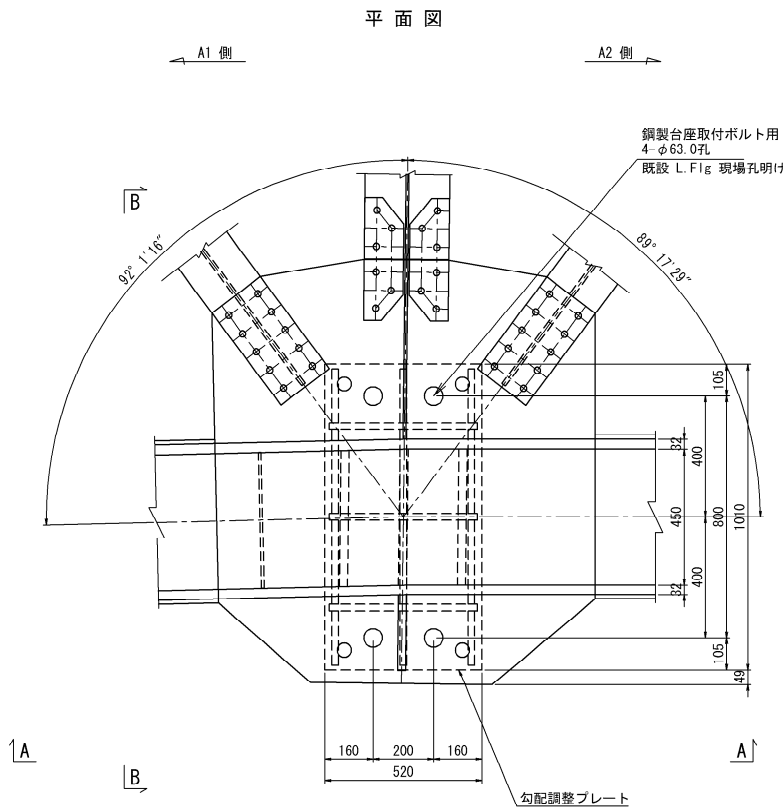
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 支承取替工詳細図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	376/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

上部工側取付部詳細

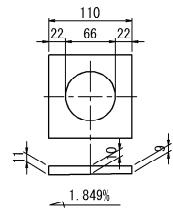


1主構当たり数量(製作数:2基)
1-調整 PL 520x56x1010 (SM400C-H)
1-SOLE PL 1270x60x1270 (SM400C-H)
4 BOLT M60x250 (SS400) (強度区分8, 8)
4-Nut M60 (1種) (SS400)
4-座金 M60 (SS400)
4-PL 110x11x110 (SS400)

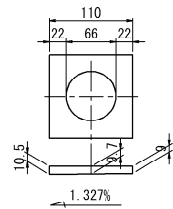
現場孔明け工
1主構当たり数量(全:2箇所)
φ63.0 x4箇所



テーパ座金詳細 S=1:10



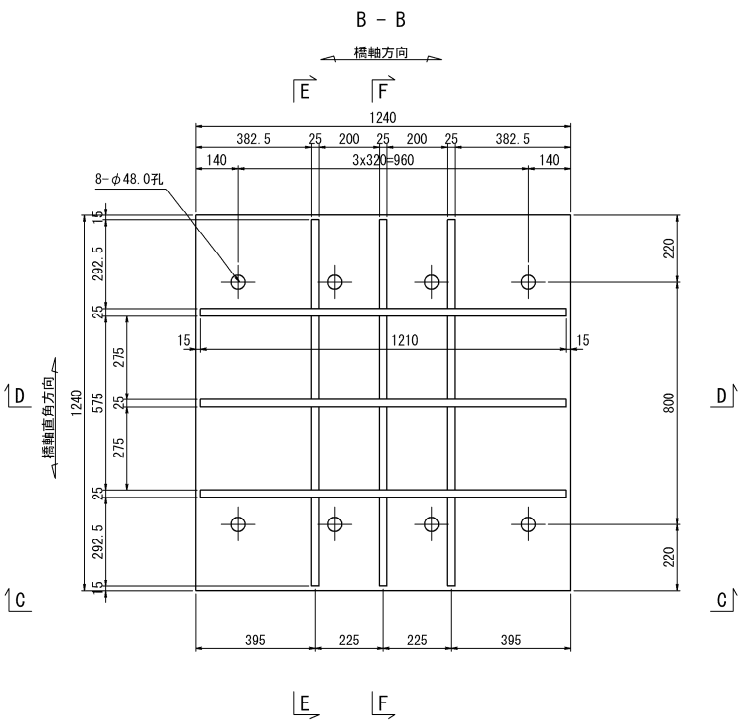
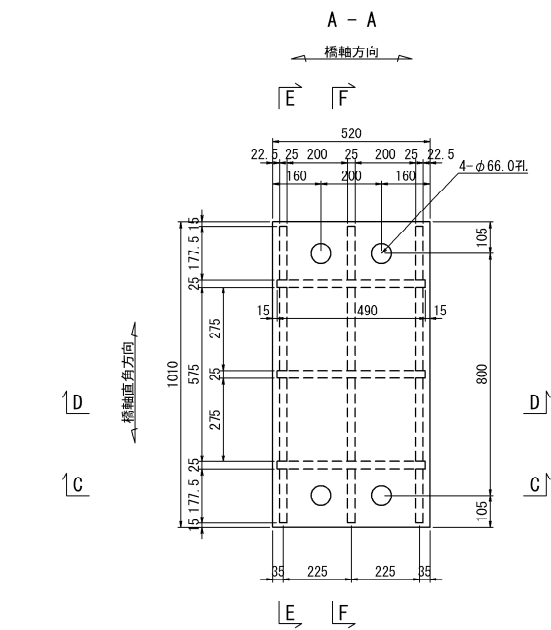
テーパ座金詳細 S=1:10



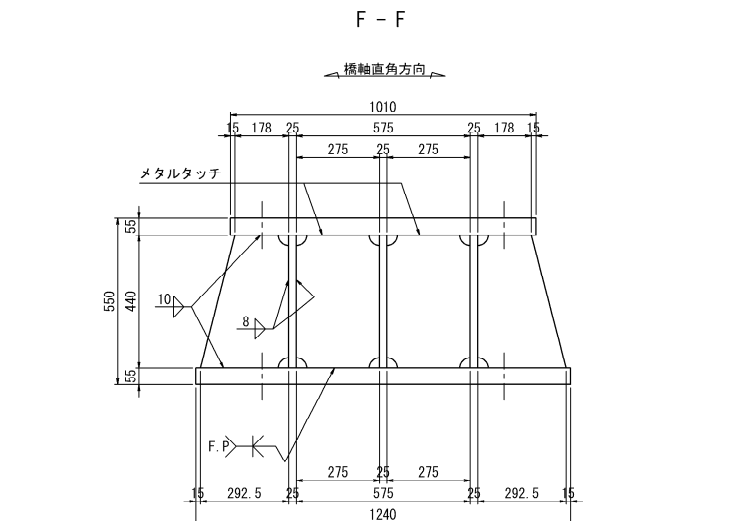
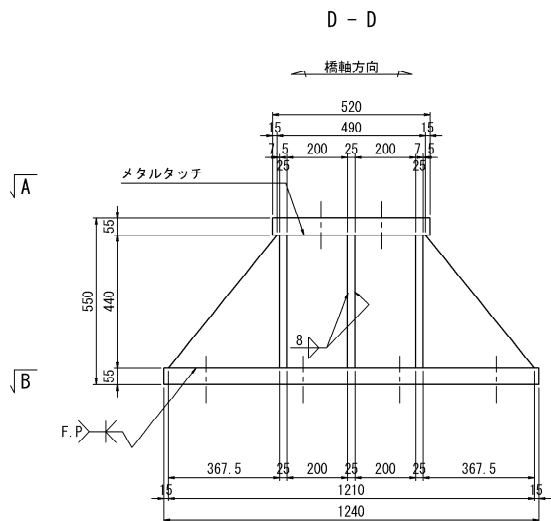
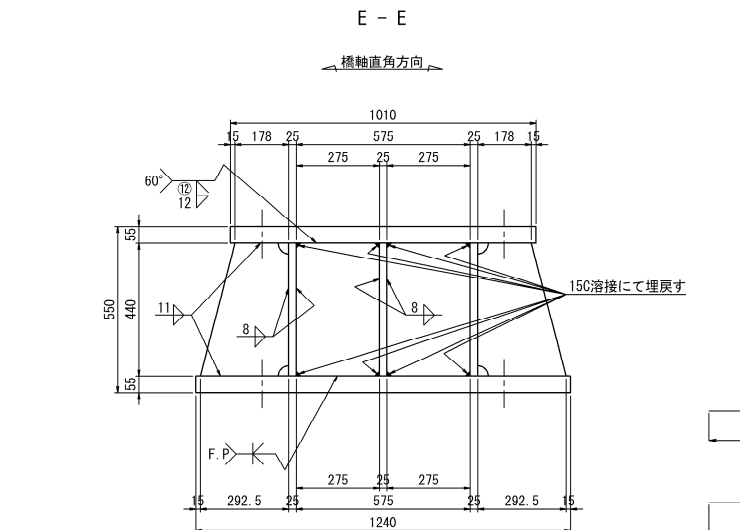
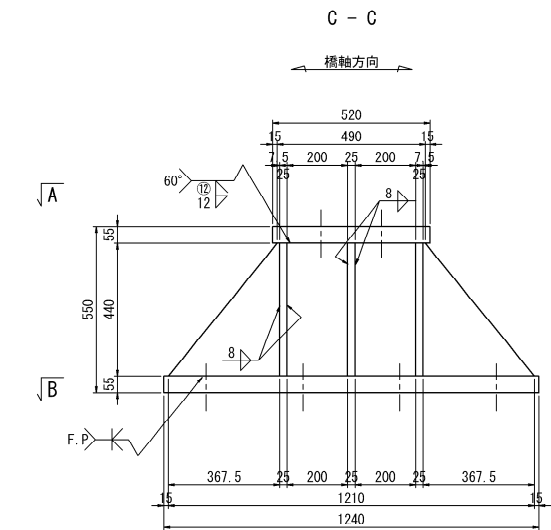
- 注 記
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造物寸法を再確認すること。
 2. 鋼材の加工は現場の調査・計測を行い構造物の形状を最終的に決めてから行うこと。
 3. 現場の調査・計測を元に構造物の形状を変更する場合は必要に応じて応力計算を行うこと。
 4. 特記なきスカーラップは50Rとする。
 5. < >内は、T2桁を示す。
 6. 「F.P.」の表示のある箇所は、完全溶込み溶接とする。
 7. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。
 8. 現場でのセットボルト及びアンカーボルト位置測定後に支承設計に反映すること。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 支承取替工詳細図(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	377/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

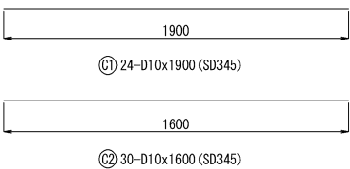
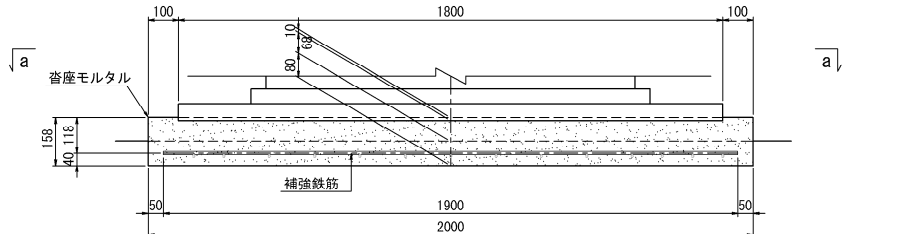
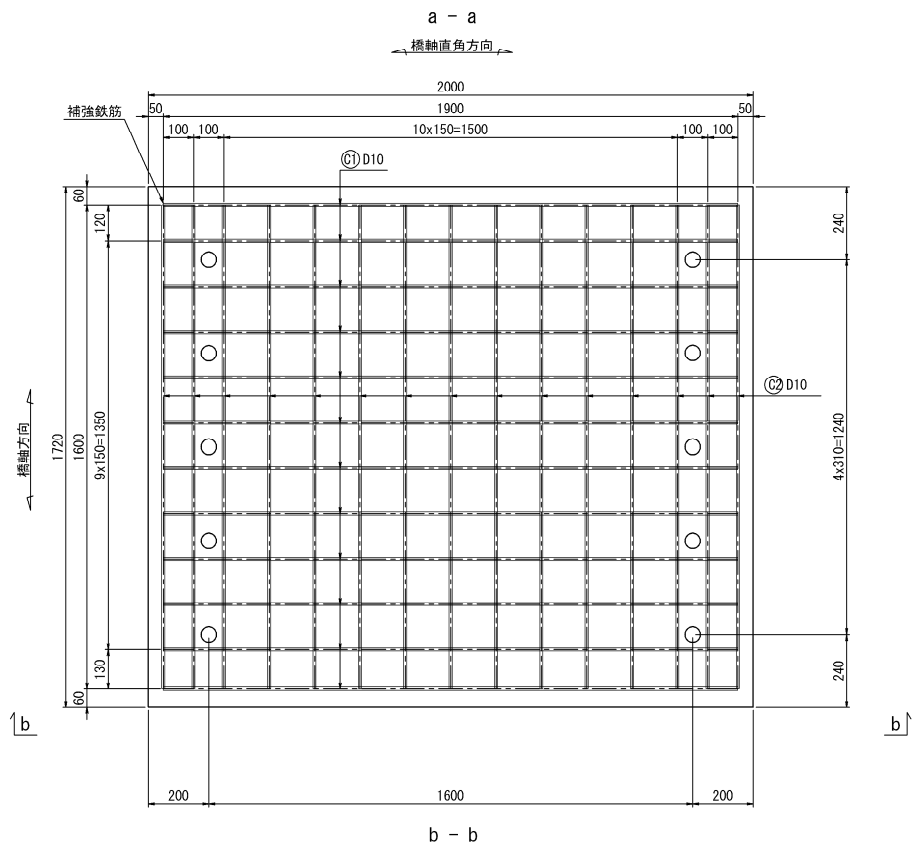
鋼製台座詳細



鋼製台座
1基当たり数量(製作数:2基)
1-TOP PL 520x55x1010 (SM400C-H)
1-BOTT PL 1240x55x1240 (SM400C-H)
3-WEB PL 440x25x1210 (SM400A)
6-WEB PL 440x25x 275 (SM400A)
6-RIB PL 440x25x 293 (SM400A)



下部工側取付部詳細



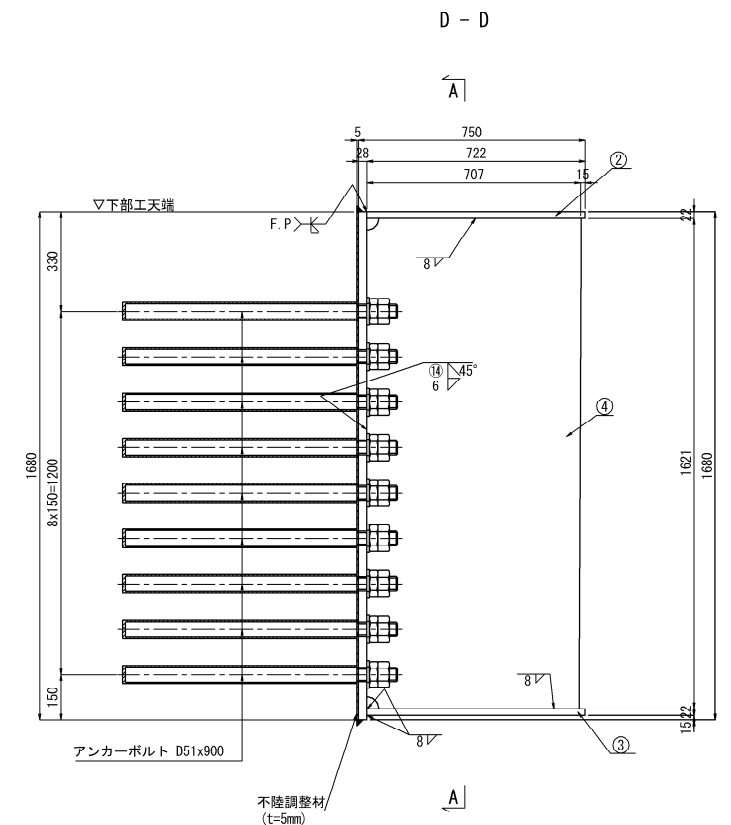
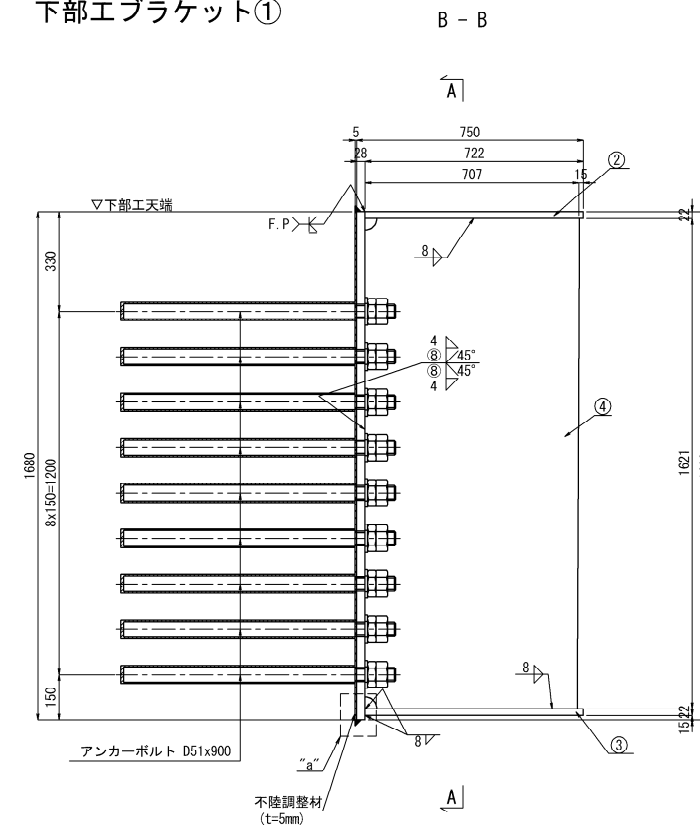
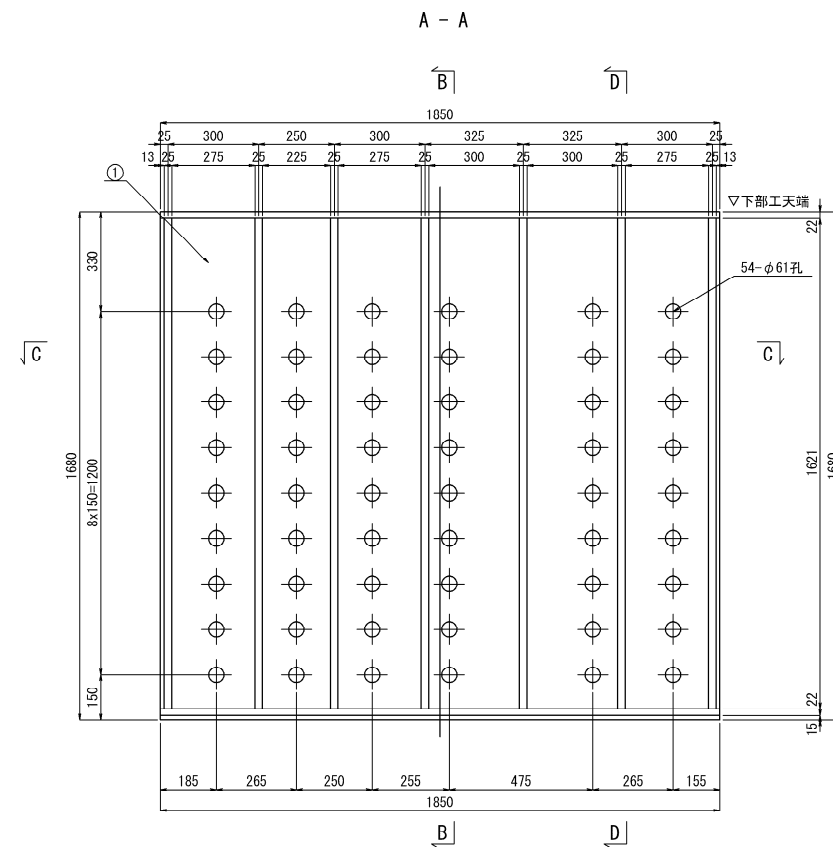
記号	径 (mm)	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
C1	D 10	1900	24	0.560	1.06	25	
C2	D 10	1600	30	0.560	0.896	27	
鉄筋質量							52
合計							52

- 注 記
- 既設構造物の寸法は現地にて再計測の上施工を行うこと。
 - 鋼材の加工は現橋の調査・計測を行い構造物の形状を最終的に決めてから行うこと。
 - 現橋の調査・計測を元に構造物の形状を変更する場合は必要に応じて応力計算を行うこと。
 - 特記なきスカーラップは50Rとする。
 - < >内は、T2桁を示す。
 - 「F.P.」の表示のある箇所は、完全溶込み溶接とする。
 - 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 支承取替工詳細図(その4)		
縮 尺	図示	図面番号	378/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

下部エブラケット詳細図 (A2側)

AT1桁
下部エブラケット①



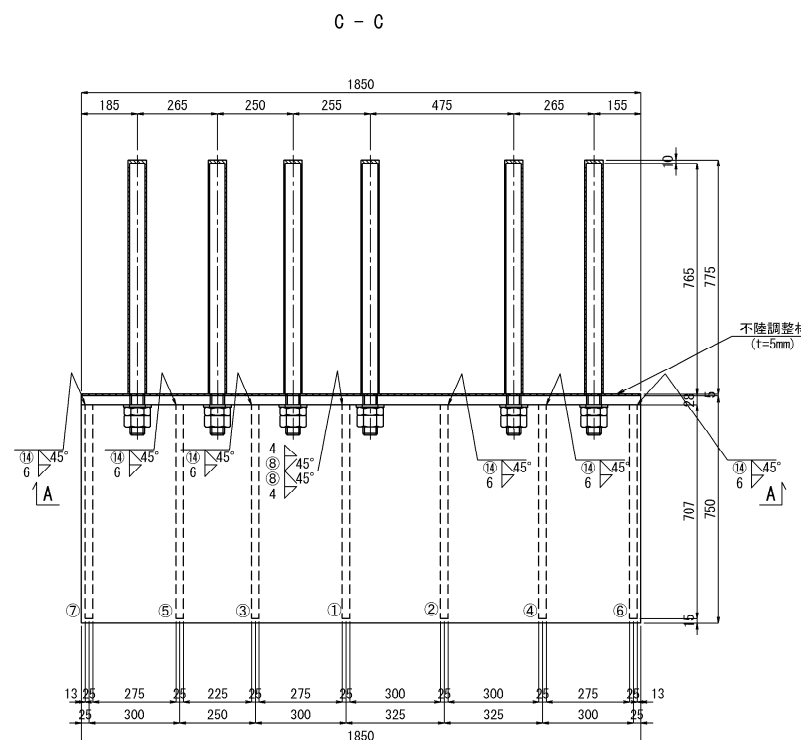
新設材料
下部工ブラケット①
1基当たり数量(製作数:1基)

- ① 1-BASE PL 1680 x28 x1850
- ② 1-UFLG PL 722 x22 x1850
- ③ 1-LFLG PL 722 x22 x1850
- ④ 7-R1B PL 707 x25 x1621
- 54-ANC D51x900 (SD345)
- 54-NUT M48 (1種) (SS400)
- 54-NUT M48 (3種) (SS400)
- 54-WASHER M48 (SS400)

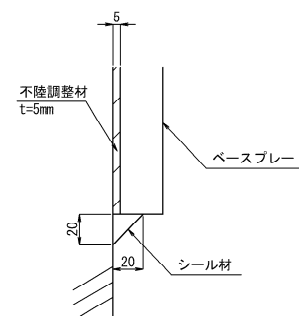
撤去材料
下部エブラケット①
1基当たり数量(製作数:1基)

- ① 1-BASE PL 1680 x28 x1850
- ② 1-UFLG PL 722 x22 x1850
- ③ 1-LFLG PL 722 x22 x1850
- ④ 7-RIB PL 707 x25 x1621

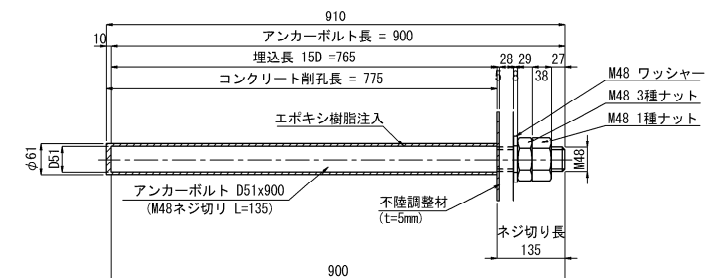
54-NUT M48(1種) (SS400)
54-NUT M48(3種) (SS400)
54-WASHER M48(SS400)



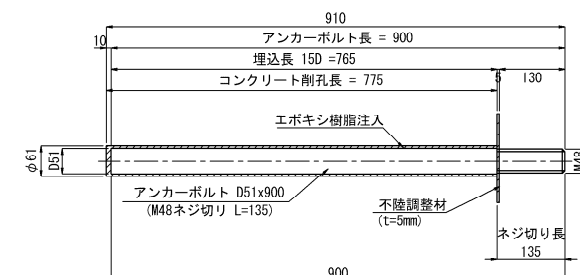
"a"部詳細 S=1:5



新設アンカーボルト詳細図 S-1:15



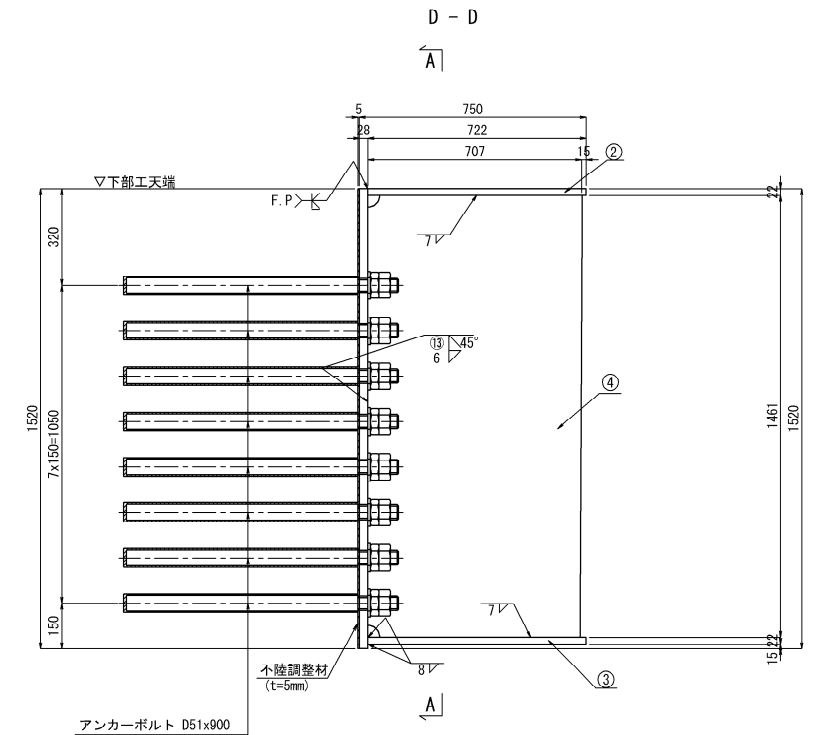
撤去後のアンカーボルト詳細図 S=1:15



- 注 記
1. 特記なき材質等は、全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカーラブは全てR35とする。
 3. 支取取扱完了後「バックアップ」を撤去する。
 4. 工機製作はアンカーボルト剤J1位置等、現場実測確認のうえ行うものとする。
 5. アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。
(亜鉛の付着量は、JIS H 8641 H/D149 とする。)
 6. 撤去部材は無塗装とする。
 7. アンカーボルト孔位置は鉄筋探査後決定とする。
 8. [F、P] の表示のある個所は、完全溶け込み溶接とする。
 9. 仮設鋼製ブラケットと既設コンクリートの接触面はチッピングを行うものとする。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線)P1橋脚 支承取替工 仮設鋼製床プレート 構造図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	379/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野道路事務所		

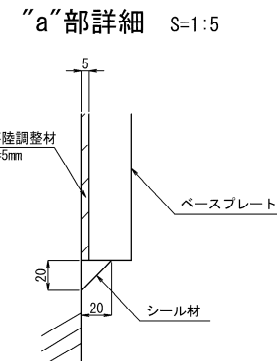
AT2桁
下部エブラケット②



撤去材料
下部エブラケット②
1基当たり数量(製作数:1基)

- ① I-BASE PL 1520 x28 x1850
- ② UFL PL 722 x22 x1850
- ③ I-LFLG PL 722 x22 x1850
- ④ 7-RIB PL 707 x22 x1461

48-NUT M48(1種) (SS400)
48-NUI M48(3種) (SS400)
48-WASHER M48(SS400)

[illegible]

910

10

アンカーボルト長 = 900

埋込長 150 ≒765

コンクリート削孔長 = 775

5

130

エポキシ樹脂注入

φ61

φ51

φ48

アンカーボルト φ51×900
(M48ネジ切り l=135)

不陸調整材
(t=5mm)

ネジ切り長 135

900

- | | | | |
|---------------------|--|------|---------|
| 長野自動車道
五常橋床版取替工事 | | | |
| 図面の種類 | 滝ノ沢橋(上り線)P1橋脚 支承取替工
仮設鋼製フラット 構造図(その2) | | |
| 縮 尺 | 図示 | 図面番号 | 380/532 |
| 設計会社名 | 八千代エンジニアリング株式会社 | | |
| 施工会社名 | | | |
| 事務所名 | 東日本高速道路株式会社 関東支所
長野工事事務所 | | |

※ ①～⑦はあくまで案である。実際の製作時に工場に確認する必要あり。

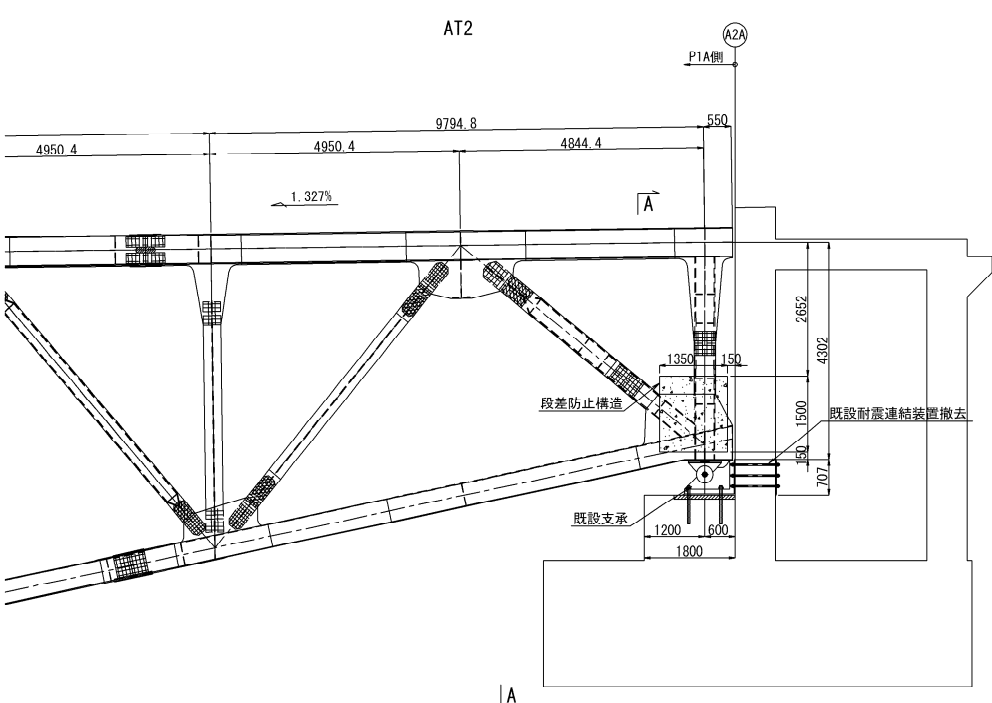
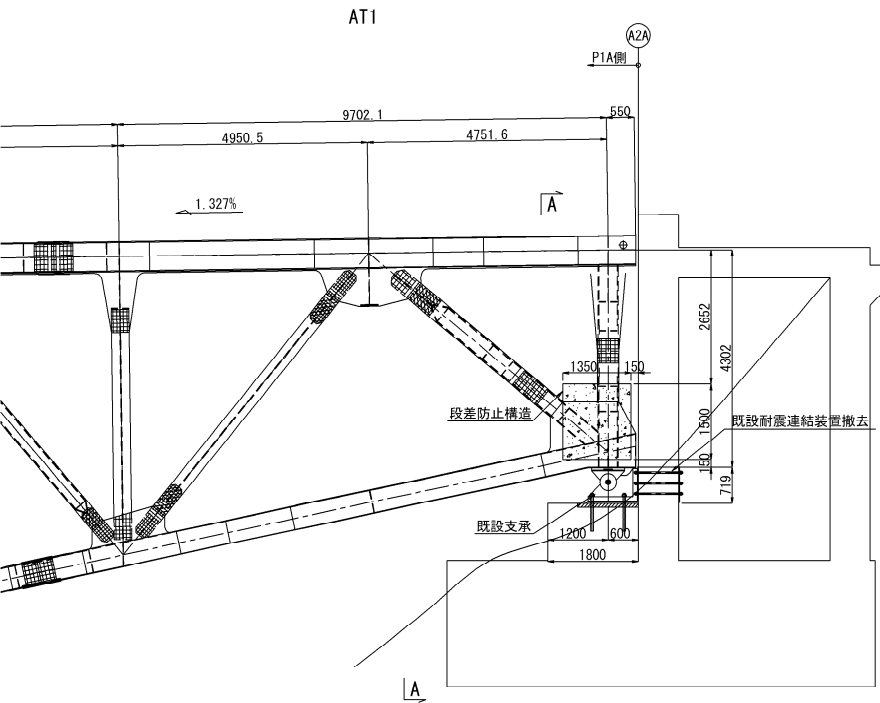
滝ノ沢橋(上り線) A2橋台 支承取替工配置図(その1)

S=1:150

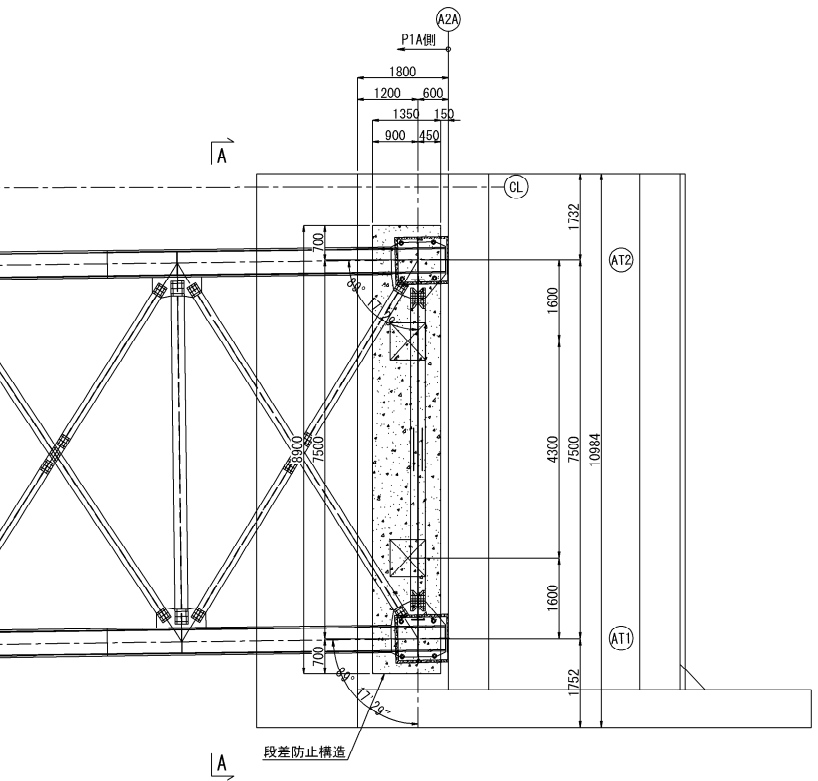
381/532

ジャッキアップ時

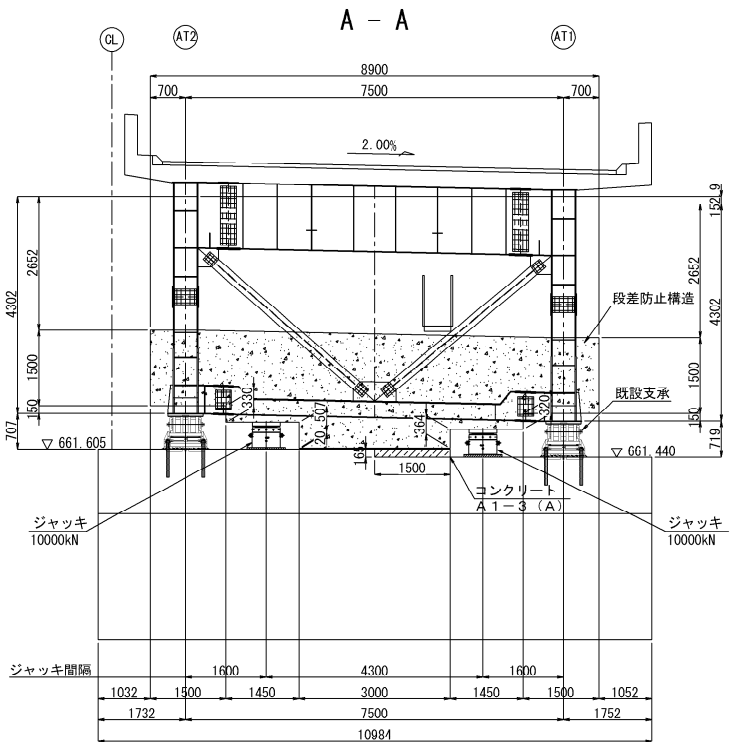
側面図



平面図



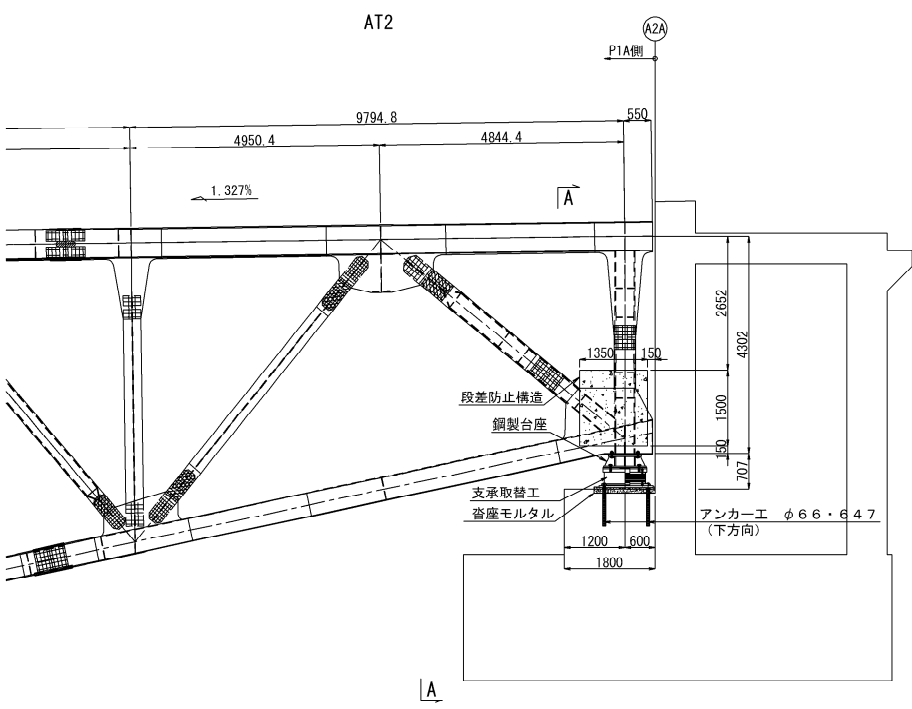
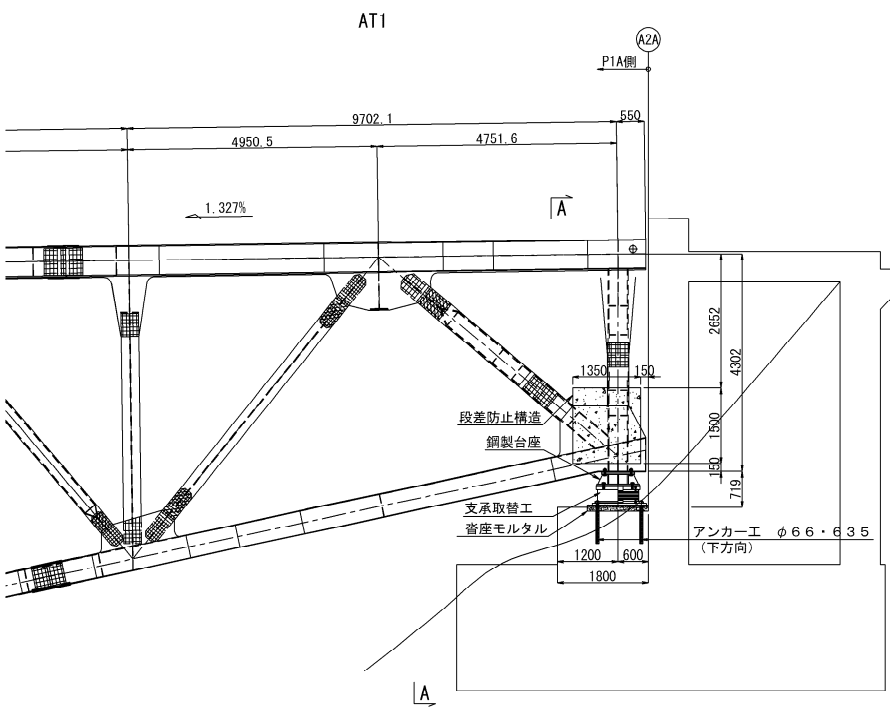
正面図



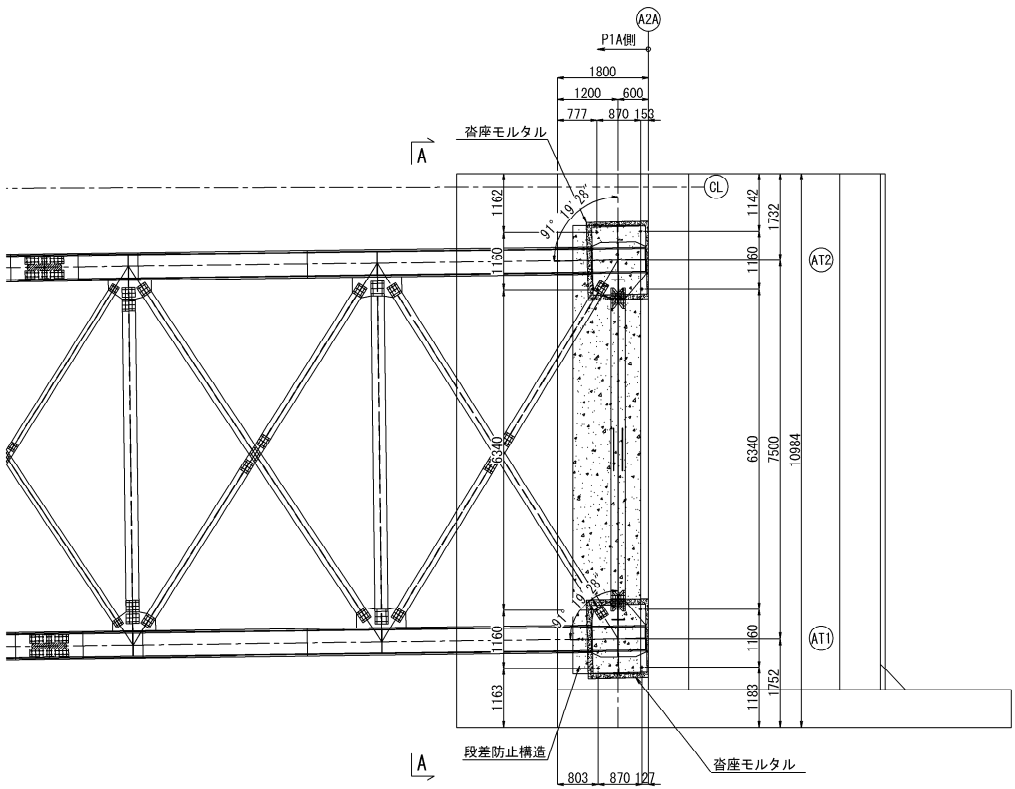
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A2橋台		
	支承取替工配置図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	381/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

支承取替工

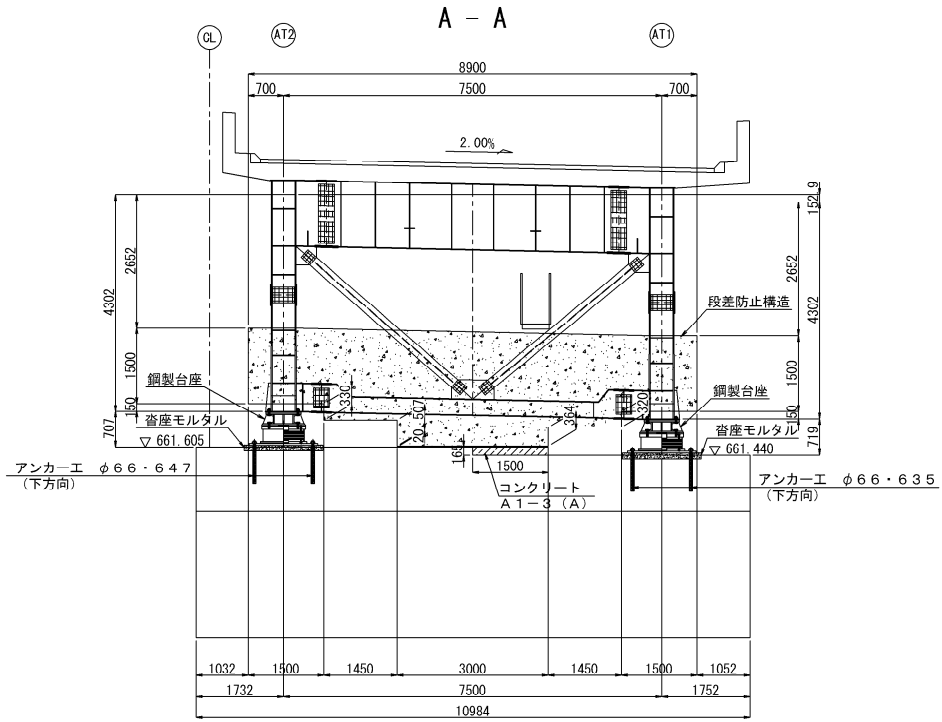
側面図



平面図



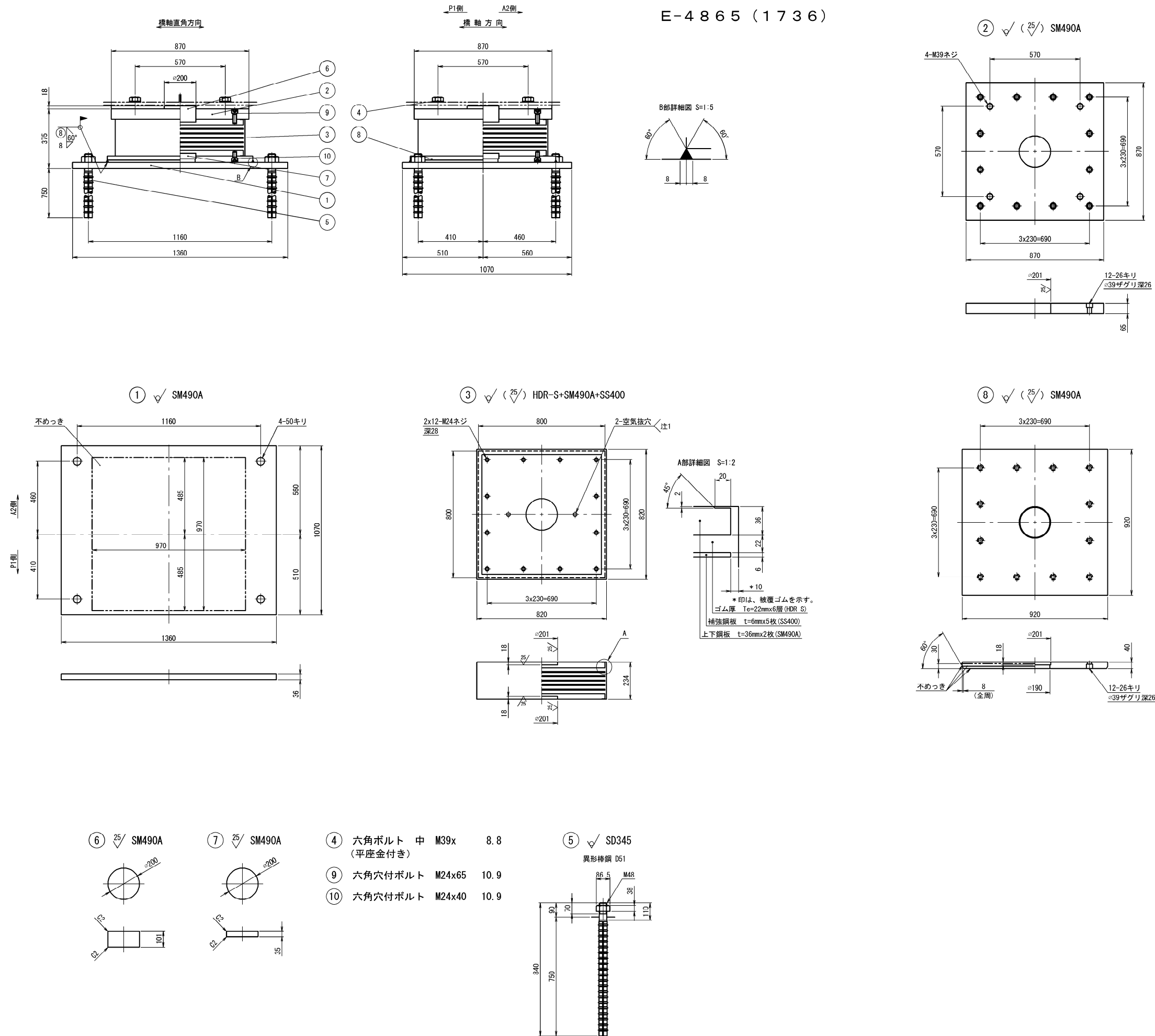
正面図



長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A2橋台 支承取替工配置図(その2)		
	縮尺	図示	図面番号 382/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

滝ノ沢橋(上り線) A2橋台 支承取替工詳細図(その1)(参考図) S=1:25

E-4 8 6 5 (1 7 3 6)



免震支承設計条件

反 力		
全 反 力	R	4065 kN
死 荷 重 反 力	Rd	3595 kN
橋軸方向水平力 (地震時)	Rh1e	705 kN
橋軸直角方向水平力 (地震時)	Rh2e	1080 kN
上 揚 力 (地震時)	V	1079 kN
移 動 量		
最 大 変 位 量 (地震時)	UB	± 213 mm
ゴ ム 審		
せん 断 弾 性 係 数	Ge	1.0 N/mm ²
破 断 ひ ず み	γu	600 %
試 験 変 位 量	ΔL	± 231 mm
等 価 剛 性	KB	5.030 kN/mm
等 価 減 衰 定 数	hB	17.3 %
許 容 せん 断 ひ ず み	γs	250 %
2 次 形 状 係 数	S2	6.06
照 査 荷 重	R1L	634.8 kN
照 査 荷 重 時 圧 縮 変 位 量	δcL	0.320 mm
支 承 部 支 持 条 件		
橋軸方向： 免震		橋軸直角方向： 免震

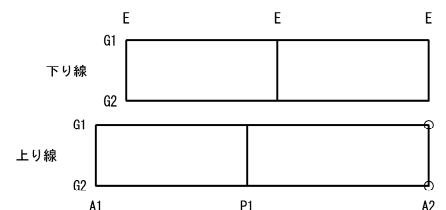
注) 上記の等価剛性・等価減衰定数は試験変位量に対する値を示す。

材料表

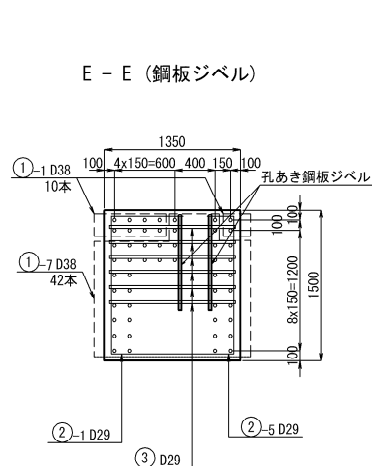
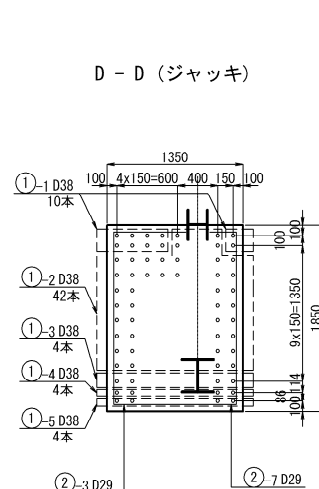
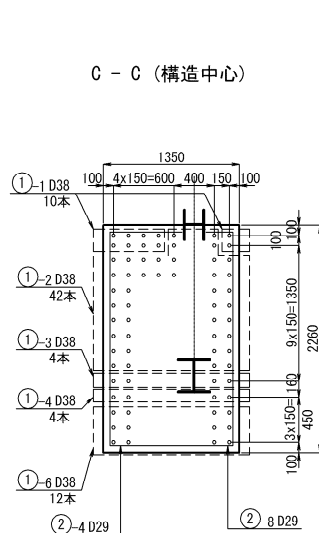
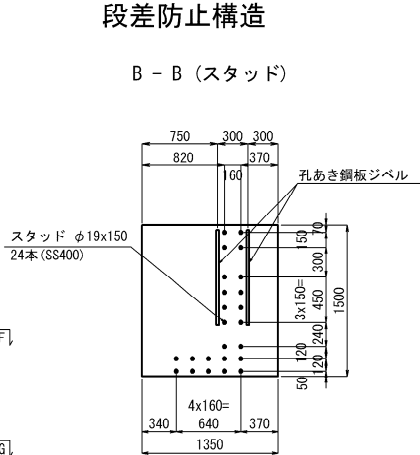
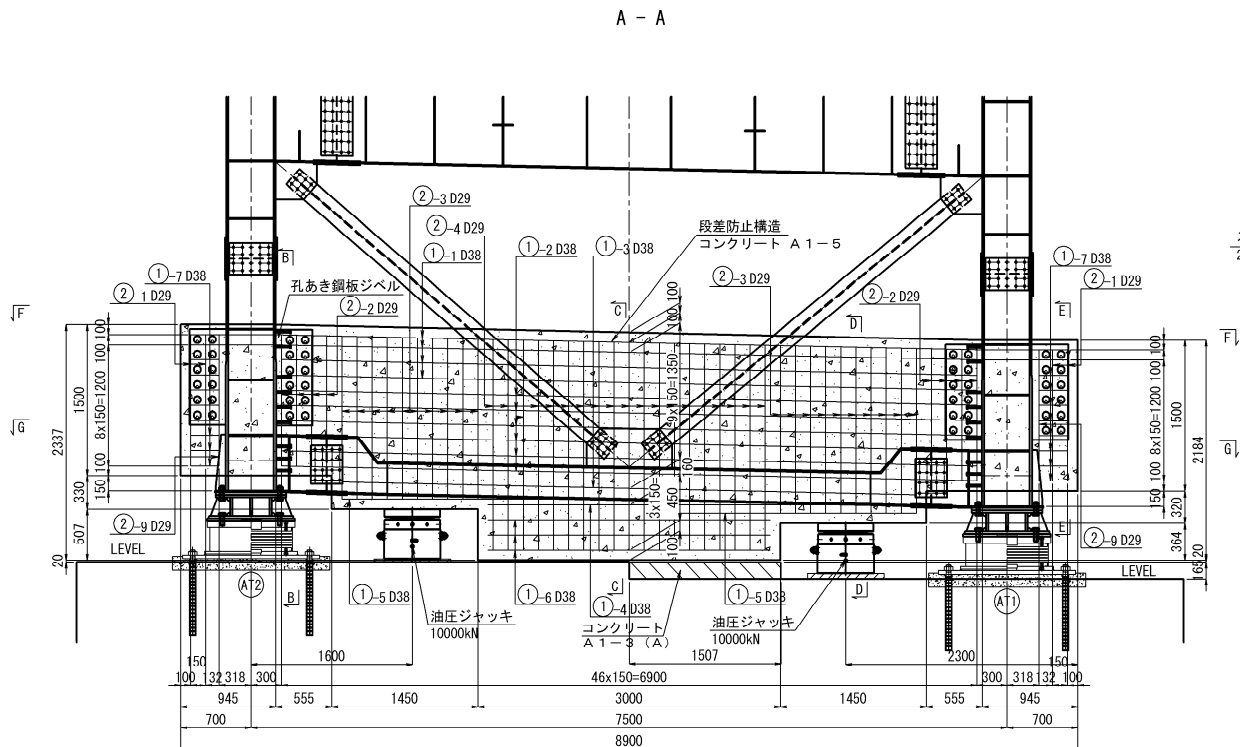
部番	部 品 名 称	材 質	個数	重量(kg)	備 考
①	ベースプレート	SM490A	1	409. 0	
②	下 砦	SM490A	1	362. 9	
3	ゴ ム 砦	HDR-S+SM490A +SS400	1	607. 1	
④	六角ボルト産金	—————	4	6. 5	JIS B 1180
⑤	アンカーボルト・ナット	SU345	4	56. 6	JIS B 1181
⑥	せん断きり	SM490A	1	24. 9	
⑦	せん断きり	SM490A	1	8. 6	
⑧	下 砦	SM490A	1	252. 8	
9	六角穴付ボルト	—————	12	4. 2	JIS B 1176
10	六角穴付ボルト	—————	12	3. 2	JIS B 1176
全 重 量				1735. 8	(kg)
一 般 外 面 の 防 食 処 理					
溶融亜鉛めっき					
材料表部番の○印部品をめっきのこと。 JIS H 8641 HDZT77、HDZT49 (本丸焼)					

- 注1 製作会社において、不要な場合は設けなくてもよい。
- 注2 必要に応じて吊り用のオジケを設けてもよい。
- 注3 ゴム支承の上下鋼板露出部は、金属亜鉛末を70%以上含む高濃度亜鉛末塗料を塗布すること（塗膜厚75μm以上）。
- 注4 六角六付ボルトは黒色酸化皮膜処理ボルトを使用し、締付け後、高濃度亜鉛末塗料を塗布のこと。
- 注5 ゴム寄側面は、クロロスルホン化ポリエチレン系塗料を塗布のこと。
- 注6 部番4の六角ボルト・座金の重量は、参考値とする。
- 注7 現場溶接部付近は不めくちとして開先防錆塗料を塗布し、溶接後高濃度亜鉛末塗料を塗布のこと。
- 注8 アンカーボルト配置は、現場実測後決定のこと。

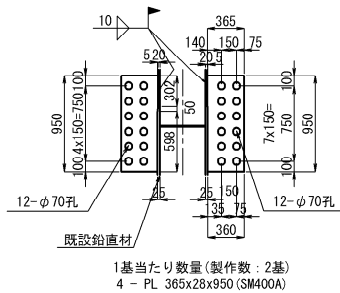
配置图



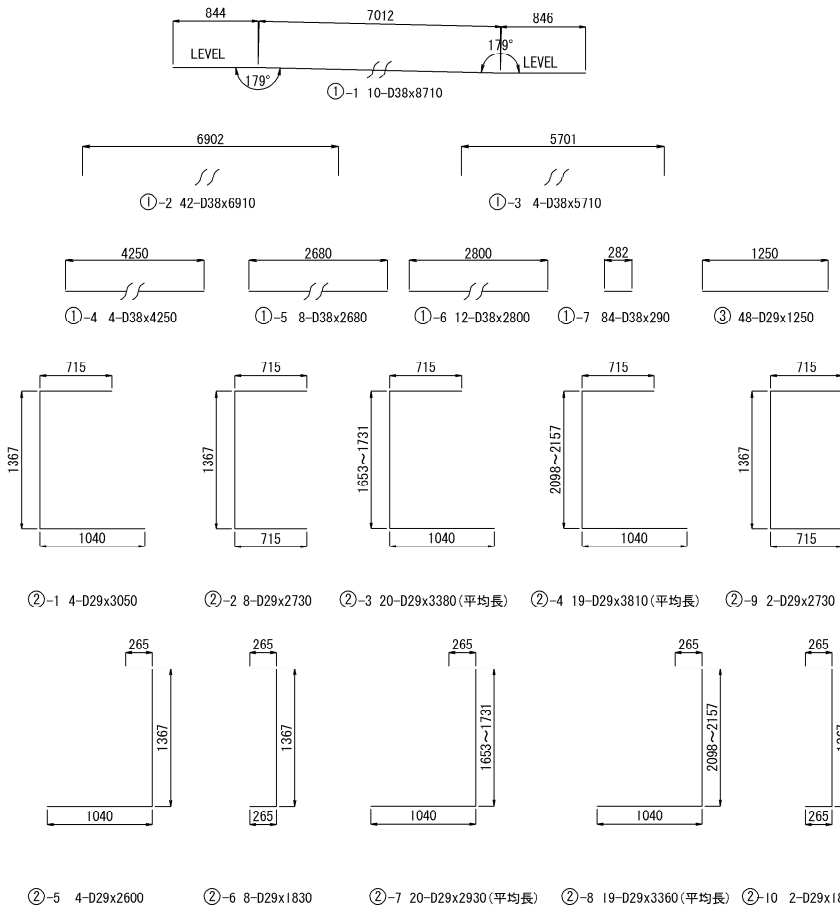
長野自動車道			
五ヶ所橋床版取替工事			
図面の種類	海ノ沢橋(上り) A2橋台		
	支取取替詳細図(その1) (参考図)		
縮 尺	1:25	図面番号	383/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野 野 事 務 所		



孔あき鋼板ジベル詳細



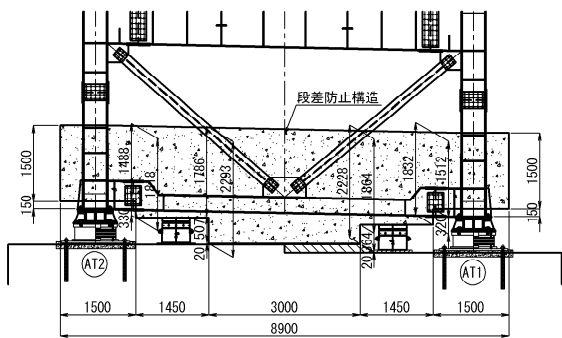
鉄筋加工図



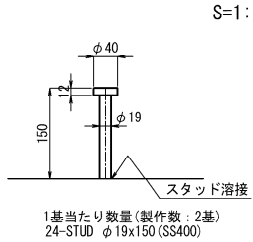
材 料 表 (一箇所当たり)

記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
A2橋台							
1-1	D38	8710	10	8.95	78.0	780	
1-2	D38	6910	42	8.95	61.8	2596	
1-3	D38	5710	4	8.95	51.1	204	
1-4	D38	4250	4	8.95	38.0	152	
1-5	D38	2680	8	8.95	24.0	192	
1-6	D38	2800	12	8.95	25.1	301	
1-7	D38	290	84	8.95	2.60	218	
2-1	D29	3050	4	5.04	15.4	62	
2-2	D29	2730	8	5.04	13.8	110	
2-3	D29	3380	20	5.04	17.0	340	平均長
2-4	D29	3810	19	5.04	19.2	365	平均長
2-5	D29	2600	4	5.04	13.1	52	
2-6	D29	1830	8	5.04	9.22	74	
2-7	D29	2930	20	5.04	14.8	296	平均長
2-8	D29	3360	19	5.04	16.9	321	平均長
2-9	D29	2730	2	5.04	13.8	28	
2-10	D29	1830	2	5.04	9.22	18	
3	D29	1250	48	5.04	6.30	302	
6411 kg							
鉄筋質量				SD345	D38	4443 kg	
				SD345	D29	1968 kg	
現場打ち頭付きスタッド本数				φ19×150(SS400)	48	本	
コンクリート体積					22.3	m ³	
型 枠 面 積					51.3	m ²	

段差防止構造詳細図 S=1:150



現場打ち頭付きスタッド詳細 S=1:12.5



鉄筋曲げ加工表

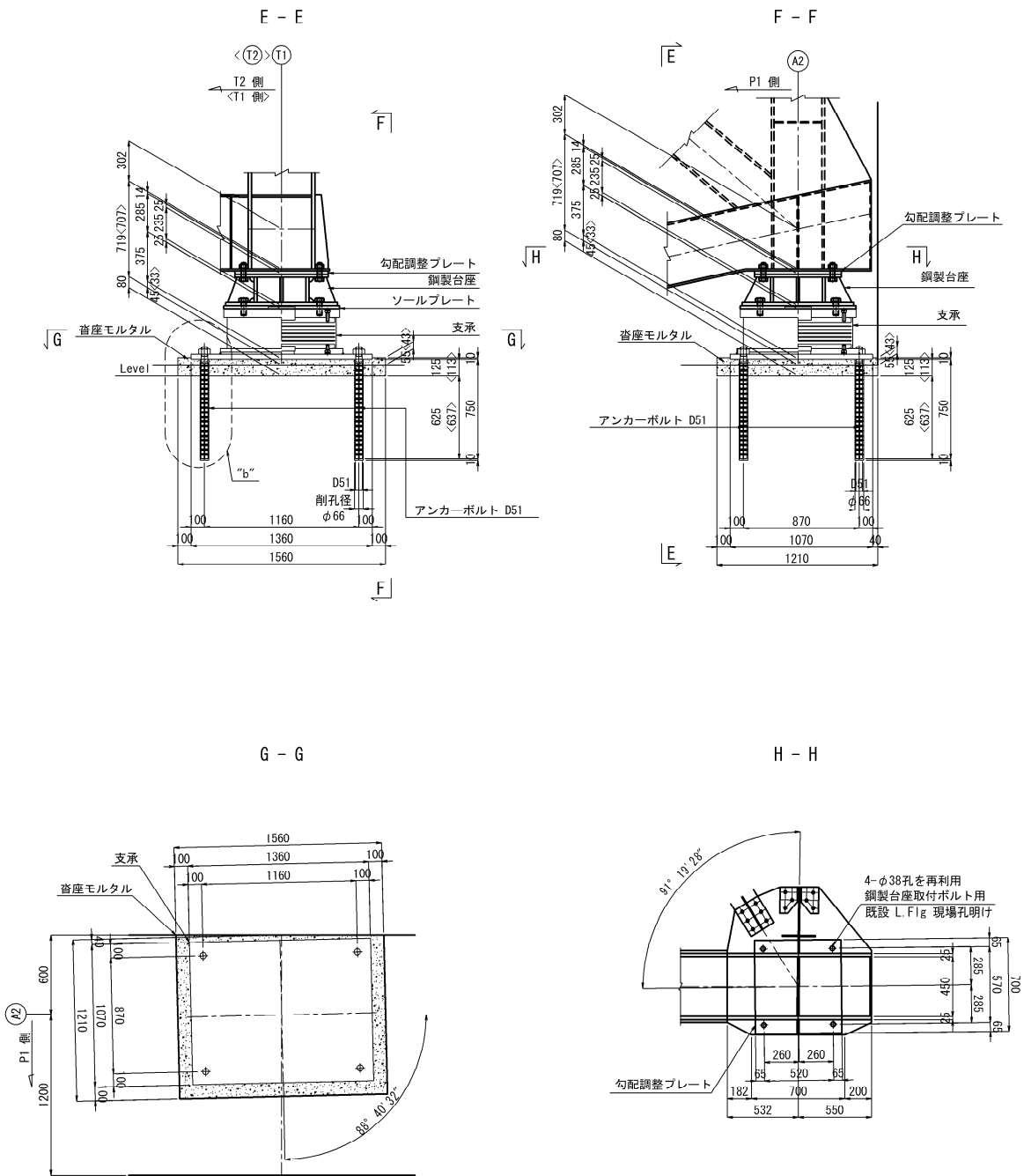
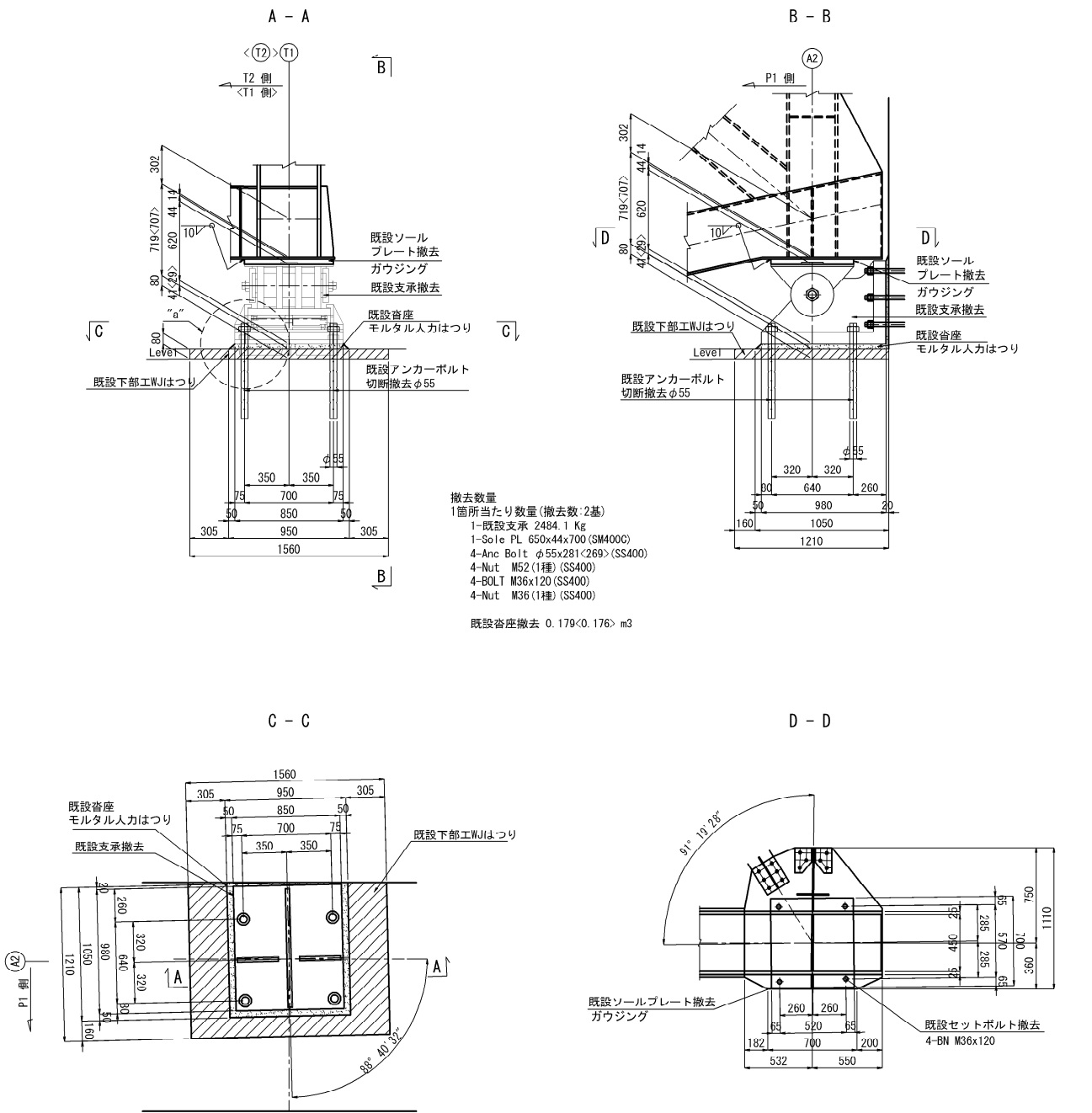
- 注 記
- 段差防止構造のコンクリート強度は $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ 橋座部のコンクリート強度は $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ とする。
 - 施工にあたっては現地測量を行い、既設構造・法等を再確認すること。

主 筋				
径	$\theta \leq 90^\circ$ $R=3.0\phi$	$\theta > 90^\circ$ $R=5.5\phi$	$\theta=90^\circ$ a	ΔL
D29	87	159.5	137	37
D38	114	209	179	49

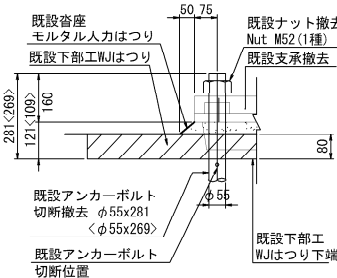
長 野 自 動 車 道 五 常 橋 床 版 取 替 工 事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A2橋台 支承取替工詳細図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	384/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事 務 所 名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		

既設支承撤去図

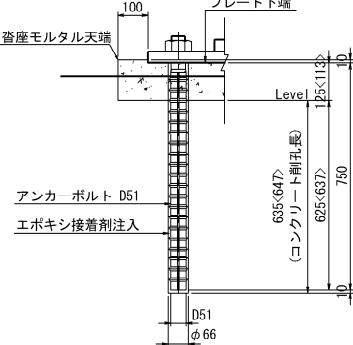
支承取付図



“a”部詳細 S=1:25



“b”部詳細 S=1:25



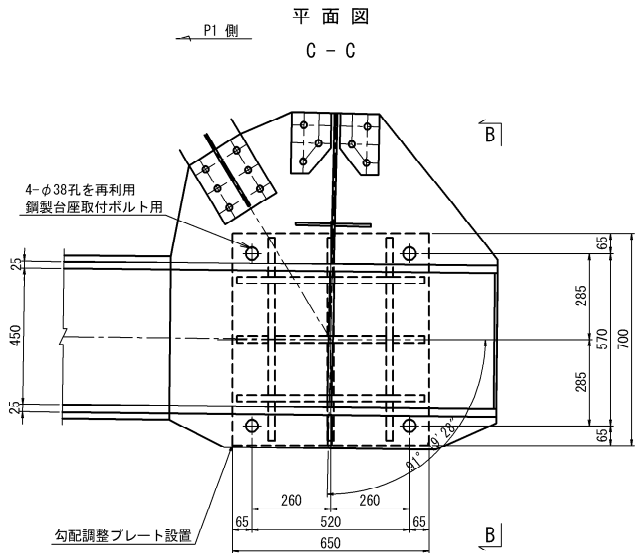
- 注 記
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
 2. 既設のコンクリート構造物に削孔を行う場合は既設の鉄筋に損傷を与えないように事前に入念に調査を行い施工すること。
 3. < >内は、T2桁を示す。
 4. 現場でのセットボルト及びアンカーボルト位置測定後に支承設計に反映すること。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A2橋台 支承取替工詳細図(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	385/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

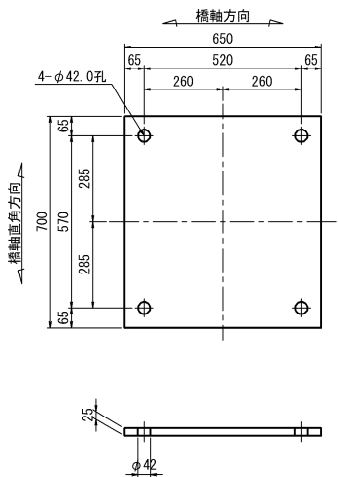
滝ノ沢橋(上り線) A2橋台 支承取替工詳細図(その4) S=1:25

AT1・AT2

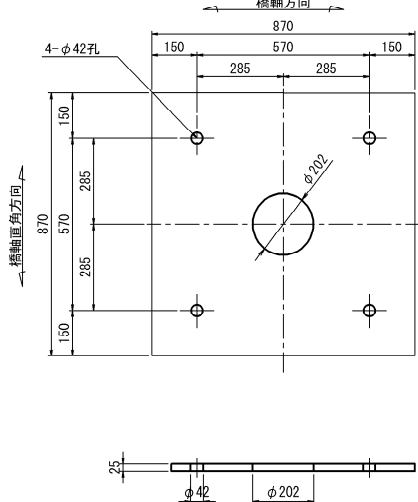
上部工側取付部詳細



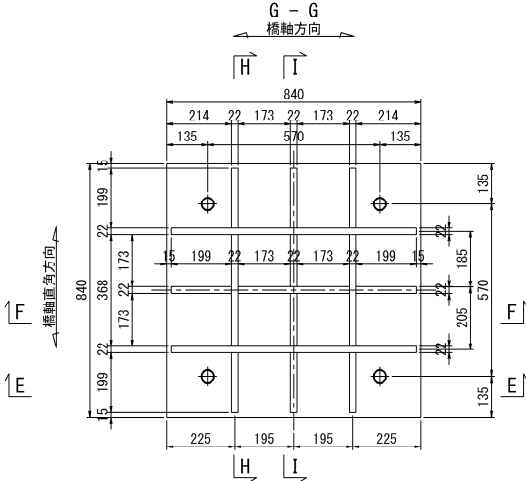
勾配調整プレート詳細



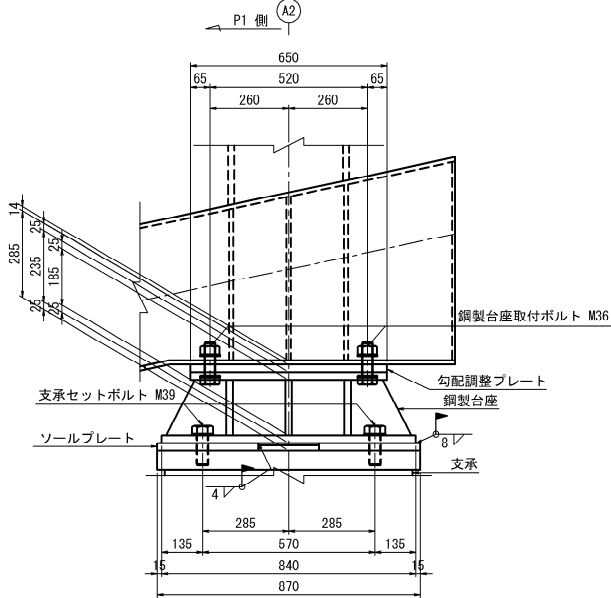
ソールプレート詳細



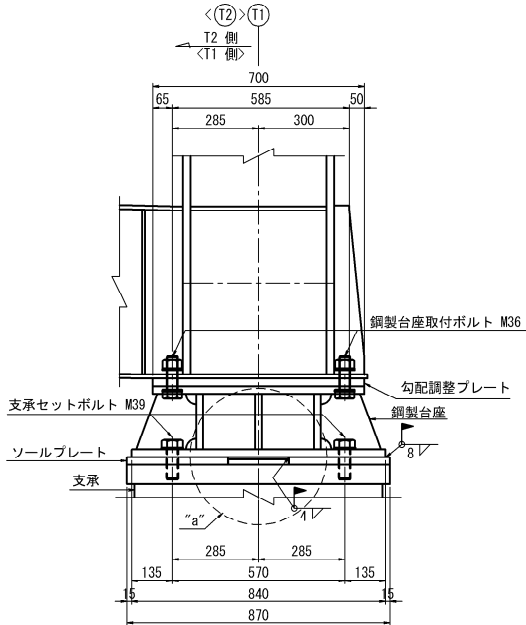
鋼製台座詳細



A - A

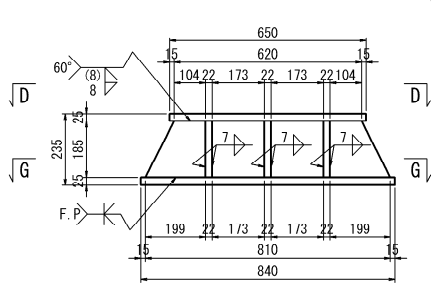


B - B

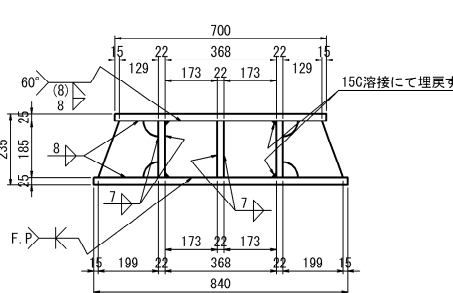


- 1主構当たり数量(製作数:2基)
- 1-調整 PL 650x25x700 (SM400A)
 - 1-SOLE PL 870x25x870 (SM400A)
 - 4-BOLT M36x120 (SS400) (強度区分8.8)
 - 4-Nut M36 (1種) (SS400)
 - 8-座金 M36 (SS400)

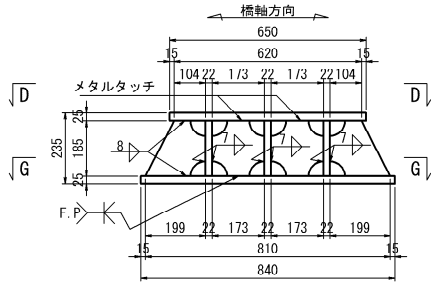
E - E



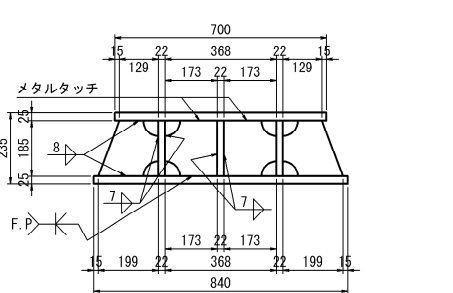
H - H



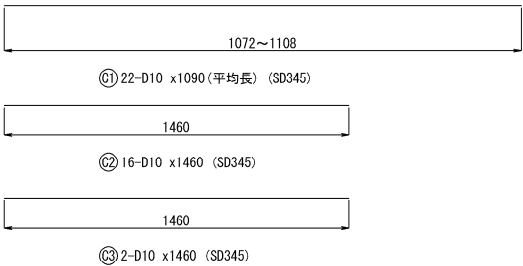
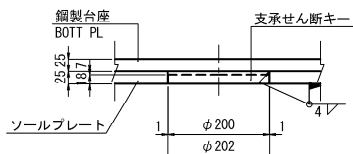
F - F



I - I

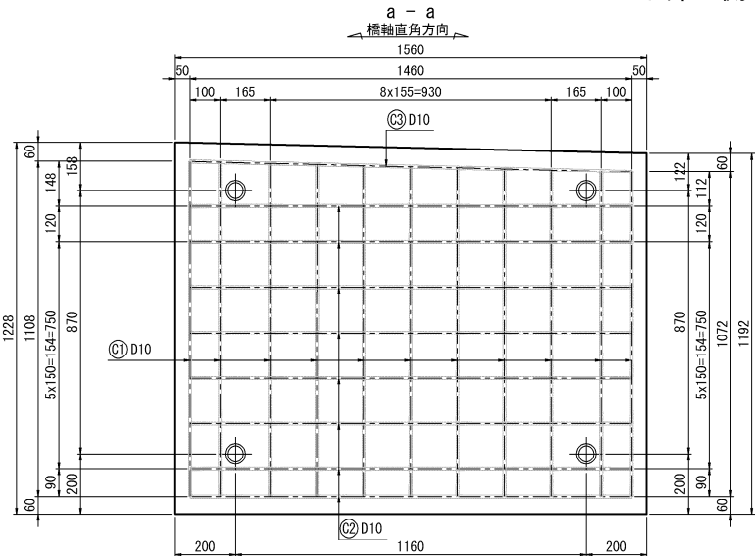


"a"部詳細 S=1:15

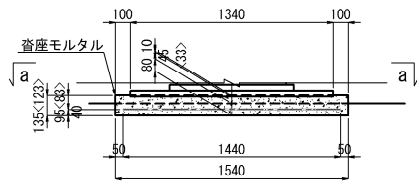


記号	径 (mm)	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
C1	D10	1100	22	0.560	0.616	14	平均長
C2	D10	1460	16	0.560	0.818	13	
C3	D10	1460	2	0.560	0.818	2	
							29
鉄筋質量							D10 SD345 29
合計							SD345 29

下部工側取付部詳細



b - b S=1:50

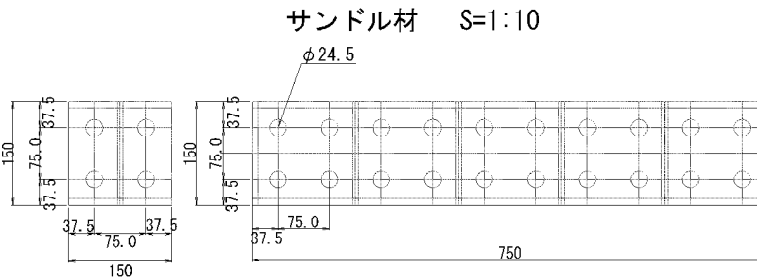
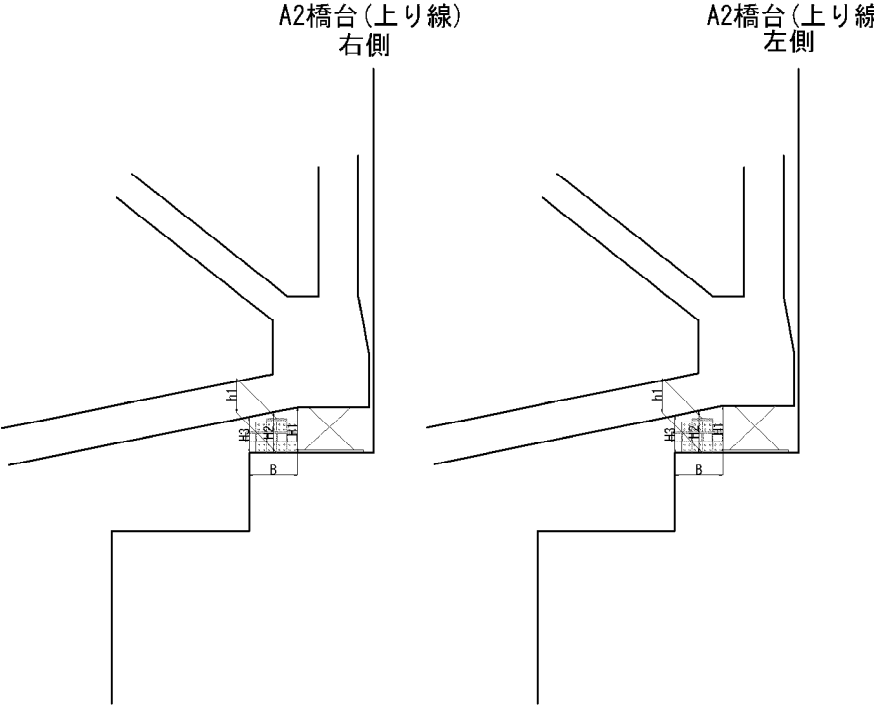
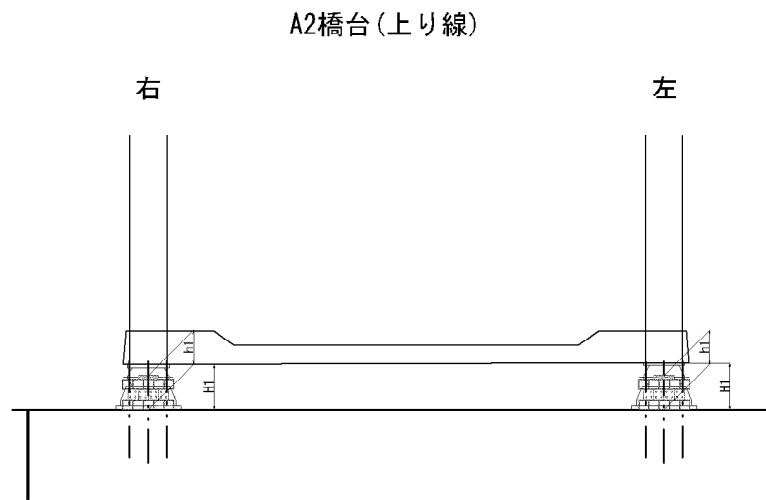
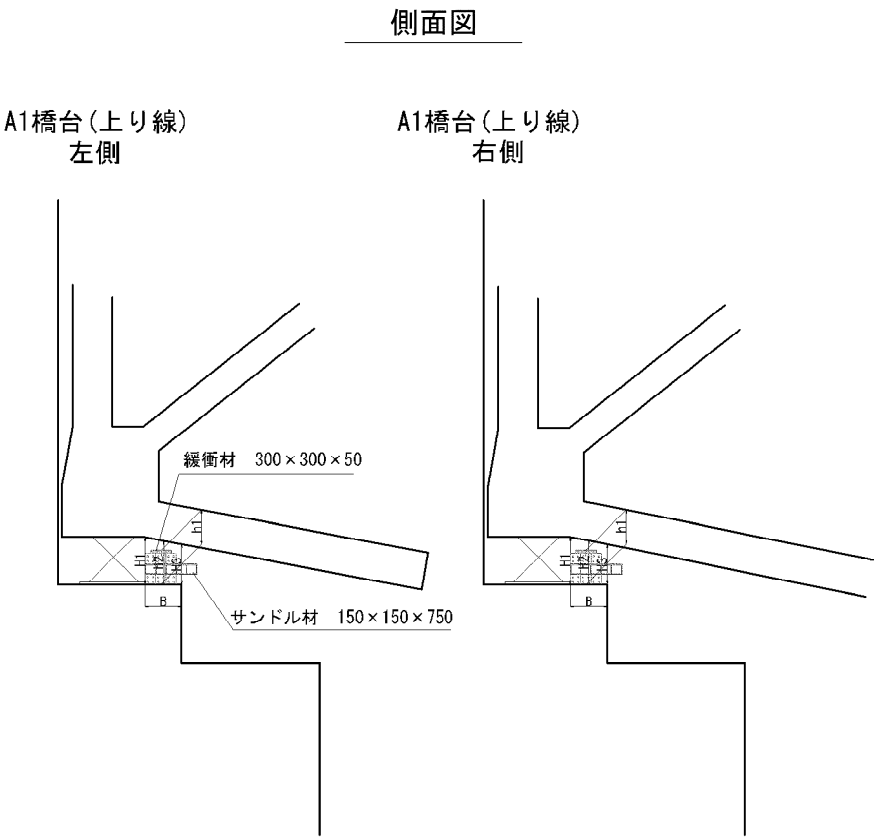
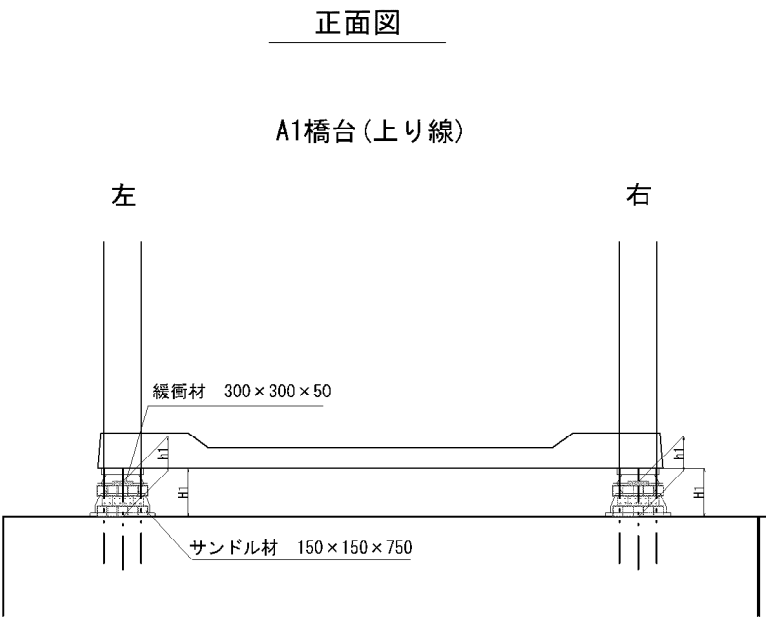
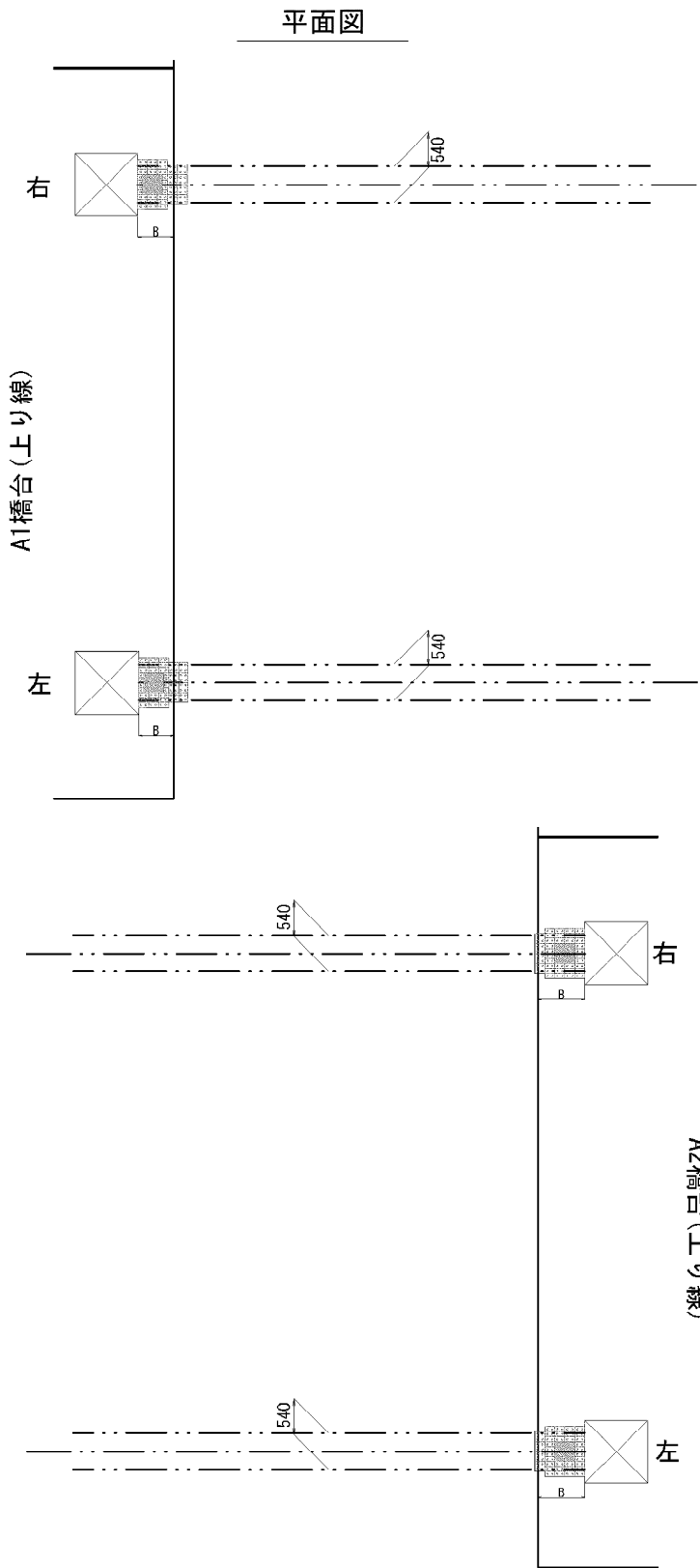


- 注 記
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
 2. 鋼材の加工は現場の調査・計測を行い構造物の形状を最終的に決めてから行うこと。
 3. 現場の調査・計測を元に構造物の形状を変更する場合は必要に応じて応力計算を行うこと。
 4. 特記なきスカーラップは50Rとする。
 5. <>内は、T2桁を示す。
 6. 「F.P.」の表示のある箇所は、完全溶込み溶接とする。
 7. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。
 8. 現場でのセットボルト及びアンカーボルト位置測定後に支承設計に反映すること。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A2橋台 支承取替工詳細図(その4)		
縮 尺	図示	図面番号	386/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) 既設段差防止構造配置図

A1橋台・A2橋台



測定箇所		桁下高(mm)			沓座モルタル端から 橋台端までの距離(mm)	段差防止タイプ 直角×橋軸	サンドル段数 (H=150mm)	サンドル高さ+ 緩衝材高さ合計(mm)	桁下と緩衝材まで の高さ(mm)	規定 200mm 未満	サンドル 本数	備考
		H1	H2	H3								
滝ノ沢橋 (上り線)	A1	右	695	645	590	540	3列×4列	3	3@150 = 450+50 = 500	195~90	10	
		左	695	640	590	530	3列×4列	3	3@150 = 450+50 = 500	195~90	10	
	A2	右	660	595	525	700	4列×4列	3	3@150 = 450+50 = 500	160~25	12	
		左	680	610	540	700	4列×4列	3	3@150 = 450+50 = 500	180~40	12	

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 既設段差防止構造配置図		
縮尺	-	図面番号	387/532
設計会社名	東日本高速道路株式会社		
施工会社名	-		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務所		

滝ノ沢橋(上り線) A1橋台 支承取替工 施工ステップ図(その1)(参考図)

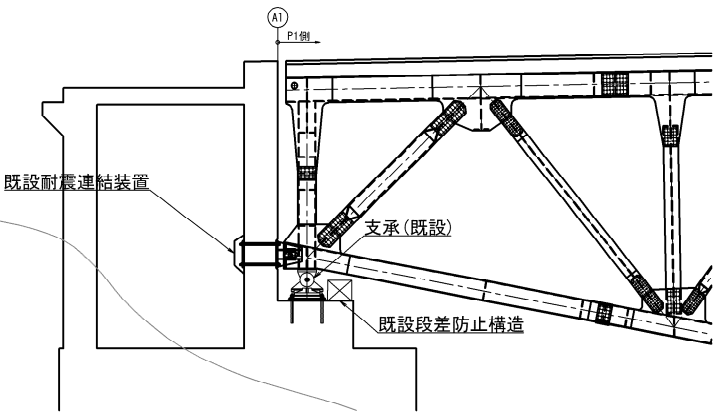
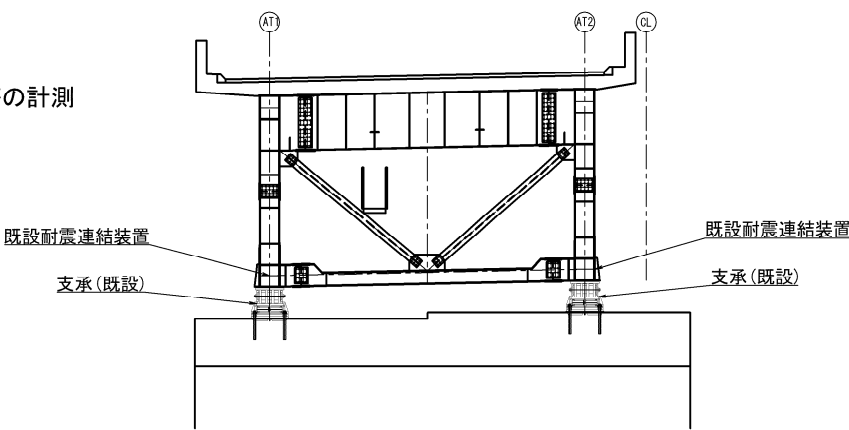
正面図

側面図

施工フロー

STEP1

- ・鉄筋探査
- ・躯体形状、支承等の計測



鉄筋探査、躯体形状、支承等の計測

既設耐震連結装置撤去

段差防止構造

既設段差防止構造撤去
ジャッキアップ

支承取替工(既設撤去)

支承アンカー工

支承取替工(設置)

沓座モルタル

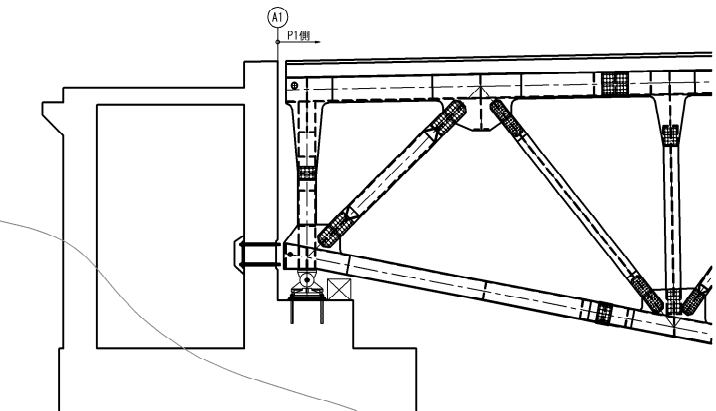
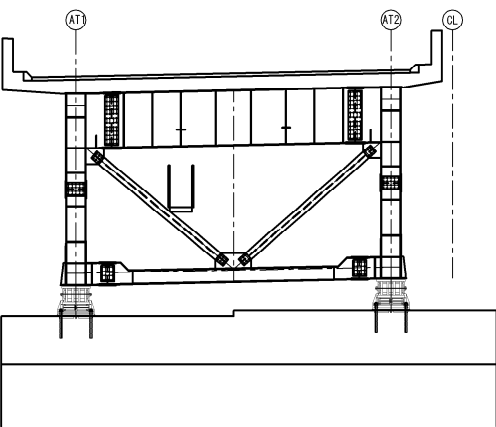
ジャッキダウン

ジャッキの撤去

躯体変状確認

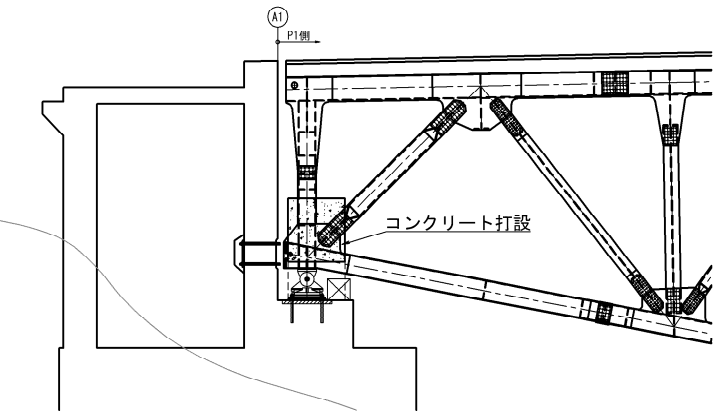
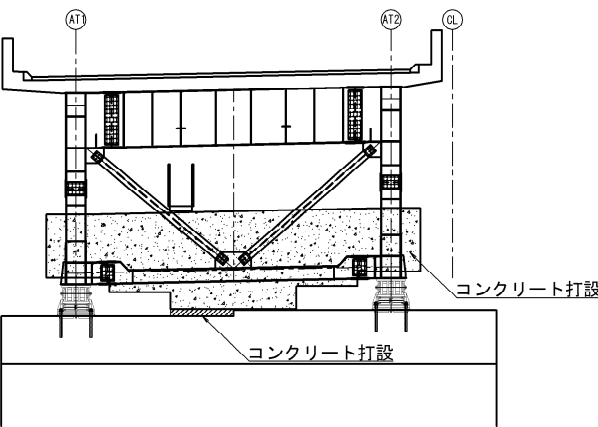
STEP2

- 既設耐震連結装置撤去



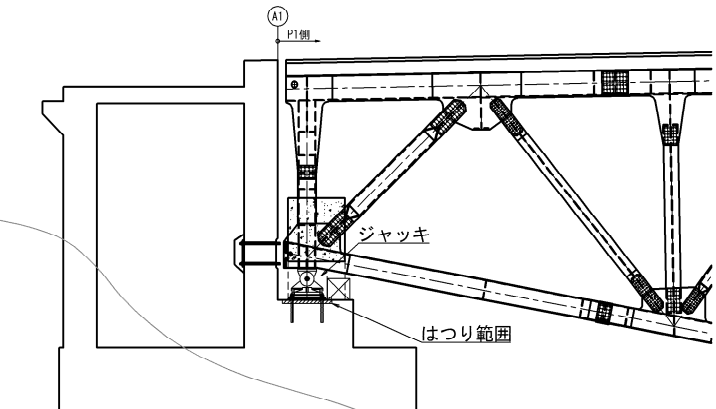
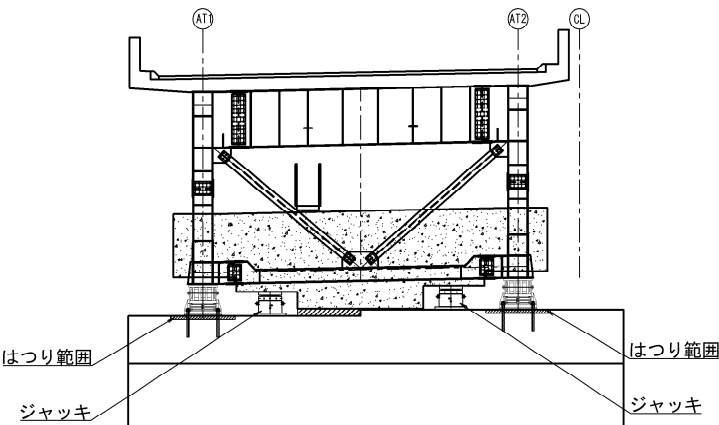
STEP3

- 段差防止構造
- ・RC巻き立てコンクリート打設
- ・段差解消コンクリート打設



STEP4

- 既設段差防止構造撤去
- ジャッキアップ
- 支承取替工(撤去)
- ・沓座はつり
- ・既設支承アンカー切断



長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A1橋台 支承取替工 施工ステップ図(その1)(参考図)		
縮 尺	—	図面番号	388/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) A1橋台 支承取替工 施工ステップ図(その2)(参考図)

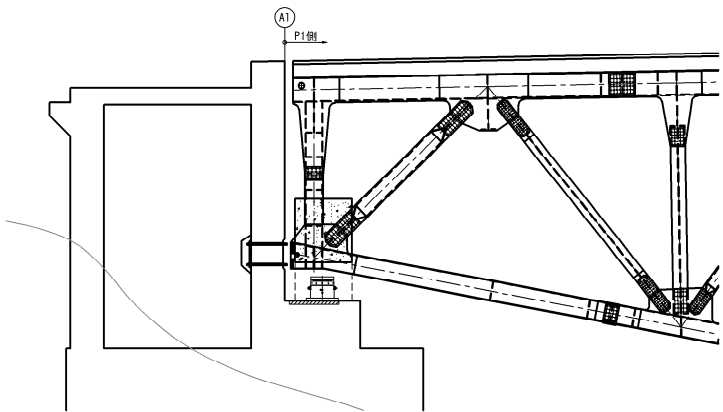
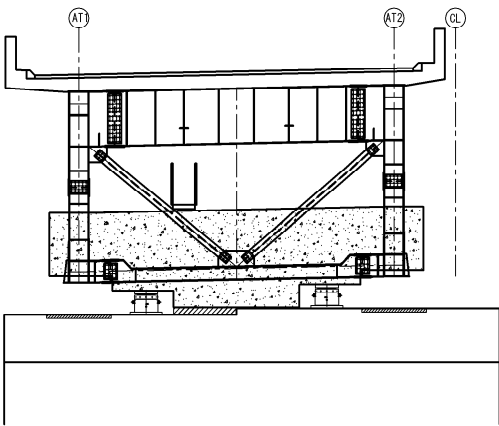
正面図

側面図

施工フロー

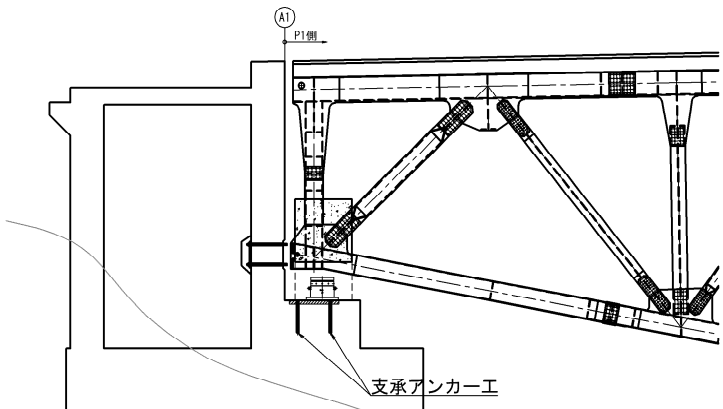
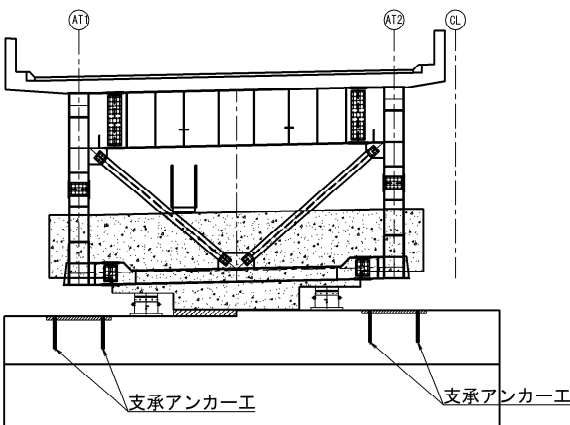
STEP5

- 支承取替工(撤去)
- ・ 支承撤去
- ・ 清掃、表面処理



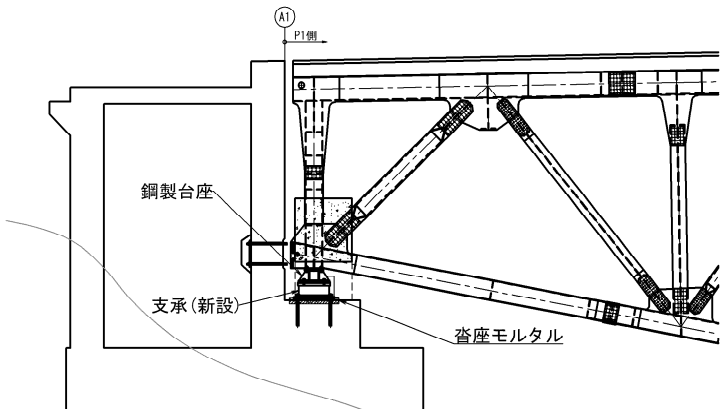
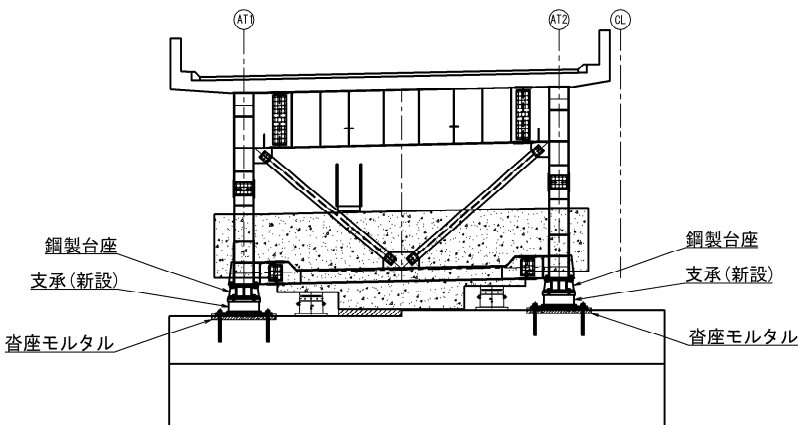
STEP6

- 支承アンカー工



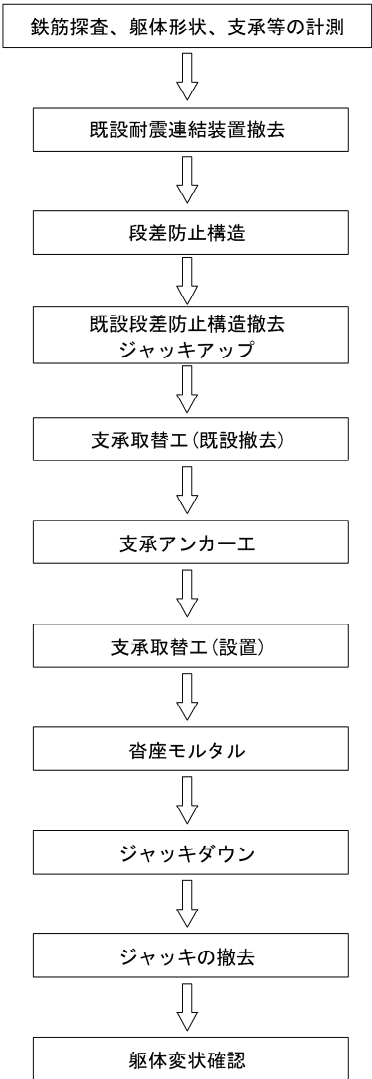
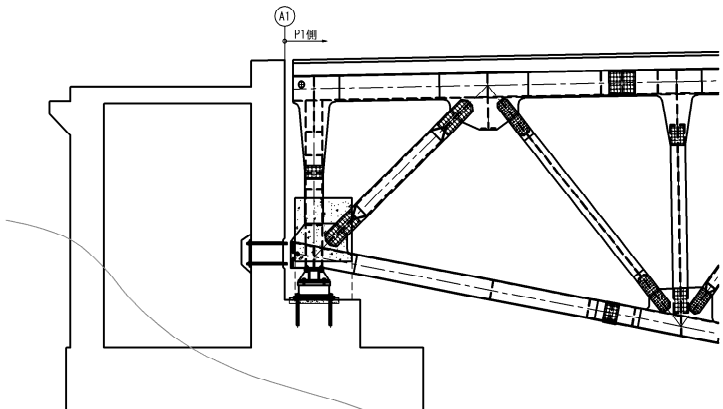
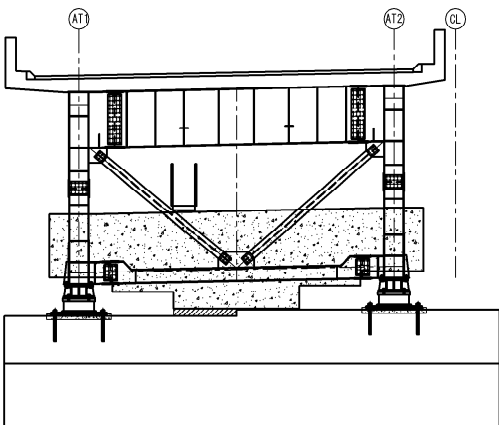
STEP7

- 支承取替工(設置)
- 沓座モルタル
- ジャッキダウン



STEP8

- ・ ジャッキの撤去
- ・ 躯体変状確認



長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A1橋台 支承取替工 施工ステップ図(その2)(参考図)		
縮 尺	—	図面番号	389/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 支承取替工 施工ステップ図(その1)(参考図)

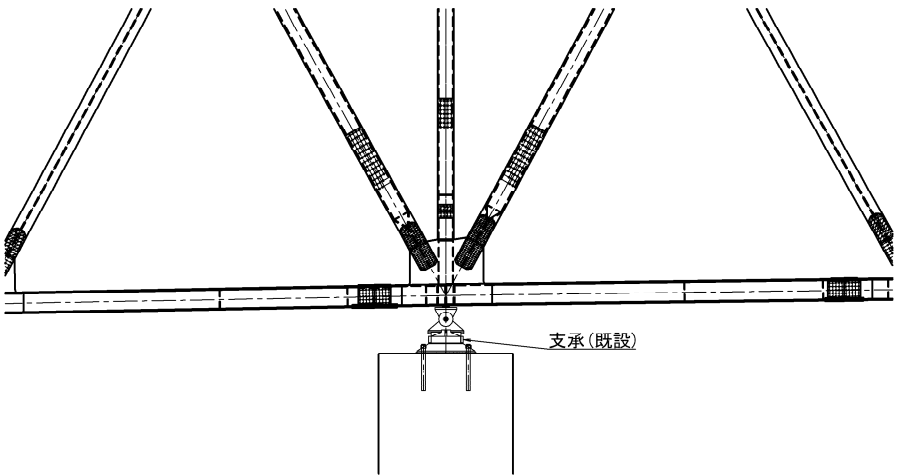
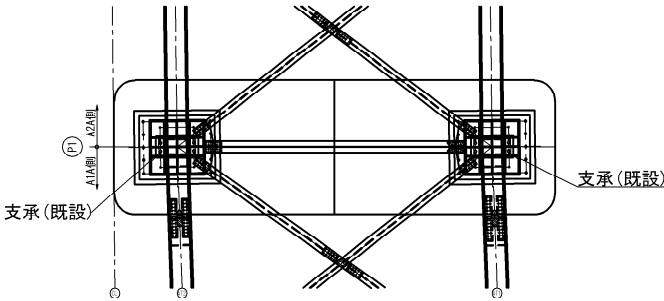
平面図

側面図

施工フロー

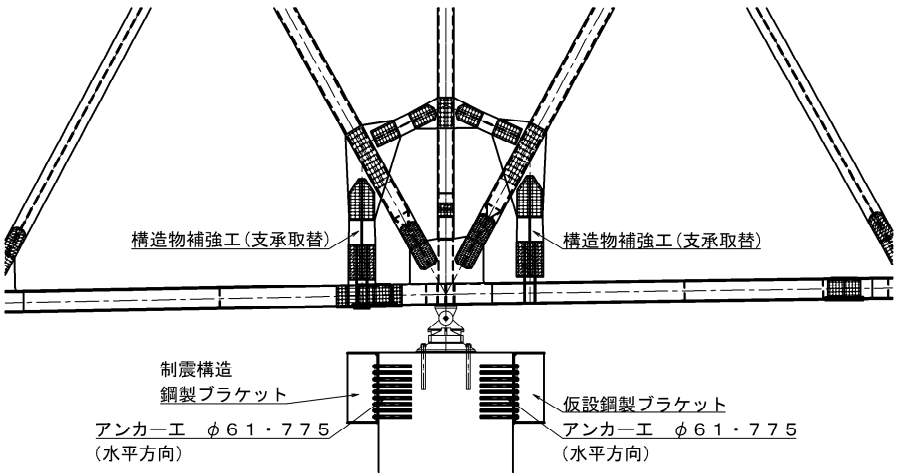
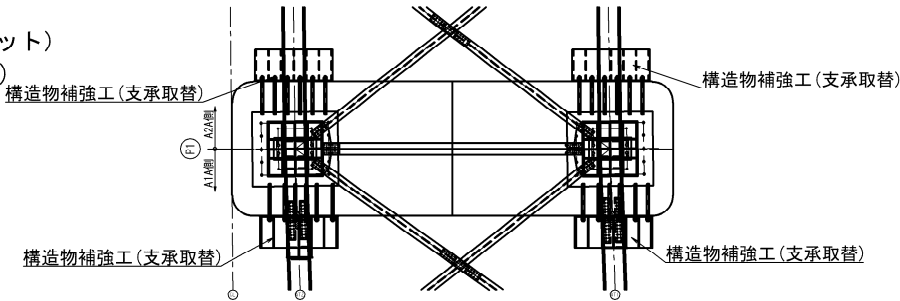
STEP1

- 鉄筋探査
- 躯体形状、支承等の計測



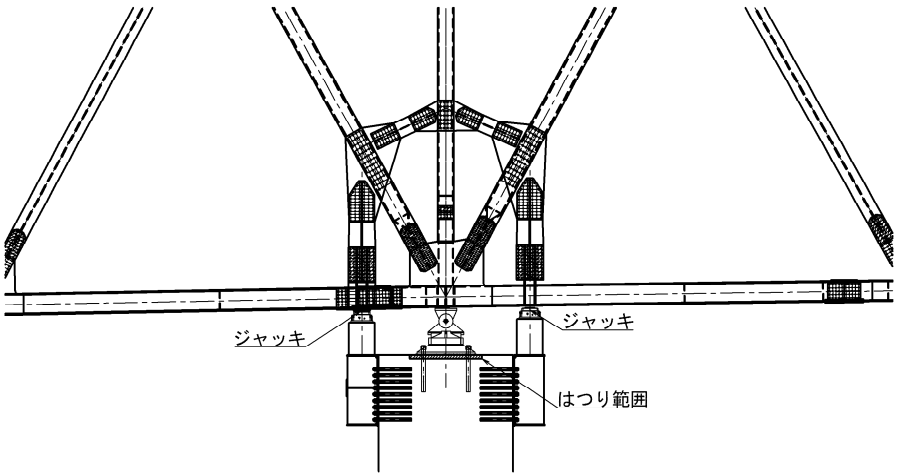
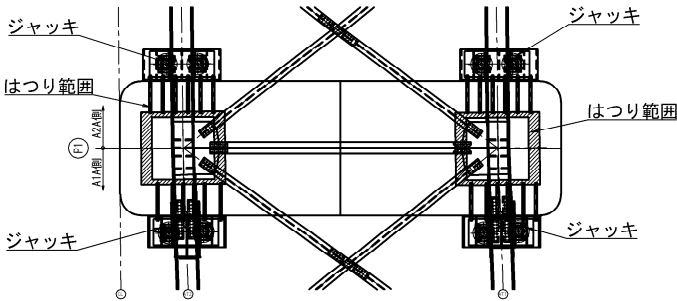
STEP2

- 仮設鋼製ブラケット
(制震構造 鋼製ブラケット)
- 構造物補強工(支承取替)



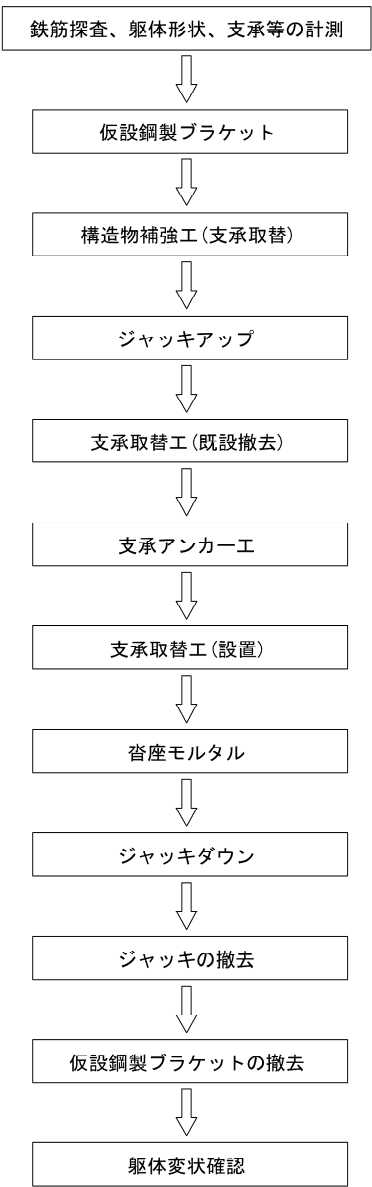
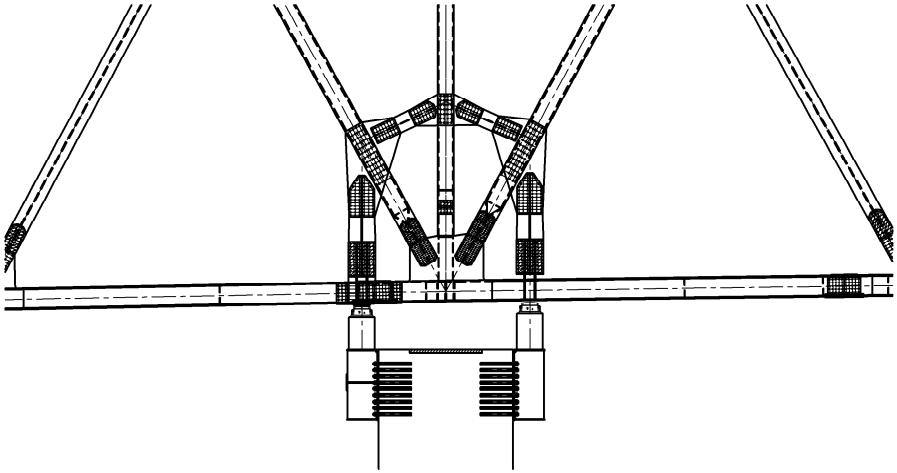
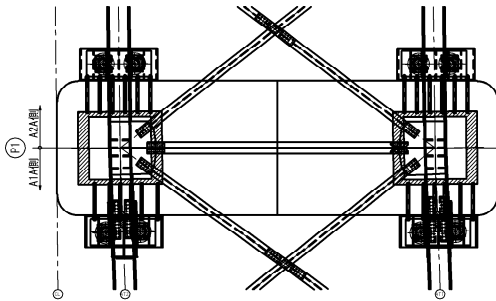
STEP3

- ジャッキアップ
- 支承取替工(撤去)
 - ・沓座はつり
 - ・既設支承アンカー切断



STEP4

- 支承取替工(撤去)
 - ・支承撤去
 - ・清掃、表面処理



長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 支承取替工 施工ステップ図(その1)(参考図)		
縮 尺	-	図面番号	390/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 支承取替工 施工ステップ図(その2)(参考図)

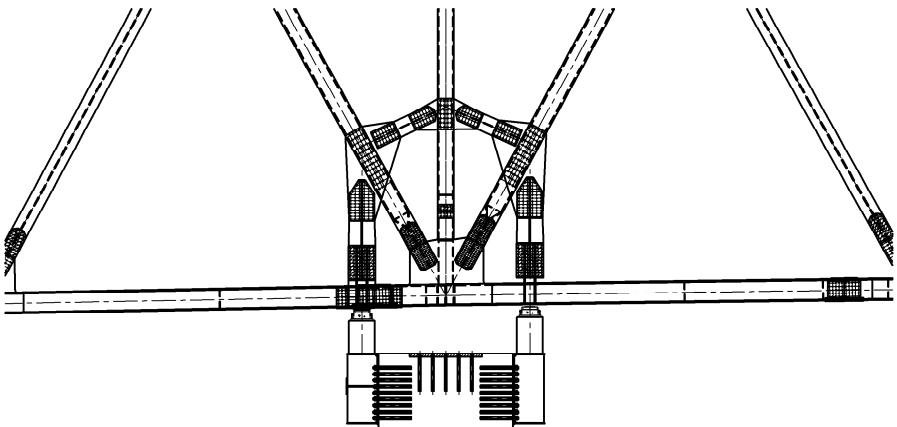
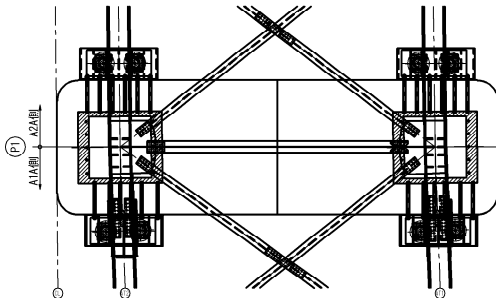
平面図

側面図

施工フロー

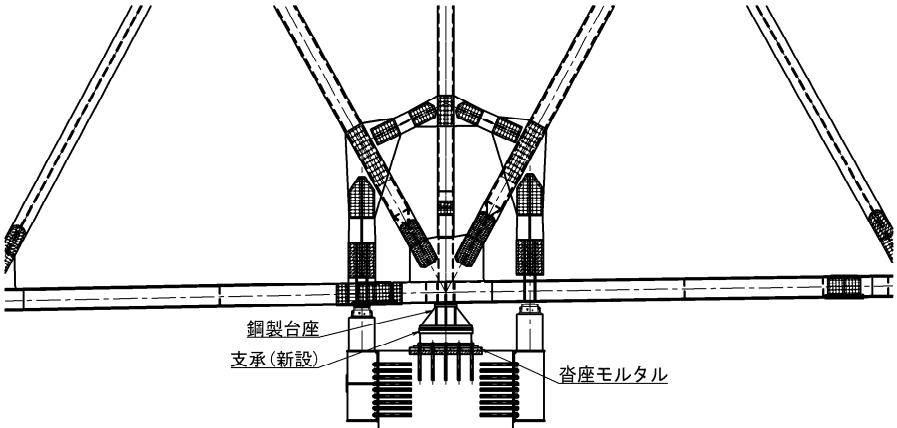
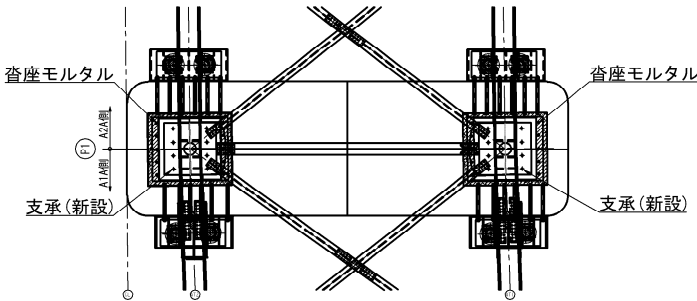
STEP5

- 支承アンカー工



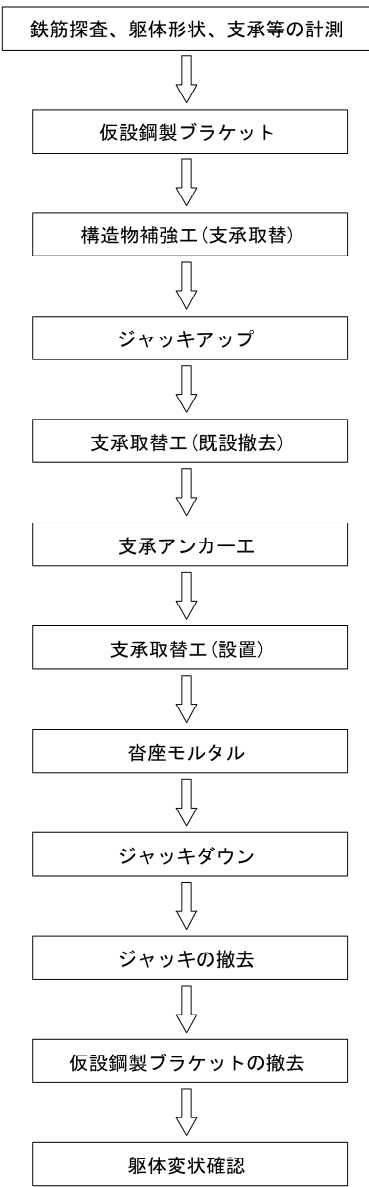
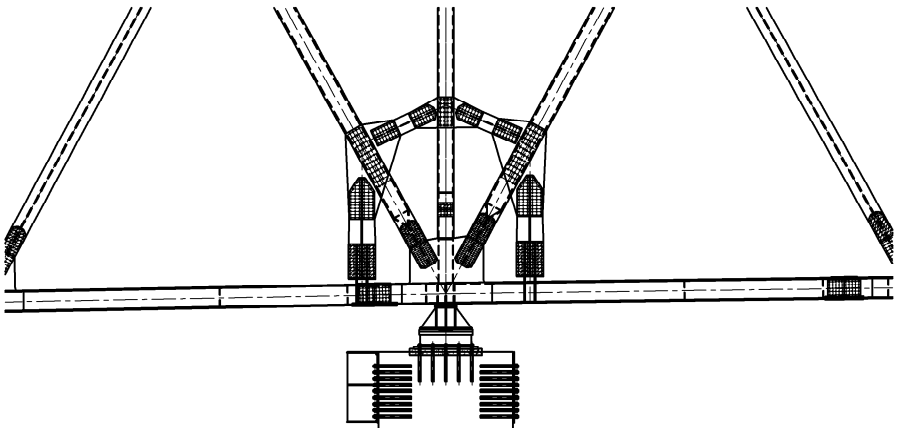
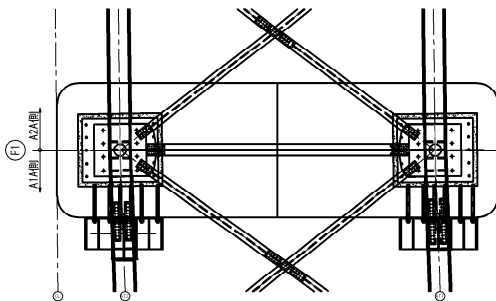
STEP6

- 支承取替工(設置)
- 沓座モルタル
- ジャッキダウン



STEP7

- ジャッキの撤去
- 仮設鋼製ブラケットの撤去
- 躯体変状確認

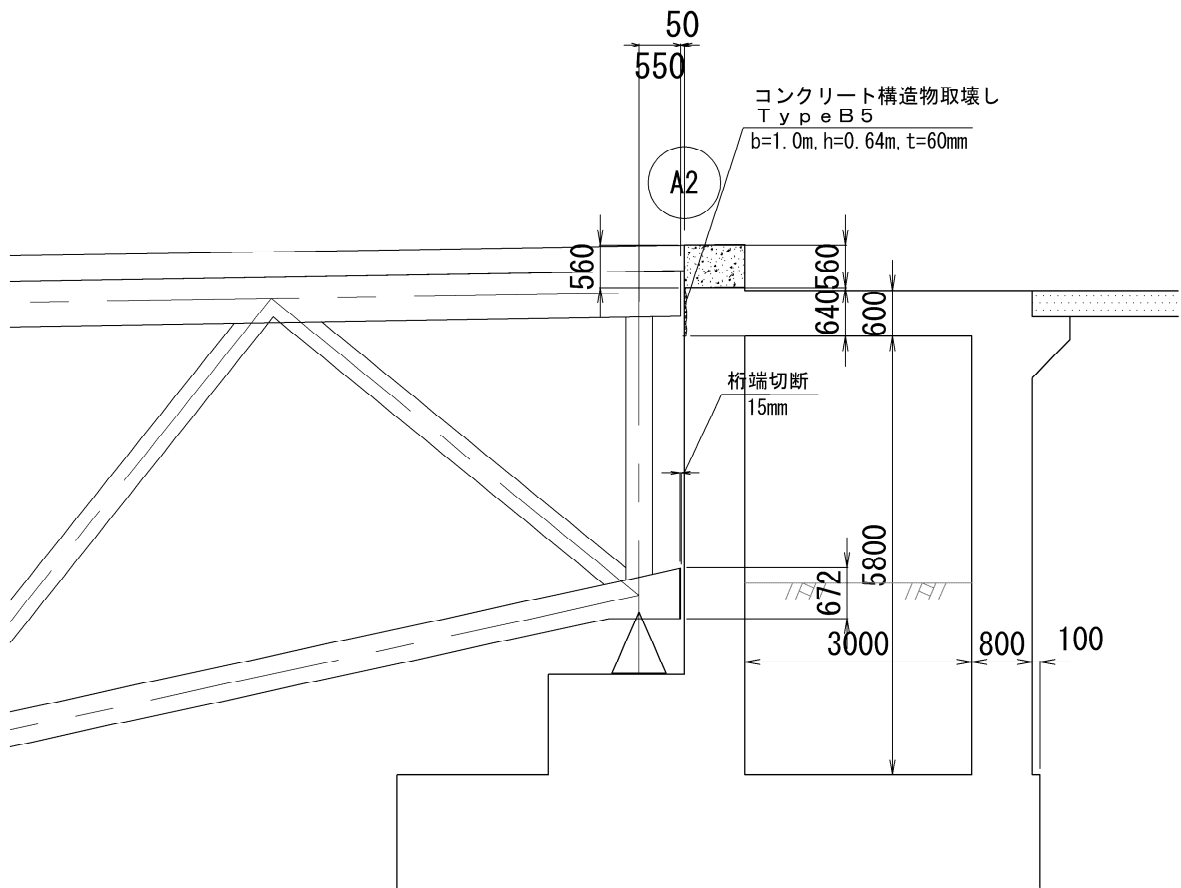


長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 支承取替工 施工ステップ図(その2)(参考図)		
縮 尺	-	図面番号	391/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

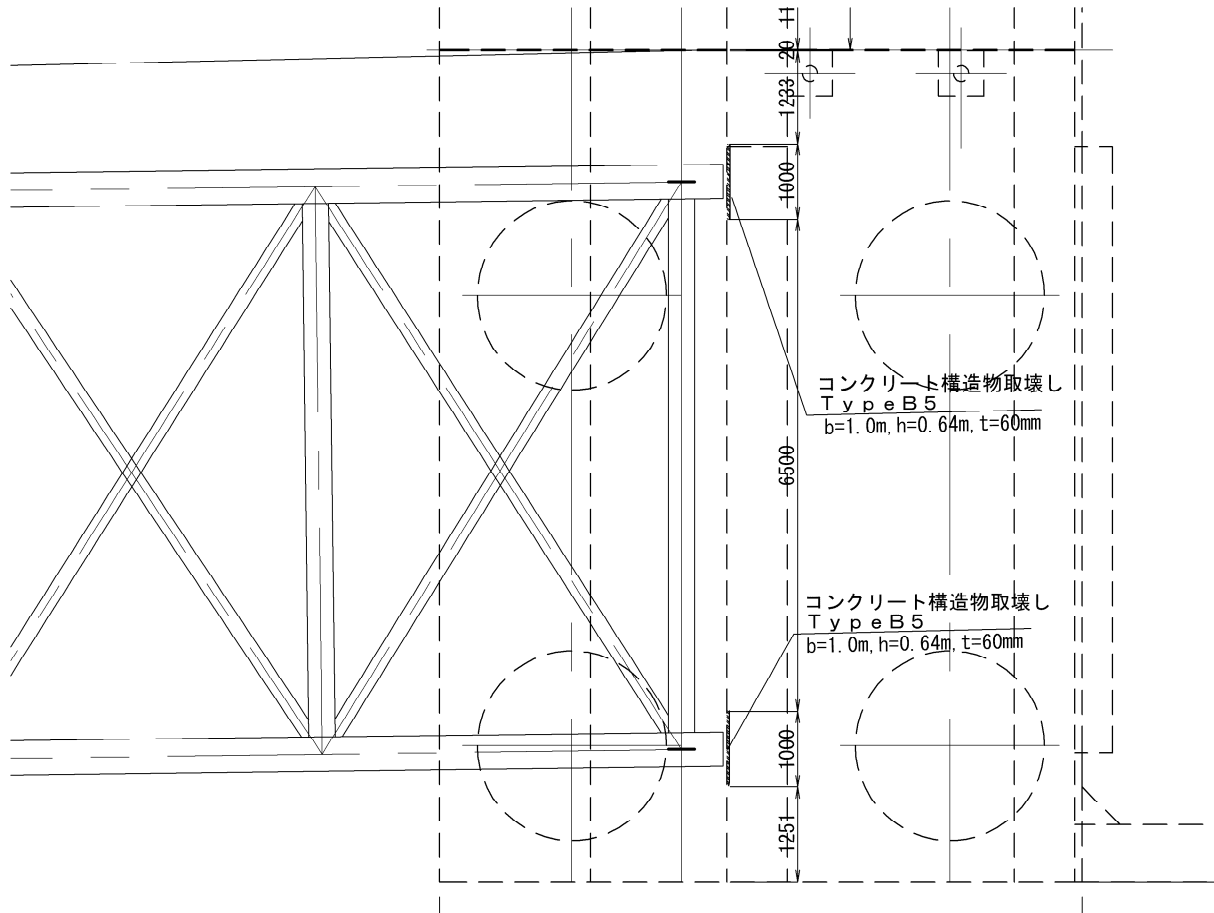
滝ノ沢橋(上り線) コンクリート構造物取壊し(T y p e B 5)詳細図

側 面 図 S=1:100

A2橋台



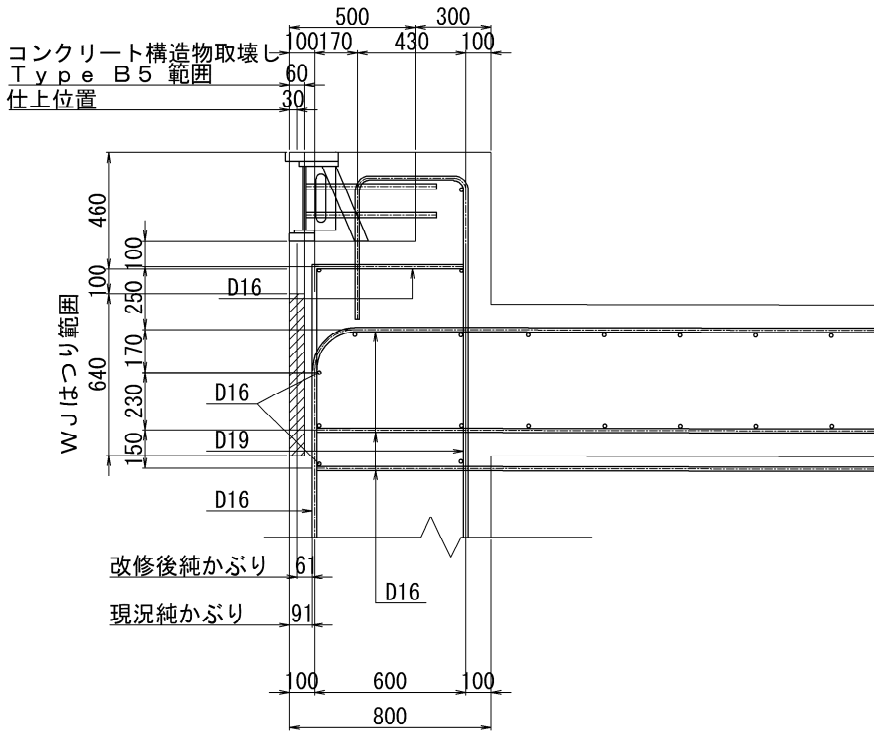
平 面 図 S=1:100



かぶり詳細図 S=1:30

前面側

背面側



- 注1) 遊間確保のため、ジョイント下端をはつる必要があるため、ジョイントの取替えも必要となる。
注2) はつり量は施工性、復旧性を考慮し60mmとした。
注3) 遊間量は現況50mmを80mmに変更する。(設計値は71mm以上)
注4) 仕上後の鉄筋の純かぶりは40mm以上確保する。(本設計図では61mm)

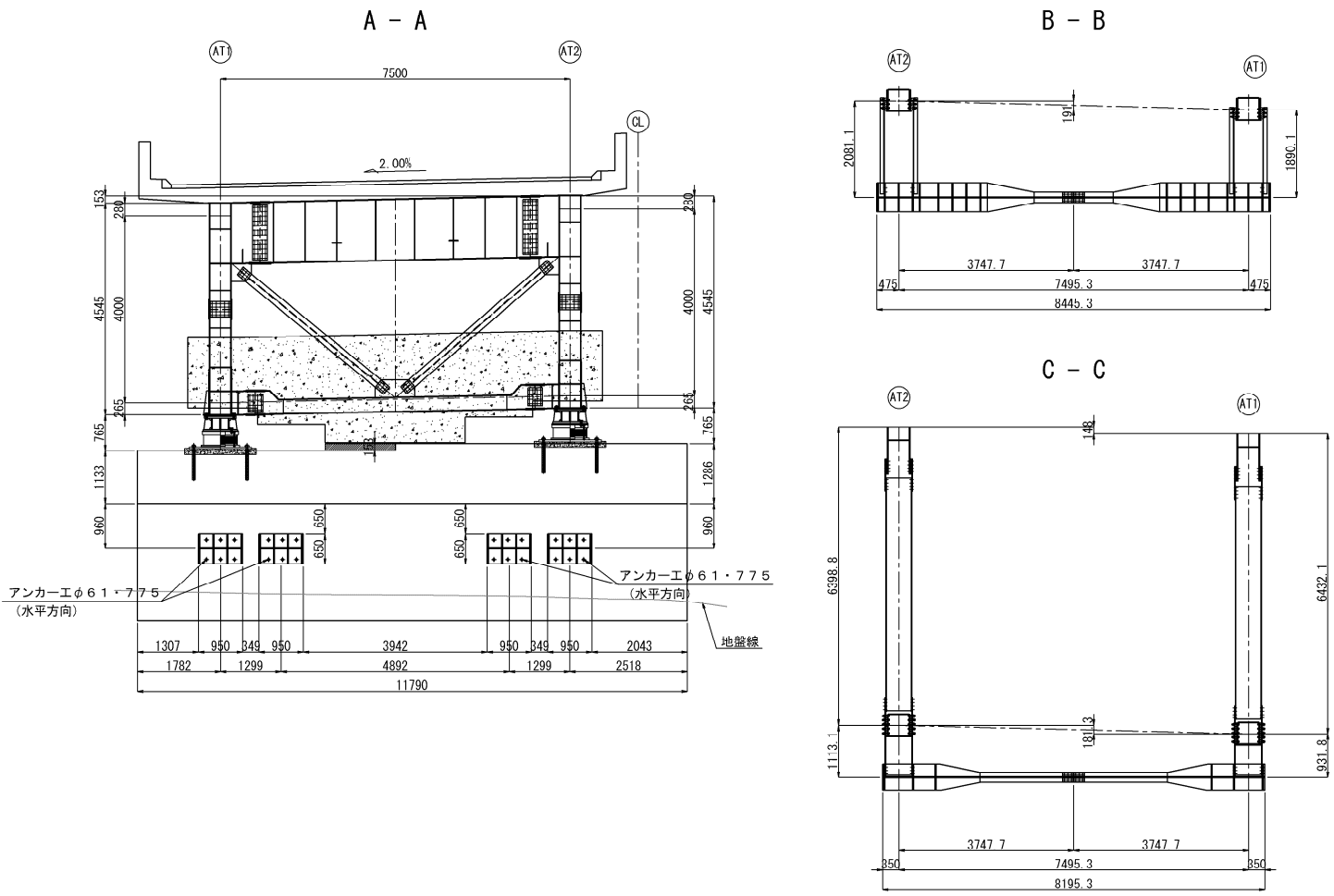
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) コンクリート構造物取壊し (T y p e B 5)詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	392/532
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) A1橋台 制震構造配置図
制震ダンパー2000 (±200)

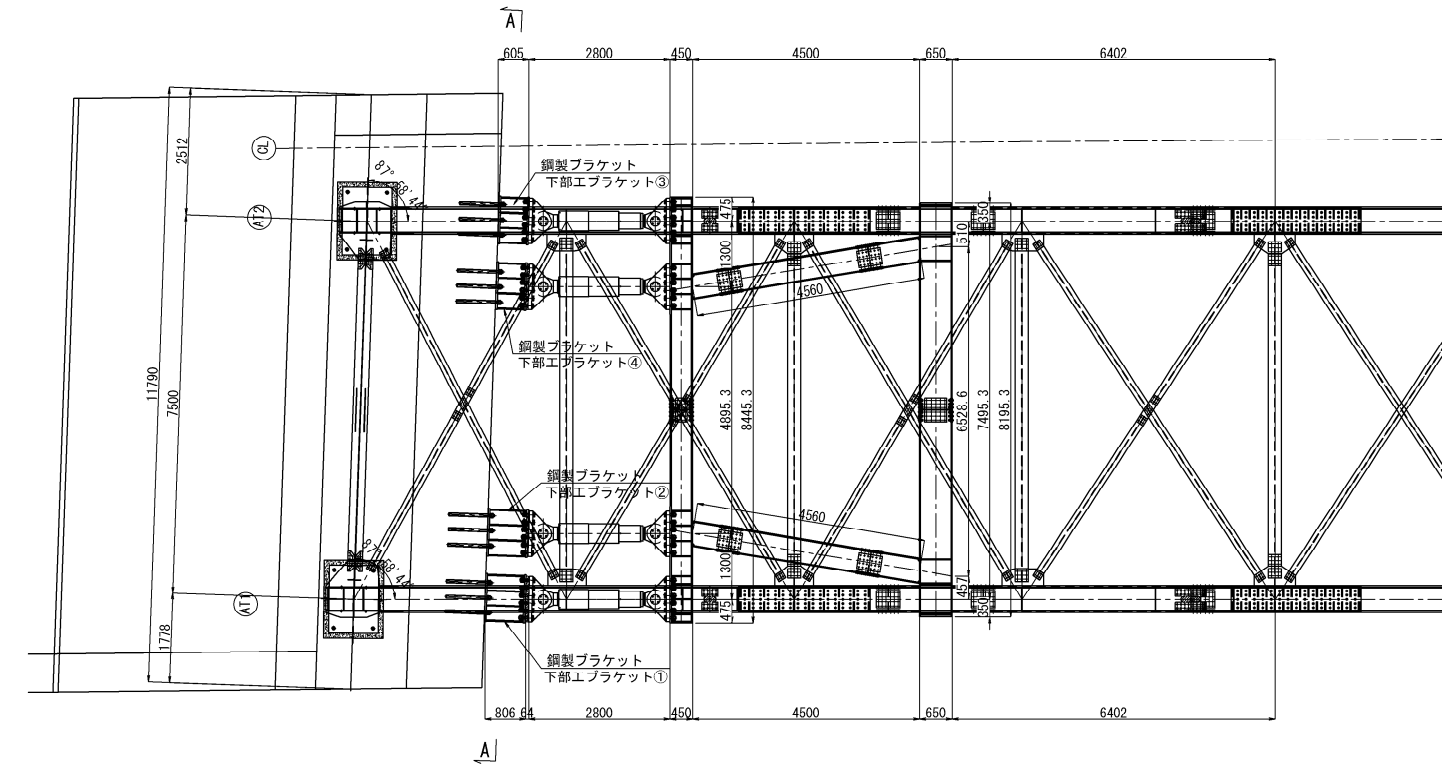
S=1:150

393/532

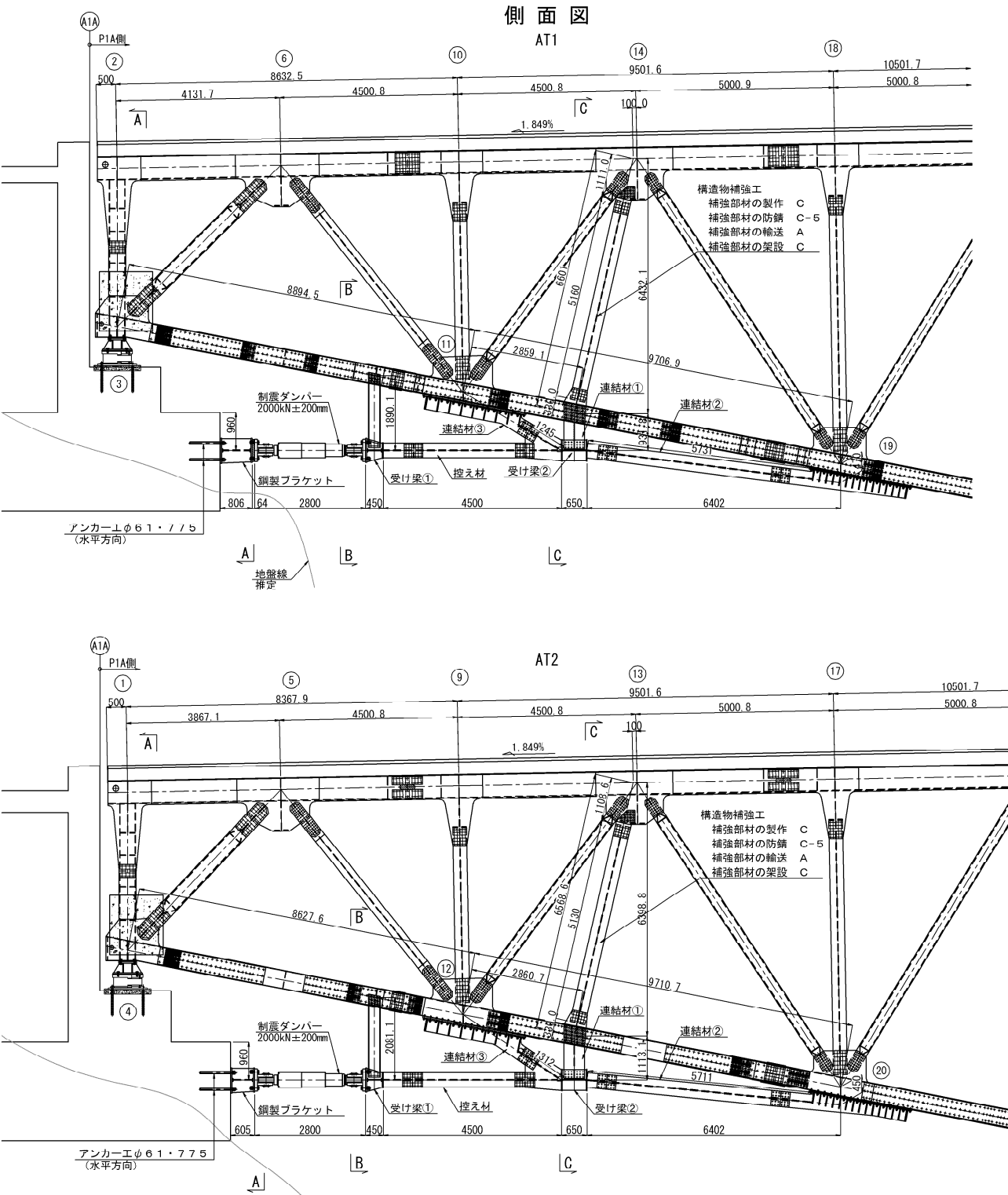
正面図



平面図



側面図



長野自動車道 五常橋床版取替工事			
滝ノ沢橋(上り線) A1橋台 制震構造配置図			
図面の種類	縮尺	1:150	図面番号 393/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) A1橋台 制震構造詳細図(その1)

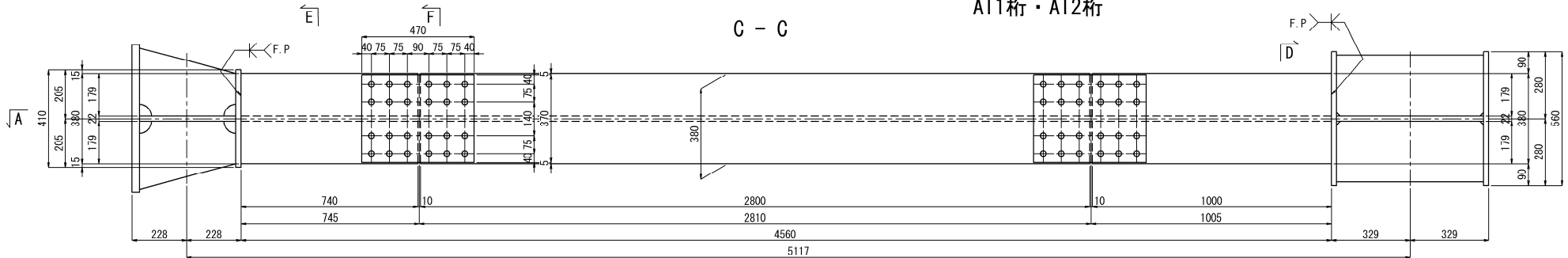
S=1:25

394/532

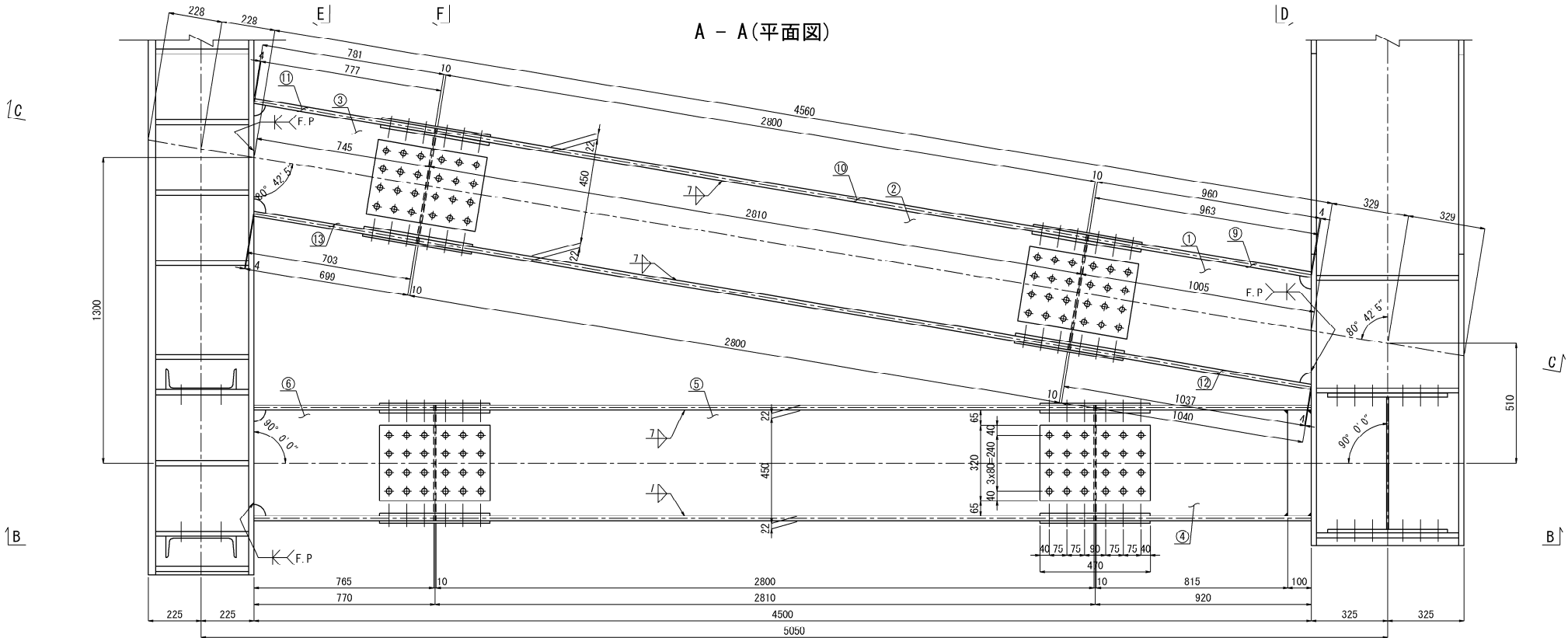
制震ダンパー2000 (±200)

控え材

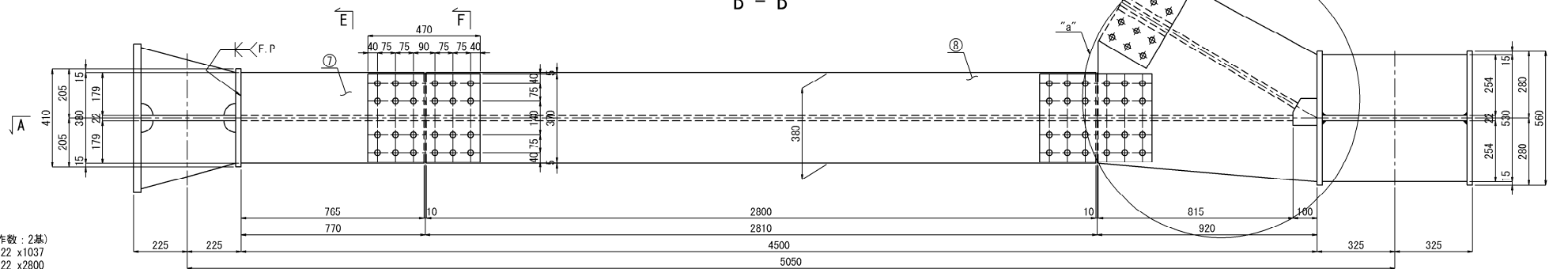
AT1桁・AT2桁



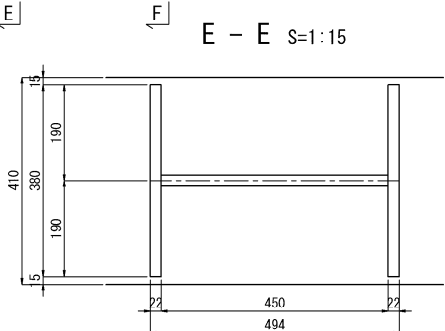
A - A(平面図)



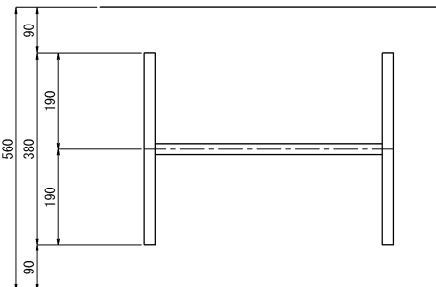
B - B



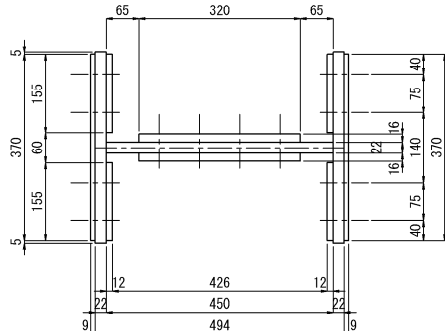
E - E S=1:15



D - D S=1:15

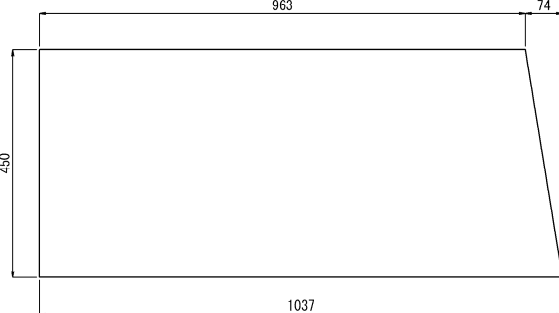


F - F S=1:15

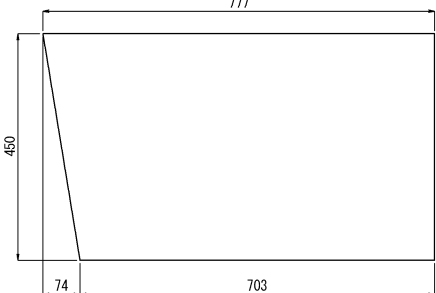


1基当たり数量(製作数:8基)
2-SPL PL 370x9 x470(SS400)
4-SPL PL 155x12x470(SS400)
2 SPL PL 320x16x470(SS400)
48-TCB M22x80(S10T)
24-TCB M22x90(S10T)

① 詳細 S=1:15



③ 詳細 S=1:15



注 記

1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 鋼材の加工は現橋の調査・計測を行い構造物の形状を最終的に決めてから行うこと。
3. 現橋の調査・計測を元に構造物の形状を変更する場合は必要に応じて応力計算を行うこと。
4. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
5. 特記なきスカーラップは全てR50とする。
6. 印はTCB M22(S10T)を示し、ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。
7. 「F.P.」の表示のある箇所は、完全溶込み溶接とする。
8. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。
9. "a"詳細図は、「滝ノ沢橋(上り線) A1橋台 制震構造詳細図(その5)」を参照すること。

1基当たり数量(製作数:2基)
① 1-WEB PL 450 x22 x1037
② 1-WEB PL 450 x22 x2800
③ 1-WEB PL 450 x22 x 777
④ 1-WEB PL 450 x22 x 815
⑤ 1-WEB PL 450 x22 x2800
⑥ 1-WEB PL 450 x22 x 765
⑦ 2-FLG PL 380 x22 x 765
⑧ 2-FLG PL 380 x22 x2800
⑨ 1-FLG PL 380 x22 x 963
⑩ 2-FLG PL 380 x22 x2800
⑪ 1-FLG PL 380 x22 x 781
⑫ 1-FLG PL 380 x22 x1040
⑬ 1-FLG PL 380 x22 x 703

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A1橋台 制震構造詳細図(その1)		
	縮 尺	図示	図面番号 394/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) A1橋台 制震構造詳細図(その2)

S=1:50

395/532

制震ダンパー2000 (±200)

受け梁① AT1桁<AT2桁>

A - A

E

E - E

F - F

I - I S=1:25

H - H S=1:25

G - G S=1:25

B - B

C - C

D - D

"a"部詳細 S=1:15

FILL PL 詳細 S=1:15

"b"部詳細 S=1:15

"c"部詳細 S=1:15

- 1基当たり数量(製作数:1基)
- ① 2-FLG PL 620 x32 x2375
 - ② 2-FLG PL 620 x22 x1000
 - ③ 4-FLG PL 220 x22 x 843
 - ④ 2-FLG PL 410 x22 x3375
 - ⑤ 2-WEB PL 396 x22 x4218
 - ⑥ 36-RIB PL 284 x22 x 396
 - ⑦ 2-CH 300x90x9x13x2093 (SS400)
 - ⑧ 2-CH 300x90x9x13x1901 (SS400)
 - ⑨ 2-FILL PL 244x51x 351 (SS400)
 - ⑩ 2-FILL PL 245x49x 352 (SS400)
 - ⑪ 24-ファンサイドボルト MUTF24-95 (SCM440)
 - ⑫ 24-TCB M22x70 (S10T)

現場孔明け工
1基当たり数量(製作数:1基)
φ 25.5 x 24箇所

- 注 記
- 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
 - 鋼材の加工は現橋の調査・計測を行い構造物の形状を最終的に決めてから行うこと。
 - 現橋の調査・計測を元に構造物の形状を変更する場合は必要に応じて応力計算を行うこと。
 - 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 - 特記なきスカーラップは全てR50とする。
 - φ印はTCB M22 (S10T)を示し、ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。
※印はMUTF 24 (高ファンサイドボルト)を示し、ボルト孔は既設φ25.5 新設φ26.5とする。
※印のボルトは、BN M48 [2W付]を示す。
 - 印はフィラープレートを示す。
 - "F.P."の表示のある箇所は、完全溶込み溶接とする。

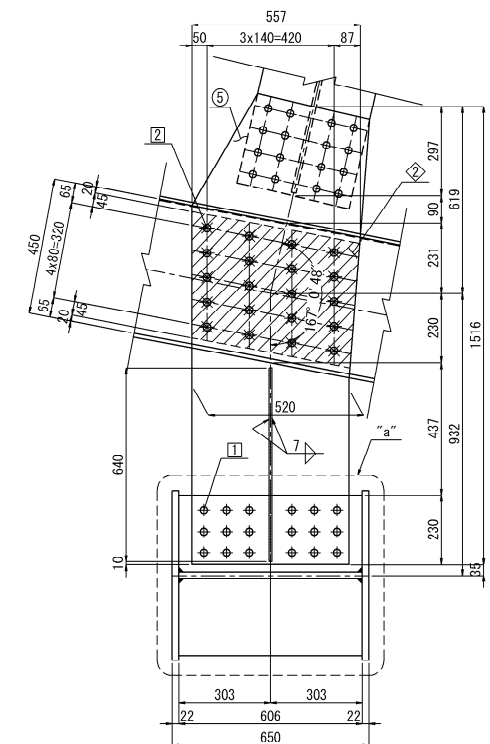
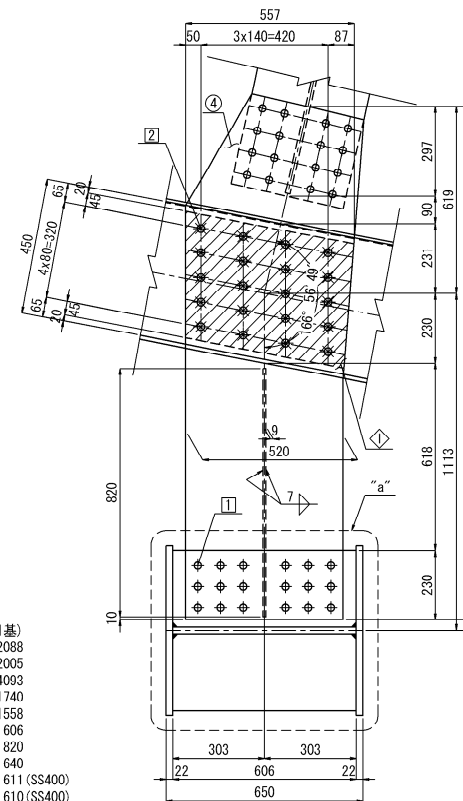
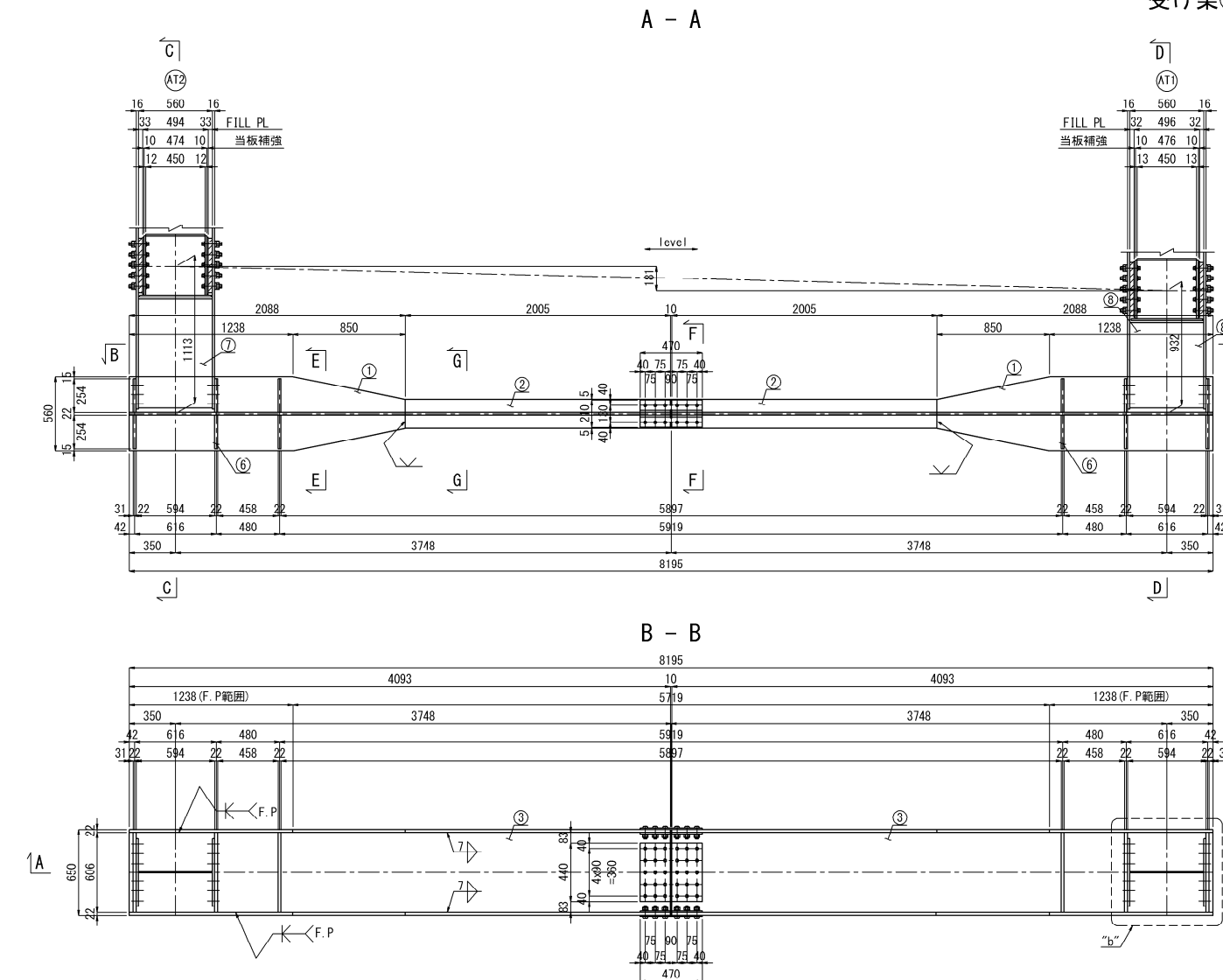
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A1橋台 制震構造詳細図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	395/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

制震ダンパー2000 (±200)

受け梁②・連結材①

C - C s=1:25

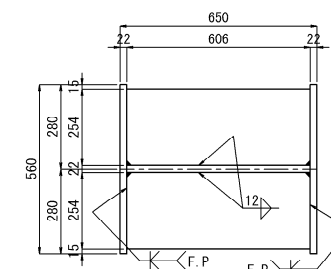
D - D S=1:25



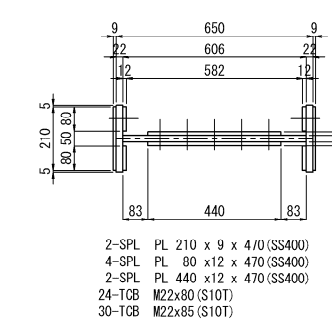
- | 1 | 基当たり数量(製作枚:1基) |
|----|---------------------------------|
| ① | 4-FLG PL 206 x22 x2088 |
| ② | 4-FLG PL 220 x22 x2005 |
| ③ | 2-WEB PL 606 x22 x4093 |
| ④ | 2-GUSS PL 588 x16 x1740 |
| ⑤ | 2-GUSS PL 588 x16 x1558 |
| ⑥ | 12-RIB PL 254 x22 x 606 |
| ⑦ | 1-WEB PL 560 x 9 x 820 |
| ⑧ | 1-WEB PL 560 x 9 x 640 |
| ⑨ | 2-FILL PL 410 x33 x 611 (SS400) |
| ⑩ | 2-FILL PL 410 x32 x 610 (SS400) |
| 11 | 72-TB M22x75 (S10T) |
| 12 | 80-ワンサイドポルト M2TF24-75 (SCM440) |

現場孔明け工
1基当たり数量(製作数:1基)
φ 25.5 x 80箇所

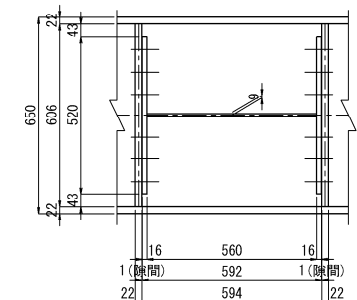
E - E s=1:25



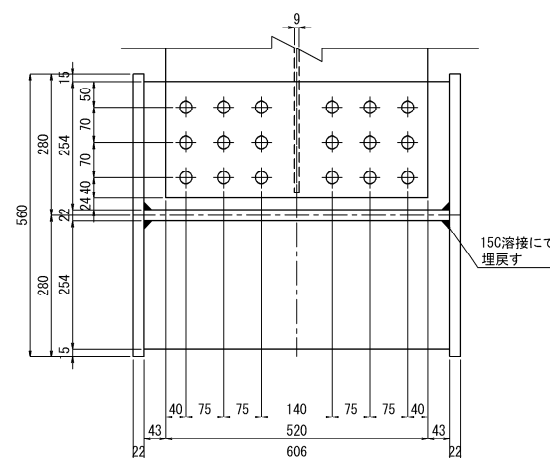
F - F S=1:25



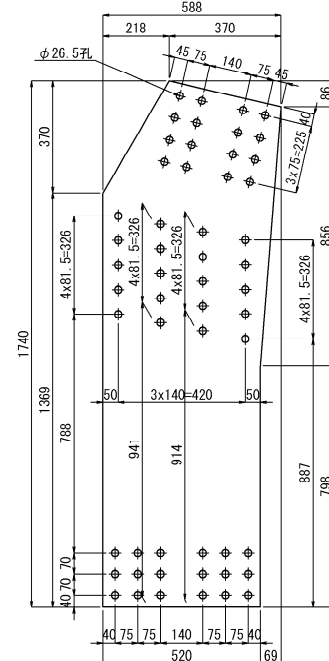
“b”部詳細 S=1:25



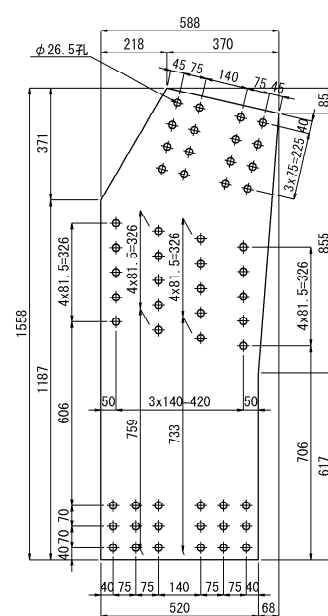
“a”部詳細 S=1:15



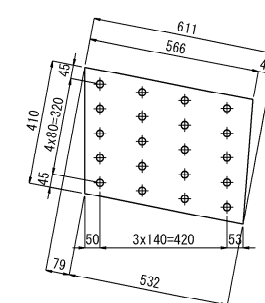
④ 詳細 S=1:25
±16mm



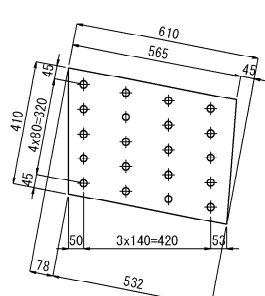
⑤ 詳細 S=1:25
t=16mm



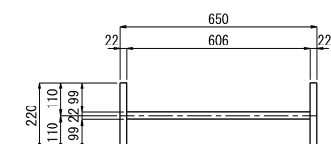
1 詳細 S=1:25
t=33mm



2 詳細 S=1:25
t=32mm



G - G S=1:25



- 注 記
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
 2. 鋼材の加工は現場の調査・計測を行い構造物の形状を最終的に決めるために行うこと。
 3. 現場の調査・計測を元に構造物の形状を変更する場合は必要に応じて応じ必要を行うこと。
 4. 特記なき材質は全てCS40MAとします。
 5. 特記なきスチールは全てCSとR50とする。
 6. ㊦印はIGB M22 (S10) を示し、ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。
㊦印はMUT 24(高力ワナサイドボルト)を示し、ボルト孔は既設φ23.5新設φ26.5とする。
 7. ㊦印のボルトは、BN M40 [ZW付]を示す。
 8. ㊦印はワイラプレートを示す。
 9. 「F.P.」の表示のある箇所は、完全溶込み溶接とする。
 10. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。

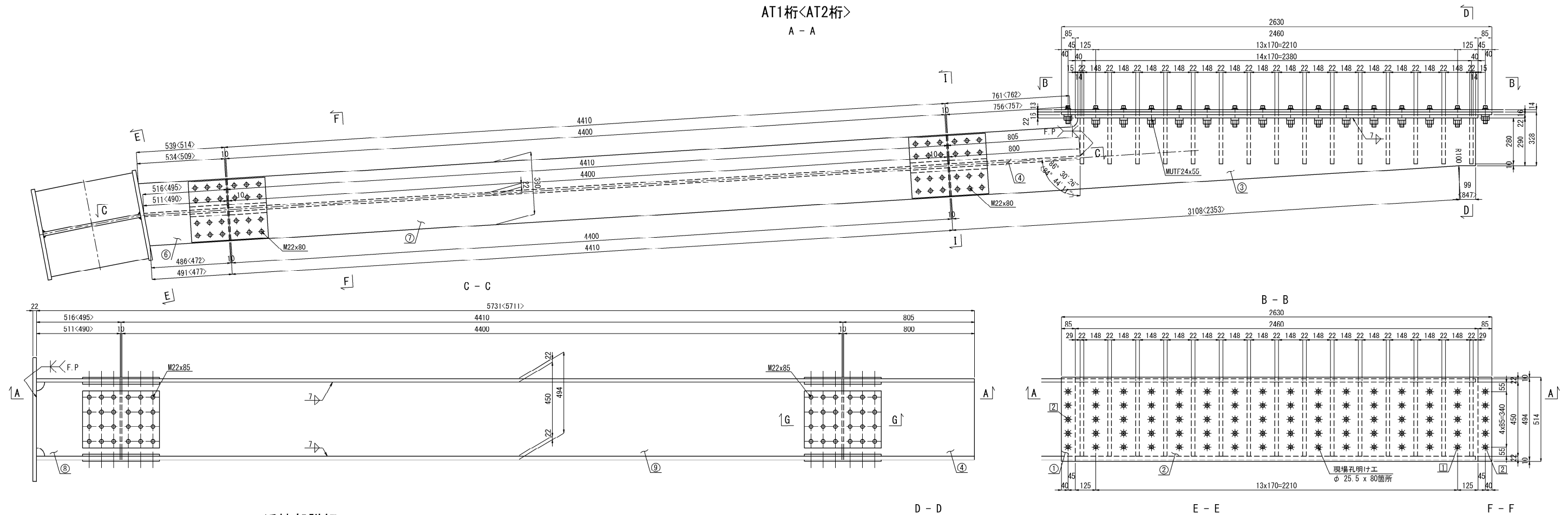
長野自動車道 五常橋仮版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A1橋台 制震構造詳細図(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	396/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

制震ダンパー2000 (±200)

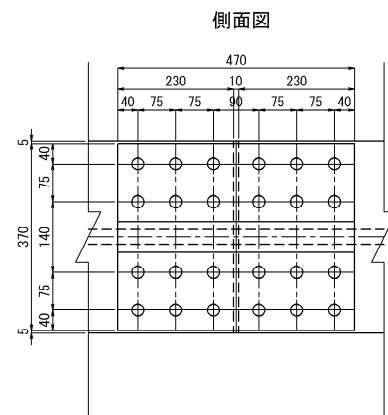
連結材②

AT1桁<AT2桁>

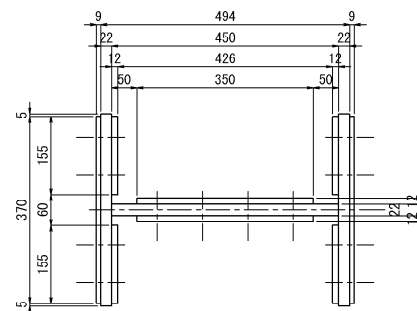
A - A



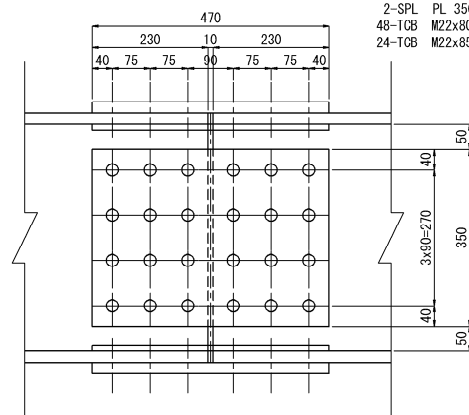
添接部詳細 S=1:15



断面図



平面図



AT1

1基当たり数量(製作数:1基)

- | | | | | |
|---|-------------|--------------------|-----|-----------------|
| ① | 1-BASE | PL 514 | x16 | x2630 (SM490YA) |
| ② | 1-BASE | PL 514 | x22 | x2460 |
| ③ | 2-FLG | PL 479 | x22 | x3225 |
| ④ | 1-WEB | PL 450 | x22 | x 800 |
| ⑤ | 15-IRB | PL 450 | x22 | x 280 |
| ⑥ | 2-FLG | PL 380 | x22 | x534 |
| ⑦ | 2 FLG | PL 380 | x22 | x4400 |
| ⑧ | 1-WFB | PI 450 | x22 | x511 |
| ⑨ | 1-WEB | PL 450 | x22 | x4400 |
| ⑩ | 70-ワンサイドボルト | MUTF24-55 (SCM440) | | |
| ⑪ | 10-ワンサイドボルト | MUTF24-30 (SCM440) | | |

現場孔明け工

1基当たり数量(製作数)
φ 25.5 x 80箇所

AT2

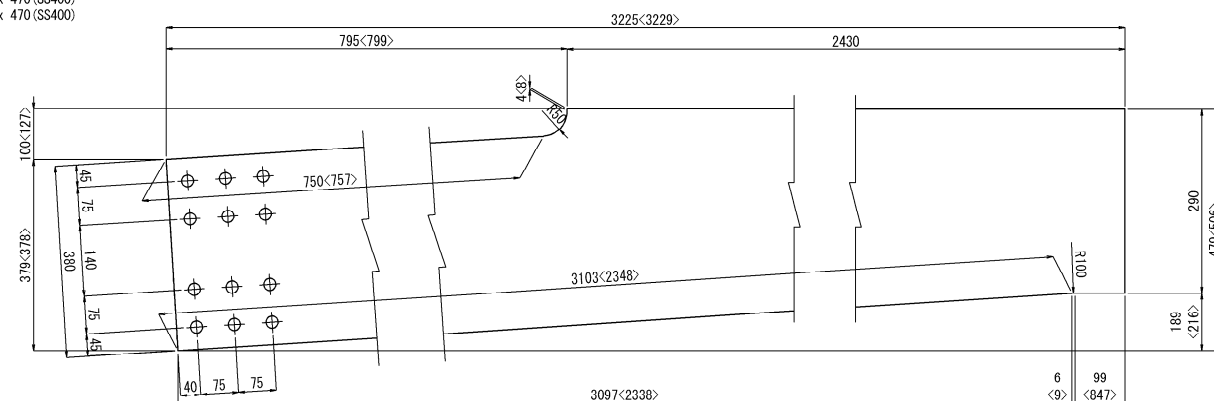
1基当たり数量(製作数:1基)

- | | | | | |
|---|-------------|--------------------|-----|-----------------|
| ① | 1-BASE | PL 514 | x16 | x2630 (SM490YA) |
| ② | 1-BASE | PL 514 | x22 | x2460 |
| ③ | 2-FLG | PL 506 | x22 | x3229 |
| ④ | 1-WEB | PL 450 | x22 | x 800 |
| ⑤ | 15-R1B | PL 450 | x22 | x 280 |
| ⑥ | 2-FLG | PL 380 | x22 | x509 |
| ⑦ | 2-FLG | PL 380 | x22 | x4400 |
| ⑧ | 1-WFR | PL 450 | x27 | x490 |
| ⑨ | 1-WEB | PL 450 | x22 | x4400 |
| ⑩ | 70-ワンサイドボルト | MUTF24-55 (SCM440) | | |
| ⑪ | 10-ワンサイドボルト | MUTF24-30 (SCM440) | | |

現場孔明け工

1基当たり数量(製作数)
φ 25.5 x 80箇所

③ 詳細 S=1:15



注記

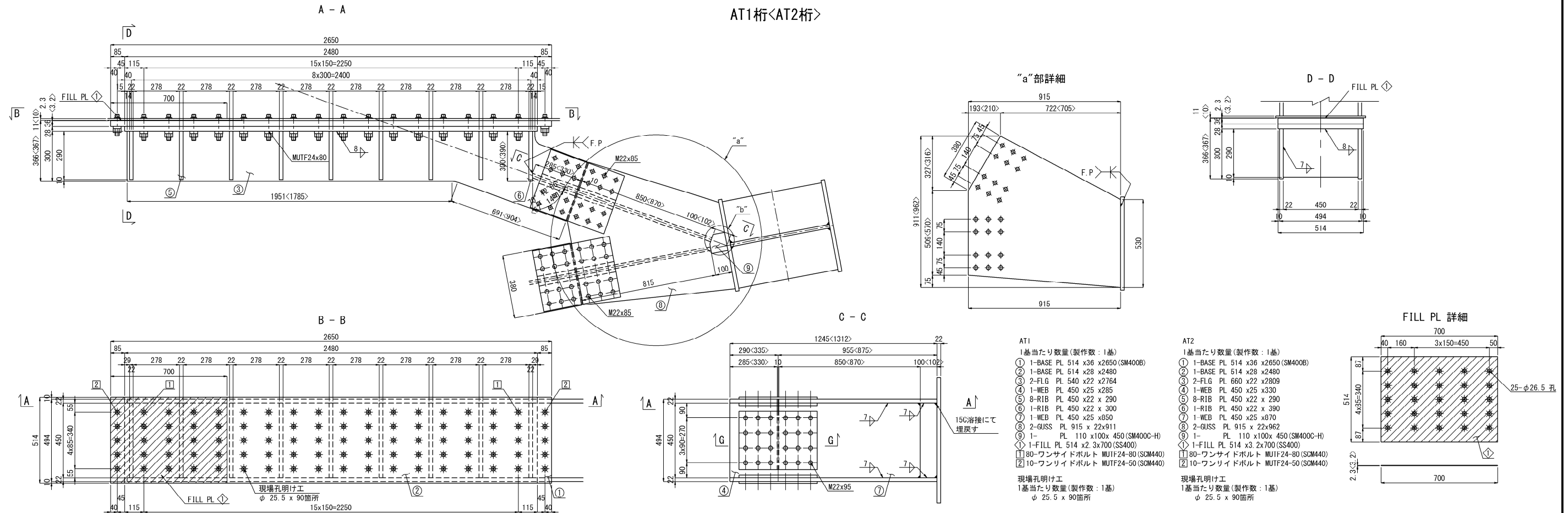
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認する。
2. 鋼材の加工は現物の調査・計測を行い構造物の形状を最終的に決めるための行うこと。
3. 現物の調査・計測を元にした構造物の形状を変更する場合は必要に応じて応力計算を行うこと。
4. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
5. 特記なきスラッパは全てR50とする。
6. 中印はTGB M22 (S10T) を示し、ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。
7. 兼印はMUT F 24 (高力ワンサイドボルト) を示し、ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
7. F.P. J の表示のある箇所は、完全溶込み溶接とする。
8. 新設鋼材はすべて塗装を施す。

	長野自動車道 五常橋床版取替工事
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A1橋台 制震構造詳細図(その4)
縮 尺	図示 図面番号 397/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所

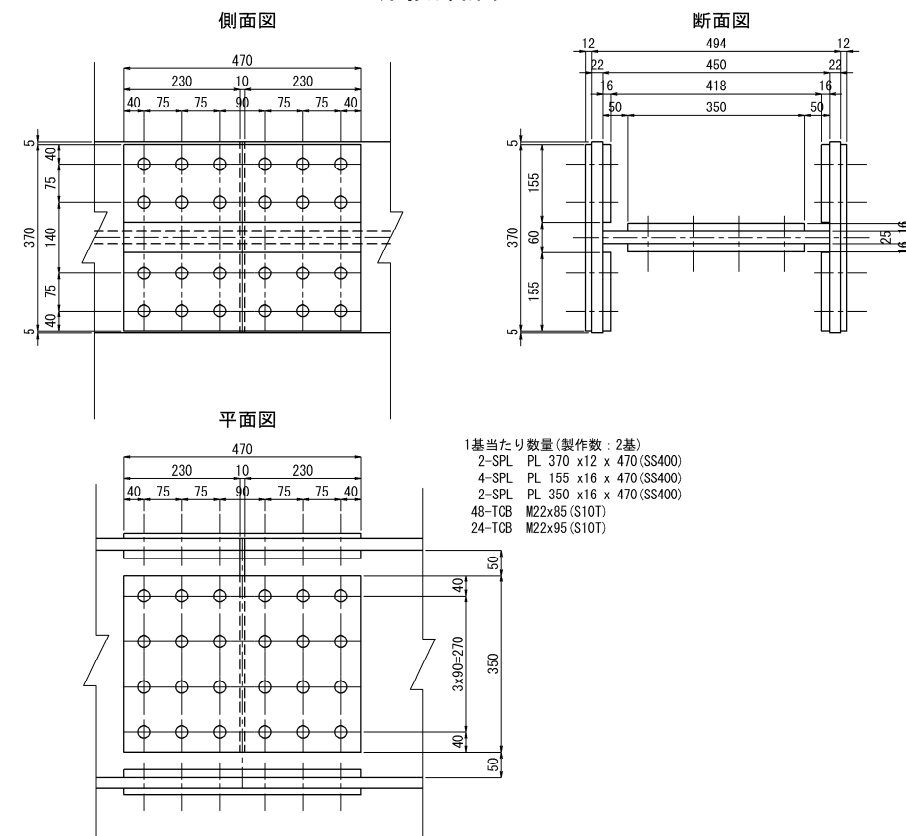
制震ダンパー2000 (±200)

連結材③

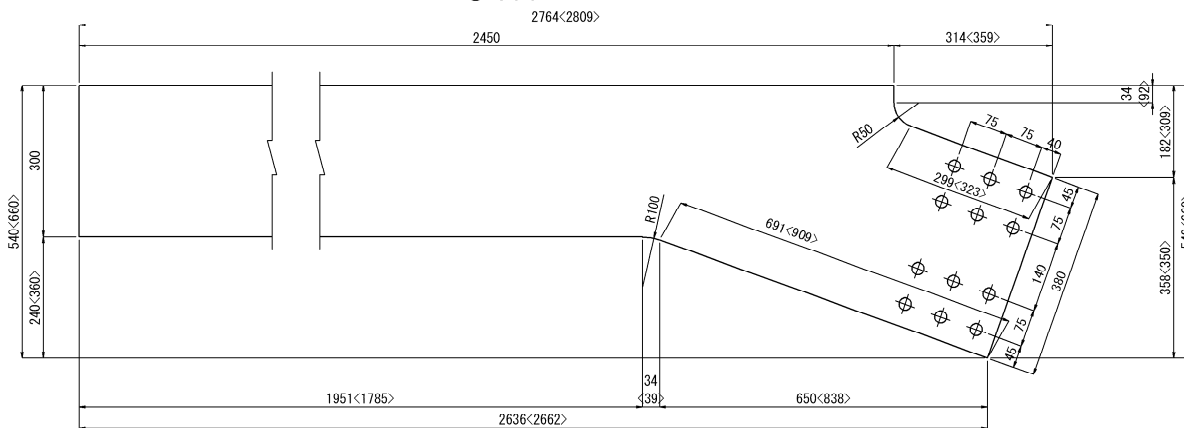
AT1桁<AT2桁>



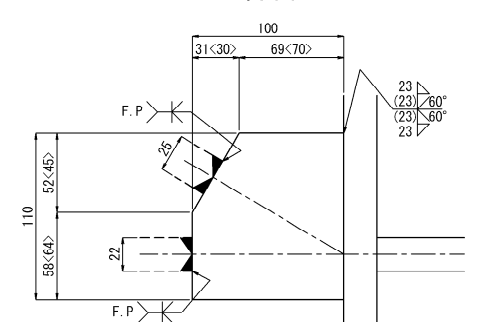
添接部詳細 S=1:15




③ 詳細 S=1:15



"b"部詳細 S=1:5



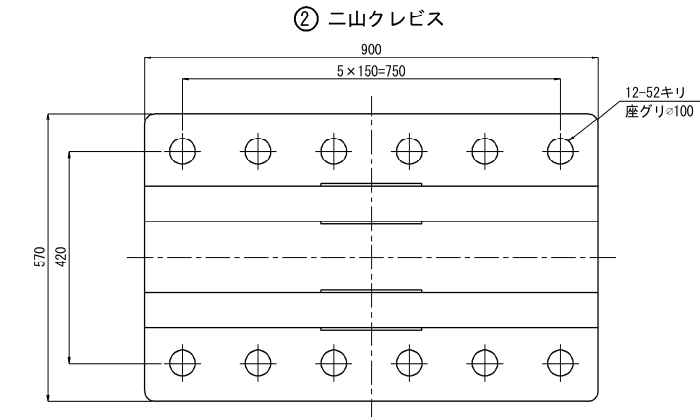
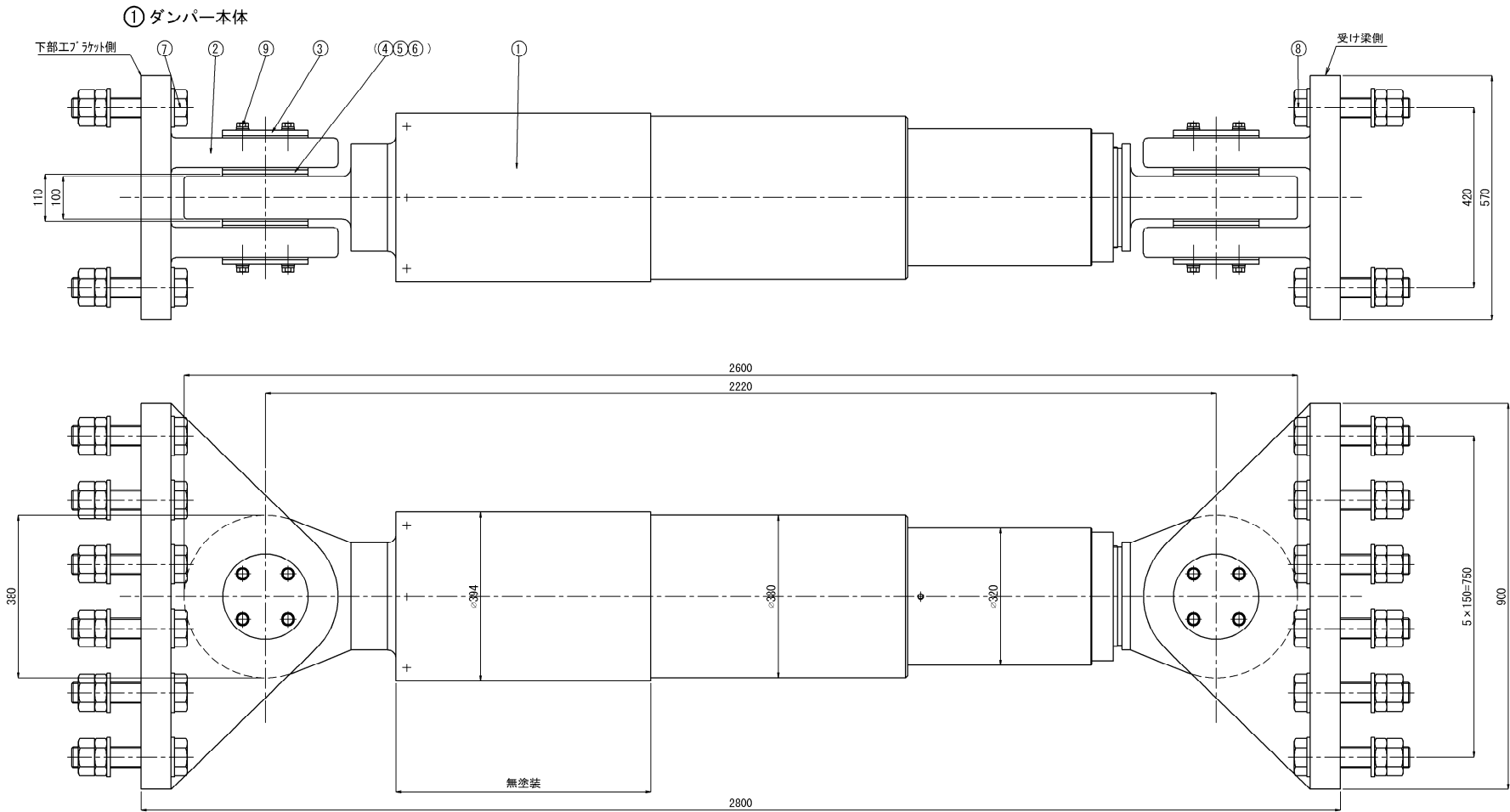
注記

1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認とする。
2. 鋼材の加工は現構の調査・計測を行い構造物の形状を最終的に決めてから行うとする。
3. 現構の調査・計測を行い構造物の形状を変更する場合は必要に応じて応力計算を行うとする。
4. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
5. 特記なきスカープは全てR50とする。
6. 中印はTCB M22 (S10T) を示し、ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。
※印はMUF 24 (高力ワンサイドボルト) を示し、ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
7. [F.P.] の表示のある箇所は、完全溶込目溶接とする。
8. 新設鋼材はすべて塗装を施すとする。
9.  印はフッラペントを示す。

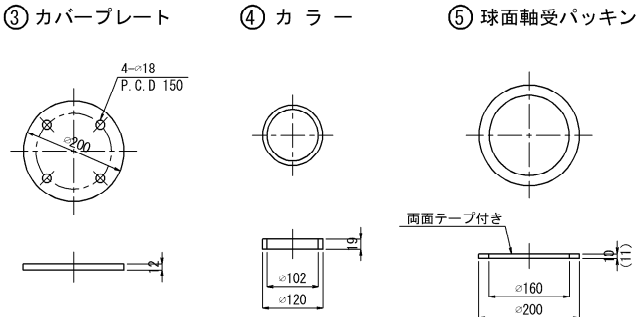
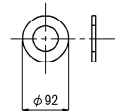
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A1橋台 制震構造詳細図(その5)		
縮 尺	図示	図面番号	398/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

制震ダンパー 2000 (±200)

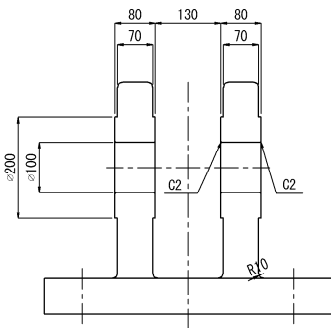
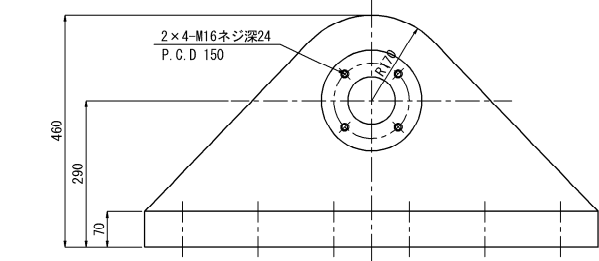
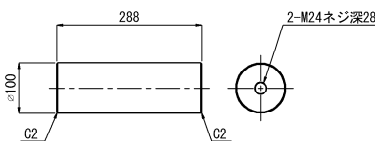
製作数:4組



座グリ詳細



⑥ ピン



規格表

ダンパー仕様		
抵抗力	F	2000 kN
ストローク	δ	± 200 mm
移動量		
L2地震時最大変位	δe	± 66 mm
片温度変化移動量	Δt	± 65.79 mm
施工誤差吸収量	δo	± 5 mm
桁回転移動量	Δ	± 18 mm

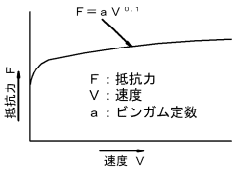
注) ストロークは
L2地震時最大移動量+片温度変化移動量+施工誤差吸収量+桁回転移動量以上を確保することを基本とする。
必要ストローク δ req= δ e+ Δ t+ δ o+ Δ =66+65.79+5+18=154.79mm<200mm
片温度変化移動量 Δ t=91.375×0.72=65.79mm

材料表

部番	部品名称	材質	個数	質量 (kg)	備考
△	ダンパー本体	-	1	1318.6	
②	ニ山クレビス	SCW480N	2	973.4	
③	カバープレート	SS400	4	11.5	
④	カラー	SS400	4	1.9	
5	球面軸受バッキン	クロロプレンスポンジゴム	4	0.1	
6	ピン	SUS630	2	35.1	
⑦	六角ボルト・ナット	-	12		JIS B 1180 JIS B 1181 (2-平座金)
⑧	六角ボルト・ナット	-	12		JIS B 1180 JIS B 1181 (2-平座金)
⑨	六角ボルト	-	16	1.9	JIS B 1180 (1-ばね座金, 平座金)
				2342.5	(kg)

注1) △印は塗装仕様、○印は溶融亜鉛メッキ仕様とする。
注2) 上部工とダンパー本体を結ぶ上部工架台および下部工とダンパー本体を結ぶ下部工架台は、⑦六角ボルト締付け完了後に上下部工架台と下部工を本固定すること。
注3) ダンパー本体長さ寸法は、ストローク中立位置（伸びる側にも縮む側にも、表記ストローク値だけ伸縮可能なセンター位置）での長さ寸法。

- ⑦ 六角ボルト 中 M48 × L 8.8
六角ナット 中 M48 8 (1種, 3種)
(2-平座金)
- ⑧ 六角ボルト 中 M48 × 200 8.8
六角ナット 中 M48 8 (1種, 3種)
(2-平座金)
- ⑨ 六角ボルト 中 M16 × 40 8.8
(1-ばね座金, 平座金)



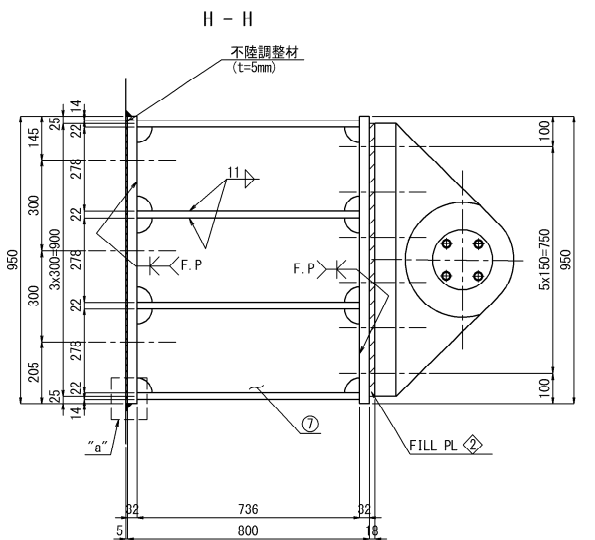
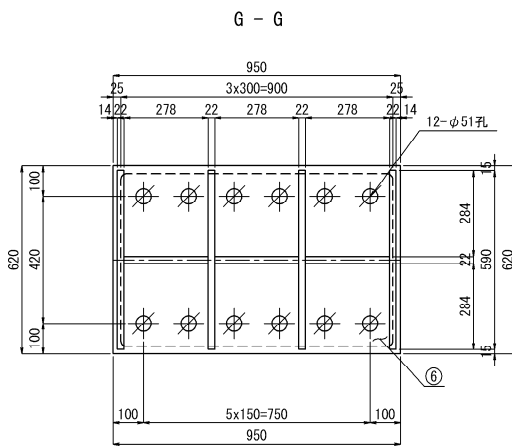
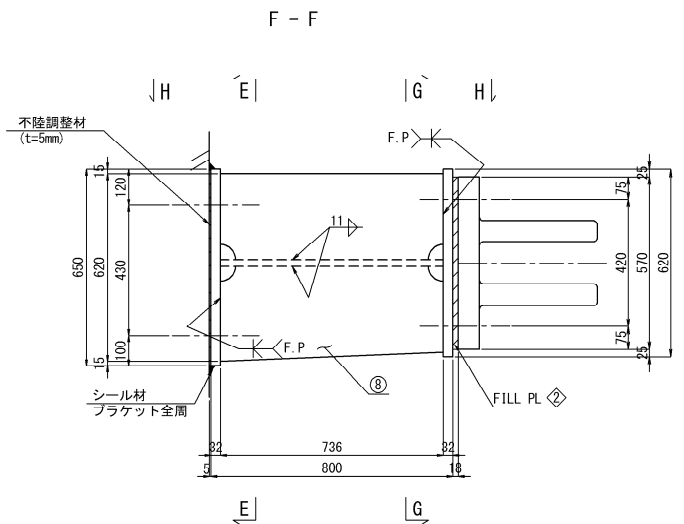
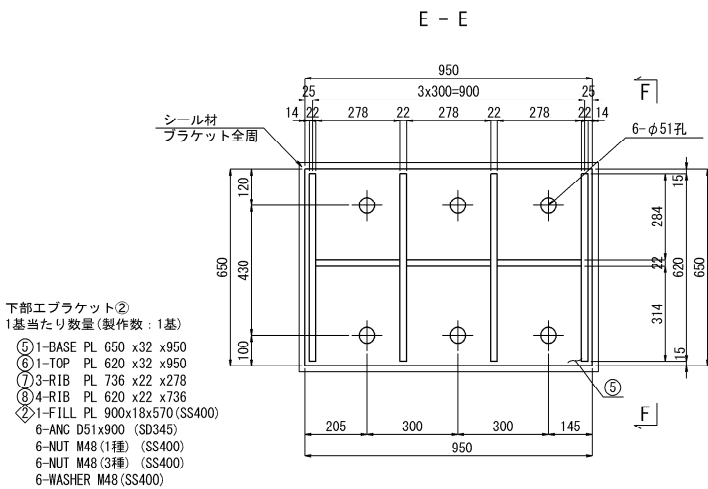
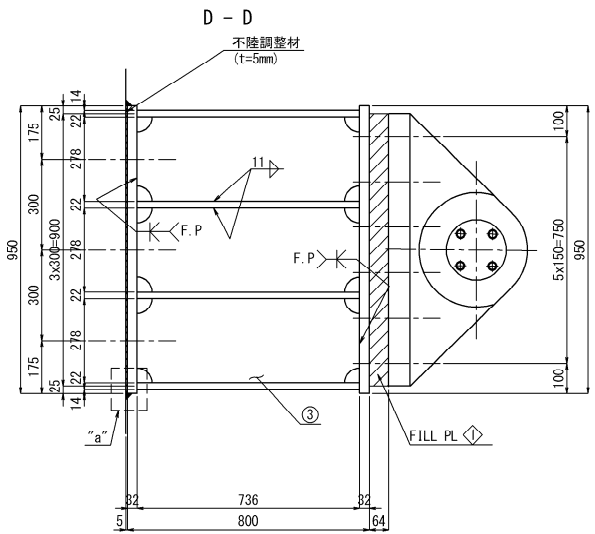
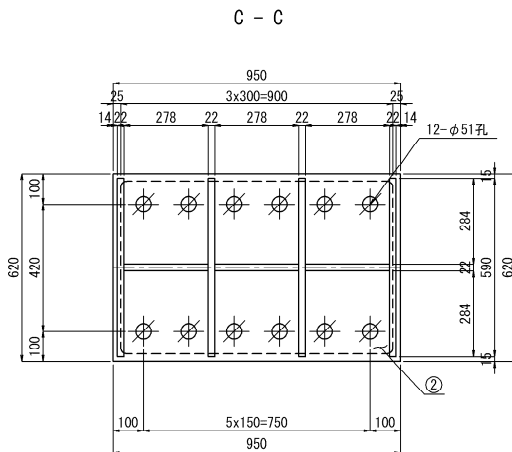
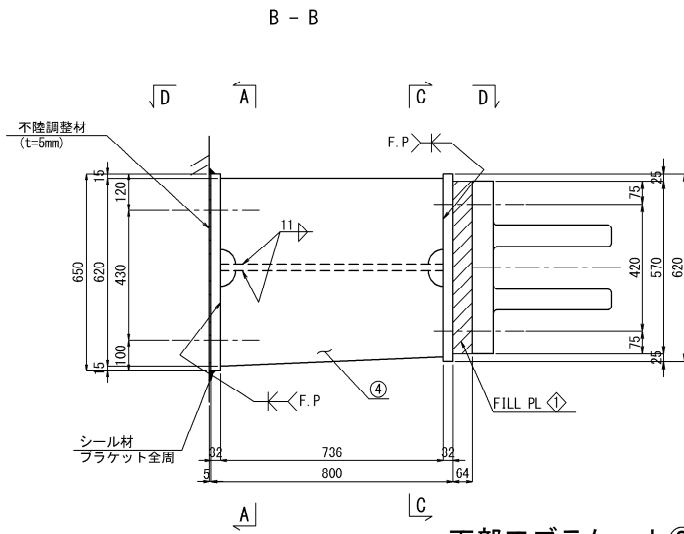
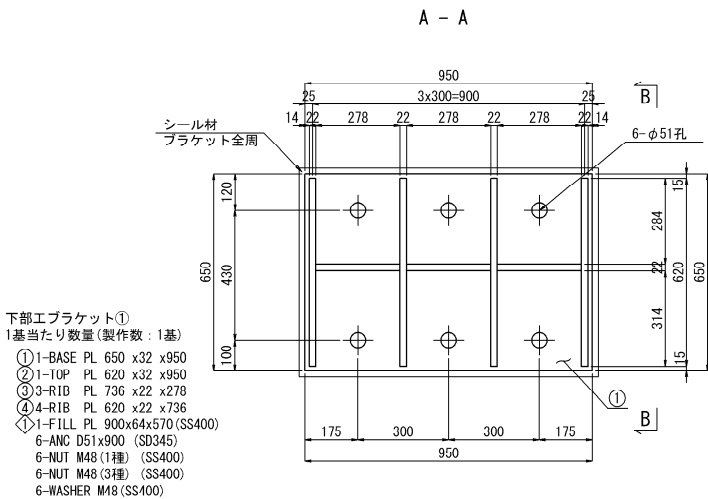
材料表

部番	部品名称	材質	個数	質量 (kg)	備考
⑦	六角ボルト・ナット	-	n	m	JIS B 1180 JIS B 1181 (2-平座金)
⑧	六角ボルト・ナット	-	12	73.068	JIS B 1180 JIS B 1181 (2-平座金)

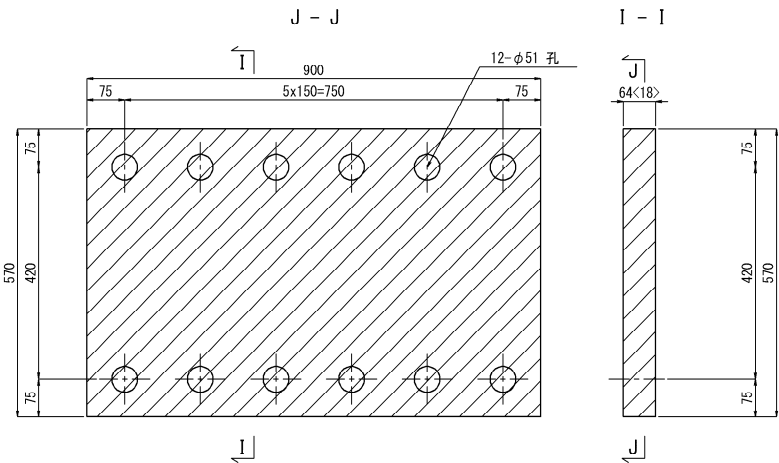
部番	部品名称	個数	質量 (kg)	L (mm)
a	A11桁 下部エブラケット①	12	89.820	300
	A11桁 下部エブラケット②	12	81.300	250
	A12桁 下部エブラケット③	12	73.068	200
	A12桁 下部エブラケット④	12	81.300	250

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A1橋台 制震構造詳細図(その6)(参考図)		
縮尺	1:25	図面番号	399/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

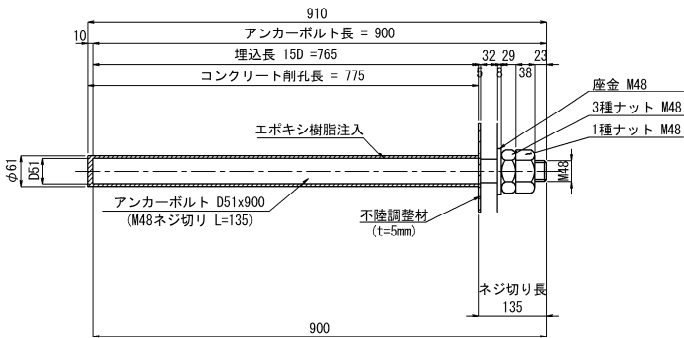
下部エブラケット詳細図
AT1桁
下部エブラケット①



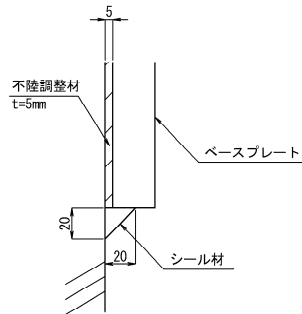
FILL PL ①②詳細 S=1:15



アンカーボルト詳細図 S=1:15



“a”部詳細 S=1:5



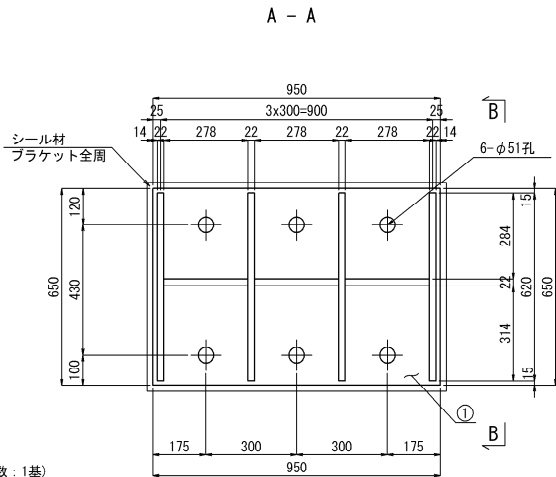
- 注 記
- アンカーボルト孔位置は鉄筋探索後決定のこと。
 - 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 - 特記なきスカーラップは全てR0とする。
 - 部材は全て溶融亜鉛メッキを施す。
アンカーボルトはネジ切り部・ナット類のみ
溶融亜鉛めっきを施すものとする。
(亜鉛の付着量は、JIS H 8641 HZD177とする。ただし、
ボルト・ナットの付着量は、JIS H 8641 HZD149とする。)
 - 工場製作はアンカーボルト削孔位置等、
現場実測確認のうえ行うものとする。
 - ※印のボルトは、BN M48 [2W付]を示す。
 - 「F.P.」の表示のある箇所は、完全溶込み溶接とする。
 - 斜線印はフロープレートを示す。
 - 鋼製ブラケットと既設コンクリートの接触面は
チッピングを行うものとする。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A1橋台 制震構造 鋼製ブラケット 構造図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	400/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

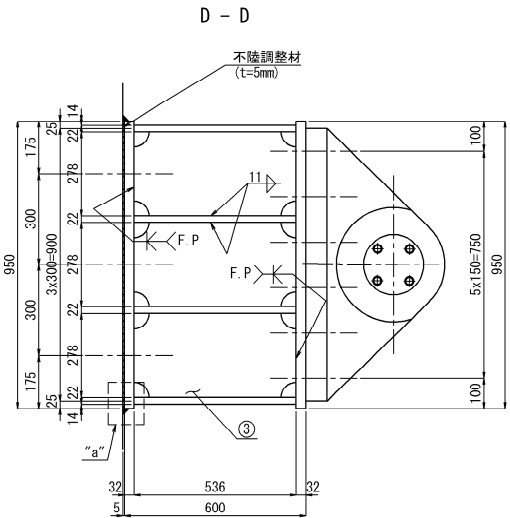
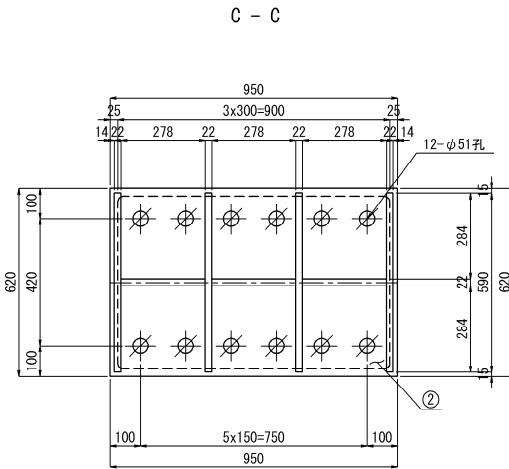
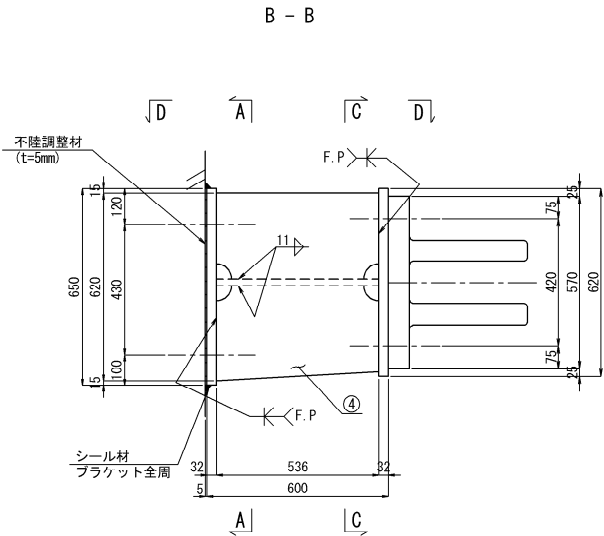
下部エブラケット詳細図

AT2桁

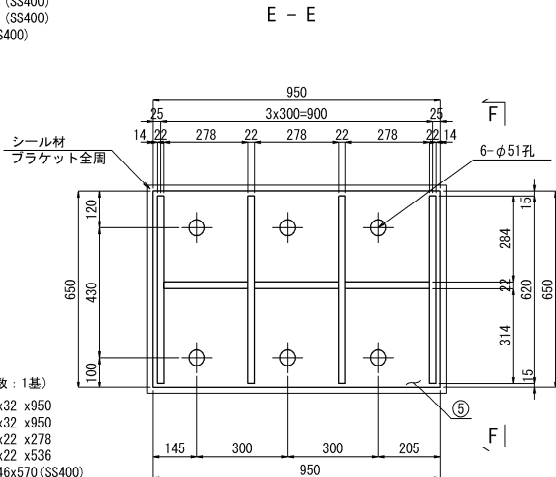
下部エブラケット③



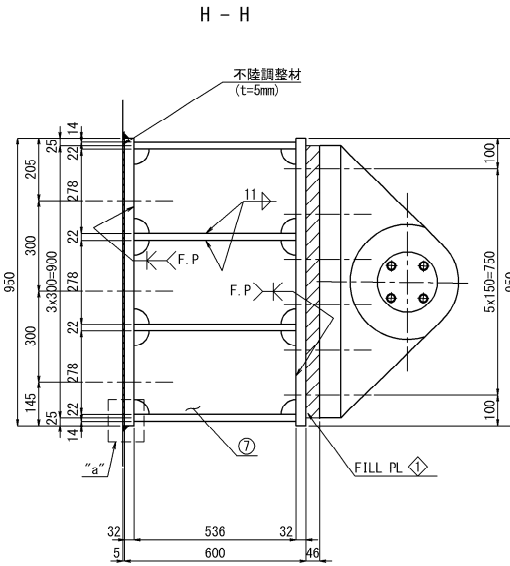
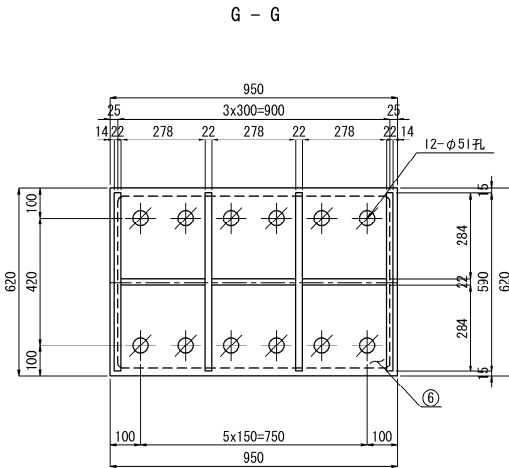
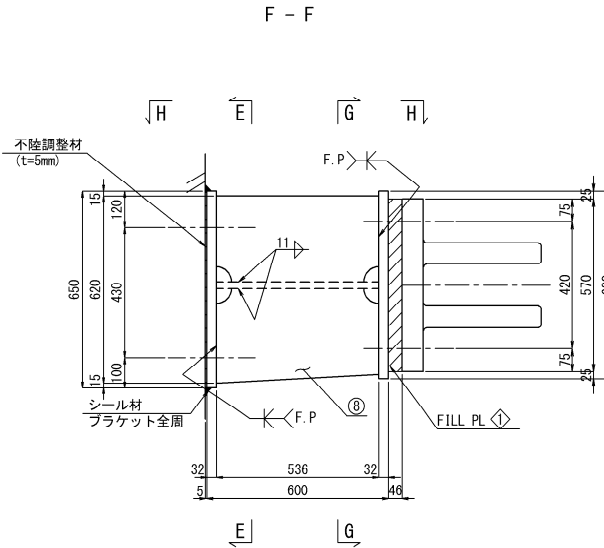
下部エブラケット③
1基当たり数量 (製作数: 1基)
① 1-BASE PL 650 x32 x950
② 1 TOP PL 620 x32 x950
③ 3-R1R PL 536 x22 x278
④ 4-R1B PL 620 x22 x536
6-ANG D51x900 (SD345)
6-NUT M48 (1種) (SS400)
6-NUT M48 (3種) (SS400)
6-WASHER M48 (SS400)



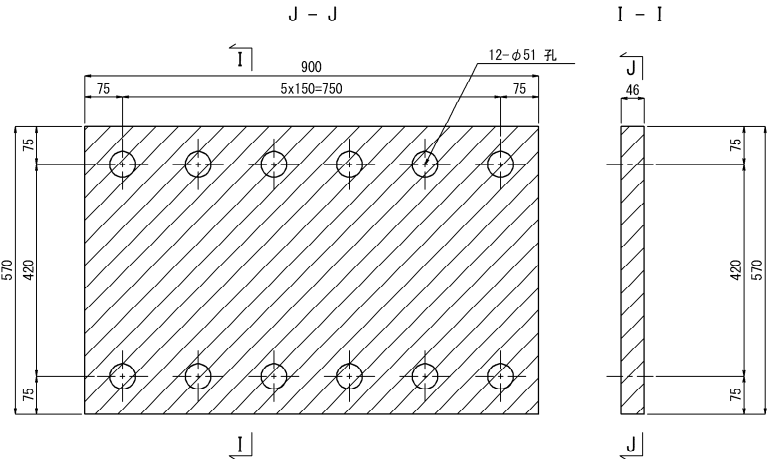
下部エブラケット④



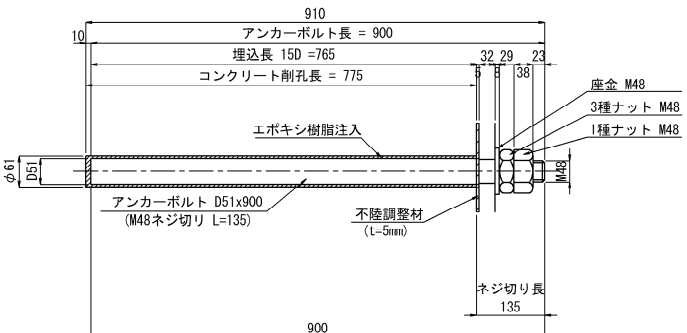
下部エブラケット④
1基当たり数量 (製作数: 1基)
⑤ 1-BASE PL 650 x32 x950
⑥ 1-TOP PL 620 x32 x950
⑦ 3-R1B PL 536 x22 x278
⑧ 4-R1B PL 620 x22 x536
⑨ 1-FILL PL 900x46x570 (SS400)
6-ANG D51x900 (SD345)
6-NUT M48 (1種) (SS400)
6-NUT M48 (3種) (SS400)
6-WASHER M48 (SS400)



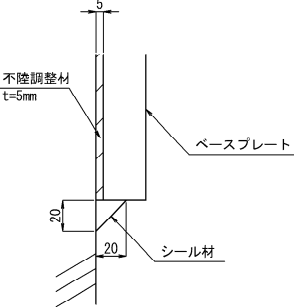
FILL PL ⑨ 詳細 S=1:15



アンカーボルト詳細図 S=1:15

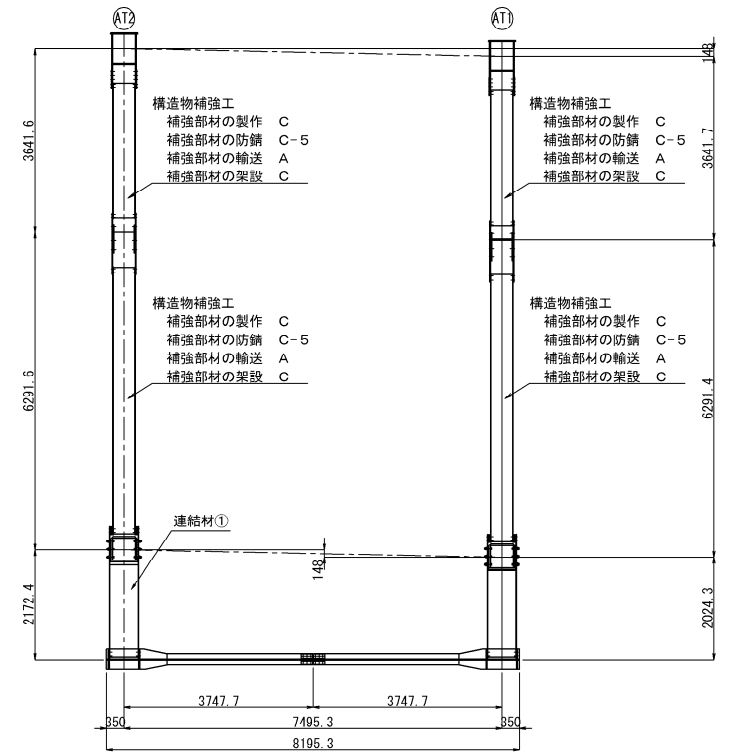


"a"部詳細 S=1:5

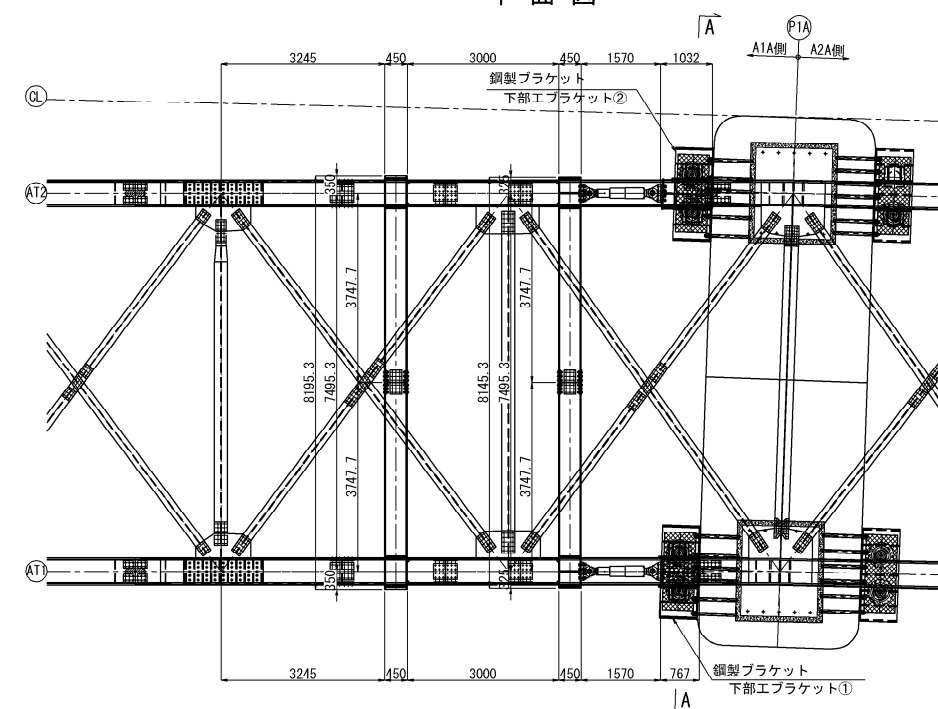


- 注 記
1. アンカーボルト孔位置は鉄筋探索後決定のこと。
 2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 3. 特記なきスカーラップは全てR0とする。
 4. 部材は全て溶融垂鉛メッキを施す。
 5. アンカーボルトはネジ切り部・ナット類のみ溶融垂鉛めっきを施すものとする。
 6. (垂鉛の付着量は、JIS H 8641 HZD177とする。ただし、ボルト・ナットの付着量は、JIS H 8641 HZD149とする。)
 7. 現場実測確認のうえ行うものとする。
 8. 工場製作はアンカーボルト削孔位置等、
 9. 垂鉛の付着量は、JIS H 8641 HZD177とする。ただし、ボルト・ナットの付着量は、JIS H 8641 HZD149とする。)
 10. 垂鉛の付着量は、JIS H 8641 HZD177とする。ただし、ボルト・ナットの付着量は、JIS H 8641 HZD149とする。)
 11. 垂鉛の付着量は、JIS H 8641 HZD177とする。ただし、ボルト・ナットの付着量は、JIS H 8641 HZD149とする。)
 12. 垂鉛の付着量は、JIS H 8641 HZD177とする。ただし、ボルト・ナットの付着量は、JIS H 8641 HZD149とする。)
 13. 垂鉛の付着量は、JIS H 8641 HZD177とする。ただし、ボルト・ナットの付着量は、JIS H 8641 HZD149とする。)
 14. 垂鉛の付着量は、JIS H 8641 HZD177とする。ただし、ボルト・ナットの付着量は、JIS H 8641 HZD149とする。)
 15. 垂鉛の付着量は、JIS H 8641 HZD177とする。ただし、ボルト・ナットの付着量は、JIS H 8641 HZD149とする。)
 16. 垂鉛の付着量は、JIS H 8641 HZD177とする。ただし、ボルト・ナットの付着量は、JIS H 8641 HZD149とする。)
 17. 垂鉛の付着量は、JIS H 8641 HZD177とする。ただし、ボルト・ナットの付着量は、JIS H 8641 HZD149とする。)
 18. 垂鉛の付着量は、JIS H 8641 HZD177とする。ただし、ボルト・ナットの付着量は、JIS H 8641 HZD149とする。)
 19. 垂鉛の付着量は、JIS H 8641 HZD177とする。ただし、ボルト・ナットの付着量は、JIS H 8641 HZD149とする。)
 20. 垂鉛の付着量は、JIS H 8641 HZD177とする。ただし、ボルト・ナットの付着量は、JIS H 8641 HZD149とする。)

長 野 自 動 車 道 五 常 機 床 取 替 工 事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A1橋台 制震構造 鋼製ブラケット 構造図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	401/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		

$$B = B$$


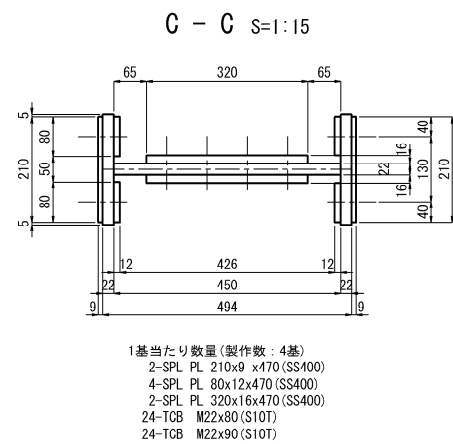
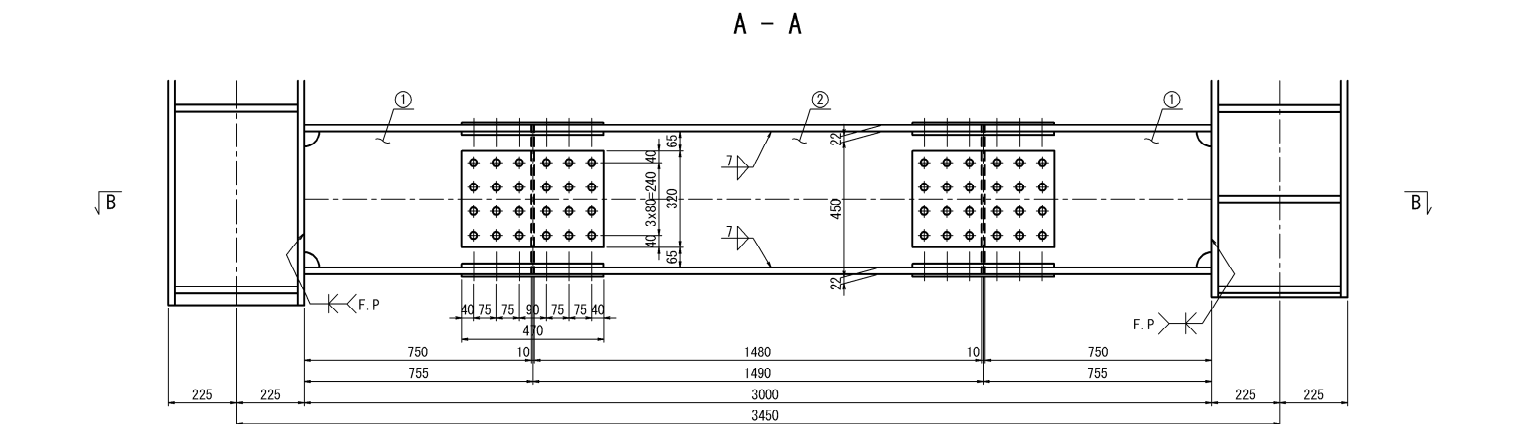
C - C



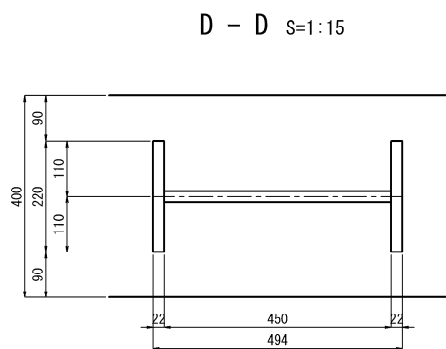
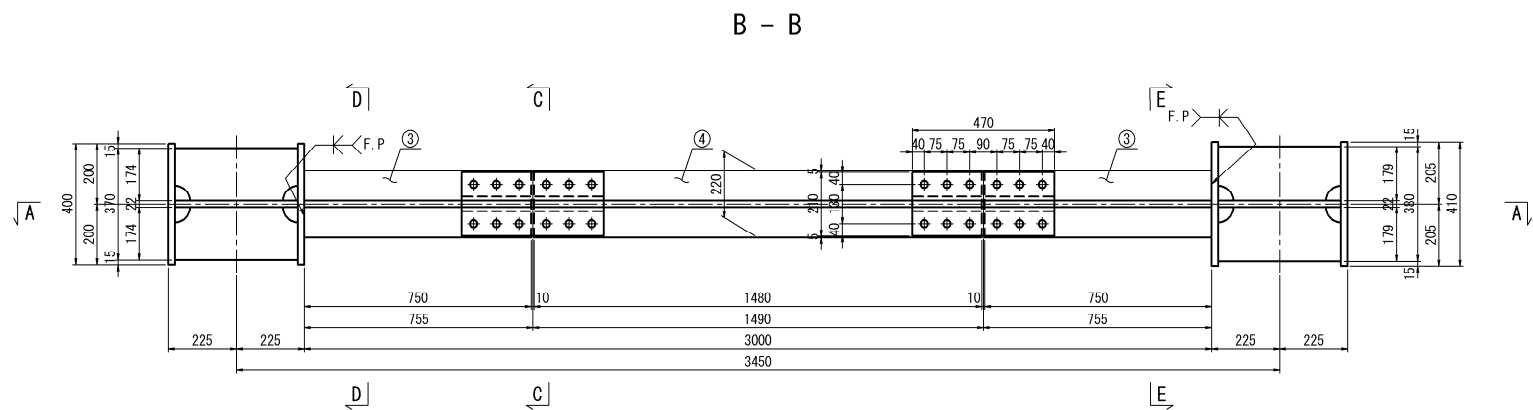
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線)P1橋脚 制震構造配置図		
縮 尺	図示	図面番号	402/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野道路事務所		

滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 制震構造詳細図(その1) S=1:25
制震ダンパー400(±100)
控え材
AT1桁・AT2桁

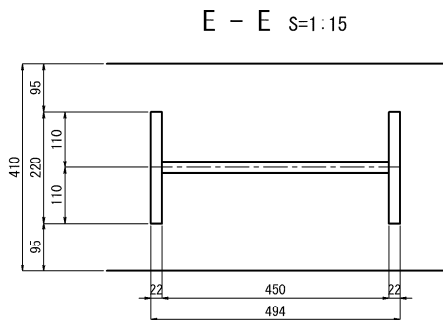
403/532



1基当たり数量(製作数:4基)
2-SPL PL 210x9 x470(SS400)
4-SPL PL 80x12x470(SS400)
2-SPL PL 320x16x470(SS400)
24-TCB M22x80(S10T)
24-TCB M22x90(S10T)



1基当たり数量(製作数:2基)
①2-WEB PL 450 x22 x 750
②1-WEB PL 450 x22 x1480
③4-FLG PL 220 x22 x 750
④2-FLG PL 220 x22 x1480

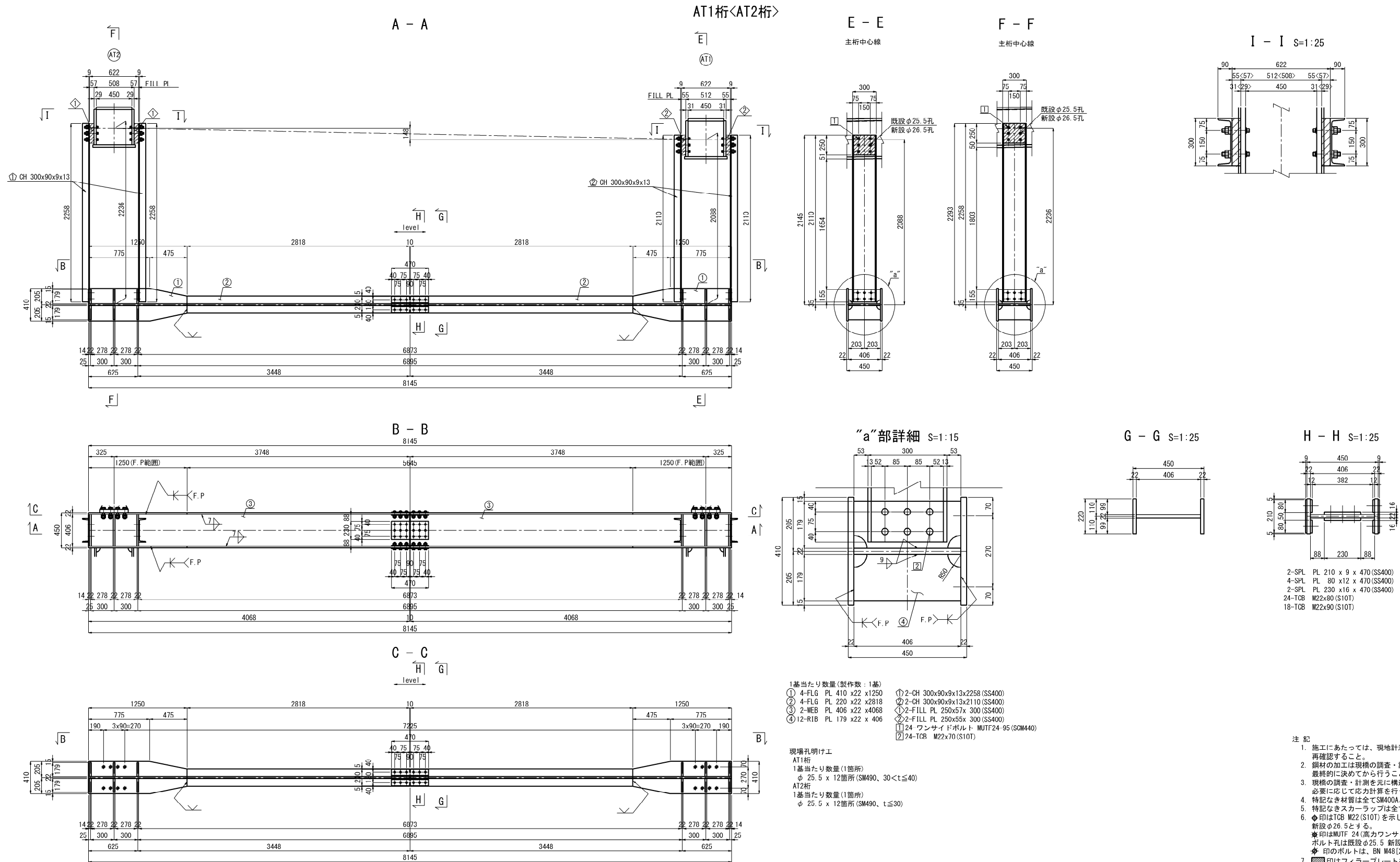


- 注 記
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
 2. 鋼材の加工は現橋の調査・計測を行い構造物の形状を最終的に決めてから行うこと。
 3. 現橋の調査・計測を元に構造物の形状を変更する場合は必要に応じて応力計算を行うこと。
 4. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 5. 特記なきスカーラップは全てR50とする。
 6. 印はTCB M22(S10T)を示し、ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。
 7. 「F.P.」の表示のある箇所は、完全溶込み溶接とする。
 8. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。

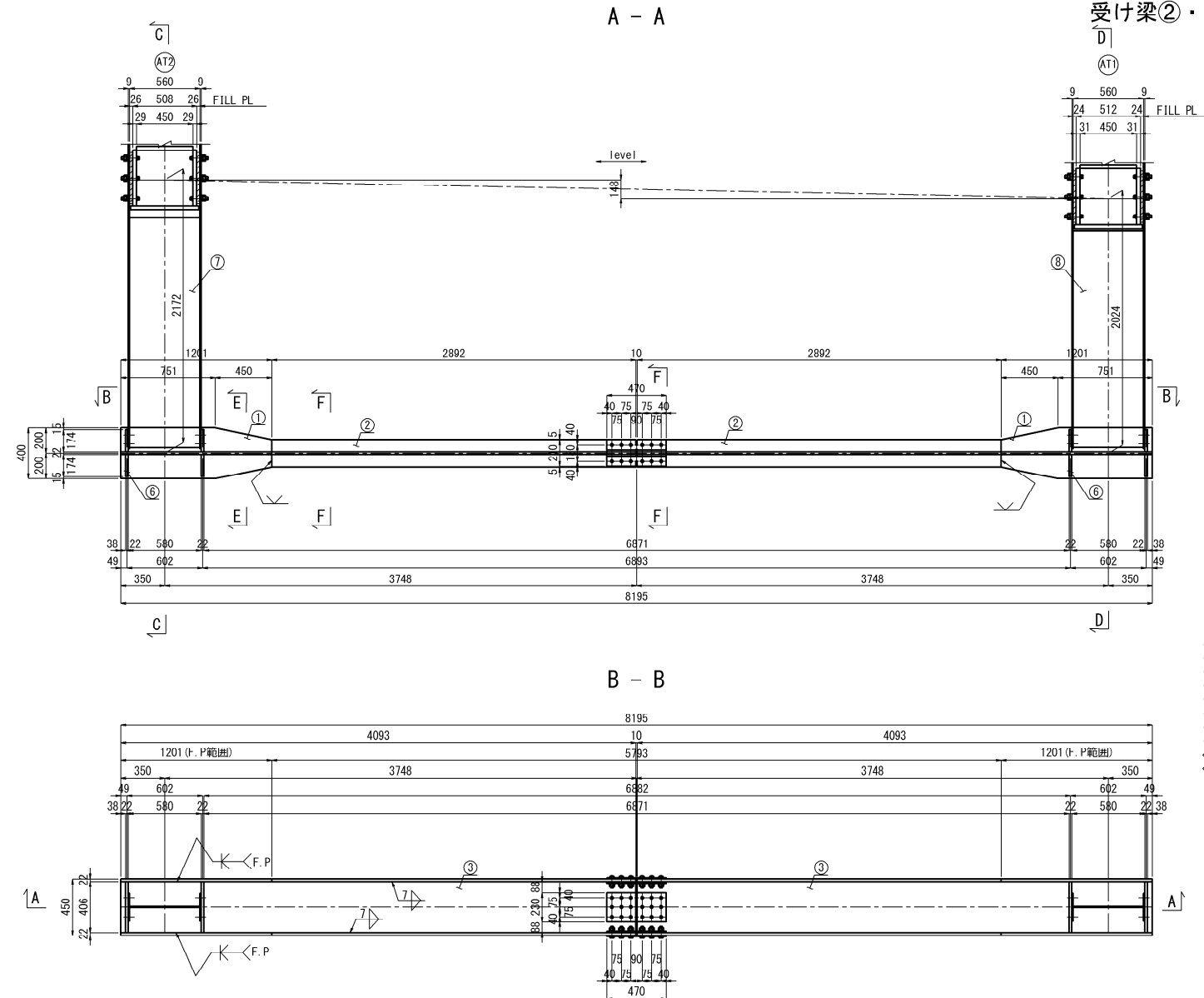
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 制震構造詳細図(その1)		
	縮 尺	図示	図面番号 403/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 制震構造詳細図(その2) S=1:50
制震ダンパー400(±100)
受け梁①

404/532



長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 制震構造詳細図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	404/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



- 1 基当たり数量 (製作数: 1基)
- | | | | | | |
|---|--------------------------------|--------|--------|-----|---------------|
| ① | 4-FLG | PL | 400 | x22 | x1201 |
| ② | 4-FLG | PL | 220 | x22 | x2892 |
| ③ | 2-WEB | PL | 406 | x22 | x4093 |
| ④ | 2-Guss | PL | 220 | x9 | x2595 |
| ⑤ | 2-Guss | PL | 220 | x9 | x2435 |
| ⑥ | 8 RIB | PL | 174 | x22 | x 406 |
| ⑦ | 1-WEB | PL | 560 | x 9 | x1865 |
| ⑧ | 1-WEB | PL | 560 | x 9 | x1720 |
| ⑨ | 2-FILL | PL | 220 | x29 | x 414 (SS400) |
| ⑩ | 2-FILL | PL | 220 | x24 | x 414 (SS400) |
| ⑪ | 16-TGB | M22x70 | (S10T) | | |
| ⑫ | 24-ワンサイドポルト MUTF24-65 (SCM440) | | | | |

現場孔明け工

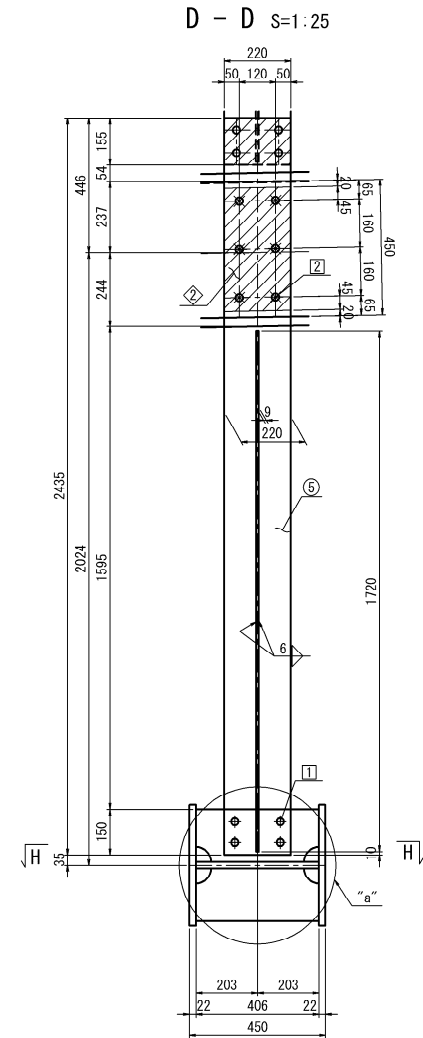
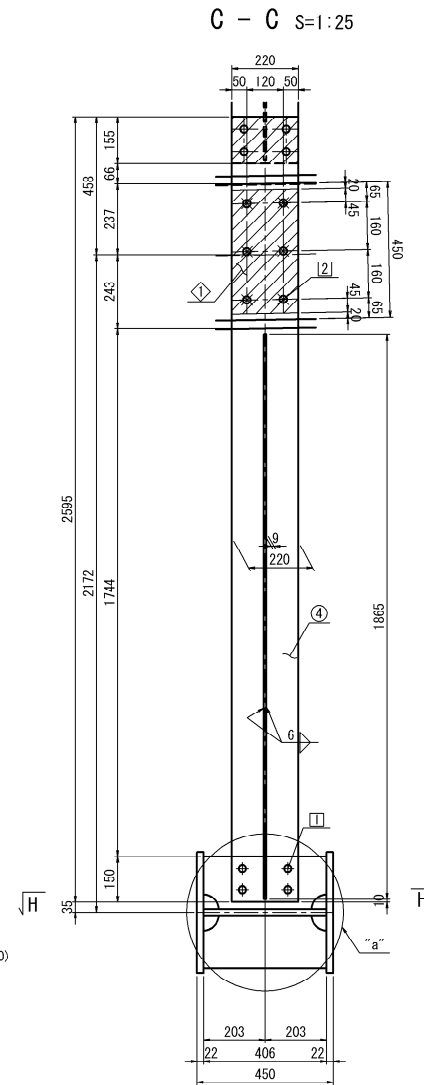
AT18
1st

1基当たり数量(1箇所)
 の 25.5 × 12箇所(SM)

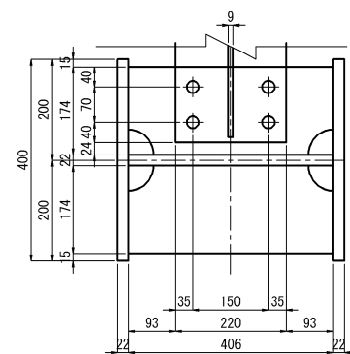
AT2桁

1基当たり数量(1箇所)

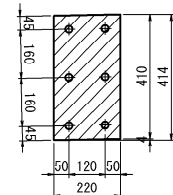
φ 25.5 x 12箇所 (SM490、t ≤ 30)



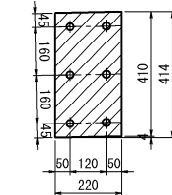
"a"部詳細 S=1:15



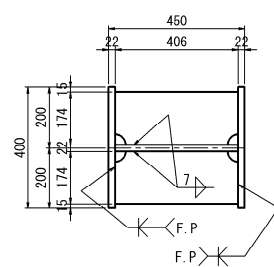
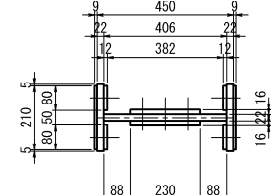
1 詳細 S=1:25
t=29mm



2 詳細 S=1:25
t=24mm

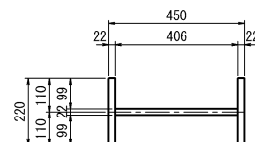
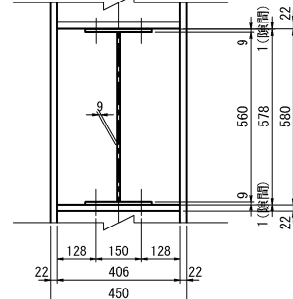


E - E S=1:25





$$F - F_{S=1:25}$$


2-SPL PL 210 x 9 x 470 (SS400)
4-SPL PL 80 x12 x 470 (SS400)
2-SPL PL 230 x16 x 470 (SS400)
24-TCB M22x80 (S10T)
18-TCB M22x90 (S10T)

G - G S=1:25


$$\text{H} - \text{H} \quad \text{S}=1:25$$


注記

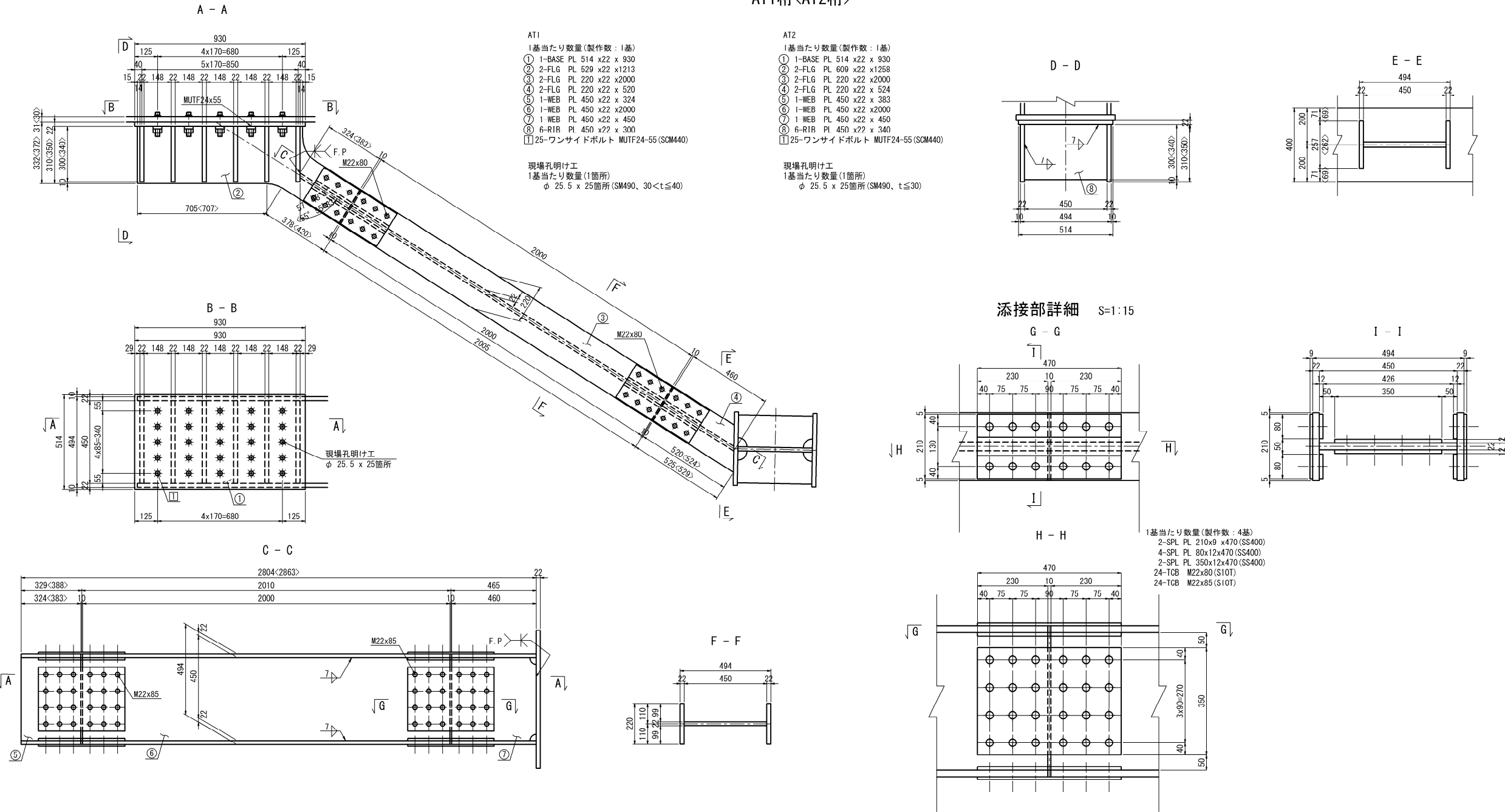
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 鋼材の加工は現構の調査・計測を行い構造物の形状を最終的に決めてから行うこと。
3. 現構の調査・計測を元にした構造物の形状を変更する場合は必要に応じて応力計算を行うこと。
4. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
5. 特記なきスカラーラップは全てR50とする。
6. 印はTCB M22 (S10T) を示し、ポルトルは既設のφ24.5 新設のφ26.5 とする。
※印はMUTF 24 (高力ファンサイドポルト) を示し、ポルトルは既設のφ25.5 新設のφ26.5 とする。
7. 印のポルトルは、BN M48 [2W]付を示す。
8. 印はFRP補強を示す。
9. 「F. P.」の表示のある個所は、完全溶込み溶接とする。
10. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 制震構造詳細図(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	405/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野支店 事務所		

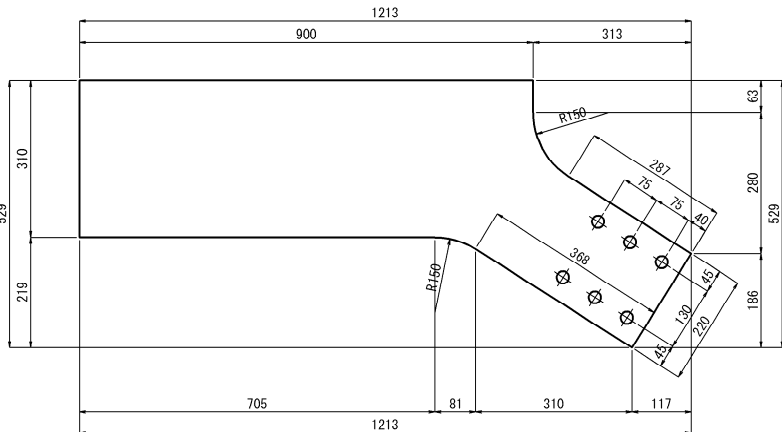
滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 制震構造詳細図(その4) S=1:25
制震ダンパー400 (±100)

連結材②

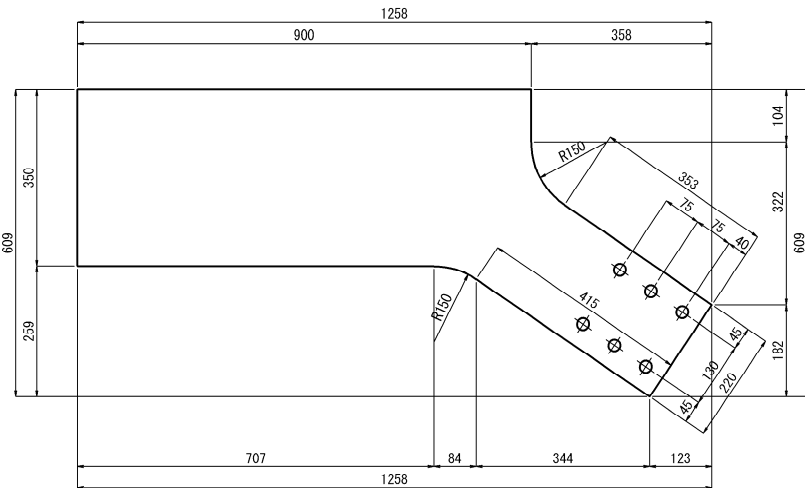
AT1桁<AT2桁>



AT1桁 ② 詳細 S=1:15



AT2桁 ② 詳細 S=1:15

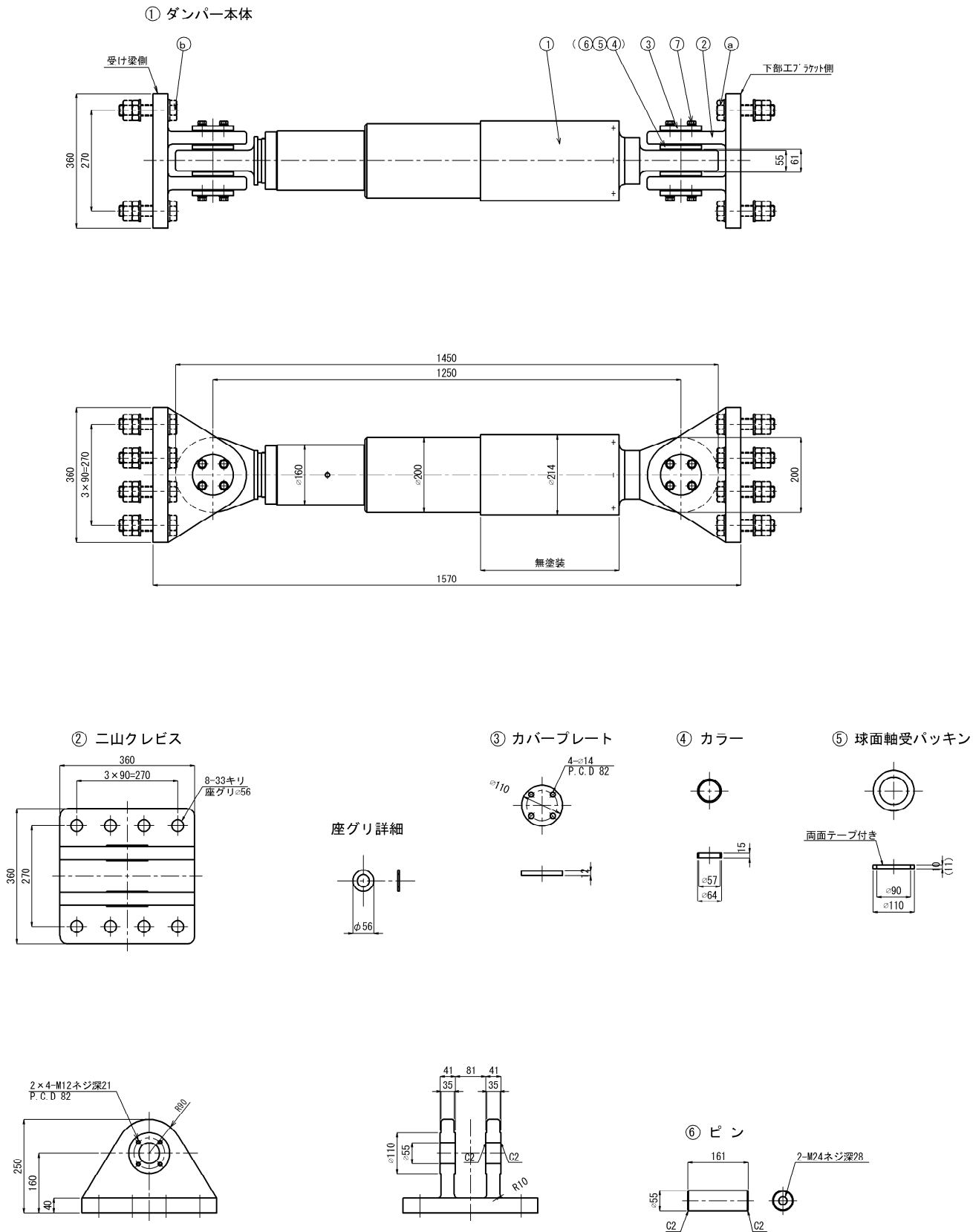


注 記
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 鋼材の加工は現橋の調査・計測を行い構造物の形状を最終的に決めてから行うこと。
3. 現橋の調査・計測を元に構造物の形状を変更する場合は必要に応じて応力計算を行うこと。
4. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
5. 特記なきスカーラップは全てR50とする。
6. φ印はTGB M22 (S10T)を示し、ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。
※印はMUTF 24 (高力ワンサイドボルト)を示し、ボルト孔は既設φ25.5 新設φ26.5とする。
7. 「F.P.」の表示のある箇所は、完全溶込み溶接とする。
8. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 制震構造詳細図(その4)		
縮 尺	図示	図面番号	406/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

制震ダンパー400 (±100)

製作数:2組



規格表

ダンパー仕様			
抵抗力	F	400	kN
ストローク	δ	± 100	mm
鋼製部材設計力	P	520	kN
移動量			
L2地震時最大変位	δ_e	± 30	mm
片温度変化移動量	Δt	± 0	mm
施工誤差吸収量	δ_o	± 5	mm
桁回転移動量	Z	± 22	mm

注) ストロークは
L2地震時最大移動量+片温度変化移動量+施工誤差吸収量+桁回転移動量以上を確保することを基本とする。
必要ストローク $\delta_{req} = \delta_e + \Delta t + \delta_o + Z = 30 + 0 + 5 + 22 = 57\text{mm} < 100\text{mm}$
片温度変化移動量 $\Delta t = 0 \times 0.72 = 0\text{mm}$

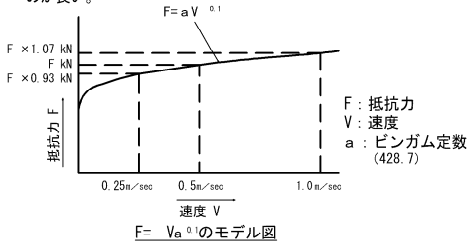
材料表

部番	部品名称	材質	個数	質量 (kg)	備考
①	ダンパー本体	-	1	220.5	
②	ニ山クレビス	SW480N またはSW490A	2	126.3	
③	カバープレート	SS400	4	3.3	
④	カラー	SS400	4	0.3	
5	球面軸受バッキン	クロロブレンスポンジゴム	4	0.1	
6	ピン	SUS630	2	5.6	
⑦	六角ボルト	-	16	1.0	JIS B 1180 (1-ばね座金, 平座金)
				357.1	(kg)

注1) ハ印は塗装仕様、○印は溶融亜鉛メッキ仕様とする。
注2) 上部工とダンパー本体を結ぶ上部工架台および下部工とダンパー本体を結ぶ下部工架台は、③④ 六角ボルト締付け完了後に上下部工架台と下部工を本固定すること。
注3) ダンパー本体長さ寸法は、ストローク中立位置（伸びる側にも縮む側にも、表記ストローク値だけ伸縮可能なセンター位置）での長さ寸法。
注4) 制振ダンパーは抵抗力特性が速度の0.1乗に比例し、地震時速度における抵抗力変化が非常に小さい。
各速度における抵抗力は、

速度	抵抗力
0.25 m/sec	7 %
0.5 m/sec	定格抵抗力
1.0 m/sec	7 %

となる。
このことから、動的解析を行なう際はバイリニアモデルを適用することができる。
また、動的解析ソフトが速度依存を考慮した解析を行なうことが可能な場合、 $F = a V^{0.1}$ の速度依存式に基づくモデルを用いるのが良い。



制振ダンパーは上記の性能を有する製品を使用することとし、上記の性能と異なる製品を使用する場合は、橋梁全体の照査を行うこと。

① 六角ボルト 中 M12×35 8.8
(1-ばね座金, 平座金)

材料表

部番	部品名称	材質	個数	質量 (kg)	備考
⑧	六角ボルト・ナット	-	8	m	JIS B 1180 JIS B 1181 (2-平座金)
⑨	六角ボルト・ナット	-	8	11.808	JIS B 1180 JIS B 1181 (2-平座金)

注5) 特に指定なき場合、○印は溶融亜鉛メッキ仕様とする。

⑧ 六角ボルト 中 M30× L 8.8
六角ナット 中 M30 8 (1種, 3種)
(2-平座金)
⑨ 六角ボルト 中 M30× 8.8
六角ナット 中 M30 8 (1種, 3種)
(2-平座金)

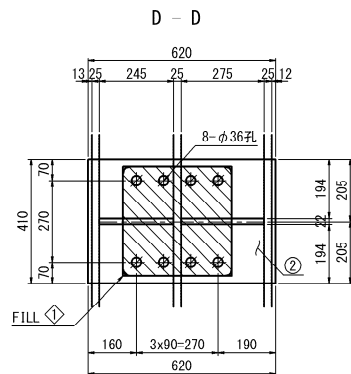
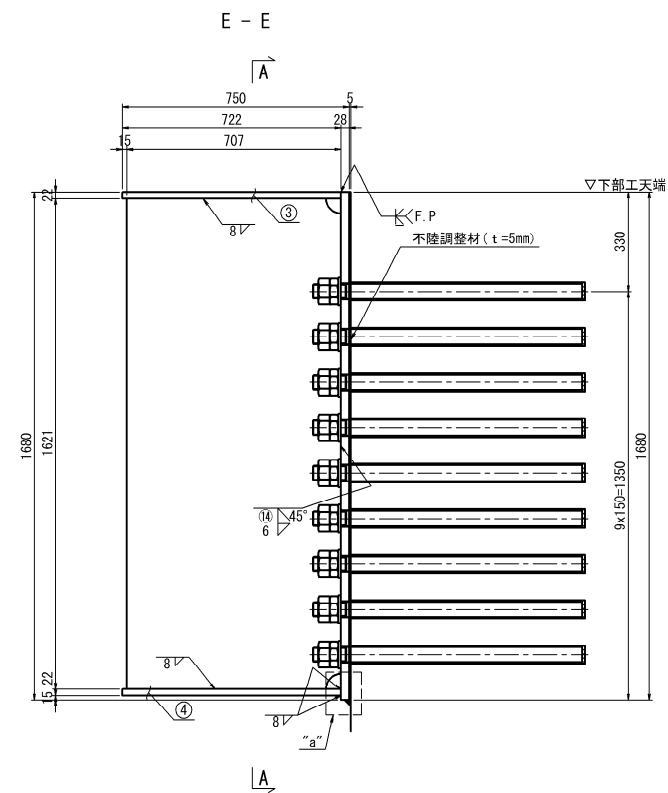
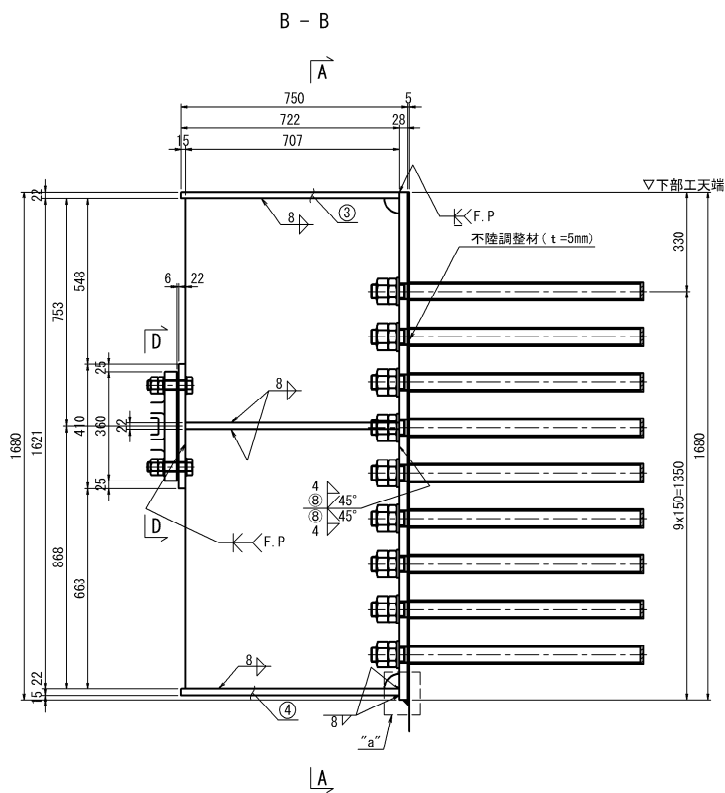
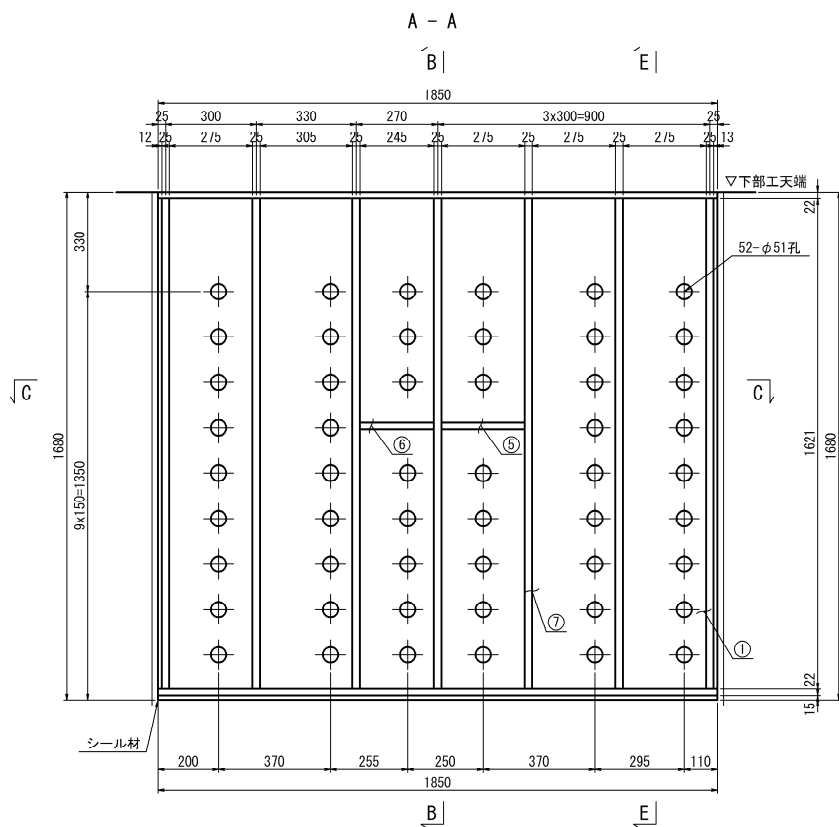
注6) ⑧⑨ の六角ボルトをねじ込み固定の際は、平座金、ばね座金各1枚使用を推奨。

部番	部品名称	個数	質量 (kg)	L (mm)
⑩	AT1桁 下部エブラケット①	8	11.888	130
	AT2桁 下部エブラケット②	8	13.032	160

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 制震構造詳細図(その5) (参考図)		
縮尺	図示	図面番号	407/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

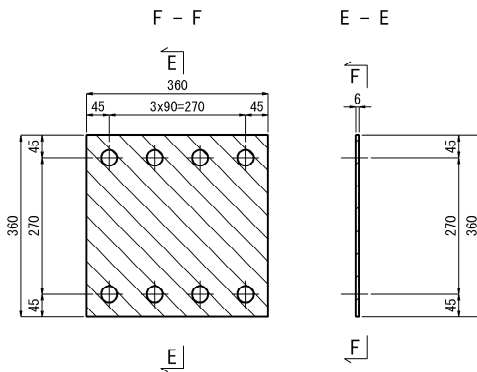
滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 制震構造 鋼製ブラケット 構造図(その1) S=1:25
制震ダンパー400 (±100)
下部エブラケット
AT1桁
下部エブラケット①

408/532

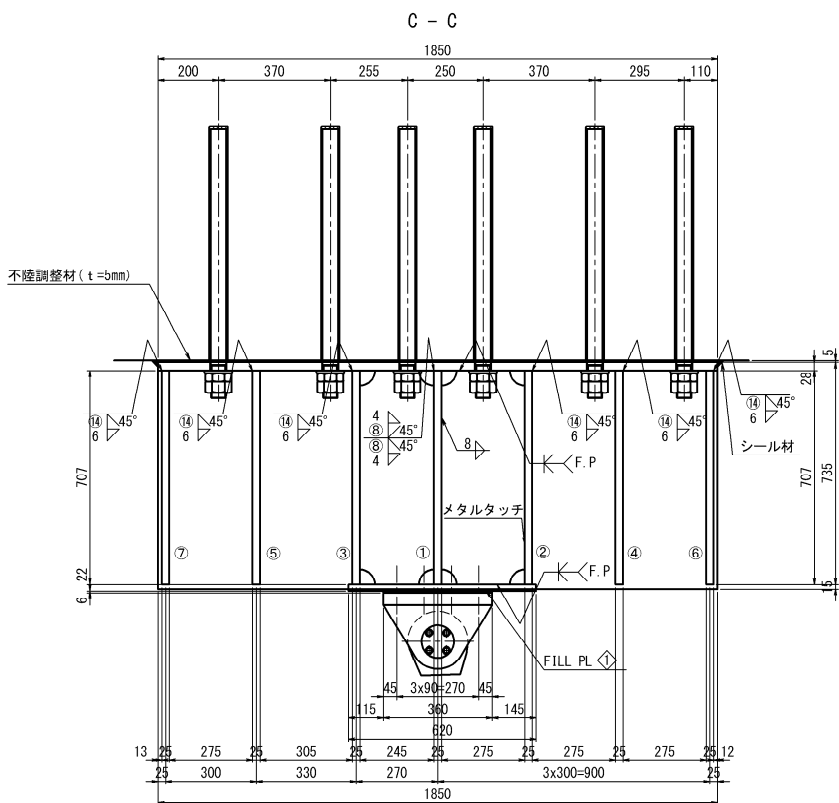
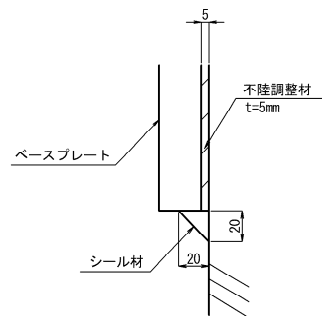


- 下部エブラケット①
1基当たり数量(製作数:1基)
- ①1-BASE PL 1680 x28 x1850
 - ②1-BASE PL 620 x22 x410
 - ③1-UFLG PL 722 x22 x1850
 - ④1-LFLG PL 722 x22 x1850
 - ⑤1-RIB PL 707 x22 x275
 - ⑥1-RIB PL 707 x22 x245
 - ⑦1-RIB PL 707 x25 x1621
 - ⑧1-FILL PL 360 x6 x360 (SS400)
 - 52-ANG D51x890 (SD345)
 - 52-NUT M48 (1種) (SS400)
 - 52-NUT M48 (3種) (SS400)
 - 52-WASHER M48 (SS400)

FILL PL ① 詳細 S=1:15

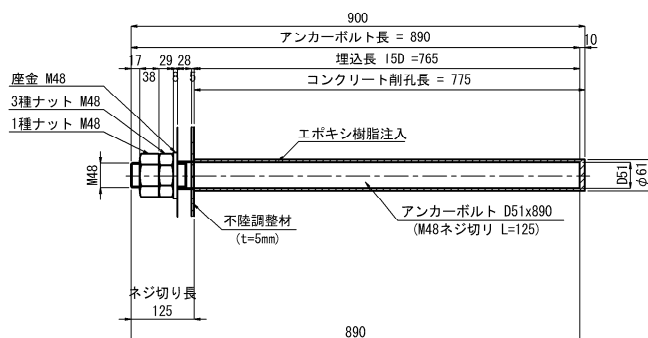


"a"部詳細 S=1:5



溶接順序:
①→②→③→④→⑤→⑥→⑦
※ ①～⑦は、あくまでも案である。実際の製作時に工場に確認する必要あり。

アンカーボルト詳細図 S=1:15



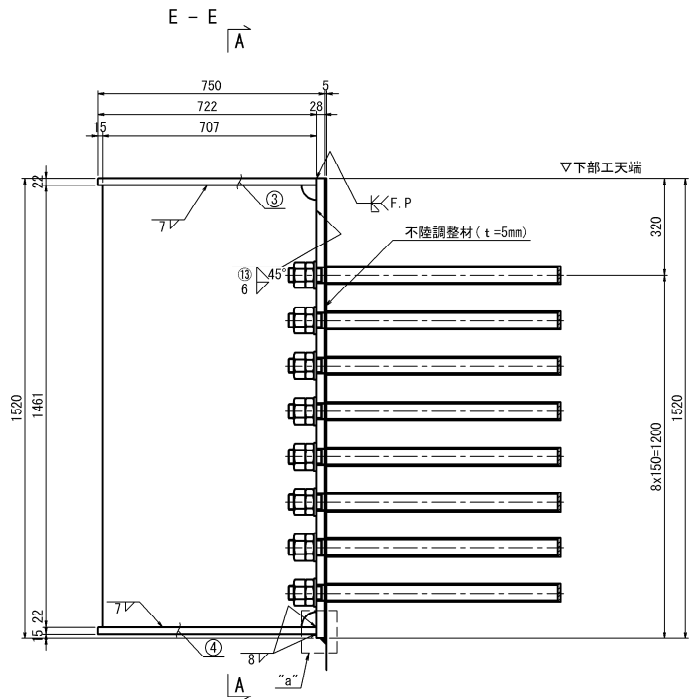
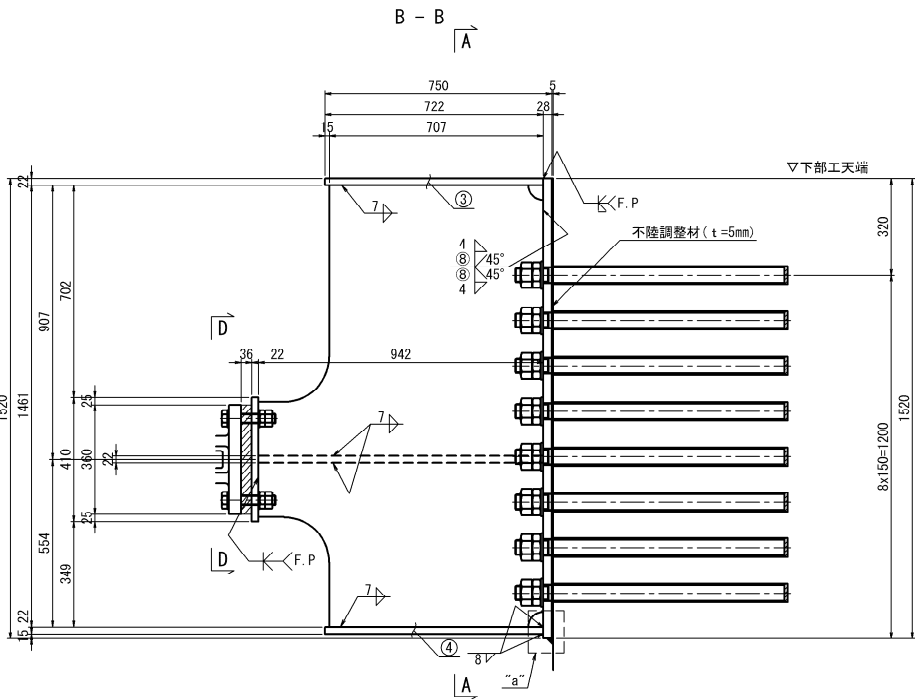
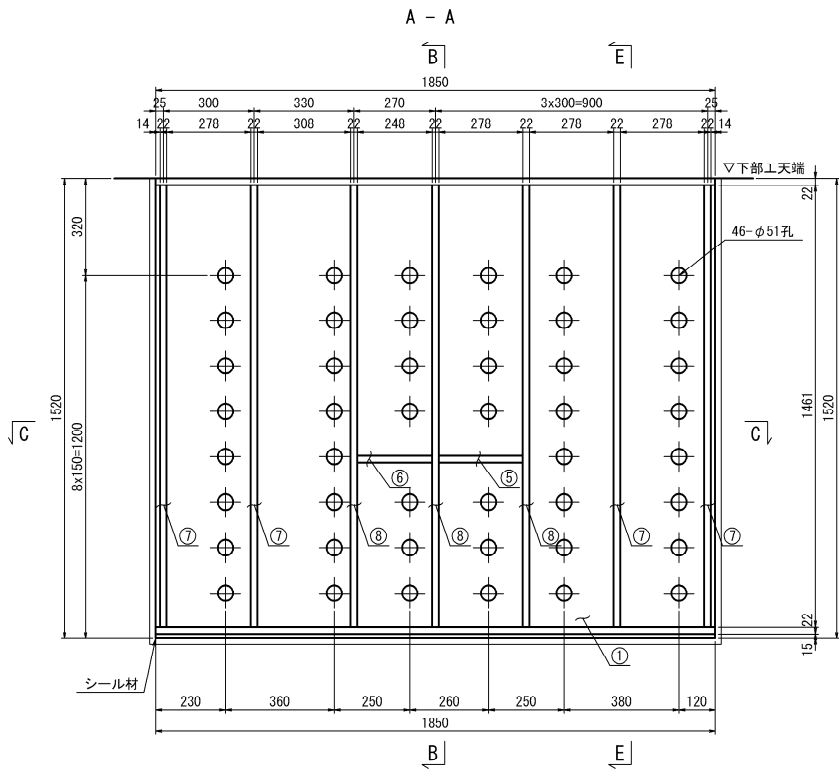
- 注 記
1. アンカーボルト孔位置は鉄筋探索後決定のこと。
 2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 3. 特記なきスカーラップは全てR0とする。
 4. 部材は全て溶融亜鉛メッキを施す。
アンカーボルトはネジ切り部・ナット類のみ
溶融亜鉛めっきを施すものとする。
(亜鉛の付着量は、JIS H 8641 HZDT77 とする。ただし、
ボルト・ナットの付着量は、JIS H 8641 HZDT49とする。)
 5. 工場製作はアンカーボルト削孔位置等、
現場実測確認のうえ行うものとする。
 6. 印のボルトは、BN M48 [2W付]を示す。
 7. 「F.P」の表示のある箇所は、完全溶込み溶接とする。
 8. 印はフィラープレートを示す。
 9. 鋼製ブラケットと既設コンクリートの接触面は
タッピングを行うものとする。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 制震構造 鋼製ブラケット 構造図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	408/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

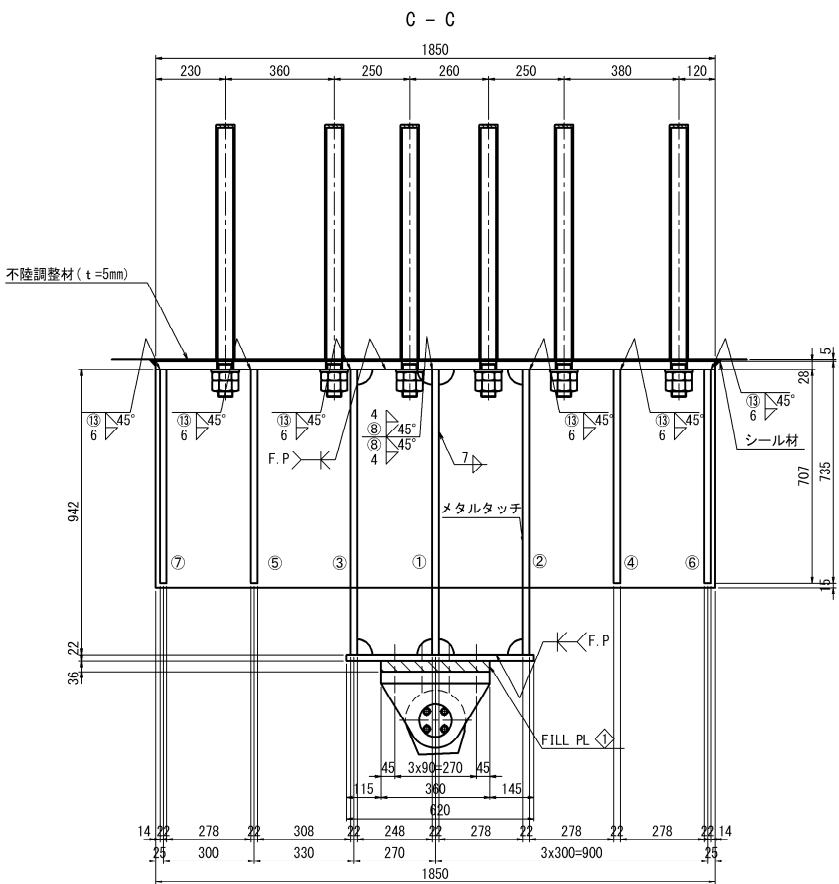
滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 制震構造 鋼製ブラケット 構造図(その2) S=1:25
制震ダンパー400 (±100)
下部エブラケット
AT2桁

409/532

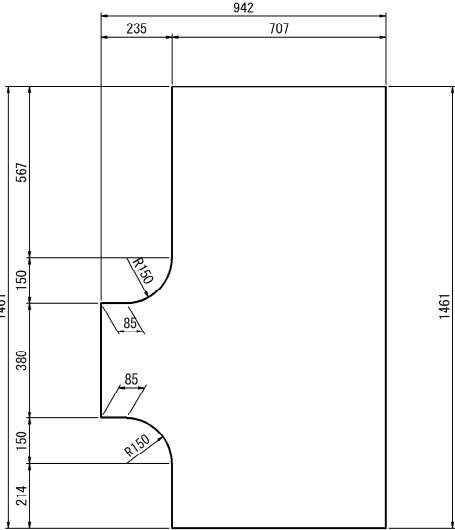
下部エブラケット②



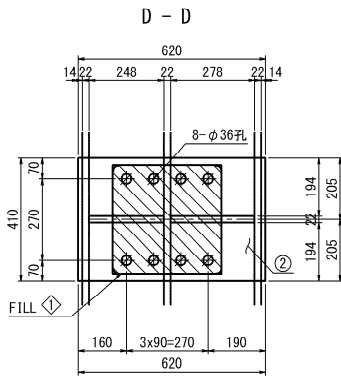
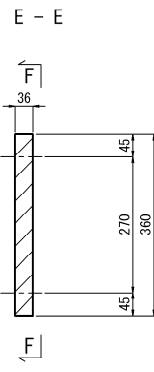
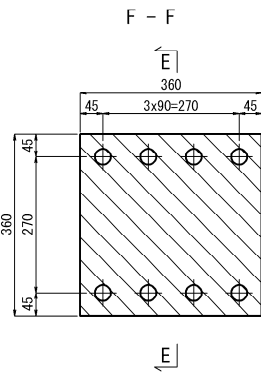
⑧ 詳細



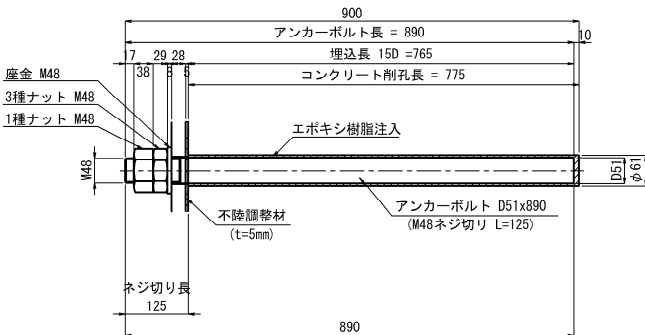
- 下部エブラケット②
1基当たり数量(製作数:1基)
- ① 1-BASE PL 1520 x 28 x 1850
 - ② 1-BASE PL 620 x 22 x 410
 - ③ 1-UFLG PL 722 x 22 x 1850
 - ④ 1-LFLG PL 722 x 22 x 1850
 - ⑤ 1-RIB PL 942 x 22 x 2/8
 - ⑥ 1-RIB PL 942 x 22 x 2/8
 - ⑦ 4-RIB PL 707 x 22 x 1/4
 - ⑧ 3-RIB PL 942 x 22 x 1/4
 - ⑨ 1-FILL PL 360 x 36 x 360 (SS400)
 - 46-ANC D51x890 (SD345)
 - 46-NUT M48 (1種) (SS400)
 - 46-NUT M48 (3種) (SS400)
 - 46-WASHER M48 (SS400)



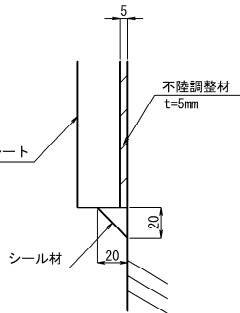
FILL PL ① 詳細 S=1:15



アンカーボルト詳細図 S=1:15



"a"部詳細 S=1:5



- 注 記
- アンカーボルト孔位置は鉄筋探索後決定のこと。
 - 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 - 特記なきスカラーラップは全てR0とする。
 - 部材は全て溶融垂鉛メッキを施す。
アンカーボルトはネジ切り部・ナット類のみ
溶融垂鉛めっきを施すものとする。
(垂鉛の付着量は、JIS H 8641 HZD177 とする。ただし、
ボルト・ナットの付着量は、JIS H 8641 HZD49とする。)
 - 工場製作はアンカーボルト削孔位置等、
現場実測確認のうえ行うものとする。
 - ✳印のボルトは、BN M48 [2W付]を示す。
 - [F.P.]の表示のある箇所は、完全溶込み溶接とする。
 - ✳印はフィラープレートを示す。
 - 鋼製ブラケットと既設コンクリートの接触面は
チッピングを行うものとする。

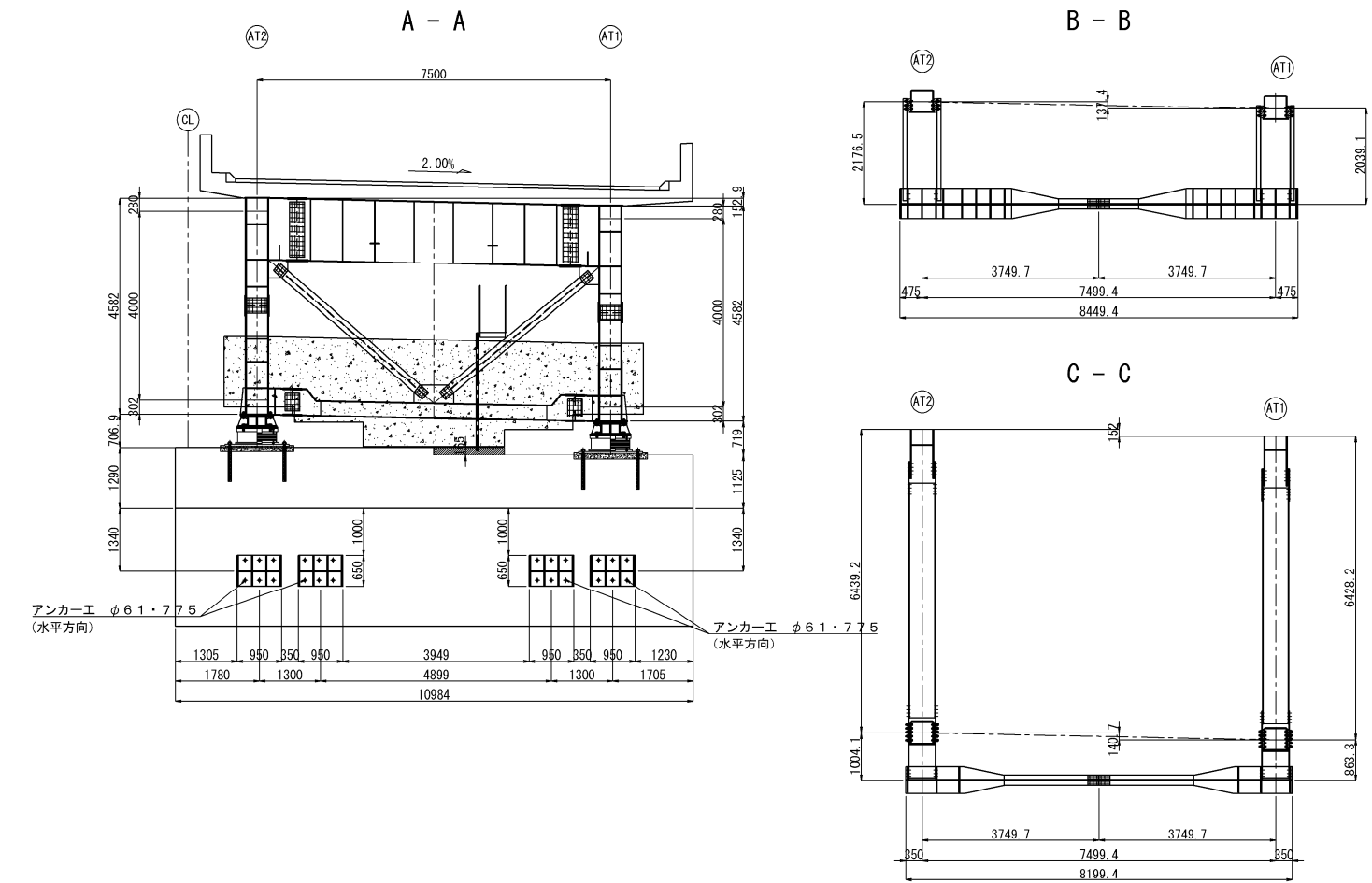
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 制震構造 鋼製ブラケット 構造図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	409/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) A2橋台 制震構造配置図
制震ダンパー2000 (±200)

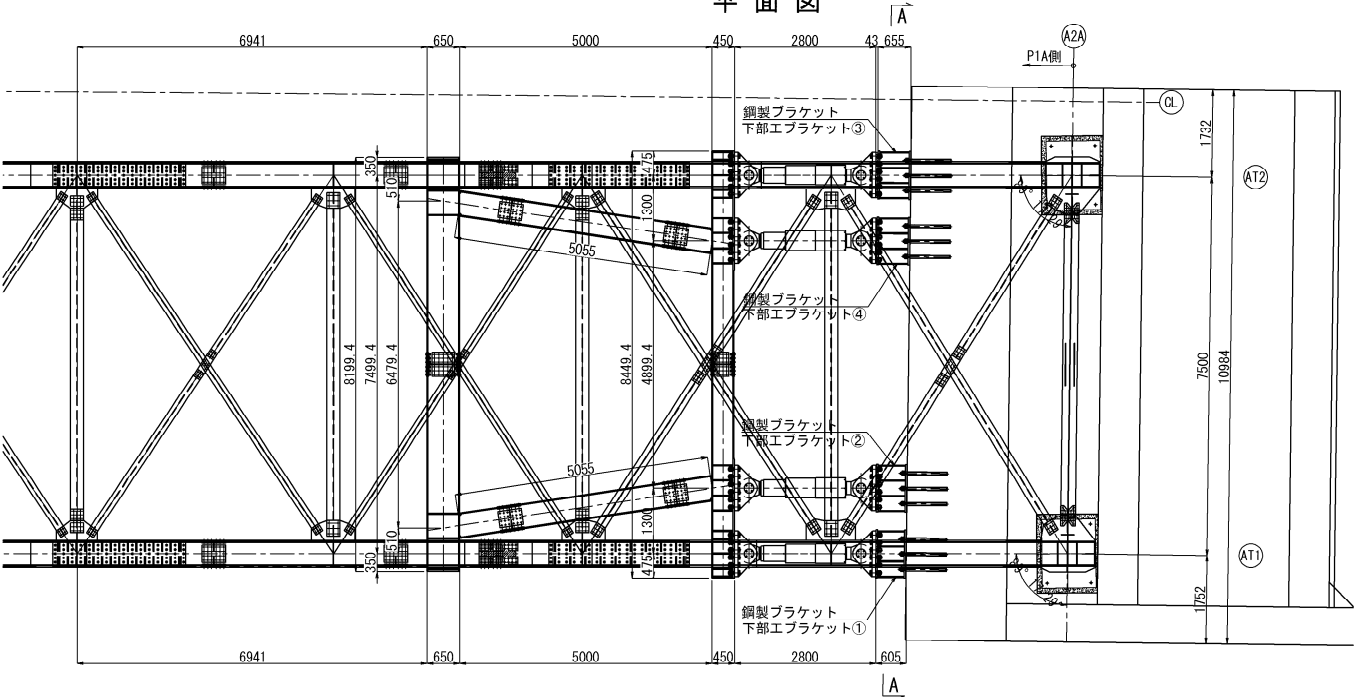
S=1:150

410/532

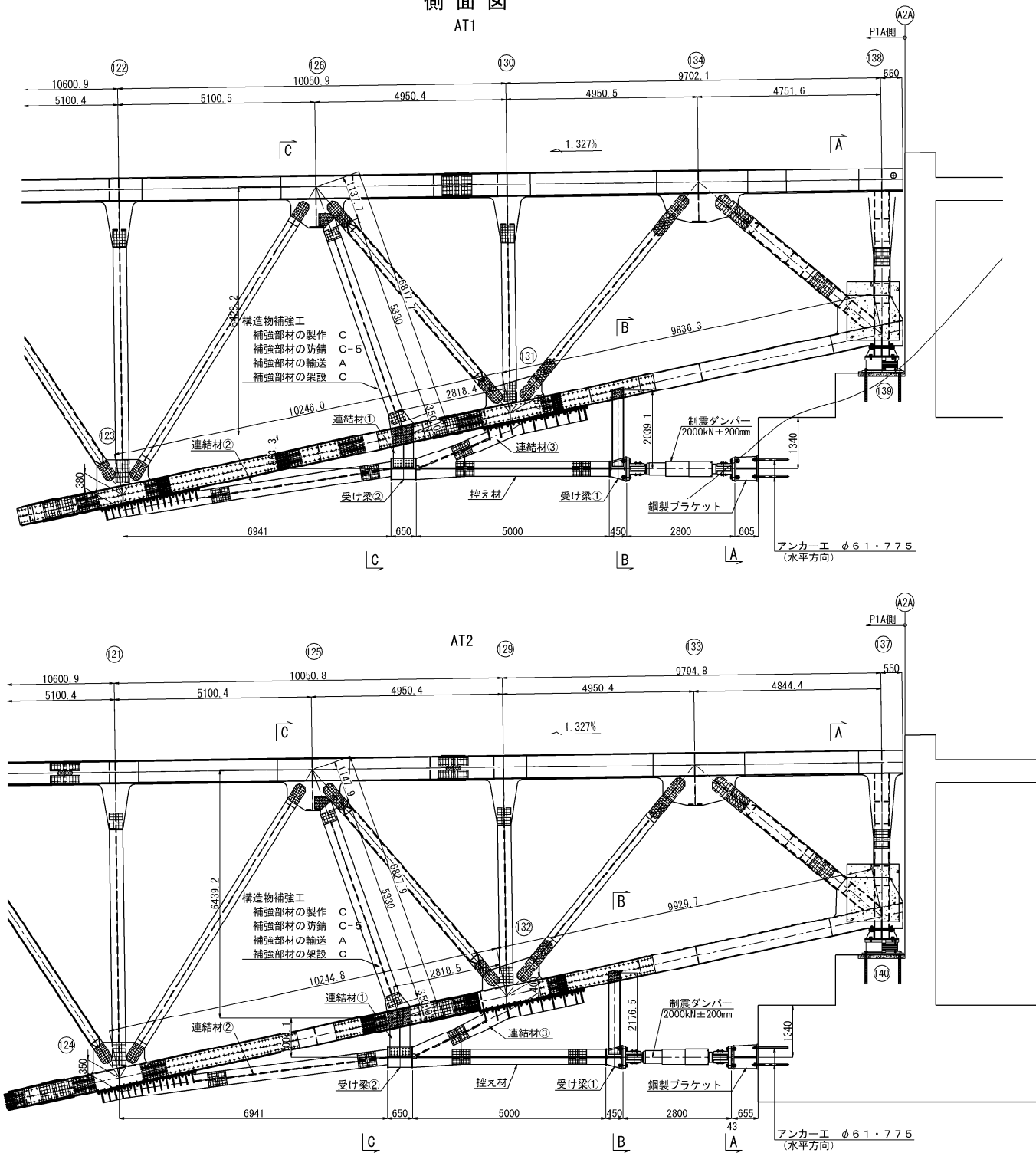
正面図



平面図



側面図

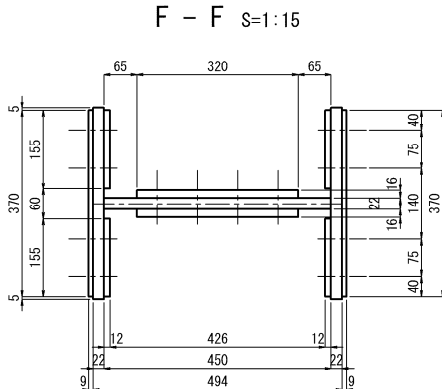
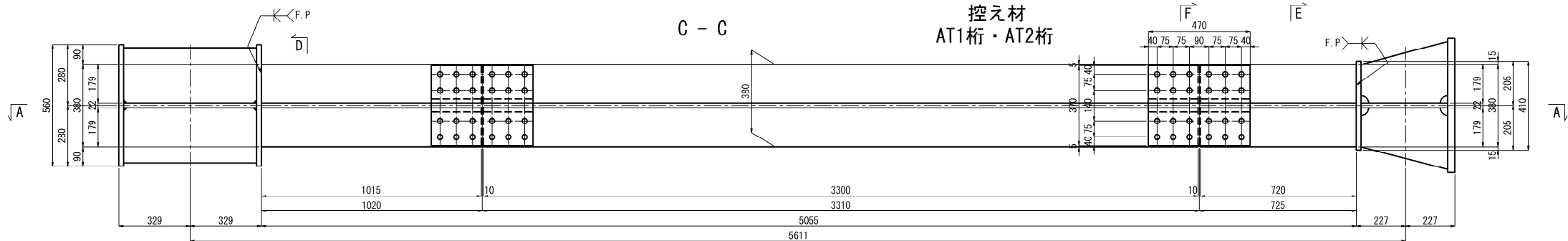


長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A2橋台 制震構造配置図		
縮尺	1:150	図面番号	410/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工務事務所		

滝ノ沢橋(上り線) A2橋台 制震構造詳細図(その1) S=1:25

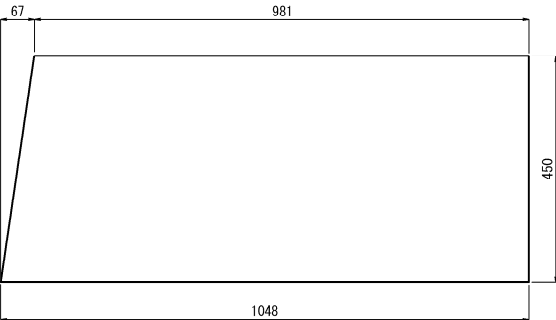
制震ダンパー2000 (±200)

控え材
AT1桁・AT2桁

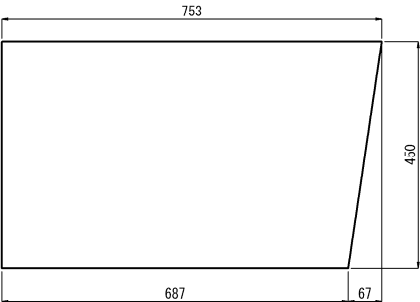


1基当たり数量(製作数:8基)
2-SPL PL 370x9 x470 (SS400)
4-SPL PL 155x12x470 (SS400)
2 SPL PL 320x16x470 (SS400)
48-TCB M22x80 (S10T)
24-TCB M22x90 (S10T)

① 詳細 S=1:15



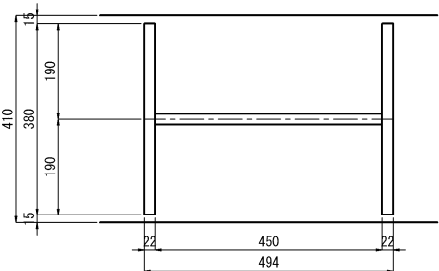
③ 詳細 S=1:15



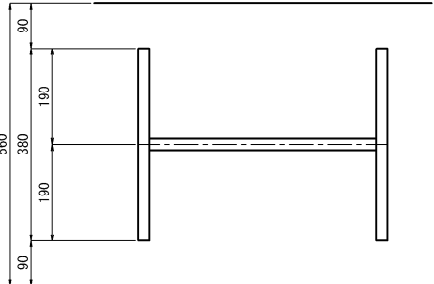
- 注 記
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
 2. 鋼材の加工は現橋の調査・計測を行い構造物の形状を最終的に決めてから行うこと。
 3. 現橋の細骨・計測を元に構造物の形状を変更する場合は必要に応じて応力計算を行うこと。
 4. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 5. 特記なきスカーラップは全てR50とする。
 6. Φ印はTCB M22 (S10T) を示し、ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。
 7. 「F.P.」の表示のある箇所は、完全溶込み溶接とする。
 8. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。
 9. "a" 詳細図は、「滝ノ沢橋(上り線) A2橋台 制震構造詳細図(その5)」を参照すること。

1基当たり数量(製作数:2基)
① 1-WEB PL 450 x22 x1048
② 1-WEB PL 450 x22 x3300
③ 1-WEB PL 450 x27 x 753
④ 1-WEB PL 450 x22 x1160
⑤ 1-WEB PL 450 x22 x3000
⑥ 1-WEB PL 450 x22 x 720
⑦ 2-FLG PL 380 x22 x 720
⑧ 2-FLG PL 380 x22 x3000
⑨ 1-FLG PL 380 x22 x 981
⑩ 2-FLG PL 380 x22 x3300
⑪ 1-FLG PL 380 x22 x 757
⑫ 1-FLG PL 380 x22 x1051
⑬ 1-FLG PL 380 x22 x 687

E - E S=1:15



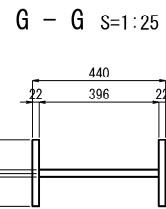
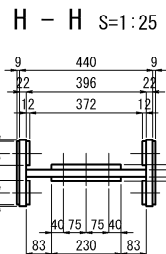
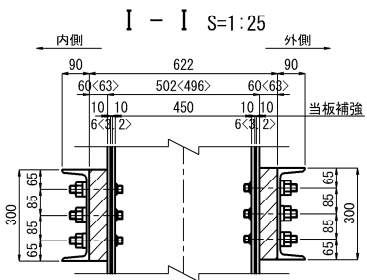
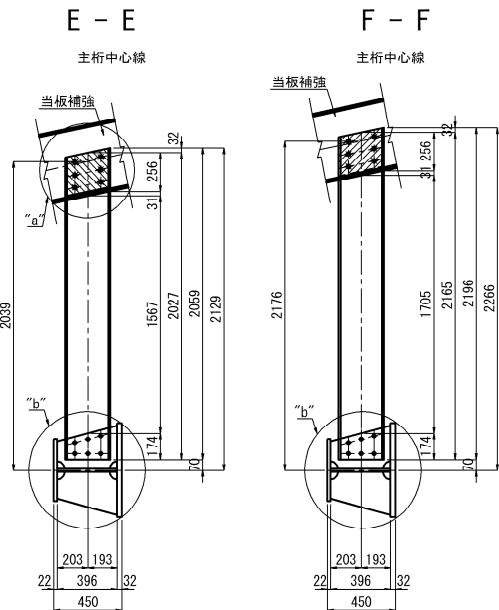
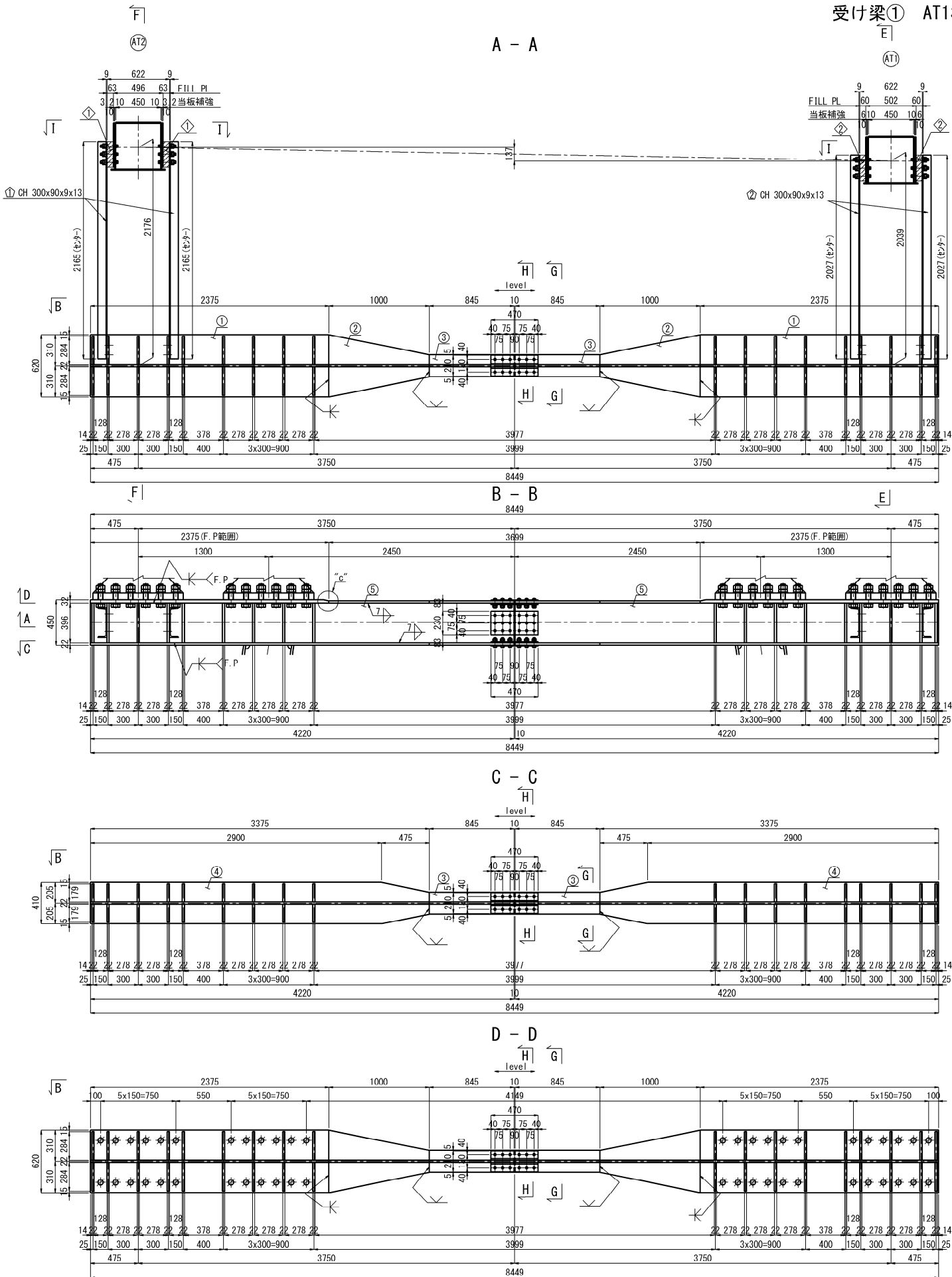
D - D S=1:15



滝ノ沢橋(上り線) A2橋台 制震構造詳細図(その2) S=1:50
制震ダンパー2000 (±200)

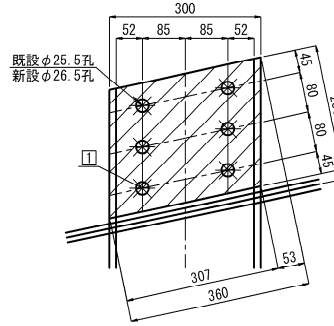
412/532

受け梁① AT1桁<AT2桁>

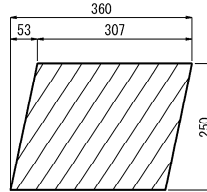


2-SPL PL 210 x 9 x 470 (SS400)
4-SPL PL 80 x12 x 470 (SS400)
2-SPL PL 230 x16 x 470 (SS400)
24-TCB M22x80 (S10T)
18-TCB M22x90 (S10T)

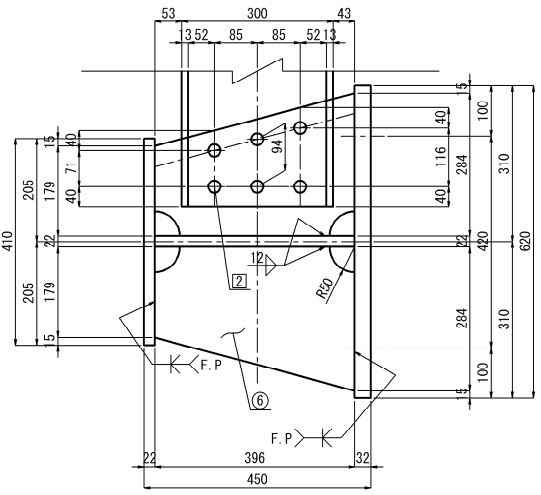
"a"部詳細 S=1:15



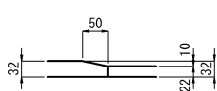
FILL PL 詳細 S=1:15



"b"部詳細 S=1:15



"c"部詳細 S=1:15



- 1基当たり数量(製作数:1基)
① 2-FLG PL 620 x32 x2375
② 2-FLG PL 620 x22 x1000
③ 4-FLG PL 220 x22 x 845
④ 2-FLG PL 410 x22 x3375
⑤ 2-WEB PL 396 x22 x4220
⑥ 36-RIB PL 284 x22 x 396
⑦ 2-CH 300x90x9x13x2196 (SS400)
⑧ 2-CH 300x90x9x13x2059 (SS400)
⑨ 2-FILL PL 250x63x 360 (SS400)
⑩ 2-FILL PL 250x60x 360 (SS400)
⑪ 24-フナサイドボルト MUTF24-95 (SCM440)
⑫ 24-TCB M22x70 (S10T)

現場孔明け工
1基当たり数量(1箇所)
φ 25.5 x 24箇所 (SM490、t≤30)

- 注 記
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 鋼材の加工は現橋の調査・計測を行い構造物の形状を最終的に決めてから行うこと。
3. 現橋の調査・計測を元に構造物の形状を変更する場合は必要に応じて応力計算を行うこと。
4. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
5. 特記なきスカーラップは全てR50とする。
6. 印はTCB M22 (S10T)を示し、ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。
※印はMUTF 24 (高カフナサイドボルト)を示し、ボルト孔は既設φ25.5 新設φ26.5とする。
◆印のボルトは、BN M48 [2W付]を示す。
7. 印はフィラープレートを示す。
8. 「F.P.」の表示のある箇所は、完全溶込み溶接とする。
9. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A2橋台 制震構造詳細図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	412/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) A2橋台 制震構造詳細図(その3) S=1:50

制震ダンパー2000 (±200)

受け梁②・連結材①

C - C S=1:25

D - D S=1:25

A - A

E - E S=1:25

F - F S=1:25

“b”部詳細 S=1:25

“a”部詳細 S=1:15

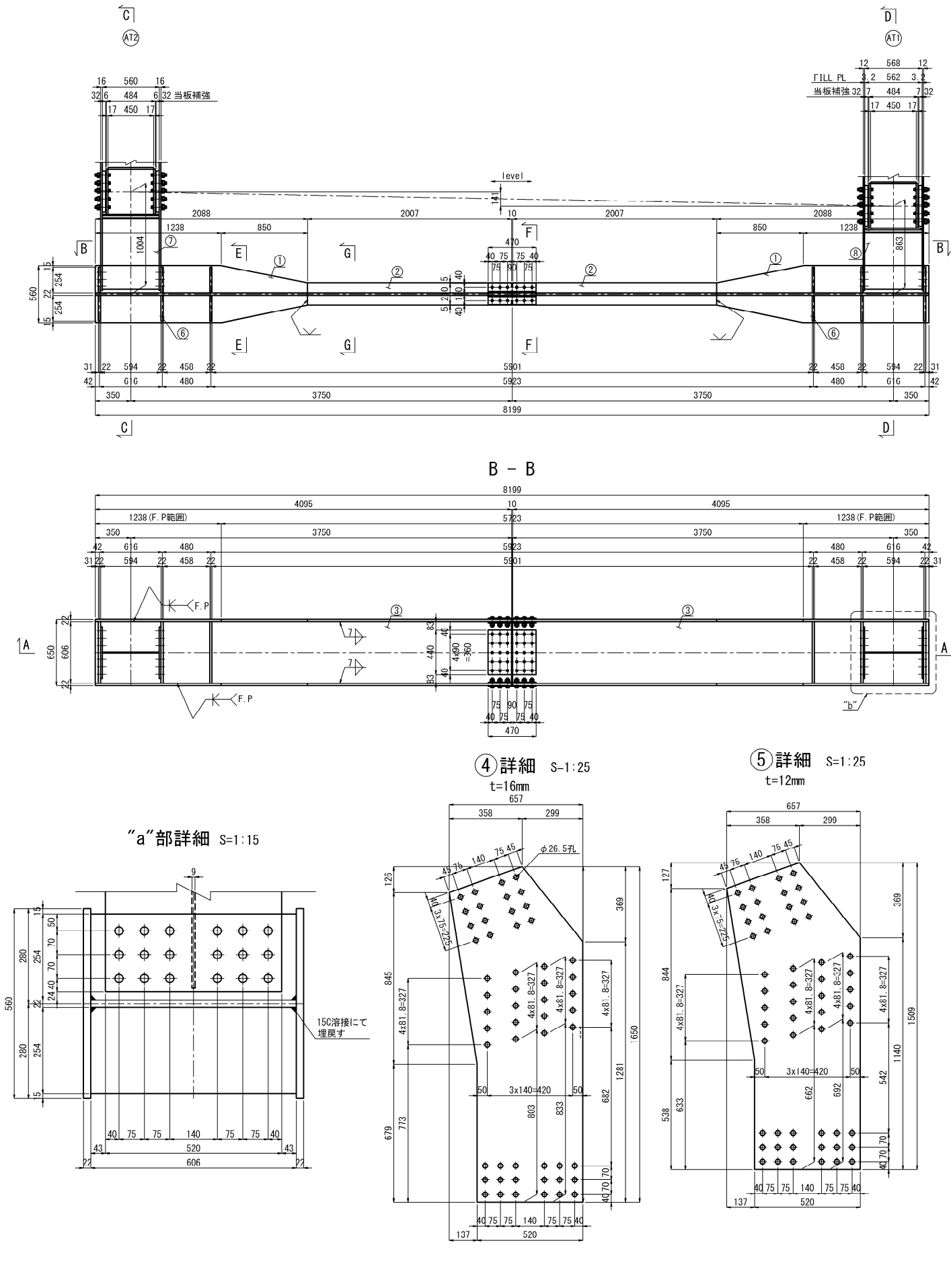
④ 詳細 S=1:25

⑤ 詳細 S=1:25

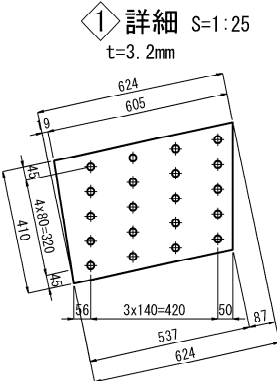
① 詳細 S=1:25

- 注 記
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
 2. 鋼材の加工は現橋の調査・計測を行い構造物の形状を最終的に決めてから行うこと。
 3. 現橋の調査・計測を元に構造物の形状を変更する場合は必要に応じて応力計算を行うこと。
 4. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 5. 特記なきスカーラップは全てR50とする。
 6. ④印はTCB M22 (S10T) を示し、ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。
※印はMUTF 24 (高カワンサイドボルト) を示し、ボルト孔は既設φ25.5 新設φ26.5とする。
※印のボルトは、BN M48 [2W付] を示す。
 7. 印はフィラープレートを示す。
 8. 「F. P.」の表示のある箇所は、完全溶込み溶接とする。
 9. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。

長野自動車道			
五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A2橋台 制震構造詳細図(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	413/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



- 1基当たり数量(製作数:1基)
- ① 4-FLG PL 560 x22 x2088
 - ② 4-FLG PL 220 x22 x2007
 - ③ 2-WEB PL 606 x22 x4095
 - ④ 2-GUSS PL 657 x16 x1650
 - ⑤ 2-GUSS PL 657 x12 x1509
 - ⑥ 12-RIB PL 254 x22 x 606
 - ⑦ 1-WEB PL 560 x 9 x 700
 - ⑧ 1-WEB PL 560 x 9 x 568
 - ⑨ 2-FILL PL 410 x3.2 x 624 (SS400)
 - ⑩ 36-TCB M22x75 (S10T)
 - ⑪ 36-TCB M22x70 (S10T)
 - ⑫ 80-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- 現場孔明計:
- 1基当たり数量(1箇所)
 - φ 25.5 x 80箇所 (SM490, t≤30)



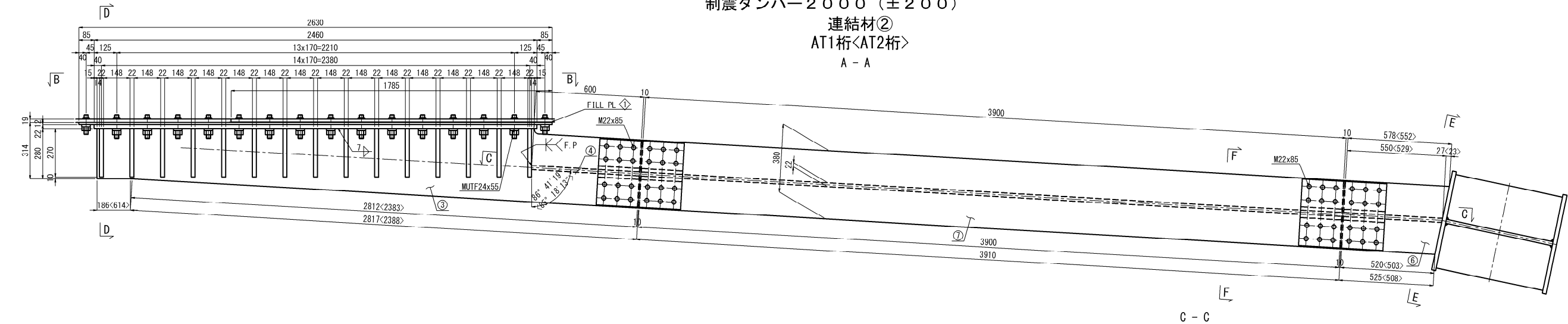
滝ノ沢橋(上り線) A2橋台 制震構造詳細図(その4) S=1:25

制震ダンパー2000(±200)

連結材②

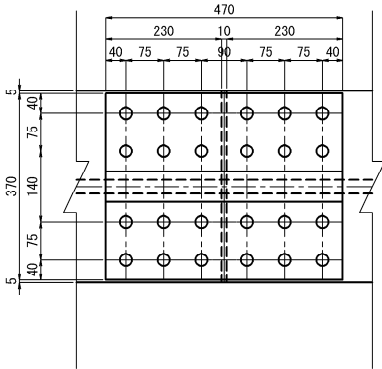
AT1桁<AT2桁>

A-A

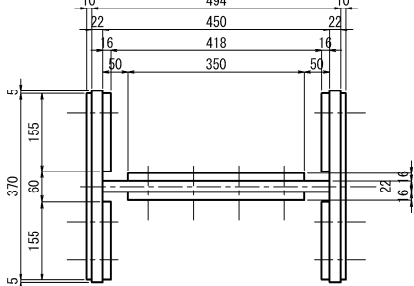


添接部詳細 S=1:15

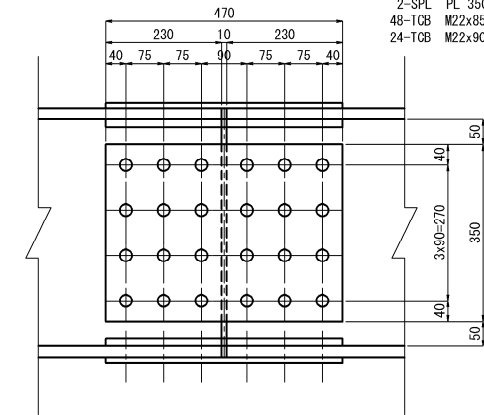
側面図



断面図



平面図



- 1基当たり数量(製作数:4基)
- 2-SPL PL 370 x10 x 470(SS400)
 - 4-SPL PL 155 x16 x 470(SS400)
 - 2-SPL PL 350 x16 x 470(SS400)
 - 48-TCB M22x85(S10T)
 - 24-TCB M22x90(S10T)

AT1

1基当たり数量(製作数:1基)

- ① 1-BASE PL 514 x12 x2630(SM490YA)
- ② 1-BASE PL 514 x22 x2460
- ③ 2-FLG PL 443 x22 x3025
- ④ 1-WEB PL 450 x22 x 600
- ⑤ 15-RIB PL 450 x22 x 270
- ⑥ 2-FLG PL 380 x22 x575
- ⑦ 2-FLG PL 380 x22 x3900
- ⑧ 1-WEB PL 450 x22 x550
- ⑨ 1-WEB PL 450 x22 x3900
- ⑩ 1-FILL PL 514 x2 3x1785(SS400)
- ⑪ 70-ワンサイドボルト MUTF24-55(SCM440)
- ⑫ 10-ワンサイドボルト MUTF24-30(SCM440)

現場孔明け工

1基当たり数量(1箇所)

φ 25.5 x 80箇所(SM490、t≤30)

AT2

1基当たり数量(製作数:1基)

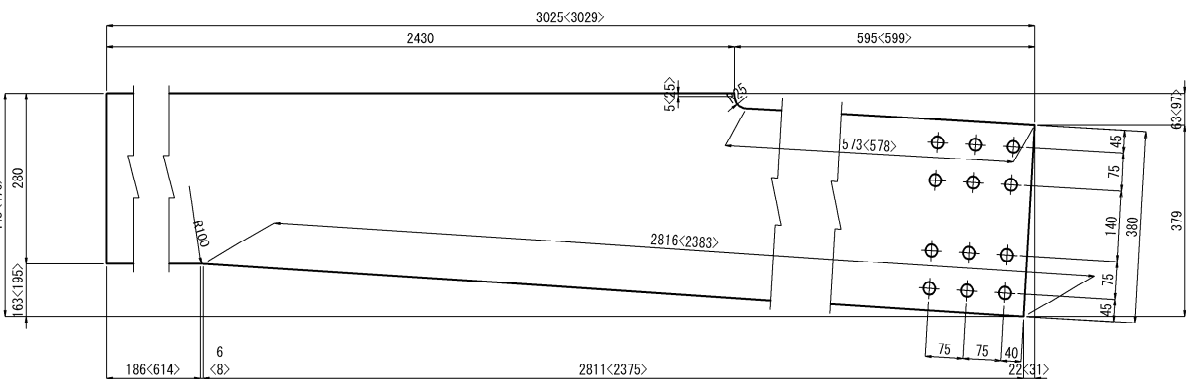
- ① 1-BASE PL 514 x12 x2630(SM490YA)
- ② 1-BASE PL 514 x22 x2460
- ③ 2-FLG PL 476 x22 x3029
- ④ 1-WEB PL 450 x22 x 600
- ⑤ 15-RIB PL 450 x22 x 270
- ⑥ 2-FLG PL 380 x22 x552
- ⑦ 2-FLG PL 380 x22 x3900
- ⑧ 1-WEB PL 450 x22 x529
- ⑨ 1-WEB PL 450 x22 x3900
- ⑩ 1-FILL PL 514 x2 3x1785(SS400)
- ⑪ 70-ワンサイドボルト MUTF24-55(SCM440)
- ⑫ 10-ワンサイドボルト MUTF24-30(SCM440)

現場孔明け工

1基当たり数量(1箇所)

φ 25.5 x 80箇所(SM490、t≤30)

③ 詳細 S=1:15



注 記

- 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
- 鋼材の加工は現場の調査・計測を行い構造物の形状を最終的に決めてから行うこと。
- 現場の調査・計測を元に構造物の形状を変更する場合は必要に応じて応力計算を行うこと。
- 特記なき材質は全てSM400Aとする。
- 特記なきスカーップは全てR50とする。
- φ印はTCB M22(S10T)を示し、ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。
- ※印はMUTF 24(高力ワンサイドボルト)を示し、ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
- 「F.P.」の表示のある箇所は、完全溶込み溶接とする。
- 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。
- 印はフィラープレートを示す。

長野自動車道			
五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A2橋台 制震構造詳細図(その4)		
縮 尺	図示	図面番号	414/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

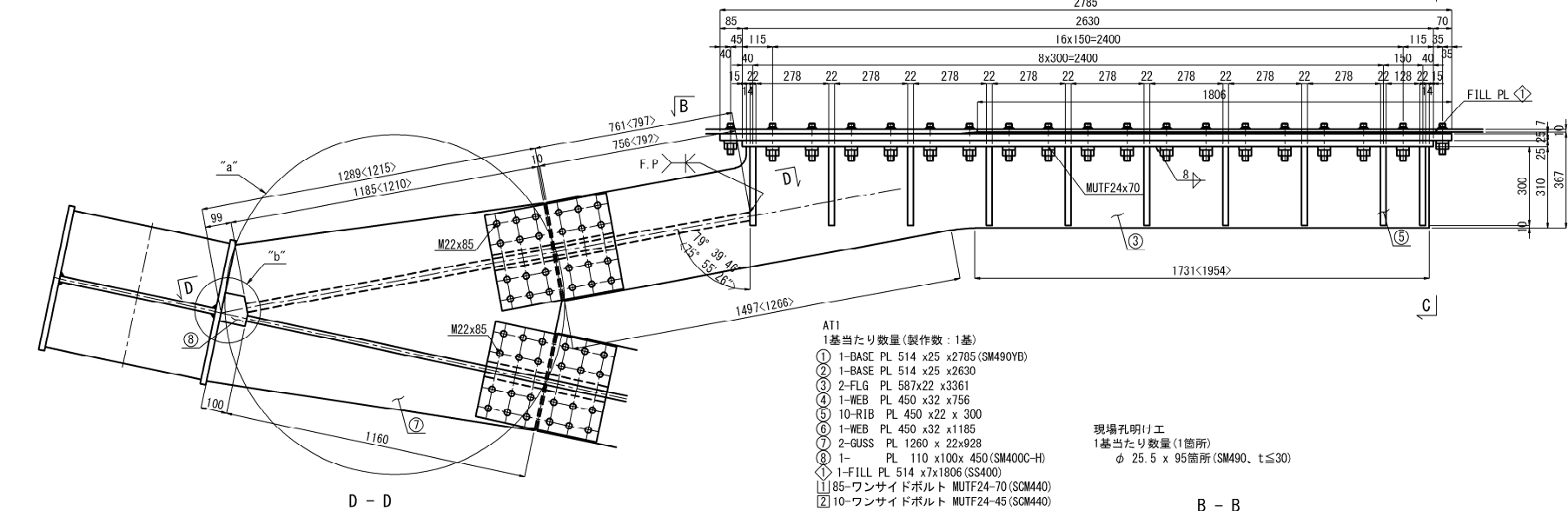
滝ノ沢橋(上り線) A2橋台 制震構造詳細図(その5) S=1:25

制震ダンパー2000 (±200)

連結材③ AT1桁<AT2桁>

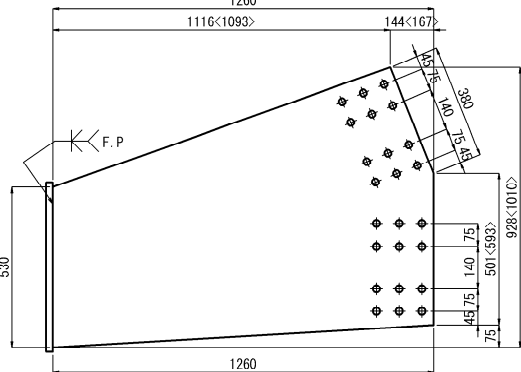
A - A

C

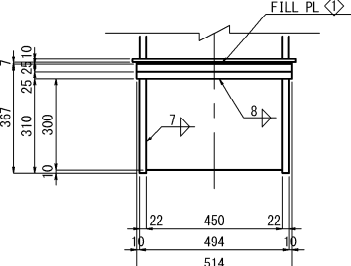


"a"部詳細

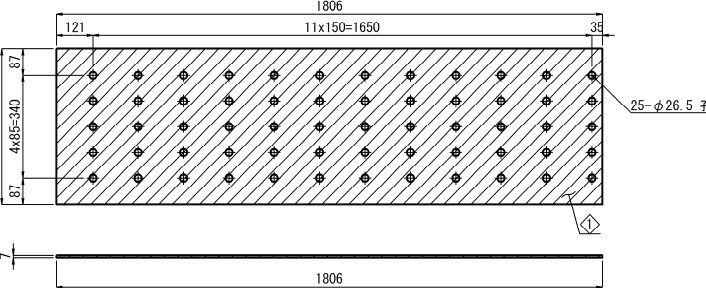
B



C - C

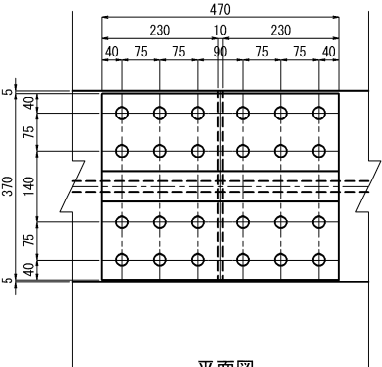


FILL PL 詳細

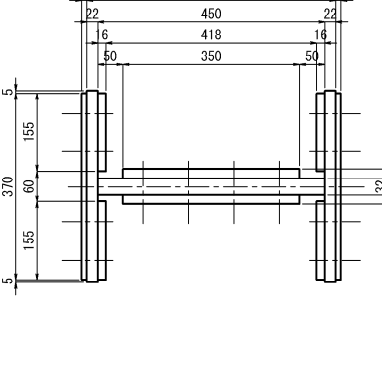


添接部詳細

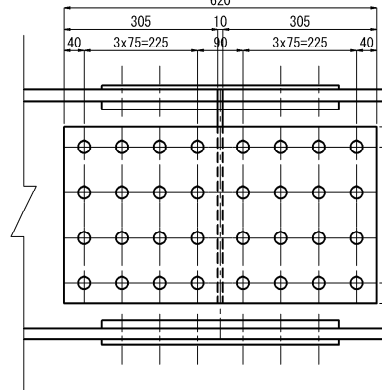
側面図



断面図

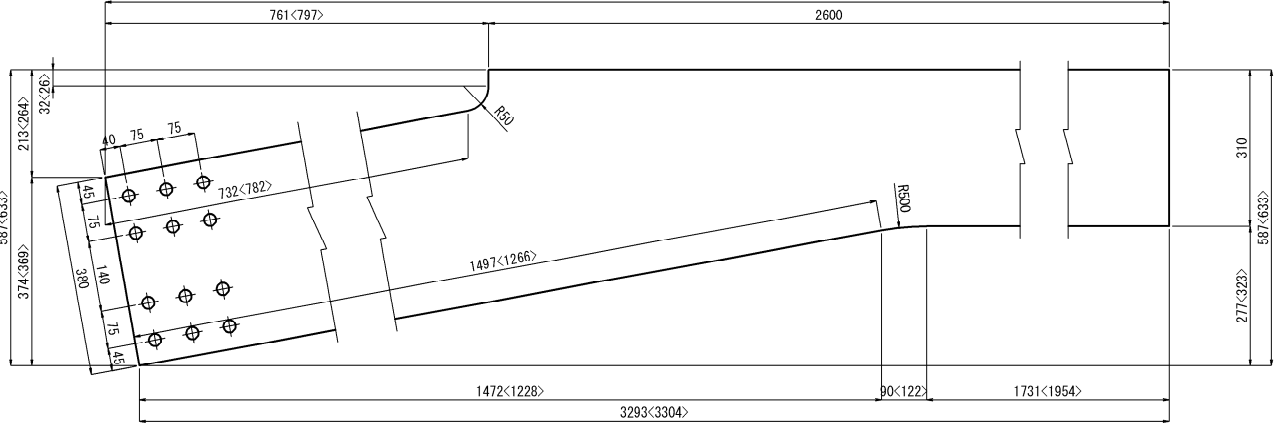


平面図

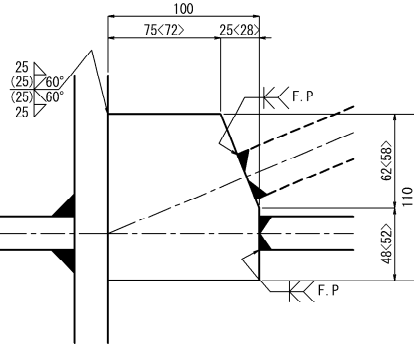


1基当たり数量(製作数:2基)
2-SPL PL 370 x10 x470 (SS400)
4-SPL PL 155 x16 x470 (SS400)
2-SPL PL 350 x19 x620 (SS400)
48-TCB M22x85 (S10T)
32-TCB M22x105 (S10T)

③ 詳細 S=1:15



"b"部詳細 S=1:5



注 記

1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 鋼材の加工は現橋の調査・計測を行い構造物の形状を最終的に決めてから行うこと。
3. 現橋の調査・計測を元に構造物の形状を変更する場合は必要に応じて応力計算を行うこと。
4. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
5. 特記なきスカーフは全てR50とする。
6. φ印はTCB M22 (S10T)を示し、ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。
7. 印はMUTF 24 (高力ワンサイドボルト)を示し、ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
8. 「F.P.」の表示のある箇所は、完全溶込み溶接とする。
9. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。
10. 印はフィラープレートを示す。

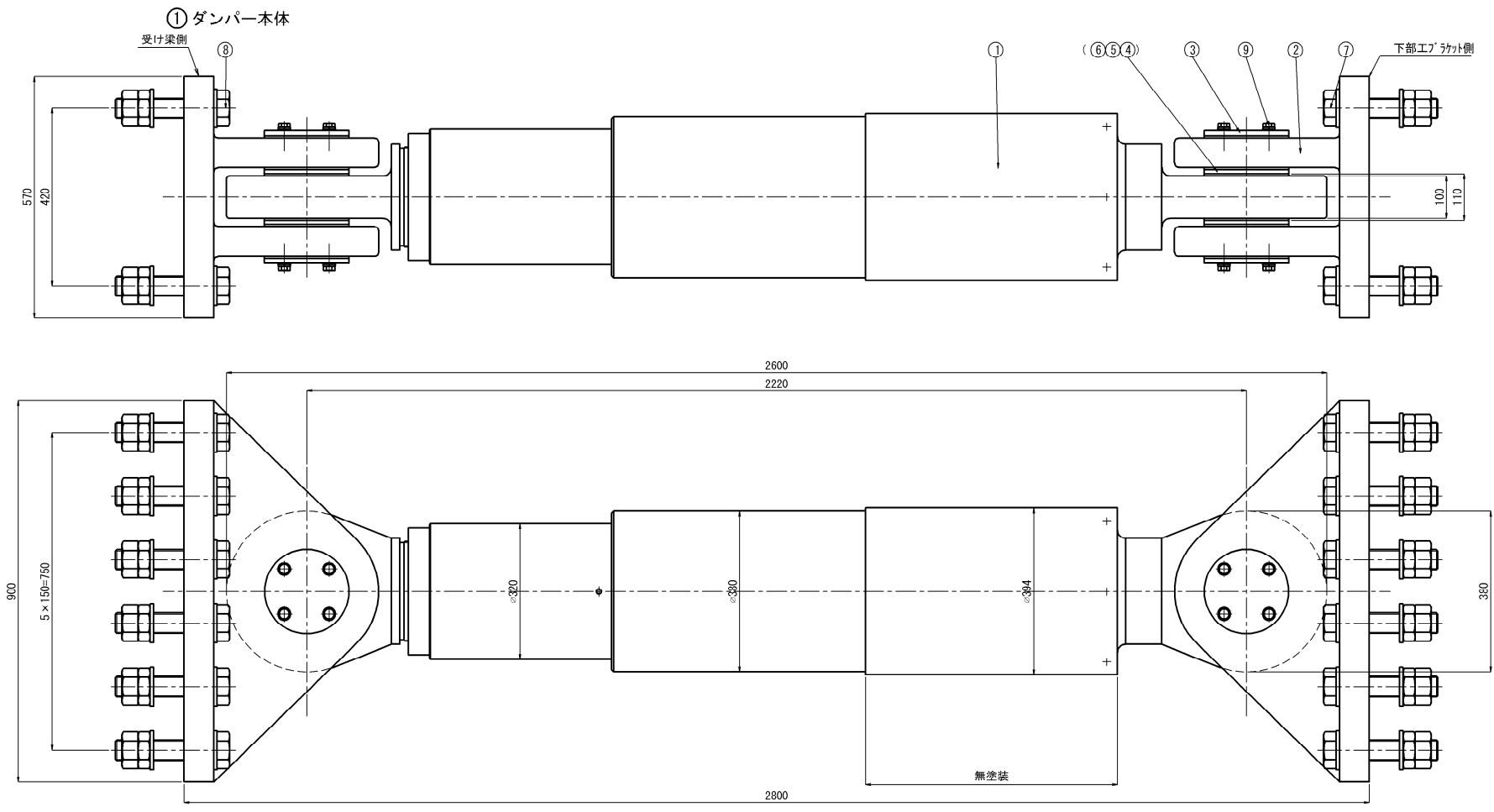
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A2橋台 制震構造詳細図(その5)		
縮 尺	図示	図面番号	415/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) A2橋台 制震構造詳細図(その6) (参考図) S=1:25

制震ダンパー2000 (±200)

製作数:4組

416/532



規格表

ダンパー仕様		
抵抗力	F	2000 kN
ストローク	δ	± 200 mm
移動量		
L2地震時最大変位	δe	± 62 mm
片温度変化移動量	Δt	± 65.79 mm
施工誤差吸収量	δo	± 5 mm
桁回転移動量	Δ	± 18 mm

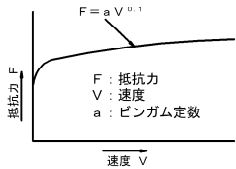
注) ストロークは
L2地震時最大移動量+片温度変化移動量+施工誤差吸収量+桁回転移動量以上を確保することを基本とする。
必要ストローク δreq=δe+Δt+δo+Δ=62+65.79+5+18=150.79mm<200mm
片温度変化移動量 Δt=91.375×0.72=65.79mm

材料表

部番	部品名称	材質	個数	質量(kg)	備考
①	ダンパー本体	-	1	1318.6	
②	二山クレビス	SCW480N	2	973.4	
③	カバープレート	SS400	4	11.5	
④	カラー	SS400	4	1.9	
5	球面軸受バッキング	クロロブレンスボンジゴム	4	0.1	
6	ピン	SUS630	2	35.1	
⑦	六角ボルト・ナット	-	12		JIS B 1180・JIS B 1181 (2-平座金)
⑧	六角ボルト・ナット	-	12		JIS B 1180・JIS B 1181 (2-平座金)
⑨	六角ボルト	-	16	1.9	JIS B 1180 (1-ばね座金, 平座金)
				2342.5	(kg)

注1) △印は塗装仕様、○印は溶融亜鉛メッキ仕様とする。
注2) 上部工とダンパー本体を結ぶ上部工架台および下部工とダンパー本体を結ぶ下部工架台は、⑦六角ボルト締付け完了後に上部工架台と下部工を本固定すること。
注3) ダンパー本体長さ寸法は、ストローク中立位置（伸びる側にも縮む側にも、表記ストローク値だけ伸縮可能なセンター位置）での長さ寸法。

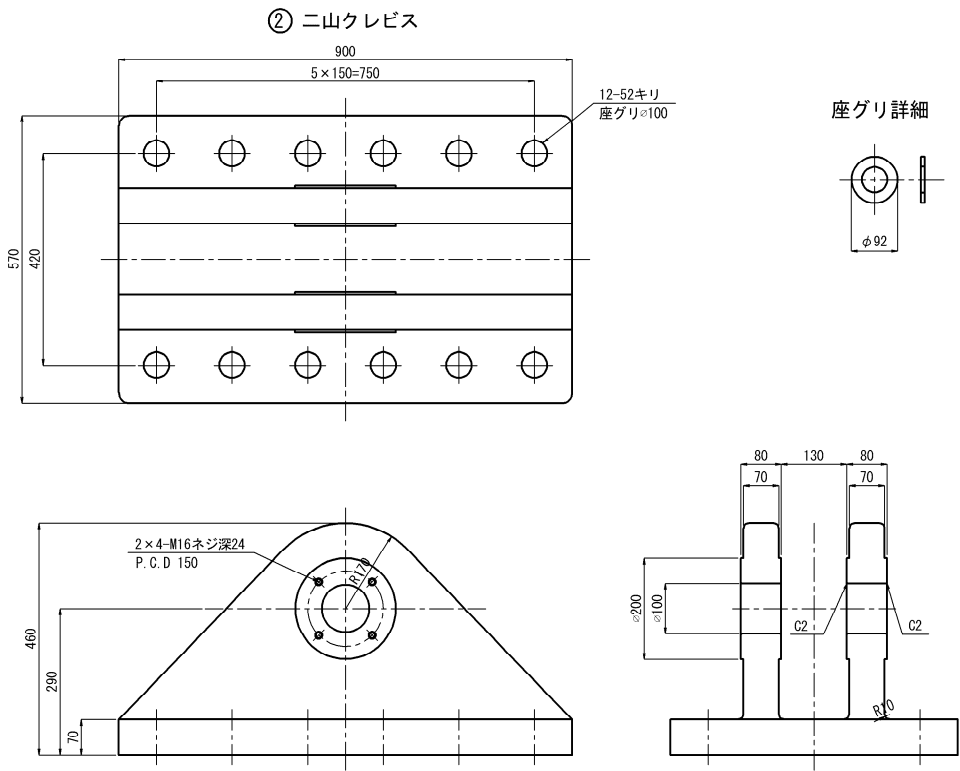
- ⑦ 六角ボルト 中 M48 × L 8.8
六角ナット 中 M48 8 (1種, 3種)
(2-平座金)
- ⑧ 六角ボルト 中 M48 × 200 8.8
六角ナット 中 M48 8 (1種, 3種)
(2-平座金)
- ⑨ 六角ボルト 中 M16 × 40 8.8
(1-ばね座金, 平座金)



材料表

部番	部品名称	材質	個数	質量(kg)	備考
⑦	六角ボルト・ナット	-	n	m	JIS B 1180・JIS B 1181 (2-平座金)
⑧	六角ボルト・ナット	-	12	73.068	JIS B 1180・JIS B 1181 (2-平座金)

部番	部品名称	個数	質量(kg)	L(mm)
a	AT1桁 下部エブラケット①	12	89.820	200
	AT1桁 下部エブラケット②	12	81.300	250
	AT2桁 下部エブラケット③	12	81.300	250
	AT2桁 下部エブラケット④	12	81.300	250



長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A2橋台 制震構造詳細図(その6) (参考図)		
縮尺	1:25	図面番号	416/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

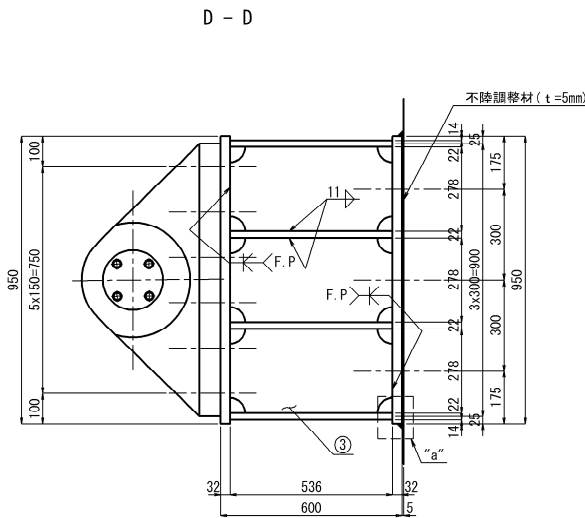
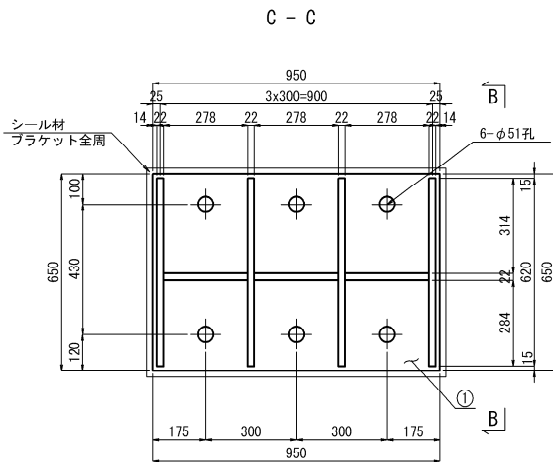
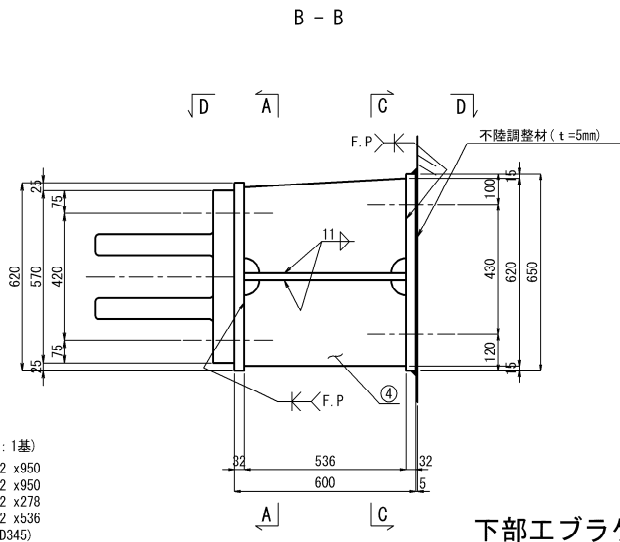
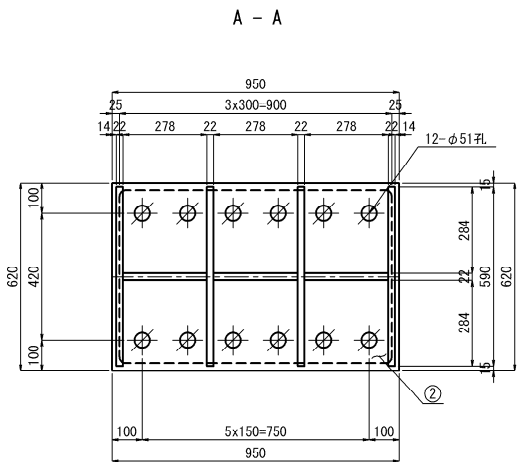
滝ノ沢橋(上り線) A2橋台 制震構造 鋼製ブラケット 構造図(その1) S=1:25

制震ダンパー2000 (±200)

下部エブラケット

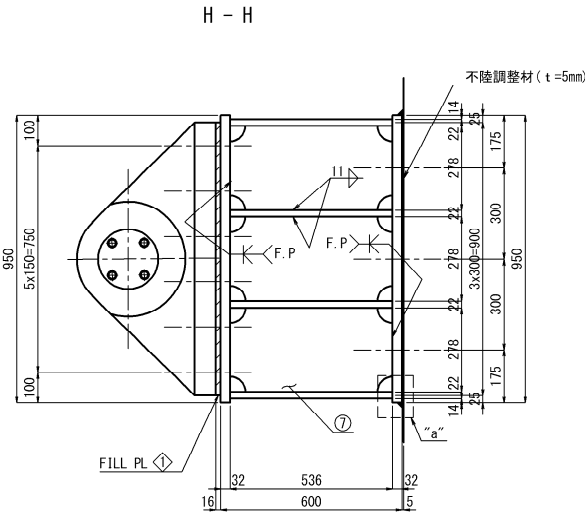
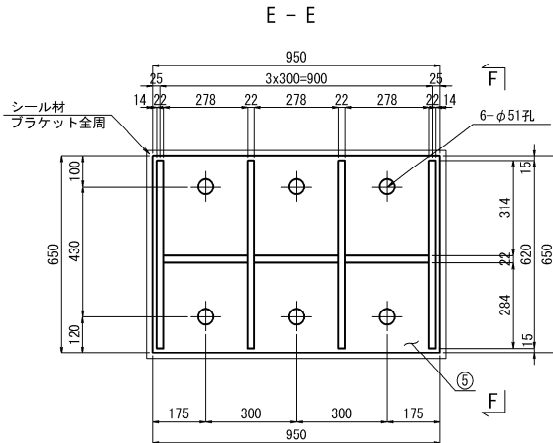
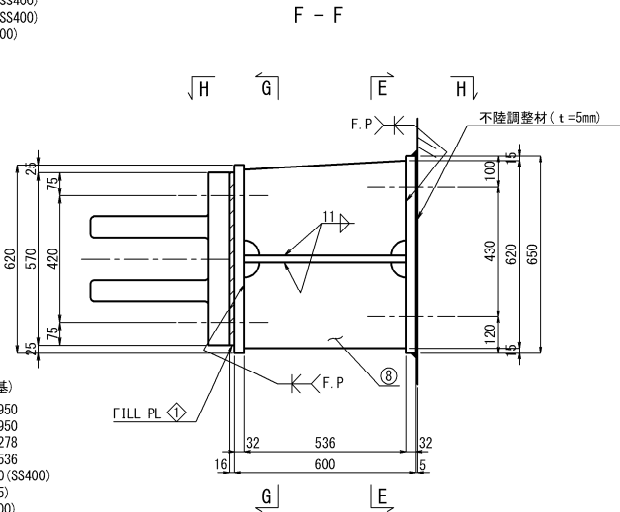
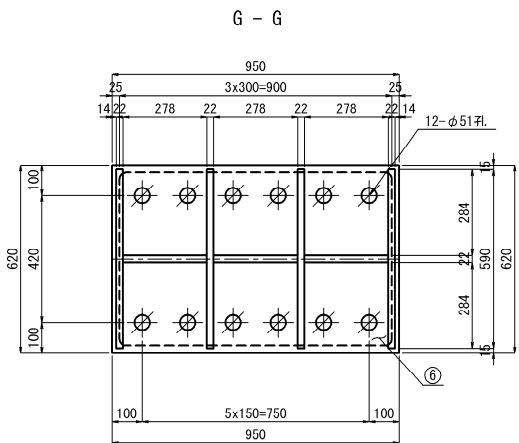
AT1桁

下部エブラケット①



下部エブラケット①
1基当たり数量(製作数: 1基)
① 1-BASE PL 650 x32 x950
② 1-TOP PL 620 x32 x950
③ 3-RIB PL 536 x22 x278
④ 4-RIB PL 620 x22 x536
6-ANC D51x900 (SD345)
6-NUT M48 (1種) (SS400)
6-NUT M48 (3種) (SS400)
6-WASHER M48 (SS400)

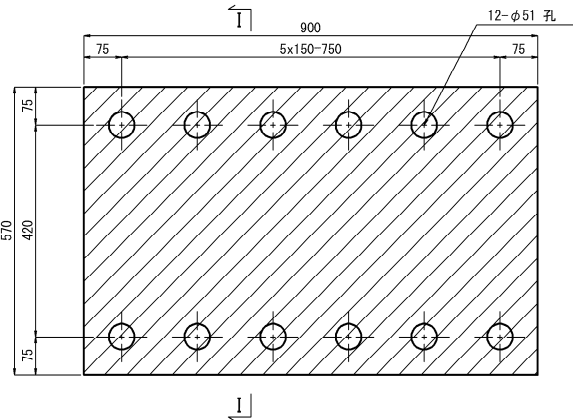
下部エブラケット②



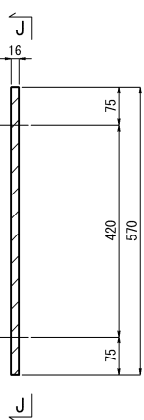
下部エブラケット②
1基当たり数量(製作数: 1基)
⑤ 1-BASE PL 650 x32 x950
⑥ 1-TOP PL 620 x32 x950
⑦ 3-RIB PL 536 x22 x278
⑧ 4-RIB PL 620 x22 x536
⑨ 1-FILL PL 900x16x570 (SS400)
6-ANC D51x900 (SD345)
6-NUT M48 (1種) (SS400)
6-NUT M48 (3種) (SS400)
6-WASHER M48 (SS400)

FILL PL ⑨ 詳細 S=1:15

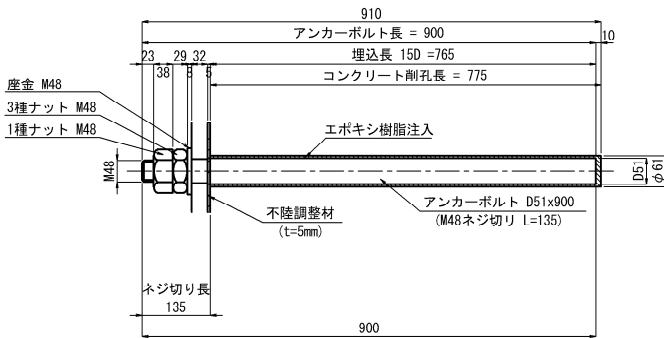
J - J



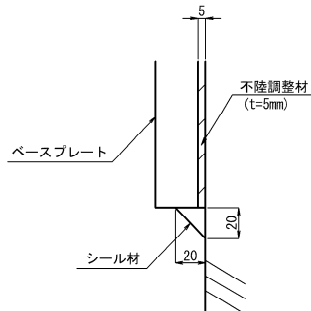
I - I



アンカーボルト詳細図 S=1:15



"a"部詳細 S=1:5



- 注 記
1. アンカーボルト孔位置は鉄筋探索後決定のこと。
 2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 3. 特記なきスカーラップは全てR0とする。
 4. 部材は全て溶融垂鉛メッキを施す。
アンカーボルトはネジ切り部・ナット類のみ
溶融垂鉛めっきを施すものとする。
(垂鉛の付着量は、JIS H 8641 HZDT77 とする。ただし、
ボルト・ナットの付着量は、JIS H 8641 HZDT49とする。)
 5. 工場製作はアンカーボルト削孔位置等、
現場実測確認のうえ行うものとする。
 6. 印のボルトは、BN M48 [2W付]を示す。
 7. 「F.P」の表示のある箇所は、完全溶込み溶接とする。
 8. 印はフィラープレートを示す。
 9. 鋼製ブラケットと既設コンクリートの接触面は
タッピングを行うものとする。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A2橋台 制震構造 鋼製ブラケット 構造図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	417/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) A2橋台 制震構造 鋼製ブラケット 構造図(その2) S=1:25

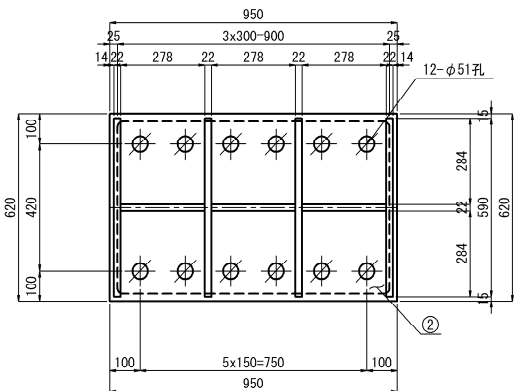
制震ダンパー2000 (±200)

下部エブラケット

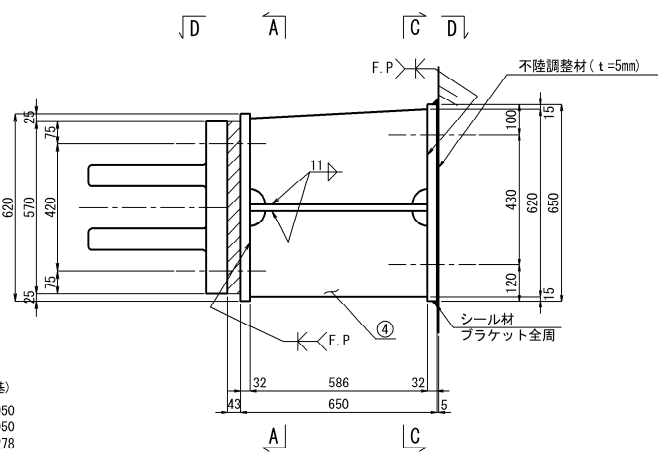
AT2桁

下部エブラケット③

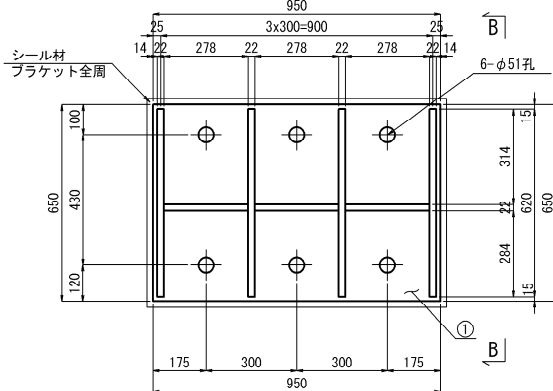
A - A



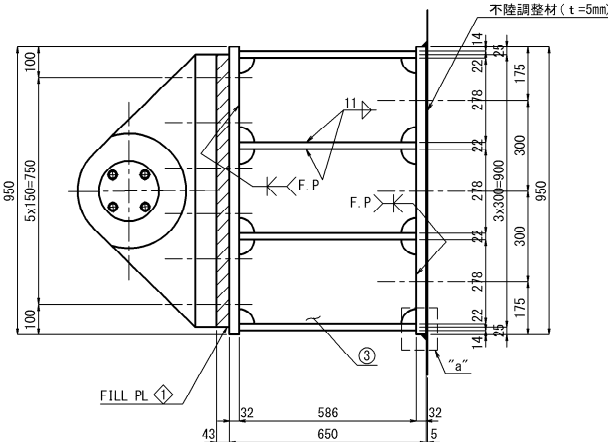
B - B



C - C



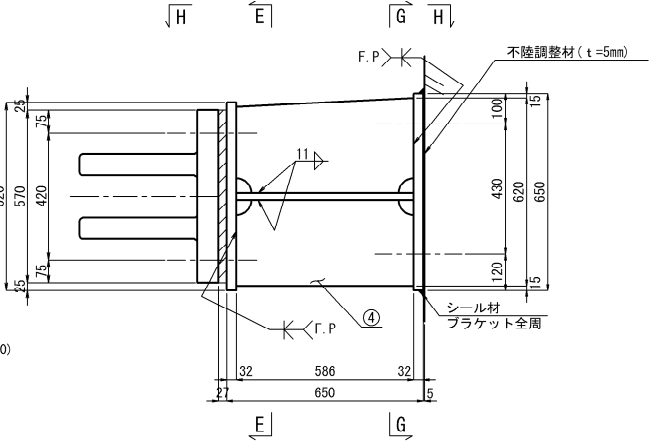
D - D



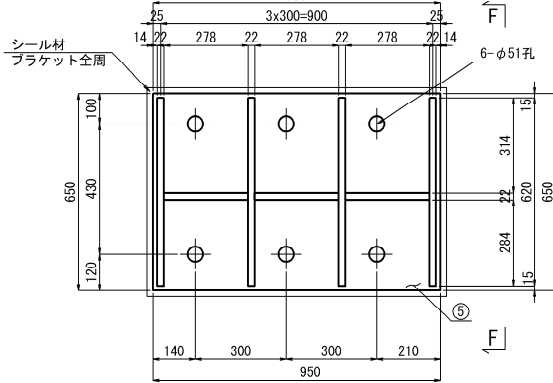
下部エブラケット③
1基当たり数量(製作数: 1基)
① 1-BASE PL 650 x32 x950
② 1-TOP PL 620 x32 x950
③ 3-RIR PL 586 x22 x278
④ 4-RIB PL 620 x22 x586
⑤ 1-FILL PL 900x43x570 (SS400)
6-ANC D51x900 (SD345)
6-NUT M48 (1種) (SS400)
6-NUT M48 (3種) (SS400)
6-WASHER M48 (SS400)

下部エブラケット④

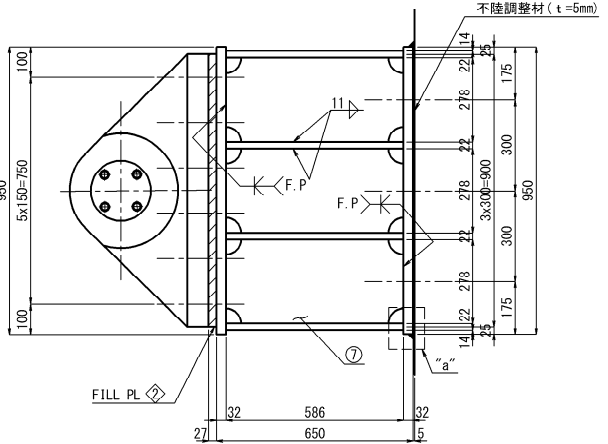
F - F



G - G



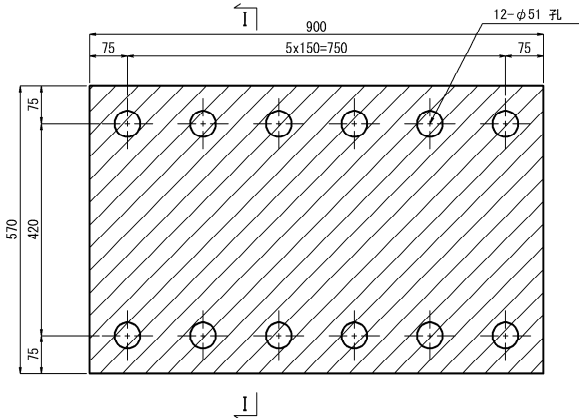
H - H



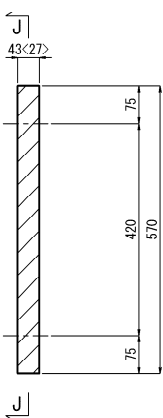
下部エブラケット④
1基当たり数量(製作数: 1基)
⑤ 1-BASE PL 650 x32 x950
⑥ 1-TOP PL 620 x32 x950
⑦ 3-RIR PL 586 x22 x278
⑧ 4-RIB PL 620 x22 x586
⑨ 1-FILL PL 900x27x570 (SS400)
6-ANC D51x900 (SD345)
6-NUT M48 (1種) (SS400)
6-NUT M48 (3種) (SS400)
6-WASHER M48 (SS400)

FILL PL ①<②> 詳細 S=1:15

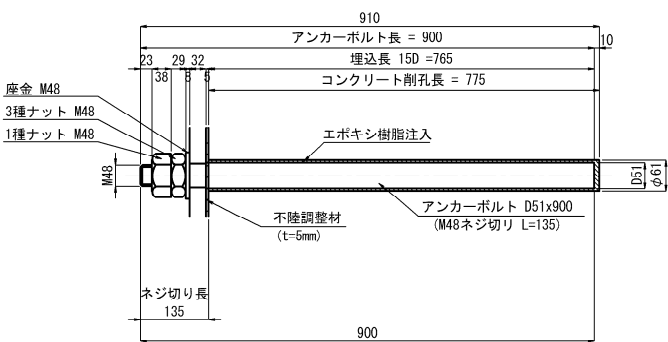
J - J



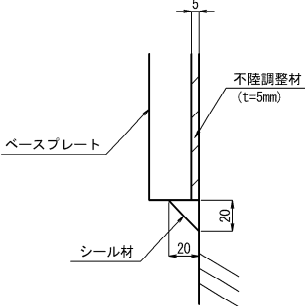
I - I



アンカーボルト詳細図 S=1:15

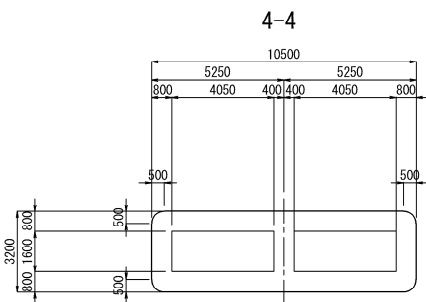
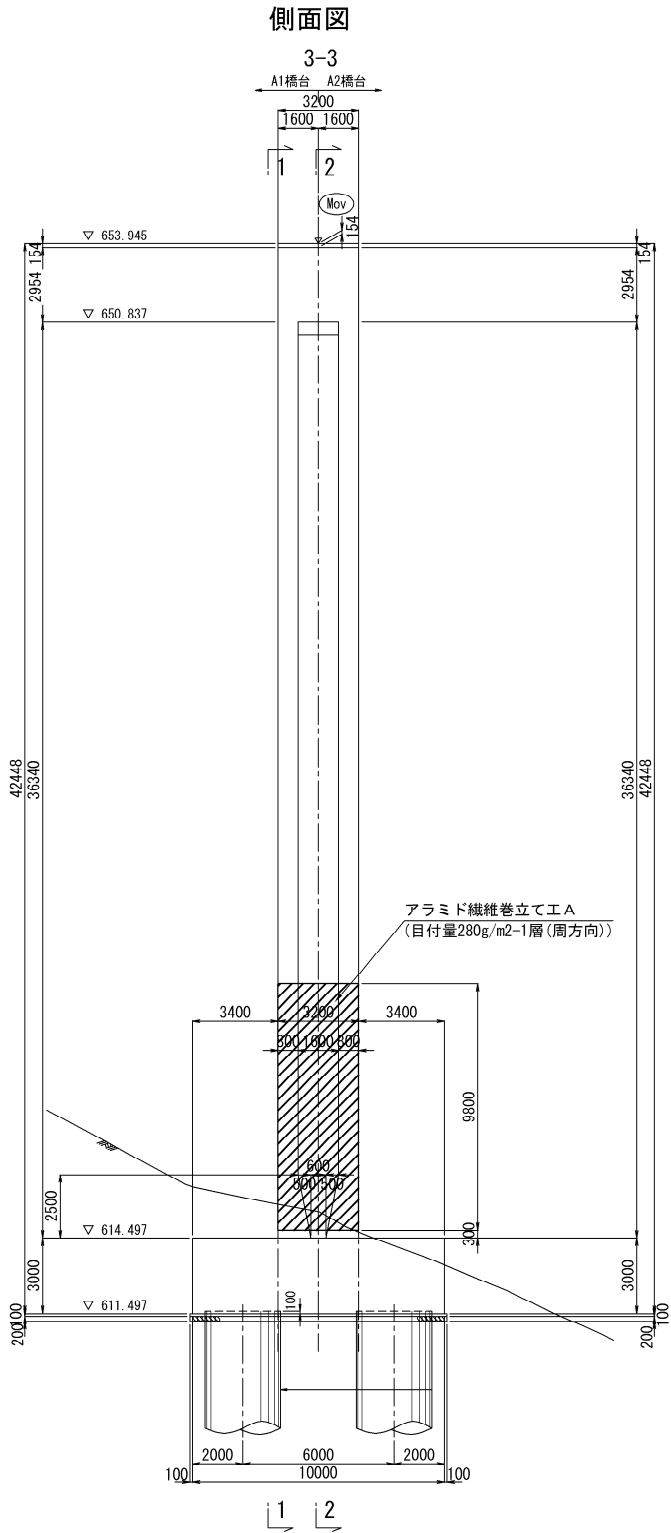
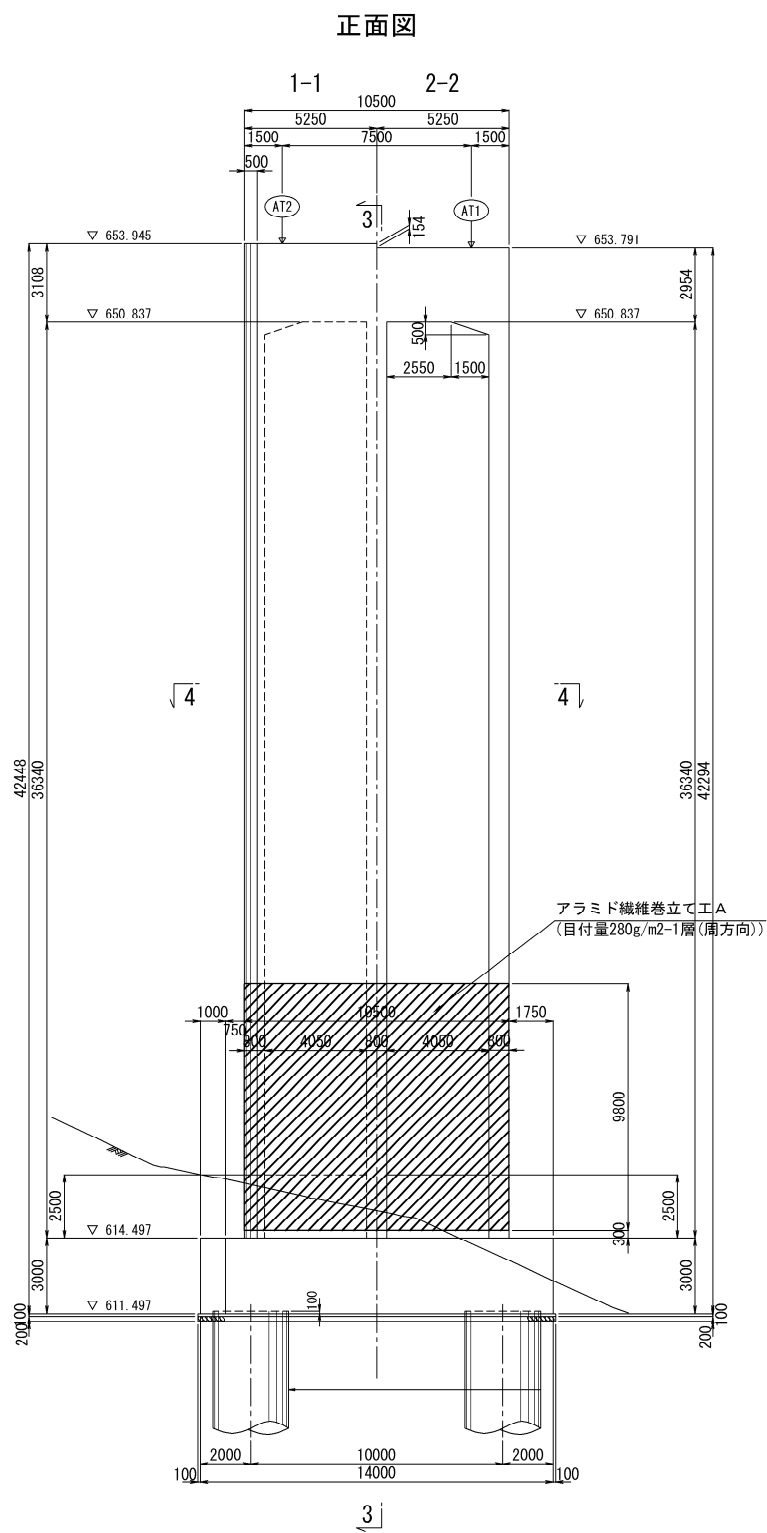


"a"部詳細 S=1:5



- 注 記
1. アンカーボルト孔位置は鉄筋探索後決定のこと。
 2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 3. 特記なきスカラーラップは全てR0とする。
 4. 部材は全て溶融亜鉛メッキを施す。
アンカーボルトはネジ切り部・ナット類のみ
溶融亜鉛めっきを施すものとする。
(亜鉛の付着量は、JIS H 8641 HZDT177 とする。ただし、
ボルト・ナットの付着量は、JIS H 8641 HZDT49とする。)
 5. 現場製作はアンカーボルト削孔位置等、
現場実測確認のうえ行うものとする。
 6. 印のボルトは、BN M48 [2Wt]を示す。
 7. 「F.P」の表示のある箇所は、完全溶込み溶接とする。
 8. 印はフィラープレートを示す。
 9. 鋼製ブラケットと既設コンクリートの接触面は
チッピングを行うものとする。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A2橋台 制震構造 鋼製ブラケット 構造図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	418/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



性能表

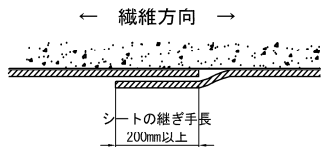
繊維目付 (g/m ²)	引張強度 N/mm ²	引張弾性率 N/mm ²	設計厚さ (mm)	継手長 (mm)
280	2,060	1.18 × 10 ⁻⁵	0.193	200以上

含浸樹脂量(参考)

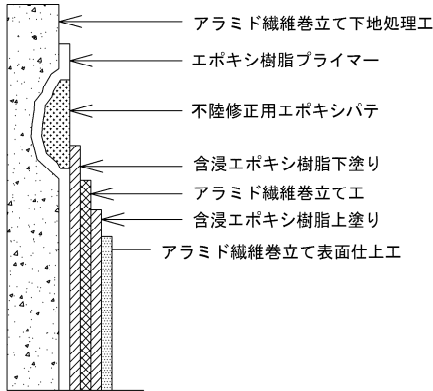
繊維目付 (g/m ²)	m ² 当り標準使用量 (kg/m ²)
280	0.80

樹脂量は参考値であり、使用するシートで推奨する量を用いること。

継ぎ手部



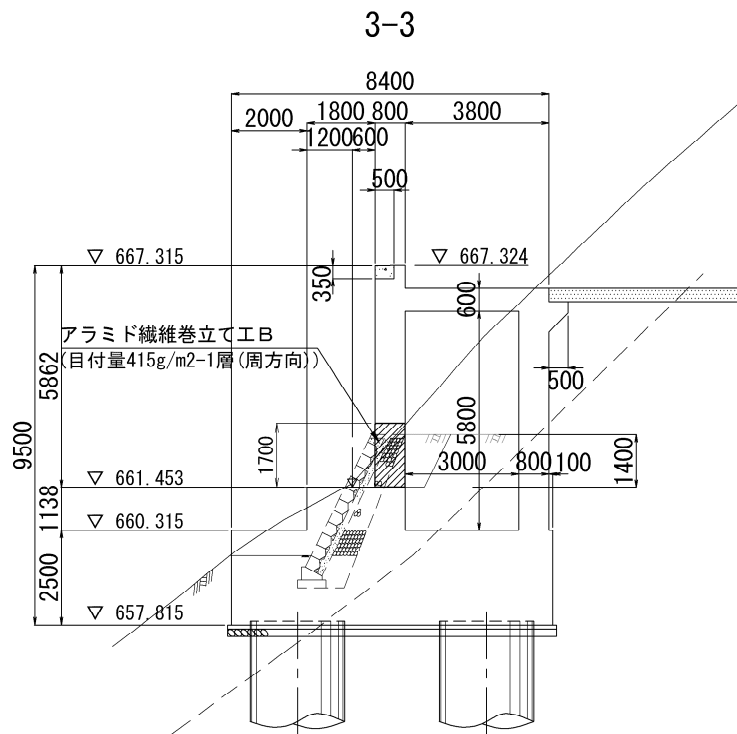
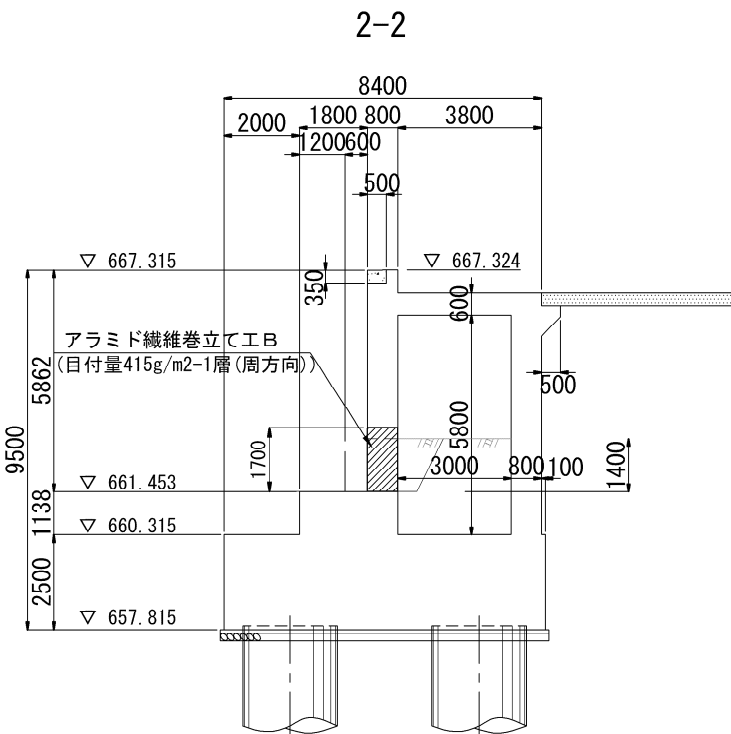
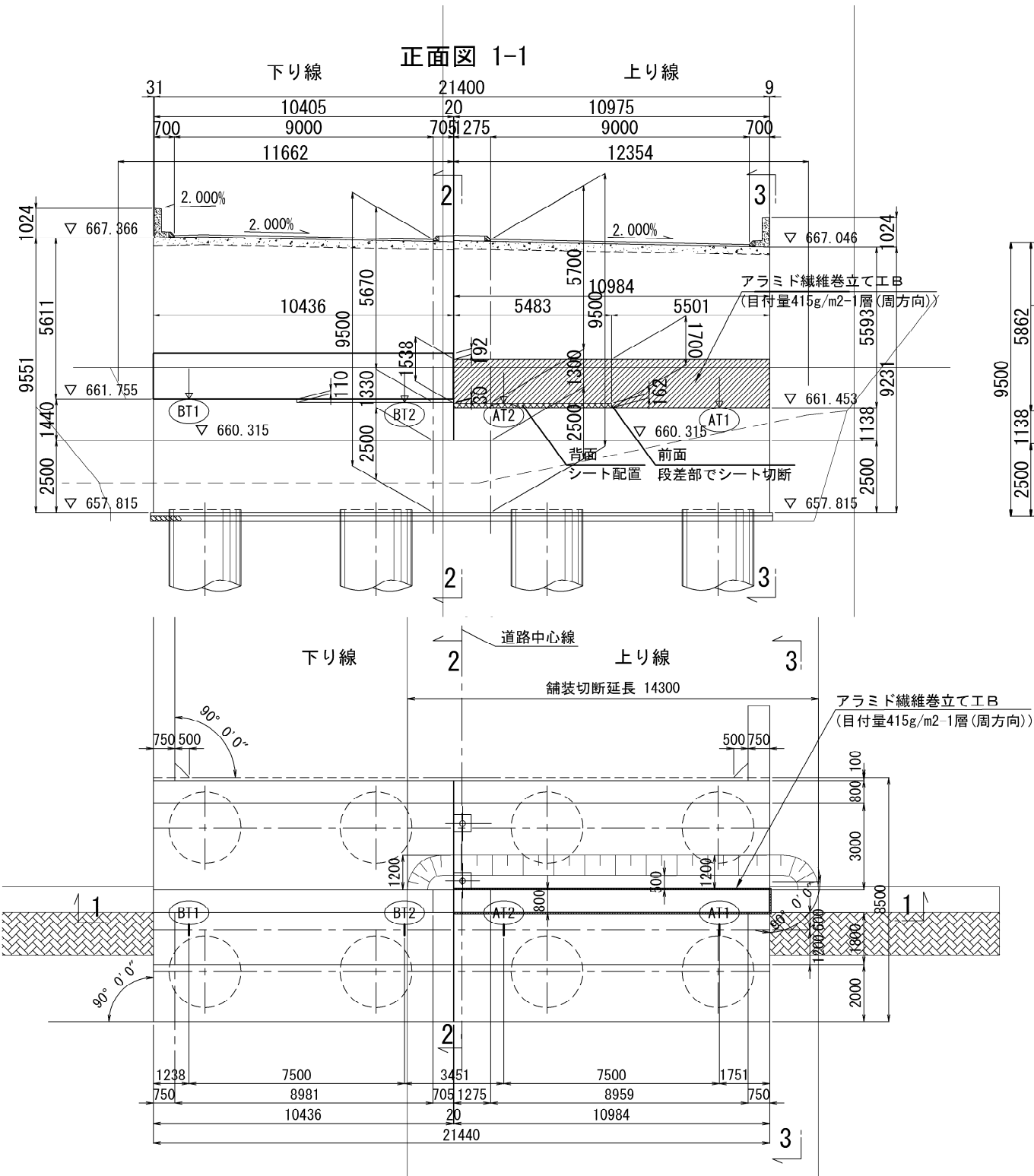
施工断面詳細図



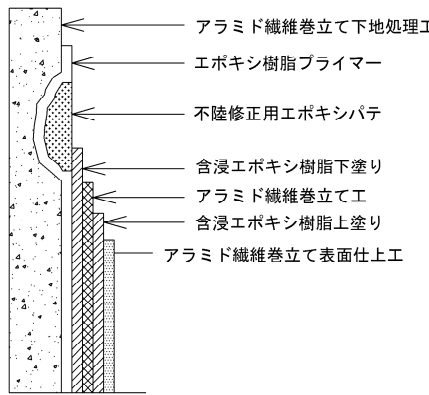
注記

- ・現場測量・調査に基づき、詳細を決定すること。
- ・ひび割れ幅0.2mm以上の場合は、事前修復にてひび割れ注入を行うこと。
- ・不陸修正用エポキシ樹脂パテ量は、下地状況を確認後決定すること。
- ・表面処理(下地処理工)はディスクサンダー処理を標準とする。
- ・橋脚の面取りがされていない場合はR=10mm以上の面取りを行うこと。
- ・樹脂施工時は、気温5℃以上、湿度85%以下、表面含水量8%以下で施工すること。
- ・アラミド繊維の継手位置は1箇所に集中しないように配置し継手長以上離すこと。

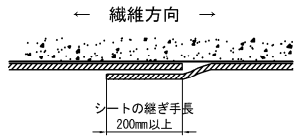
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 アラミド繊維巻立て工A 詳細図		
縮 尺	1:250	図面番号	419/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



施工断面詳細図



継ぎ手部



性能表

繊維目付 (g/m ²)	引張強度 N/m ²	引張弾性率 N/mm ²	設計厚さ (mm)	継手長 (mm)
415	2,060	1.18 × 10 ⁻⁵	0.286	200以上

含浸樹脂量 (参考)

繊維目付 (g/m ²)	m ² 当り標準使用量 (kg/m ²)
415	0.99

樹脂量は参考値であり、使用するシートで推奨する量を用いること。

追記

- ・現場測量・調査に基づき、詳細を決定すること。
- ・ひび割れ幅0.2mm以上の場合は、事前修復にてひび割れ注入を行うこと。
- ・不陸修正用エポキシ樹脂パテ量は、下地状況を確認後決定すること。
- ・表面処理（下地処理工）はディスクサンダー処理を標準とする。
- ・橋脚の面取りがされていない場合はR=10mm以上の面取りを行うこと。
- ・樹脂施工時は、気温5℃以上、湿度85%以下、表面含水量8%以下で施工すること。
- ・アラミド繊維の継手位置は1箇所に集中しないように配置し継手長以上離すこと。

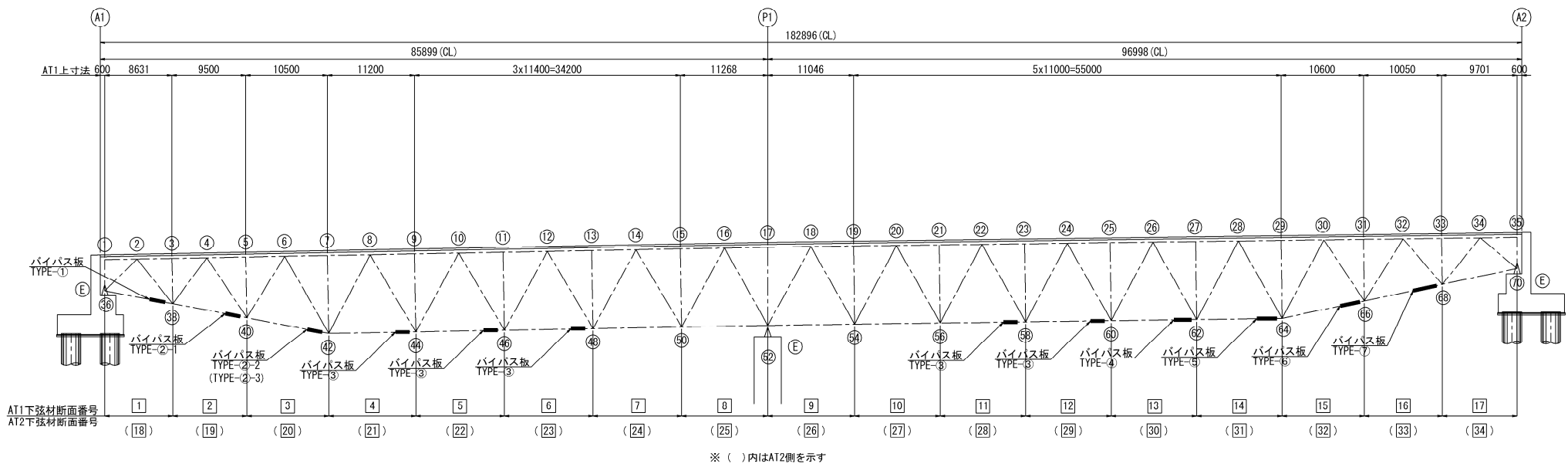
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A2橋台 アラミド繊維巻立て工B 詳細図		
縮尺	図示	図面番号	420/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強)配置図(その1)

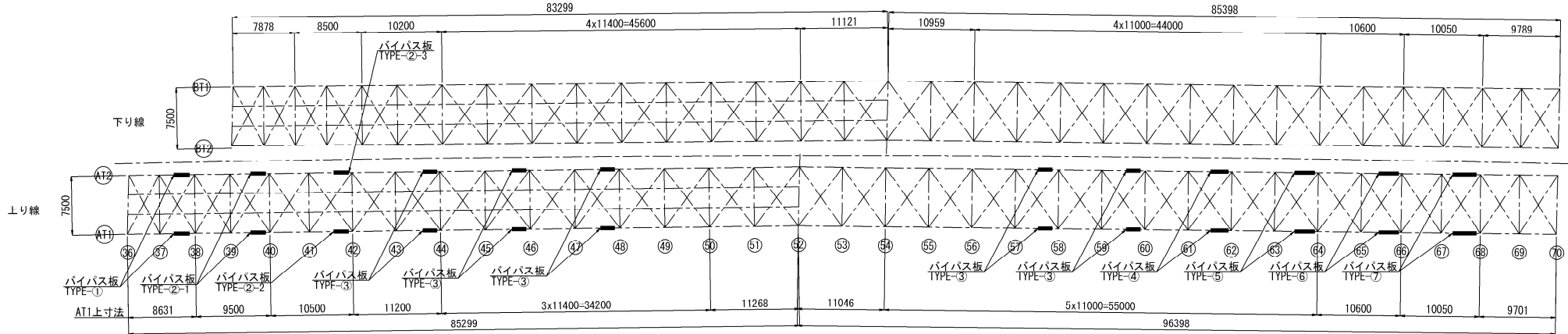
当て板補強 (バイパス板)

S=1:750

側面図

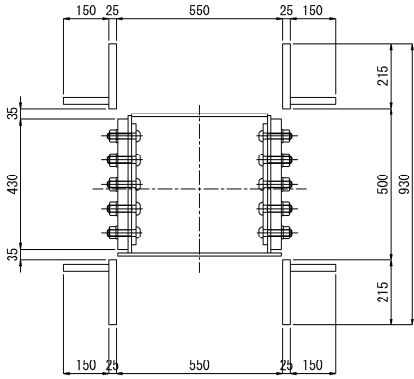


平面図

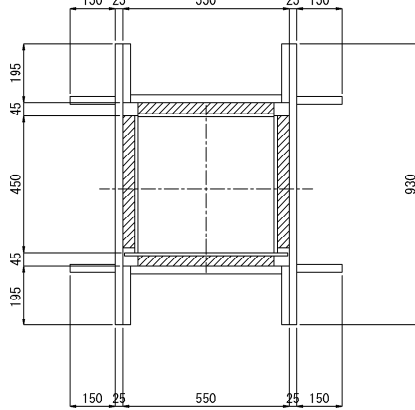


バイパス取付時断面 S=1:75

下弦材添接部



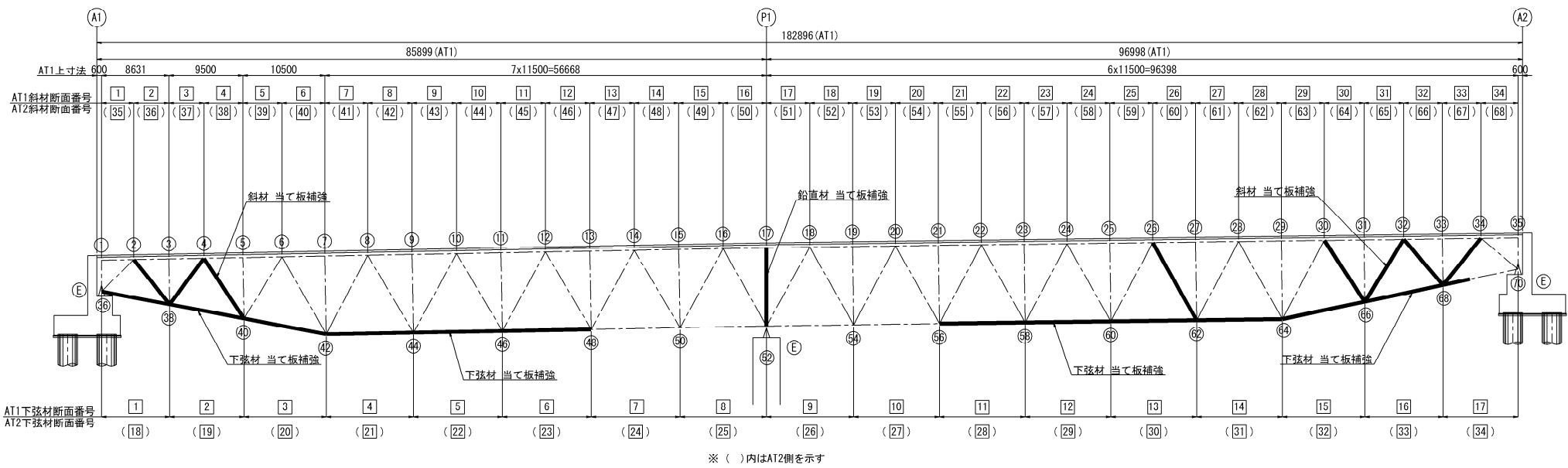
下弦材補強部



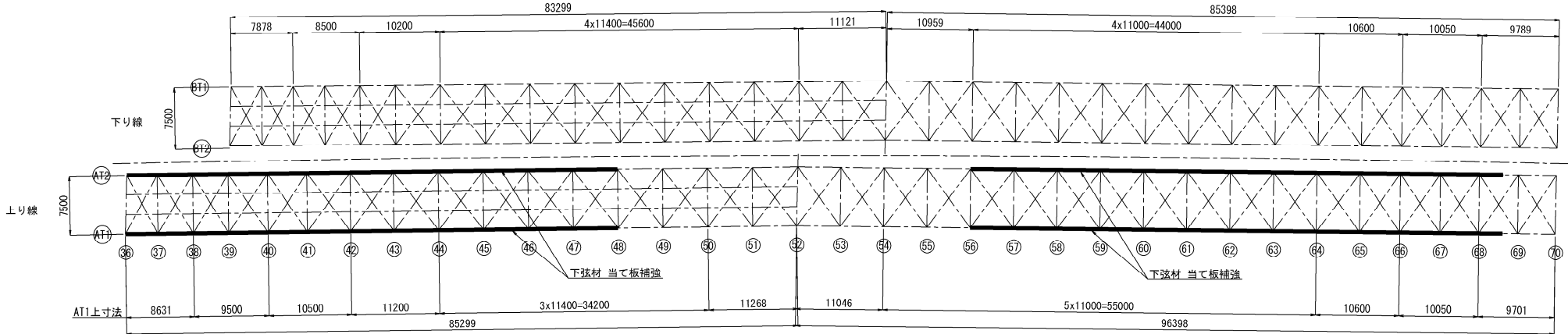
TYPE-①	2か所
TYPE-②-1	2か所
TYPE-②-2	1か所
TYPE-②-3	1か所
TYPE-③	10か所
TYPE-④	2か所
TYPE-⑤	2か所
TYPE-⑥	2か所
TYPE-⑦	2か所

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線)		
	構造物補強工(当て板補強)配置図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	421/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

側面図

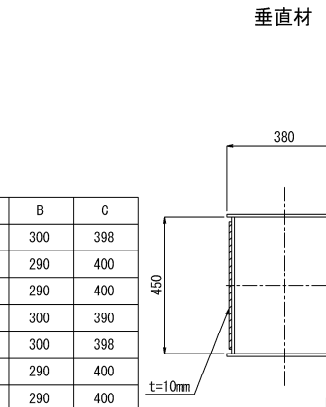
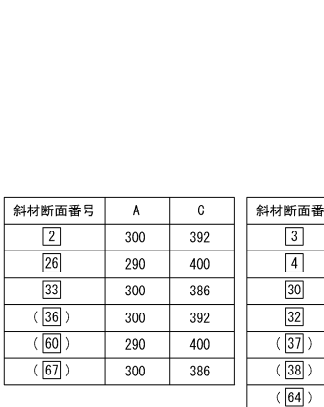
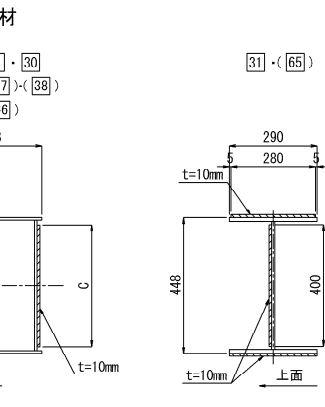
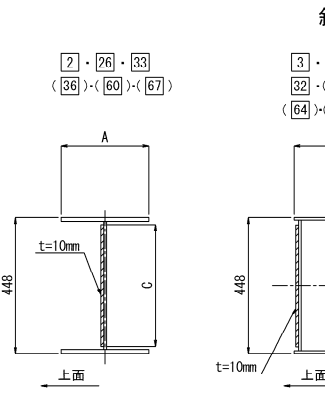
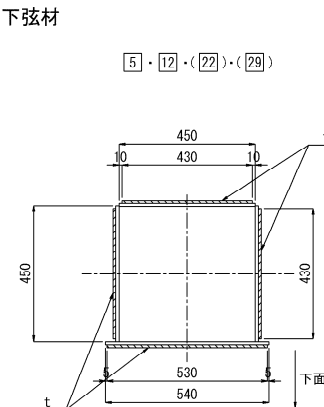
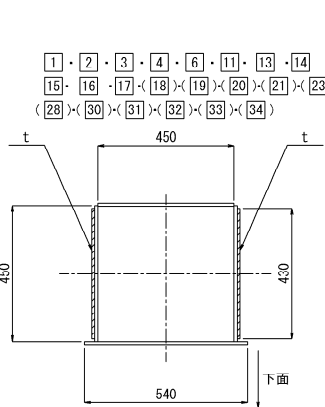


平面図



補強断面(一般部) S=1:75

下弦材断面番号	t
[1]	12
[2]	10
[3]	10
[4]	10
[6]	10
[11]	10
[13]	16
[14]	14
[15]	14
[16]	16
[17]	10
([18])	12
([19])	10
([20])	10
([21])	10
([23])	10
([28])	10
([30])	16
([31])	14
([32])	14
([33])	16
([34])	10



長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強)配置図(その2)		
縮尺	図示	図面番号	422/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

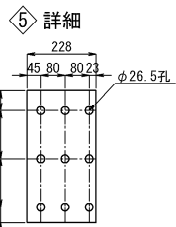
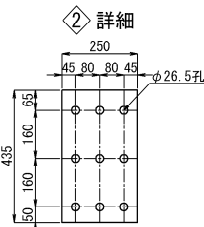
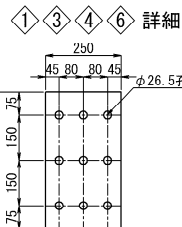
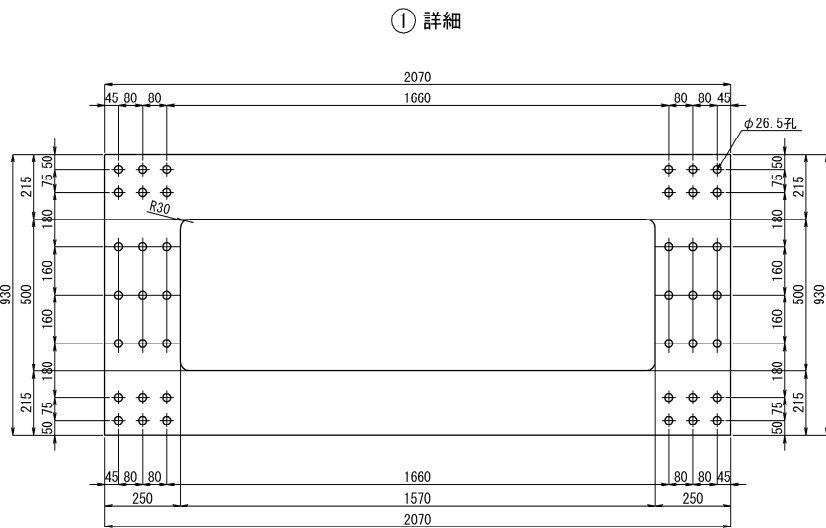
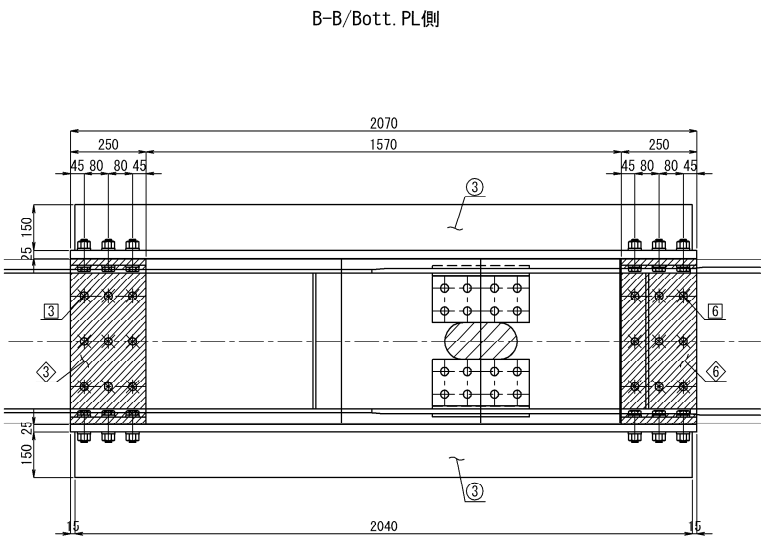
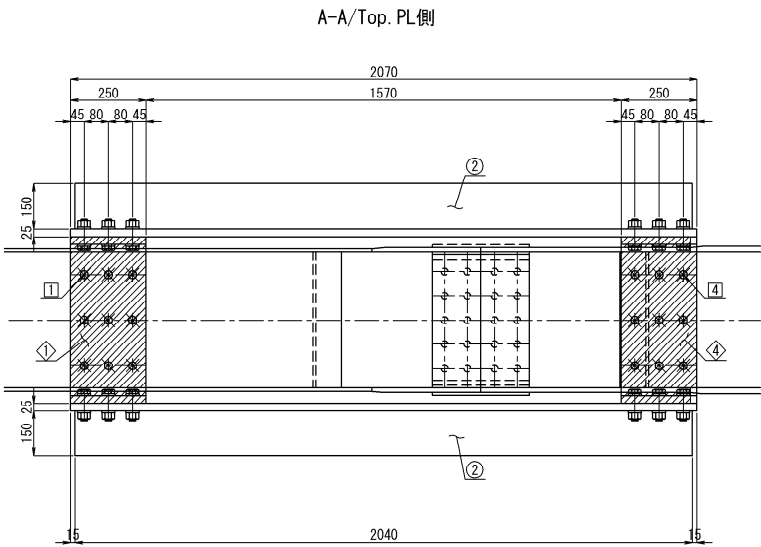
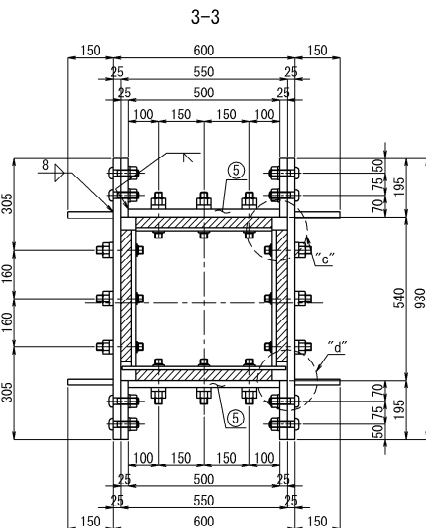
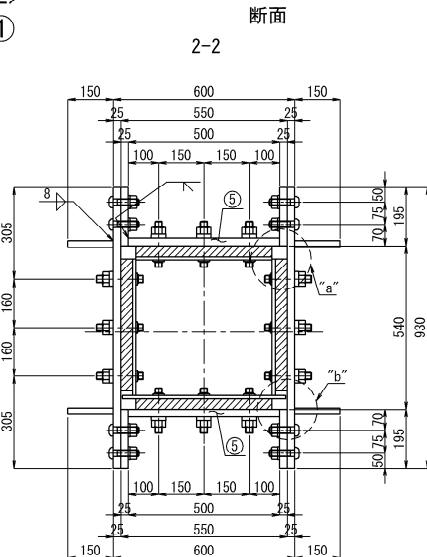
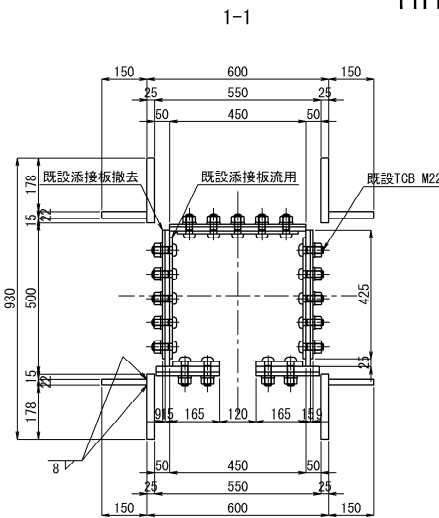
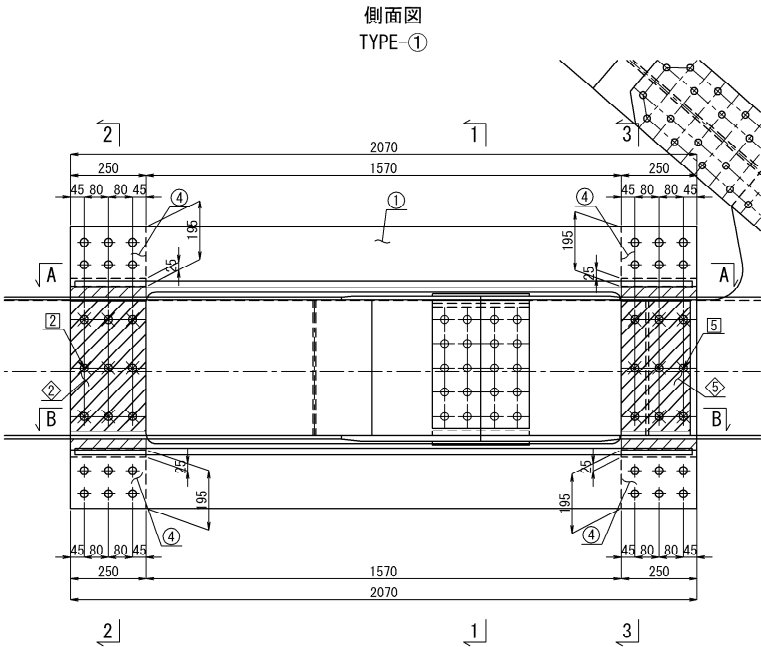
滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強)詳細図(その1)

S=1:25

下弦材(バイパス板)

AT1<AT2>

TYPE-①

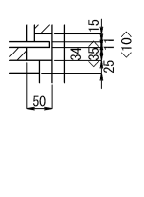
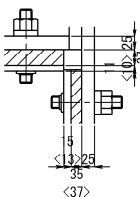
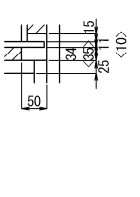
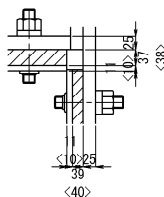


“a”部詳細 S=1:15

“b”部詳細 S=1:15

“c”部詳細 S=1:15

“d”部詳細 S=1:15



AT1

新設製作数量

1主構当たり数量(製作数:1基)

- ① 2-PL 930 x25 x2070
- ② 2-PL 150 x22 x2040
- ③ 2-PL 150 x22 x2040
- ④ 8-PL 195 x25 x 250
- ⑤ 4-PL 500 x25 x 250
- ⑥ 1-FILL PL 250 x37 x 450 (SS400)
- ⑦ 2-FILL PL 250 x39 x 435 (SS400)
- ⑧ 1-FILL PL 250 x34 x 450 (SS400)
- ⑨ 1-FILL PL 250 x37 x 450 (SS400)
- ⑩ 2-FILL PL 228 x35 x 435 (SS400)
- ⑪ 1-FILL PL 250 x34 x 450 (SS400)
- ⑫ 9-ワンスайдボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑬ 18-ワンスайдボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑭ 9-ワンスайдボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑮ 4-9-ワンスайдボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑯ 18-ワンスайдボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑰ 9-ワンスайдボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑱ 48-TCB M22 x85 (S10T)

既設撤去数量(1基)

- 2-SPI PL 425 x9 x370 (SM400YA)
- 40-TCB M22 x70 (S10T)

新設撤去数量

1主構当たり数量(1基)

- ① 2-PL 930 x25 x2070
- ② 2-PL 150 x22 x2040
- ③ 2-PL 150 x22 x2040
- ④ 8-PL 195 x25 x 250
- ⑤ 4-PL 500 x25 x 250
- ⑥ 1-FILL PL 250 x37 x 450 (SS400)
- ⑦ 2-FILL PL 250 x39 x 435 (SS400)
- ⑧ 1-FILL PL 250 x34 x 450 (SS400)
- ⑨ 1-FILL PL 250 x37 x 450 (SS400)
- ⑩ 2-FILL PL 228 x35 x 435 (SS400)
- ⑪ 1-FILL PL 250 x34 x 450 (SS400)
- ⑫ 9-ワンスайдボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑬ 18-ワンスайдボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑭ 9-ワンスайдボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑮ 4-9-ワンスайдボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑯ 18-ワンスайдボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑰ 9-ワンスайдボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑱ 48-TCB M22 x85 (S10T)

現場孔明け工

1箇所当たり数量(全:1箇所)
25.5φ x 72箇所

AT2

新設製作数量

1主構当たり数量(製作数:1基)

- ★① 2-PL 930 x25 x2070
- ★② 2-PL 150 x22 x2040
- ★③ 2-PL 150 x22 x2040
- ★④ 8-PL 195 x25 x 250
- ★⑤ 4-PL 500 x25 x 250
- ⑥ 1-FILL PL 250 x38 x 450 (SS400)
- ⑦ 2-FILL PL 250 x40 x 435 (SS400)
- ⑧ 1-FILL PL 250 x35 x 450 (SS400)
- ⑨ 1-FILL PL 250 x38 x 450 (SS400)
- ⑩ 2-FILL PL 228 x37 x 435 (SS400)
- ⑪ 1-FILL PL 250 x35 x 450 (SS400)
- ⑫ 9-ワンスайдボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑬ 18-ワンスайдボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑭ 9-ワンスайдボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑮ 4-9-ワンスайдボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑯ 18-ワンスайдボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑰ 9-ワンスайдボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑱ 48-TCB M22 x85 (S10T)

既設撤去数量(1基)

- 2-SPI PL 425 x9 x370 (SM400YA)
- 40-TCB M22 x70 (S10T)

新設撤去数量

1主構当たり数量(1基)

- ① 2-PL 930 x25 x2070
- ② 2-PL 150 x22 x2040
- ③ 2-PL 150 x22 x2040
- ④ 8-PL 195 x25 x 250
- ⑤ 4-PL 500 x25 x 250
- ⑥ 1-FILL PL 250 x38 x 450 (SS400)
- ⑦ 2-FILL PL 250 x40 x 435 (SS400)
- ⑧ 1-FILL PL 250 x35 x 450 (SS400)
- ⑨ 1-FILL PL 250 x38 x 450 (SS400)
- ⑩ 2-FILL PL 228 x37 x 435 (SS400)
- ⑪ 1-FILL PL 250 x35 x 450 (SS400)
- ⑫ 9-ワンスайдボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑬ 18-ワンスайдボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑭ 9-ワンスайдボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑮ 4-9-ワンスайдボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑯ 18-ワンスайдボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑰ 9-ワンスайдボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑱ 48-TCB M22 x85 (S10T)

現場孔明け工

1箇所当たり数量(全:1箇所)
25.5φ x 72箇所

注記

- 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
- 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
- ★印のボルトは、TCB M22を示す。
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。
- ※印のボルトは、MUTF 24を示す。
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
- バイパス構造は施工後撤去する。
- 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。
- 既設下弦材の添接部について、外側の添接板だけ取替えとする。
- 印はフィラープレートを示す。
- ★印材料はAT1の転用と示す。数量は計上しないとする。
- 撤去部材は無塗装とする。

施工手順



長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強)詳細図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	423/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強)詳細図(その2)

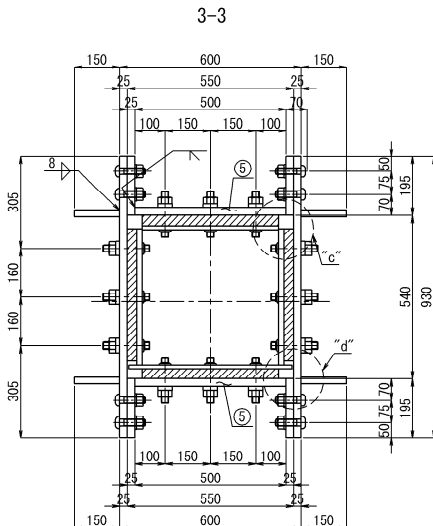
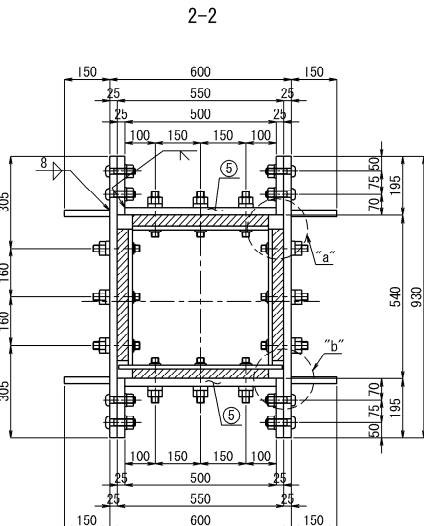
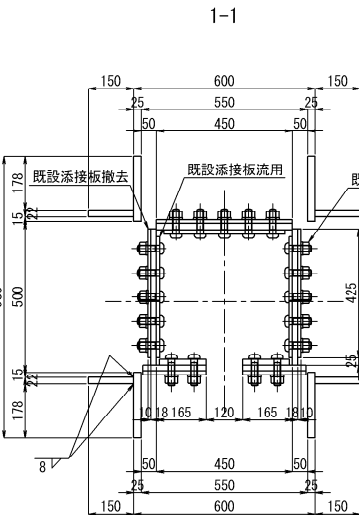
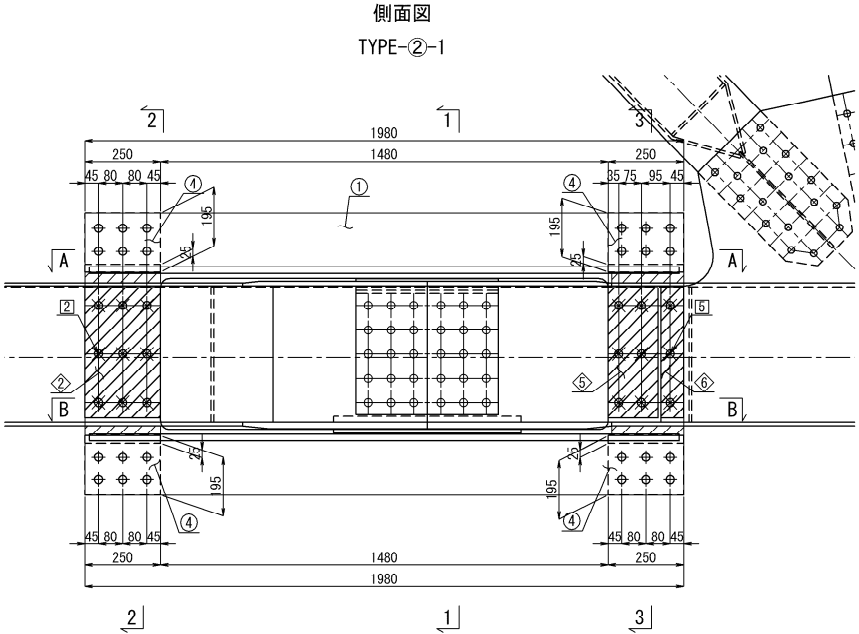
S=1:25

下弦材(バイパス板)

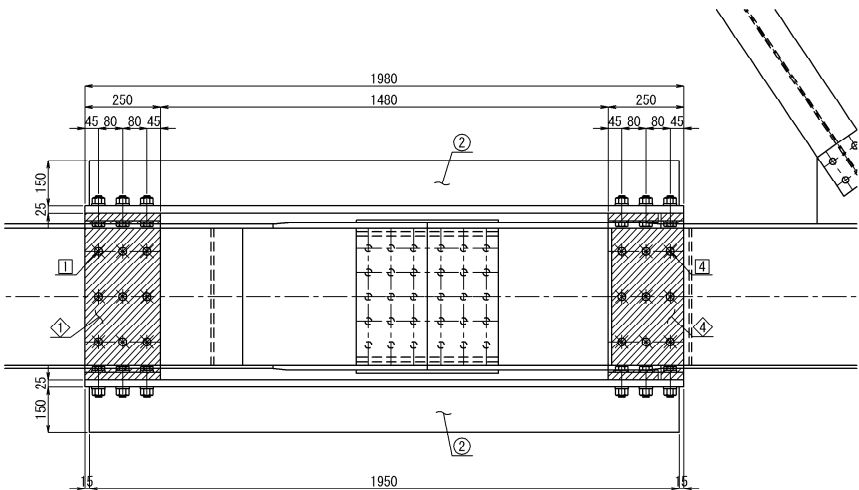
AT1<AT2>

TYPE②-1

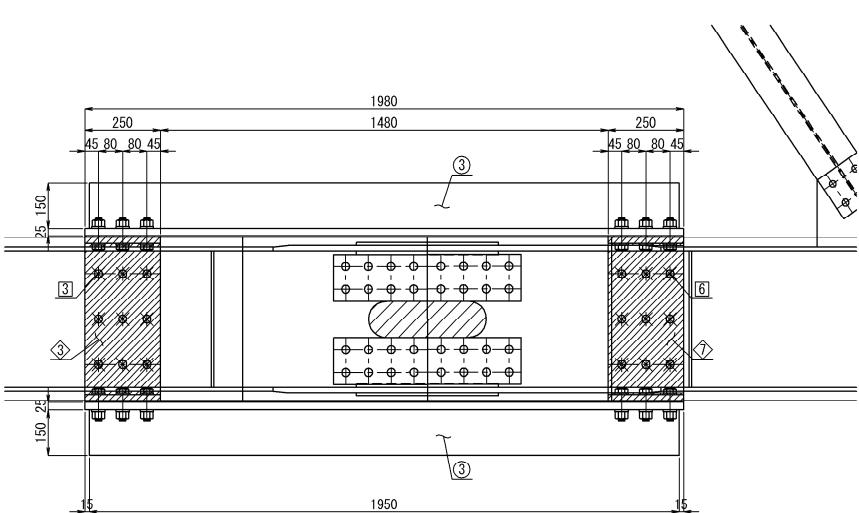
断面



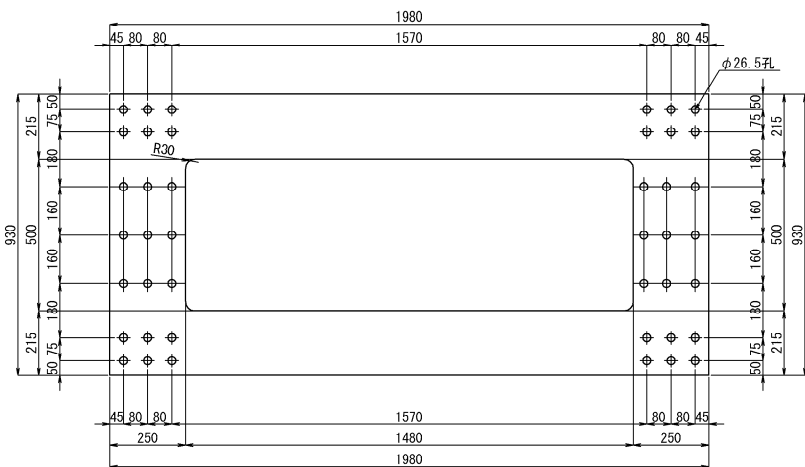
A-A/Top. PL側



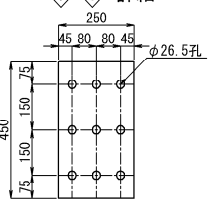
B-B/Bott. PL側



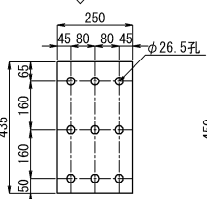
① 詳細



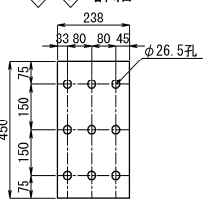
① ③ 詳細



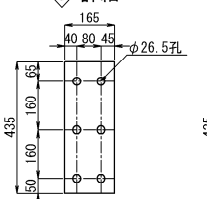
② 詳細



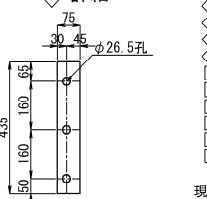
④ ⑦ 詳細



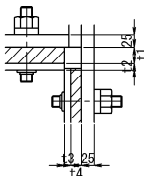
⑤ 詳細



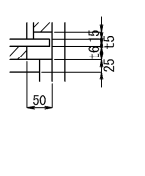
⑥ 詳細



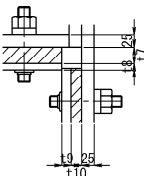
“a”部詳細 S=1:15



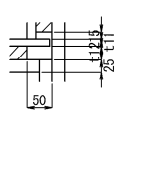
“b”部詳細 S=1:15



“c”部詳細 S=1:15



“d”部詳細 S=1:15



② AT1

新設製作数量

1主構当たり数量(製作数:1基)

- ① 2-PL 930 x25 x1980
- ② 2-PL 150 x22 x1950
- ③ 2-PL 150 x22 x1950
- ④ 8-PL 195 x25 x 250
- ⑤ 4-PL 500 x25 x 250
- ① 1-FILL PL 250 xt1 x 450 (SS400)
- ② 2-FILL PL 250 xt4 x 435 (SS400)
- ③ 1-FILL PL 250 xt6 x 450 (SS400)
- ④ 1-FILL PL 238 xt7 x 450 (SS400)
- ⑤ 2-FILL PL 165 x32 x 435 (SS400)
- ⑥ 2-FILL PL 75 x37 x 435 (SS400)
- ⑦ 1-FILL PL 238 xt12 x 450 (SS400)
- ⑧ 9-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑨ 9-ワンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)
- ⑩ 9-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑪ 18-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑫ 9-ワンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)
- ⑬ 48-TCB M22 x85 (S10T)

既設撤去数量(1基)

- 2-SPL PL 425 xt x470 (SM490YA)
- 60-TCB M22 x75 (S10T)

新設撤去数量

1主構当たり数量(1基)

- ① 2-PL 930 x25 x1980
- ② 2-PL 150 x22 x1950
- ③ 2-PL 150 x22 x1950
- ④ 8-PL 195 x25 x 250
- ⑤ 4-PL 500 x25 x 250
- ① 1-FILL PL 250 xt1 x 450 (SS400)
- ② 2-FILL PL 250 xt4 x 435 (SS400)
- ③ 1-FILL PL 250 xt6 x 450 (SS400)
- ④ 1-FILL PL 238 xt7 x 450 (SS400)
- ⑤ 2-FILL PL 165 x32 x 435 (SS400)
- ⑥ 2-FILL PL 75 x37 x 435 (SS400)
- ⑦ 1-FILL PL 238 xt12 x 450 (SS400)
- ⑧ 9-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑨ 9-ワンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)
- ⑩ 9-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑪ 18-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑫ 9-ワンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)
- ⑬ 48-TCB M22 x85 (S10T)

現場孔明け工

1箇所当たり数量(全:1箇所)

25.5φ x 72箇所

⑬ AT2

新設製作数量

1主構当たり数量(製作数:1基)

- ★ ① 2-PL 930 x25 x1980
- ★ ② 2-PL 150 x22 x1950
- ★ ③ 2-PL 150 x22 x1950
- ★ ④ 8-PL 195 x25 x 250
- ★ ⑤ 4-PL 500 x25 x 250
- ★ ① 1-FILL PL 250 xt1 x 450 (SS400)
- ★ ② 2-FILL PL 250 xt4 x 435 (SS400)
- ★ ③ 1-FILL PL 250 xt6 x 450 (SS400)
- ★ ④ 1-FILL PL 238 xt7 x 450 (SS400)
- ★ ⑤ 2-FILL PL 165 x32 x 435 (SS400)
- ★ ⑥ 2-FILL PL 75 x37 x 435 (SS400)
- ★ ⑦ 1-FILL PL 238 xt12 x 450 (SS400)
- ⑧ 9-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑨ 9-ワンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)
- ⑩ 9-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑪ 18-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑫ 9-ワンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)
- ⑬ 48-TCB M22 x85 (S10T)

既設撤去数量(1基)

- 2-SPL PL 425 xt x470 (SM490YA)
- 60-TCB M22 x75 (S10T)

新設撤去数量

1主構当たり数量(1基)

- ① 2-PL 930 x25 x1980
- ② 2-PL 150 x22 x1950
- ③ 2-PL 150 x22 x1950
- ④ 8-PL 195 x25 x 250
- ⑤ 4-PL 500 x25 x 250
- ① 1-FILL PL 250 xt1 x 450 (SS400)
- ② 2-FILL PL 250 xt4 x 435 (SS400)
- ③ 1-FILL PL 250 xt6 x 450 (SS400)
- ④ 1-FILL PL 238 xt7 x 450 (SS400)
- ⑤ 2-FILL PL 165 x32 x 435 (SS400)
- ⑥ 2-FILL PL 75 x37 x 435 (SS400)
- ⑦ 1-FILL PL 238 xt12 x 450 (SS400)
- ⑧ 9-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑨ 9-ワンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)
- ⑩ 9-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑪ 18-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑫ 9-ワンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)
- ⑬ 48-TCB M22 x85 (S10T)

現場孔明け工

1箇所当たり数量(全:1箇所)

25.5φ x 72箇所

注記

- 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
- 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
- φ印のボルトは、TCB M22を示す。
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。
※印のボルトは、MUTF 24を示す。
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
- バイパス構造は施工後撤去する。
- 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。
- 既設下弦材の添接部について、外側の添接板だけ取替えとする。
- 印はフィラープレートを示す。
- ★印材料はAT1の転用と示す。数量は計上しないとする。
- 撤去部材は無塗装とする。

下弦材断面番号	t	t1	t2	t3	t4	t5	t6	t7	t8	t9	t10	t11	t12
② (AT1)	10	35	13	13	37	13	32	35	13	18	32	13	32
⑬ (AT2)	9	35	13	12	38	13	32	35	13	17	33	13	32

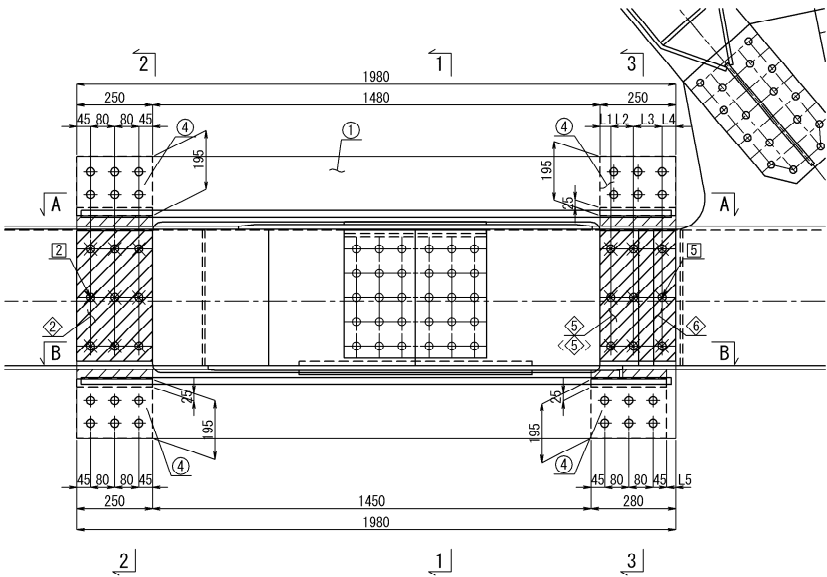
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強)詳細図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	424/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その3)

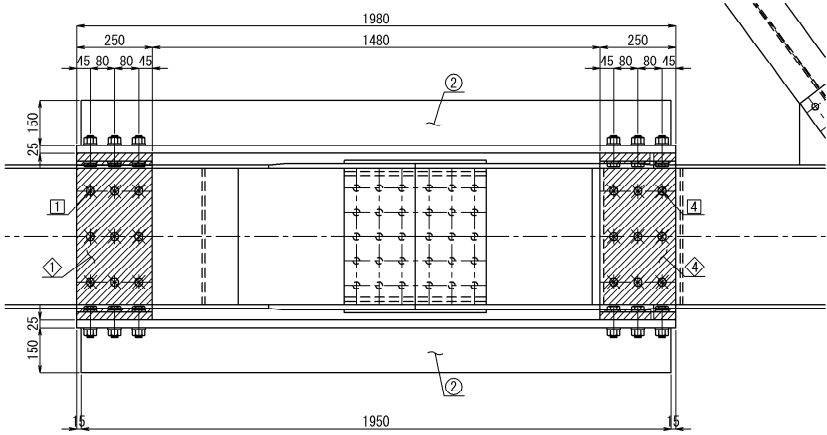
S=1:25

下弦材(バイパス板)
TYPE②-2、<TYPE②-3>

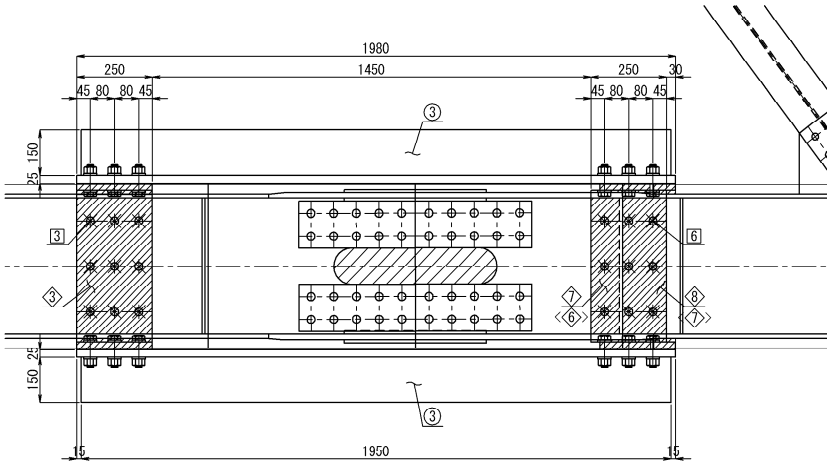
側面図
TYPE②-n



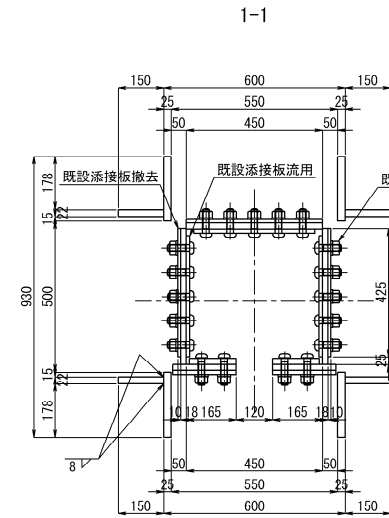
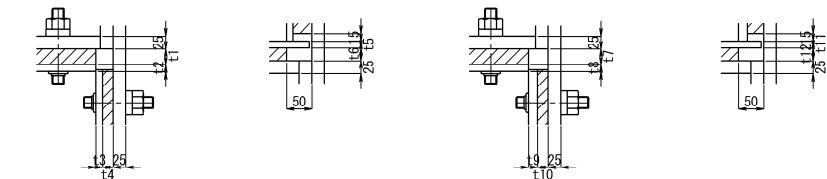
A-A/Top. PL側



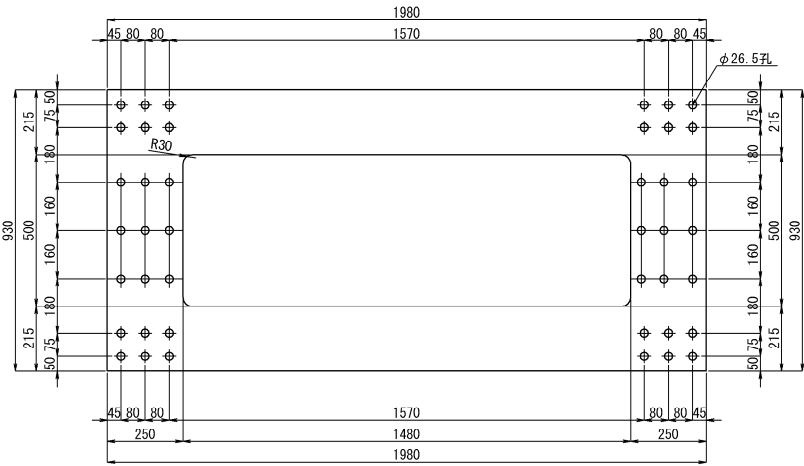
B-B/Bott. PL側



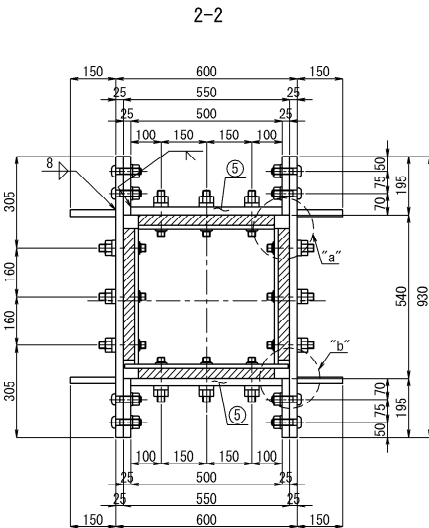
"a"部詳細 S=1:15 "b"部詳細 S=1:15 "c"部詳細 S=1:15 "d"部詳細 S=1:15



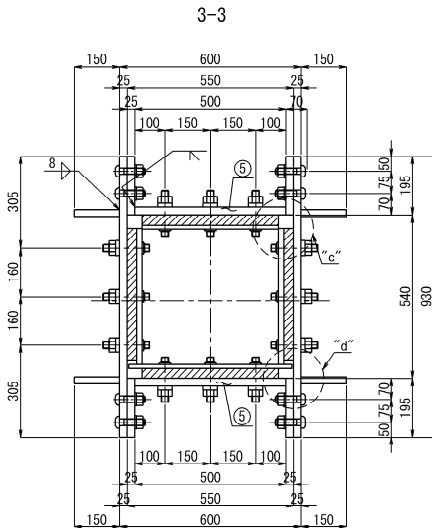
① 詳細



断面



2-2



3-3

20 (AT2)

新設製作数量
1主構当たり数量(製作数:1基)

- ★ ① 2-PL 930 x25 x1980
- ★ ② 2-PL 150 x22 x1950
- ★ ③ 2-PL 150 x22 x1950
- ★ ④ 9-PL 195 x25 x250
- ★ ⑤ 4-PL 500 x25 x250
- ★ ⑥ 1-FILL PL 250 xt1 x450 (SS400)
- ★ ⑦ 2-FILL PL 250 xt4 x435 (SS400)
- ★ ⑧ 1-FILL PL 250 xt6 x450 (SS400)
- ★ ⑨ 1-FILL PL 238 xt7 x450 (SS400)
- ★ ⑩ 2-FILL PL 250 xt10 x435 (SS400)
- ★ ⑪ 1-FILL PL 153 xt2 x450 (SS400)
- ★ ⑫ 1-FILL PL 156 xt12 x450 (SS400)
- ★ ⑬ 9-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ★ ⑭ 18-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ★ ⑮ 9-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ★ ⑯ 9-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ★ ⑰ 18-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ★ ⑱ 9-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ★ ⑲ 48-TCB M22 x85 (S10T)

既設撤去数量(1基)

- 2-SPL PL 425 xt470 (SM490YA)
- 60-TCB M22 x75 (S10T)

新設撤去数量

1主構当たり数量(1基)

- ① 2-PL 930 x25 x1980
- ② 2-PL 150 x22 x1950
- ③ 2-PL 150 x22 x1950
- ④ 8-PL 195 x25 x250
- ⑤ 4-PL 500 x25 x250
- ⑥ 1-FILL PL 250 xt1 x450 (SS400)
- ⑦ 2-FILL PL 250 xt4 x435 (SS400)
- ⑧ 1-FILL PL 250 xt6 x450 (SS400)
- ⑨ 1-FILL PL 238 xt7 x450 (SS400)
- ⑩ 2-FILL PL 250 xt10 x435 (SS400)
- ⑪ 1-FILL PL 153 xt2 x450 (SS400)
- ⑫ 1-FILL PL 156 xt12 x450 (SS400)
- ⑬ 9-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑭ 18-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑮ 9-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑯ 9-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑰ 18-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑱ 9-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑲ 48-TCB M22 x85 (S10T)

現場孔明け工

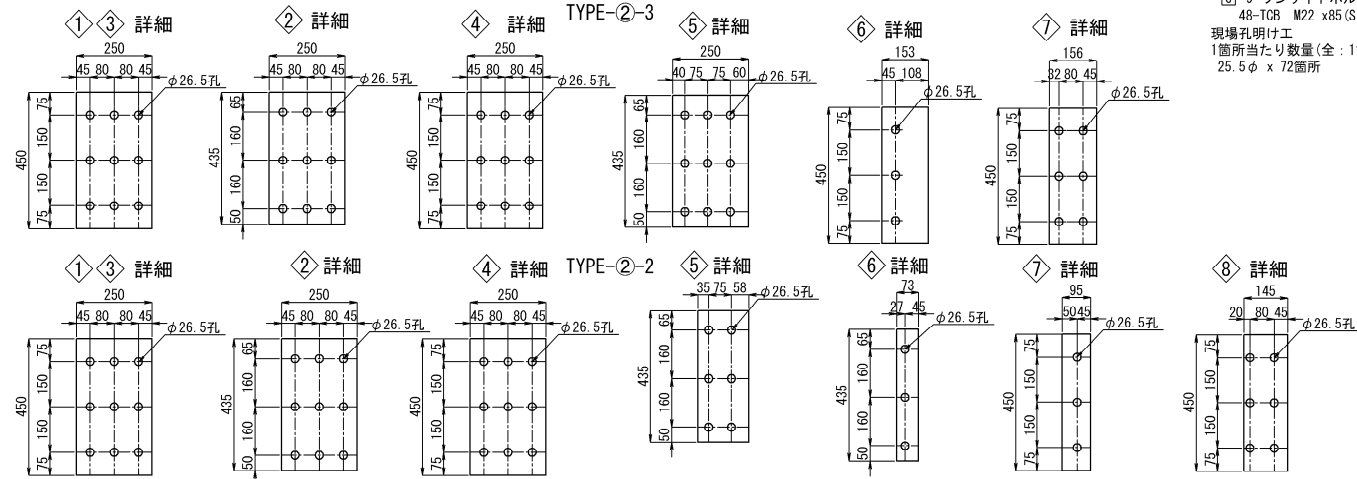
1箇所当たり数量(全:1箇所)

25.5φ x 72箇所

注記

1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構速寸法を再確認すること。
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
3. ♢印のボルトは、TCB 22を示す
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。
4. ♢印のボルトは、MUTF 24を示す
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
5. バイパス構造は施工後撤去する。
6. 撤去部材は無塗装とする。
7. 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。
8. 印はフィラープレートを示す。
9. ★印材料はAT1の転用と示す。数量は計上しないとする。
10. 撤去部材は無塗装とする。

下弦材断面番号	n	t	t1	t2	t3	t4	t5	t6	t7	t8	t9	t10	t11	t12	L1	L2	L3	L4	L5
3 (AT1)	2	10	34	14	12	37	14	31	34	14	18	32	14	31	35	75	95	45	30
20 (AT2)	3	10	34	14	12	37	14	31	34	14	18	32	14	31	40	75	75	60	0



滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強)詳細図(その4)

S=1:25

下弦材(バイパス板)

AT1<AT2>

TYPE③

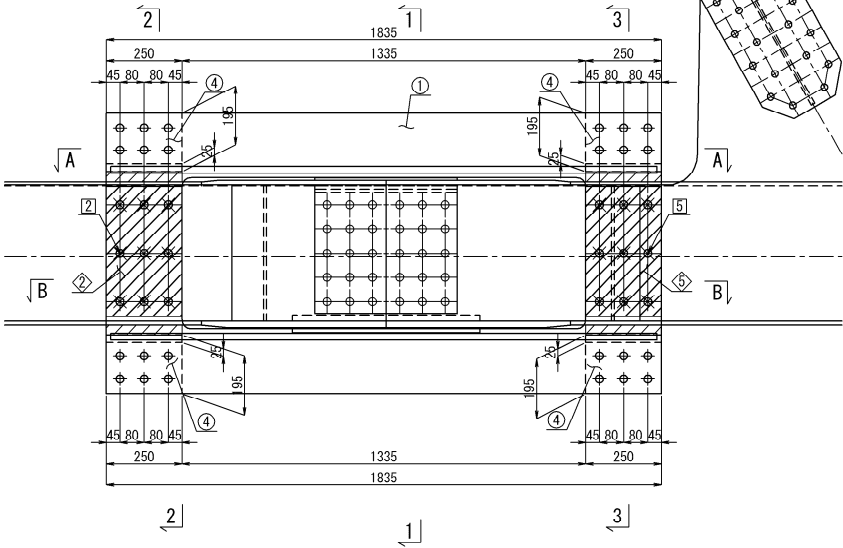
1-1

断面

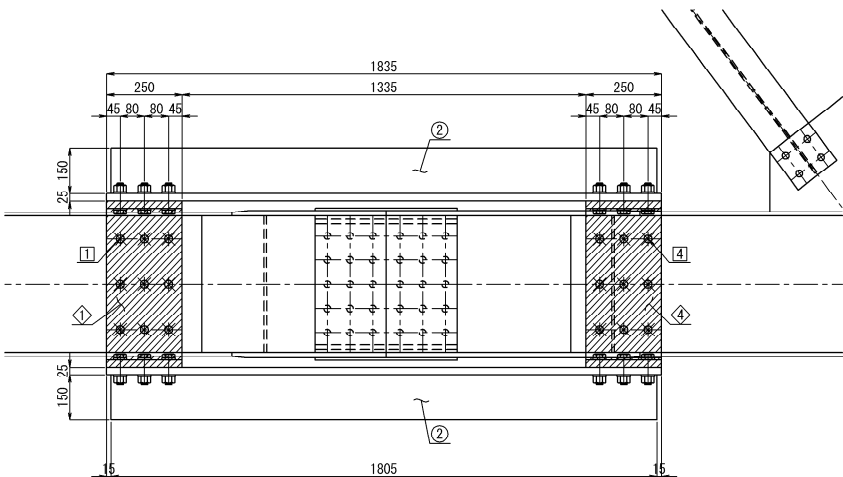
2-2

3-3

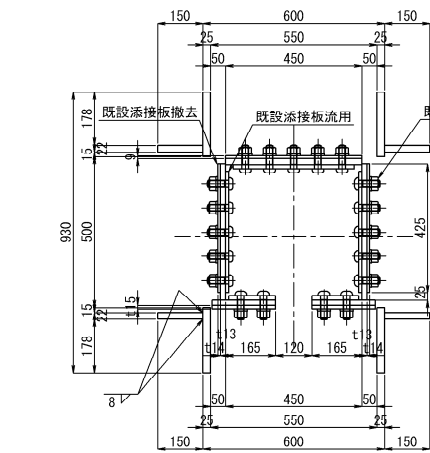
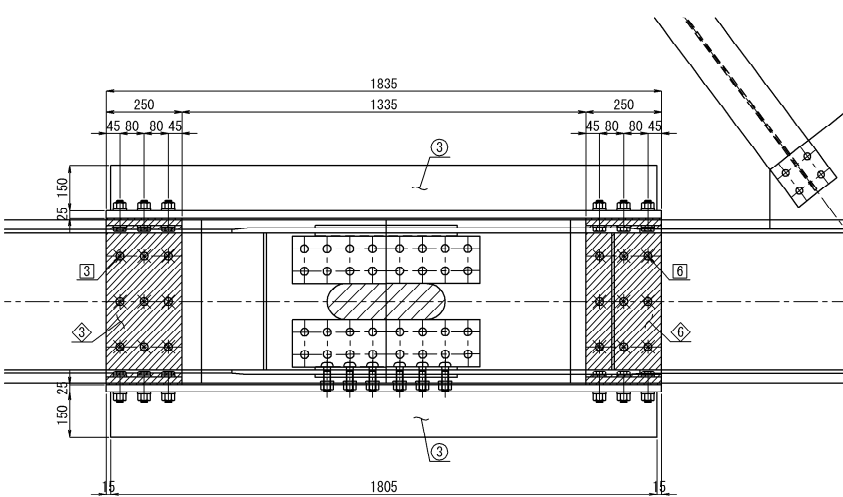
側面図
TYPE-③



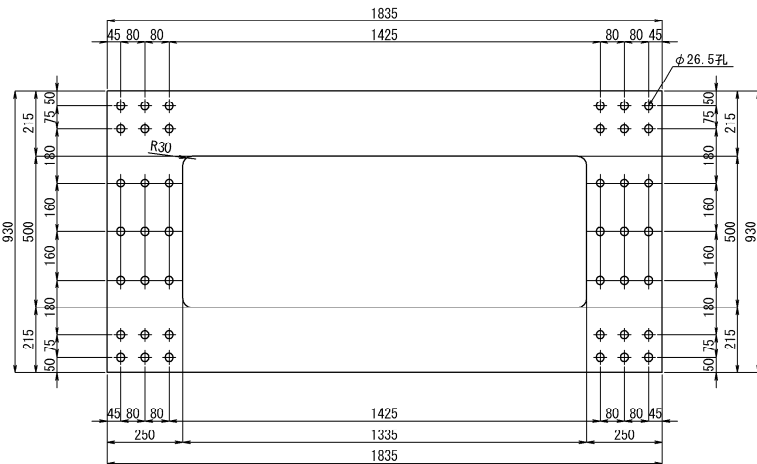
A-A/Top. PL側



B-B/Bott. PL側

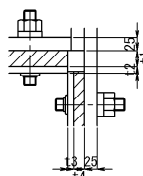


① 詳細

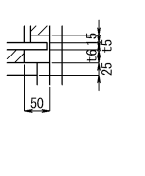


下弦材断面番号	t1	t2	t3	t4	t5	t6	t7	t8	t9	t10	t11	t12	t13	t14	t15	t16
① (AT1)	35	13	12	38	13	32	35	13	17	33	13	32	17	9		36
⑤ (AT1)	38	10	10	40	10	35	38	10	14	36	10	35	14	9	12	9
⑥ (AT1)	37	11	11	39	11	34	37	11	11	39	11	34	11	9		36
⑪ (AT1)	37	11	11	39	11	34	37	11	11	39	11	34	11	9		36
⑫ (AT1)	35	13	12	38	13	32	35	13	17	33	13	32	17	9	15	9
⑳ (AT2)	35	13	12	38	13	32	35	13	16	34	13	32	16	9		36
㉒ (AT2)	38	10	10	40	10	35	38	10	14	36	10	35	14	9	12	9
㉓ (AT2)	37	11	11	39	11	34	37	11	11	39	11	34	11	9		36
㉔ (AT2)	37	11	11	39	11	34	37	11	11	39	11	34	11	9		36
㉕ (AT2)	35	13	12	38	13	32	35	13	17	33	13	32	17	9	15	9

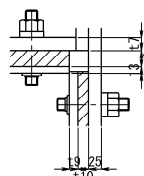
“a”部詳細 S=1:15



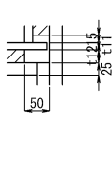
“b”部詳細 S=1:15



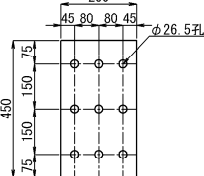
“c”部詳細 S=1:15



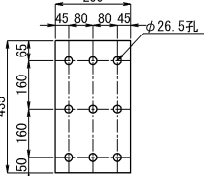
“d”部詳細 S=1:15



① ③ ④ ⑥ 詳細



② ⑤ 詳細



④ (AT1)

新設製作数量

1主橋当たり数量(製作数:1基)

- ① 2-PL 930 x25 x1835
- ② 2-PL 150 x22 x1805
- ③ 2-PL 150 x22 x1805
- ④ 8-PL 195 x25 x 250
- ⑤ 4-PL 500 x25 x 250
- ① 1-FILL PL 250 xt1 x 450 (SS400)
- ② 2-FILL PL 250 xt4 x 435 (SS400)
- ③ 1-FILL PL 250 xt6 x 450 (SS400)
- ④ 1-FILL PL 250 xt7 x 450 (SS400)
- ⑤ 2-FILL PL 250 xt10 x 435 (SS400)
- ⑥ 1-FILL PL 250 xt12 x 450 (SS400)
- ① 9-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ② 18-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ③ 9-ワンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)
- ④ 9-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑤ 18-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑥ 9-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- 48-TCB M22 x85 (S10T)

新設撤去数量

1主橋当たり数量(1基)

- ① 2-PL 930 x25 x1835
- ② 2-PL 150 x22 x1805
- ③ 2-PL 150 x22 x1805
- ④ 8-PL 195 x25 x 250
- ⑤ 4-PL 500 x25 x 250
- ① 1-FILL PL 250 xt1 x 450 (SS400)
- ② 2-FILL PL 250 xt4 x 435 (SS400)
- ③ 1-FILL PL 250 xt6 x 450 (SS400)
- ④ 1-FILL PL 250 xt7 x 450 (SS400)
- ⑤ 2-FILL PL 250 xt10 x 435 (SS400)
- ⑥ 1-FILL PL 250 xt12 x 450 (SS400)
- ① 9-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ② 18-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ③ 9-ワンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)
- ④ 9-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑤ 18-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑥ 9-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- 48-TCB M22 x85 (S10T)

現場孔明け工

1箇所当たり数量(全:1箇所)
25.5φ x 72箇所

㌦ (AT1・AT2)

新設製作数量

1主橋当たり数量(製作数:各1基)

- ① 2-PL 930 x25 x1835
- ② 2-PL 150 x22 x1805
- ③ 2-PL 150 x22 x1805
- ④ 8-PL 195 x25 x 250
- ⑤ 4-PL 500 x25 x 250
- ① 1-FILL PL 250 xt1 x 450 (SS400)
- ② 2-FILL PL 250 xt4 x 435 (SS400)
- ③ 1-FILL PL 250 xt6 x 450 (SS400)
- ④ 1-FILL PL 250 xt7 x 450 (SS400)
- ⑤ 2-FILL PL 250 xt10 x 435 (SS400)
- ⑥ 1-FILL PL 250 xt12 x 450 (SS400)
- ① 9-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ② 18-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ③ 9-ワンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)
- ④ 9-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑤ 18-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑥ 9-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- 48-TCB M22 x85 (S10T)

新設撤去数量

1主橋当たり数量(各1基)

- ① 2-PL 930 x25 x1835
- ② 2-PL 150 x22 x1805
- ③ 2-PL 150 x22 x1805
- ④ 8-PL 195 x25 x 250
- ⑤ 4-PL 500 x25 x 250
- ① 1-FILL PL 250 xt1 x 450 (SS400)
- ② 2-FILL PL 250 xt4 x 435 (SS400)
- ③ 1-FILL PL 250 xt6 x 450 (SS400)
- ④ 1-FILL PL 250 xt7 x 450 (SS400)
- ⑤ 2-FILL PL 250 xt10 x 435 (SS400)
- ⑥ 1-FILL PL 250 xt12 x 450 (SS400)
- ① 9-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ② 18-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ③ 9-ワンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)
- ④ 9-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑤ 18-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑥ 9-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- 48-TCB M22 x85 (S10T)

現場孔明け工

1箇所当たり数量(全:9箇所)
25.5φ x 72箇所

注記

- 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
- 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
- ★印のボルトは、TCB 22を示す。
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。
※印のボルトは、MUTF 24を示す。
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
- バイパス構造は施工後撤去する。
- 撤去部材は無塗装とする。
- 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。
- 斜線印はフィラープレートを示す。
- ★印材料はAT1の転用とする。数量は計上しないとする。
- 撤去部材は無塗装とする。

既設撤去数量

下弦材断面番号4(AT1)(1基)
2-SPL PL 425 x9x470 (SM490YA)
60-TCB M22 x75 (S10T)

下弦材断面番号6(AT1)(1基)
2-SPL PL 425 x9x320 (SM490YA)
40-TCB M22 x65 (S10T)

下弦材断面番号11(AT1)(1基)
2-SPL PL 425 x9x320 (SM490YA)
40-TCB M22 x65 (S10T)

下弦材断面番号12(AT1)(1基)
2-SPL PL 425 x9 x470 (SM490YA)
60-TCB M22 x75 (S10T)
1-SPL PL 450 x9 x470 (SM490YA)
2-SPL PL 210 x15 x620 (SM490YA)
30-TCB M22 x75 (S10T)
32-TCB M22 x95 (S10T)
1-Cov PL 116 x8 x510 (SS400)
2-BN M16 x60 (SS400)

下弦材断面番号23(AT2)(1基)
2-SPL PL 425 x9x320 (SM490YA)
40-TCB M22 x65 (S10T)

下弦材断面番号5(AT1)(1基)
2-SPL PL 425 x9 x470 (SM490YA)
60-TCB M22 x70 (S10T)

下弦材断面番号21(AT2)(1基)
2-SPL PL 425 x9x470 (SM490YA)
60-TCB M22 x70 (S10T)

下弦材断面番号22(AT2)(1基)
2-SPL PL 425 x9 x470 (SM490YA)
60-TCB M22 x70 (S10T)

下弦材断面番号29(AT2)(1基)
2-SPL PL 425 x9 x470 (SM490YA)
60-TCB M22 x75 (S10T)

下弦材断面番号28(AT2)(1基)
2-SPL PL 425 x9x320 (SM490YA)
40-TCB M22 x65 (S10T)

下弦材断面番号27(AT2)(1基)
2-SPL PL 425 x9 x470 (SM490YA)
60-TCB M22 x70 (S10T)

下弦材断面番号26(AT2)(1基)
2-SPL PL 425 x9 x470 (SM490YA)
60-TCB M22 x70 (S10T)

下弦材断面番号25(AT2)(1基)
2-SPL PL 425 x9 x470 (SM490YA)
60-TCB M22 x70 (S10T)

下弦材断面番号24(AT2)(1基)
2-SPL PL 425 x9 x470 (SM490YA)
60-TCB M22 x70 (S10T)

下弦材断面番号23(AT2)(1基)
2-SPL PL 425 x9 x470 (SM490YA)
60-TCB M22 x70 (S10T)

下弦材断面番号22(AT2)(1基)
2-SPL PL 425 x9 x470 (SM490YA)
60-TCB M22 x70 (S10T)

下弦材断面番号21(AT2)(1基)
2-SPL PL 425 x9 x470 (SM490YA)
60-TCB M22 x70 (S10T)

下弦材断面番号20(AT2)(1基)
2-SPL PL 425 x9 x470 (SM490YA)
60-TCB M22 x70 (S10T)

下弦材断面番号19(AT2)(1基)
2-SPL PL 425 x9 x470 (SM490YA)
60-TCB M22 x70 (S10T)

下弦材断面番号18(AT2)(1基)
2-SPL PL 425 x9 x470 (SM490YA)
60-TCB M22 x70 (S10T)

下弦材断面番号17(AT2)(1基)
2-SPL PL 425 x9 x470 (SM490YA)
60-TCB M22 x70 (S10T)

下弦材断面番号16(AT2)(1基)
2-SPL PL 425 x9 x470 (SM490YA)
60-TCB M22 x70 (S10T)

下弦材断面番号15(AT2)(1基)
2-SPL PL 425 x9 x470 (SM490YA)
60-TCB M22 x70 (S10T)

下弦材断面番号14(AT2)(1基)
2-SPL PL 425 x9 x470 (SM490YA)
60-TCB M22 x70 (S10T)

下弦材断面番号13(AT2)(1基)
2-SPL PL 425 x9 x470 (SM490YA)
60-TCB M22 x70 (S10T)

下弦材断面番号12(AT2)(1基)
2-SPL PL 425 x9 x470 (SM490YA)
60-TCB M22 x70 (S10T)

滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強)詳細図(その5)

S=1:25

427/532

下弦材(バイパス板)

AT1<AT2>

TYPE④

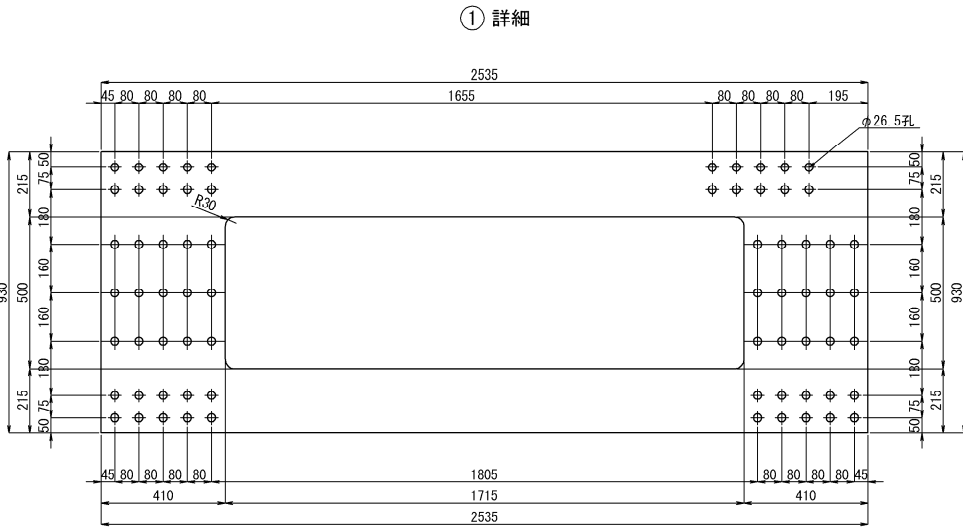
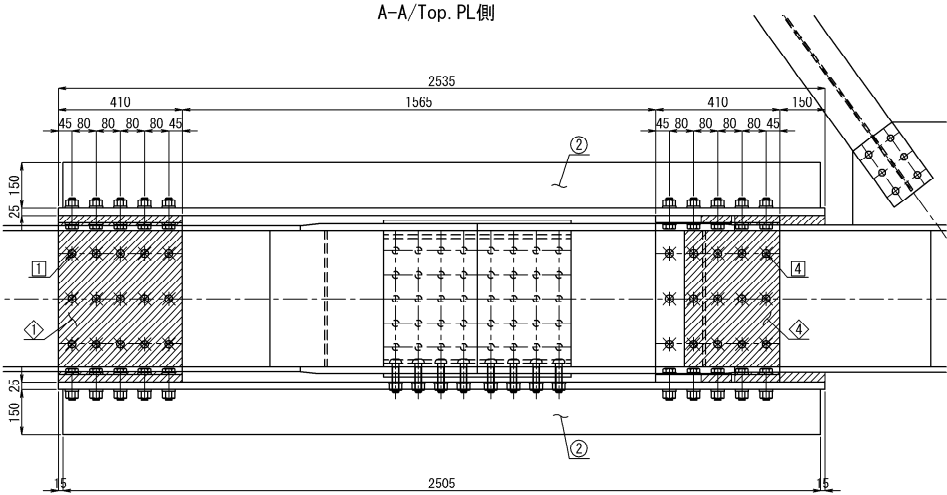
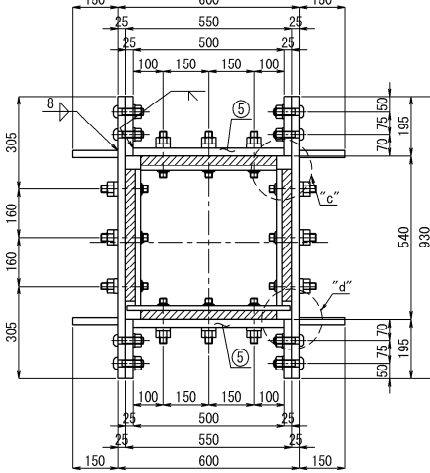
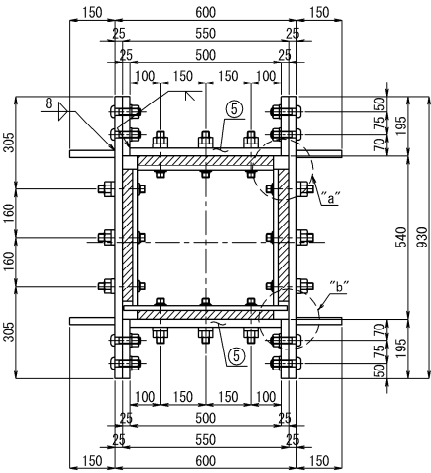
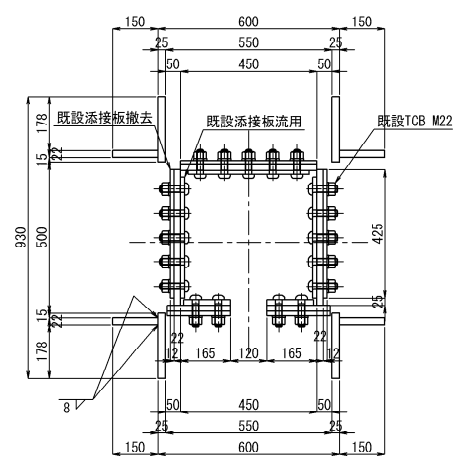
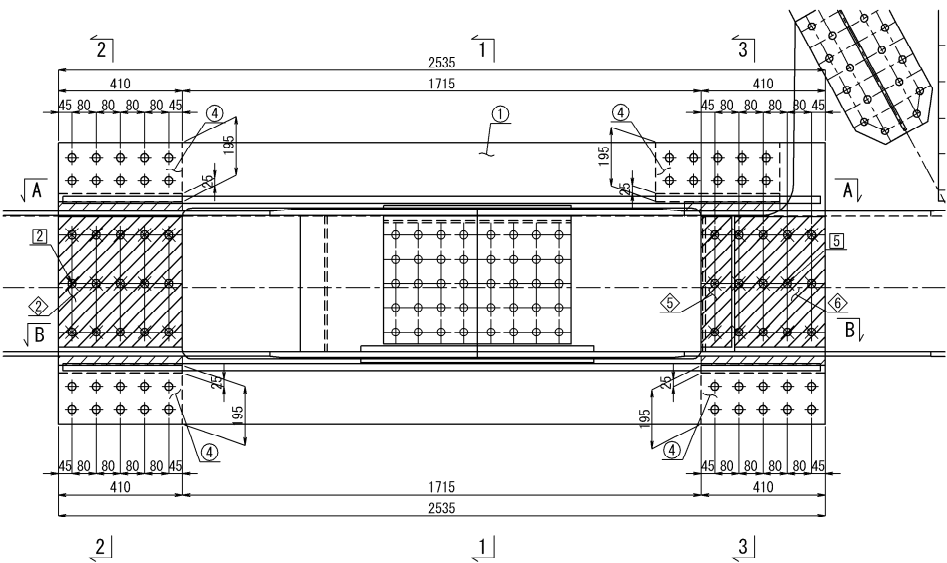
側面図
TYPE-④

断面

1-1

2-2

3-3



AT1

新設製作数量

1主構当たり数量(製作数:1基)

- ① 2-PL 930 x25 x2535
- ② 2-PL 150 x22 x2505
- ③ 2-PL 150 x22 x2505
- ④ 8-PL 195 x25 x 410
- ⑤ 4-PL 500 x25 x 410
- ⑥ 1-FILL PL 410 x31 x 450(SS400)
- ⑦ 2-FILL PL 410 x34 x 435(SS400)
- ⑧ 1-FILL PL 410 x28 x 450(SS400)
- ⑨ 1-FILL PL 410 x31 x 450(SS400)
- ⑩ 2-FILL PL 101 x28 x 435(SS400)
- ⑪ 2-FILL PL 299 x32 x 435(SS400)
- ⑫ 1-FILL PL 410 x28 x 450(SS400)

- ⑬ 15-ワンスайдボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑭ 30-ワンスайдボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑮ 15-ワンスайдボルト MUTF24-70 (SCM440)
- ⑯ 15-ワンスайдボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑰ 30-ワンスайдボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑱ 15-ワンスайдボルト MUTF24-70 (SCM440)

既設撤去数量(1基)
2-SPL PL 425 x12 x620(SM490YA)
80-TCB M22 x85(S10T)

- ① 2-PL 930 x25 x2535
- ② 2-PL 150 x22 x2505
- ③ 2-PL 150 x22 x2505
- ④ 8-PL 195 x25 x 410
- ⑤ 4-PL 500 x25 x 410
- ⑥ 1-FILL PL 410 x31 x 450(SS400)
- ⑦ 2-FILL PL 410 x34 x 435(SS400)
- ⑧ 1-FILL PL 410 x28 x 450(SS400)
- ⑨ 1-FILL PL 410 x31 x 450(SS400)
- ⑩ 2-FILL PL 101 x28 x 435(SS400)
- ⑪ 2-FILL PL 299 x32 x 435(SS400)
- ⑫ 1-FILL PL 410 x28 x 450(SS400)

既設撤去数量
1主構当たり数量(1基)
① 2-PL 930 x25 x2535
② 2-PL 150 x22 x2505
③ 2-PL 150 x22 x2505
④ 8-PL 195 x25 x 410
⑤ 4-PL 500 x25 x 410
⑥ 1-FILL PL 410 x31 x 450(SS400)
⑦ 2-FILL PL 410 x34 x 435(SS400)
⑧ 1-FILL PL 410 x28 x 450(SS400)
⑨ 1-FILL PL 410 x31 x 450(SS400)
⑩ 2-FILL PL 101 x28 x 435(SS400)
⑪ 2-FILL PL 299 x32 x 435(SS400)
⑫ 1-FILL PL 410 x28 x 450(SS400)

- ⑬ 15-ワンスайдボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑭ 30-ワンスайдボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑮ 15-ワンスайдボルト MUTF24-70 (SCM440)
- ⑯ 15-ワンスайдボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑰ 30-ワンスайдボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑱ 15-ワンスайдボルト MUTF24-70 (SCM440)

現場孔明け
1箇所当たり数量(全:1箇所)
25.5φ x 120箇所

AT2

新設製作数量

1主構当たり数量(製作数:1基)

- ★ ① 2-PL 930 x25 x2535
- ★ ② 2-PL 150 x22 x2505
- ★ ③ 2-PL 150 x22 x2505
- ★ ④ 8-PL 195 x25 x 410
- ★ ⑤ 4-PL 500 x25 x 410
- ★ ⑥ 1-FILL PL 410 x31 x 450(SS400)
- ★ ⑦ 2-FILL PL 410 x34 x 435(SS400)
- ★ ⑧ 1-FILL PL 410 x28 x 450(SS400)
- ★ ⑨ 1-FILL PL 410 x31 x 450(SS400)
- ★ ⑩ 2-FILL PL 101 x28 x 435(SS400)
- ★ ⑪ 2-FILL PL 299 x32 x 435(SS400)
- ★ ⑫ 1-FILL PL 410 x28 x 450(SS400)

- ⑬ 15-ワンスайдボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑭ 30-ワンスайдボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑮ 15-ワンスайдボルト MUTF24-70 (SCM440)
- ⑯ 15-ワンスайдボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑰ 30-ワンスайдボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑱ 15-ワンスайдボルト MUTF24-70 (SCM440)

既設撤去数量(1基)
2-SPL PL 425 x12 x620(SM490YA)
80-TCB M22 x85(S10T)

- ① 2-PL 930 x25 x2535
- ② 2-PL 150 x22 x2505
- ③ 2-PL 150 x22 x2505
- ④ 8-PL 195 x25 x 410
- ⑤ 4-PL 500 x25 x 410
- ⑥ 1-FILL PL 410 x31 x 450(SS400)
- ⑦ 2-FILL PL 410 x34 x 435(SS400)
- ⑧ 1-FILL PL 410 x28 x 450(SS400)
- ⑨ 1-FILL PL 410 x31 x 450(SS400)
- ⑩ 2-FILL PL 101 x28 x 435(SS400)
- ⑪ 2-FILL PL 299 x32 x 435(SS400)
- ⑫ 1-FILL PL 410 x28 x 450(SS400)

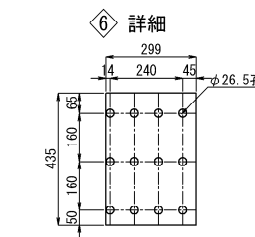
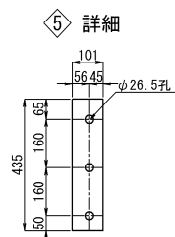
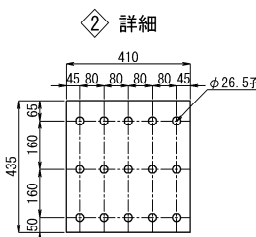
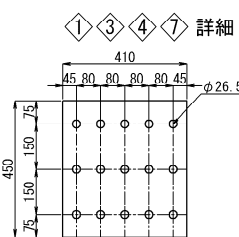
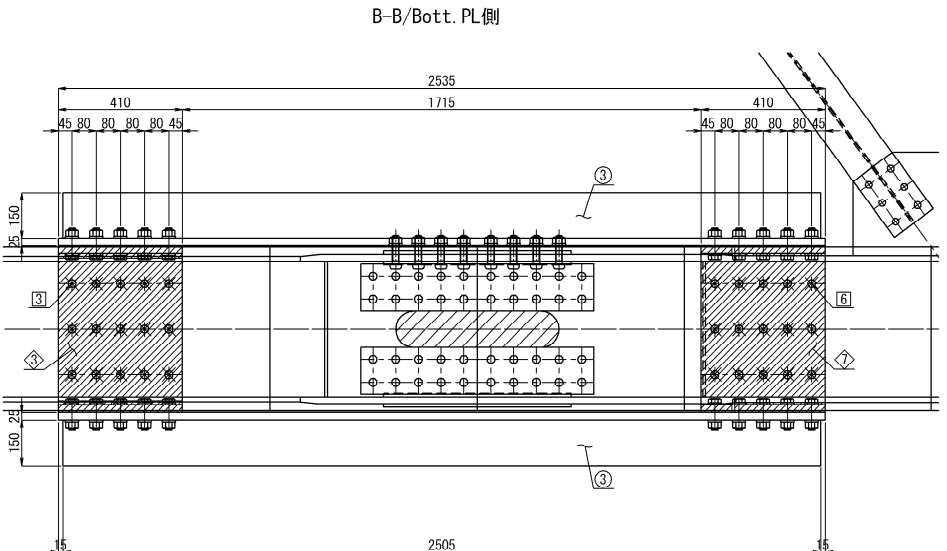
- ⑬ 15-ワンスайдボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑭ 30-ワンスайдボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑮ 15-ワンスайдボルト MUTF24-70 (SCM440)
- ⑯ 15-ワンスайдボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑰ 30-ワンスайдボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑱ 15-ワンスайдボルト MUTF24-70 (SCM440)

既設撤去数量
1主構当たり数量(1基)
① 2-PL 930 x25 x2535
② 2-PL 150 x22 x2505
③ 2-PL 150 x22 x2505
④ 8-PL 195 x25 x 410
⑤ 4-PL 500 x25 x 410
⑥ 1-FILL PL 410 x31 x 450(SS400)
⑦ 2-FILL PL 410 x34 x 435(SS400)
⑧ 1-FILL PL 410 x28 x 450(SS400)
⑨ 1-FILL PL 410 x31 x 450(SS400)
⑩ 2-FILL PL 101 x28 x 435(SS400)
⑪ 2-FILL PL 299 x32 x 435(SS400)
⑫ 1-FILL PL 410 x28 x 450(SS400)

現場孔明け
1箇所当たり数量(全:1箇所)
25.5φ x 120箇所

注記

- 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
- 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
- ★印のボルトは、TCB M22を示す。
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。
★印のボルトは、MUTF 24を示す。
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
- バイパス構造は施工後撤去する。
- 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。
- 既設下弦材の添接部について、外側の添接板だけ取替えとする。
- 影印はフィラープレートを示す。
- ★印材料はAT1の転用と示す。数量は計上しないとする。
- 撤去部材は無塗装とする。

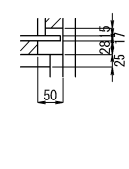
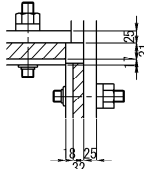
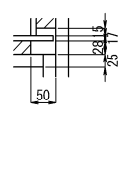
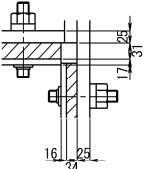


“a”部詳細 S=1:15

“b”部詳細 S=1:15

“c”部詳細 S=1:15

“d”部詳細 S=1:15



長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強)詳細図(その5)		
縮尺	図示	図面番号	427/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その6)

S=1:25

428/532

下弦材(バイパス板)

AT1<AT2>

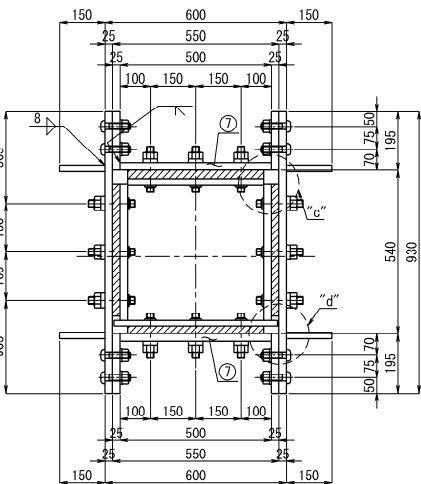
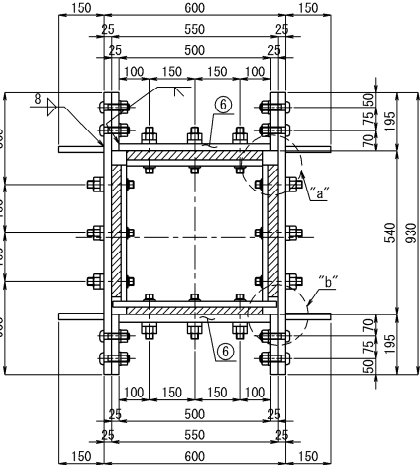
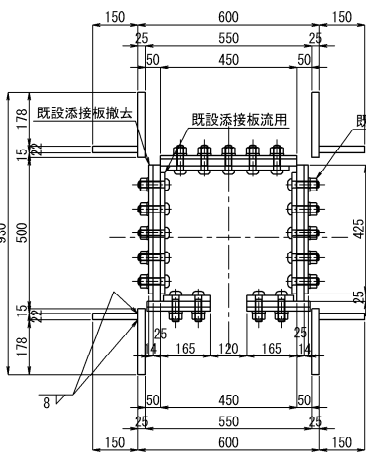
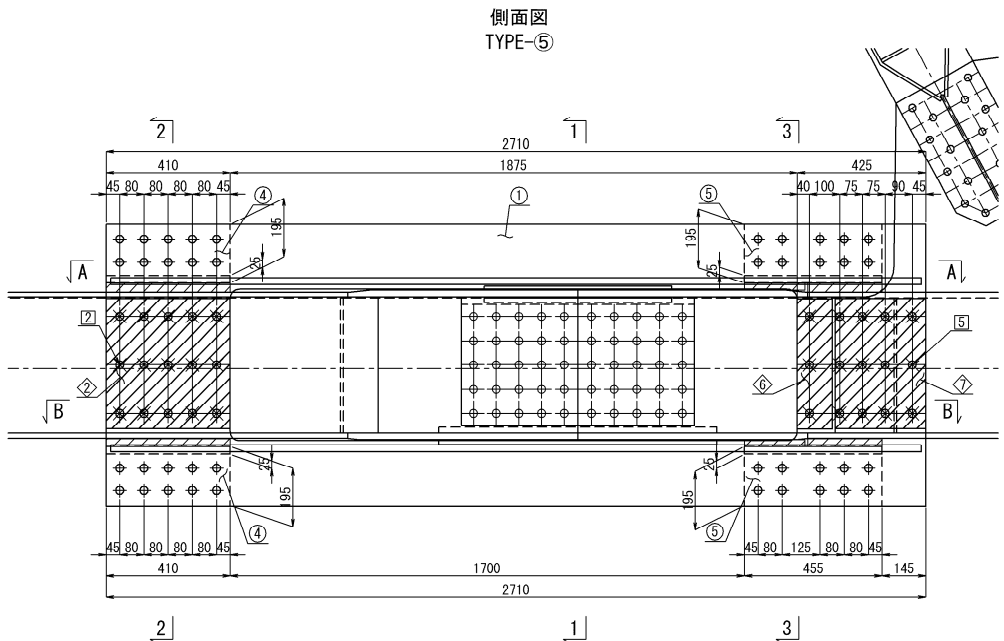
TYPE⑤

断面

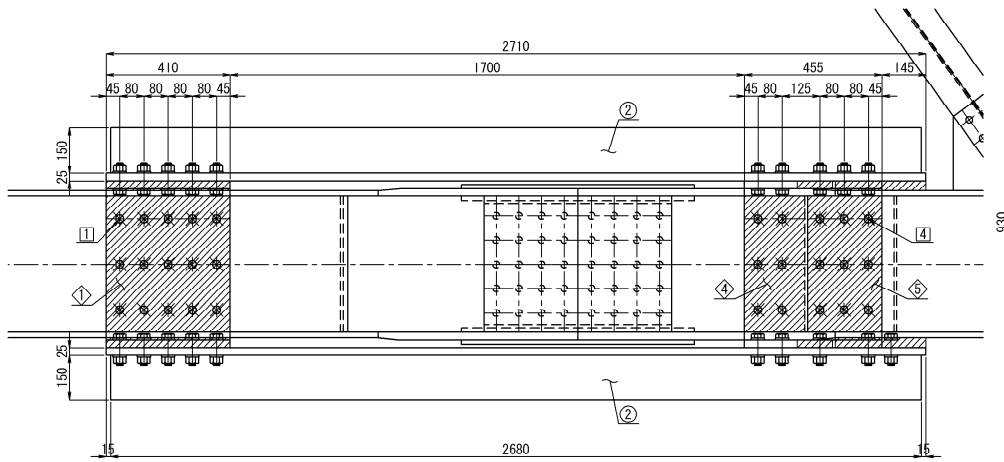
1-1

2-2

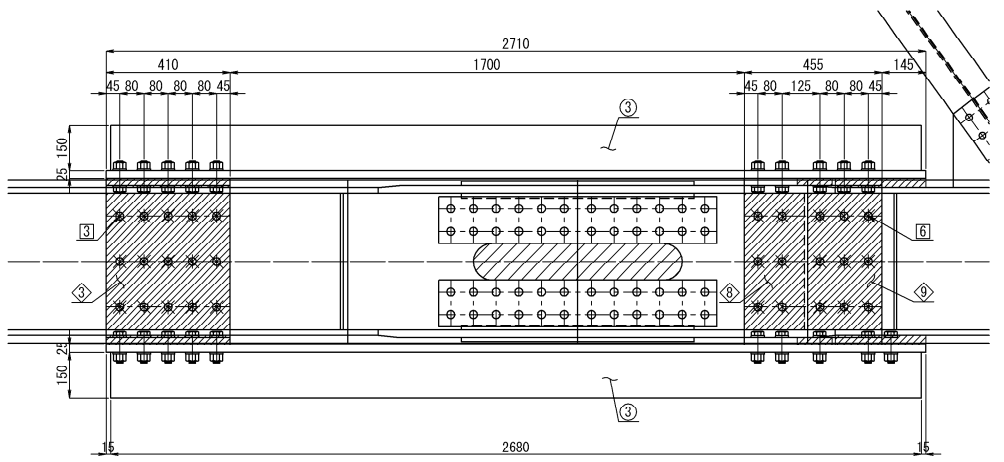
3-3



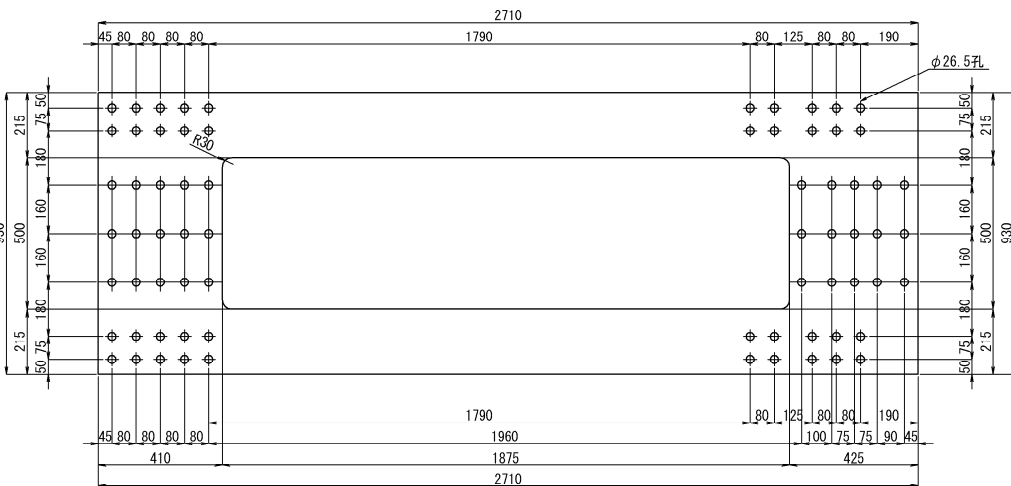
A-A/Top. PL側



B-B/Bott. PL側

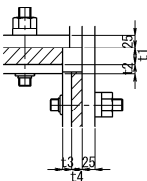


① 詳細

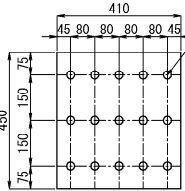


下弦材断面番号	t1	t2	t3	t4	t5	t6	t7	t8	t9	t10	t11	t12
⑭ (AT1)	30	18	18	32	18	27	30	18	18	32	18	22
⑮ (AT2)	30	18	18	32	18	27	30	18	18	32	18	22

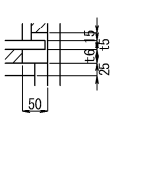
“a”部詳細 S=1:15



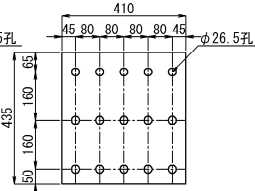
① ③ 詳細



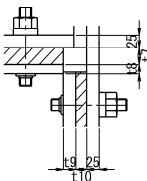
“b”部詳細 S=1:15



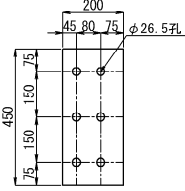
② 詳細



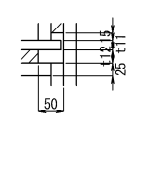
“c”部詳細 S=1:15



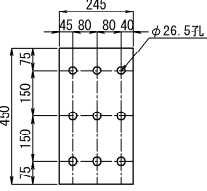
④ ⑧ 詳細



“d”部詳細 S=1:15



⑤ ⑨ 詳細



⑭ (AT1)

新設製作数量
1主構当たり数量(製作数:1基)

- ① 2-PL 930 x25 x2710
- ② 2-PL 150 x22 x2680
- ③ 2-PL 150 x22 x2680
- ④ 4-PL 195 x25 x410
- ⑤ 4-PL 195 x25 x455
- ⑥ 2-PL 500 x25 x410
- ⑦ 2-PL 500 x25 x455
- ⑧ 1-FILL PL 410 x30 x450 (SS400)
- ⑨ 2-FILL PL 410 x32 x435 (SS400)
- ⑩ 1-FILL PL 410 x27 x450 (SS400)
- ⑪ 1-FILL PL 200 x23 x450 (SS400)
- ⑫ 1-FILL PL 245 x30 x450 (SS400)
- ⑬ 2-FILL PL 115 x25 x435 (SS400)
- ⑭ 2-FILL PL 300 x32 x435 (SS400)
- ⑮ 1-FILL PL 200 x23 x450 (SS400)
- ⑯ 1-FILL PL 245 x27 x450 (SS400)
- ⑰ 15-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑱ 30-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑲ 15-ワンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)
- ⑳ 15-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ㉑ 30-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ㉒ 15-ワンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)
- ㉓ 80-TCB M22 x85 (S10T)

既設撤去数量(1基)

- 2-SPL PL 425 x14 x770 (SM490YA)
- 100-TCB M22 x90 (S10T)

新設撤去数量

1主構当たり数量(1基)

- ① 2-PL 930 x25 x2710
- ② 2-PL 150 x22 x2680
- ③ 2-PL 150 x22 x2680
- ④ 4-PL 195 x25 x410
- ⑤ 4-PL 195 x25 x455
- ⑥ 2-PL 500 x25 x410
- ⑦ 2-PL 500 x25 x455
- ⑧ 1-FILL PL 410 x30 x450 (SS400)
- ⑨ 2-FILL PL 410 x32 x435 (SS400)
- ⑩ 1-FILL PL 410 x27 x450 (SS400)
- ⑪ 1-FILL PL 200 x23 x450 (SS400)
- ⑫ 1-FILL PL 245 x30 x450 (SS400)
- ⑬ 2-FILL PL 115 x25 x435 (SS400)
- ⑭ 2-FILL PL 300 x32 x435 (SS400)
- ⑮ 1-FILL PL 200 x23 x450 (SS400)
- ⑯ 1-FILL PL 245 x27 x450 (SS400)
- ⑰ 15-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑱ 30-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑲ 15-ワンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)
- ⑳ 15-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ㉑ 30-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ㉒ 15-ワンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)
- ㉓ 80-TCB M22 x85 (S10T)

現場孔明け工

1箇所当たり数量(全:1箇所)

25.5φ x 120箇所

⑮ (AT2)

新設製作数量
1主構当たり数量(製作数:1基)

- ★ ① 2-PL 930 x25 x2710
- ★ ② 2-PL 150 x22 x2680
- ★ ③ 2-PL 150 x22 x2680
- ★ ④ 4-PL 195 x25 x410
- ★ ⑤ 4-PL 195 x25 x455
- ★ ⑥ 2-PL 500 x25 x410
- ★ ⑦ 2-PL 500 x25 x455
- ★ ⑧ 1-FILL PL 410 x30 x450 (SS400)
- ★ ⑨ 2-FILL PL 410 x32 x435 (SS400)
- ★ ⑩ 1-FILL PL 410 x27 x450 (SS400)
- ★ ⑪ 1-FILL PL 200 x23 x450 (SS400)
- ★ ⑫ 1-FILL PL 245 x30 x450 (SS400)
- ★ ⑬ 2-FILL PL 115 x25 x435 (SS400)
- ★ ⑭ 2-FILL PL 300 x32 x435 (SS400)
- ★ ⑮ 1-FILL PL 200 x23 x450 (SS400)
- ★ ⑯ 1-FILL PL 245 x27 x450 (SS400)
- ★ ⑰ 15-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ★ ⑱ 30-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ★ ⑲ 15-ワンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)
- ★ ⑳ 15-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ★ ㉑ 30-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ★ ㉒ 15-ワンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)
- ★ ㉓ 80-TCB M22 x85 (S10T)

既設撤去数量(1基)

- 2-SPL PL 425 x14 x770 (SM490YA)
- 100-TCB M22 x90 (S10T)

新設撤去数量

1主構当たり数量(1基)

- ① 2-PL 930 x25 x2710
- ② 2-PL 150 x22 x2680
- ③ 2-PL 150 x22 x2680
- ④ 4-PL 195 x25 x410
- ⑤ 4-PL 195 x25 x455
- ⑥ 2-PL 500 x25 x410
- ⑦ 2-PL 500 x25 x455
- ⑧ 1-FILL PL 410 x30 x450 (SS400)
- ⑨ 2-FILL PL 410 x32 x435 (SS400)
- ⑩ 1-FILL PL 410 x27 x450 (SS400)
- ⑪ 1-FILL PL 200 x23 x450 (SS400)
- ⑫ 1-FILL PL 245 x30 x450 (SS400)
- ⑬ 2-FILL PL 115 x25 x435 (SS400)
- ⑭ 2-FILL PL 300 x32 x435 (SS400)
- ⑮ 1-FILL PL 200 x23 x450 (SS400)
- ⑯ 1-FILL PL 245 x27 x450 (SS400)
- ⑰ 15-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑱ 30-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑲ 15-ワンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)
- ⑳ 15-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ㉑ 30-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ㉒ 15-ワンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)
- ㉓ 80-TCB M22 x85 (S10T)

現場孔明け工

1箇所当たり数量(全:1箇所)

25.5φ x 120箇所

注記

- 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造物寸法を再確認すること。
- 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
- φ印のボルトは、TCB M22を示す。
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。
- ★印のボルトは、MUTF 24を示す。
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
- バイパス構造物は施工後撤去する。
- 撤去部材は無塗装とする。
- 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。
- 7/8印はフィラープレートを示す。
- ★印材料はAT1の転用と示す。数量は計上しないとする。
- 撤去部材は無塗装とする。

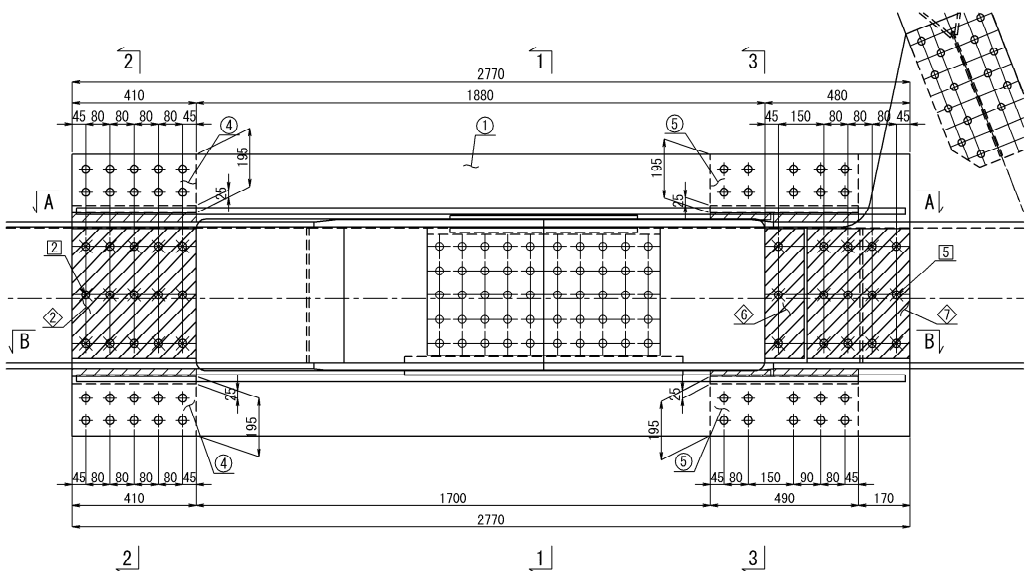
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強)詳細図(その6)		
縮 尺	図示	図面番号	428/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

下弦材(バイパス板)

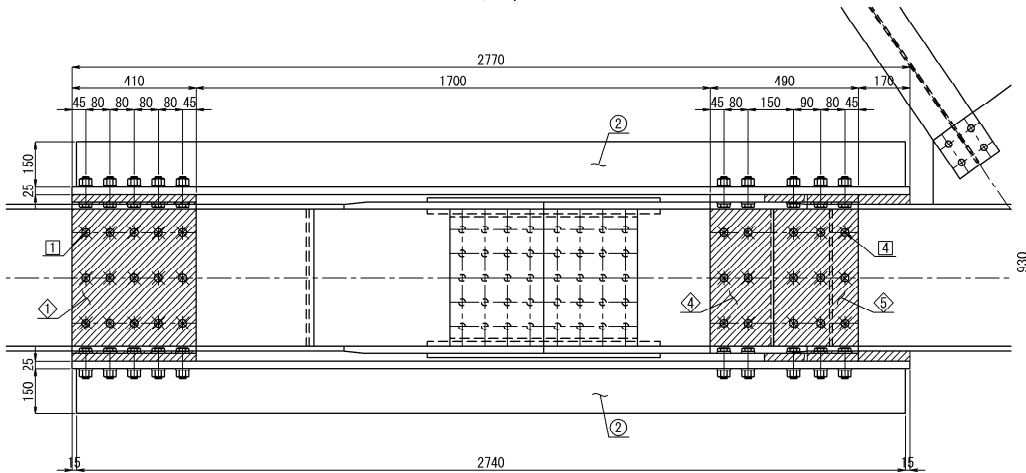
AT1<AT2>

TYPE⑥

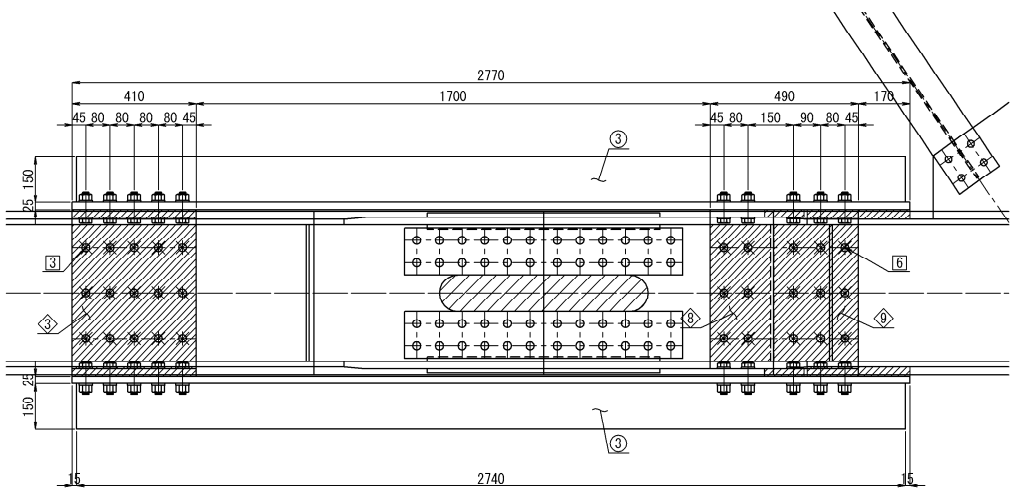
側面図
TYPE-⑥



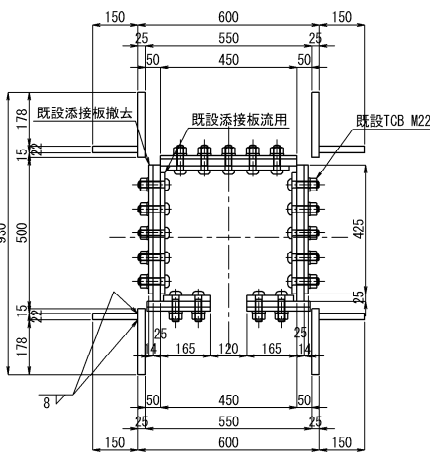
A-A/Top. PL側



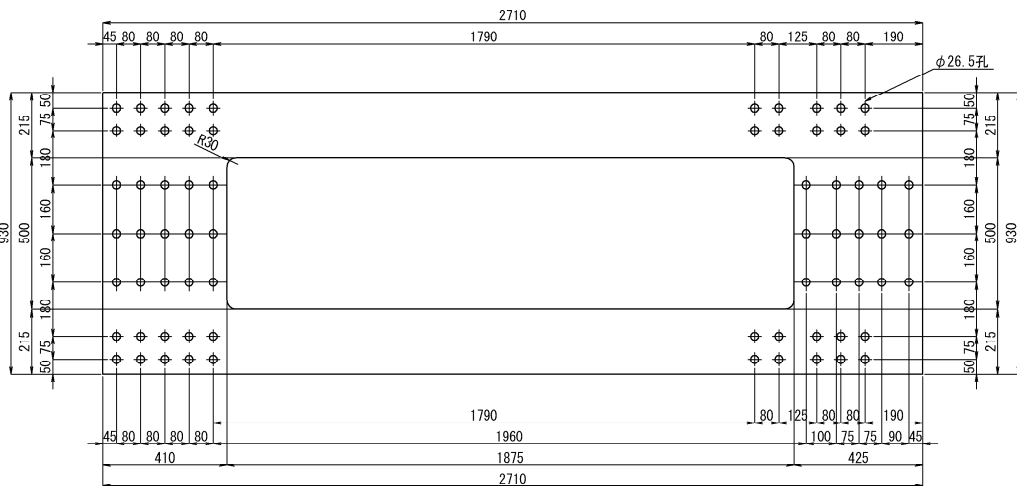
B-B/Bott. PL側



1-1

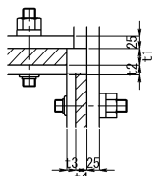


① 詳細

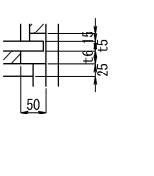


下弦材断面番号	t1	t2	t3	t4	t5	t6	t7	t8	t9	t10	t11	t12
⑬(AT1)	29	19	18	32	19	26	29	19	18	32	18	22
⑭(AT2)	30	18	18	32	18	27	30	18	18	32	18	23

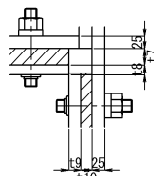
"a"部詳細 S=1:15



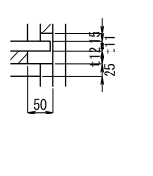
"b"部詳細 S=1:15



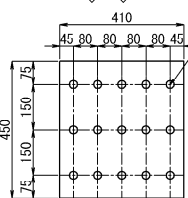
"c"部詳細 S=1:15



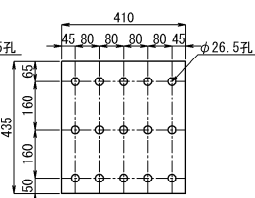
"d"部詳細 S=1:15



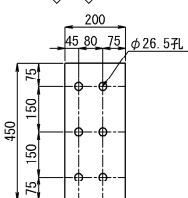
①③ 詳細



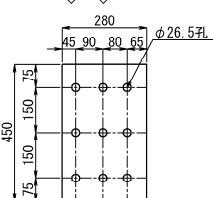
② 詳細



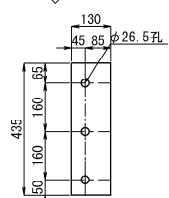
④⑧ 詳細



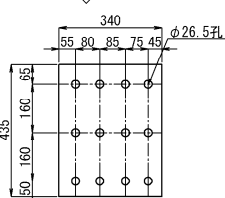
⑤⑨ 詳細



⑥ 詳細

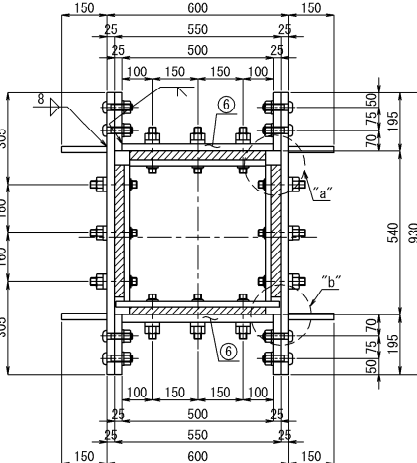


⑦ 詳細

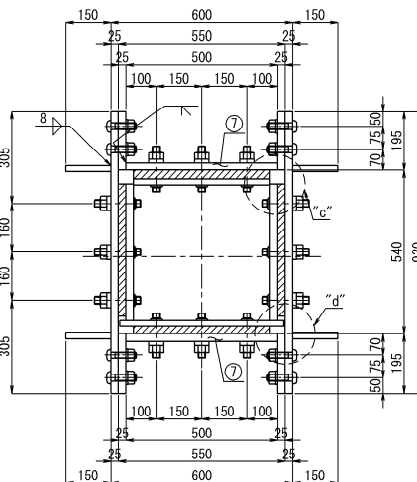


断面

2-2



3-3



⑮(AT1)

新設製作数量

1主構当たり数量(製作数:1基)

- ① 2-PL 930 x25 x2770
- ② 2-PL 150 x22 x2740
- ③ 2-PL 150 x22 x2740
- ④ 4-PL 195 x25 x410
- ⑤ 4-PL 195 x25 x490
- ⑥ 2-PL 500 x25 x410
- ⑦ 2-PL 500 x25 x490
- ⑧ 1-FILL PL 410 x29 x450 (SS400)
- ⑨ 2-FILL PL 410 x32 x435 (SS400)
- ⑩ 1-FILL PL 410 x26 x450 (SS400)
- ⑪ 1-FILL PL 200 x22 x450 (SS400)
- ⑫ 1-FILL PL 280 x29 x450 (SS400)
- ⑬ 2-FILL PL 130 x25 x435 (SS400)
- ⑭ 2-FILL PL 340 x32 x435 (SS400)
- ⑮ 1-FILL PL 200 x22 x450 (SS400)
- ⑯ 1-FILL PL 280 x26 x450 (SS400)
- ⑰ 15-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑱ 30-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑲ 15-ワンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)
- ⑳ 15-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ㉑ 30-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ㉒ 15-ワンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)
- ㉓ 80-TCB M22 x85 (S10T)

既設撤去数量(1基)

2-SPL PL 425 x14 x770 (SM490YA)

100-TCB M22 x90 (S10T)

新設撤去数量

1主構当たり数量(1基)

- ① 2-PL 930 x25 x2770
- ② 2-PL 150 x22 x2740
- ③ 2-PL 150 x22 x2740
- ④ 4-PL 195 x25 x410
- ⑤ 4-PL 195 x25 x490
- ⑥ 2-PL 500 x25 x410
- ⑦ 2-PL 500 x25 x490
- ⑧ 1-FILL PL 410 x29 x450 (SS400)
- ⑨ 2-FILL PL 410 x32 x435 (SS400)
- ⑩ 1-FILL PL 410 x26 x450 (SS400)
- ⑪ 1-FILL PL 200 x22 x450 (SS400)
- ⑫ 1-FILL PL 280 x29 x450 (SS400)
- ⑬ 2-FILL PL 130 x25 x435 (SS400)
- ⑭ 2-FILL PL 340 x32 x435 (SS400)
- ⑮ 1-FILL PL 200 x22 x450 (SS400)
- ⑯ 1-FILL PL 280 x26 x450 (SS400)
- ⑰ 15-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑱ 30-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑲ 15-ワンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)
- ⑳ 15-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ㉑ 30-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ㉒ 15-ワンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)
- ㉓ 80-TCB M22 x85 (S10T)

現場孔明け工

1箇所当たり数量(全:1箇所)

25.5φ x 120箇所

⑬(AT2)

新設製作数量

1主構当たり数量(製作数:1基)

- ★① 2-PL 930 x25 x2770
- ★② 2-PL 150 x22 x2740
- ★③ 2-PL 150 x22 x2740
- ★④ 4-PL 195 x25 x410
- ★⑤ 4-PL 195 x25 x490
- ★⑥ 2-PL 500 x25 x410
- ★⑦ 2-PL 500 x25 x490
- ★⑧ 1-FILL PL 410 x30 x450 (SS400)
- ★⑨ 2-FILL PL 410 x32 x435 (SS400)
- ★⑩ 1-FILL PL 410 x27 x450 (SS400)
- ★⑪ 1-FILL PL 200 x23 x450 (SS400)
- ★⑫ 1-FILL PL 280 x30 x450 (SS400)
- ★⑬ 2-FILL PL 130 x25 x435 (SS400)
- ★⑭ 2-FILL PL 340 x32 x435 (SS400)
- ★⑮ 1-FILL PL 200 x23 x450 (SS400)
- ★⑯ 1-FILL PL 280 x27 x450 (SS400)
- ⑰ 15-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑱ 30-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑲ 15-ワンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)
- ⑳ 15-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ㉑ 30-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ㉒ 15-ワンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)
- ㉓ 80-TCB M22 x85 (S10T)

既設撤去数量(1基)

2-SPL PL 425 x14 x770 (SM490YA)

100-TCB M22 x90 (S10T)

新設撤去数量

1主構当たり数量(1基)

- ① 2-PL 930 x25 x2770
- ② 2-PL 150 x22 x2740
- ③ 2-PL 150 x22 x2740
- ④ 4-PL 195 x25 x410
- ⑤ 4-PL 195 x25 x490
- ⑥ 2-PL 500 x25 x410
- ⑦ 2-PL 500 x25 x490
- ⑧ 1-FILL PL 410 x30 x450 (SS400)
- ⑨ 2-FILL PL 410 x32 x435 (SS400)
- ⑩ 1-FILL PL 410 x27 x450 (SS400)
- ⑪ 1-FILL PL 200 x23 x450 (SS400)
- ⑫ 1-FILL PL 280 x30 x450 (SS400)
- ⑬ 2-FILL PL 130 x25 x435 (SS400)
- ⑭ 2-FILL PL 340 x32 x435 (SS400)
- ⑮ 1-FILL PL 200 x23 x450 (SS400)
- ⑯ 1-FILL PL 280 x27 x450 (SS400)
- ⑰ 15-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑱ 30-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑲ 15-ワンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)
- ⑳ 15-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ㉑ 30-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ㉒ 15-ワンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)
- ㉓ 80-TCB M22 x85 (S10T)

現場孔明け工

1箇所当たり数量(全:1箇所)

25.5φ x 120箇所

注記

- 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造物を再確認すること。
- 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
- ※印のボルトは、TCB M22を示す。
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。
- ※印のボルトは、MUTF 24を示す。
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
- バイパス構造物は施工後撤去する。
- 撤去部材は無塗装とする。
- 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。
- 7/8印はフィラープレートを示す。
- ★印材料はAT1の転用と示す。数量は計上しないとする。
9. 撤去部材は無塗装とする。

図面の種類	長野自動車道		
	五常橋床版取替工事		
	滝ノ沢橋(上り線)		
縮尺	構造物補強工(当て板補強)詳細図(その7)		
	図示	図面番号	429/532
	設計会社名		
施工会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
	事務所名		
	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その8)

S=1:25

下弦材(バイパス板)

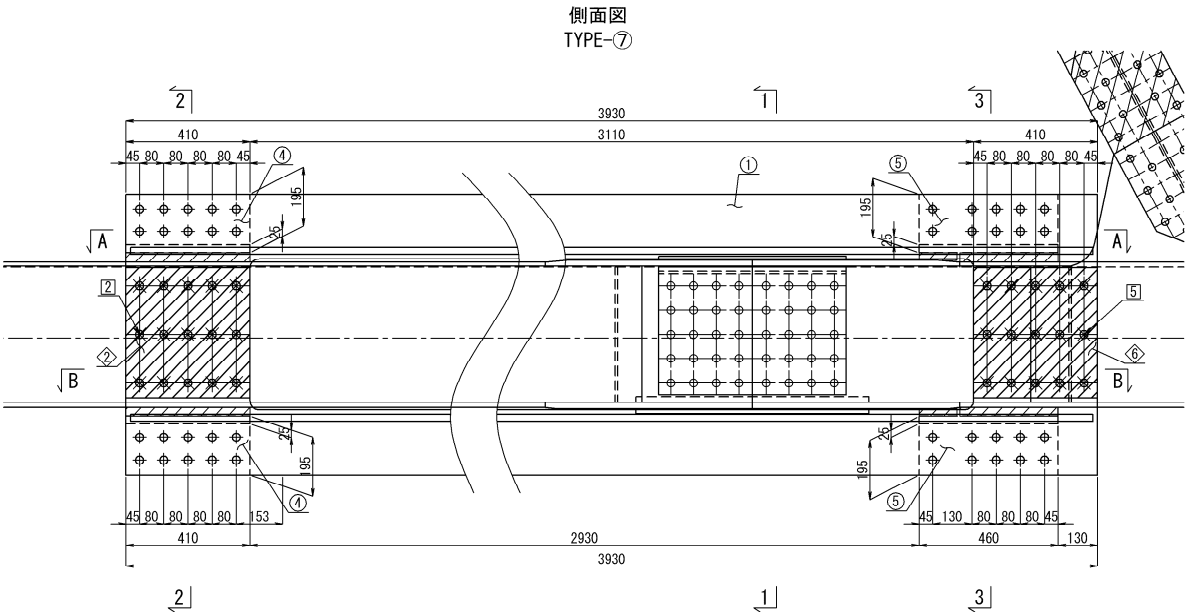
AT1<AT2>

TYPE⑦

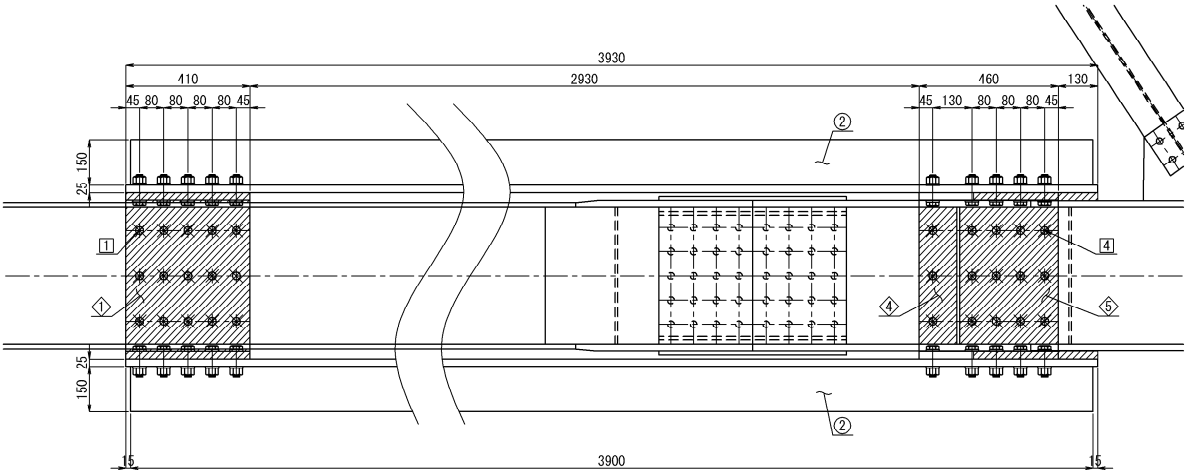
断面

2-2

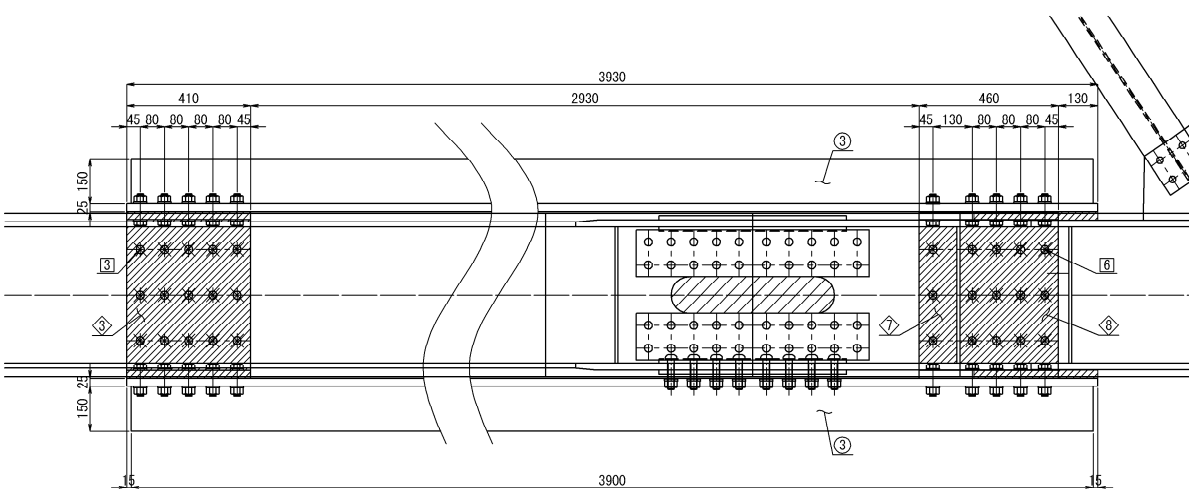
3-3



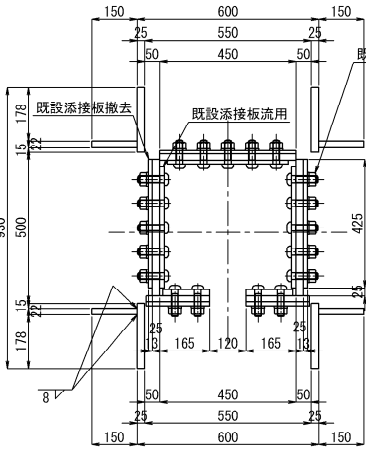
A-A/Top. PL側



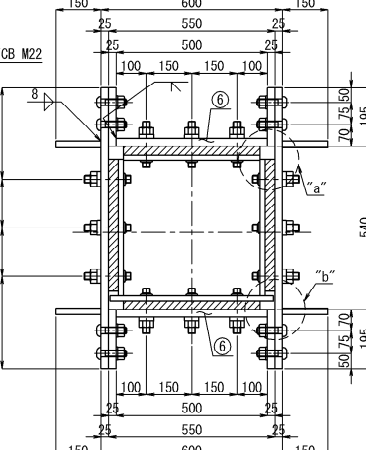
B-B/Bott. PL側



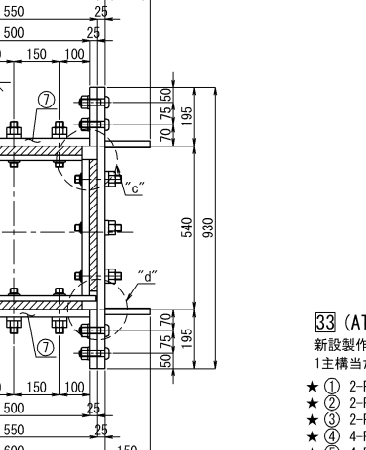
1-1



2-2



3-3



①⑥ (AT1)

新設製作数量

1主構当たり数量(製作数:1基)

- ① 2-PL 930 x25 x3930
- ② 2-PL 150 x22 x3900
- ③ 2-PL 150 x22 x3900
- ④ 4-PL 195 x25 x410
- ⑤ 4-PL 195 x25 x460
- ⑥ 2-PL 500 x25 x410
- ⑦ 2-PL 500 x25 x460
- ⑧ 1-FILL PL 410 x31 x450 (SS400)
- ⑨ 2-FILL PL 410 x33 x435 (SS400)
- ⑩ 1-FILL PL 410 x28 x450 (SS400)
- ⑪ 1-FILL PL 125 x24 x450 (SS400)
- ⑫ 1-FILL PL 325 x31 x450 (SS400)
- ⑬ 2-FILL PL 410 x27 x435 (SS400)
- ⑭ 1-FILL PL 125 x24 x450 (SS400)
- ⑮ 1-FILL PL 325 x28 x450 (SS400)
- ⑯ 15-フンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑰ 30-フンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑱ 15-フンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑲ 30-フンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑳ 15-フンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ㉑ 80-TCB M22 x85 (S10T)
- ㉒ 2-SPL PL 425 x13 x620 (SM490YA)
- ㉓ 80-TCB M22 x85 (S10T)

既設撤去数量

1主構当たり数量(1基)

- ① 2-PL 930 x25 x3930
- ② 2-PL 150 x22 x3900
- ③ 2-PL 150 x22 x3900
- ④ 4-PL 195 x25 x410
- ⑤ 4-PL 195 x25 x460
- ⑥ 2-PL 500 x25 x410
- ⑦ 2-PL 500 x25 x460
- ⑧ 1-FILL PL 410 x31 x450 (SS400)
- ⑨ 2-FILL PL 410 x33 x435 (SS400)
- ⑩ 1-FILL PL 410 x28 x450 (SS400)
- ⑪ 1-FILL PL 125 x24 x450 (SS400)
- ⑫ 1-FILL PL 325 x31 x450 (SS400)
- ⑬ 2-FILL PL 410 x27 x435 (SS400)
- ⑭ 1-FILL PL 125 x24 x450 (SS400)
- ⑮ 1-FILL PL 325 x28 x450 (SS400)
- ⑯ 15-フンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑰ 30-フンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑱ 15-フンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑲ 30-フンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑳ 15-フンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ㉑ 80-TCB M22 x85 (S10T)
- ㉒ 2-SPL PL 425 x13 x620 (SM490YA)
- ㉓ 80-TCB M22 x85 (S10T)

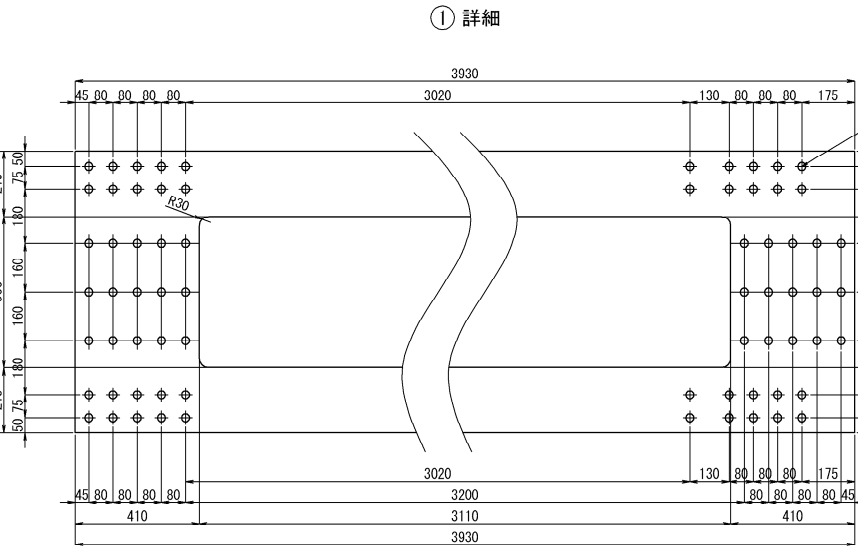
現場孔明け工

1箇所当たり数量(全:1箇所)

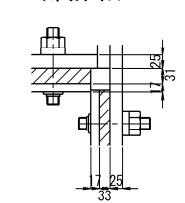
25.5φ x 120箇所

注記

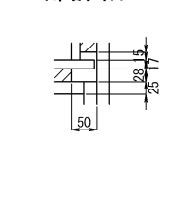
- 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
- 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
- ◆印のボルトは、TCB M22を示す。
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。
- ※印のボルトは、MUTF 24を示す。
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
- 撤去部材は無塗装とする。
- 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。
- 斜線印はフィラープレートを示す。
- ★印材料はAT1の転用と示す。数量は計上しないとする。
- 撤去部材は無塗装とする。



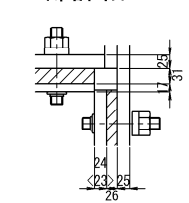
“a”部詳細 S=1:15



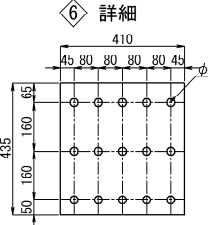
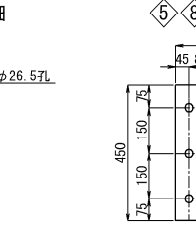
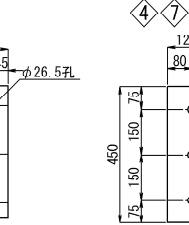
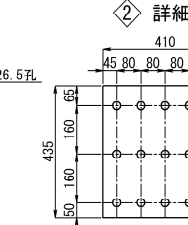
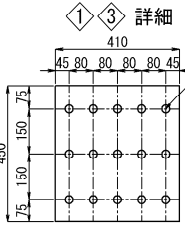
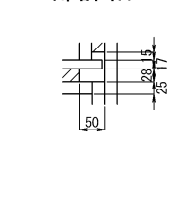
“b”部詳細 S=1:15



“c”部詳細 S=1:15



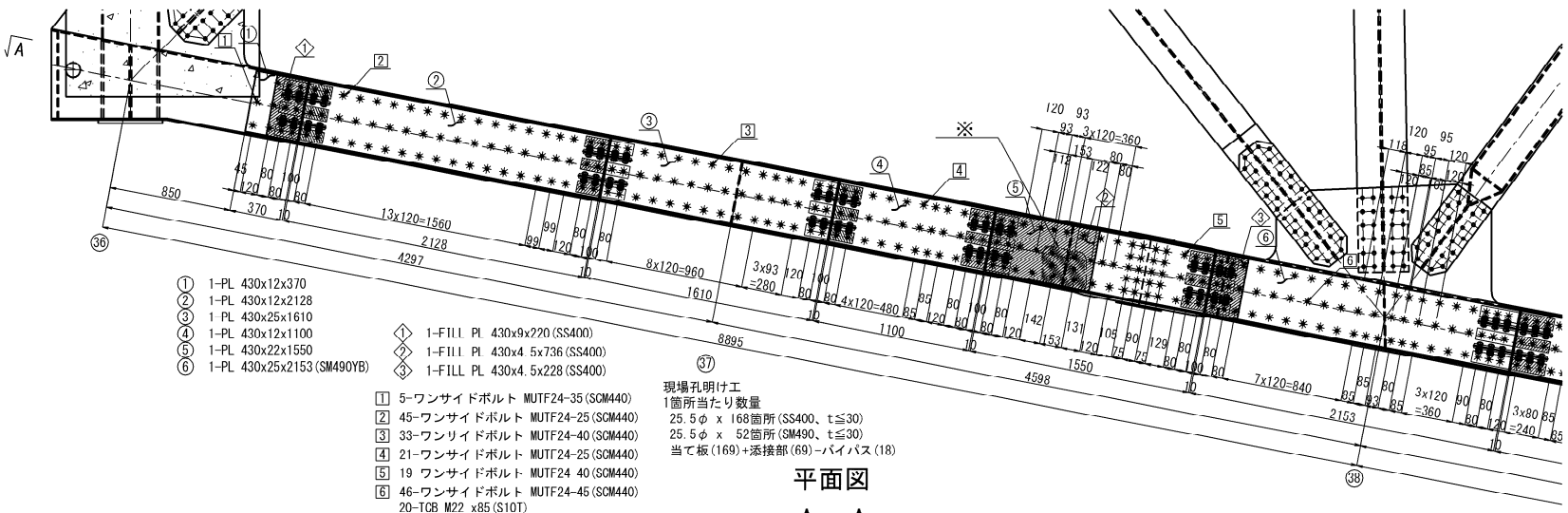
“d”部詳細 S=1:15



図面の種類	長野自動車道		
	五常橋床版取替工事		
	滝ノ沢橋(上り線)		
縮尺	構造物補強工(当て板補強)詳細図(その8)		
	図示		
	図面番号		
設計会社名	430/532		
	八千代エンジニアリング株式会社		
	施工会社名		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
	長野工事事務所		

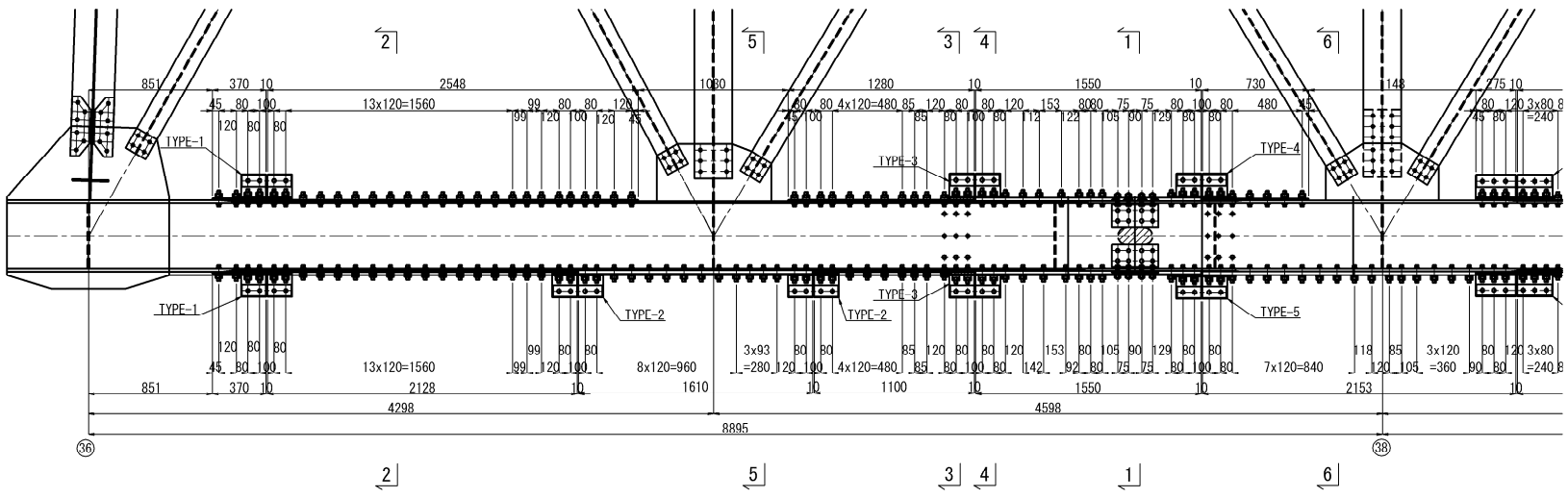
下弦材 ①
AT1

側面図(桁外側)

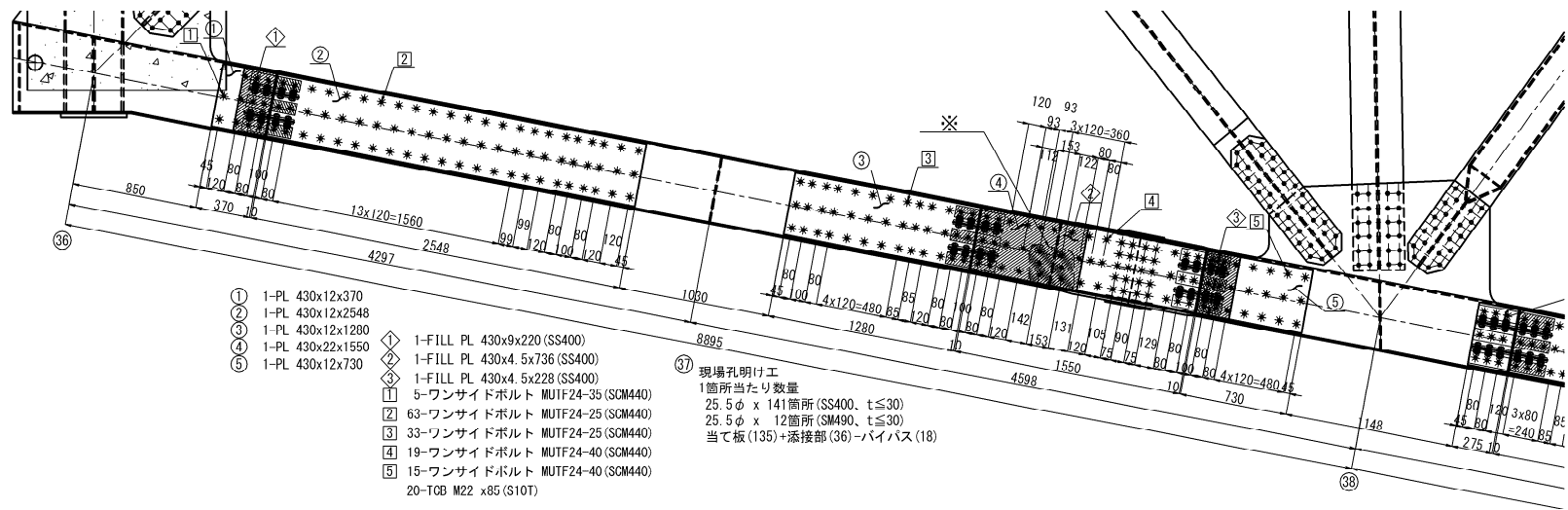


平面図

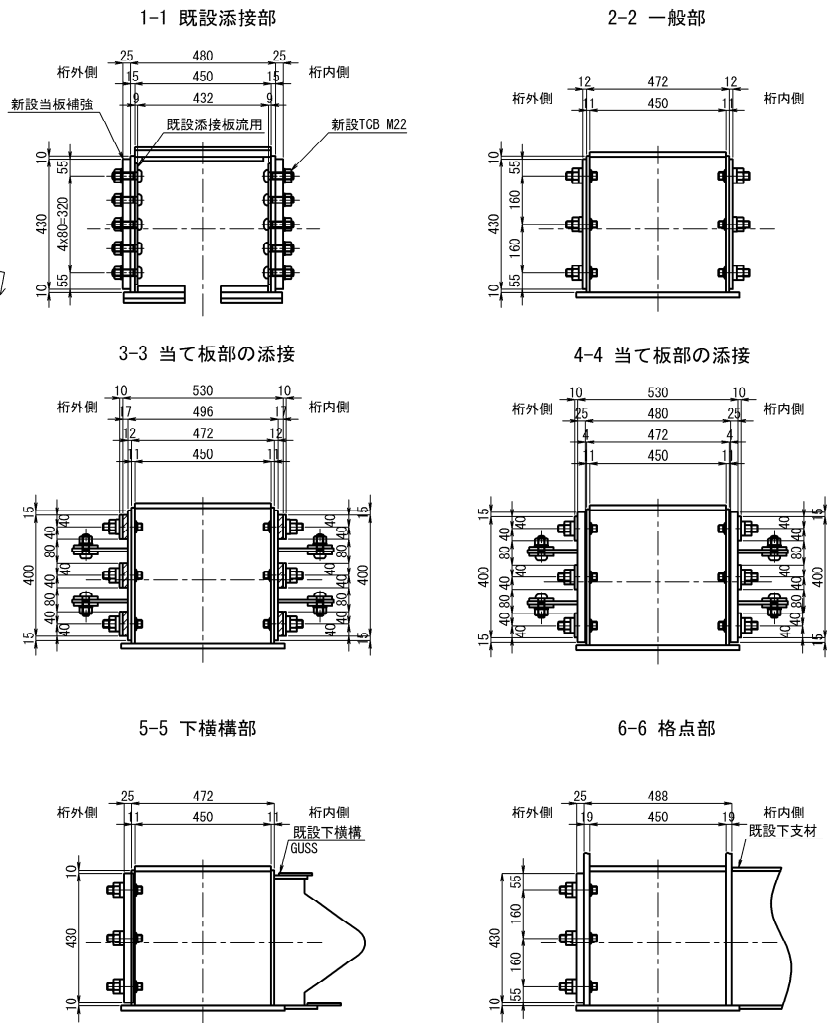
A-A



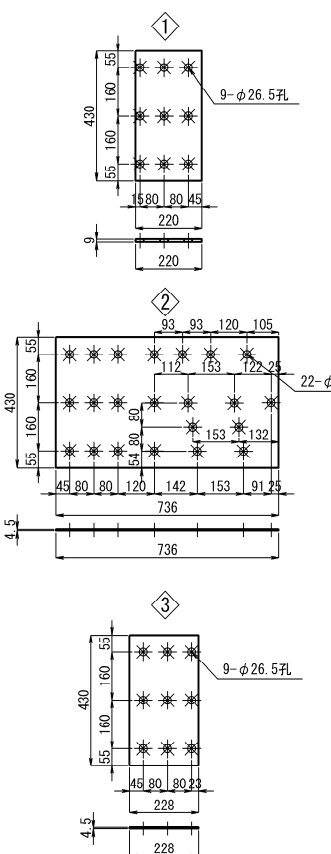
側面図(桁内側)



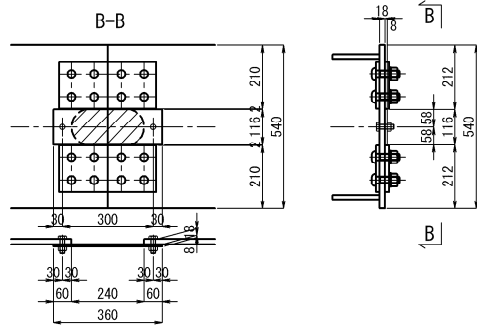
断面図 S=1:25



FILL PL詳細 S=1:25



ハンドホール詳細 S=1:25



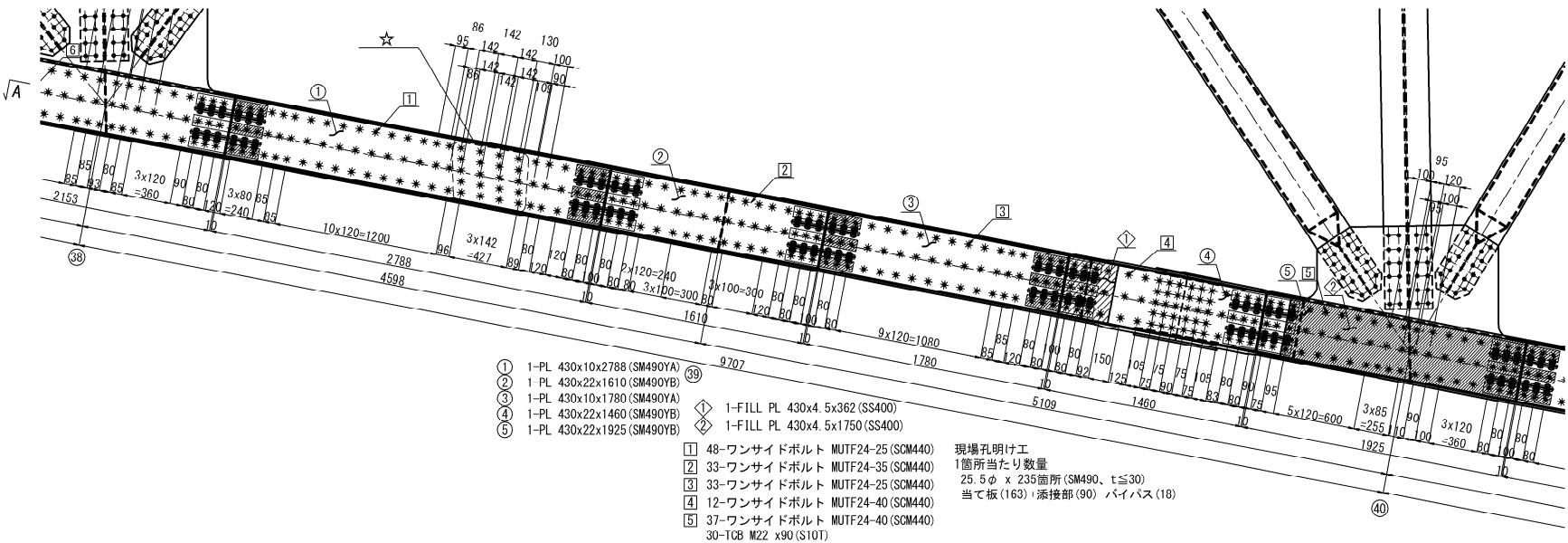
注記
1 本図面は完成図を基に作成しているため、
現地にて寸法を確認した上で施工を行うこと。
2 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
3 ※印のボルトは、TGB M22を示す
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。
※印のボルトは、MUTF 24を示す
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
4 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。
5 ※印はフィラープレートを示す。
6 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。
7 ※印部材は、「滝ノ沢橋(上り線) A1橋台 制震構造
詳細図(その2)」を参照すること。
8 添接部詳細は、「滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工
(当て板補強) 詳細図(その35)~(その40)」を
参照すること。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その9)		
縮 尺	図示	図面番号	431/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その10) S=1:50

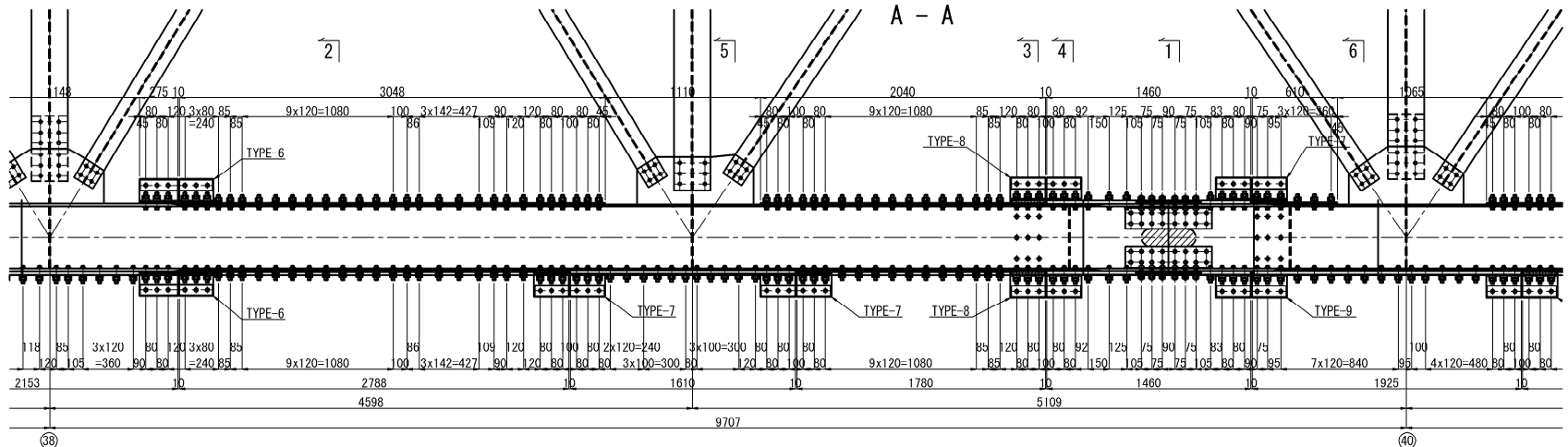
下弦材
AT1

側面図(桁外側)

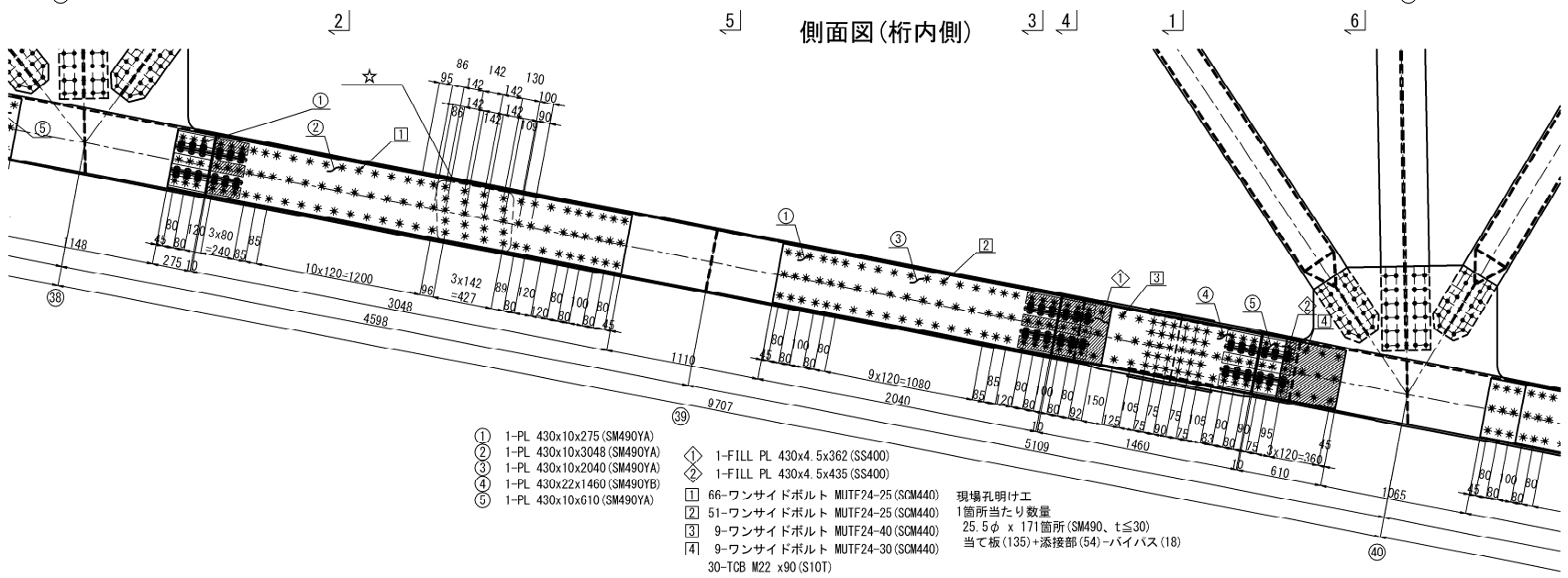


平面図

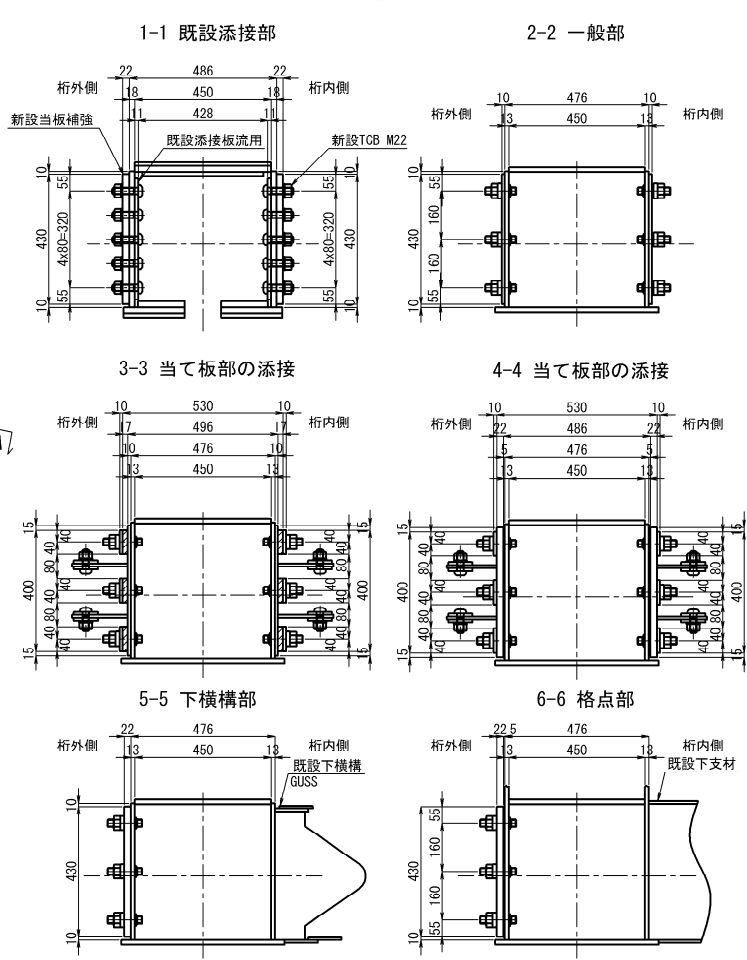
A - A



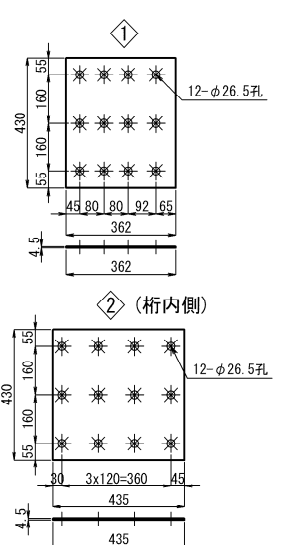
側面図(桁内側)



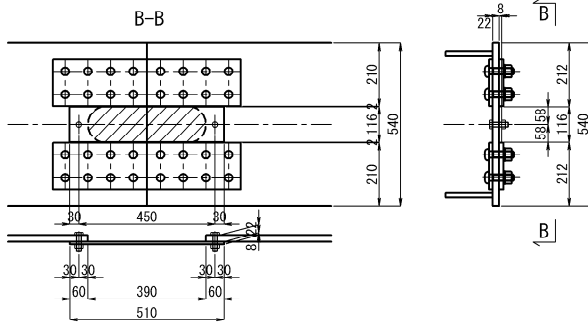
断面図 S=1:25



FILL PL詳細 S=1:25

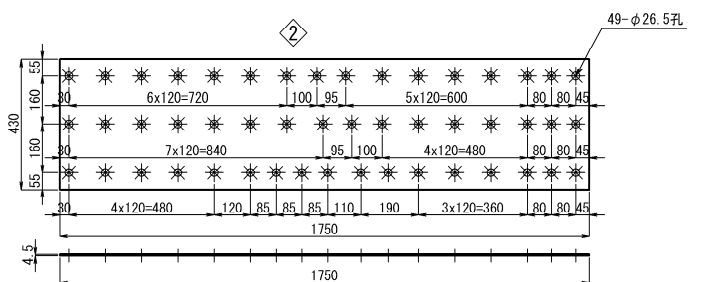


ハンドホール詳細 S=1:25



1主構当たり数量(製作数:1基)
1-Cov PL 116 x 8 x 510 (SS400)
2-BN M16 x 60 (SS400) (1種1座金)
既設撤去数量(1基)
1-Cov PL 116 x 8 x 510 (SS400)
2-BN M16 x 60 (SS400) (1種1座金)

FILL PL詳細 S=1:25



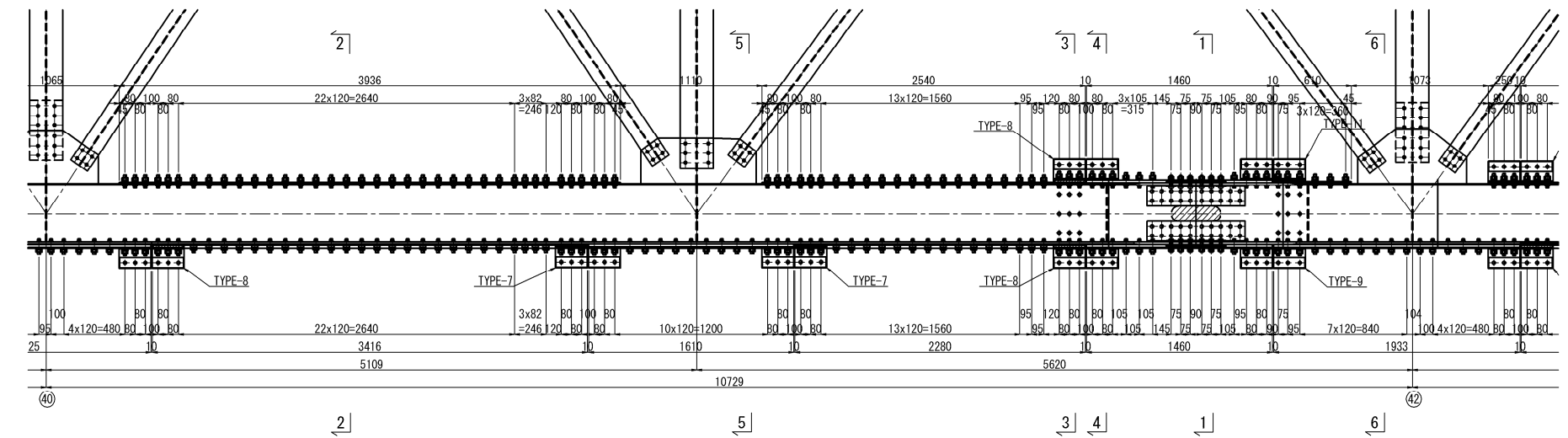
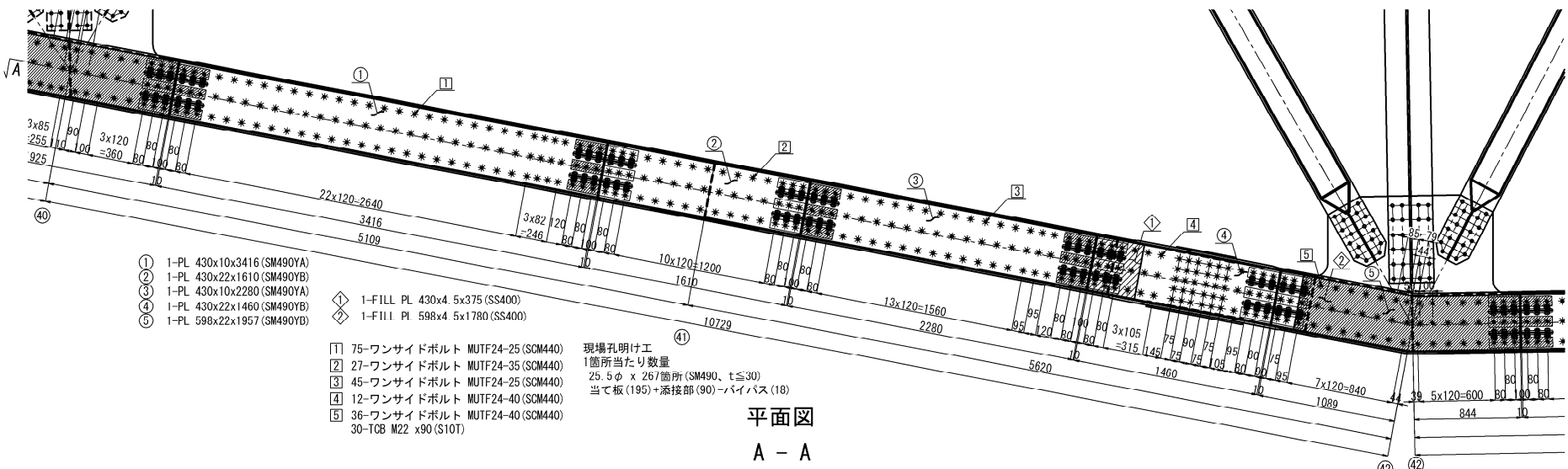
注記
1. 本図面は完成図を基に作成しているため、現地で寸法を確認した上で施工を行うこと。
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
3. ※印のボルトは、TGB M22を示す
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。
※印のボルトは、MUTF 24を示す
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
4. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。
5. 印はフィラープレートを示す。
6. 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。
7. ☆印部材は、「滝ノ沢橋(上り線) A1橋台 制震構造 詳細図(その3)」を参照すること。
8. 添接部詳細は、「滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その35)~(その40)」を参照すること。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その10)		
縮 尺	図示	図面番号	432/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

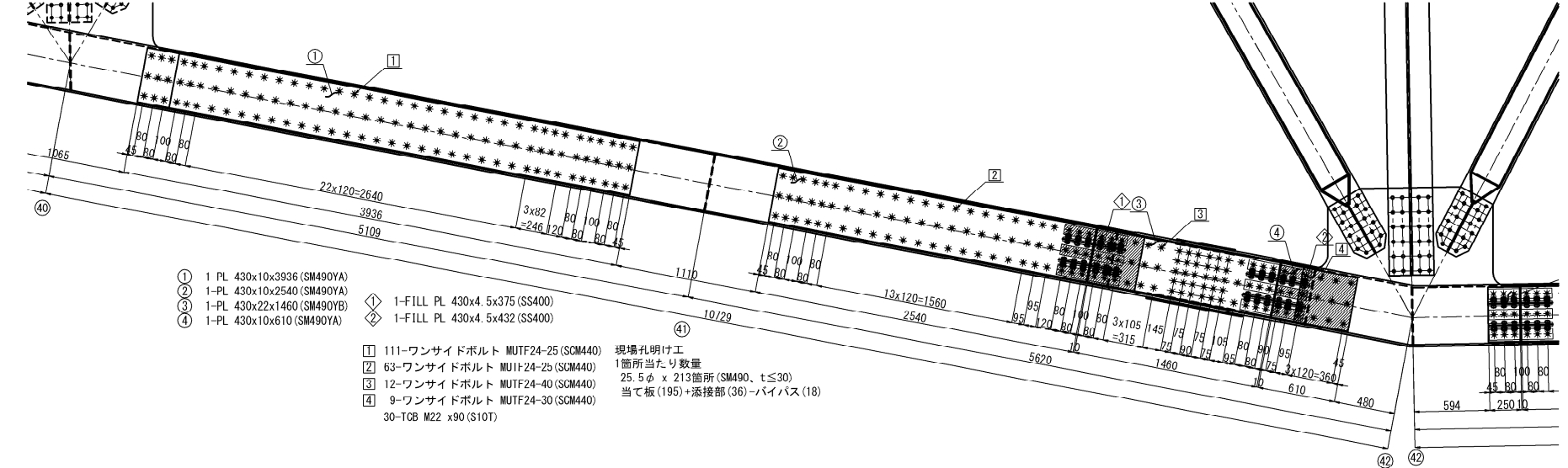
滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その11) S=1:50

下弦材
AT1

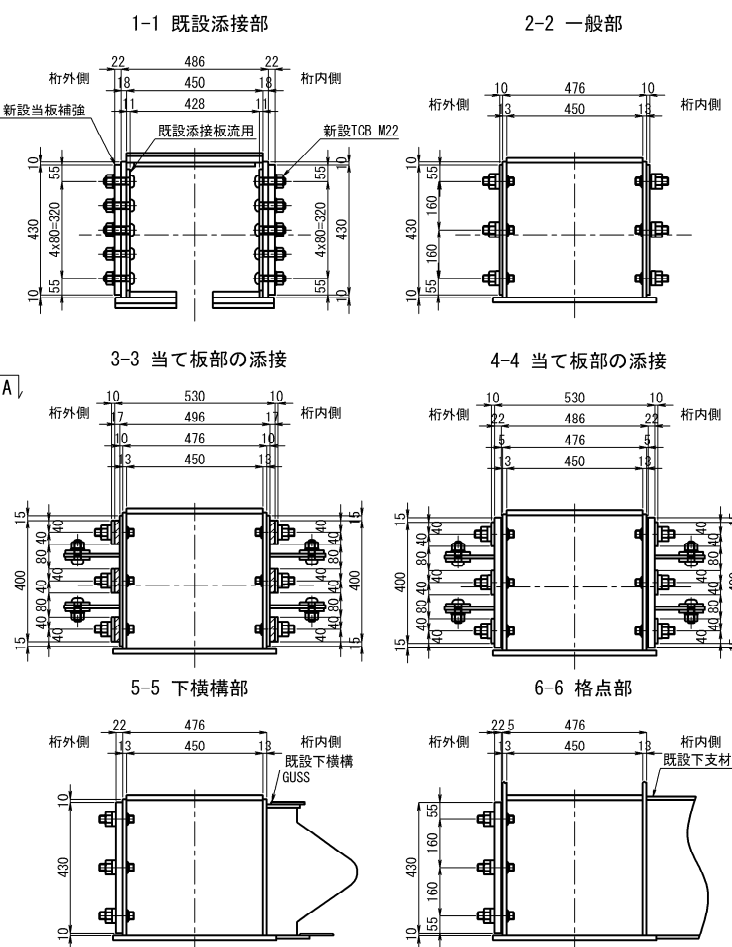
側面図 (桁外側)



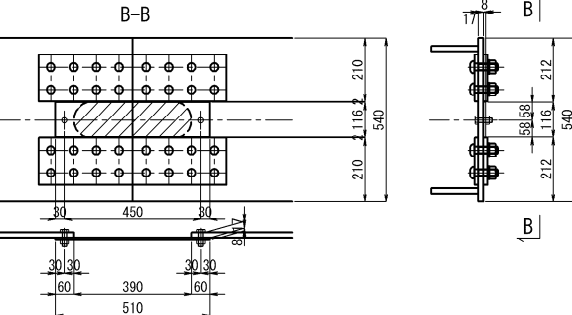
側面図 (桁内側)



断面図 S=1:25



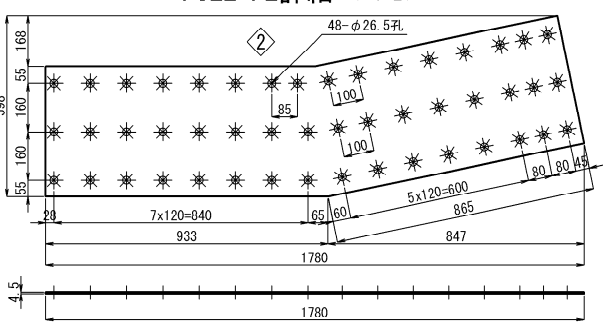
ハンドホール詳細 S=1:25



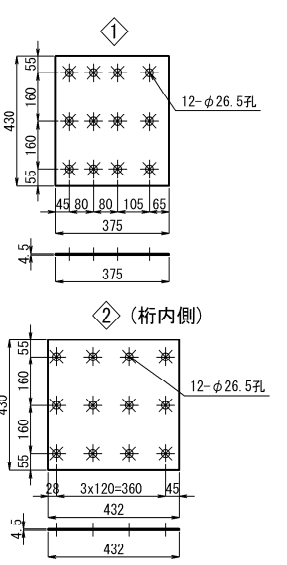
1主構当たり数量 (製作数: 1基)
1-Cov PL 116 x 8 x 510 (SS400)
2-BN M16 x 60 (SS400) (1種1座金)

既設撤去数量 (1基)
1-Cov PL 116 x 8 x 510 (SS400)
2-BN M16 x 60 (SS400) (1種1座金)

FILL PL詳細 S=1:25



FILL PL詳細 S=1:25

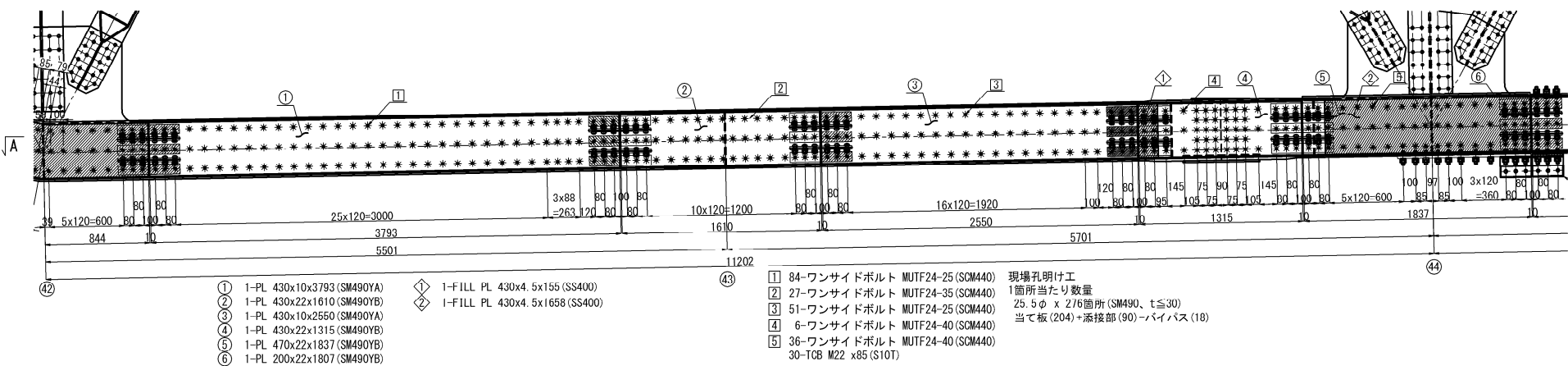


注記
1. 本図面は完成図を基に作成しているため、現地にて寸法を確認した上で施工を行うこと。
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
3. ◆印のボルトは、TGB M22を示す
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。
※印のボルトは、MUTF 24を示す
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
4. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。
5. 印はフィラフラートを示す。
6. 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。
7. 添接部詳細は、「滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工 (当て板補強) 詳細図(その35)~(その40)」を参照すること。

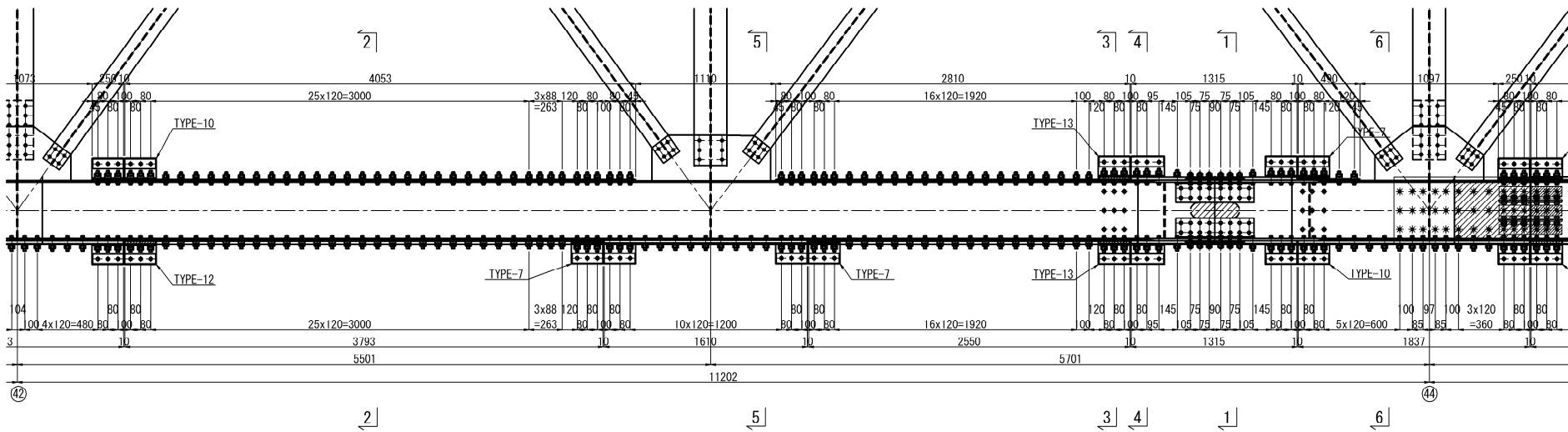
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その11)		
	縮尺	図示	図面番号 433/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

下弦材
AT1

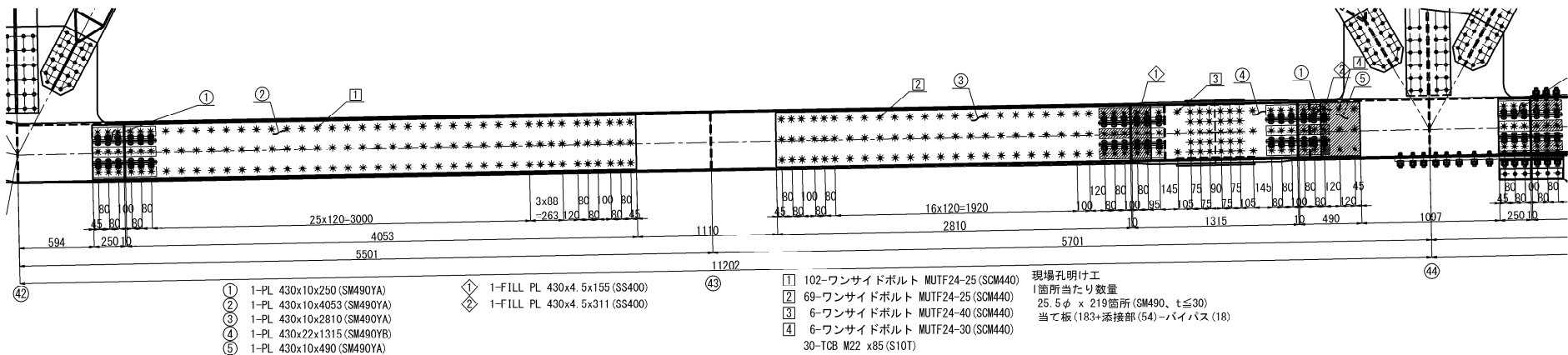
側面図(桁外側)



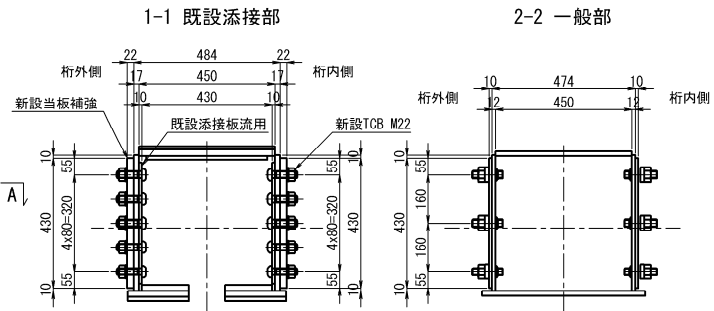
平面図
A - A



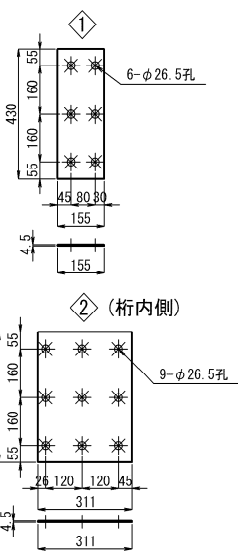
側面図(桁内側)



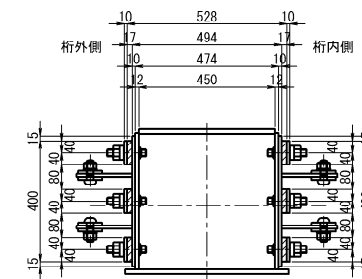
断面図 S=1:25



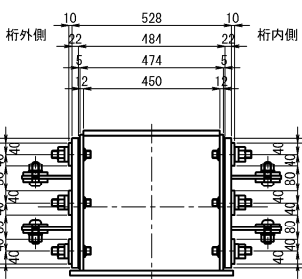
FILL PL詳細 S=1:25



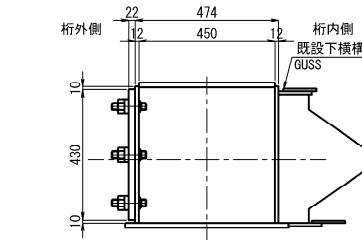
3-3 当て板部の添接



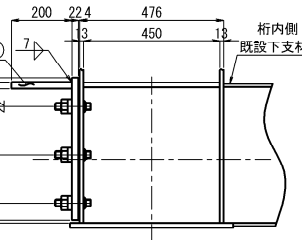
4-4 当て板部の添接



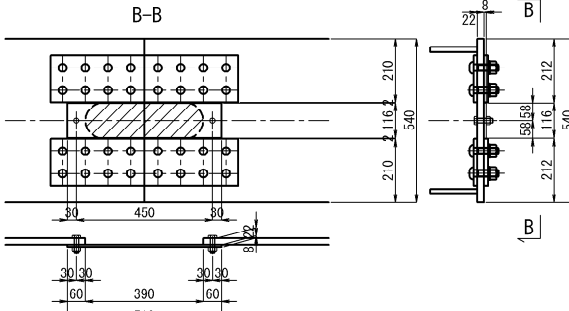
5-5 下横構部



6-6 格点部



ハンドホール詳細 S=1:25

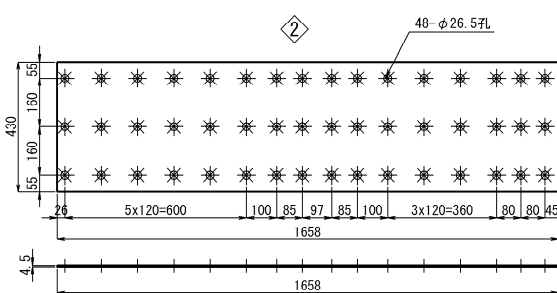


- 1主構当たり数量(製作数:1基)
1-Cov PL 116 x 8 x 510 (SS400)
2-BN M16 x 60 (SS400) (1種1座金)
既設撤去数量(1基)
1-Cov PL 116 x 8 x 510 (SS400)
2-BN M16 x 60 (SS400) (1種1座金)

注記

1. 本図面は完成図を基に作成しているため、現地にて寸法を確認した上で施工を行うこと。
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
3. ◆印のボルトは、TCB M22を示す。ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。
4. ◆印のボルトは、MUTF 24を示す。ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
5. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。
6. 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。
7. 添接部詳細は、「滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その35)~(その40)」を参照すること。

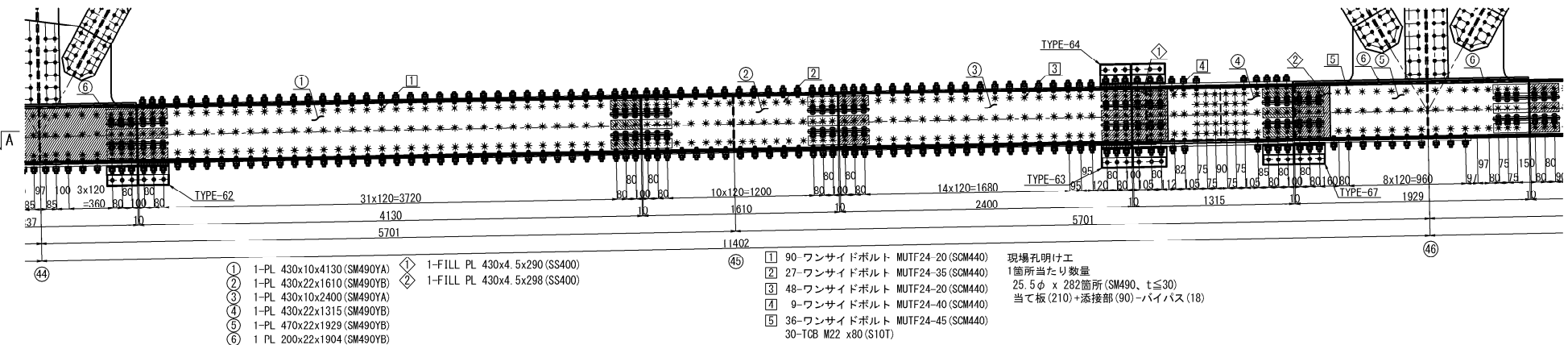
FILL PL詳細 S=1:25



長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線)		
	構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その12)		
縮尺	図示	図面番号	434/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

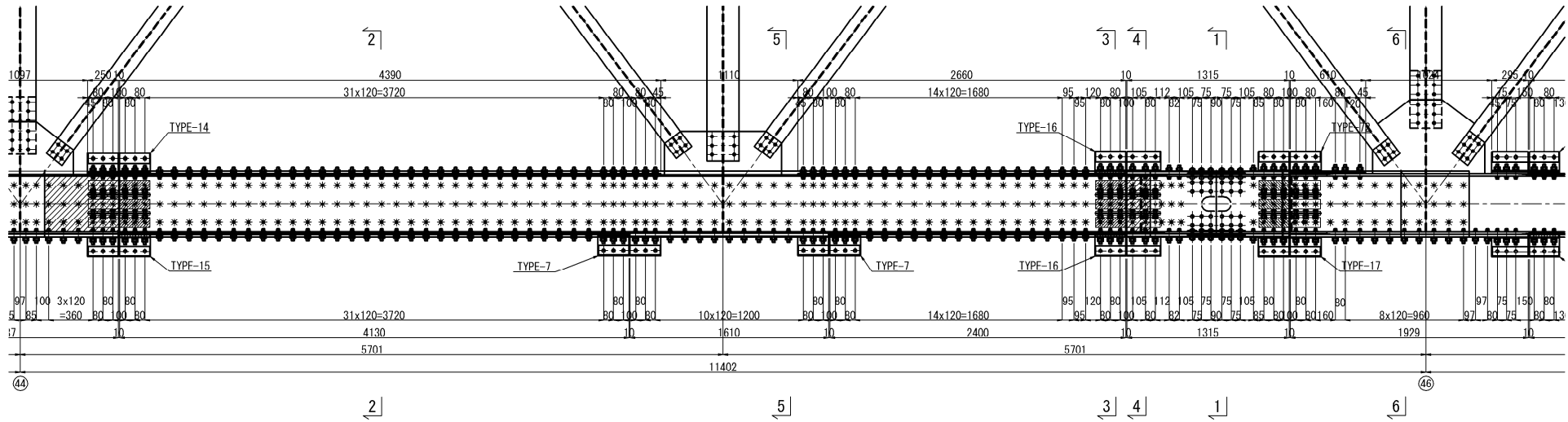
下弦材
AT1

側面図(桁外側)

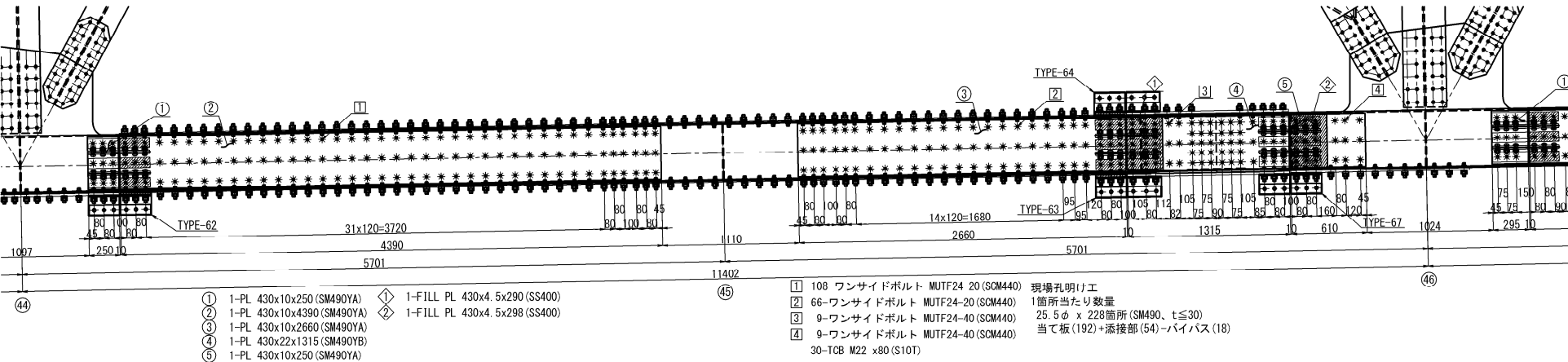


平面図

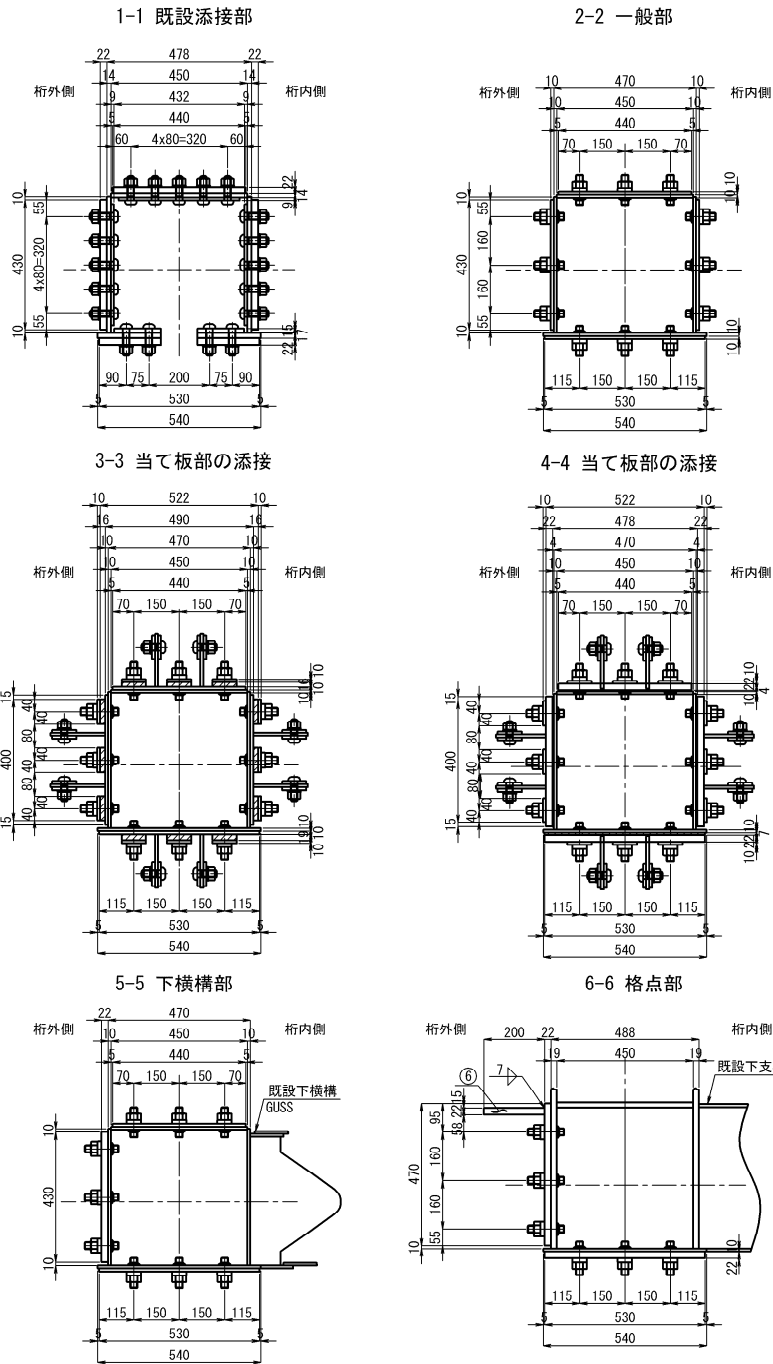
A - A



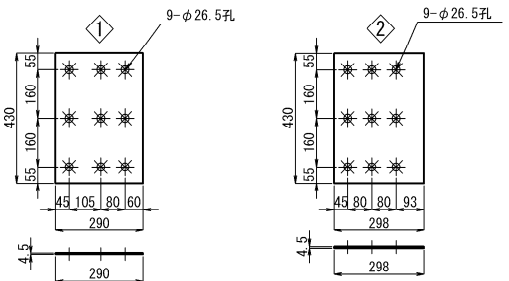
側面図(桁内側)



断面図 S=1:25



FILL PL詳細 S=1:25

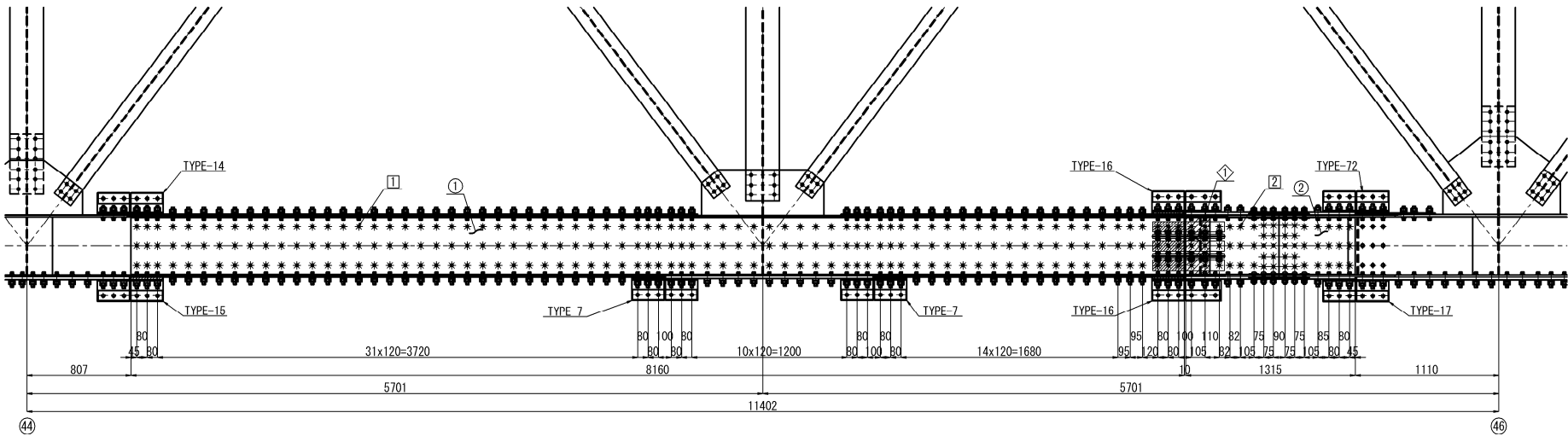


注記
1. 本図面は完成図を基に作成しているため、現地に寸法を確認した上で施工を行うこと。
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
3. 印のボルトは、TCB M22を示す。ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。
※印のボルトは、MUTF 24を示す。ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
4. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。
5. 印はフィラブルーを示す。
6. 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。
7. 添接部詳細は、「滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その35)~(その40)」を参照すること。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その13)		
	縮尺	図示	図面番号 435/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

下弦材 5-2
AT1

Top. PL側



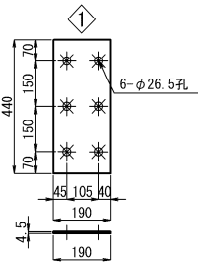
- ① 1-PL 440x10x8160 (SM490YA)

② 1-PL 440x10x1315 (SM490YA)
- ① 1-FILL PL 440x4. 5x190 (SS400)
- ① 213-ワンサイドボルト MUTF24-20 (SCM440)

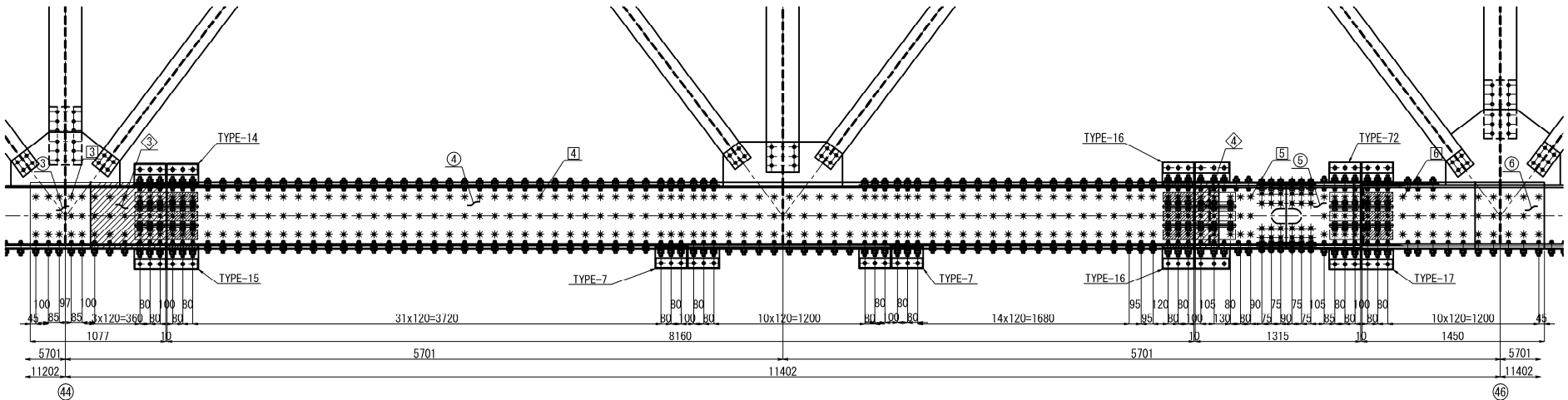
② 24-ワンサイドボルト MUTF24-40 (SCM440)

20-TCB M22 x80 (S10T)
- 現場孔明け工
1箇所当たり数量
25.5φ x 246箇所 (SM490、t≤30)
当て板 (237)+添接部 (18)-バイパス (9)

FILL PL詳細 S=1:25



Bott. PL側



- ③ 1-PL 530x22x1077 (SM490YB)

④ 1-PL 530x10x8160 (SM490YA)

⑤ 1-PL 530x10x1315 (SM490YA)

⑥ 1-PL 530x22x1450 (SM490YB)
- ③ 1-FILL PL 530x3. 2x597 (SS400)

④ 1-FILL PL 530x7x190 (SS400)
- ③ 24-ワンサイドボルト MUTF24-35 (SCM440)

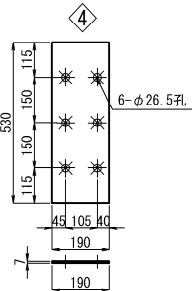
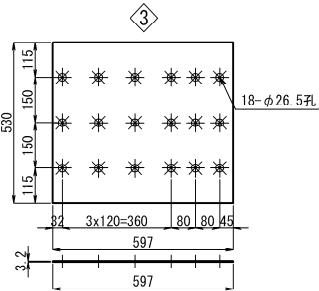
④ 201-ワンサイドボルト MUTF24-20 (SCM440)

⑤ 9-ワンサイドボルト MUTF24-40 (SCM440)

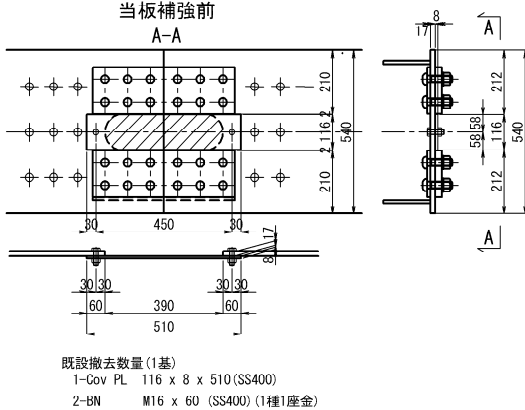
⑥ 30-ワンサイドボルト MUTF24-35 (SCM440)

24-TCB M22 x90 (S10T)
- 現場孔明け工
1箇所当たり数量
25.5φ x 318箇所 (SM490、t≤30)
当て板 (282)+添接部 (54)

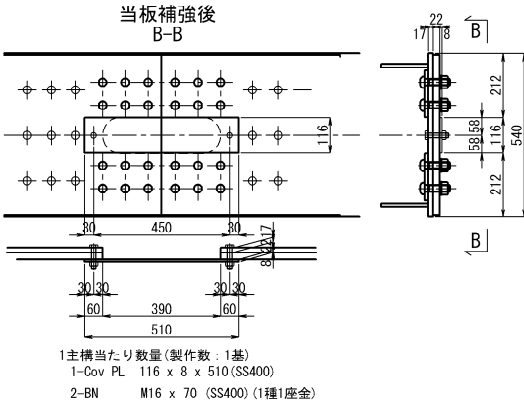
FILL PL詳細 S=1:25



ハンドホール詳細 S=1:25



ハンドホール詳細 S=1:25



- 注記
1. 本図面は完成図を基に作成しているため、現地にて寸法を確認した上で施工を行うこと。
 2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 3. ◆印のボルトは、TCB M22を示す
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。
※印のボルトは、MUTF 24を示す
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
 4. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。
 5. 印はフィラープレートを示す。
 6. 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。
 7. 添接部詳細は、「滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その35)～(その40)」を参照すること。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線)		
	構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その14)		
縮 尺	図示	図面番号	436/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

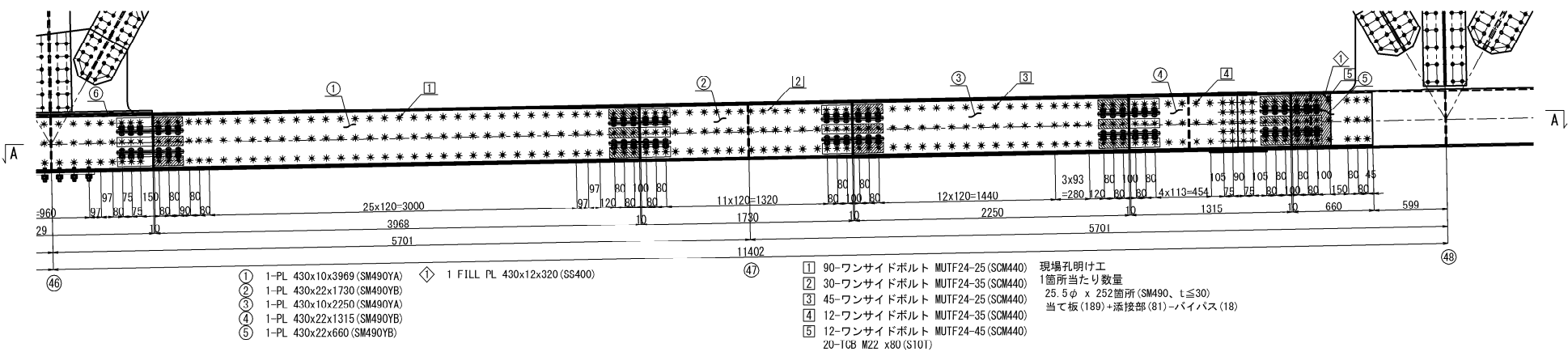
滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その15) S=1:50

下弦材
AT1

6

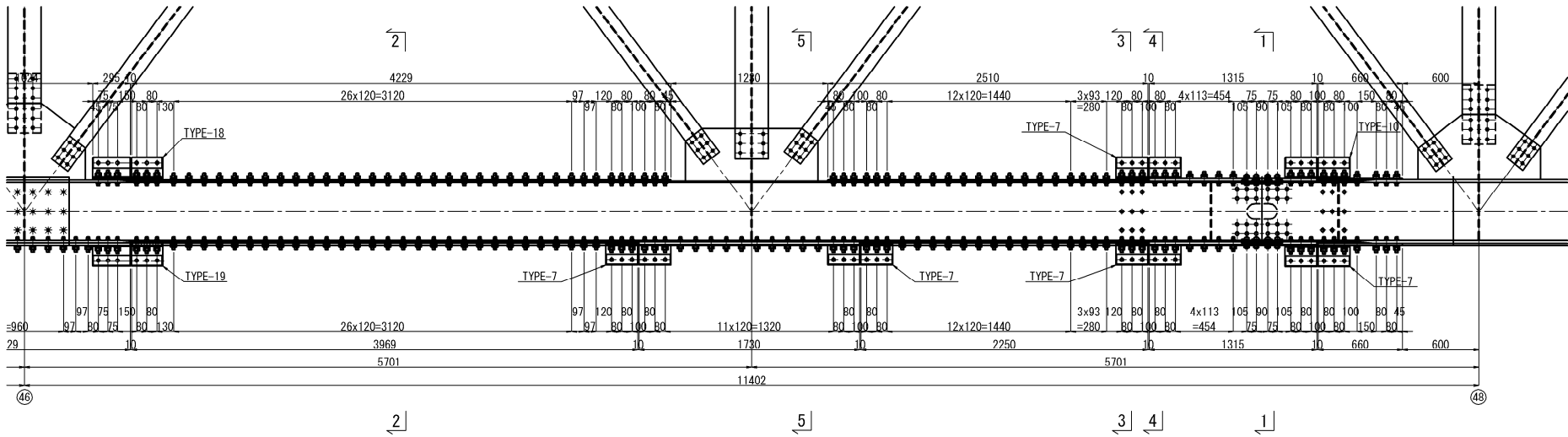
側面図(桁外側)

断面図 S=1:25

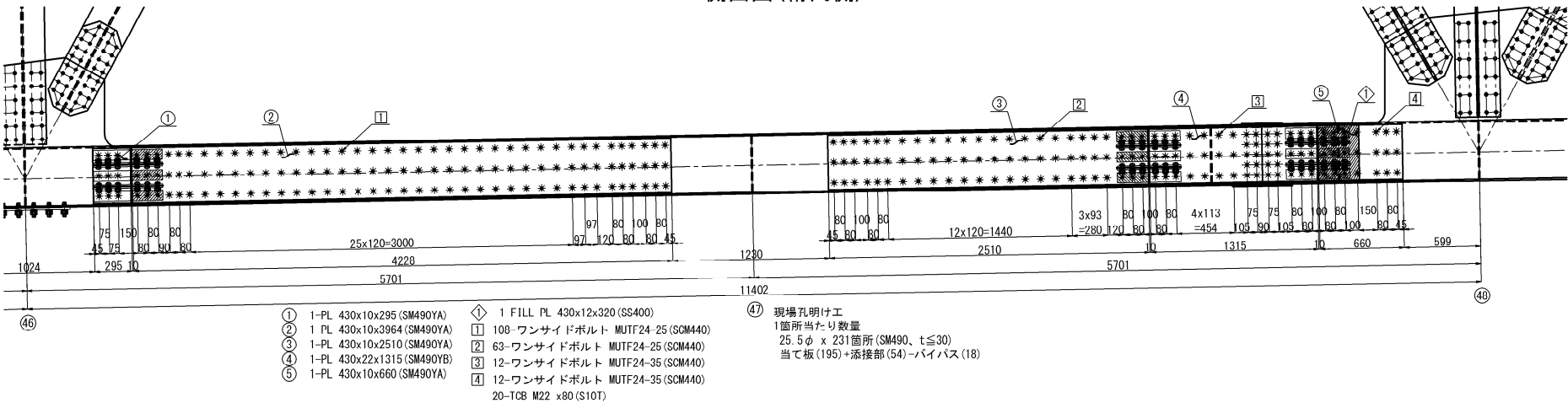


平面図

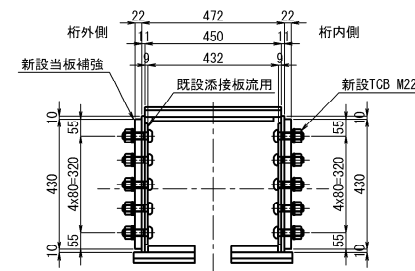
A - A



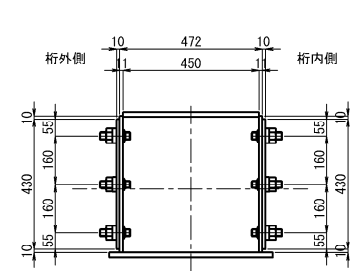
側面図(桁内側)



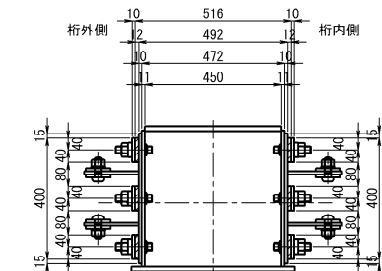
1-1 既設添接部



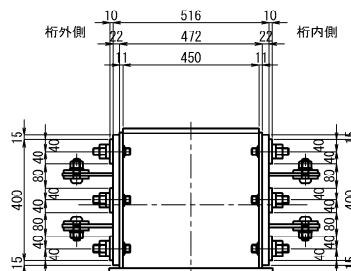
2-2 一般部



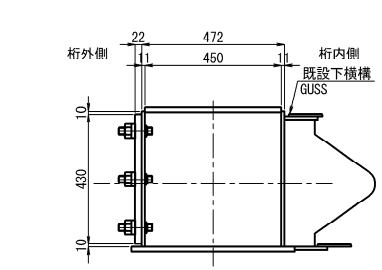
3-3 当て板部の添接



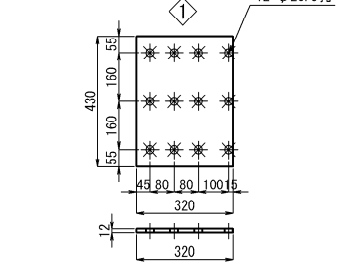
4-4 当て板部の添接



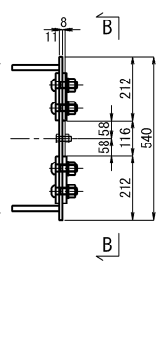
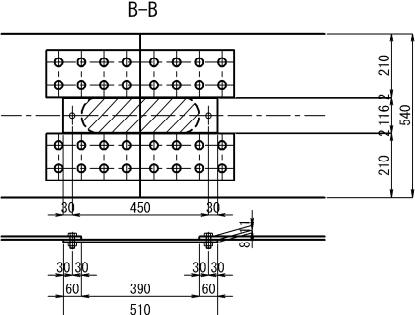
5-5 下横構部



FILL PL詳細 S=1:25



ハンドホール詳細 S=1:25



注記

1. 本図面は完成図を基に作成しているため、
現地に寸法を確認した上で施工を行うこと。
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
3. ◆印のボルトは、TGB M22を示す
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。
※印のボルトは、MUTF 24を示す
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
4. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。
5. 印はフィラープレートを示す。
6. 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。
7. 添接部詳細は、「滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工
(当て板補強) 詳細図(その35)～(その40)」を
参照すること。

1主構当たり数量(製作数:1基)
1-Cov PL 116 x 8 x 510 (SS400)
2-BN M16 x 60 (SS400) (1種1座金)
既設撤去数量(1基)
1-Cov PL 116 x 8 x 510 (SS400)
2-BN M16 x 60 (SS400) (1種1座金)

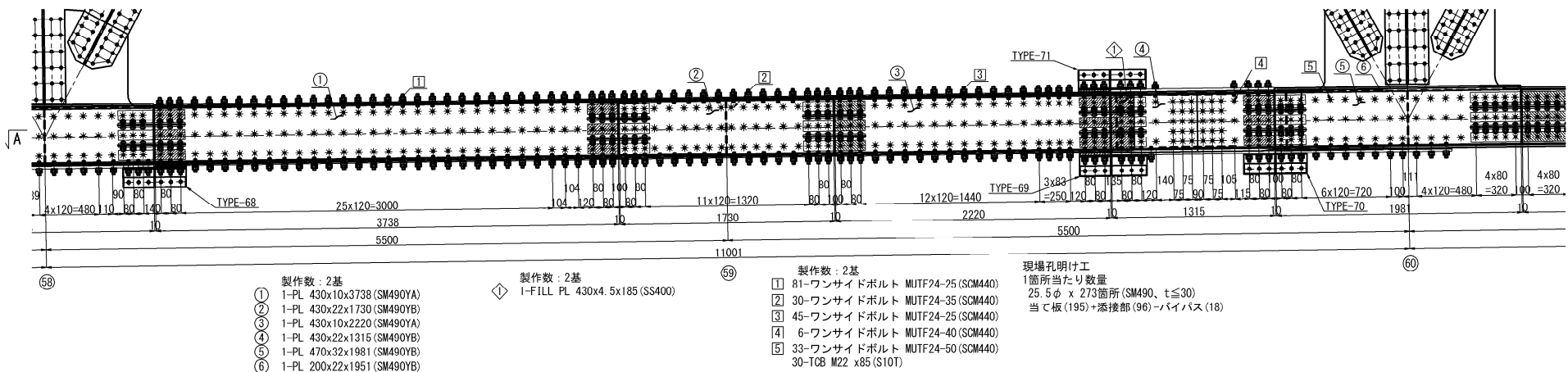
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その15)		
	縮尺	図示	図面番号 437/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

長野自動車道 五竜橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(关于板補強)詳細図(その16)		
縮 尺	図示	図面番号	438/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

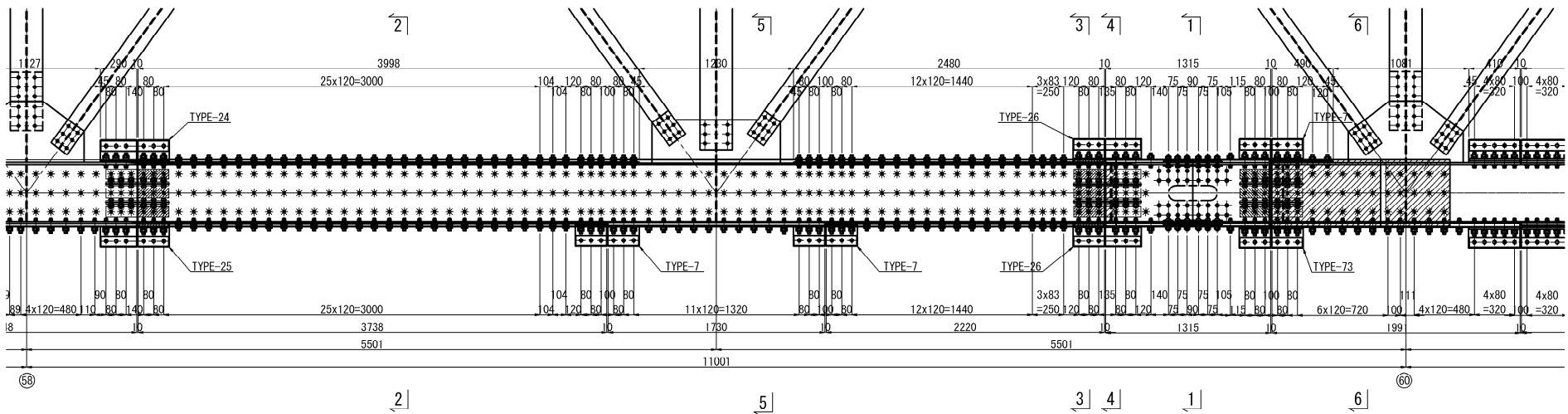
下弦材 12-1 29-1
AT1、AT2

断面図 S=1:25

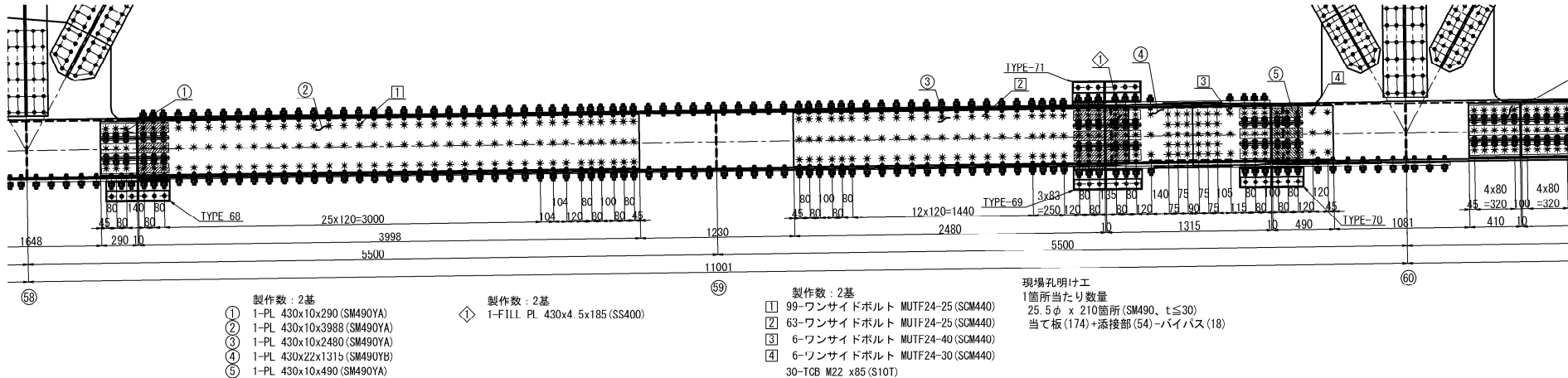
側面図(桁外側)



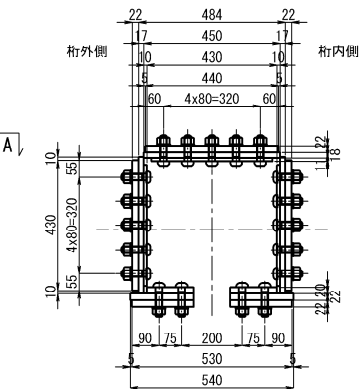
平面図
A - A



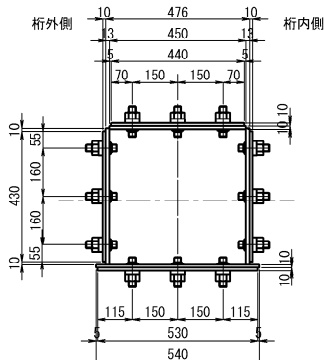
側面図(桁内側)



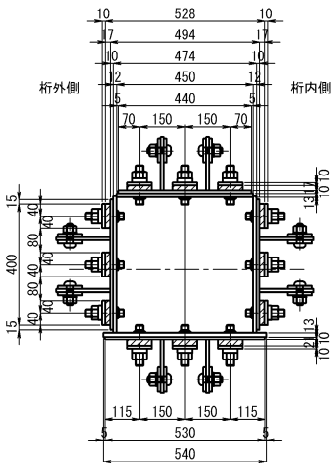
1-1 既設添接部



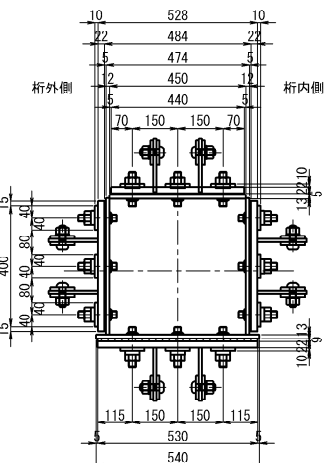
2-2 一般部



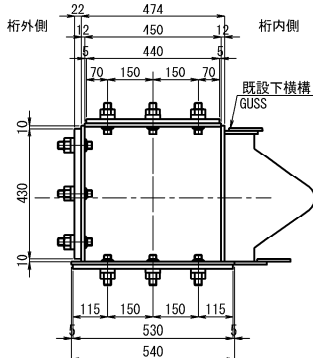
3-3 当て板部の添接



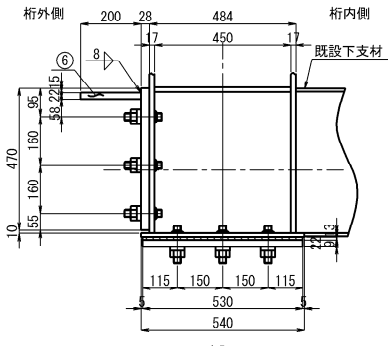
4-4 当て板部の添接



5-5 下横構部



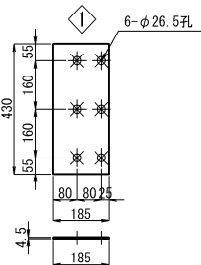
6-6 格点部



注記

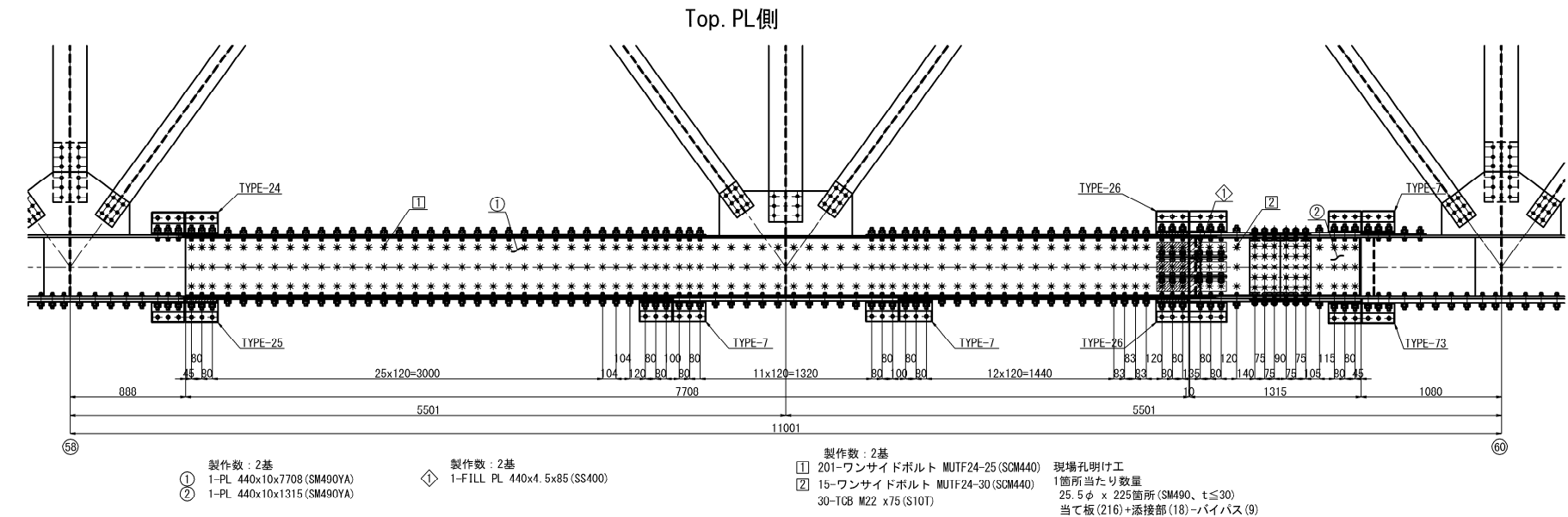
1. 本図面は完成図を基に作成しているため、現地にて寸法を確認した上で施工を行うこと。
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
3. ◆印のボルトは、TGB M22を示す
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。
※印のボルトは、MUTF 24を示す
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
4. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。
5. 印はフィラープレートを示す。
6. 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。
7. 添接部詳細は、「滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その35)~(その40)」を参照すること。

FILL PL詳細 S=1:25

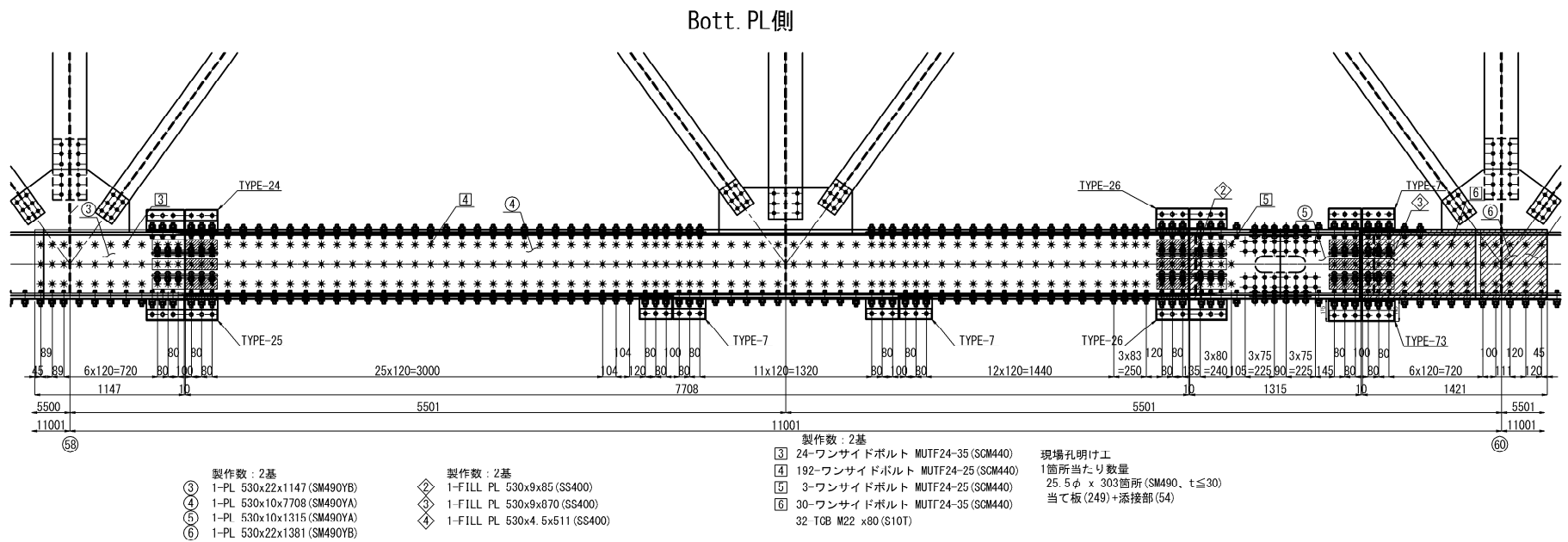
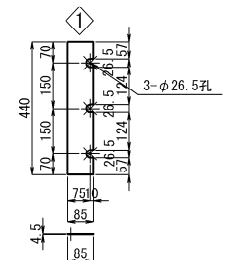


長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その17)		
縮 尺	図示	図面番号	439/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

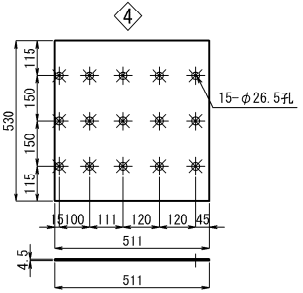
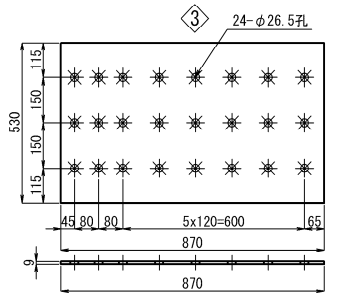
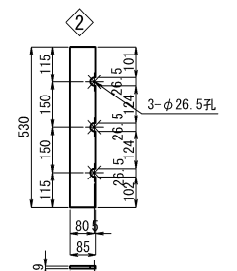
下弦材 12-2 29-2
AT1、AT2



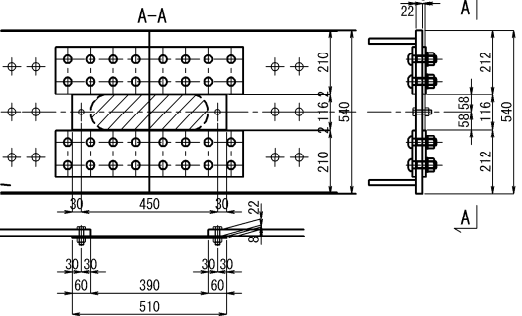
FILL PL詳細 S=1:25



FILL PL詳細 S=1:25

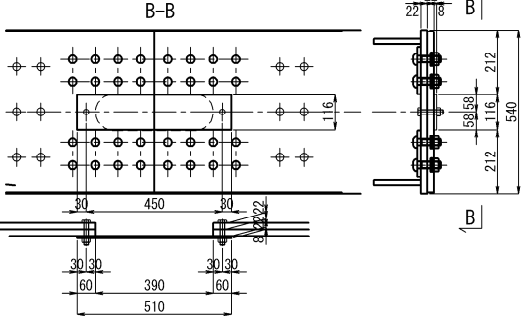


ハンドホール詳細 S=1:25
当て板補強前



既設撤去数量(2基)
1-Cov PL 116 x 8 x 510 (SS400)
2-BN M16 x 60 (SS400) (1種1座金)

ハンドホール詳細 S=1:25
当て板補強後



1主構当たり数量(製作数：2基)
1-Cov PL 116 x 8 x 510 (SS400)
2-BN M16 x 75 (SS400) (1種1座金)

注記
1. 本図面は完成図を基に作成しているため、現地にて寸法を確認した上で施工を行うこと。
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
3. ◆印のボルトは、TGB M22を示す
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。
※印のボルトは、MUTF 24を示す
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
4. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。
5. 印はフィラープレートを示す。
6. 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。
7. 添接部詳細は、「滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その35)～(その40)」を参照すること。

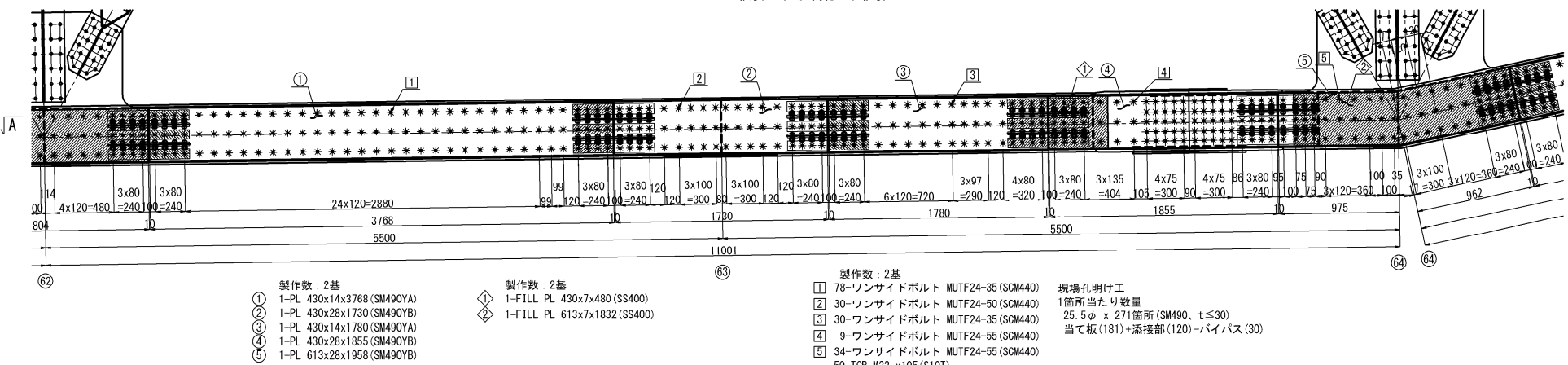
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線)		
	構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その18)		
縮尺	図示	図面番号	440/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板橋補)詳細図(その19)		
縮 尺	図示	図面番号	441/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その20) S=1:50

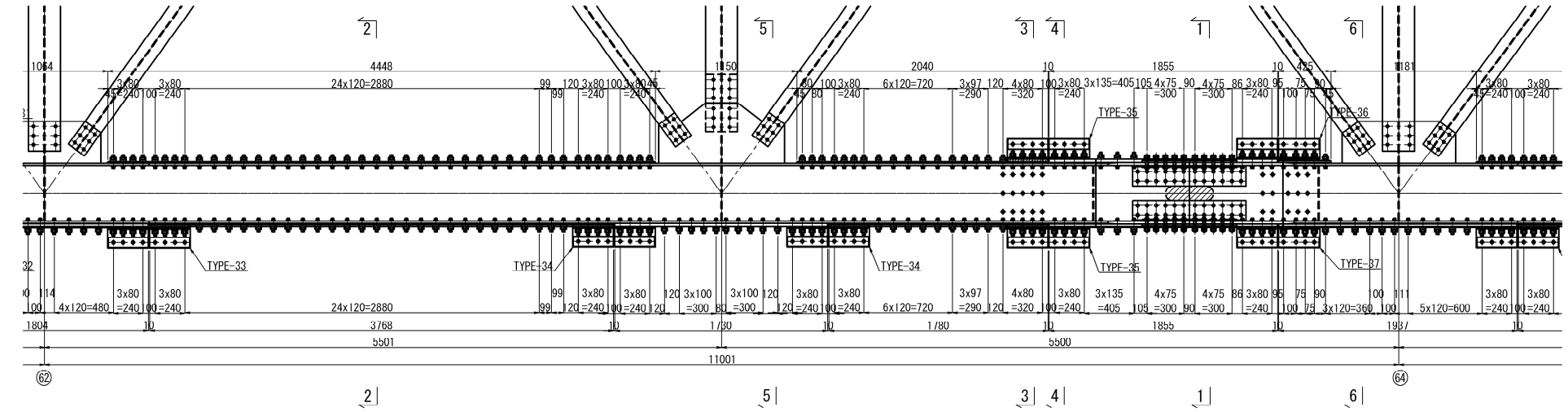
下弦材 14 31
AT1、AT2

側面図(桁外側)

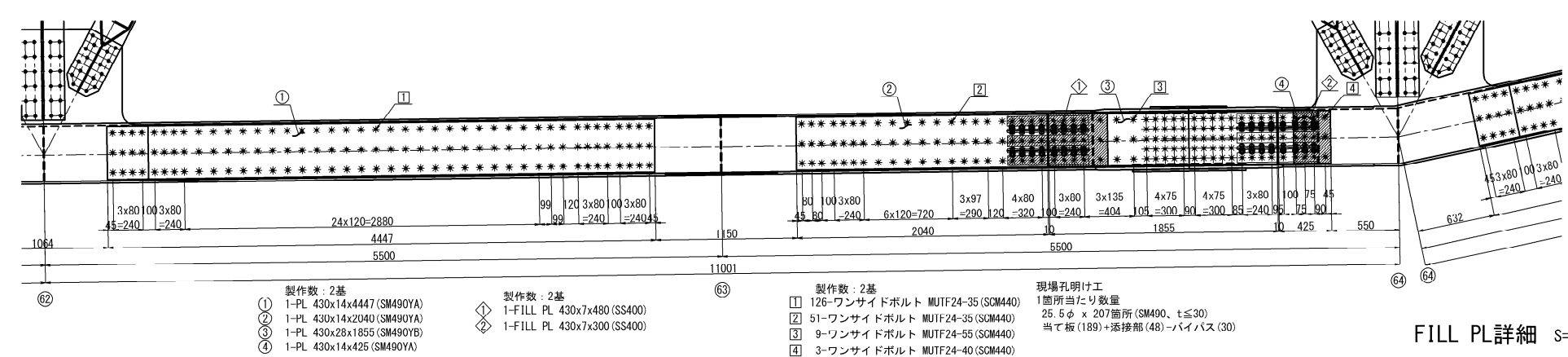


平面図

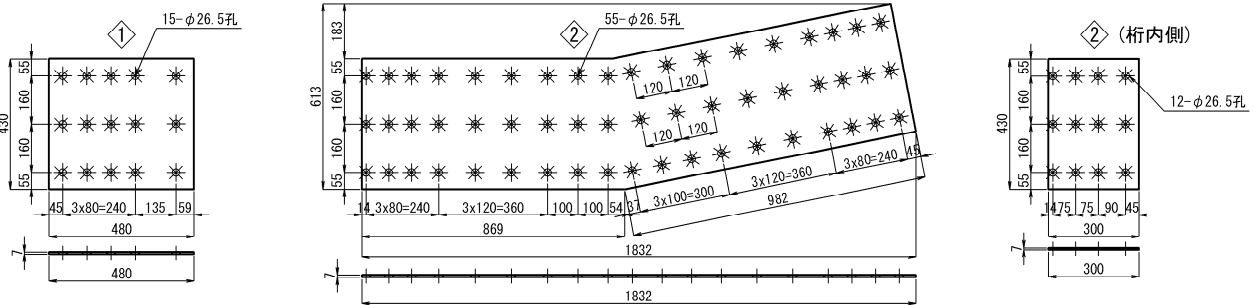
A - A



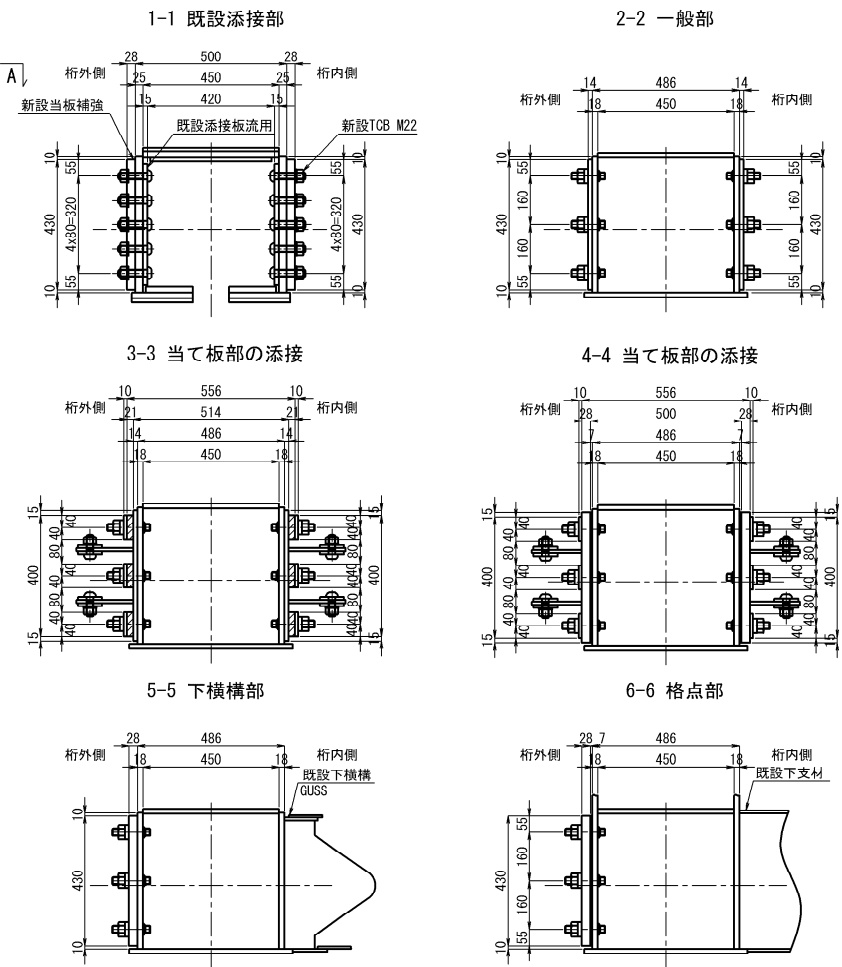
側面図(桁内側)



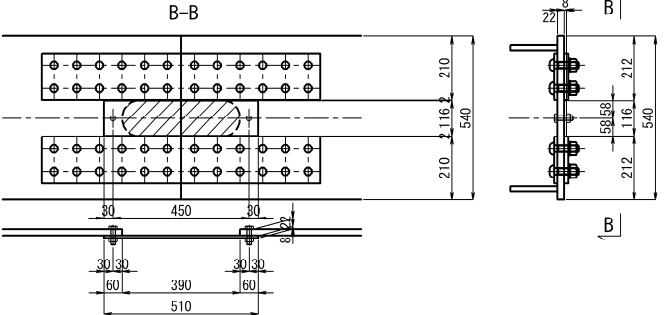
FILL PL詳細 S=1:25



断面図 S=1:25



ハンドホール詳細 S=1:25



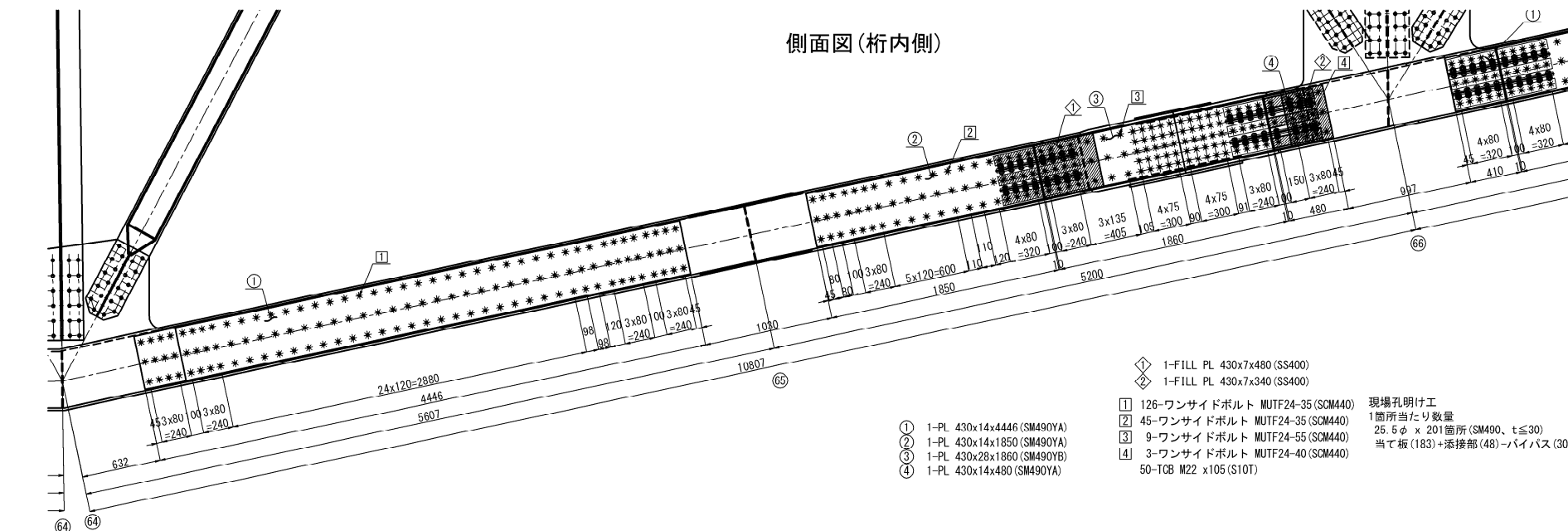
1主構当たり数量(製作数: 2基)
1-Gov PL 116 x 8 x 510 (SS400)
2-BN M16 x 60 (SS400) (1種1座金)

既設撤去数量(2基)
1-Gov PL 116 x 8 x 510 (SS400)
2-BN M16 x 60 (SS400) (1種1座金)

注記
1. 本図面は完成図を基に作成しているため、現地に寸法を確認した上で施工を行うこと。
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
3. ◆印のボルトは、TGB M22を示す
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。
※印のボルトは、MUTF 24を示す
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
4. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。
5. 印はフィラプレートを示す。
6. 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。
7. 添接部詳細は、「滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その35)~(その40)」を参照すること。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その20)		
縮 尺	図示	図面番号	442/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

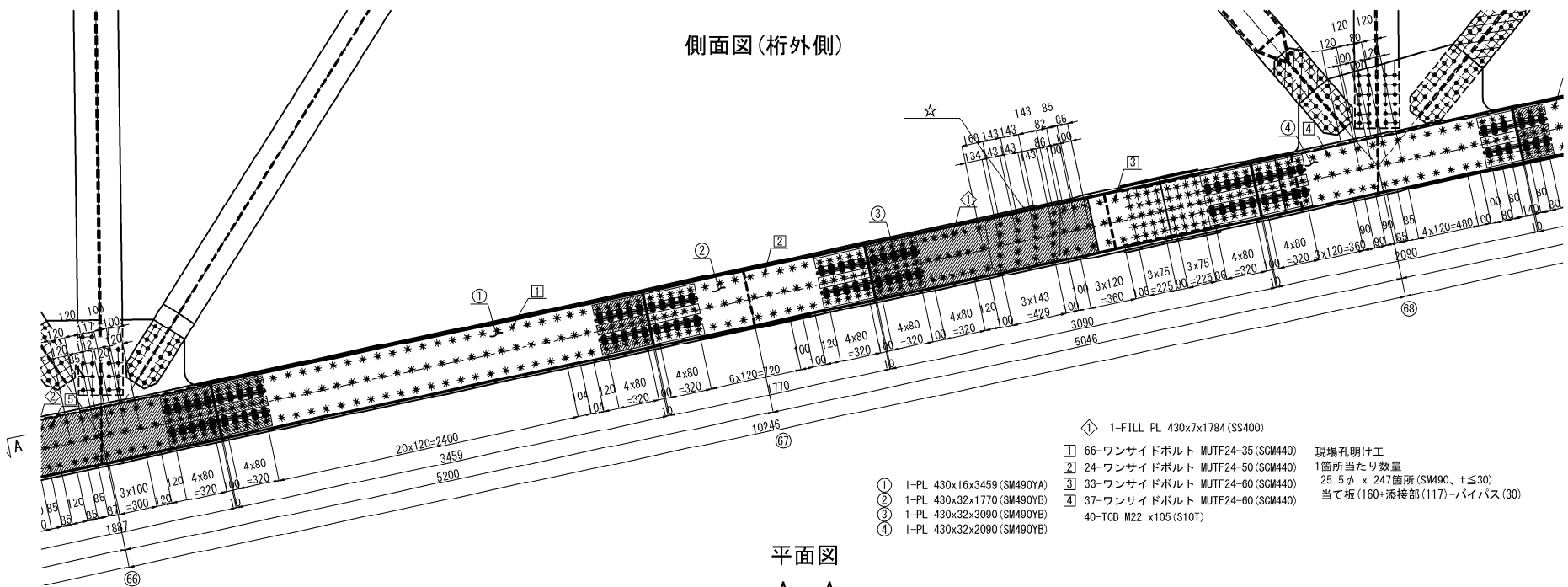
長野自動車道 五竜橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(关于板補強)詳細図(その21)		
縮 尺	図示	図面番号	443/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



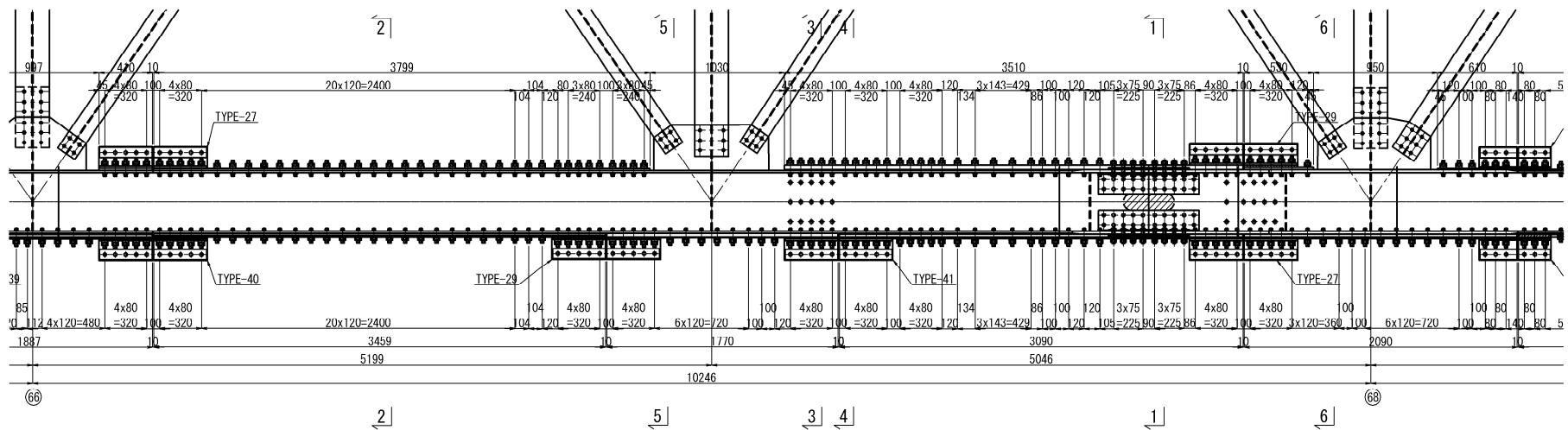
滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その22) S=1:50

下弦材 16
AT1

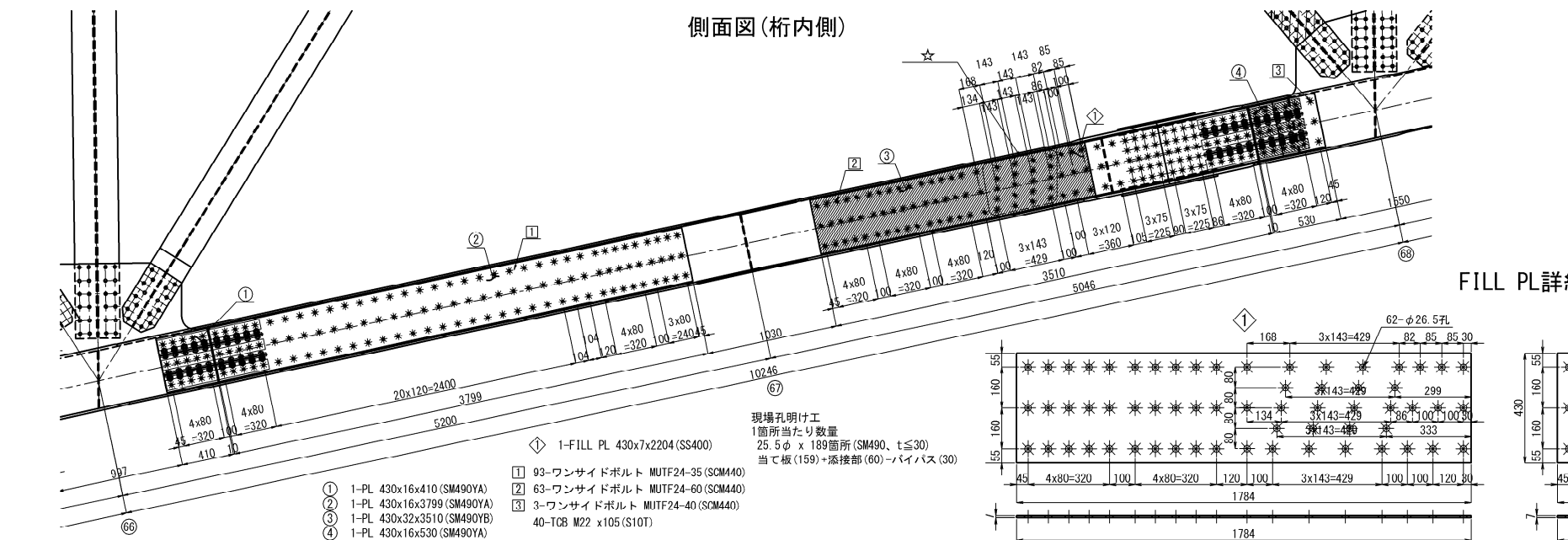
側面図(桁外側)



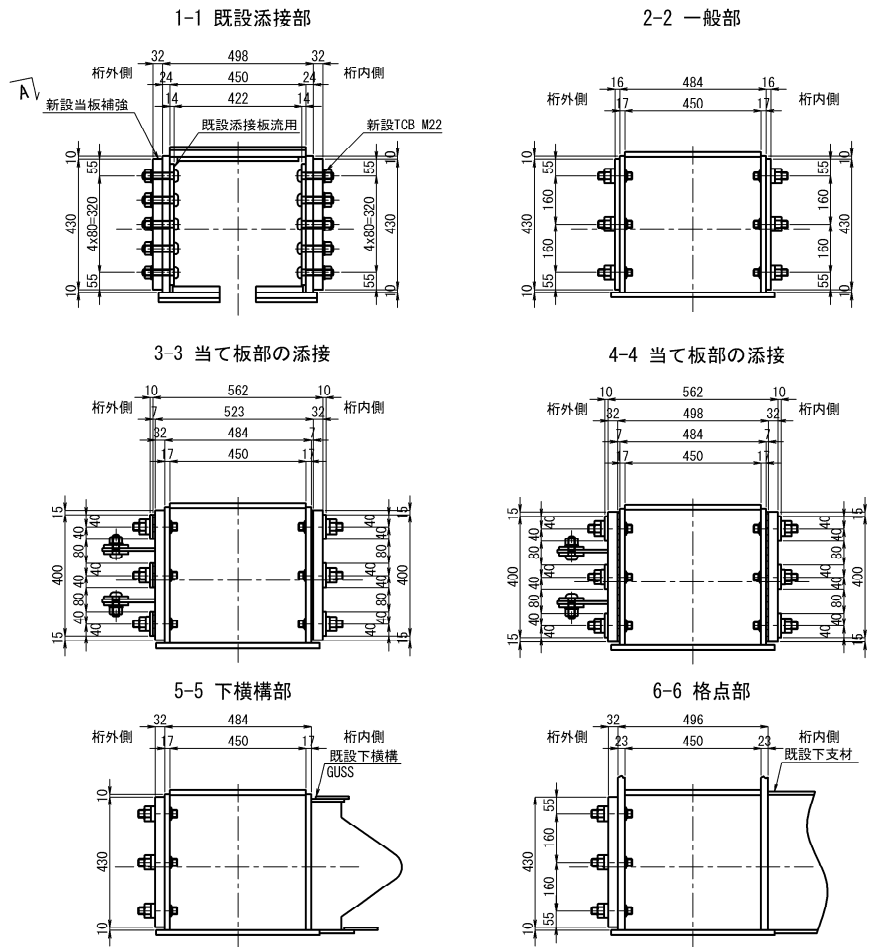
平面図
A-A



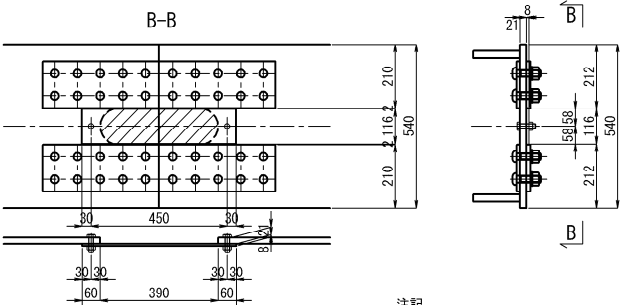
側面図(桁内側)



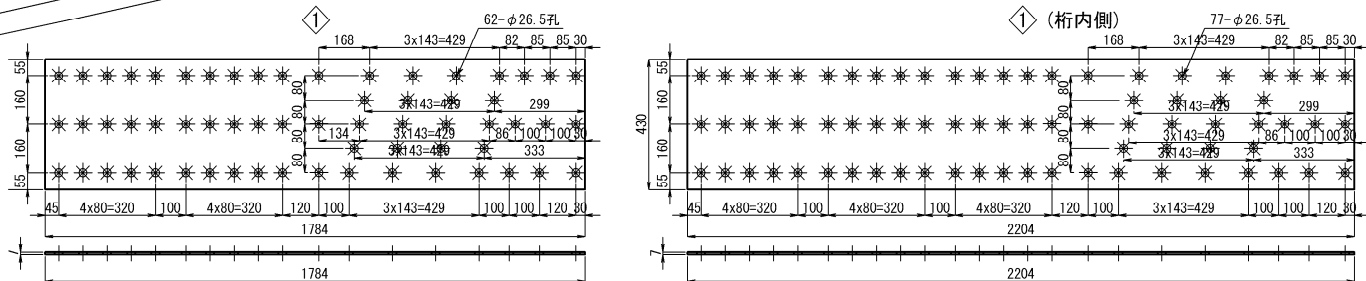
断面図 S=1:25



ハンドホール詳細 S=1:25



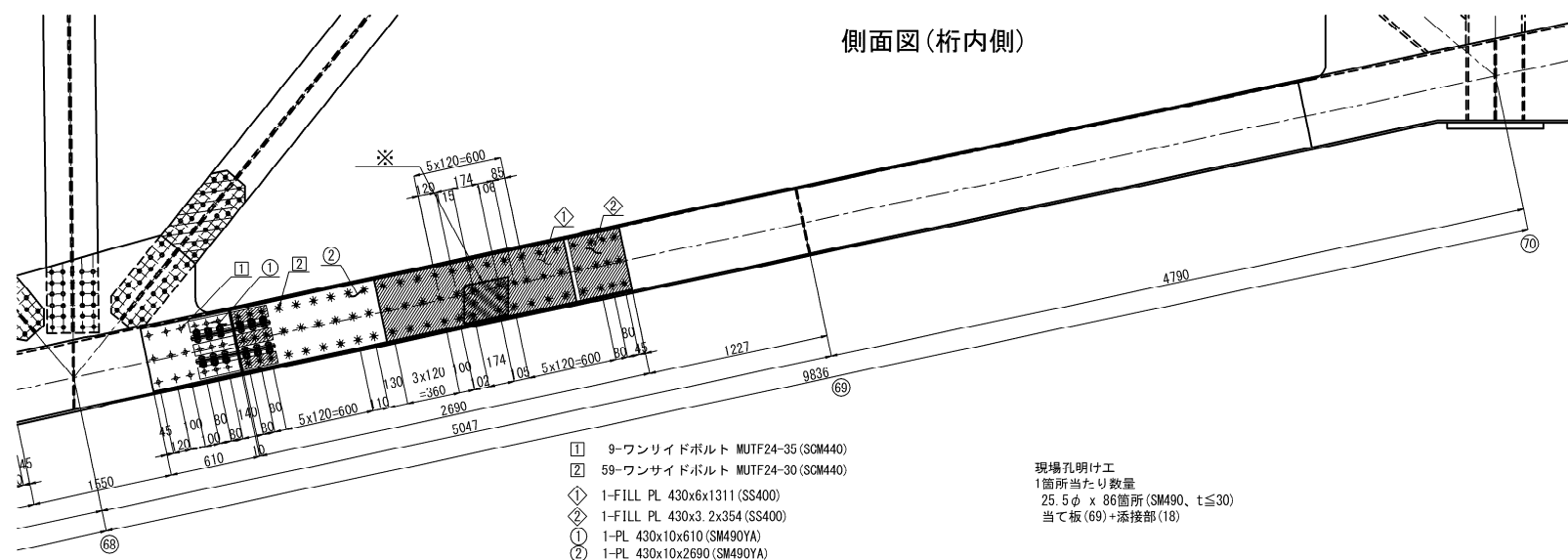
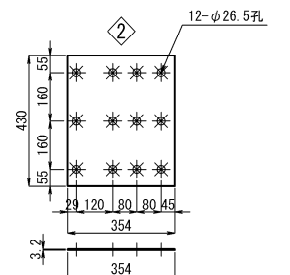
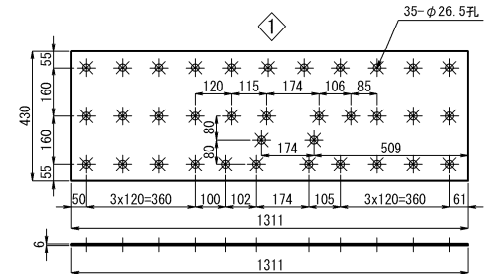
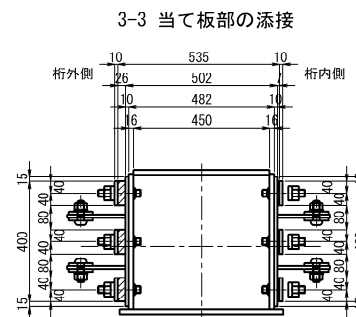
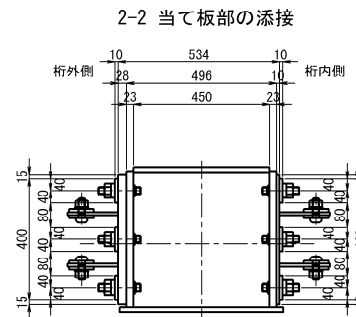
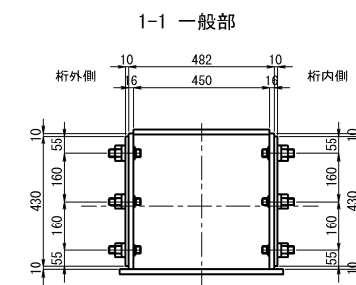
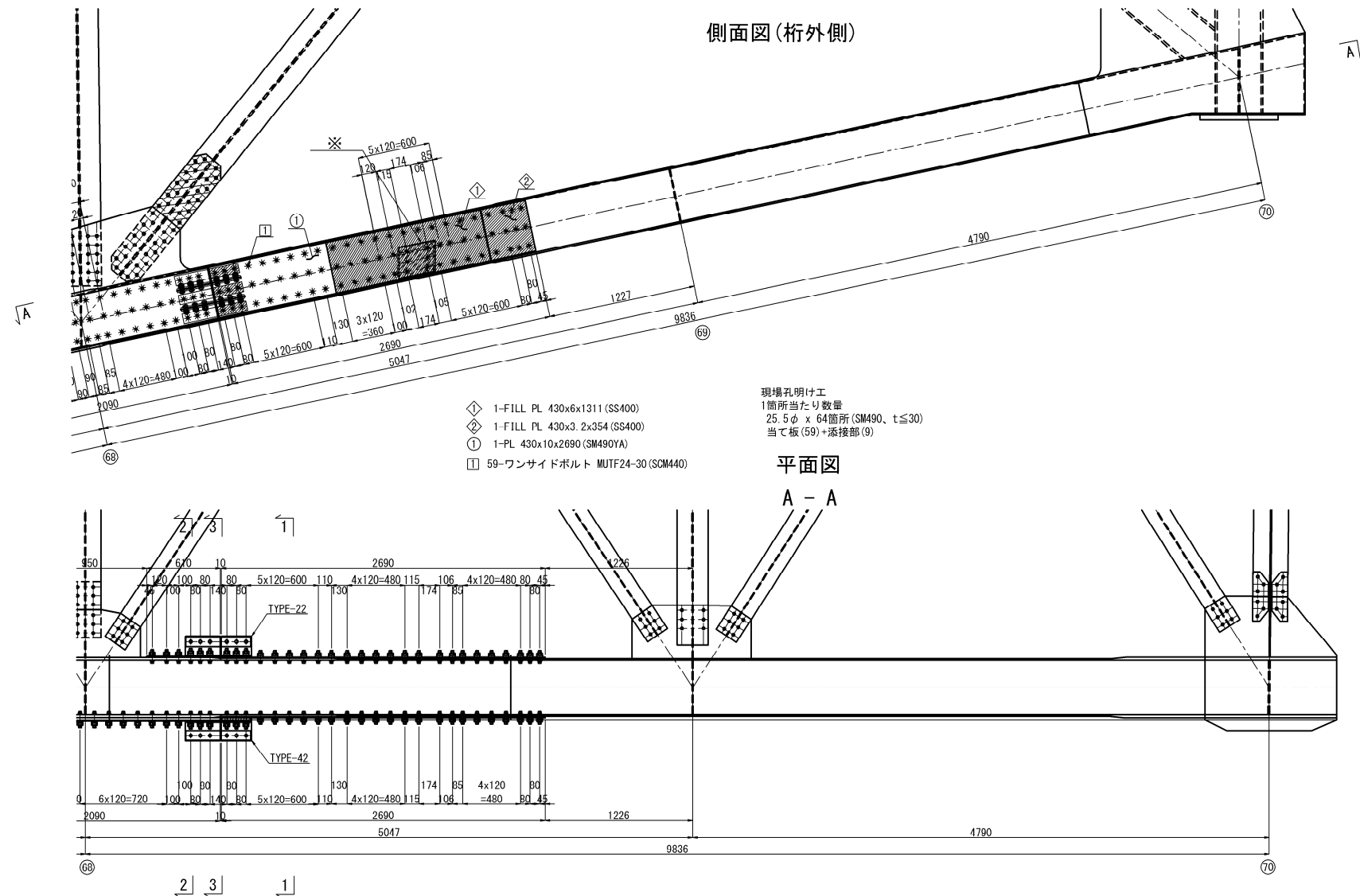
FILL PL詳細 S=1:25



- 注記
- 本図面は完成図を基に作成しているため、現地に寸法を確認した上で施工を行うこと。
 - 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 - 印のボルトは、TCB M22を示す
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。
*印のボルトは、MUTF 24を示す
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
 - 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。
 - 印はフィラープレートを示す。
 - 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。
 - ☆印部材は、「滝ノ沢橋(上り線) A2橋台 制震構造 詳細図(その3)」を参照すること。
 - 添接部詳細は、「滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その35)~(その40)」を参照すること。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強)詳細図(その22)		
縮尺	図示	図面番号	444/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

FILL PL詳細 S=1:25



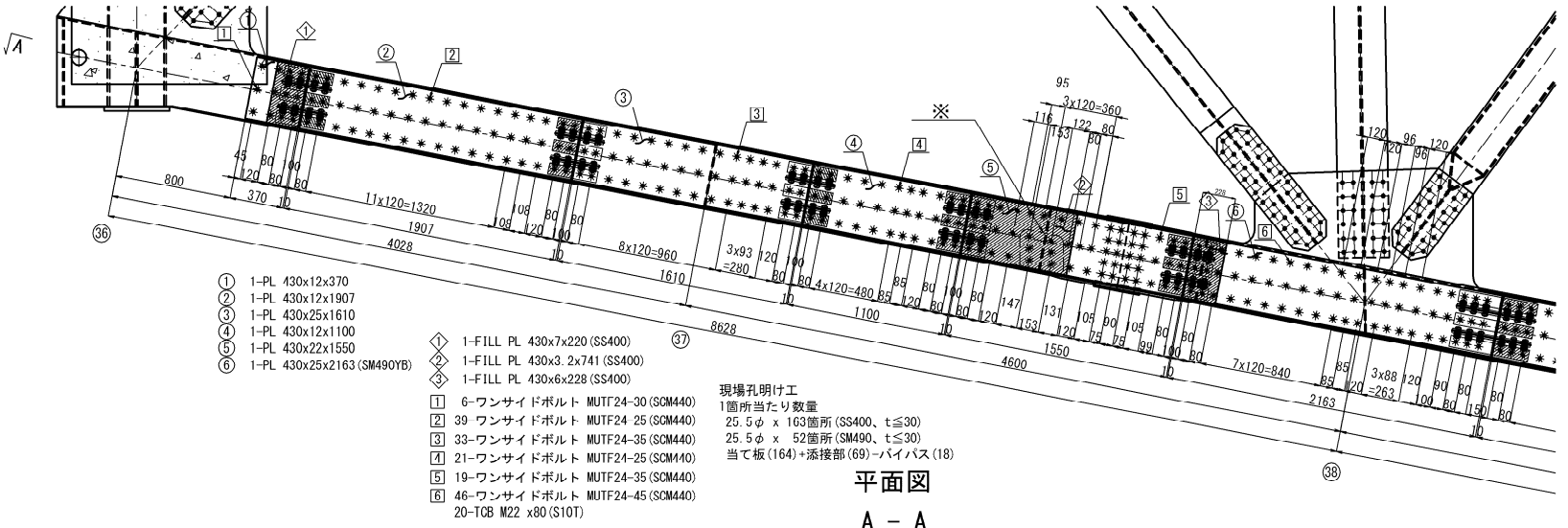
注記

1. 本図面は完成図を基に作成しているため、現場にて方法を確した上で施工を行うこと。
2. 特記なき材質は、全てSM400とする。
3. ★印のボルトは、TGB 220とを示す。
 - ボルト孔は既設の24.5新設の26.5とする。
 - ★印のボルトは、MUTF 24とを示す。
 - ボルト孔は既設の25.5新設の26.5とする。
4. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。
5. **斜線印は、フルフローリングを示す。**
6. 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。
7. ★印部材は、「流し/積床(上り線) A2機台 制震構造 詳細図(その2)」を参照すること。
8. 添接部詳細は、「流し/積床(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その35)～(その40)」を参照すること。

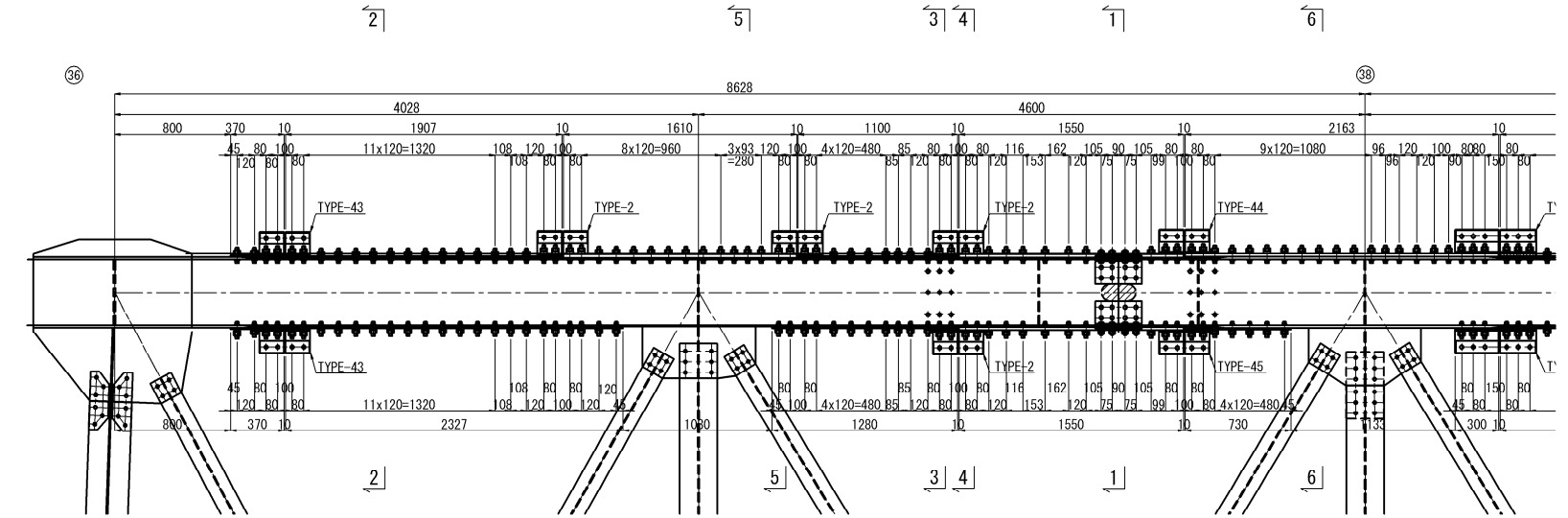
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り橋) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その23)		
縮 尺	図示	図面番号	445/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

下弦材
AT2

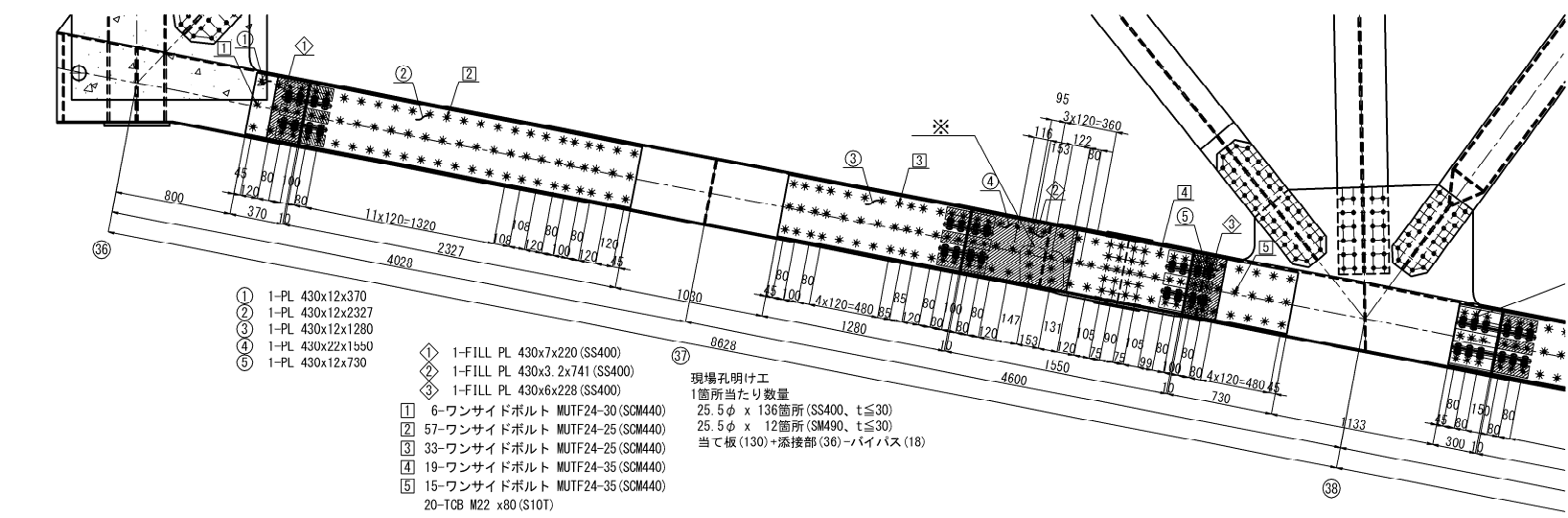
側面図(桁外側)



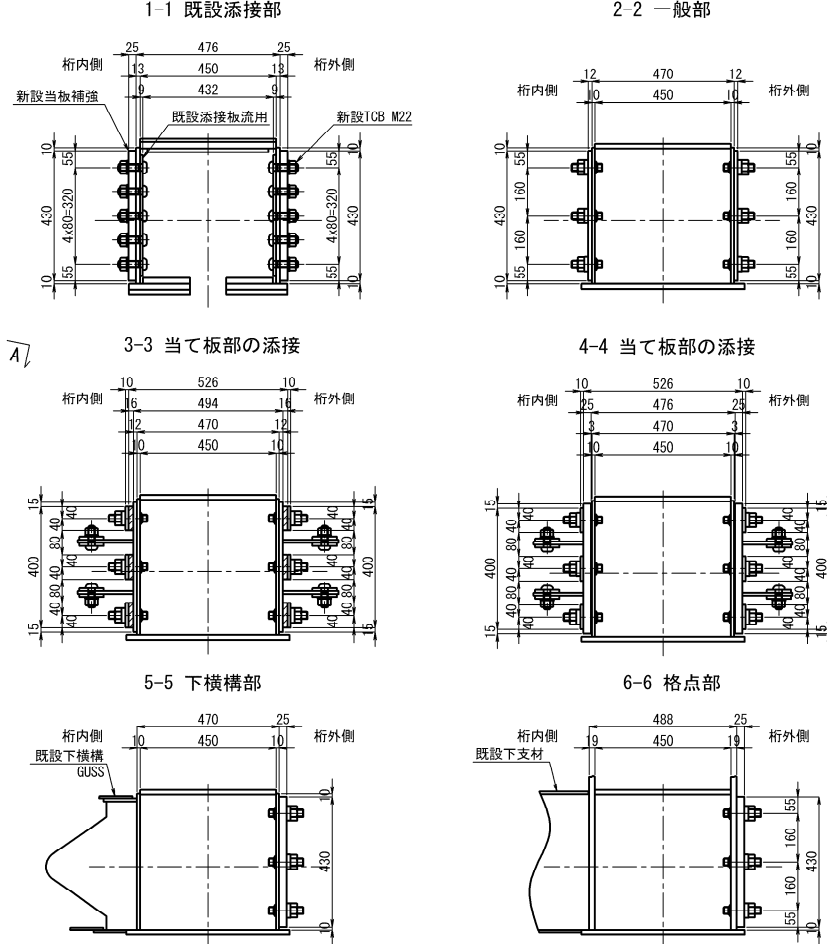
平面図
A-A



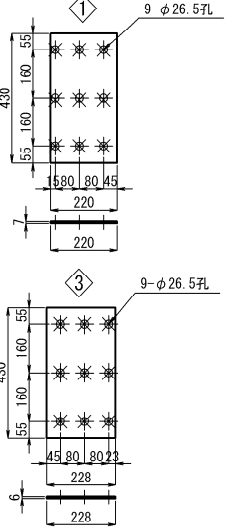
側面図(桁内側)



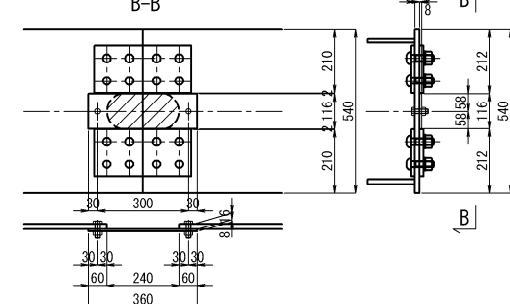
断面図 S=1:25



FILL PL詳細 S=1:25

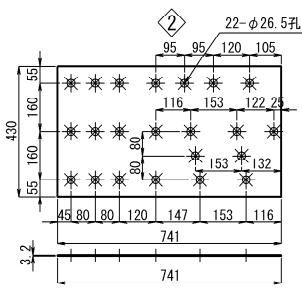


ハンドホール詳細 S=1:25



- 1 主構当たり数量(製作数:1基)
1-Cov PL 116 x 8 x 360 (SS400)
2 BN M16 x 60 (SS400) (1種1座金)
既設撤去数量(1基)
1-Cov PL 116 x 8 x 360 (SS400)
2-BN M16 x 60 (SS400) (1種1座金)

FILL PL詳細 S=1:25



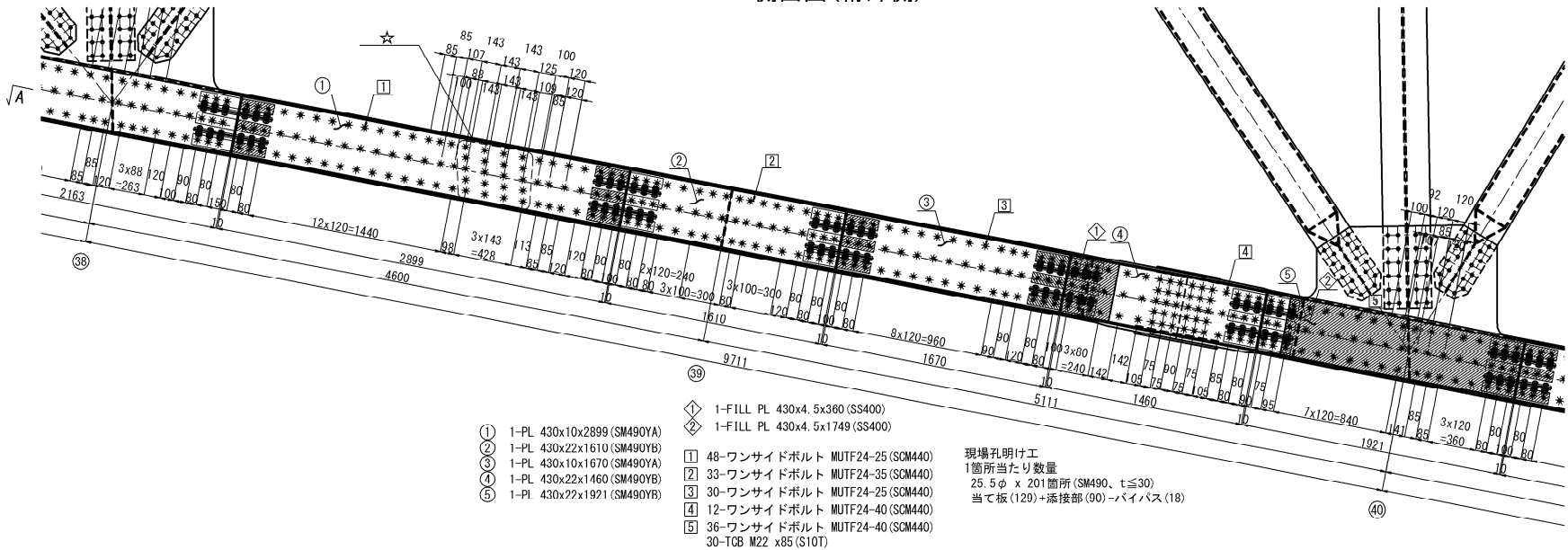
- 注記
1 本図面は完成図を基に作成しているため、現地に寸法を確認した上で施工を行うこと。
2 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
3 ※印のボルトは、TCB M22を示す
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。
※印のボルトは、MUTF 24を示す
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
4 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。
5 印はフィラープレートを示す。
6 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。
7 ※印部材は、「滝ノ沢橋(上り線) A1橋台 制震構造 詳細図(その2)」を参照すること。
8 添接部詳細は、「滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その35)~(その40)」を参照すること。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その24)		
縮 尺	図示	図面番号	446/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その25) S=1:50

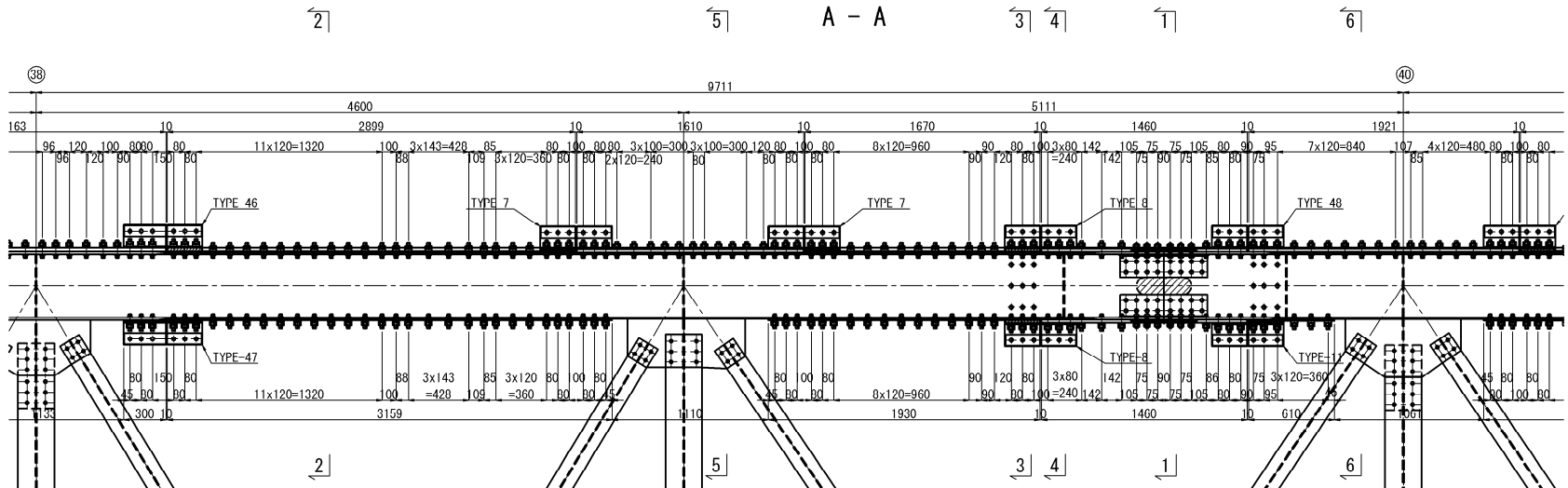
下弦材
AT2

側面図(桁外側)

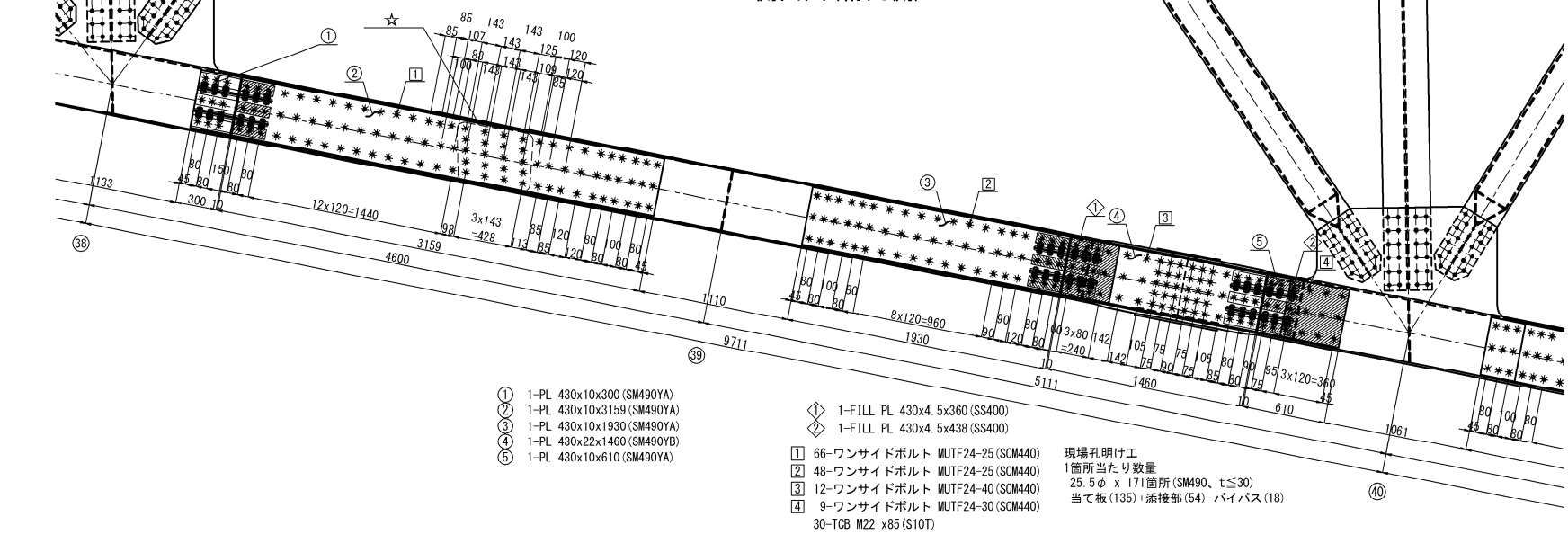


平面図

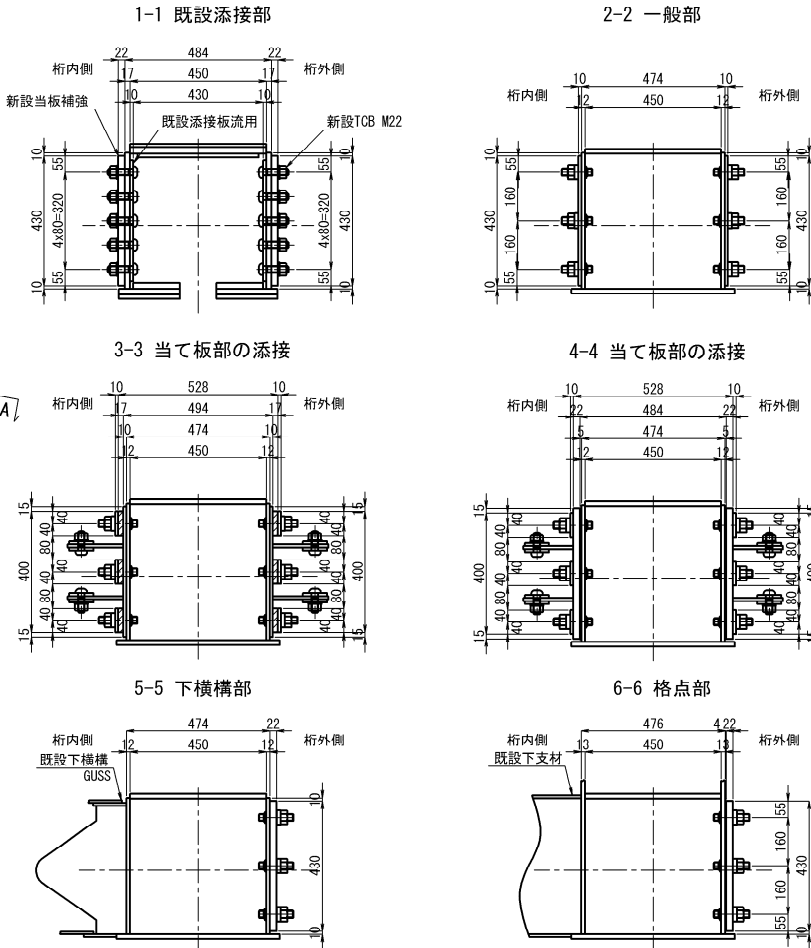
A - A



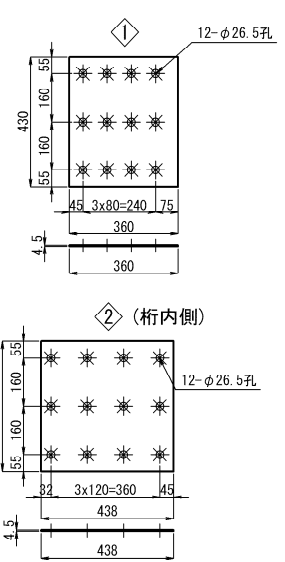
側面図(桁内側)



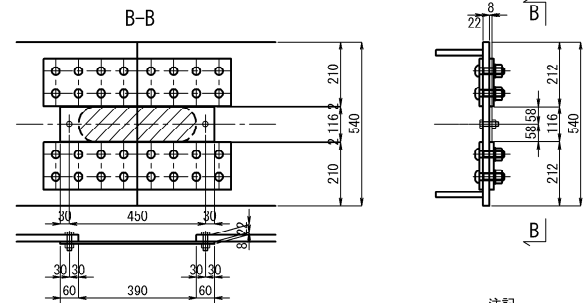
断面図 S=1:25



FILL PL詳細 S=1:25

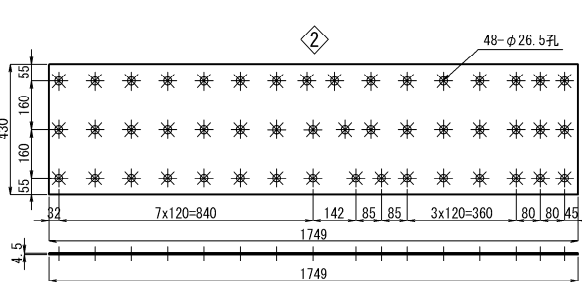


ハンドホール詳細 S=1:25



- 1主構当たり数量(製作数:1基)
1-Cov PL 116 x 8 x 510 (SS400)
2-BN M16 x 60 (SS400) (1種1座金)
- 既設撤去数量(1基)
1-Cov PL 116 x 8 x 510 (SS400)
2-BN M16 x 60 (SS400) (1種1座金)

FILL PL詳細 S=1:25



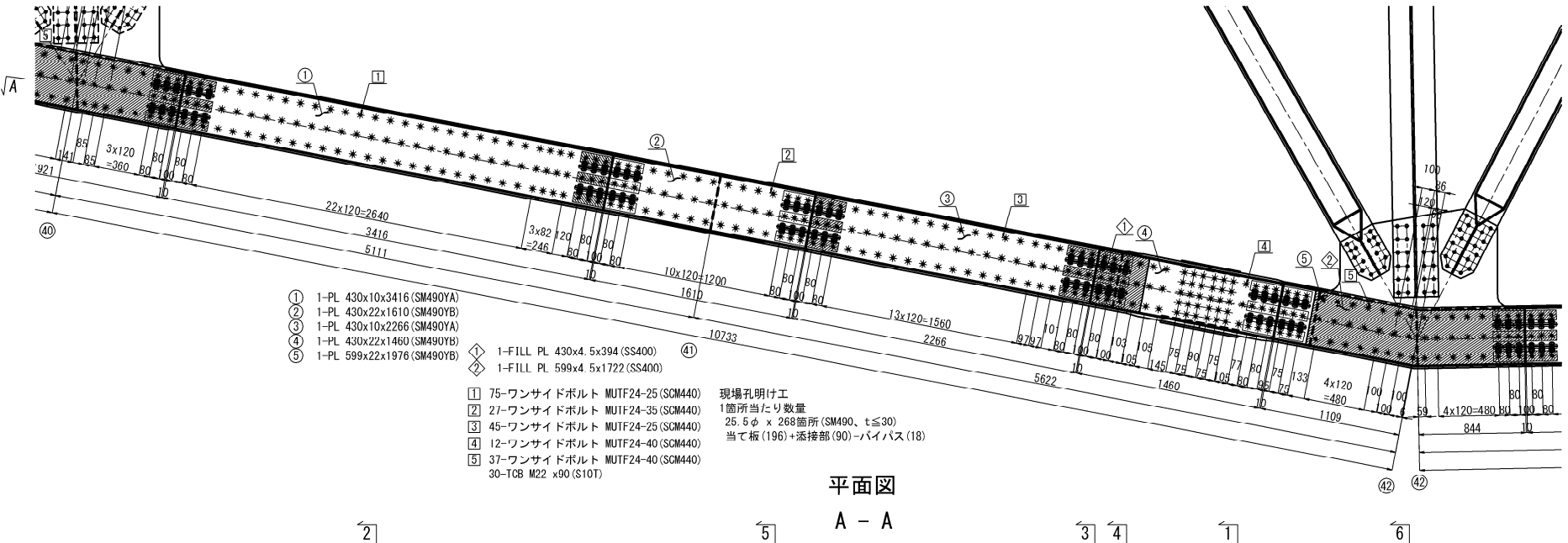
- 注記
1. 本図面は完成図を基に作成しているため、現地にて寸法を確認した上で施工を行うこと。
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
3. 印のボルトは、TGB M22を示す
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。
*印のボルトは、MUTF 24を示す
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
4. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。
5. 印はフィラープレートを示す。
6. 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。
7. ☆印部材は、「滝ノ沢橋(上り線) A1橋台 制震構造 詳細図(その3)」を参照すること。
8. 添接部詳細は、「滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その35)~(その40)」を参照すること。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その25)		
縮 尺	図示	図面番号	447/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その26) S=1:50

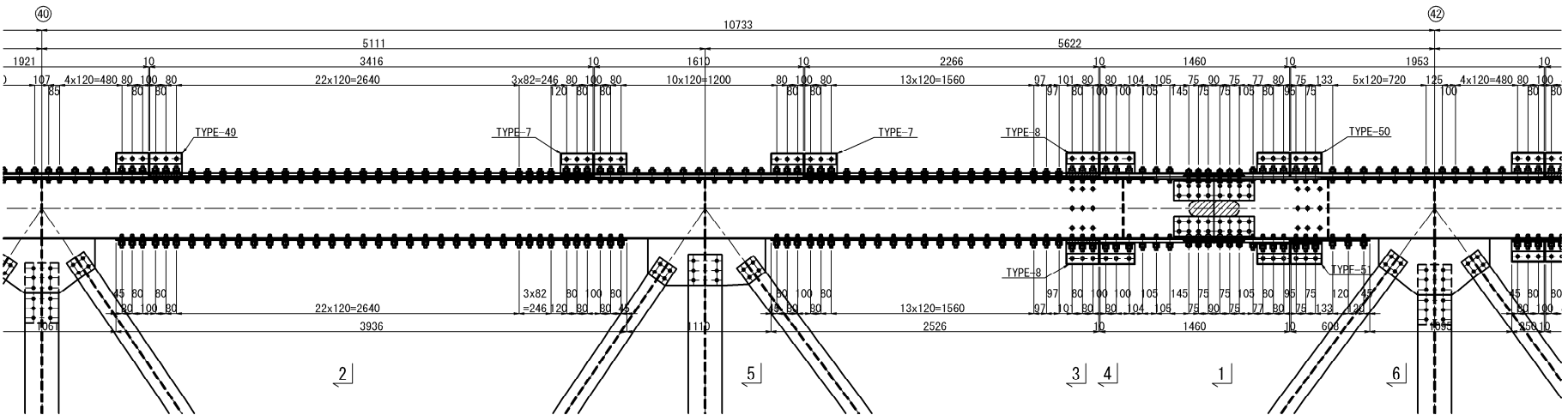
下弦材
AT2

側面図(桁外側)

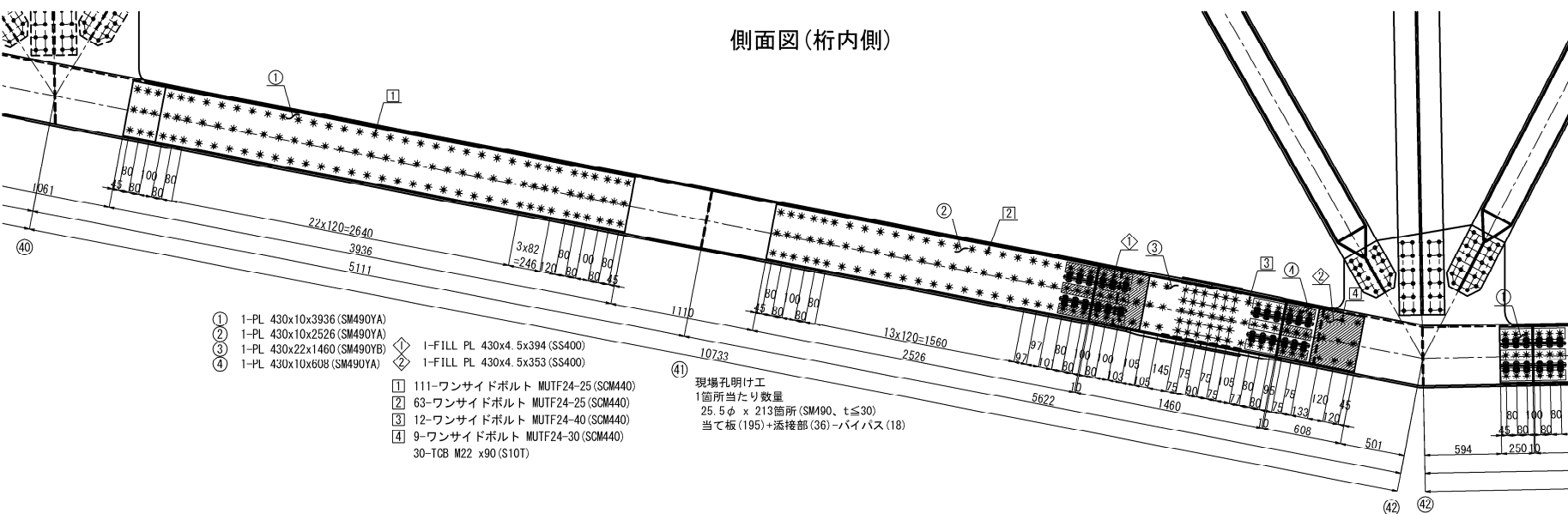


平面図

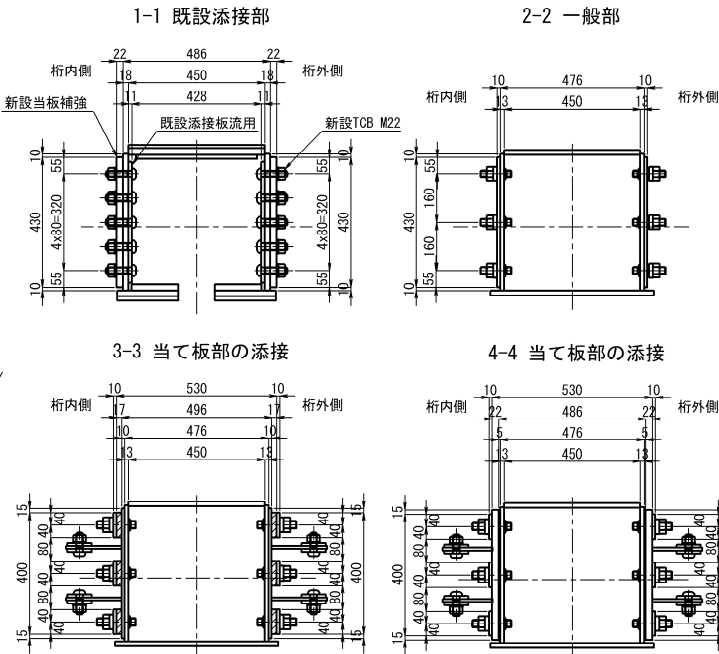
A - A



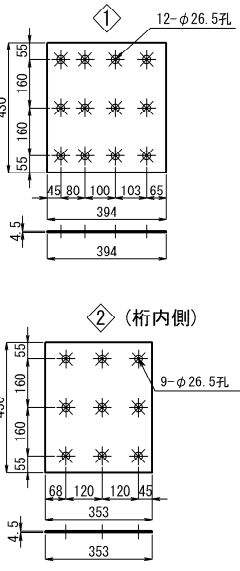
側面図(桁内側)



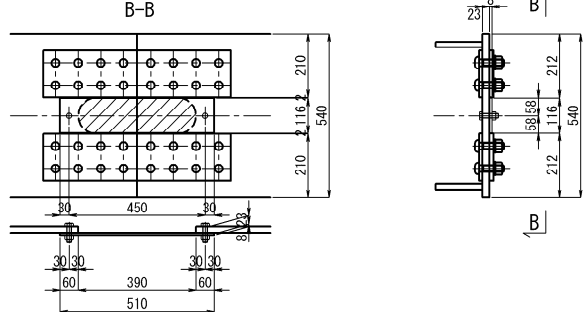
断面図 S=1:25



FILL PL詳細 S=1:25

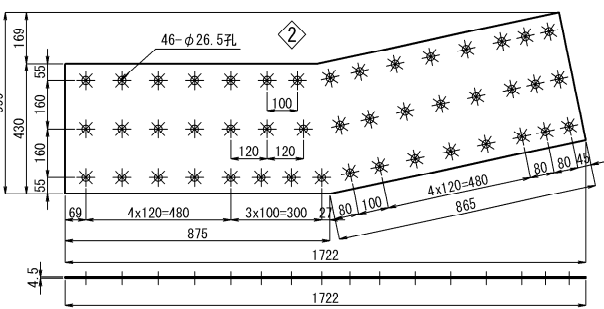


ハンドホール詳細 S=1:25



1主構当たり数量(製作数:1基)
1-Cov PL 116 x 8 x 510 (SS400)
2-BN M16 x 60 (SS400) (1種1座金)
既設撤去数量(1基)
1-Cov PL 116 x 8 x 510 (SS400)
2-BN M16 x 60 (SS400) (1種1座金)

FILL PL詳細 S=1:25



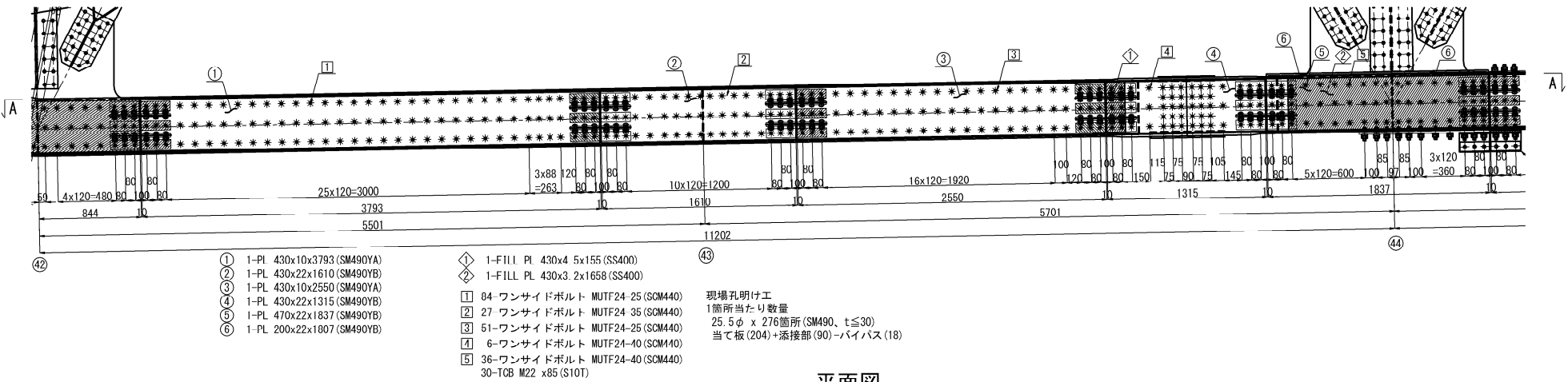
注記
1. 本図面は完成図を基に作成しているため、現地に寸法を確認した上で施工を行うこと。
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
3. ◆印のボルトは、TCB M22を示す。
*印のボルトは、MUTF 24を示す。
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。
4. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。
5. 印はフィラフレータを示す。
6. 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。
7. 添接部詳細は、「滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その35)~(その40)」を参照すること。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その26)		
縮尺	図示	図面番号	448/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その27) S=1:50

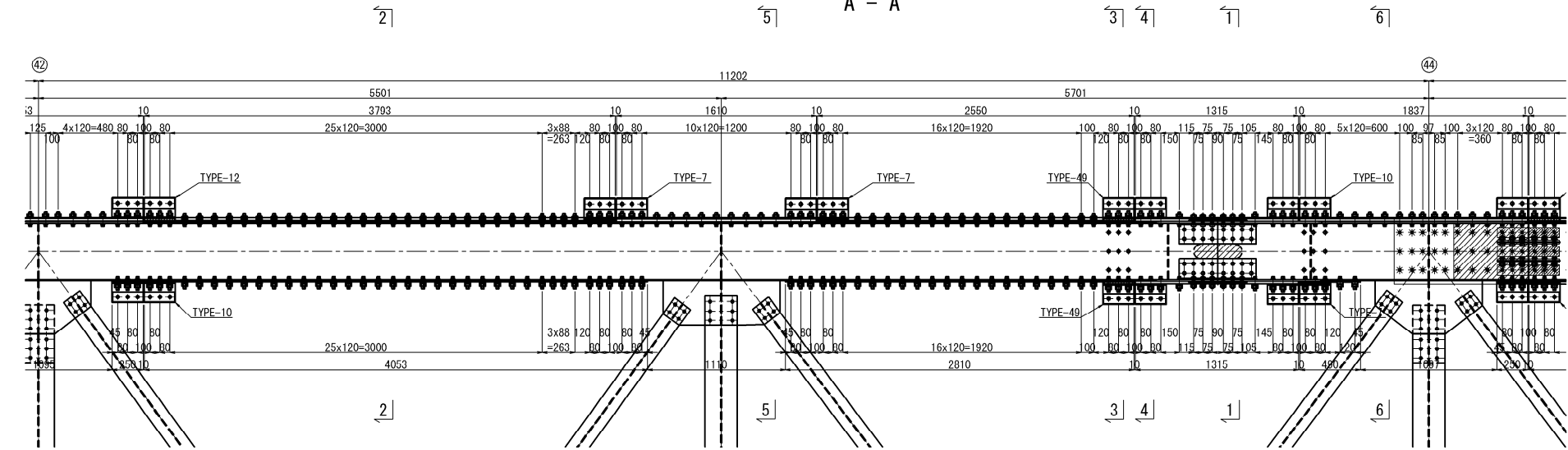
下弦材 21
AT2

側面図(桁外側)

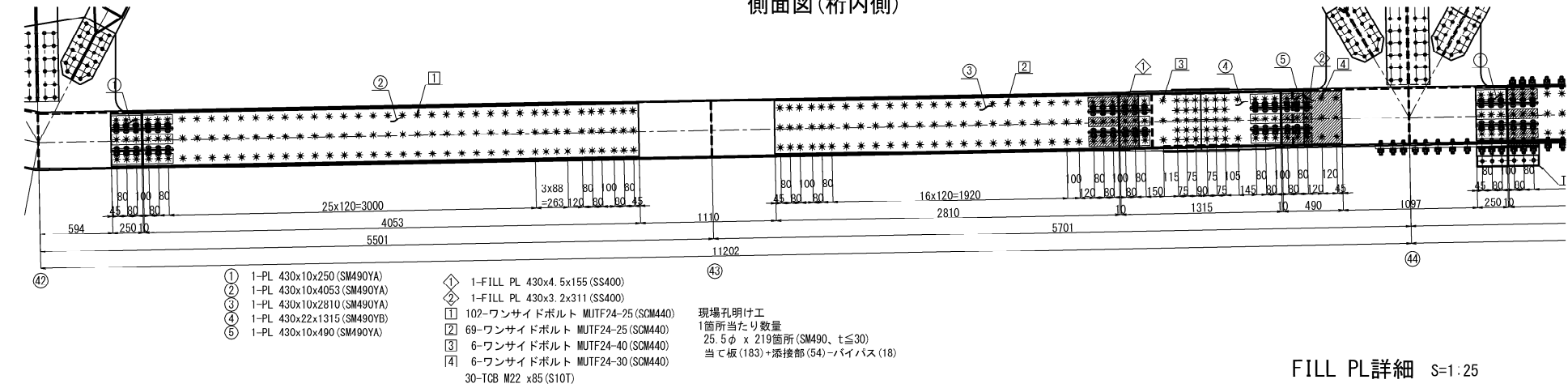


平面図

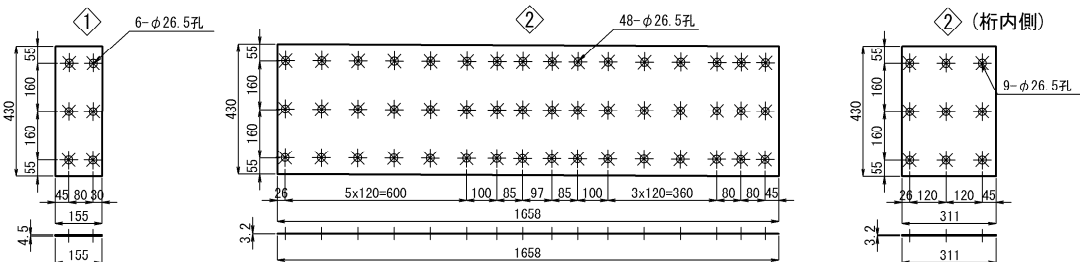
A - A



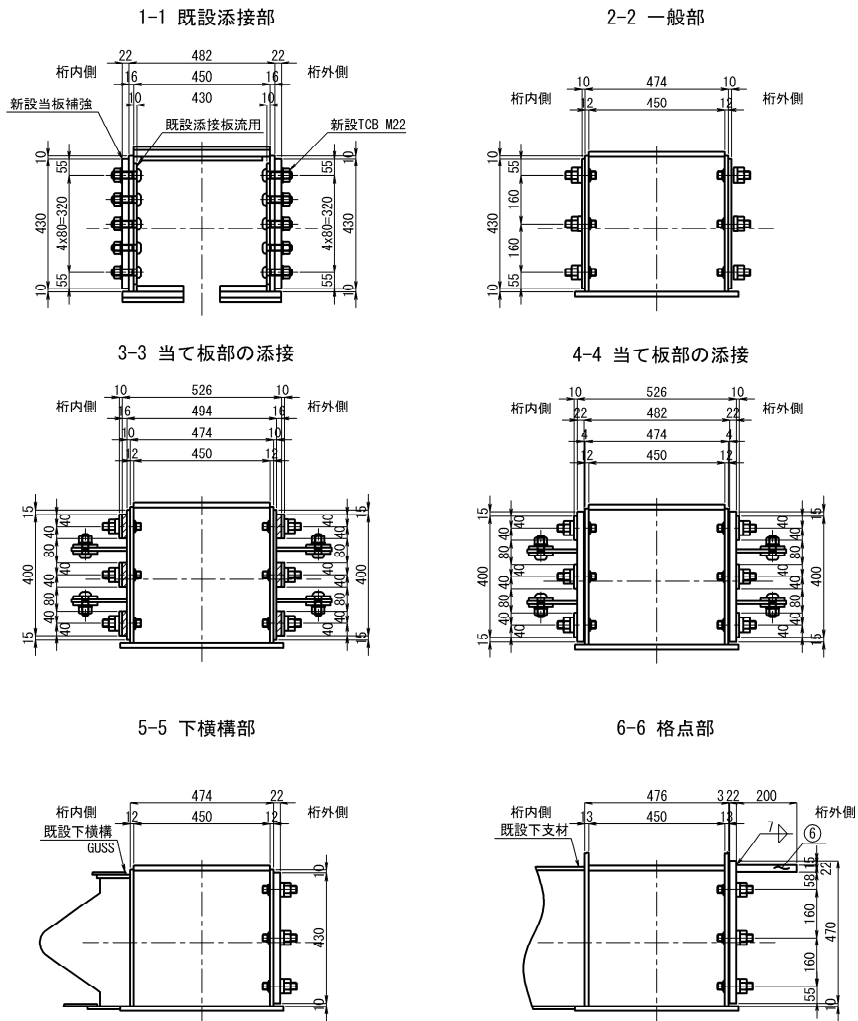
側面図(桁内側)



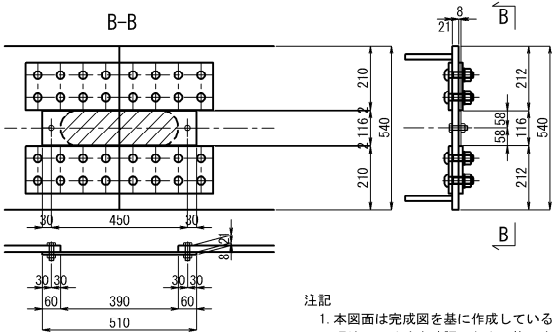
FILL PL詳細 S=1:25



断面図 S=1:25



ハンドホール詳細 S=1:25



注記

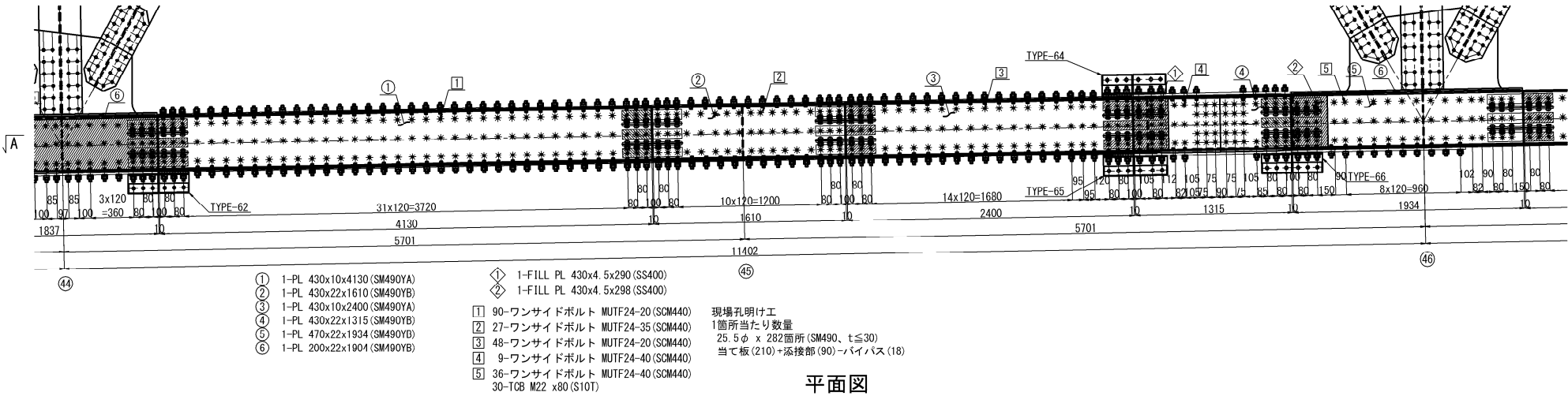
1. 本図面は完成図を基に作成しているため、現地に寸法を確認した上で施工を行うこと。
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
3. 印のボルトは、TCB M22を示す。
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。
4. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。
5. 印はフィラープレートを示す。
6. 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。
7. 添接部詳細は、「滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その35)~(その40)」を参照すること。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その27)	縮尺	図示 図面番号 449/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社	施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社
事務所名	長野工事事務所		

下弦材 22-1
AT2

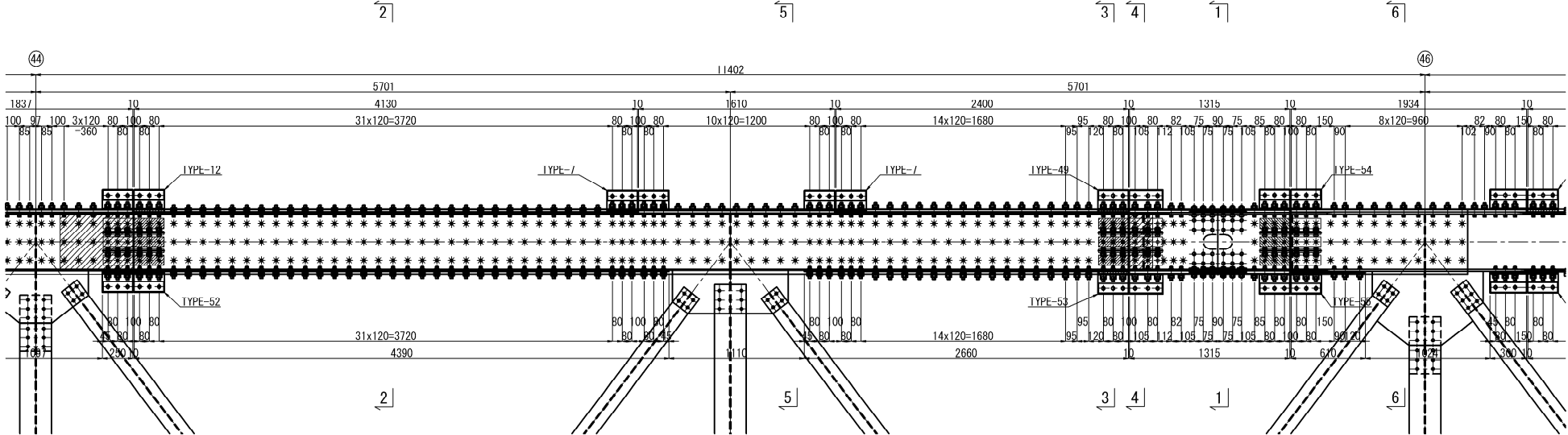
断面図 S=1:25

側面図(桁外側)

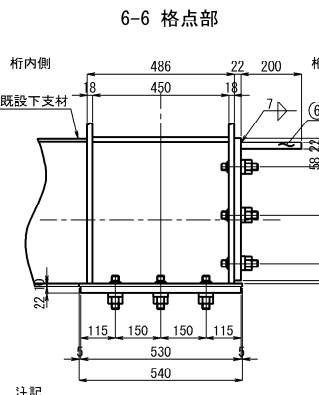
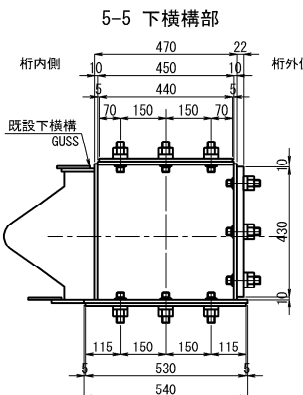
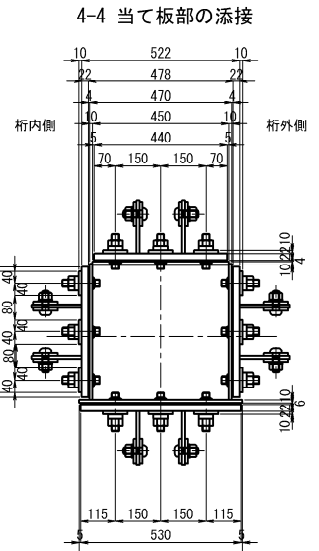
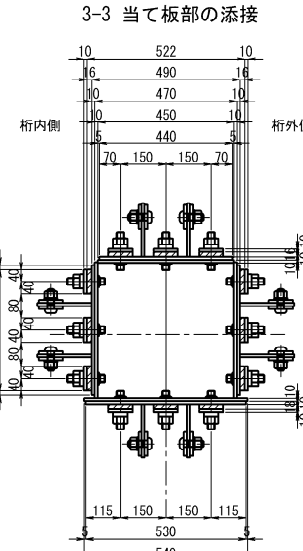
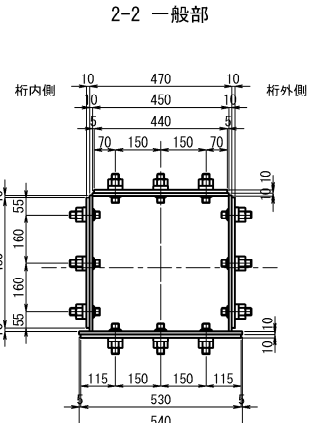
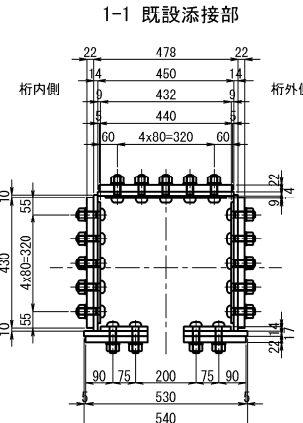
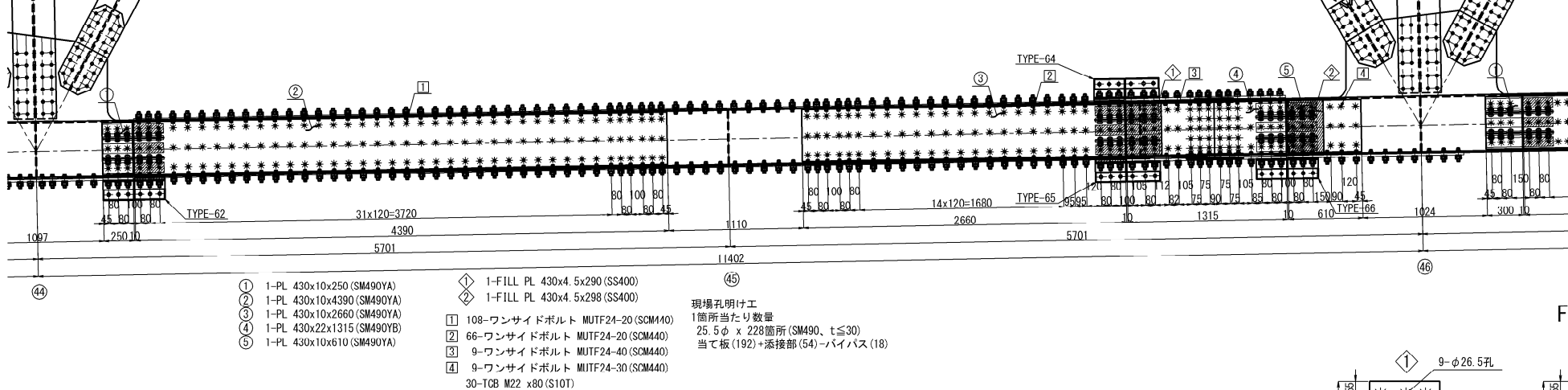


平面図

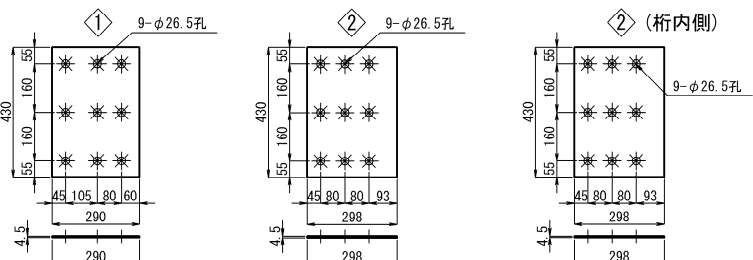
A - A



側面図(桁内側)



FILL PL詳細 S=1:25

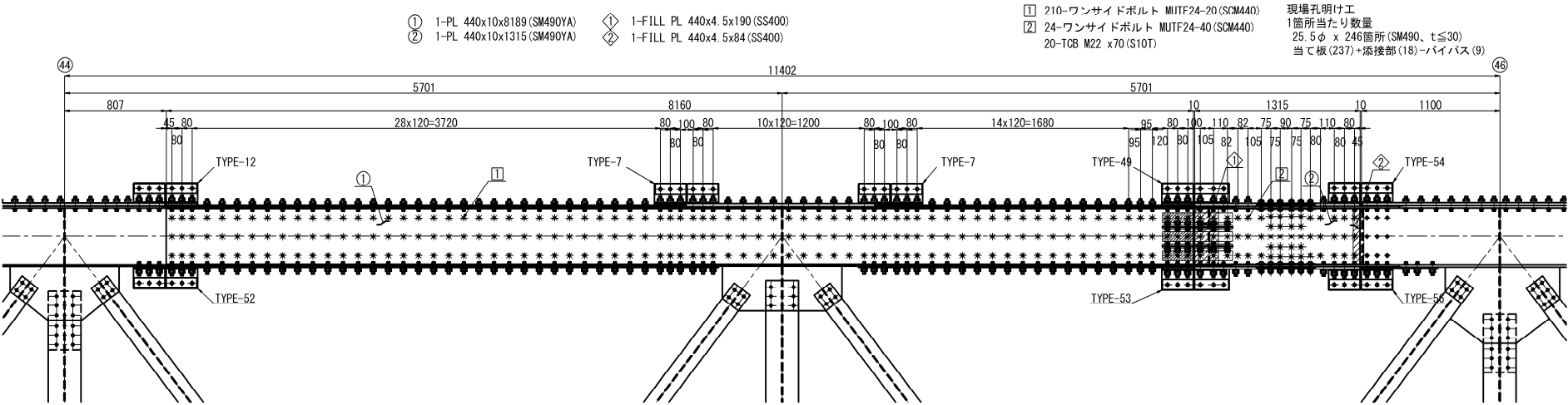


注記
1. 本図面は完成図を基に作成しているため、現地に寸法を確認した上で施工を行うこと。
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
3. ◆印のボルトは、TGB M22を示す。ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。
※印のボルトは、MUTF 24を示す。ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
4. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。
5. 斜印はフィラープレートを示す。
6. 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。
7. 添接部詳細は、「滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その35)~(その40)」を参照すること。

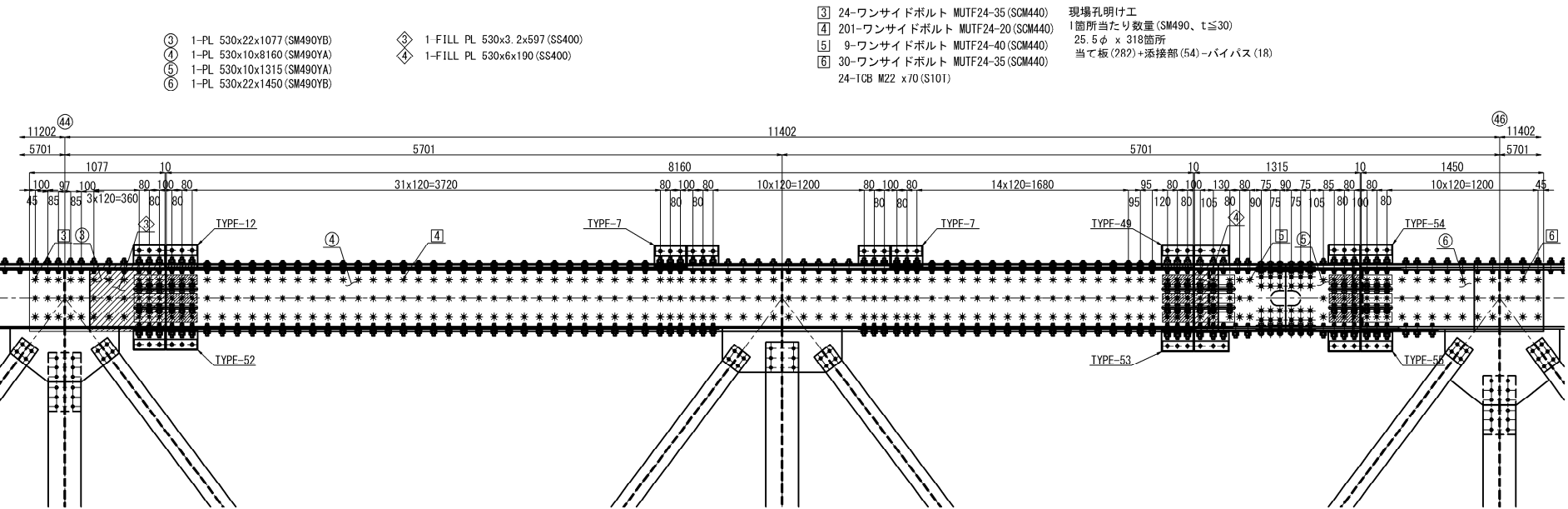
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線)		
	構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その28)		
縮 尺	図示	図面番号	450/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

下弦材 22 -2
AT2

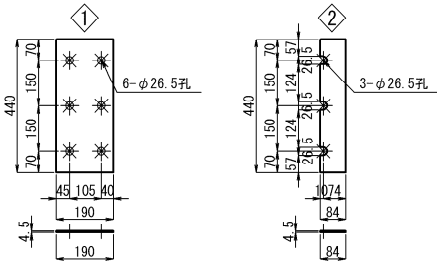
Top. PL側



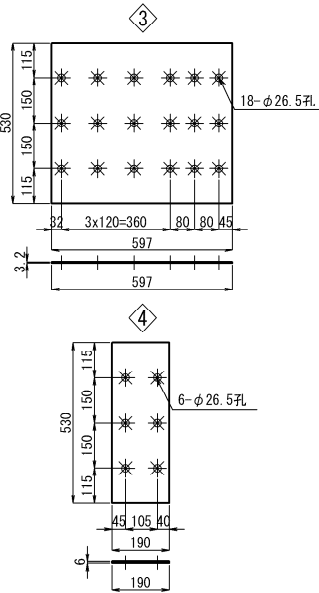
Bott. PL側



FILL PL詳細 S=1:25



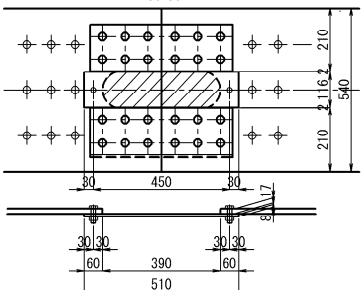
FILL PL詳細 S=1:25



ハンドホール詳細 S=1:25

当板補強前

A-A

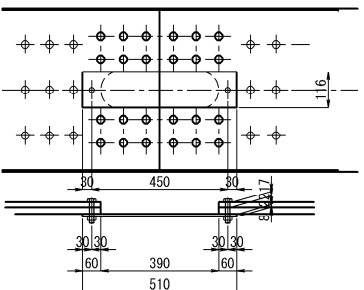


既設撤去数量(1基)
1-Cov PL 116 x 8 x 510 (SS400)
2-BN M16 x 60 (SS400) (1種1座金)

ハンドホール詳細 S=1:25

当板補強後

B-B



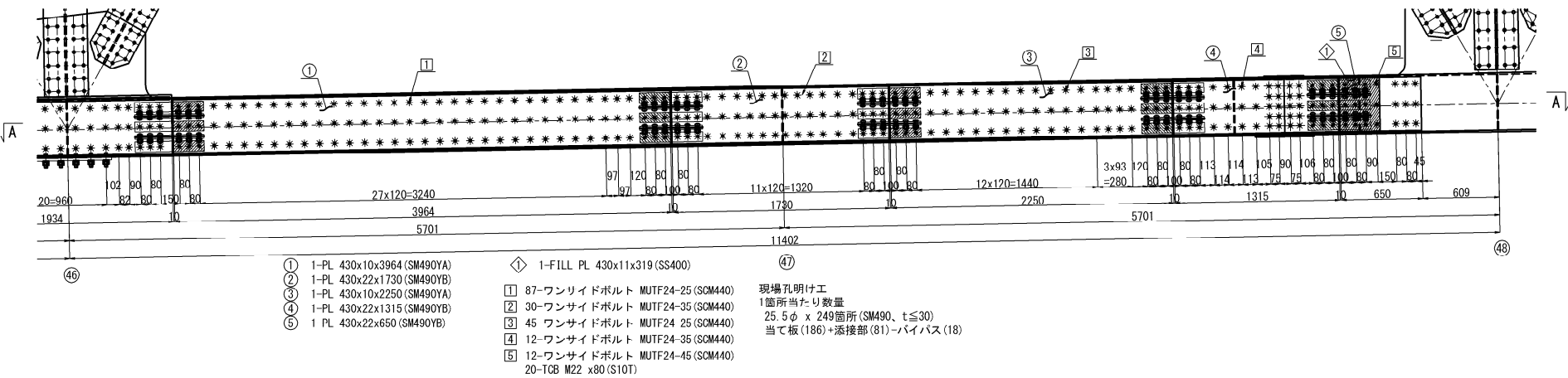
1主横当たり数量(製作数:1基)
1-Cov PL 116 x 8 x 510 (SS400)
2-BN M16 x 70 (SS400) (1種1座金)

- 注記
1. 本図面は完成図を基に作成しているため、現地にて寸法を確認した上で施工を行うこと。
 2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 3. ◆印のボルトは、TCB M22を示す。
※印のボルトは、MUTF 24を示す。
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。
 4. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。
 5. ◆印はフィラープレートを示す。
 6. 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。
 7. 添接部詳細は、「滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その35)～(その40)」を参照すること。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線)		
	構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その29)		
縮 尺	図示	図面番号	451/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

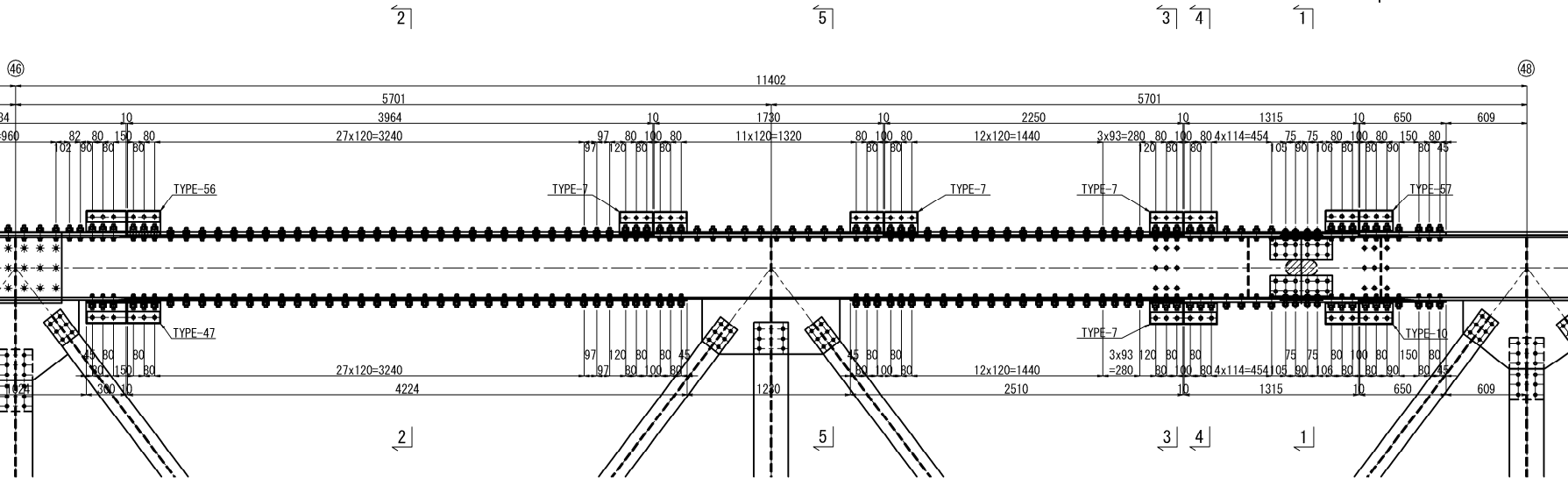
下弦材
AT2

側面図(桁外側)

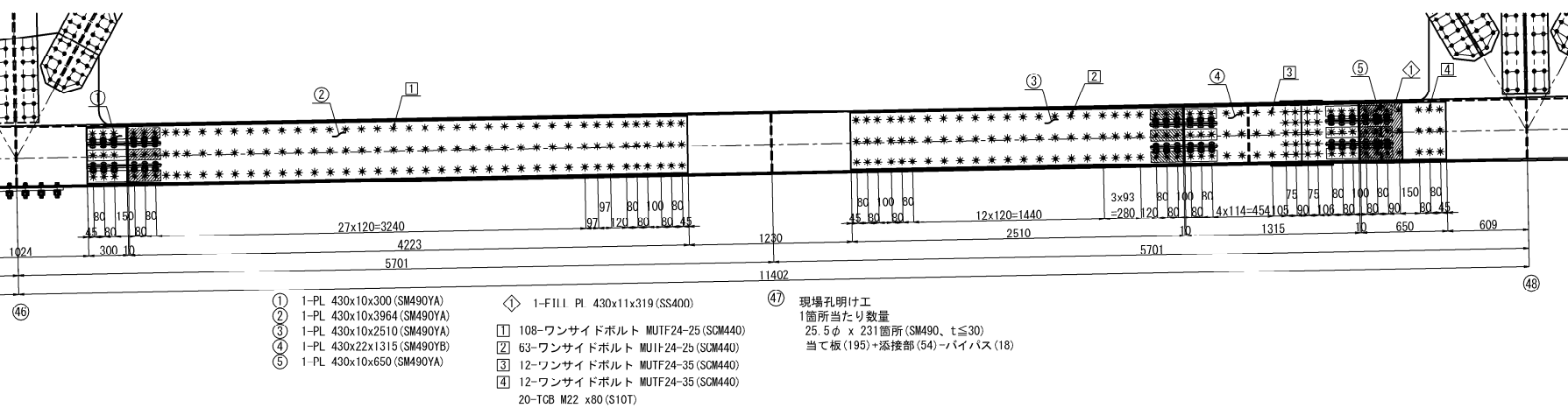


平面図

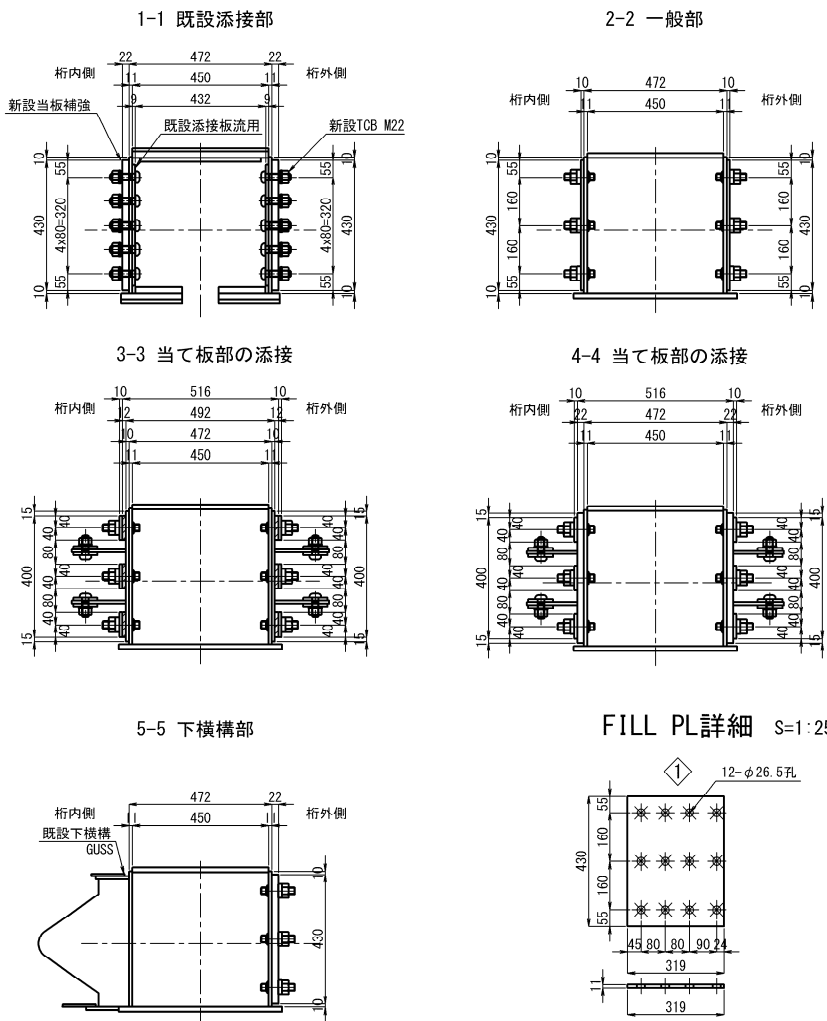
A - A



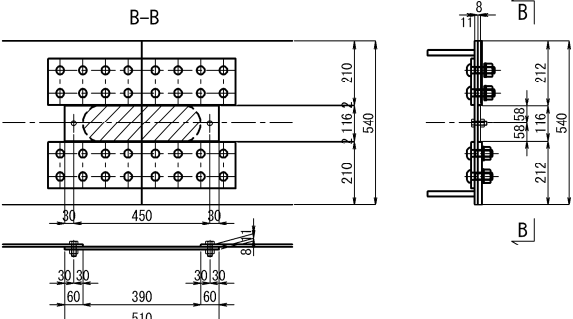
側面図(桁内側)



断面図 S=1:25



ハンドホール詳細 S=1:25



1主横当たり数量(製作数:1基)
1-Cov PL 116 x 8 x 510 (SS400)
2-BN M16 x 60 (SS400) (1種1座金)
既設撤去数量(1基)
1-Cov PL 116 x 8 x 510 (SS400)
2-BN M16 x 60 (SS400) (1種1座金)

注記
1. 本図面は完成図を基に作成しているため、現地にて寸法を確認した上で施工を行うこと。
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
3. ◆印のボルトは、TCB M22を示す
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。
※印のボルトは、MUTF 24を示す
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
4. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。
5. 印はフィラープレートを示す。
6. 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。
7. 添接部詳細は、「滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その35)~(その40)」を参照すること。

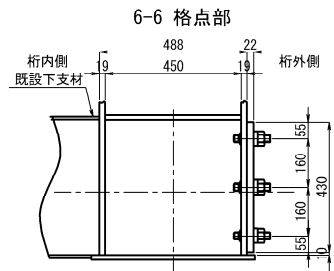
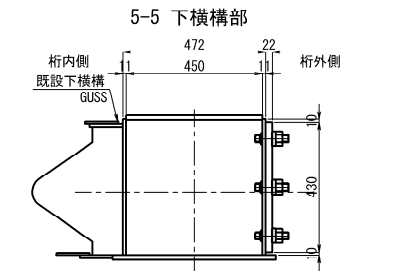
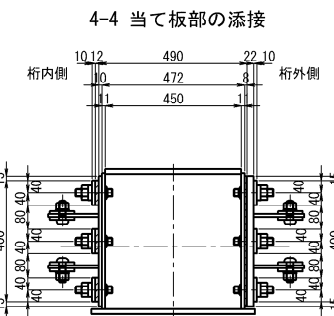
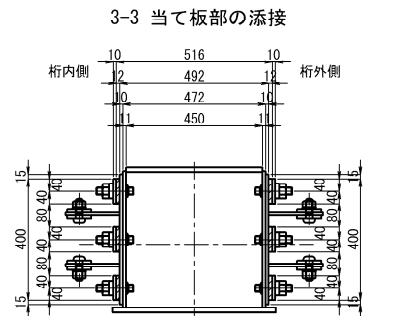
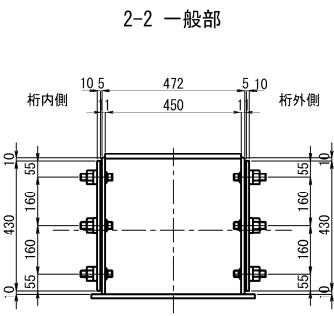
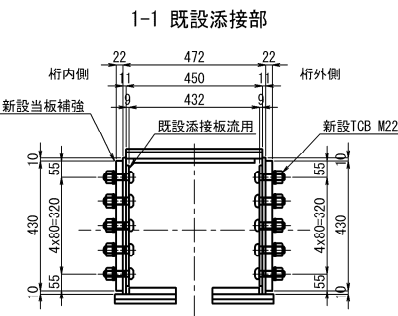
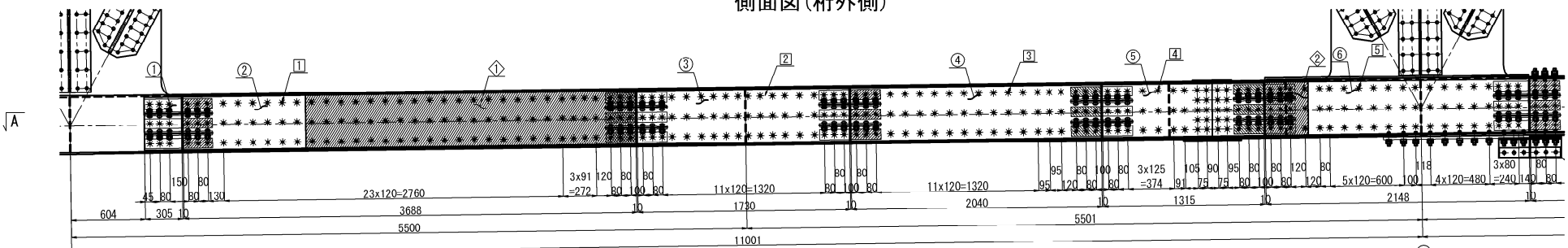
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線)		
	構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その30)		
縮 尺	図示	図面番号	452/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その31) S=1:50

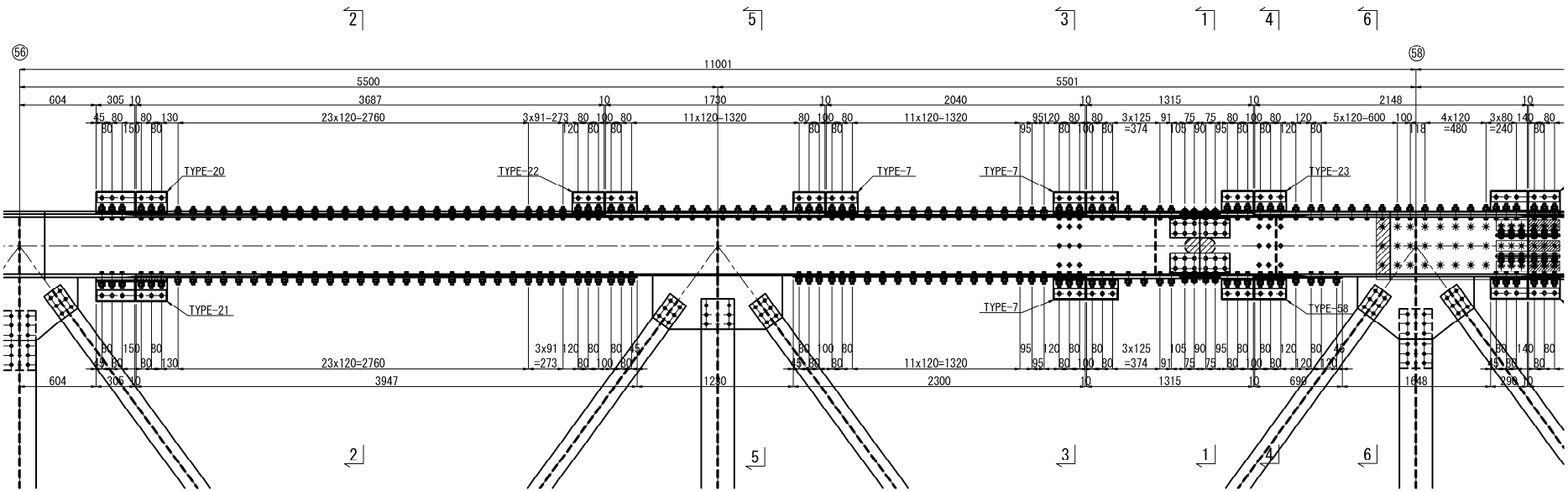
下弦材 28
AT2

側面図(桁外側)

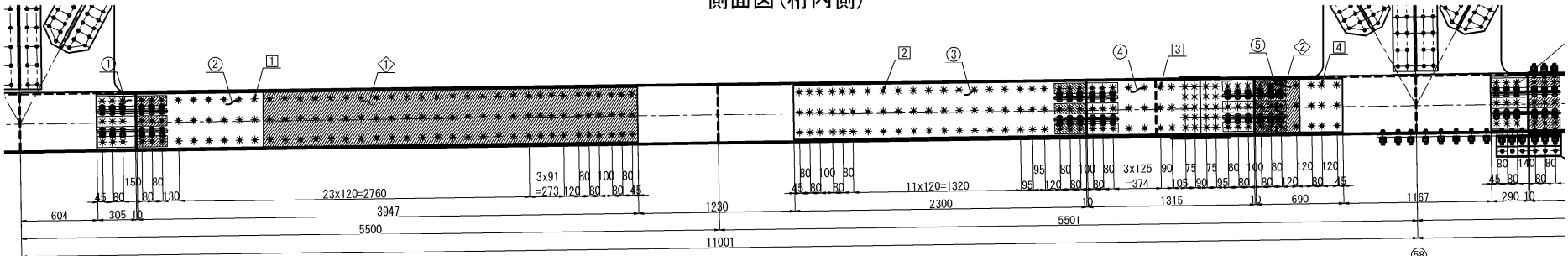
断面図 S=1:25



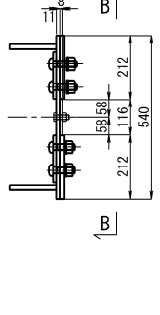
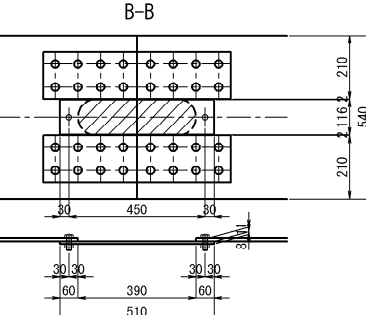
平面図
A - A



側面図(桁内側)



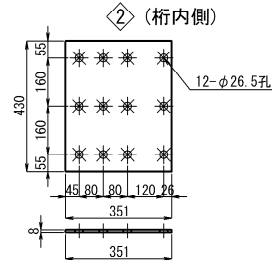
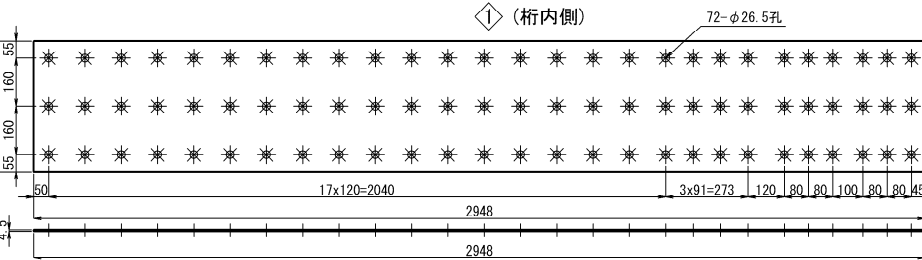
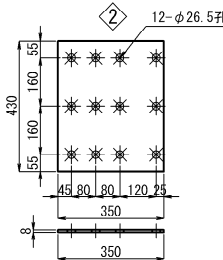
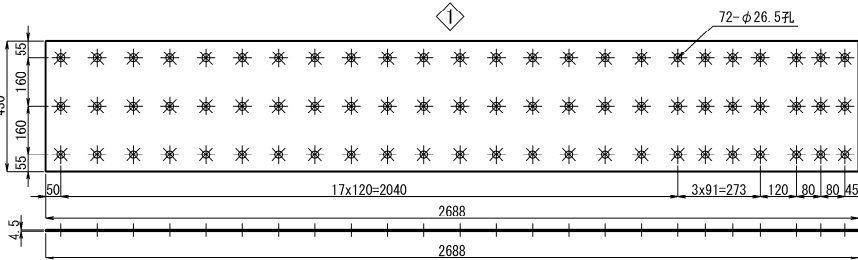
ハンドホール詳細 S=1:25



1主桁当たり数量(製作数:1基)
1-Gov PL 116 x 8 x 510 (SS400)
2-BN M16 x 60 (SS400) (1種1座金)
既設撤去数量(1基)
1-Gov PL 116 x 8 x 510 (SS400)
2-BN M16 x 60 (SS400) (1種1座金)

注記
1. 本図面は完成図を基に作成しているため、
現地にて寸法を確認した上で施工を行うこと。
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
3. 印のボルトは、TCB M22を示す
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。
*印のボルトは、MUTF 24を示す
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
4. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。
5. 印はフィラープレートを示す。
6. 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。
7. 添接部詳細は、「滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工
(当て板補強) 詳細図(その35)~(その40)」を
参照すること。

FILL PL詳細 S=1:25

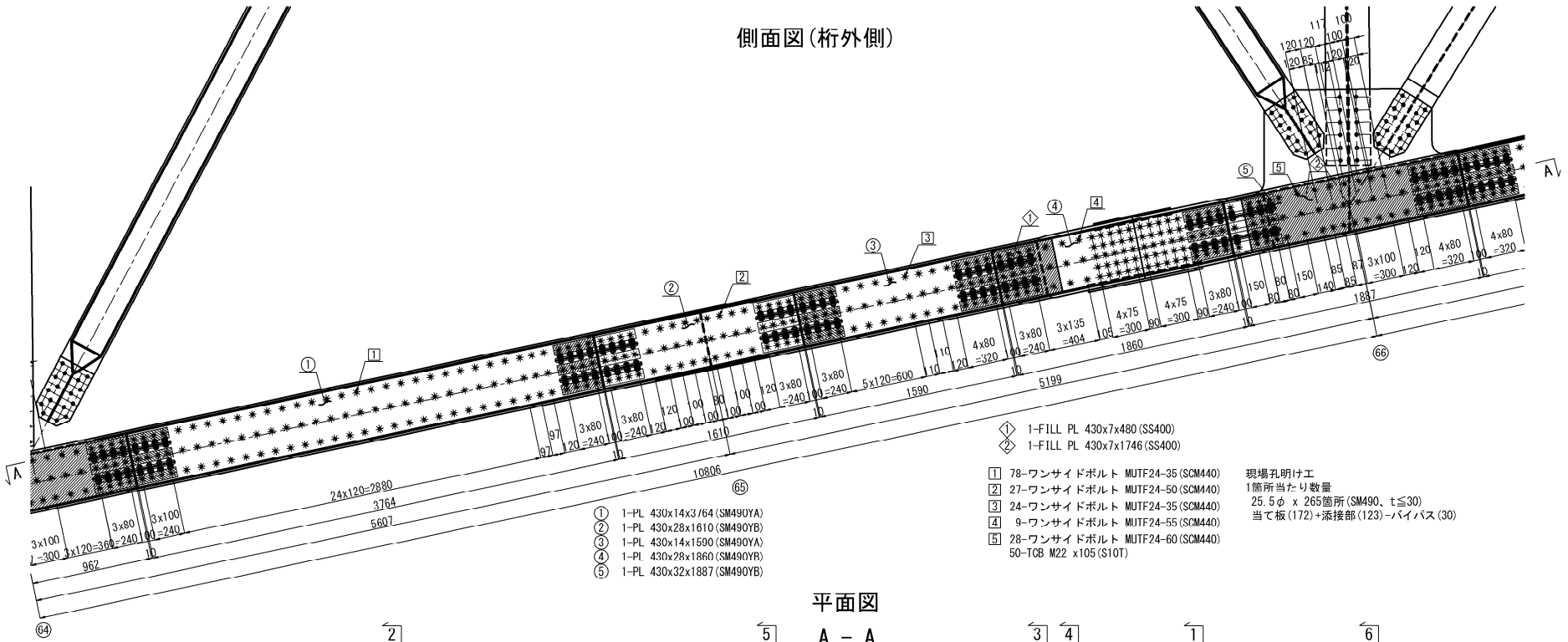


長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線)		
	構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その31)		
縮 尺	図示	図面番号	453/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その32) S=1:50

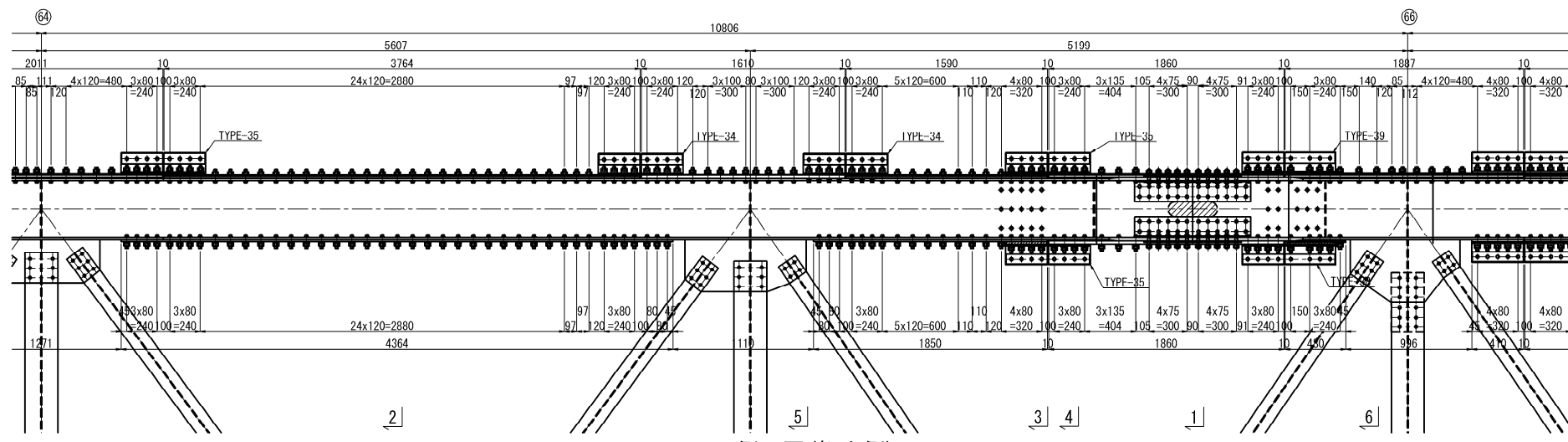
下弦材
AT2

側面図(桁外側)

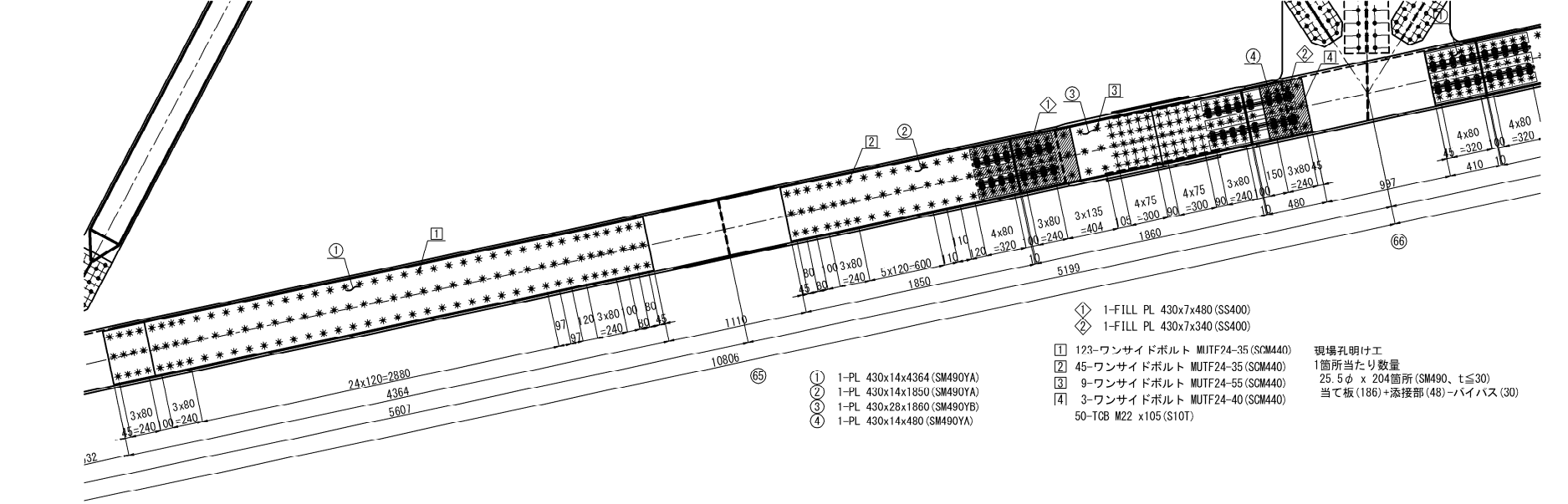


平面図

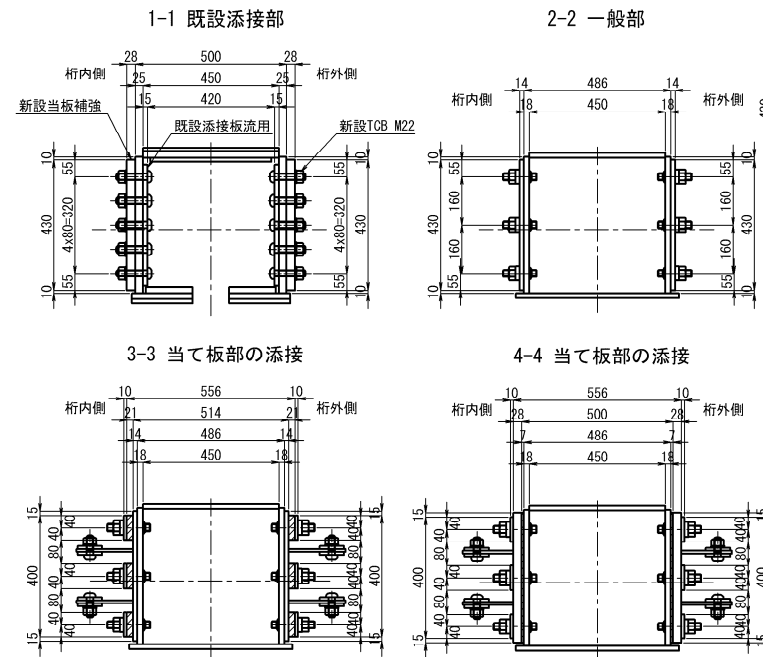
A - A



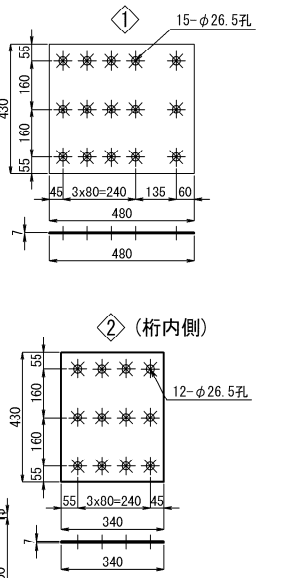
側面図(桁内側)



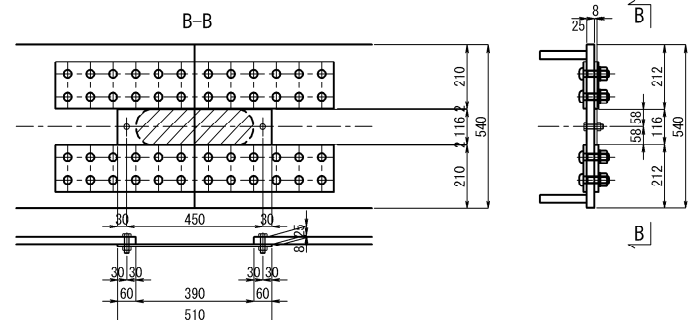
断面図 S=1:25



FILL PL詳細 S=1:25



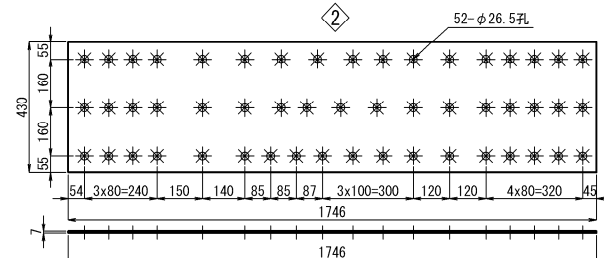
ハンドホール詳細 S=1:25



1主構当たり数量(製作数:1基)
1-Cov PL 116 x 8 x 510 (SS400)
2-BN M16 x 60 (SS400) (1種1座命)

既設撤去数量(1基)
1-Cov PL 116 x 8 x 510 (SS400)
2 BN M16 x 60 (SS400) (1種1座命)

FILL PL詳細 S=1:25

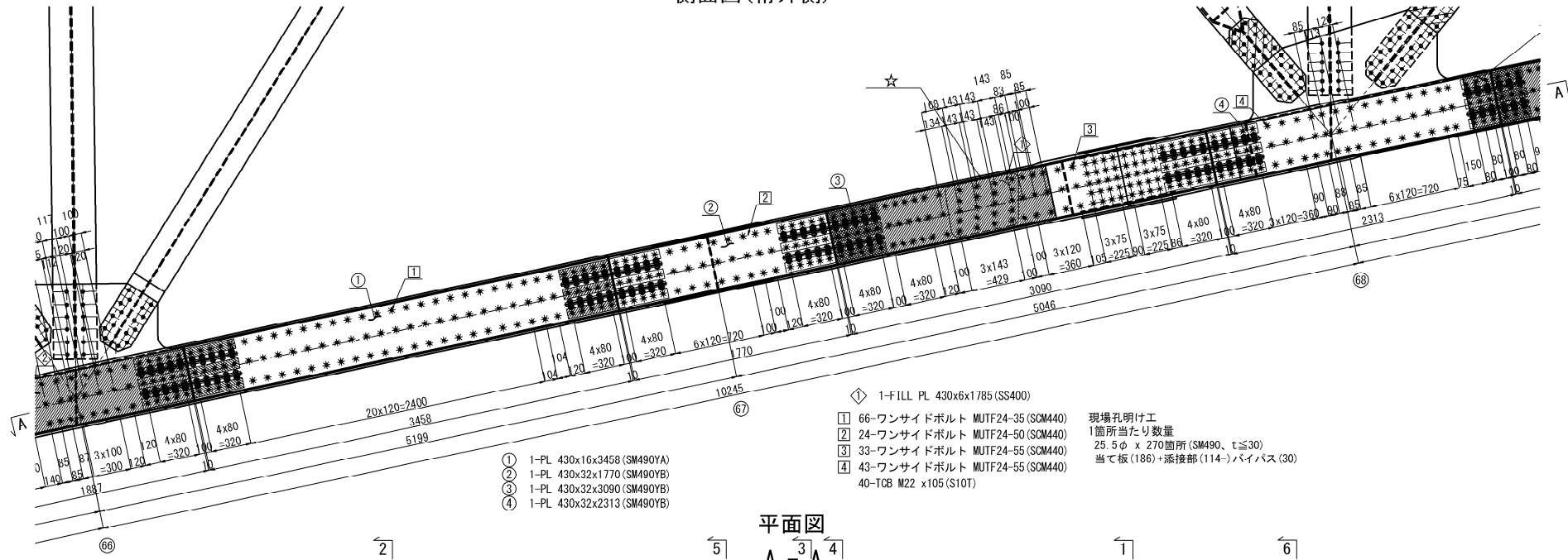


注記
1. 本図面は完成図を基に作成しているため、現地に寸法を確認した上で施工を行うこと。
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
3. ◆印のボルトは、TCB M22を示す。
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。
※印のボルトは、MUTF 24を示す。
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
4. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。
5. 印はフィラープレートを示す。
6. 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。
7. 添接部詳細は、「滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その35)~(その40)」を参照すること。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その32)		
縮 尺	図示	図面番号	454/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

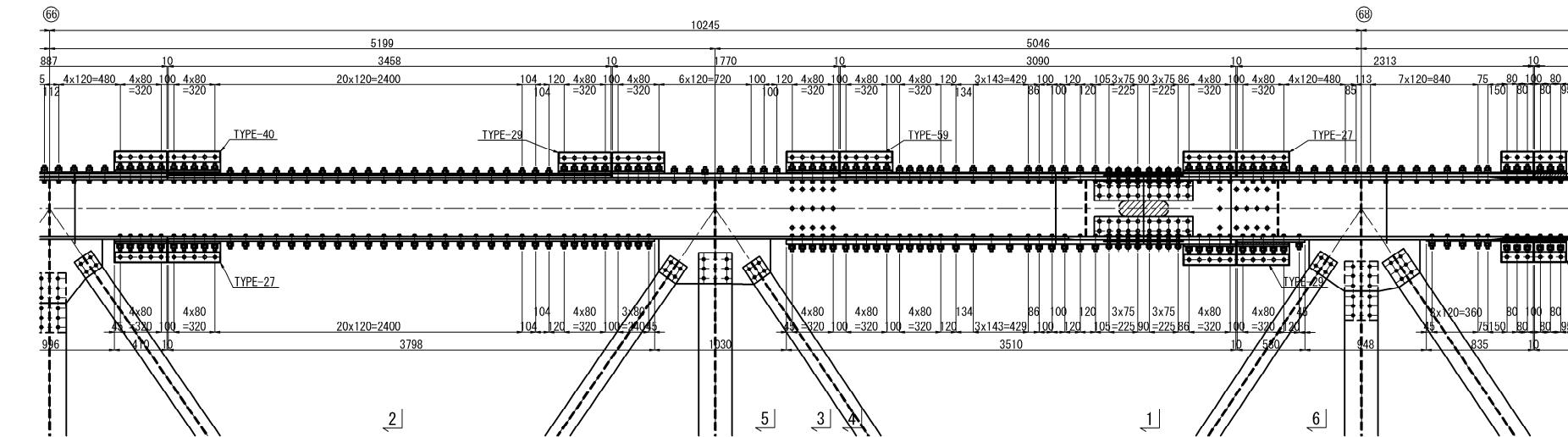
下弦材 33
AT2

側面図(桁外側)

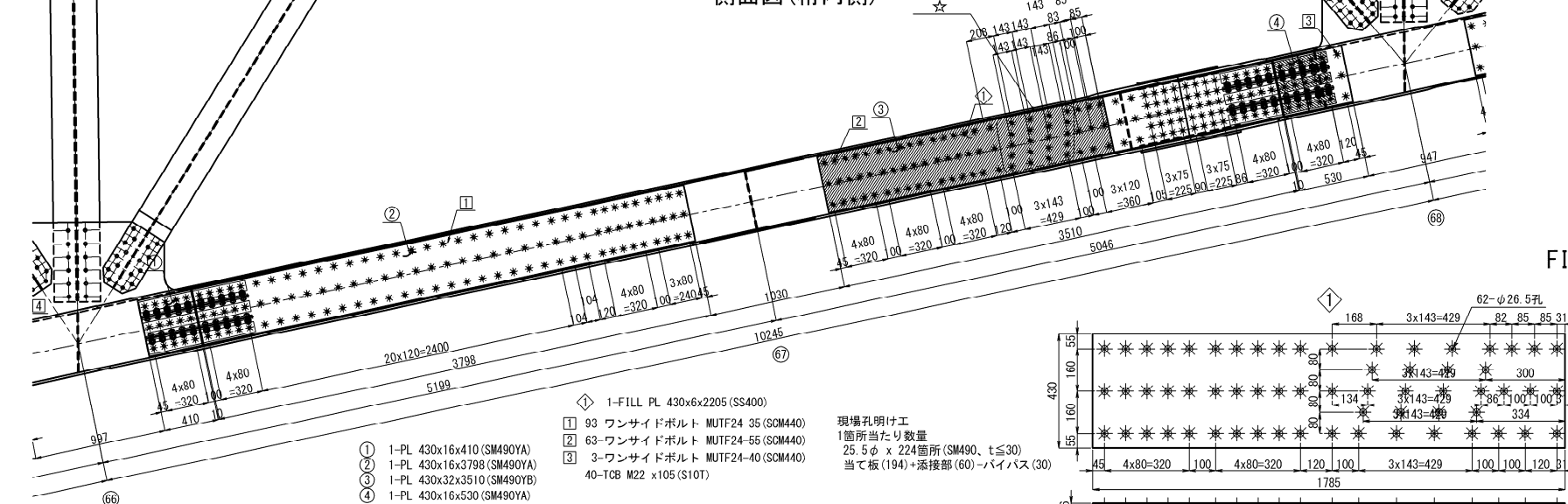


平面図

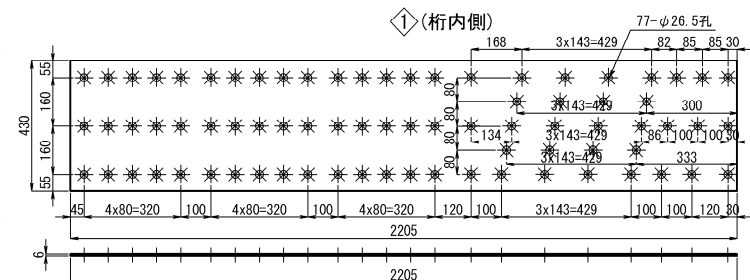
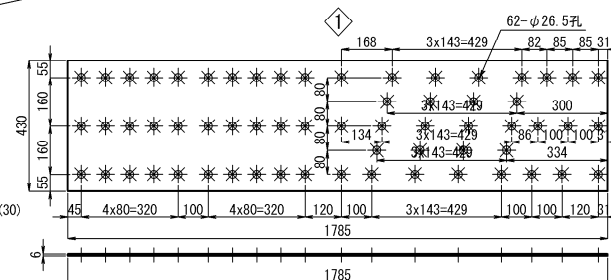
A - 3 A



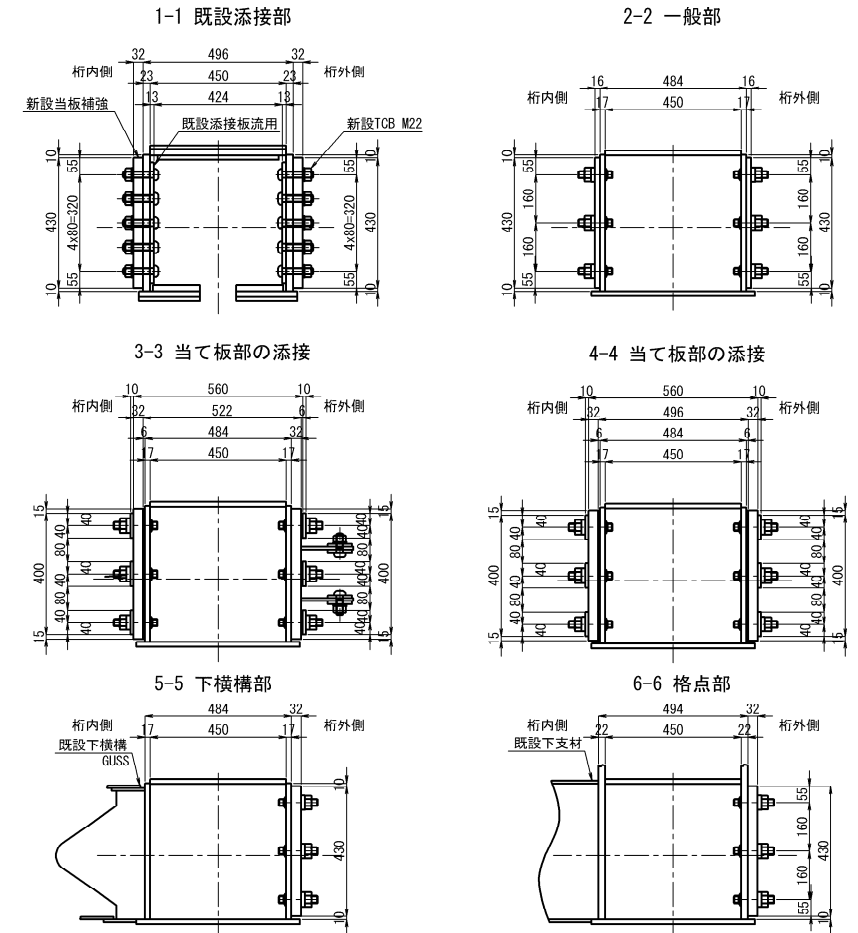
側面図(桁内側)



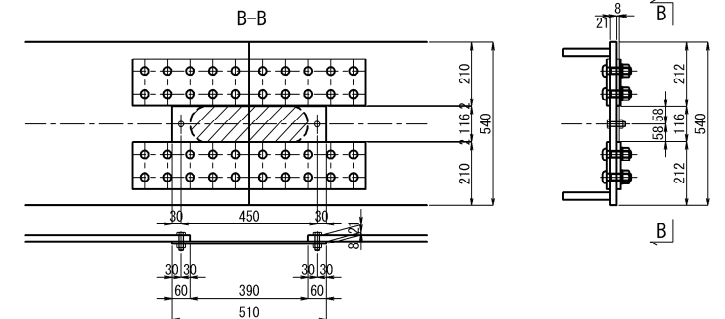
FILL PL詳細 S=1:25



断面図 S=1:25



ハンドホール詳細 S=1:25



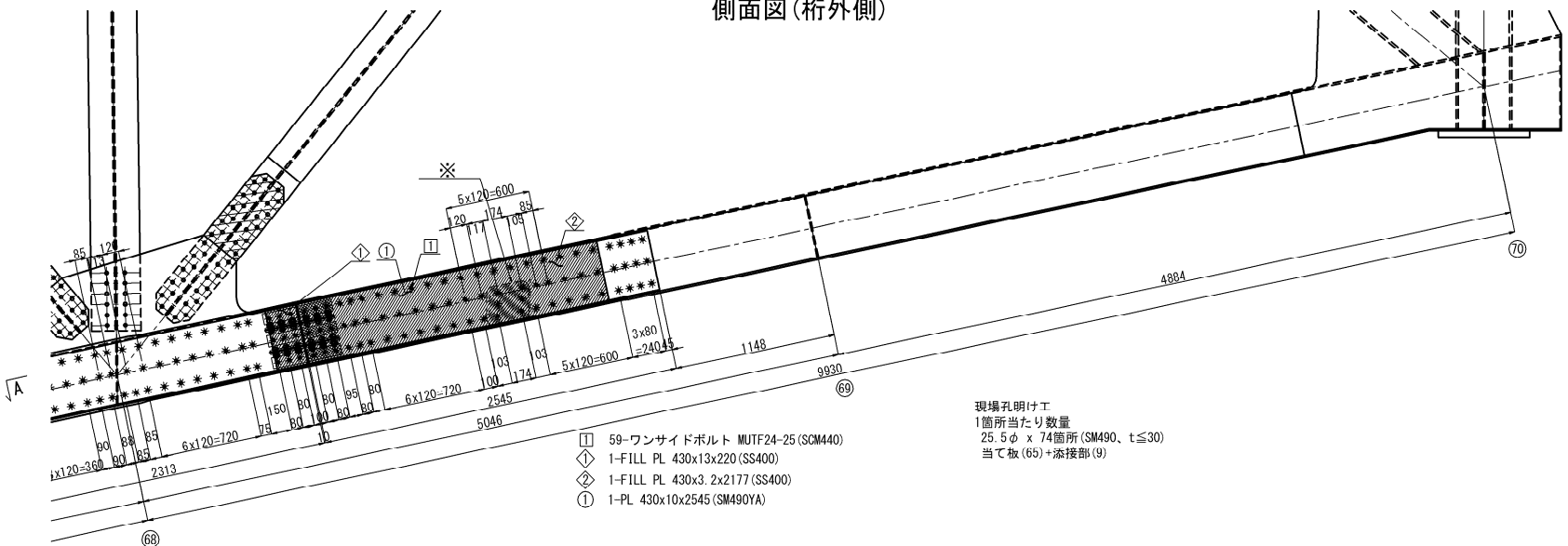
1主構当たり数量(製作数:1基)
1-Cov PL 116 x 8 x 510 (SS400)
2-BN M16 x 60 (SS400) (1種1座金)
既設撤去数量(1基)
1-Cov PL 116 x 8 x 510 (SS400)
2 BN M16 x 60 (SS400) (1種1座金)

注記
1. 本図面は完成図を基に作成しているため、
現地に寸法を確認した上で施工を行うこと。
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
3. 印のボルトは、TCB M22を示す
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。
*印のボルトは、MUTF 24を示す
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
4. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。
5. 印はフィラープレートを示す。
6. 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。
7. ☆印部材は、「滝ノ沢橋(上り線) A2橋台 制震構造
詳細図(その3)」を参照すること。
8. 添接部詳細は、「滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工
(当て板補強) 詳細図(その35)~(その40)」を
参照すること。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その33)	図面番号	455/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社	施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社
事務所名	長野工事事務所		

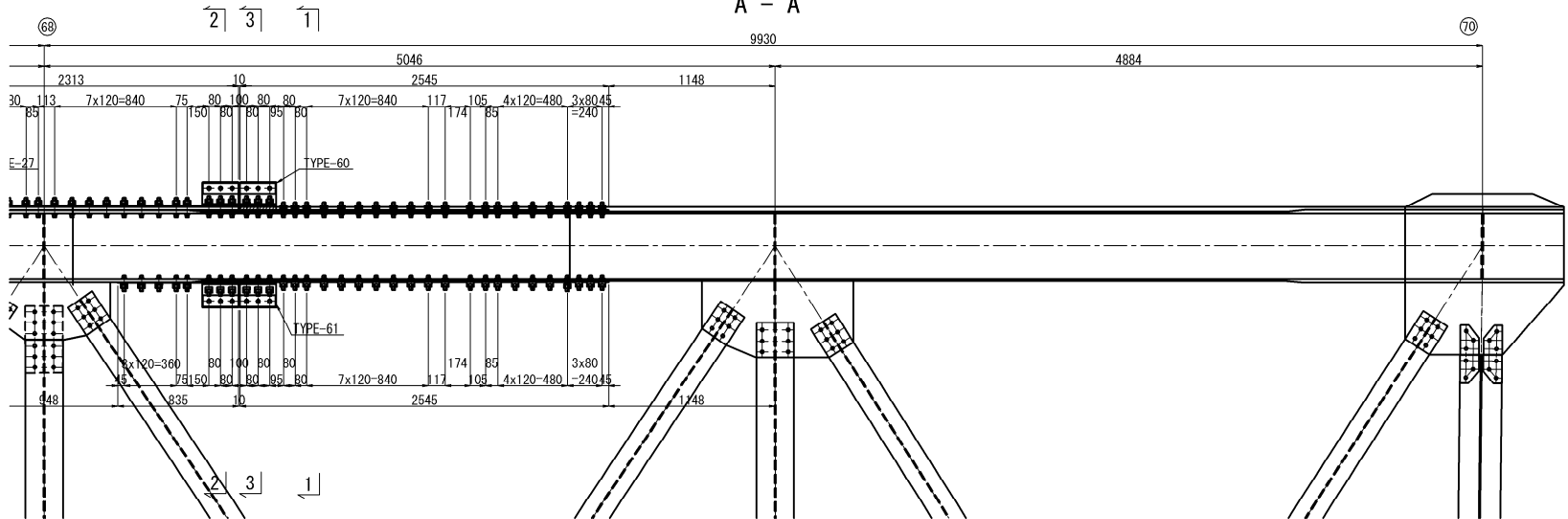
下弦材
AT2

側面図(桁外側)

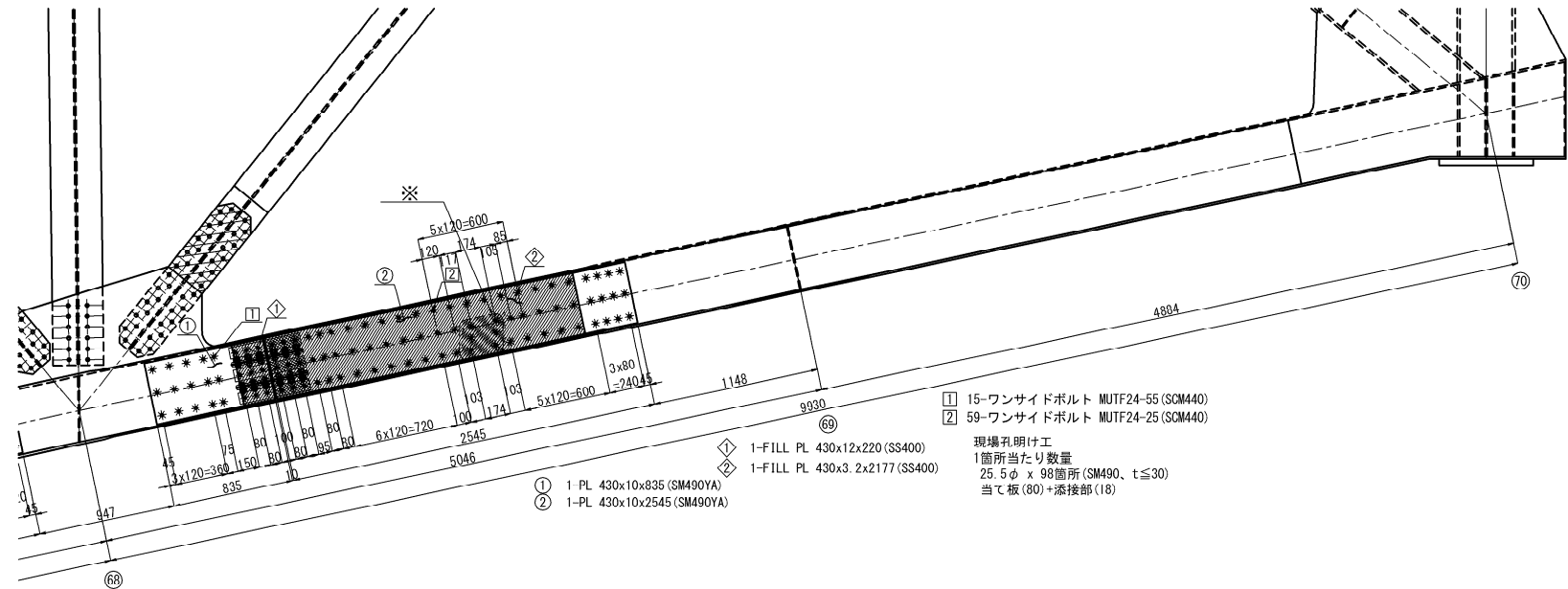


平面図

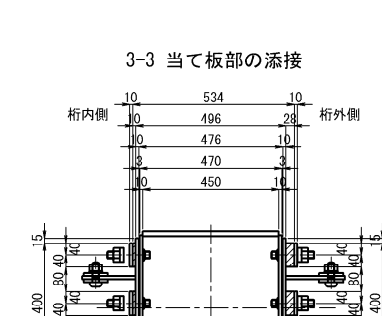
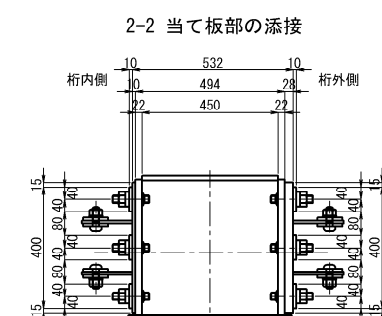
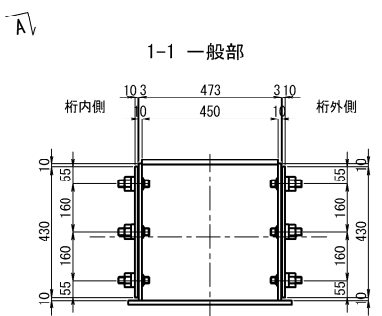
A - A



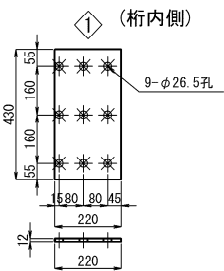
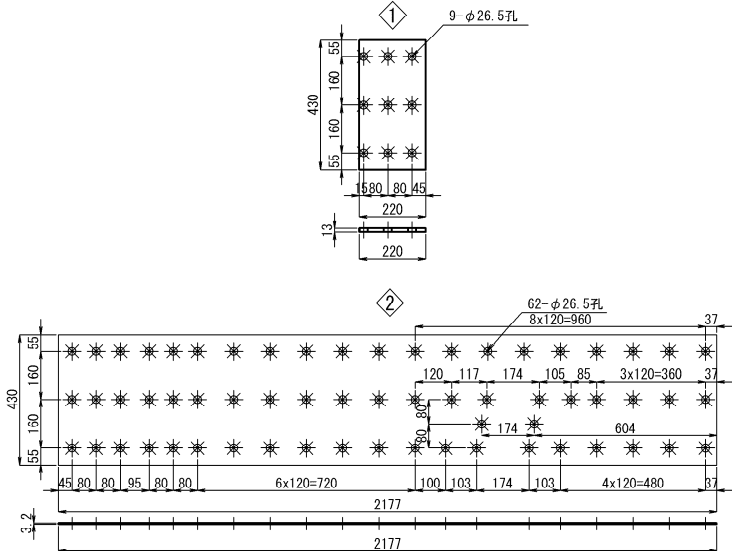
側面図(桁内側)



断面図 S=1:25



FILL PL詳細 S=1:25

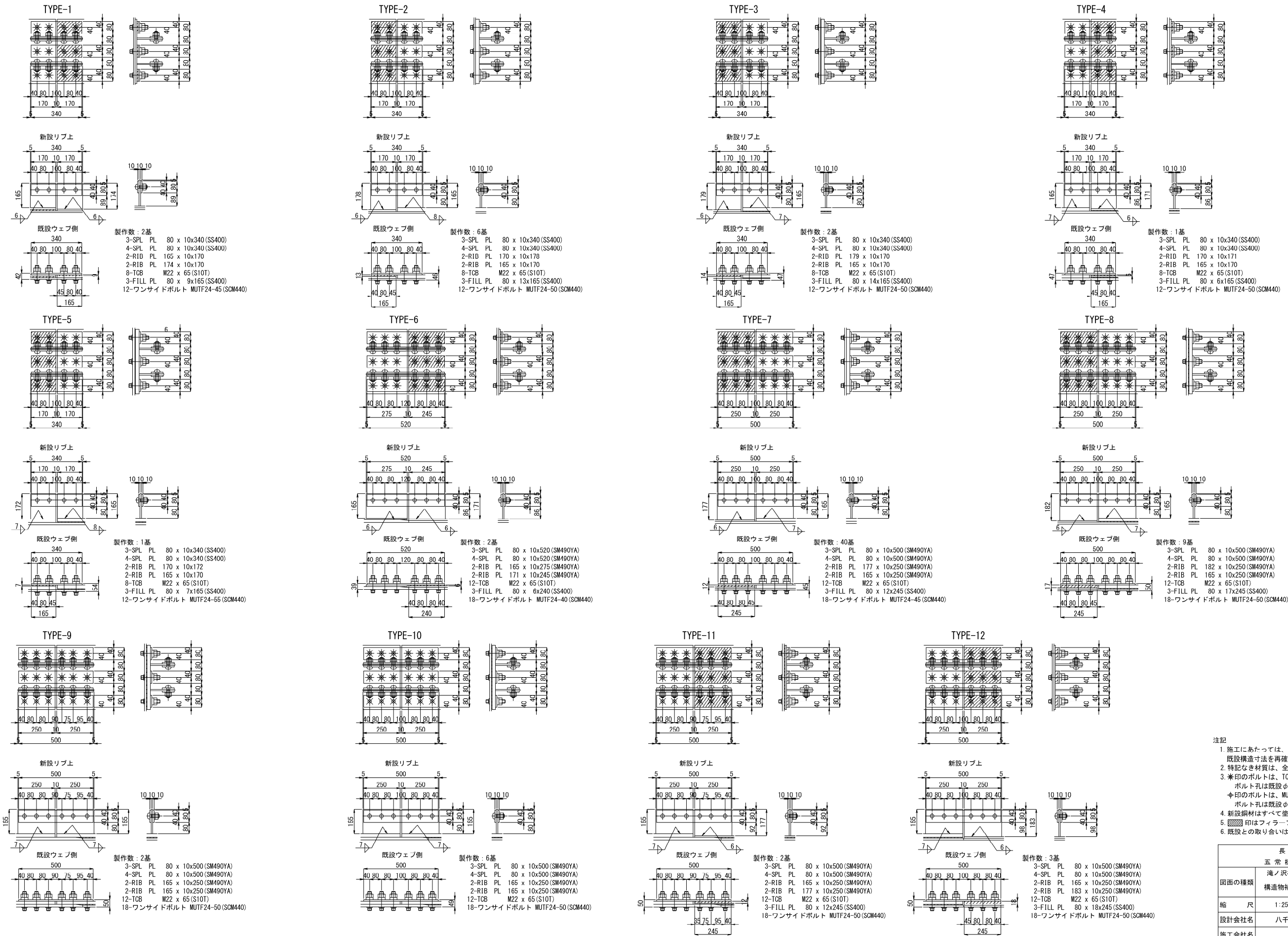


注記

1. 本図面は完成図を基に作成しているため、現地にて寸法を確認した上で施工を行うこと。
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
3. ◆印のボルトは、TGB M22を示す
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。
※印のボルトは、MUTF 24を示す
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
4. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。
5. 印はフィラープレートを示す。
6. 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。
7. ※印部材は、「滝ノ沢橋(上り線) A2橋台 制震構造 詳細図(その2)」を参照すること。
8. 添接部詳細は、「滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その35)～(その40)」を参照すること。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その34)		
	縮尺	図示	図面番号 456/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

添接部詳細



注記

1. 施工にあたっては、現地計測を実施して
既設構造寸法を再確認すること。

2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。

3. ＊印のボルトは、TCB M22を示す
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。
＊印のボルトは、MUTF 24を示す
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。

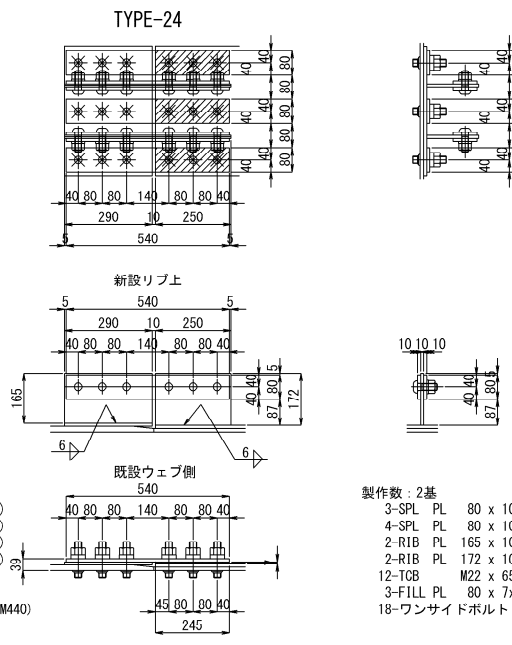
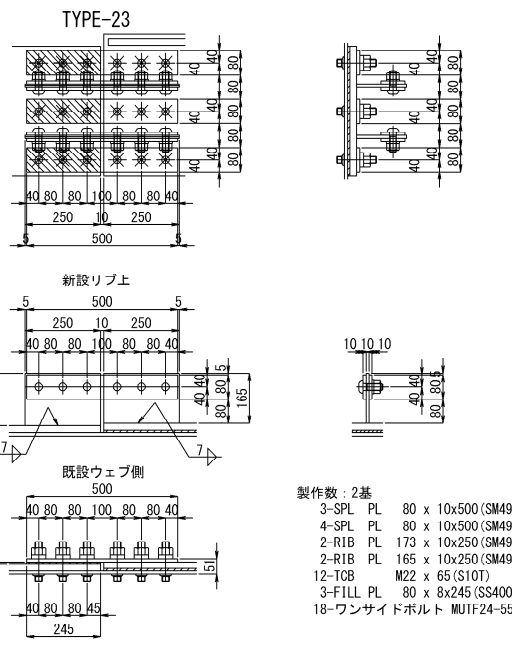
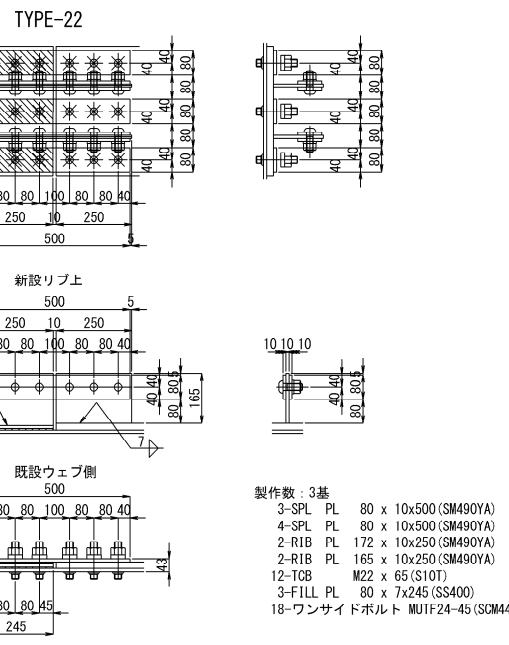
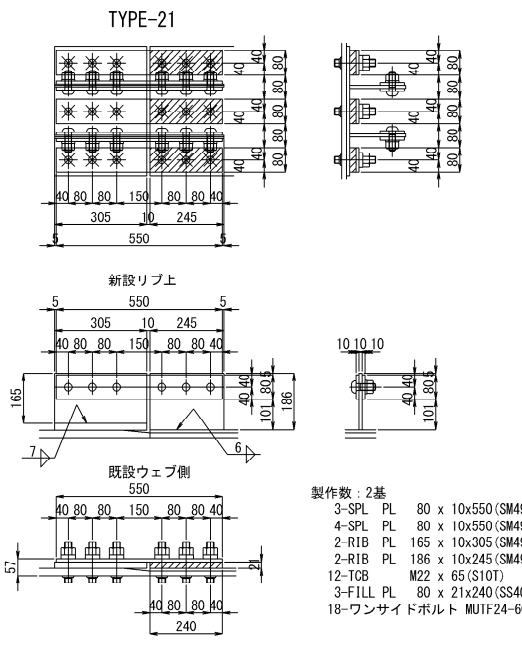
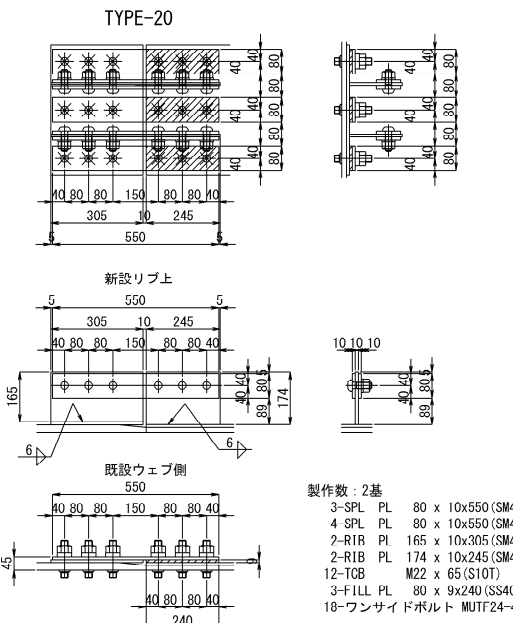
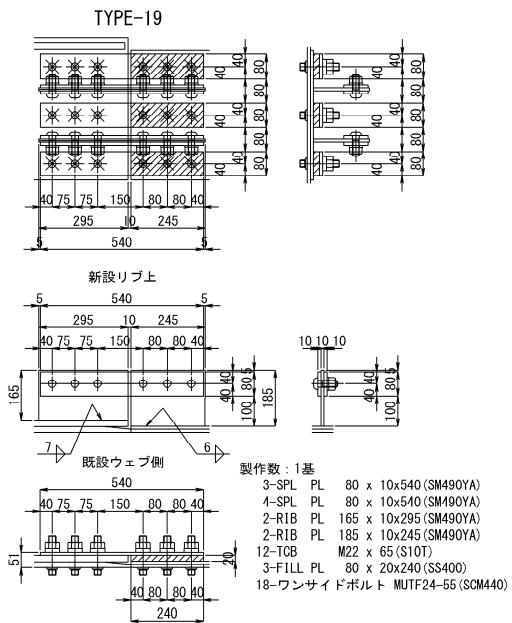
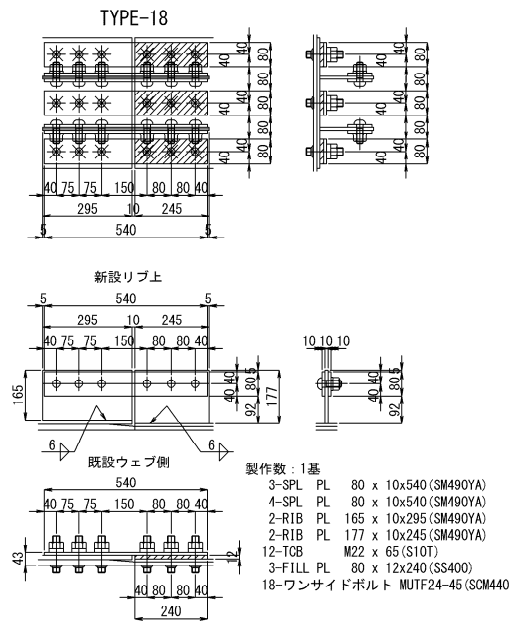
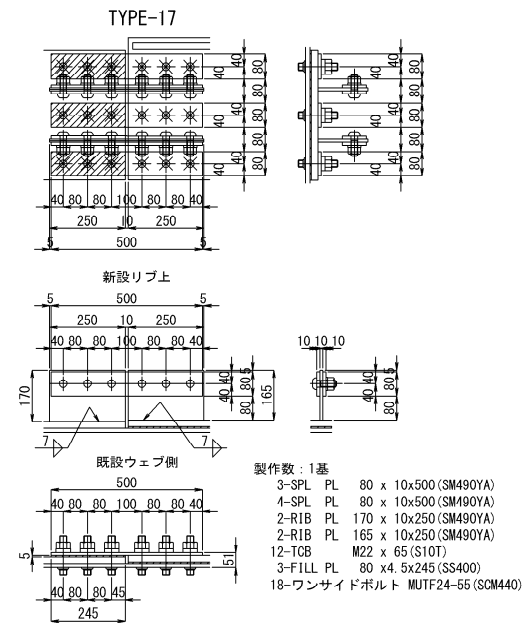
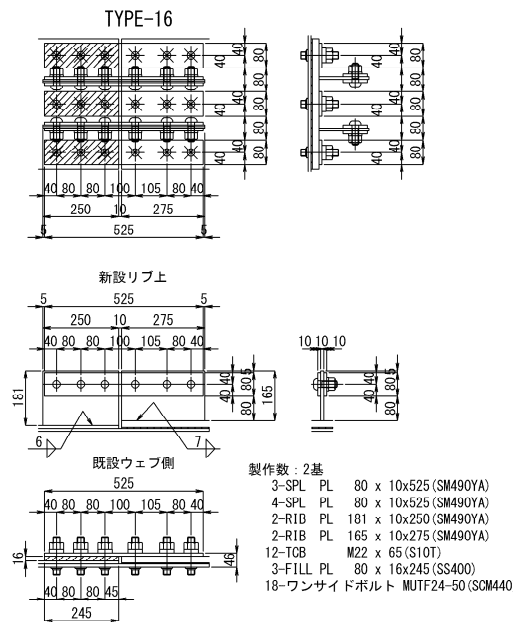
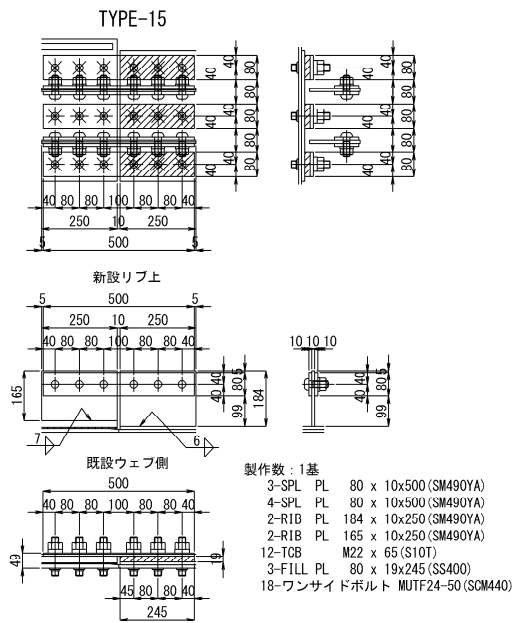
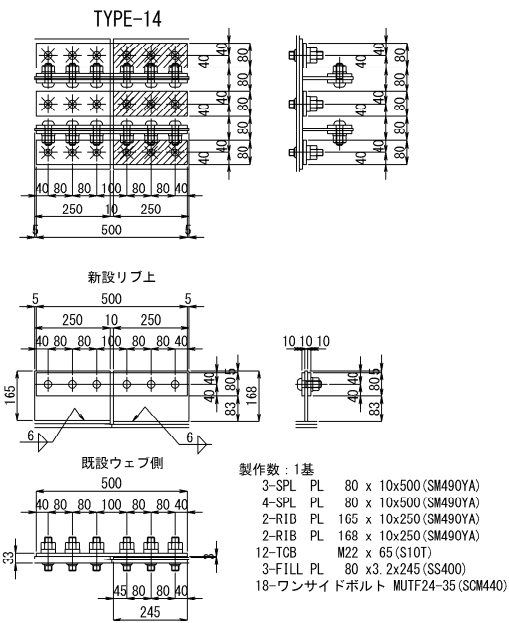
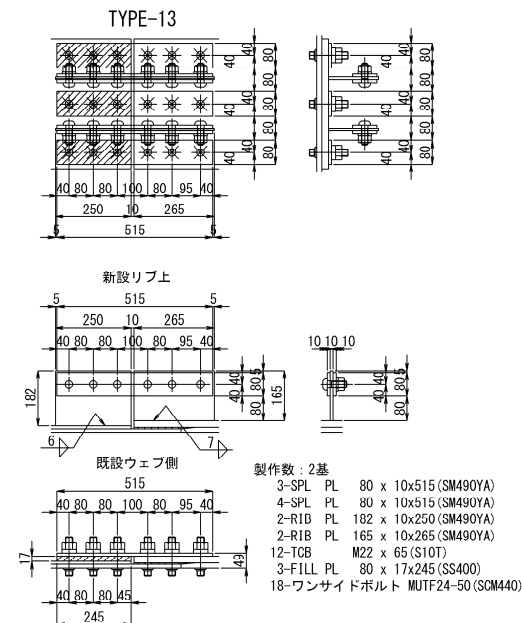
4. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。

5. 斜線印はフィラープレートを示す。

6. 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。

長野自動車道			
五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線)		
	構造物補強工(当て板補強)詳細図(その35)		
縮尺	1:25	図面番号	457/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
	長野工事事務所		

添接部詳細

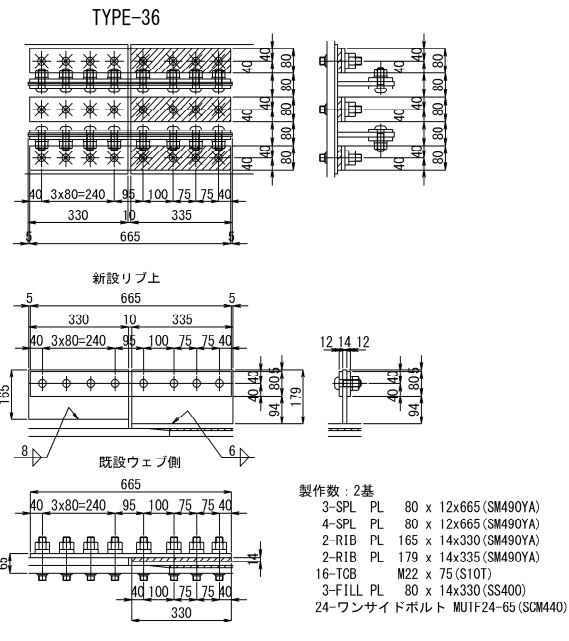
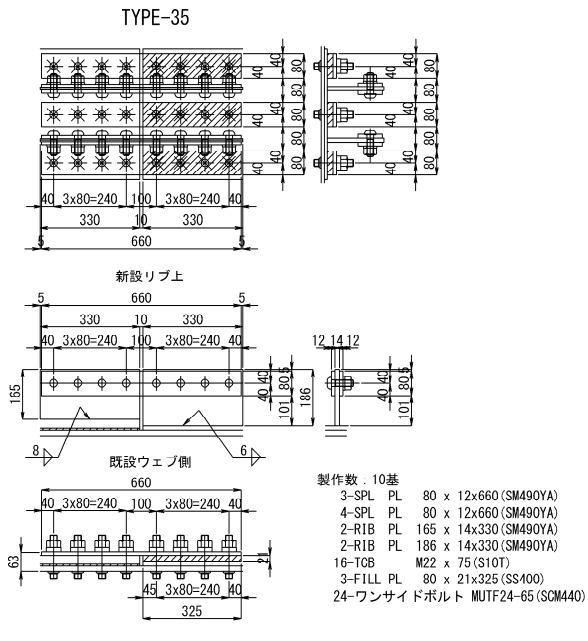
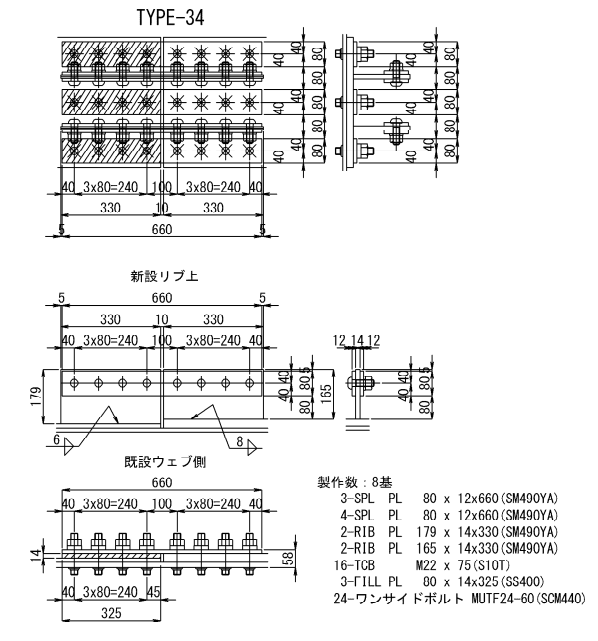
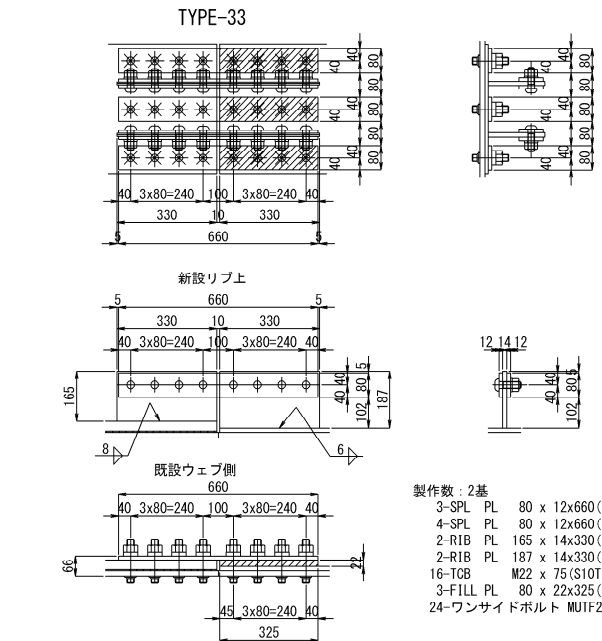
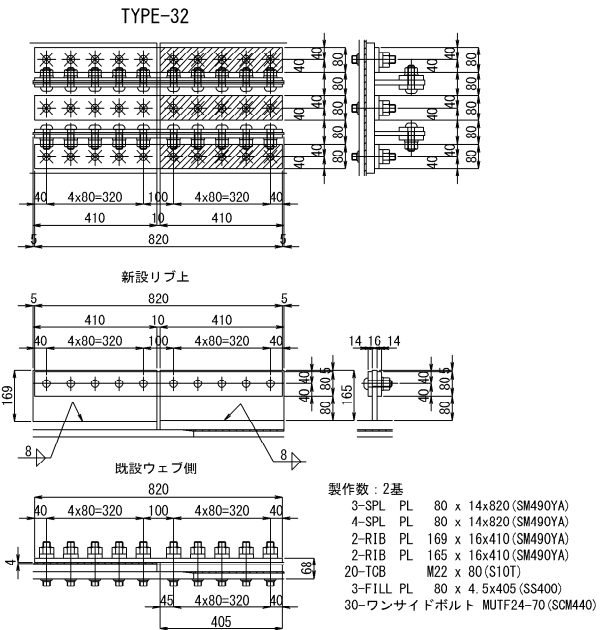
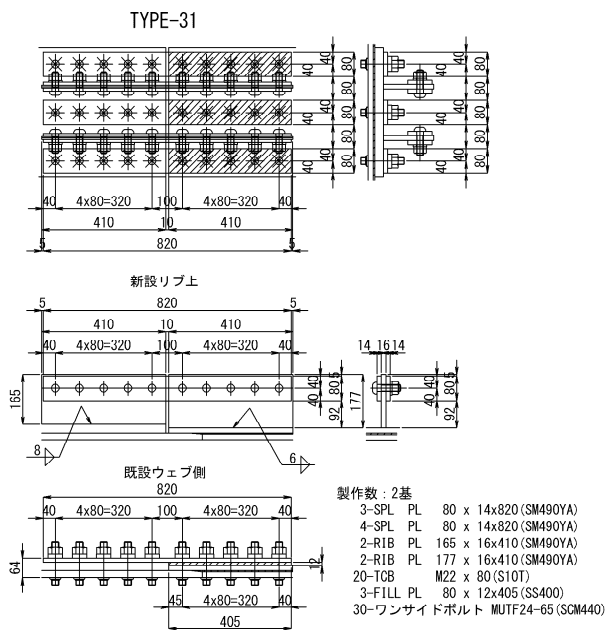
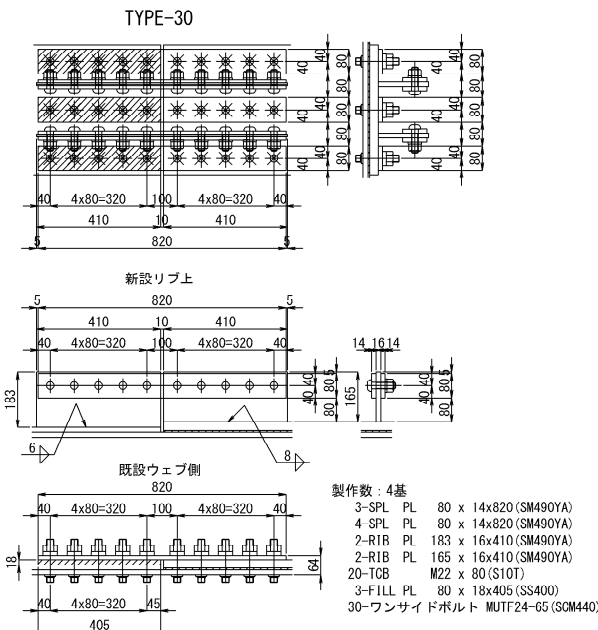
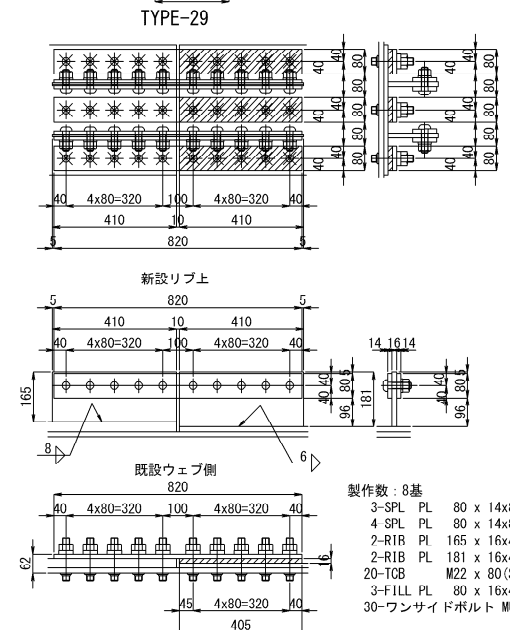
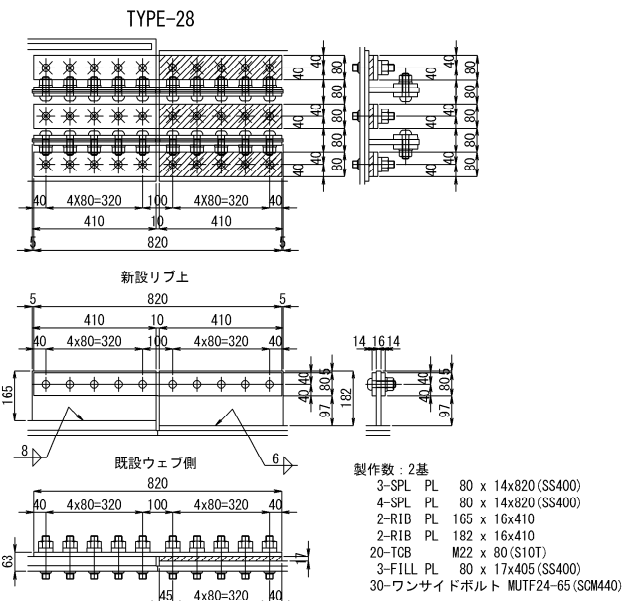
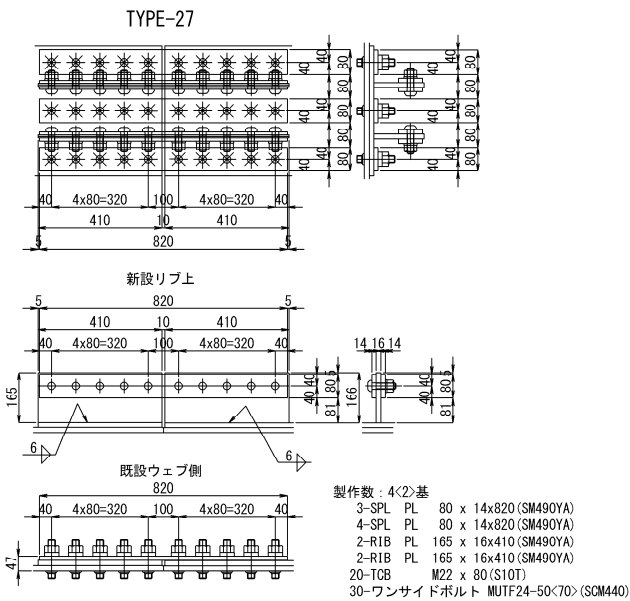
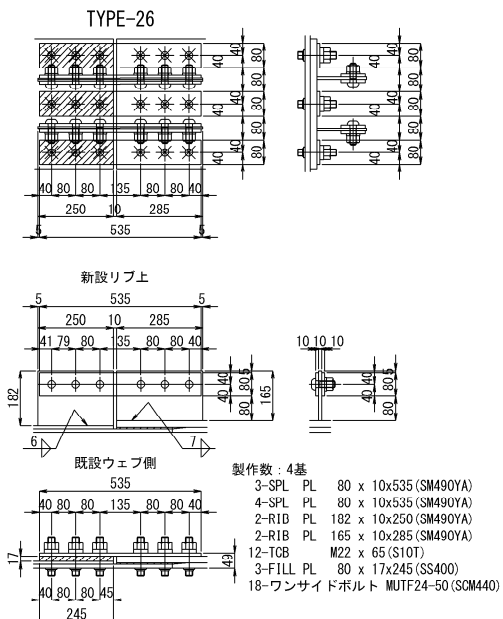
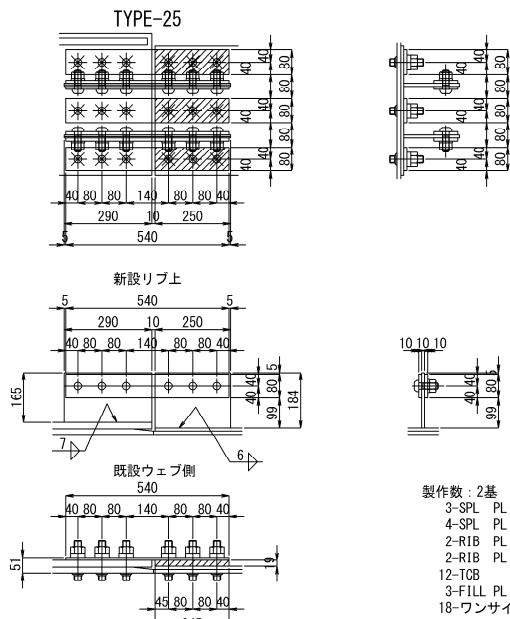


注記

- 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
- 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
- ※印のボルトは、TGB M22を示す。ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。※印のボルトは、MUTF 24を示す。ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
- 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。
- ※印はフィラープレートを示す。
- 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。

長野自動車道 五常橋床版取替工事	
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強)詳細図(その36)
縮尺	1:25 図面番号 458/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所

添接部詳細



注記

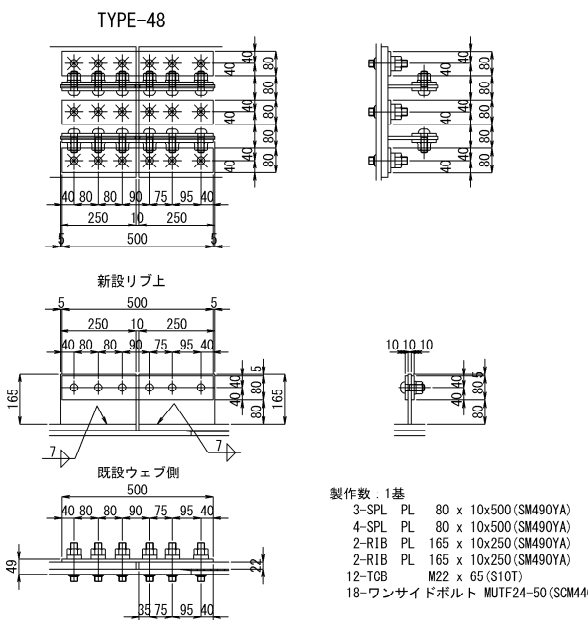
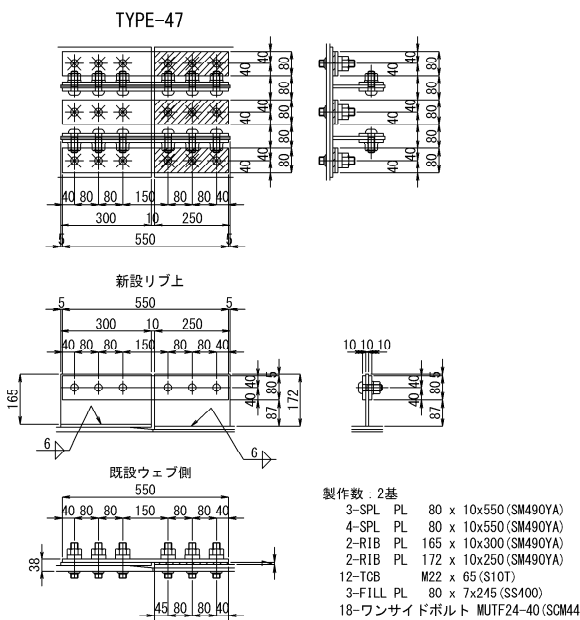
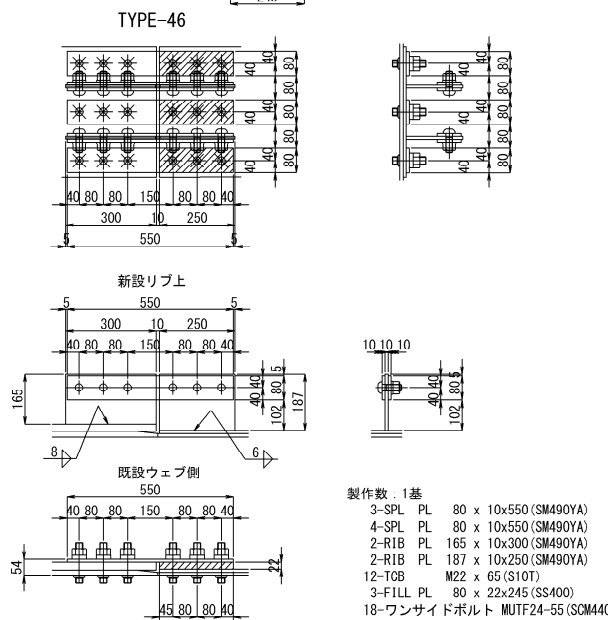
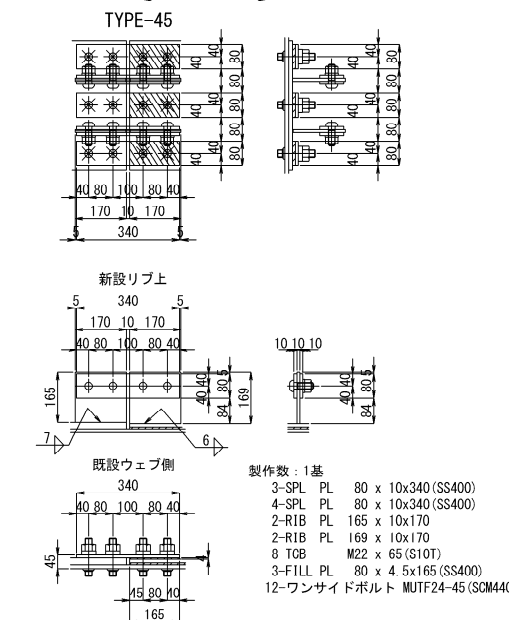
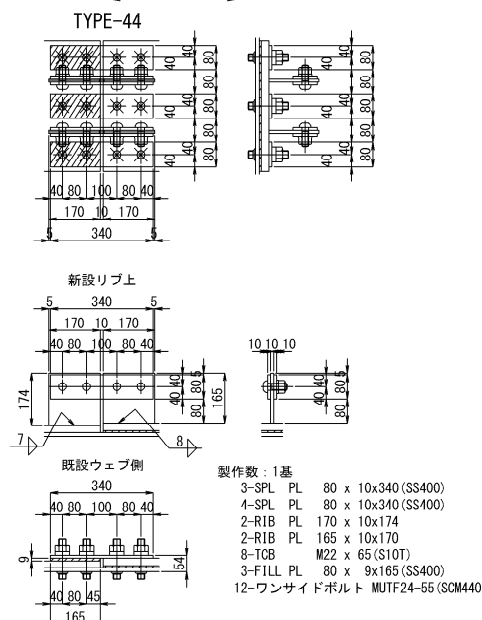
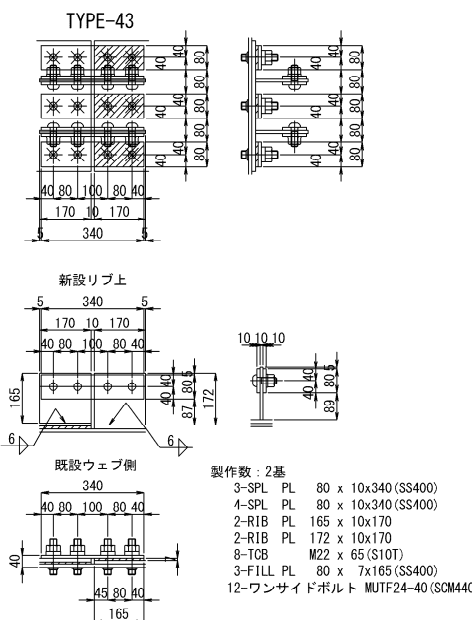
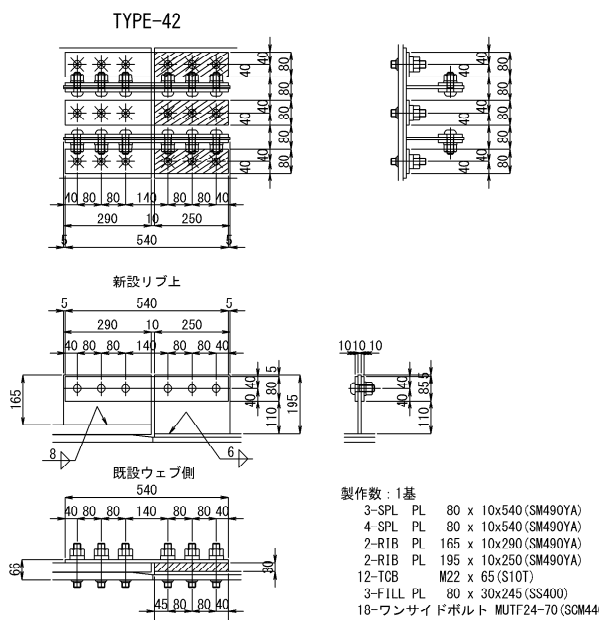
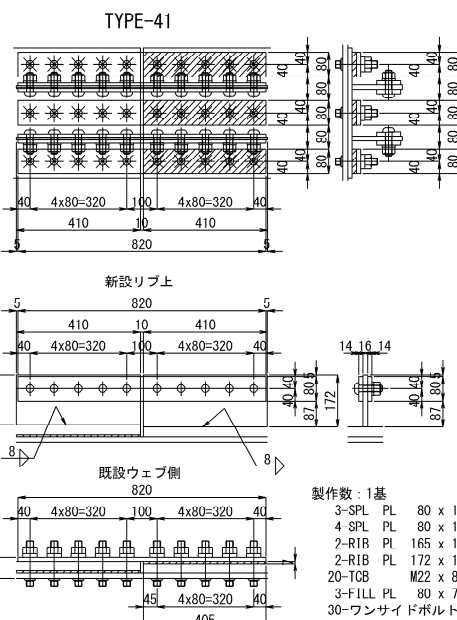
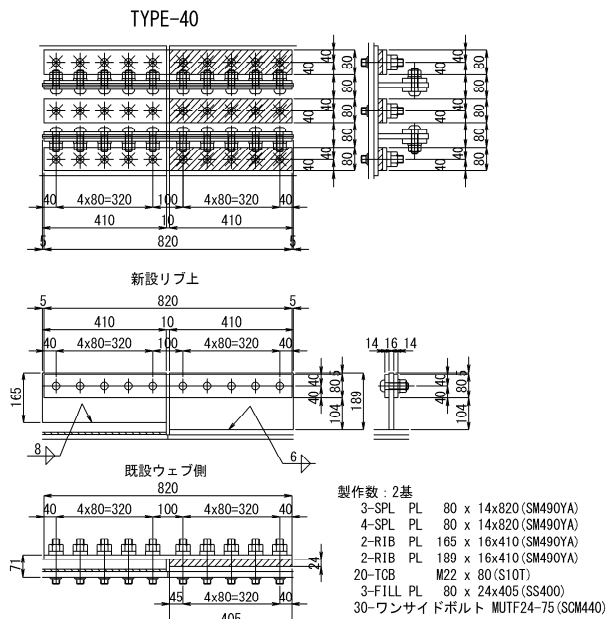
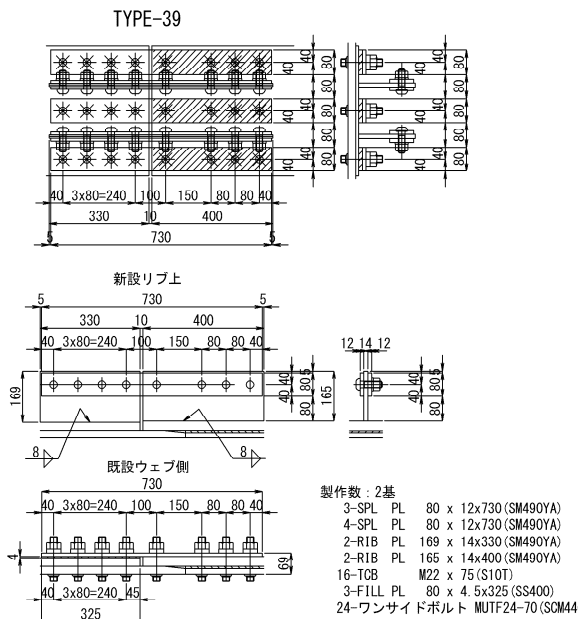
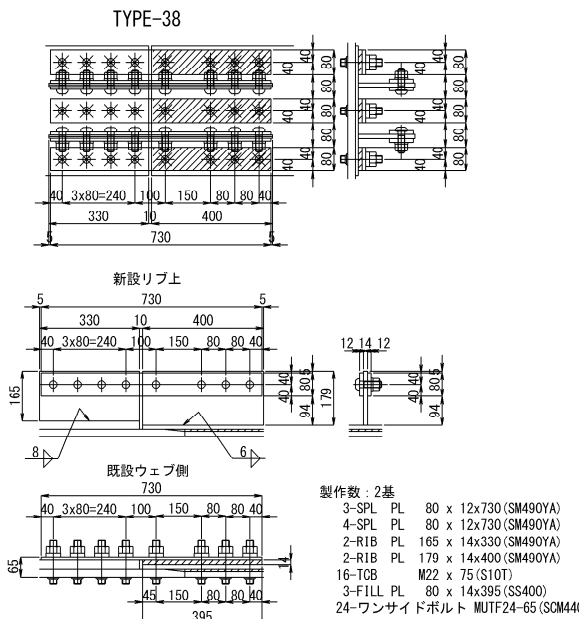
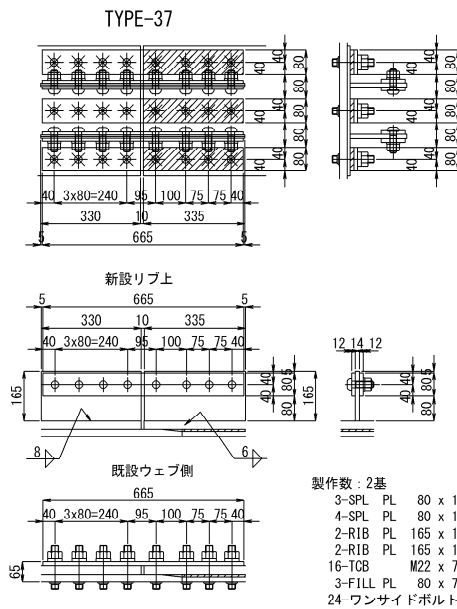
- 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
- 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
- ※印のボルトは、TCB M22を示す
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。
※印のボルトは、MUIF 24を示す
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
- 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。
- 印はフィラープレートを示す。
- 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強)詳細図(その37)		
縮尺	1:25	図面番号	459/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強)詳細図(その38)

S=1:25

添接部詳細

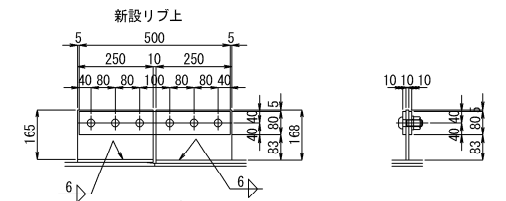
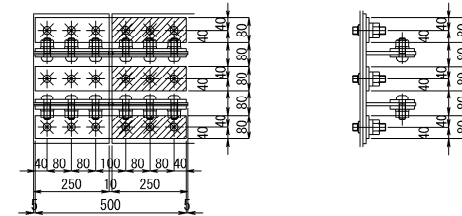


注記

- 1 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
- 2 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
- 3 米印のボルトは、TCB M22を示す
ボルト孔は既設の24、新設の26.5とする。
☆印のボルトは、MU1F 24を示す
ボルト孔は既設の25、新設の26.5とする。
- 4 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。
- 5 既設の取付フィラープレートを示す。
- 6 既設と取り合い合はしは現地計測を行い、調整すること。

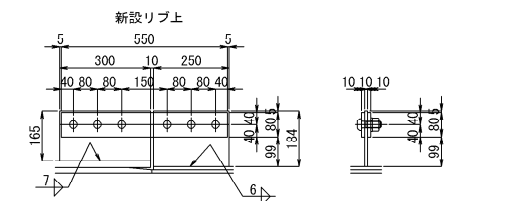
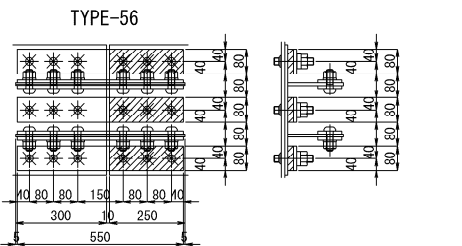
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当中板補強)詳細図(その38)		
縮尺	1:25	図面番号	460/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

TYPE-52



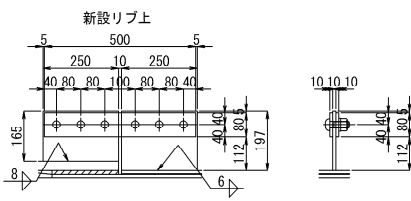
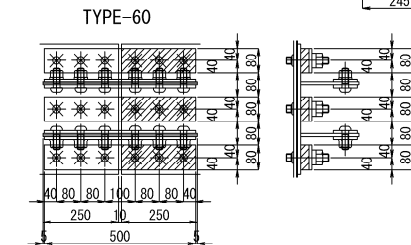
製作数：1基

3-SPL PL	80 x 10x500 (SM490YA)
4-SPL PL	80 x 10x500 (SM490YA)
2-RIB PL	165 x 10x250 (SM490YA)
2-RIB PL	168 x 10x250 (SM490YA)
12-TCB	M22 x 65 (S10T)
3-FILL PL	80 x 3.2x245 (SS400)
18-ワンサイドボルト	MUTF24-35 (SCM440)



製作数：1基

3-SPL	PL	80 x	10x550 (SM490YA)
4-SPL	PL	80 x	10x550 (SM490YA)
2-RIB	PL	165 x	10x300 (SM490YA)
2-RIB	PL	184 x	10x250 (SM490YA)
12-TBL	M22	x 65	(S10T)
3-FILL	PL	80 x	19x245 (SS400)
18-ワンサイドボルト	MUTT	24-50	(SCM440)



製作数：1基

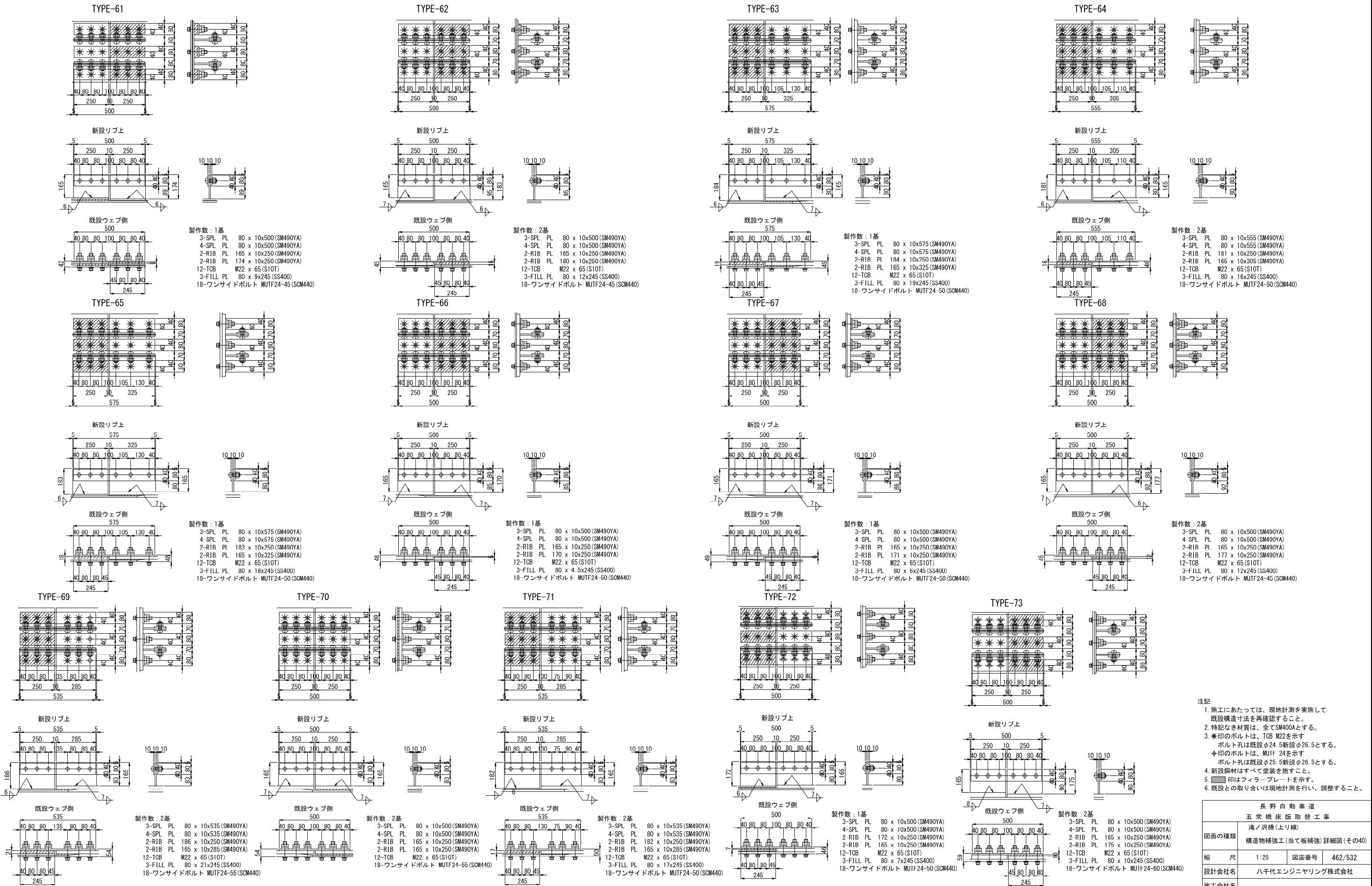
3-SPL PL	80 x 10x500 (SM490YA)
4-SPL PL	80 x 10x500 (SM490YA)
2-RIB PL	165 x 10x250 (SM490YA)
2-RIB PL	197 x 10x250 (SM490YA)
12-TGB	M22 x 65 (S10T)
3-FILL PL	80 x 32x245 (SS100)
18-ワンサイドボルト	MUTF24-65 (SCM440)

長 野 自 動 車 道			
滝ノ沢橋(上り線)			
図面の種類	構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その39)		
縮 尺	1:25	図面番号	461/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		

滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強)詳細図(その40)

S=1:25

添接部詳細

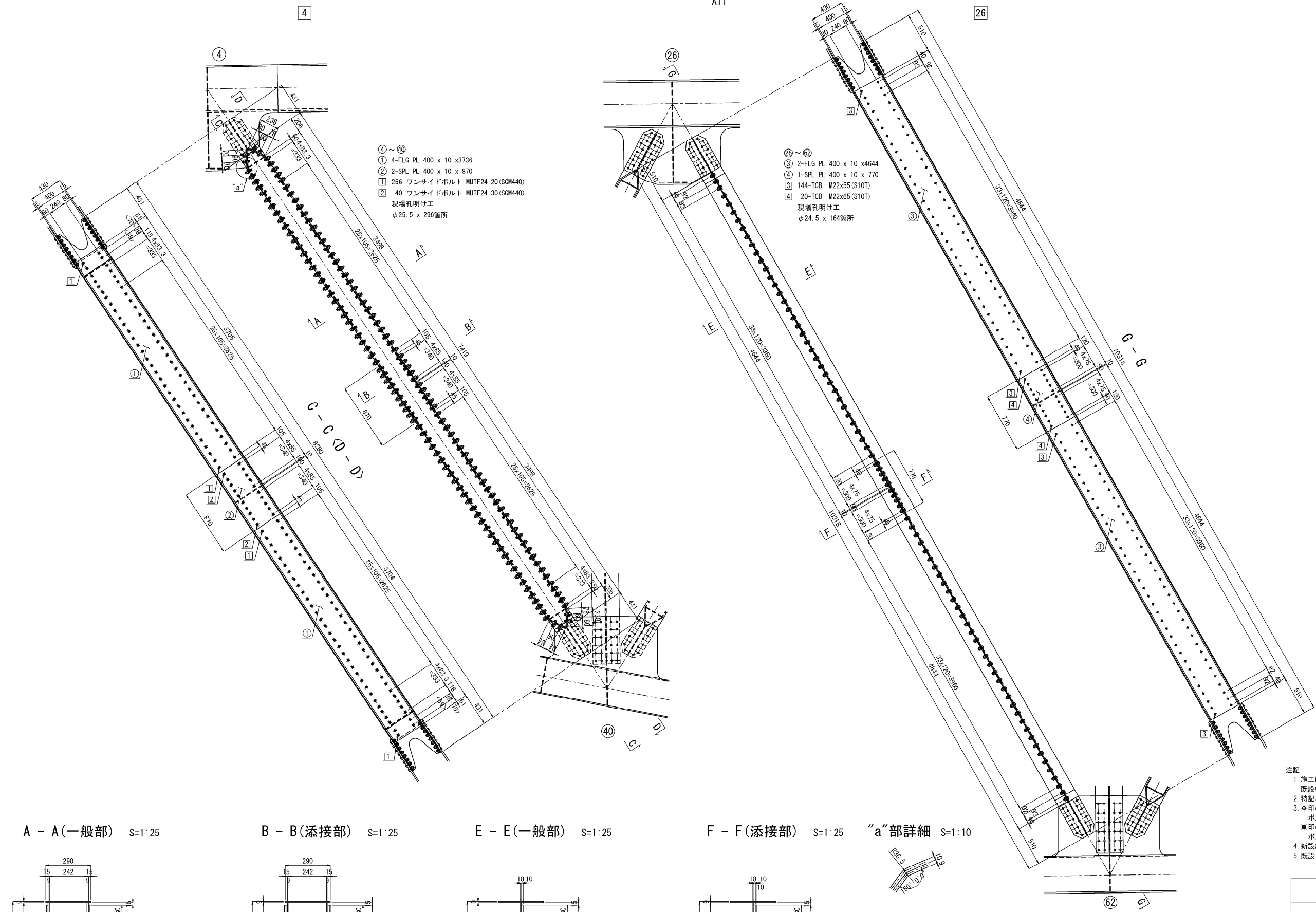


注記

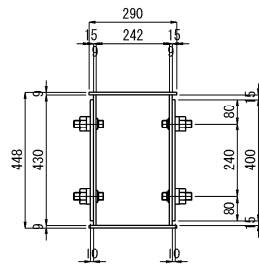
- 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
- 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
- ※印のボルトは、TCB M22を示す。ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。◆印のボルトは、MUIF 24を示す。ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
- 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。
- ※印はフィラブレートを示す。
- 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。

長野自動車道			
五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強)詳細図(その40)		
縮尺	1:25	図面番号	462/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

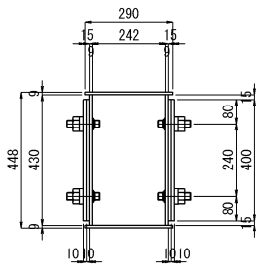
斜材
AT1



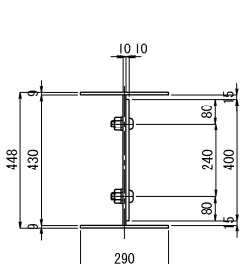
A - A(一般部) S=1:25



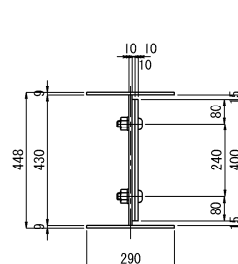
B - B(添接部) S=1:25



E - E(一般部) S=1:25



F - F(添接部) S=1:25

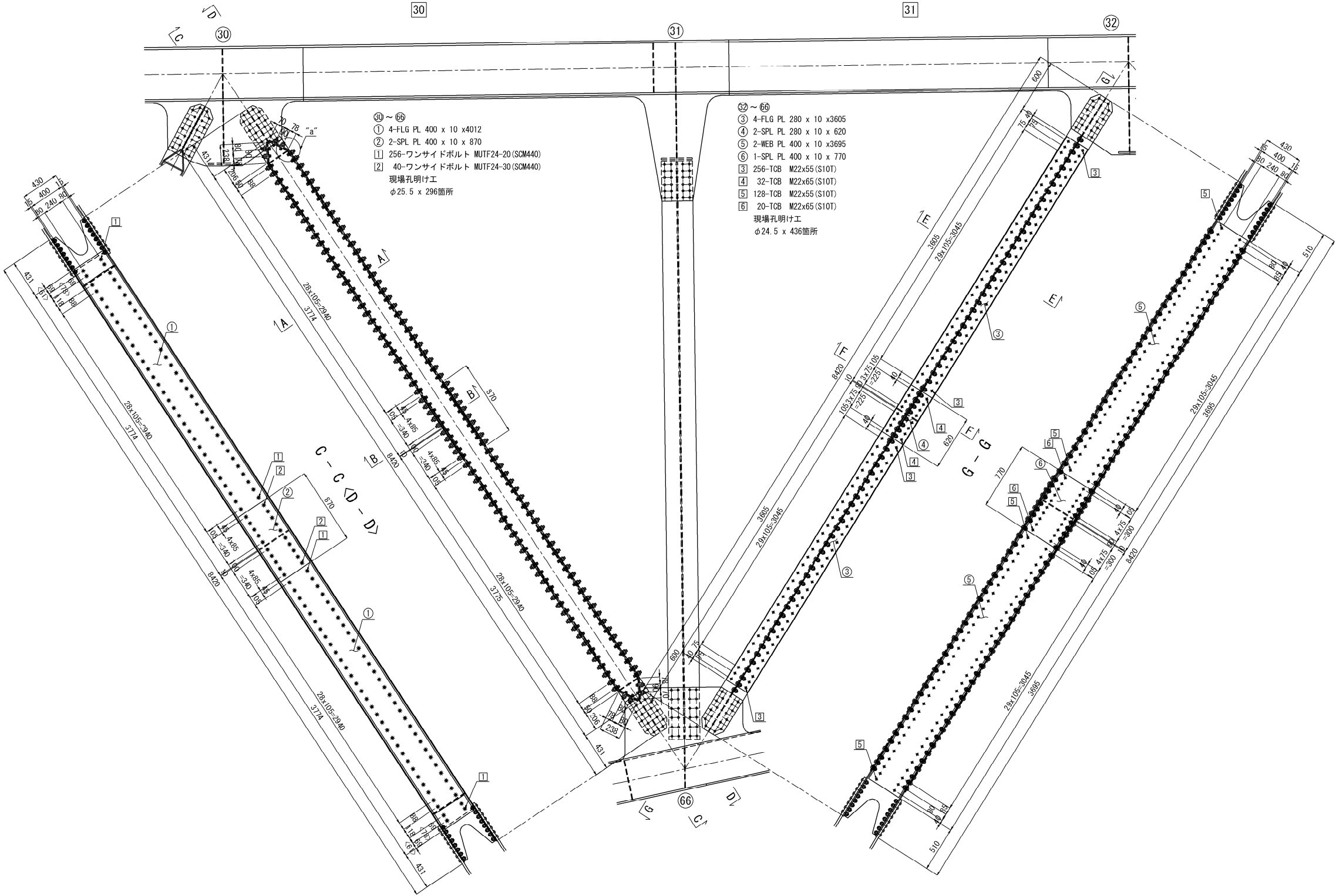


“a”部詳細 S=1:10

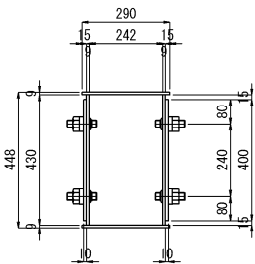


長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その42)		
縮 尺	図示	図面番号	464/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

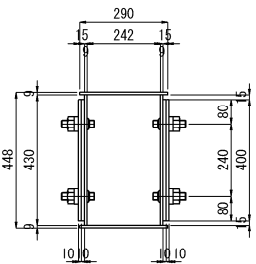
斜材
AT1



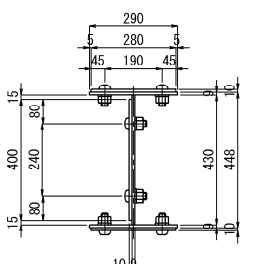
A - A(一般部) S=1:25



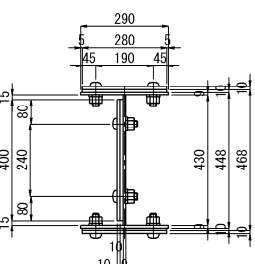
B - B(添接部) S=1:25



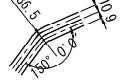
E - E(一般部) S=1:25



F - F(添接部) S=1:25



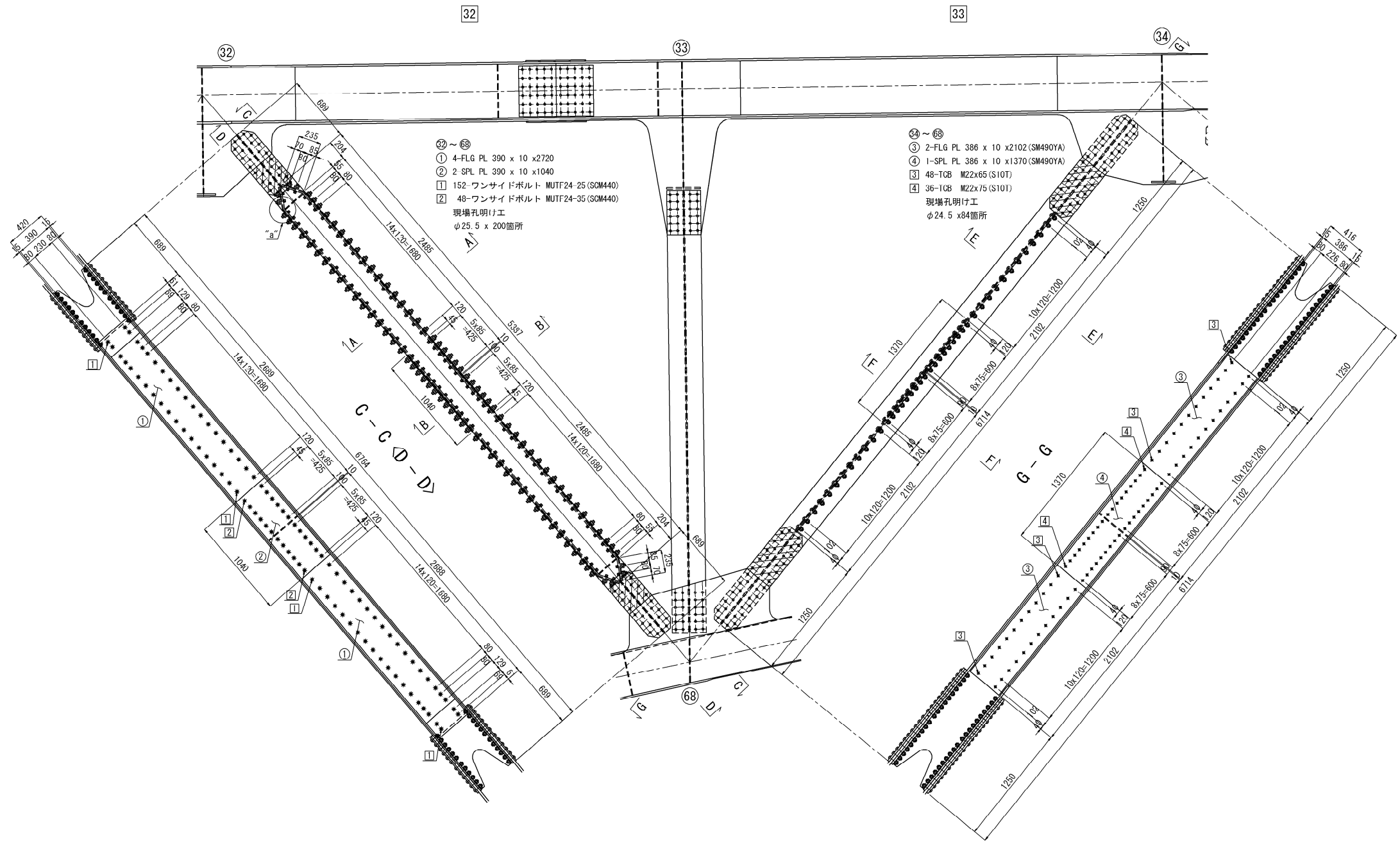
"a"部詳細 S=1:10



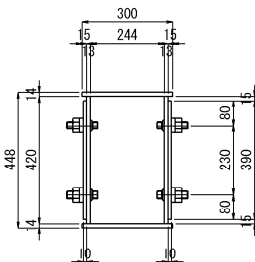
- 注記
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
 2. 特記なき材質は、全てSS400とする。
 3. 印のボルトは、TCB M22を示す。ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。
※印のボルトは、MUTF 24を示す。ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
 4. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。
 5. 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強)詳細図(その43)		
縮 尺	図示	図面番号	465/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

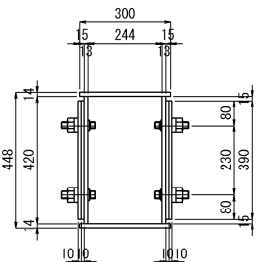
斜材
AT1



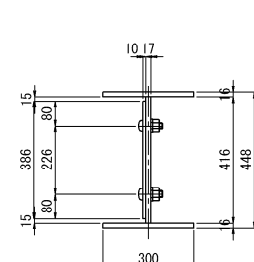
A - A(一般部) S=1:25



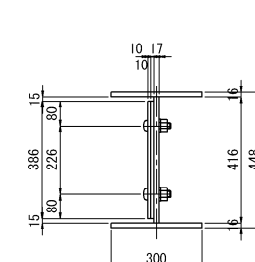
B - B(添接部) S=1:25



E - E(一般部) S=1:25



F - F(添接部) S=1:25



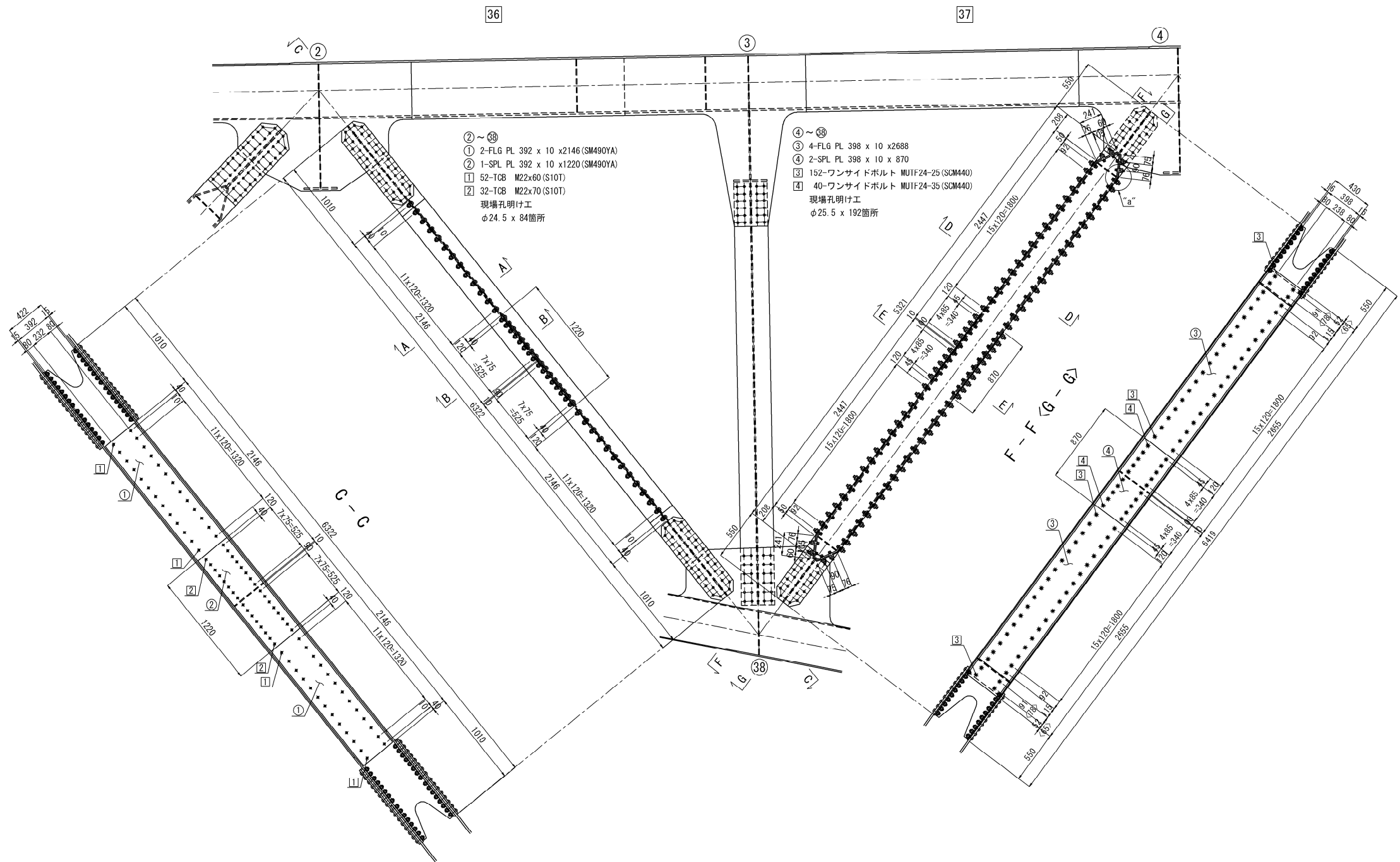
"a"部詳細 S=1:10



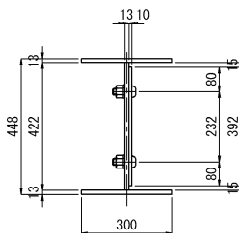
注記
1 施工にあたっては、現地計測を実施して
既設構造寸法を再確認すること。
2 特記なき材質は、全てSS400とする。
3 印のボルトは、TCB M22を示す
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。
※印のボルトは、MUIF 24を示す
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
4 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。
5 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強)詳細図(その44)		
縮尺	図示	図面番号	466/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

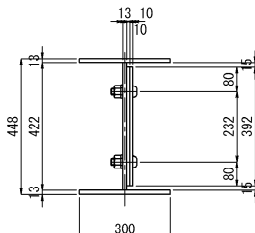
斜材
AT2



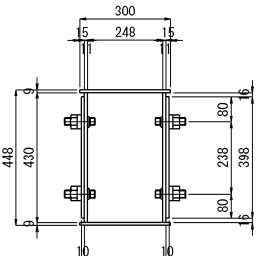
A - A(一般部) S=1:25



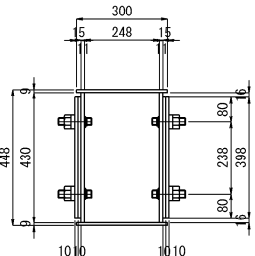
B - B(添接部) S=1:25



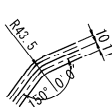
D - D(一般部) S=1:25



E - E(添接部) S=1:25

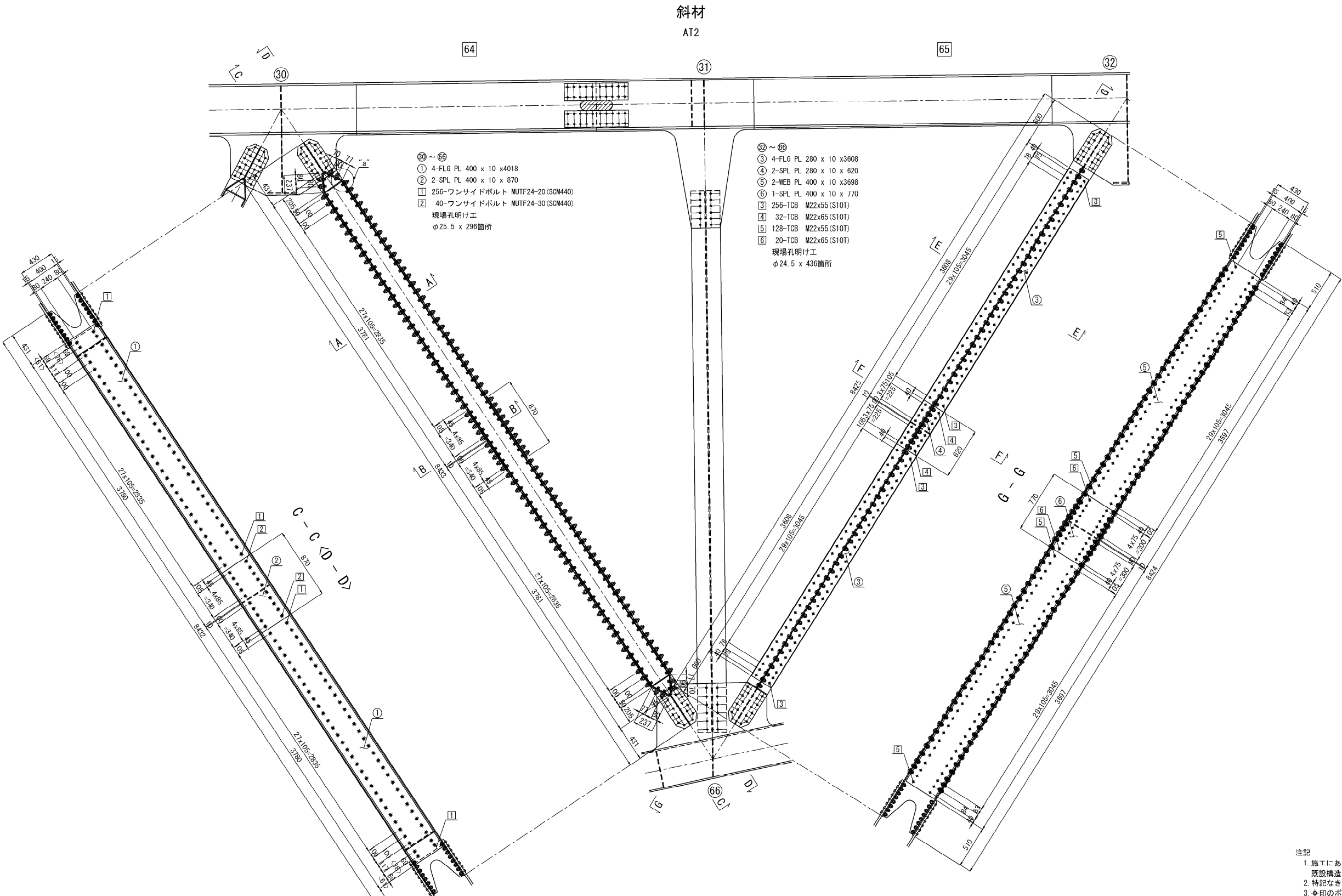


“a”部詳細 S=1:10

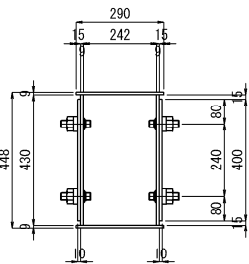


- 注記
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
 2. 特記なき材質は、全てSS400とする。
 3. 印のボルトは、TCB M22を示す。ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。
 - ※印のボルトは、MUIF 24を示す。ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
 4. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。
 5. 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。

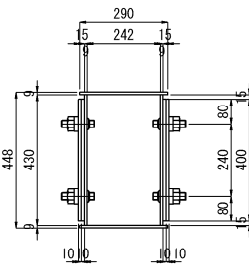
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強)詳細図(その45)		
	縮尺	図示	図面番号 467/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		



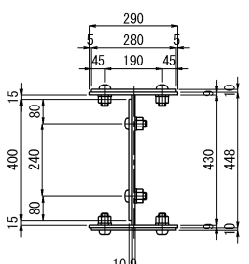
A - A(一般部) S=1:25



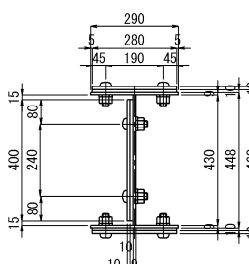
B - B(添接部) S=1:25



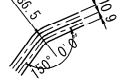
E - E(一般部) S=1:25



F - F(添接部) S=1:25



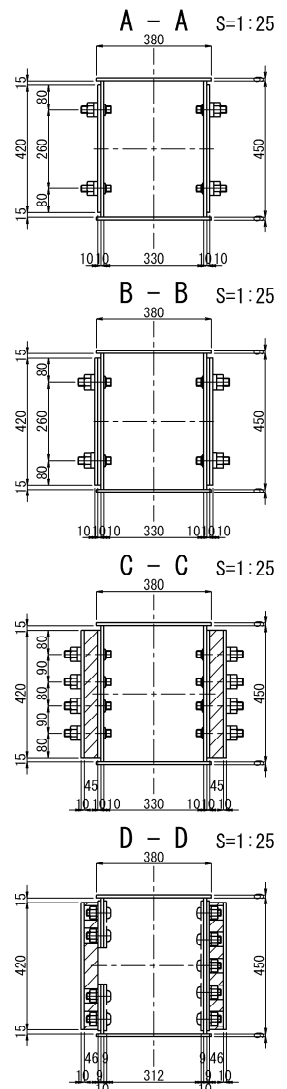
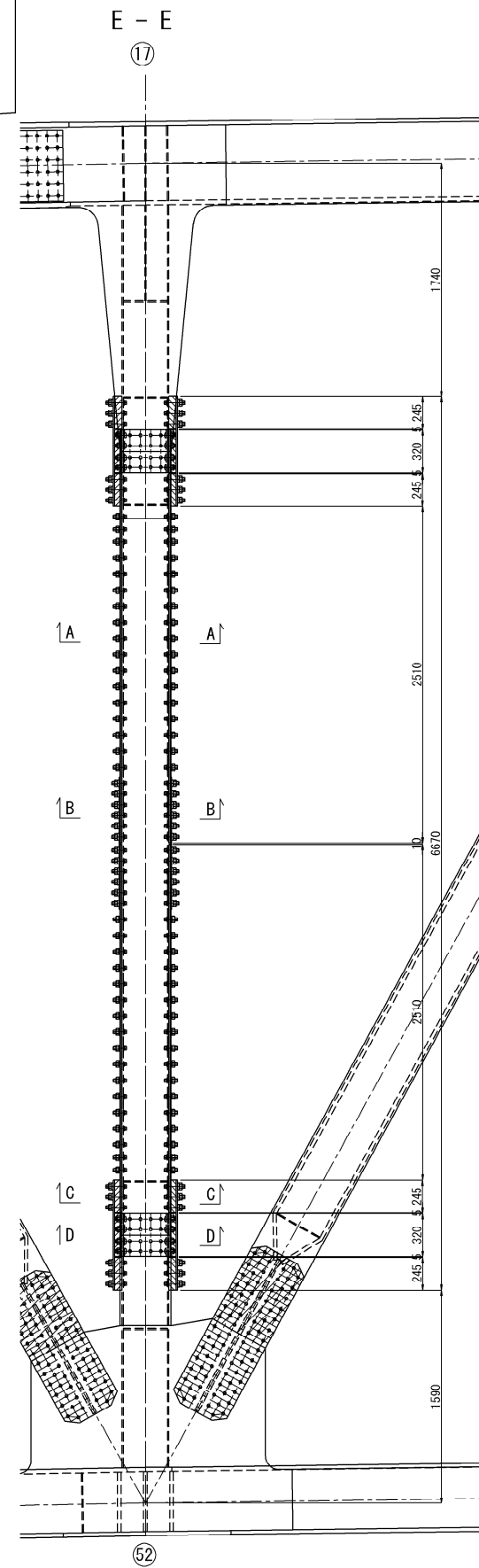
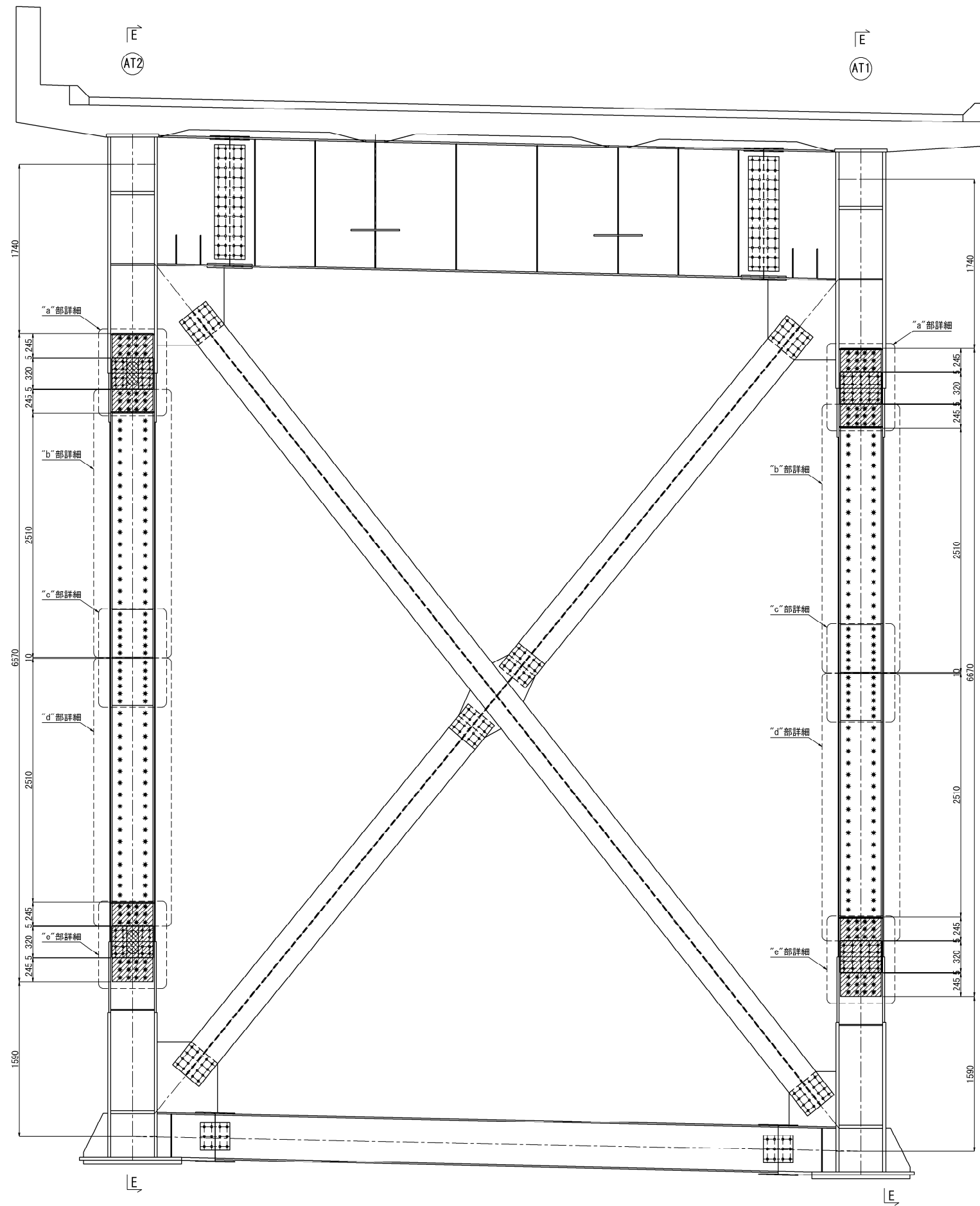
"a"部詳細 S=1:10



注記
1 施工にあたっては、現地計測を実施して
既設構造寸法を再確認すること。
2 特記なき材質は、全てSS400とする。
3 印のボルトは、TCB M22を示す
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。
※印のボルトは、MUTF 24を示す
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
4 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。
5 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強)詳細図(その47)		
縮 尺	図示	図面番号	469/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

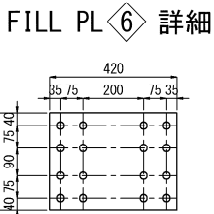
鉛直材
AT1、AT2



- 注記
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
 2. 特記なき材質は、全てSS400とする。
 3. 印のボルトは、TCB M22を示す。
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。
※印のボルトは、MUIF 24を示す。
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
 4. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。
 5. 印はフィラープレートを示す。
 6. 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線)		
	構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その49)		
縮 尺	図示	図面番号	471/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

AT1 • AT2



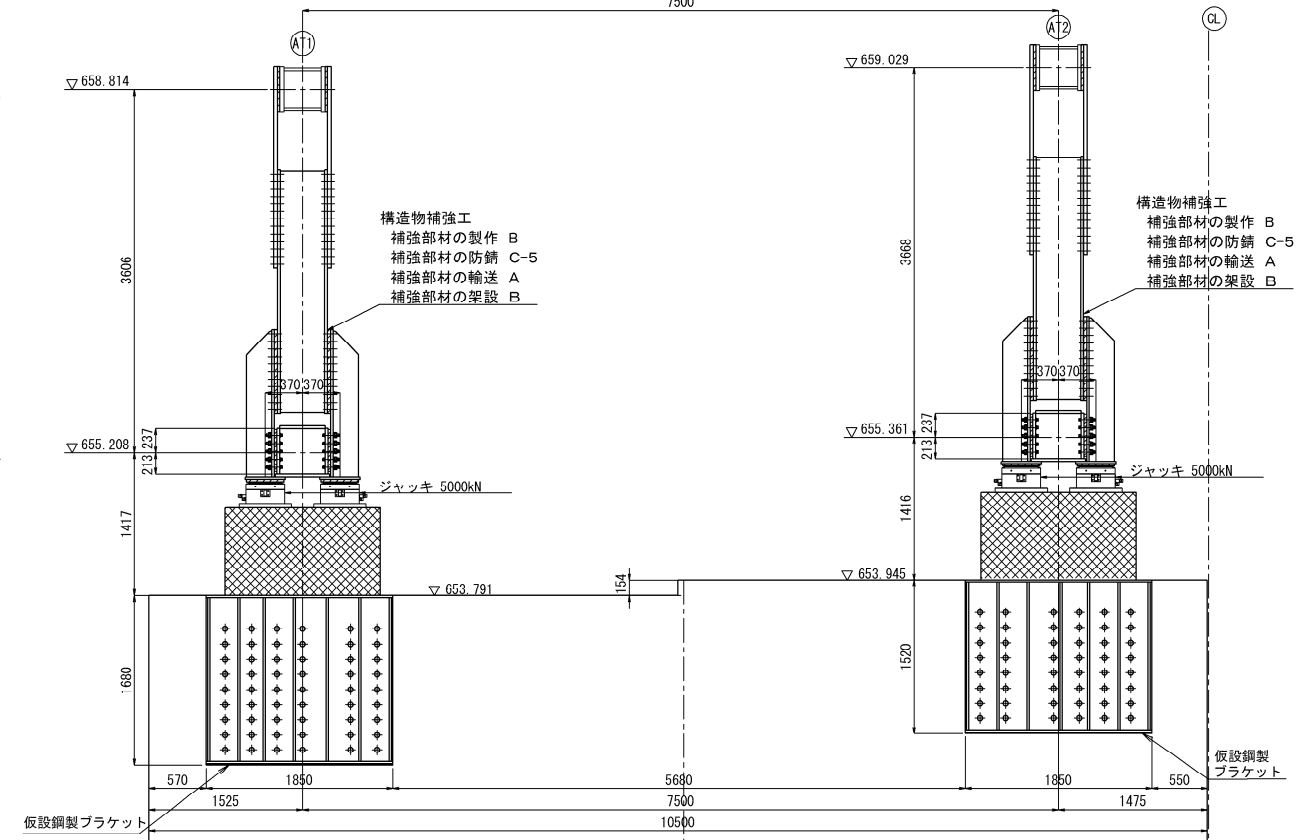
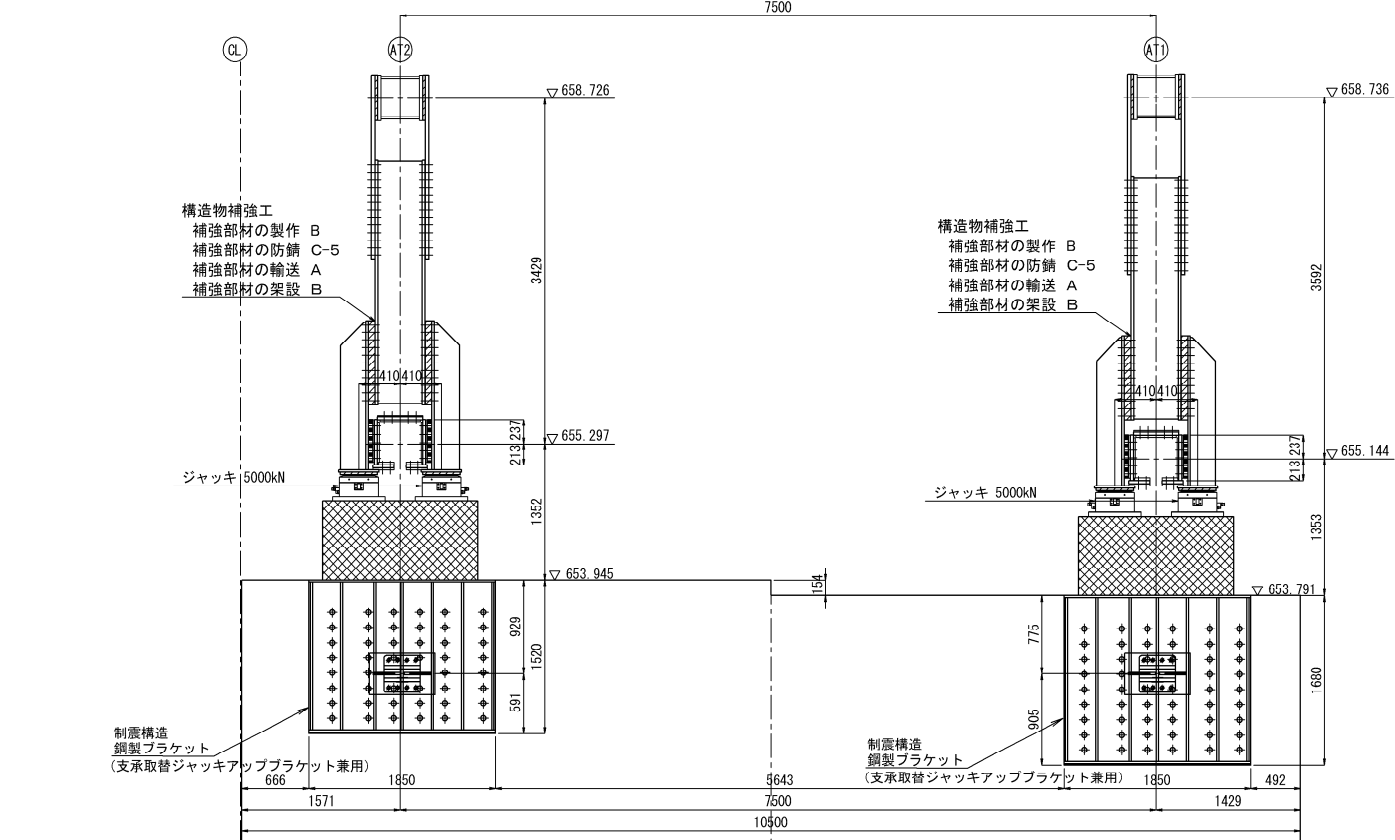
	長野自動車道 五常橋床版取替工事		
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強)詳細図(その50)		
縮尺	図示	図面番号	472/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 構造物補強工(支承取替)配置図

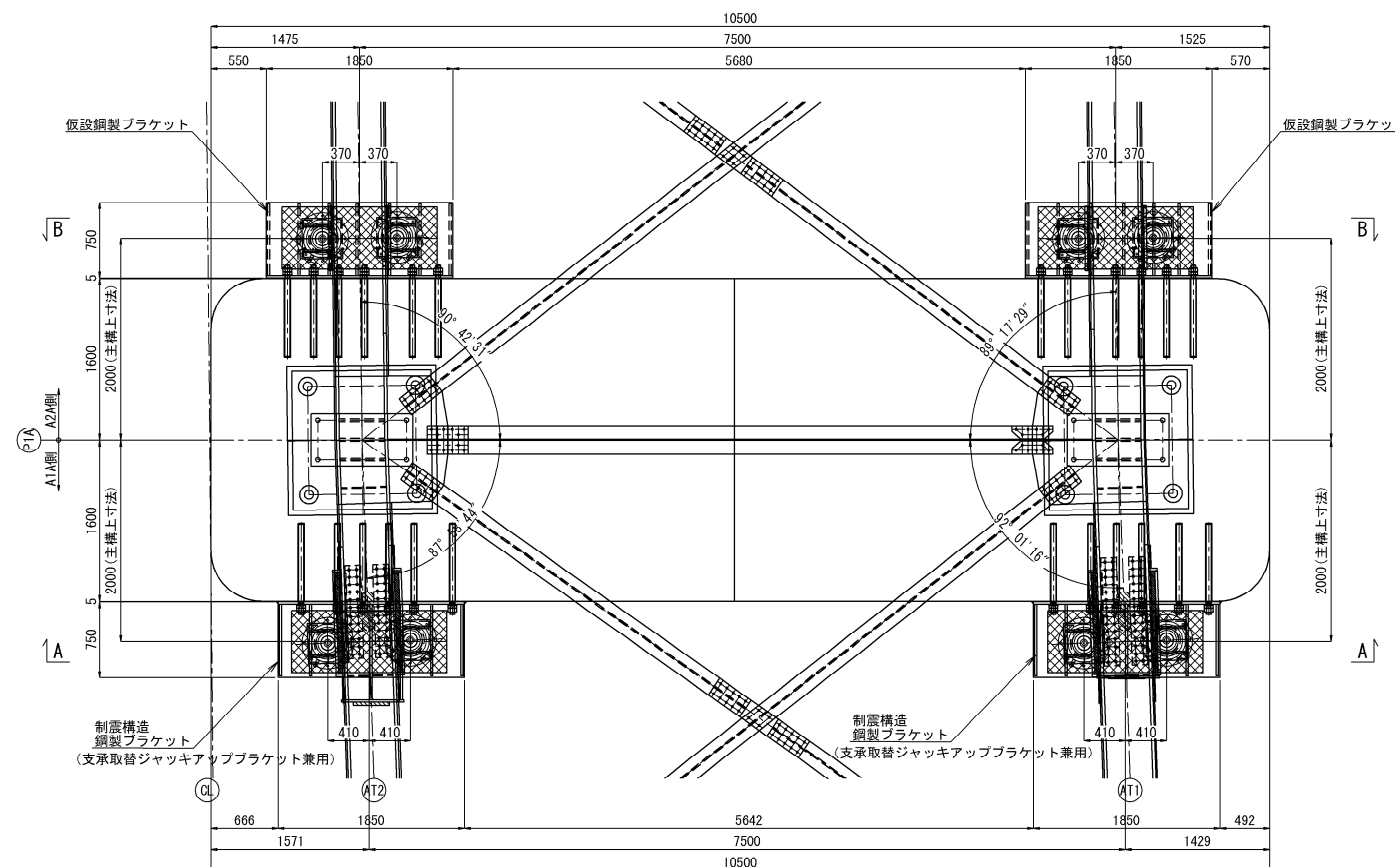
S=1:75

正面図 (A1側)
(A - A)

正面図 (A2側)
(B - B)

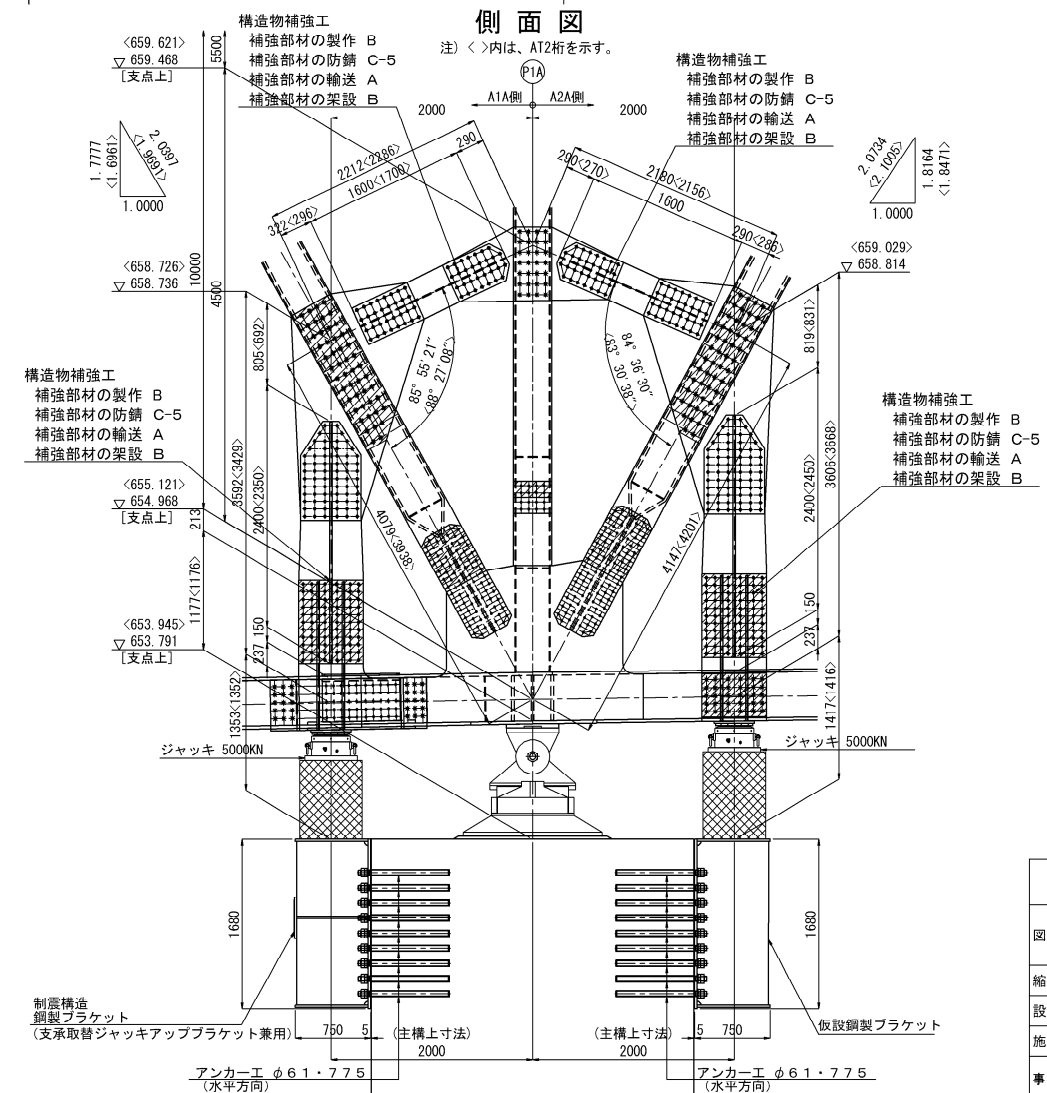


平面图



側面図

注) < >内は、AT2析を示す。



長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線)P1橋脚 構造物補強工(支取替)配置図		
縮 尺	1 : 75	図面番号	473/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

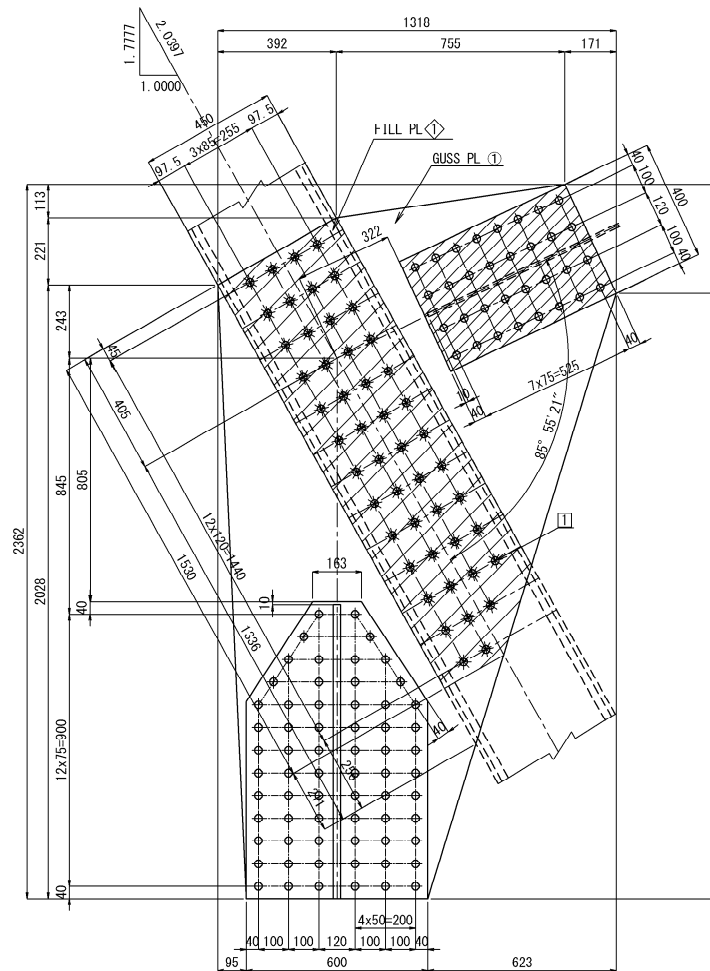
滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 構造物補強工(支承取替)詳細図(その1)

S=1:50

AT1桁

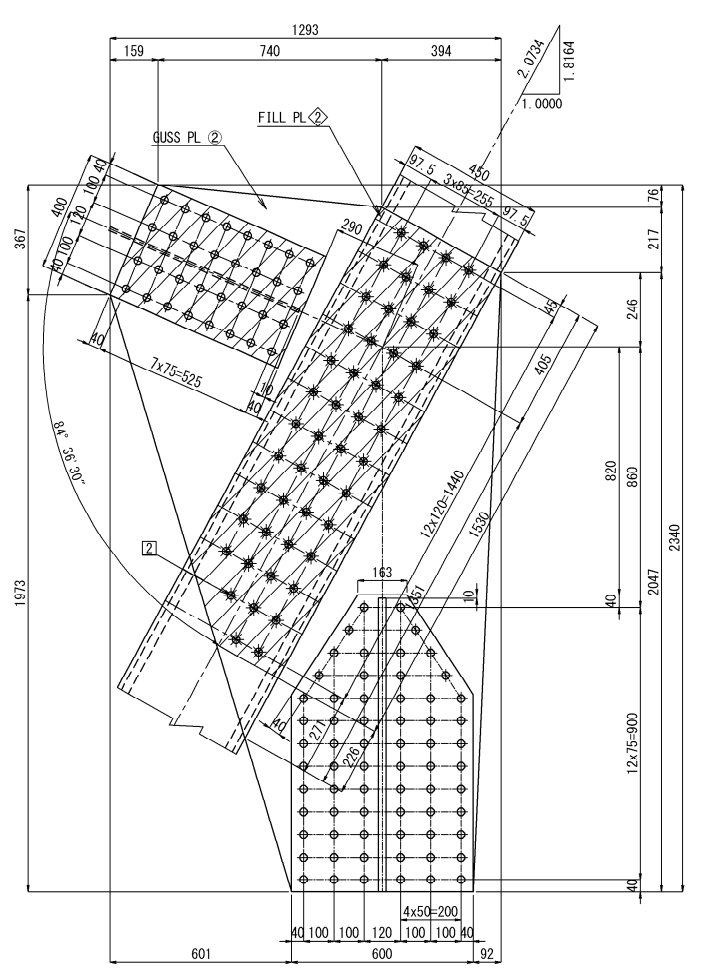
"a"部詳細 s=1:25

"b"部詳細 s=1:25



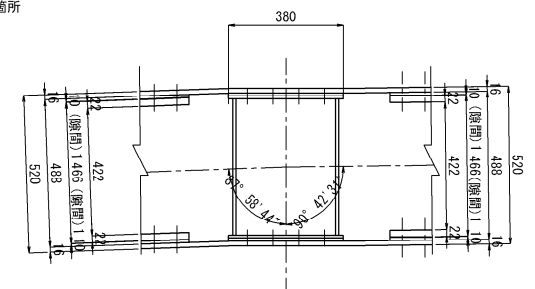
- 1主構当たり数量
① 2-GUSS PL 1318x36x2362 (SS400)
② 2-FILL PL 450x25x1530 (SS400)
③ 98-ワンサイドボルト MUTF24-100 (SCM440)

現場孔明け工
1主構当たり数量
φ25.5 x 98箇所



- 1主構当たり数量
 ② 2-GUSS PL 1293x36x2340 (SS400)
 ② 2-FILL PL 450x25x1530 (SS400)
 ② 98-ワンサイドボルト MUTF24-100 (SCM440)

現場孔明け工
1主構当たり数量
φ25.5 x 98箇所

$$a - a_{s=1:25}$$


注 施にあっては、現地計測を実施して既設構造法を再確認すること。

1. 鋼材の加工は現場の調査・計測を行い構造物の形状を最終的に決めてから行うこと。

2. 現場の調査・計測を元に構造物の形状を変更する場合は必要に応じて応付計算を行うこと。

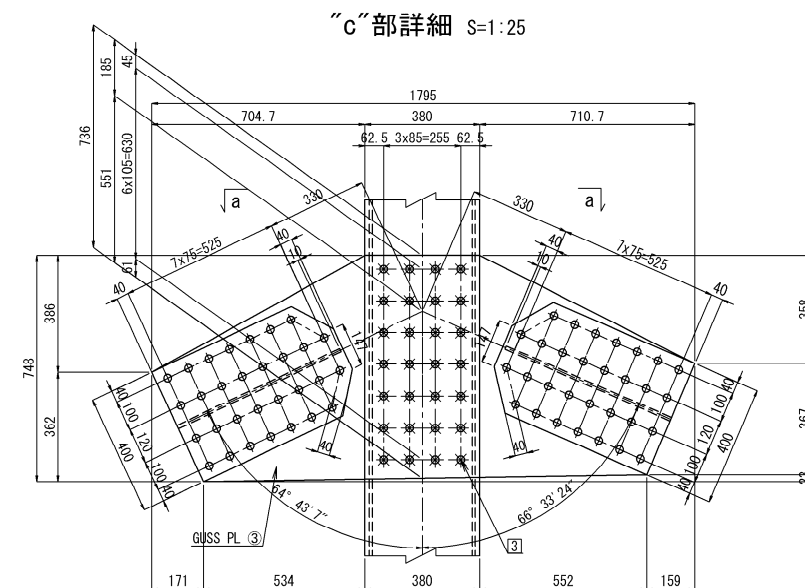
3. 特記な素材材質は全てSM400Aとする。

4. 弁印はTCB M22 (S107) をとし、ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。

※印はMMH1 24(高力ワナサイドボルト) をとし、ボルト孔は既設φ25.5 新設φ26.5とする。

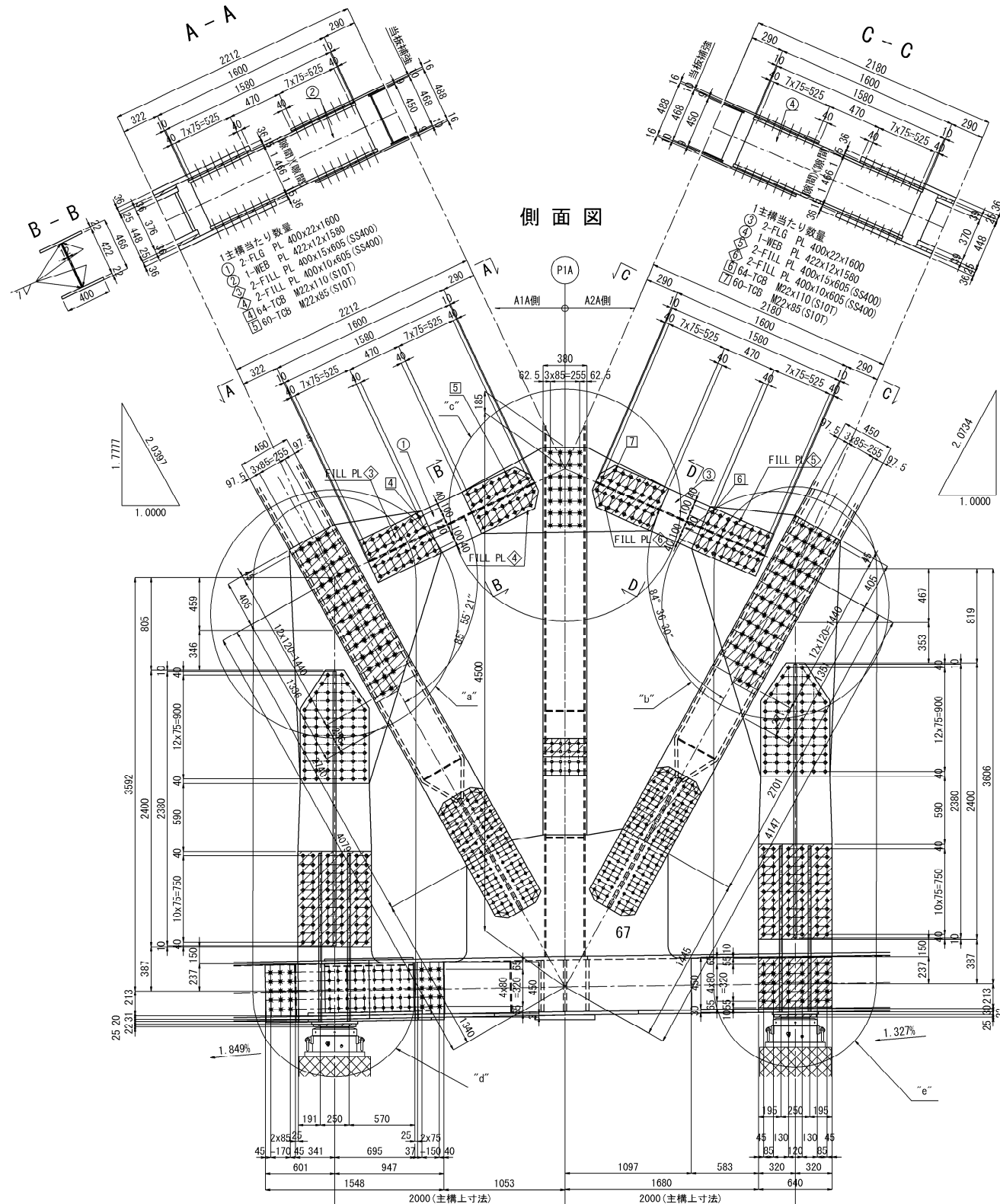
5. 印印はファイバープレートを示す。

7. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。



- ③ 56 ワンサイドボルト MUTF24 35 (SCM440)

現場孔明け工
1主構当たり数量
φ25.5 x 56箇所



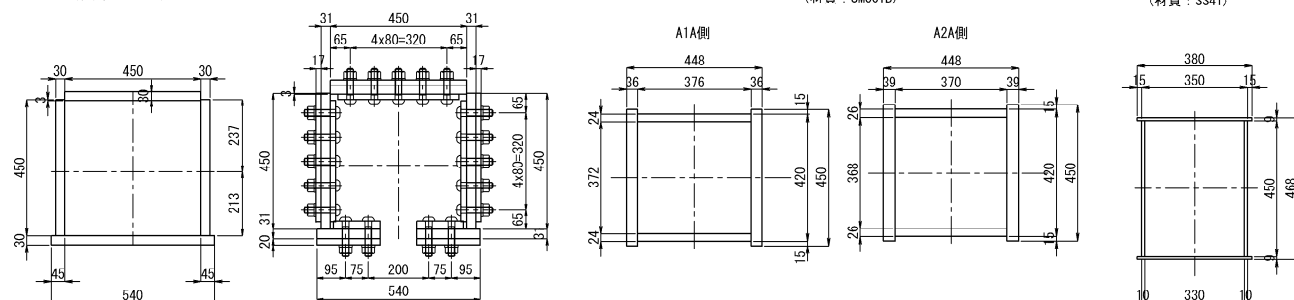
既設部材断面図 S=1:25

A2A側 下弦材
(材質: SM50YB)

A1A側 下弦材添接部
(材質: SM50YB)

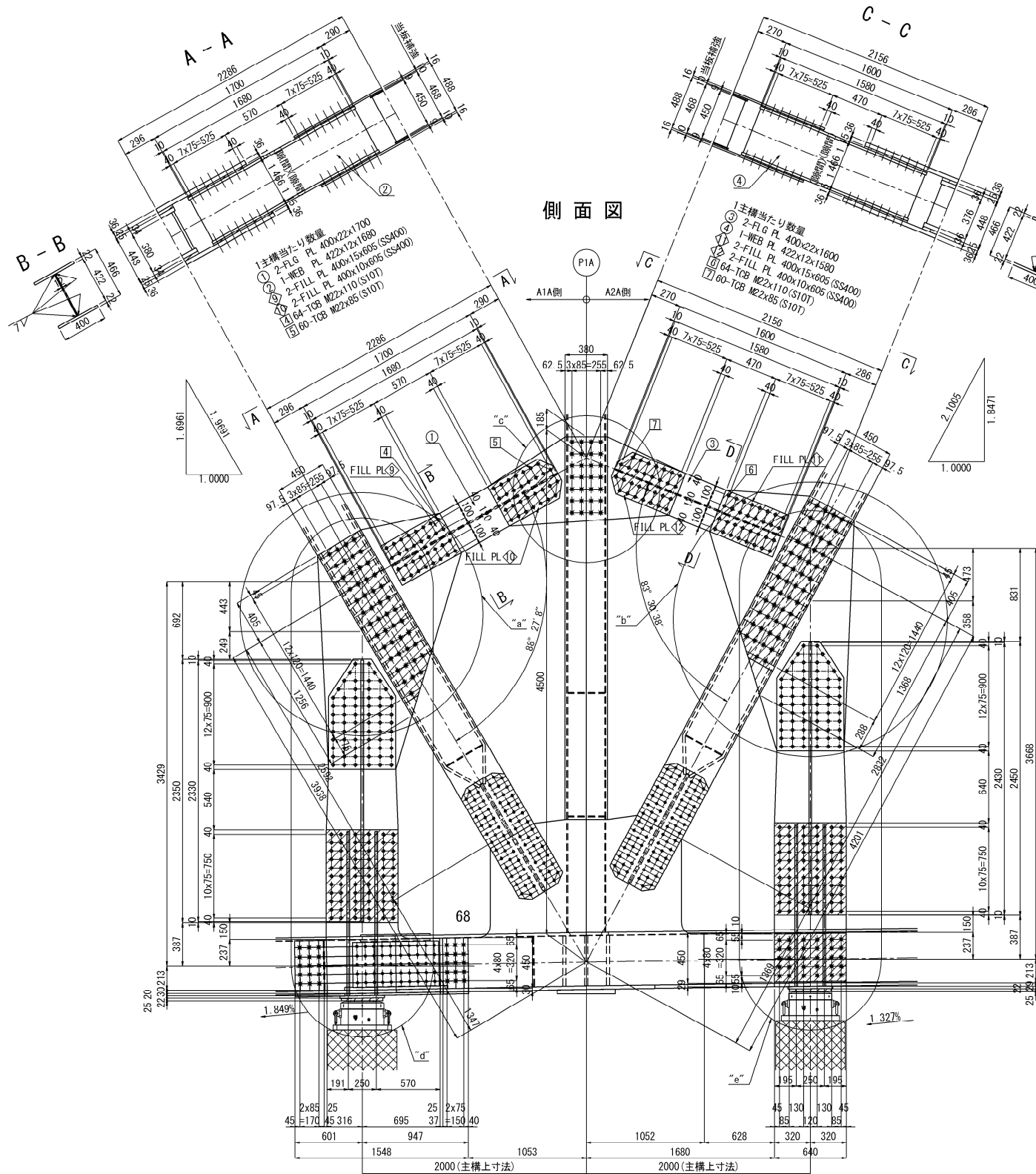
斜材
(材質：SM50YB)

鉛直材
(材質：SS41)

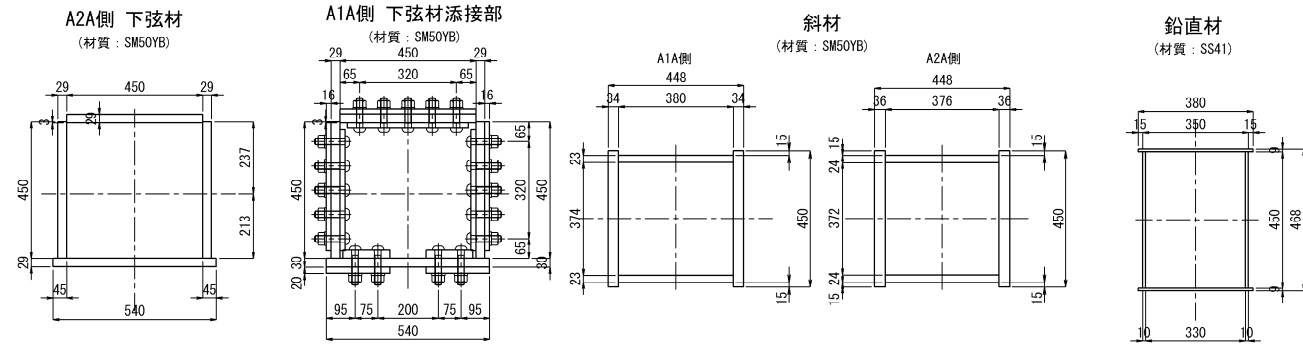


長野自動車道 五常橋仮版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 構造物補強工(支取代替) 詳細図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	474/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

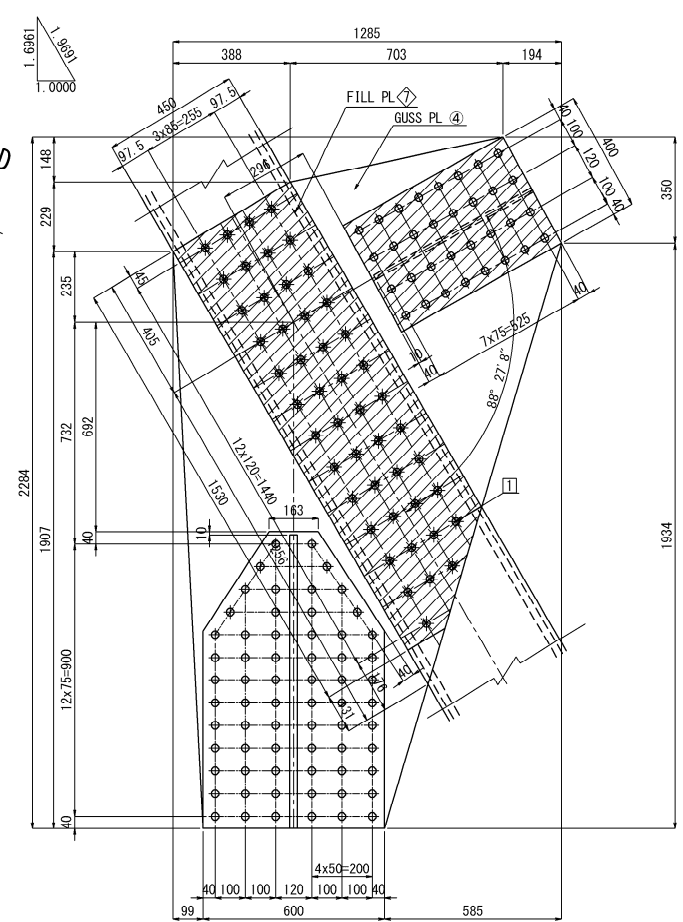
AT2桁



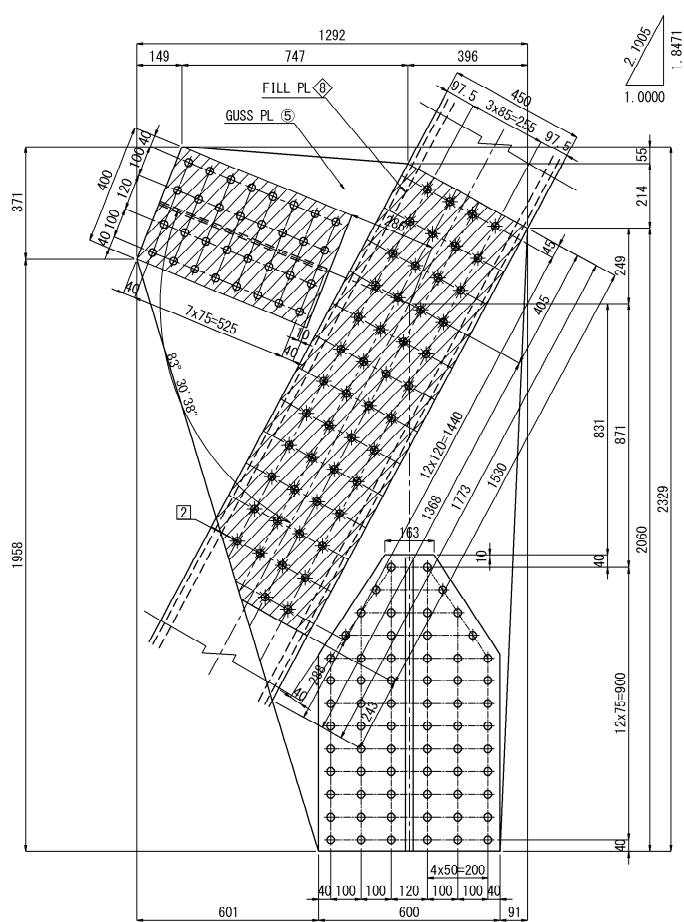
既設部材断面図 S=1:25



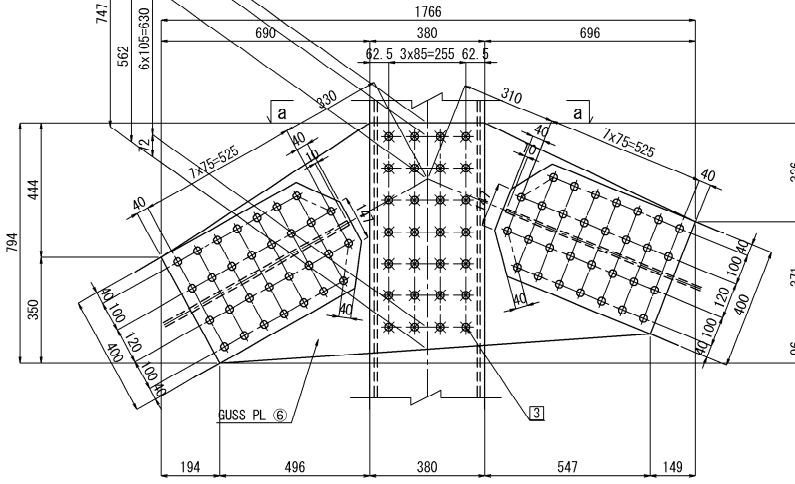
“a”部詳細 S=1:25



“b”部詳細 S=1:25



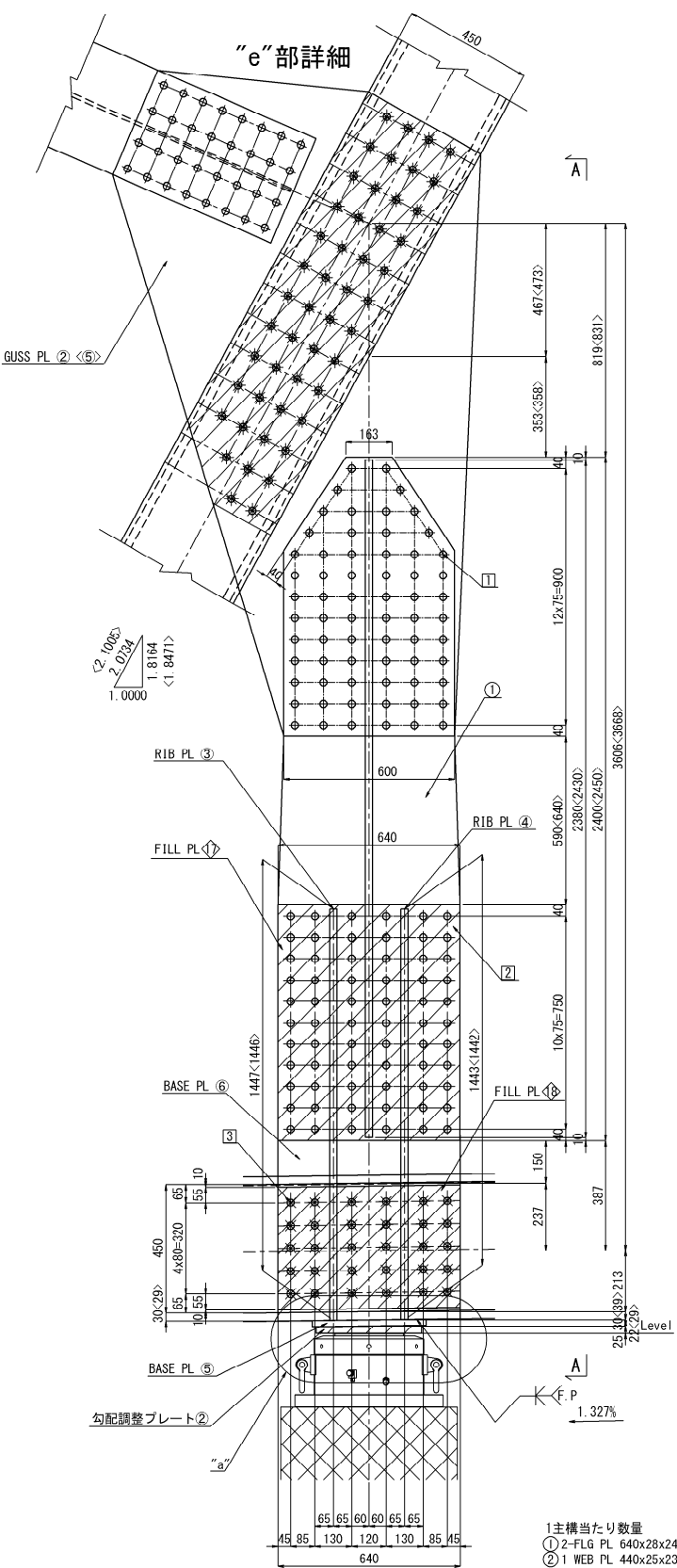
“c”部詳細 S=1:25



- 注 記
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造物寸法を再確認すること。
 2. 鋼材の加工は現場の調査・計測を行い構造物の形状を最終的に決めてから行うこと。
 3. 現場の調査・計測を元に構造物の形状を変更する場合は必要に応じて応力計算を行うこと。
 4. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 5. ①印はTCB M22 (S10T) を示し、ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。
②印はMUT 24 (高力ワンサイドボルト) を示し、ボルト孔は既設φ25.5 新設φ26.5とする。
 6. ③印はフィラープレートを示す。
 7. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。

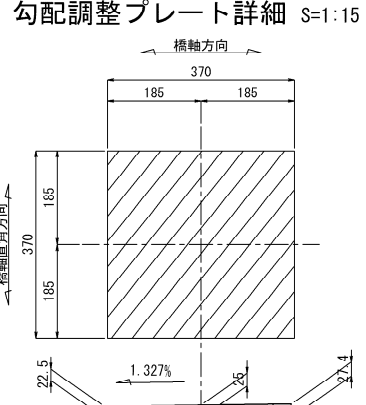
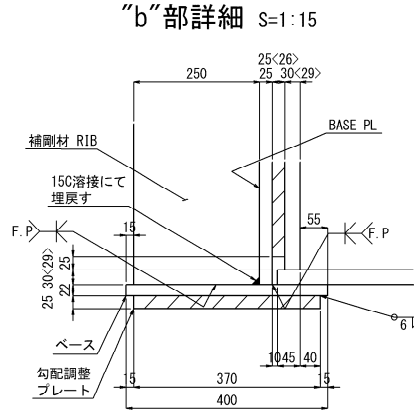
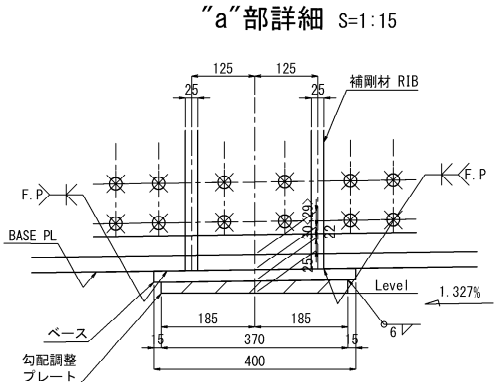
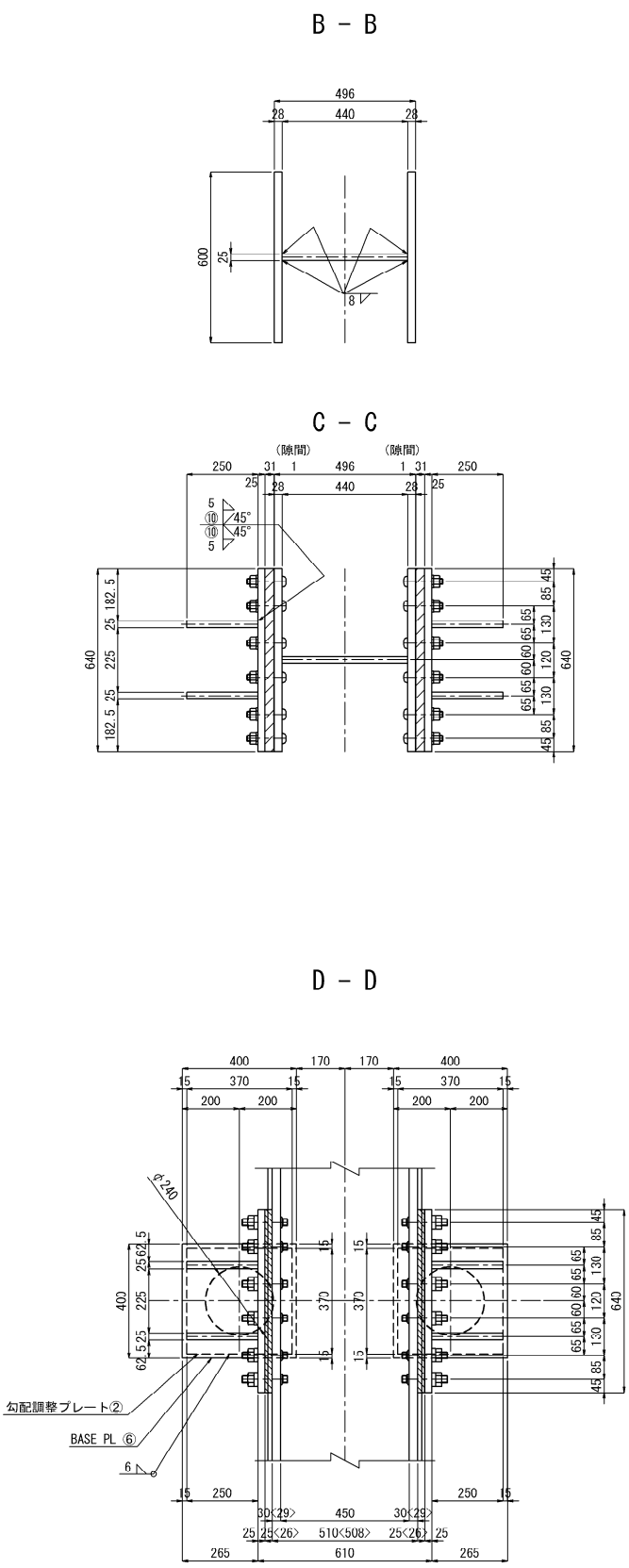
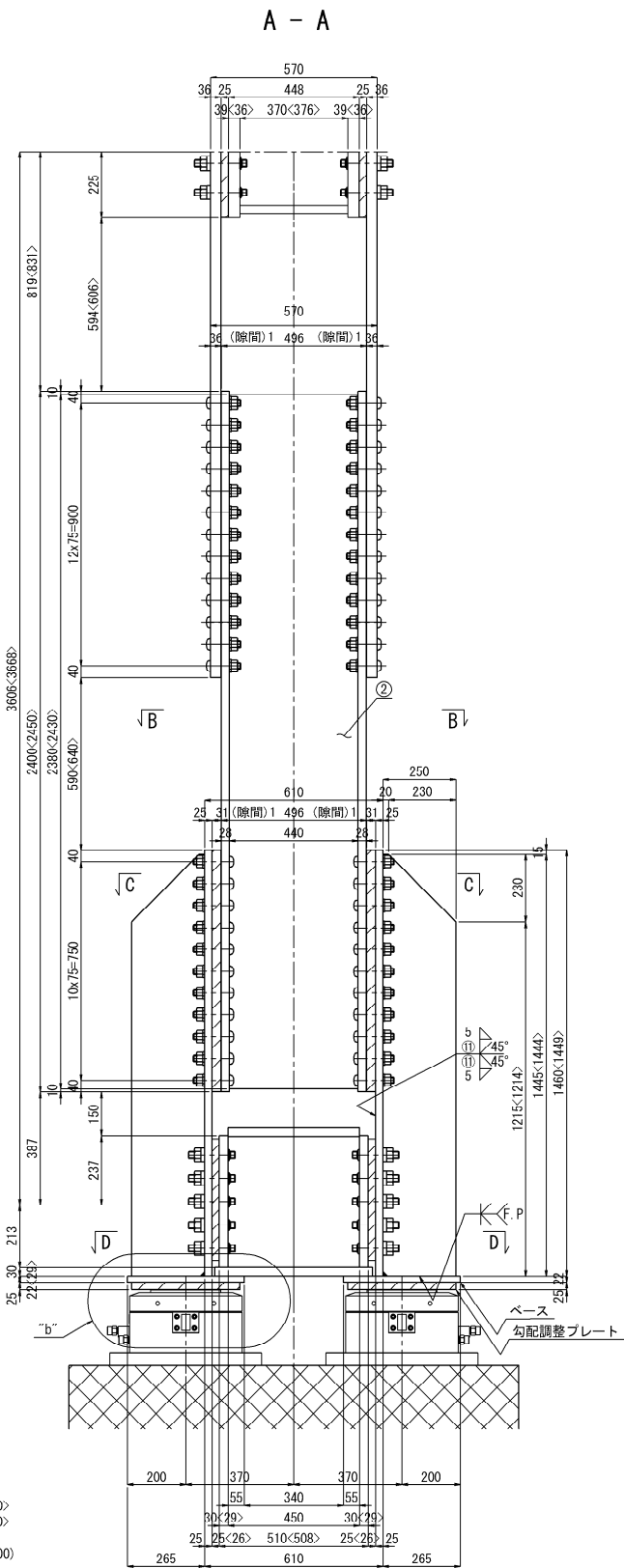
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 構造物補強工(支承取替)詳細図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	475/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

AT1<AT2>桁 (A2側)



- 1主構当たり数量
- ① 2-FLG PL 640x28x2400<2450>
 - ② 1 WEB PL 440x25x2380<2430>
 - ③ 132-TCR M22x100 (S10T)
 - ④ 2-FILL PL 640x31x830 (SS400)
 - ⑤ 2-FILL PL 640x31x830 (SS400)
 - ⑥ 2-BASE PL 640x25x1464<1463> (SM490YB)
 - ⑦ 2-RIB PL 250x25x1447<1446> (SM490YD)
 - ⑧ 2-RIB PL 250x25x1443<1442> (SM490YB)
 - ⑨ 2-BASE PL 400x22x400
 - ⑩ 2-調整 PL 370x30x370
 - ⑪ 2-FILL PL 439x25<26>x640 (SS400)
 - ⑫ 60-ワンサイドボルト MUTF24-80 (SCM440)

現場孔明け工
1主構当たり数量
φ25.5x60箇所

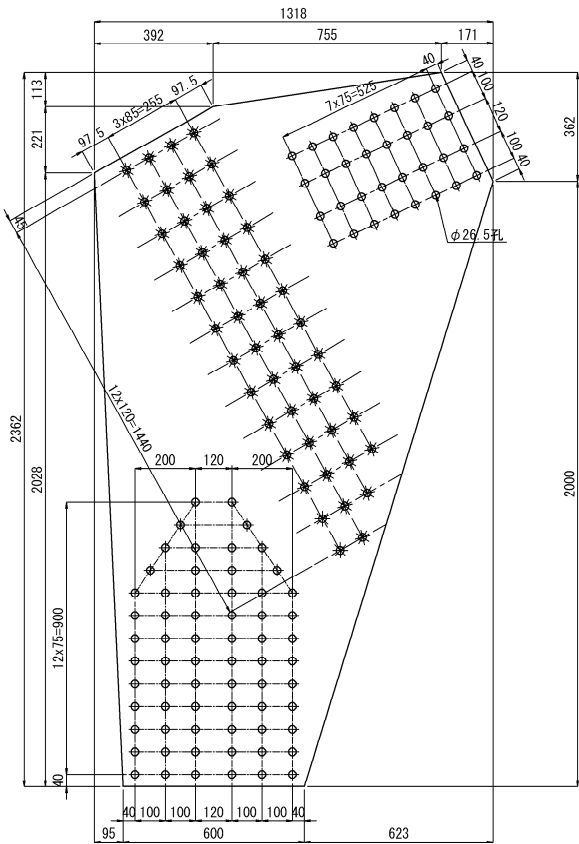


- 注 記
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
 2. 鋼材の加工は現橋の調査・計測を行い構造物の形状を最終的に決めてから行うこと。
 3. 現橋の調査・計測を元に構造物の形状を変更する場合は必要に応じて応力計算を行うこと。
 4. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 5. 印はTCB M22 (S10T) を示し、ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。
※印はMUT 24 (高力ワンサイドボルト) を示し、ボルト孔は既設φ25.5 新設φ26.5とする。
 6. 印はフィラープレートを示す。
 7. 「F.P.」の表示のある箇所は、完全溶込み溶接とする。
 8. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 構造物補強工(支承取替)詳細図(その4)		
縮 尺	図示	図面番号	477/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

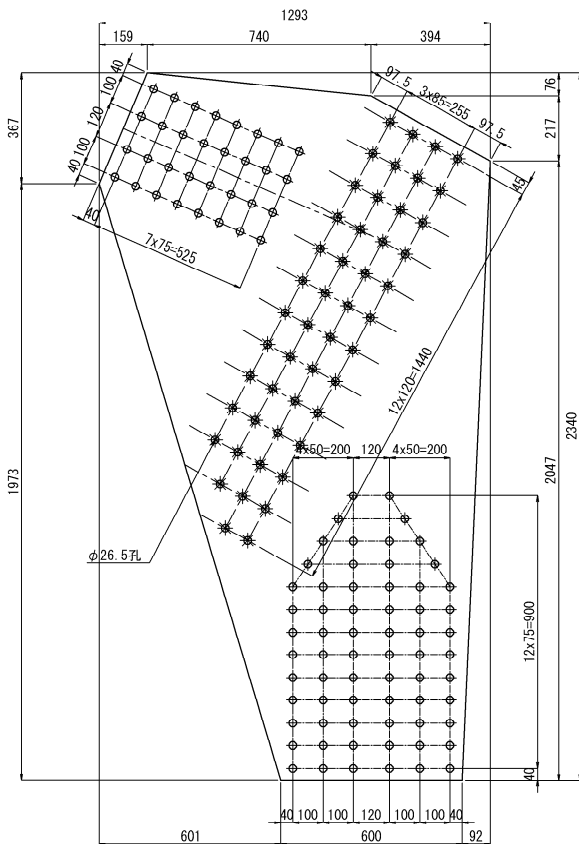
GUSS PL ① 詳細

AT1
t=36mm



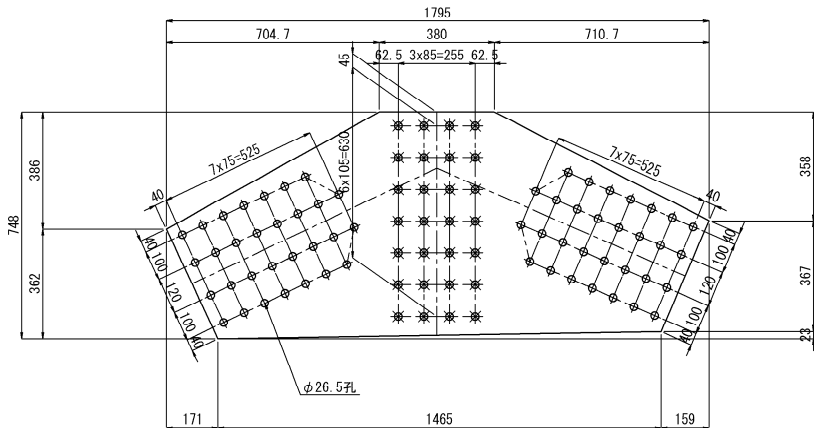
GUSS PL ② 詳細

AT1
t=36mm



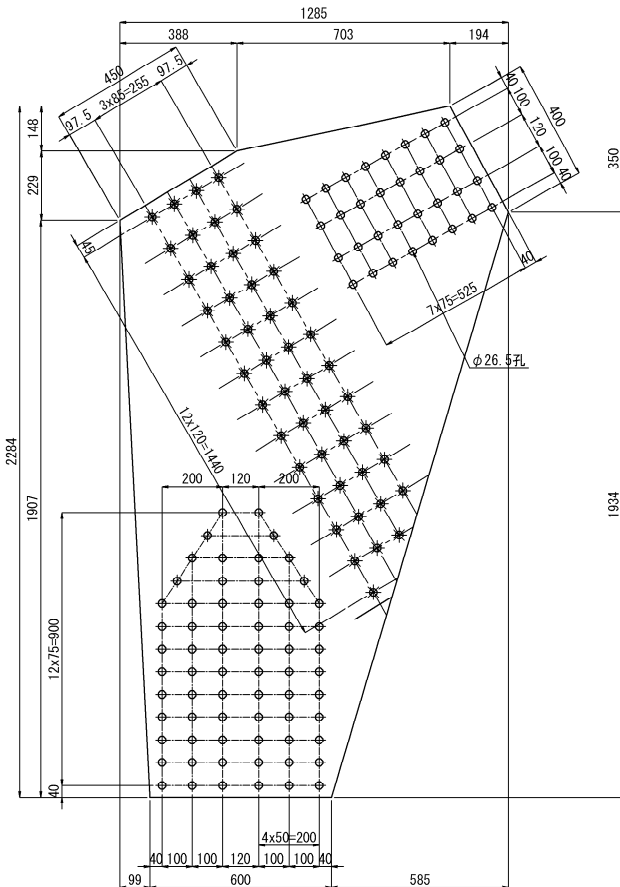
GUSS PL ③ 詳細

AT1
t=16mm



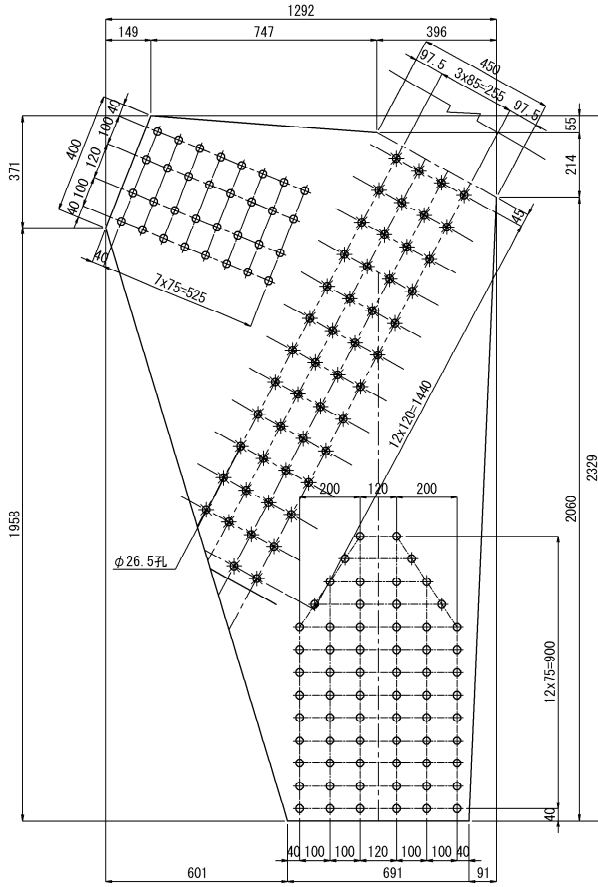
GUSS PL ④ 詳細

AT2
t=36mm



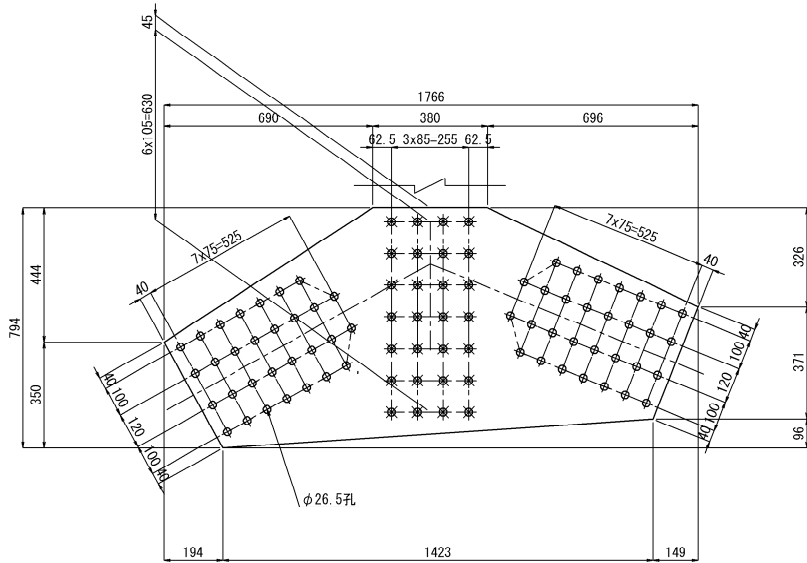
GUSS PL ⑤ 詳細

AT2
t=36mm

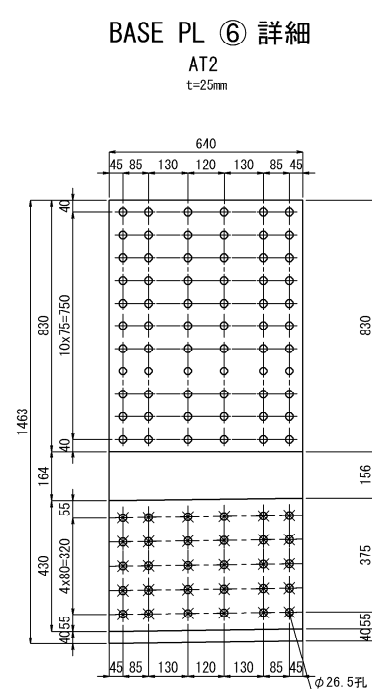
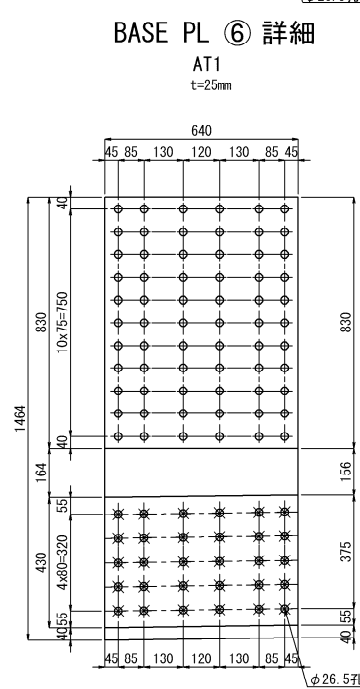
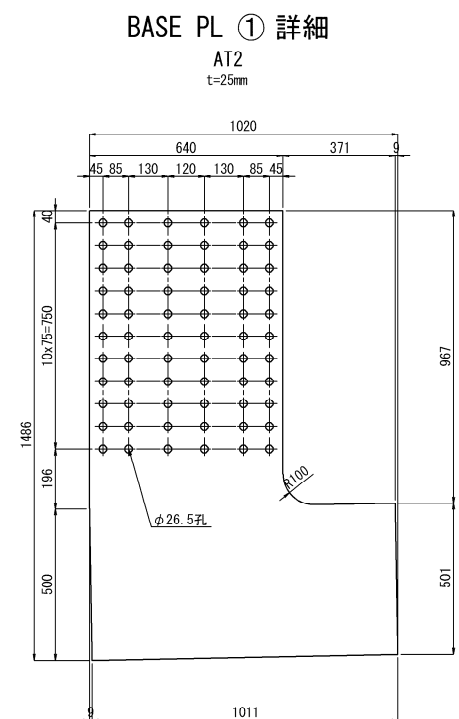
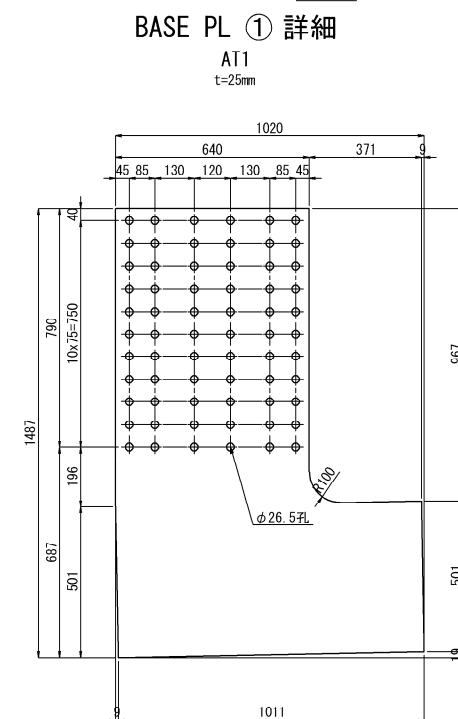
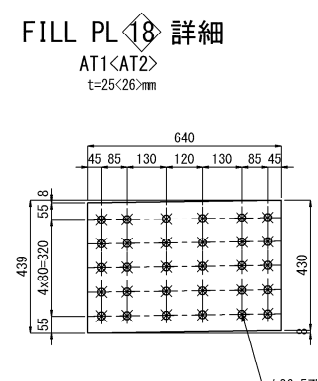
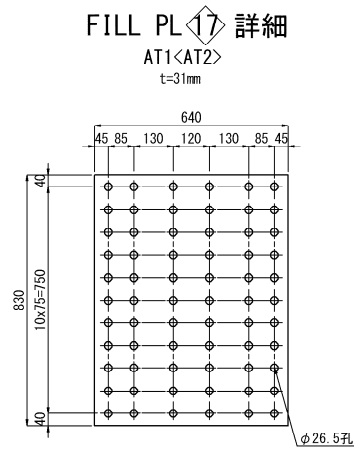
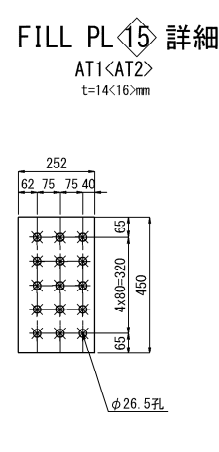
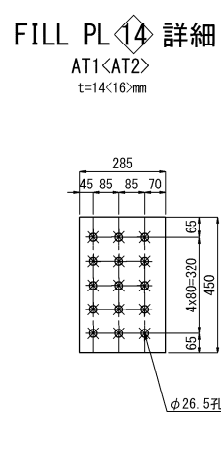
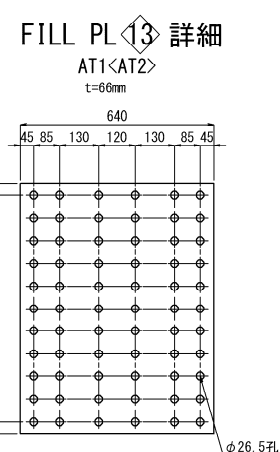
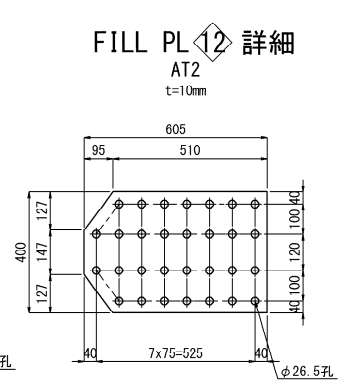
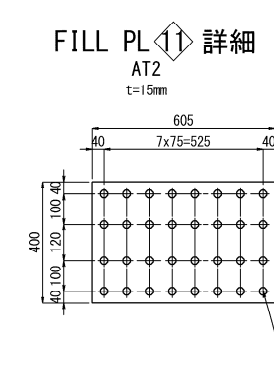
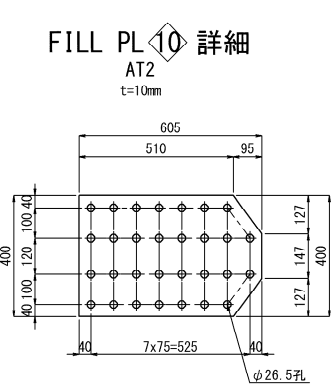
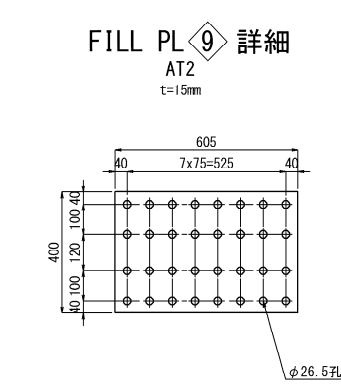
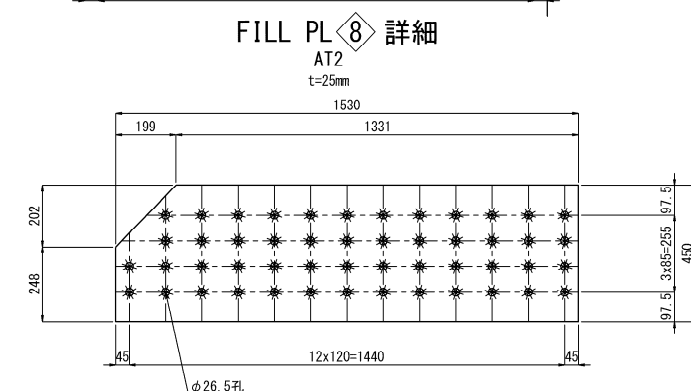
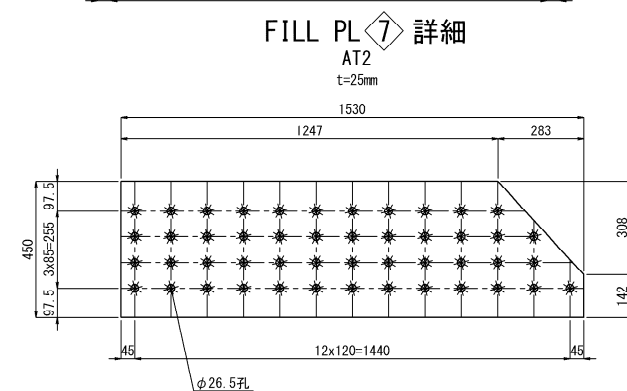
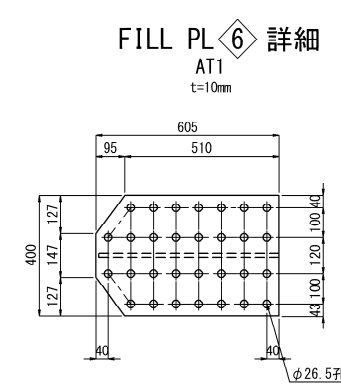
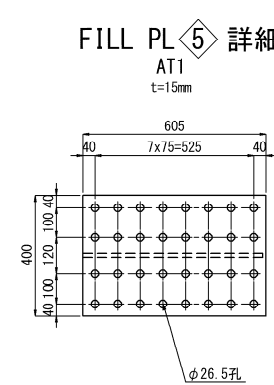
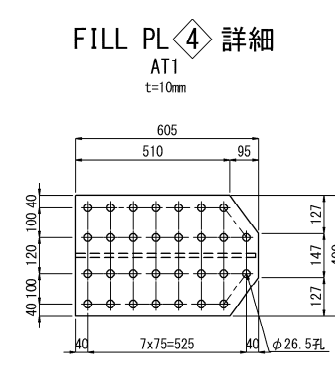
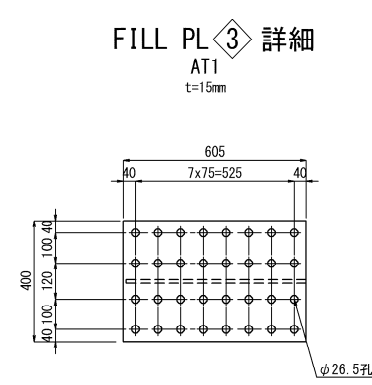
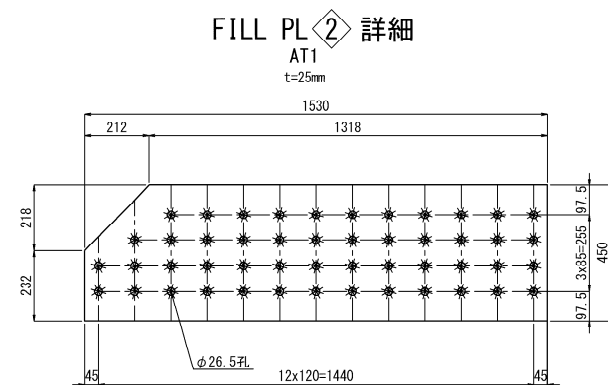
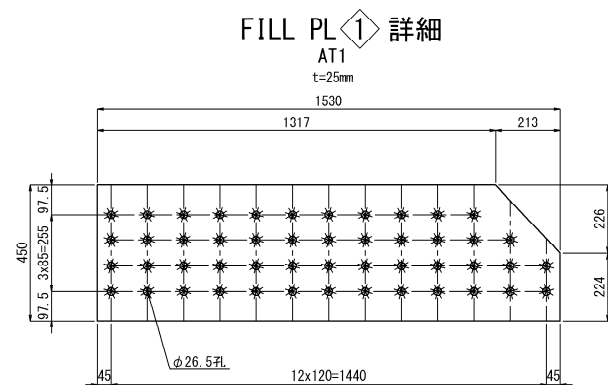


GUSS PL ⑥ 詳細

AT2
t=16mm



長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚		
	構造物補強工(支承取替)詳細図(その5)		
縮 尺	1:25	図面番号	478/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		



長野自動車道			
五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 構造物補強工(支承取替)詳細図(その6)		
縮 尺	1:25	図面番号	479/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

新設斜材

AT1桁

AT2桁

側面図

側面図

“b”部詳細 S=1:25

FILL PL ②詳細 S=1:25

GUSS PL ② 詳細 S=1:25

“a”部詳細 S=1:25

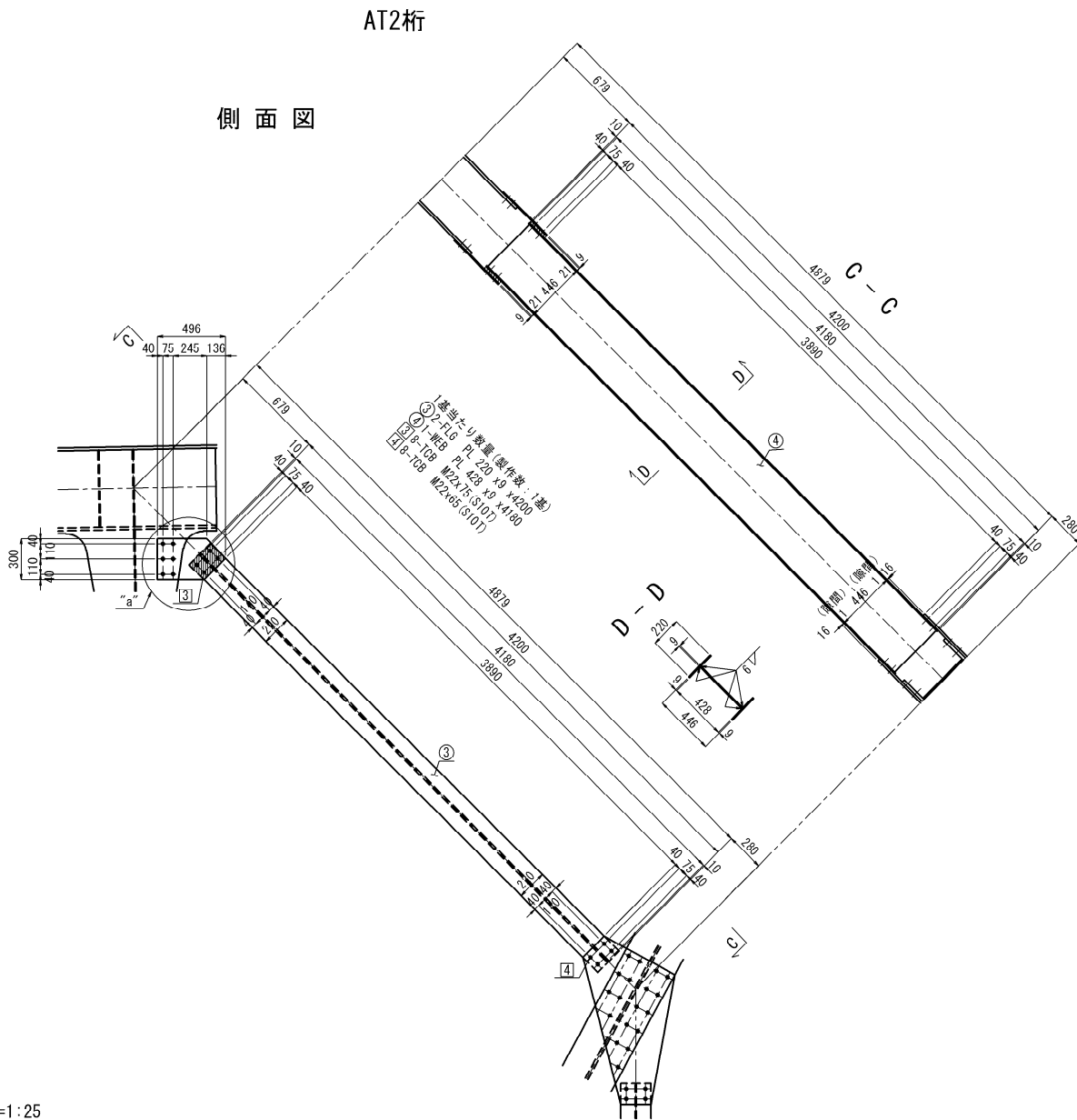
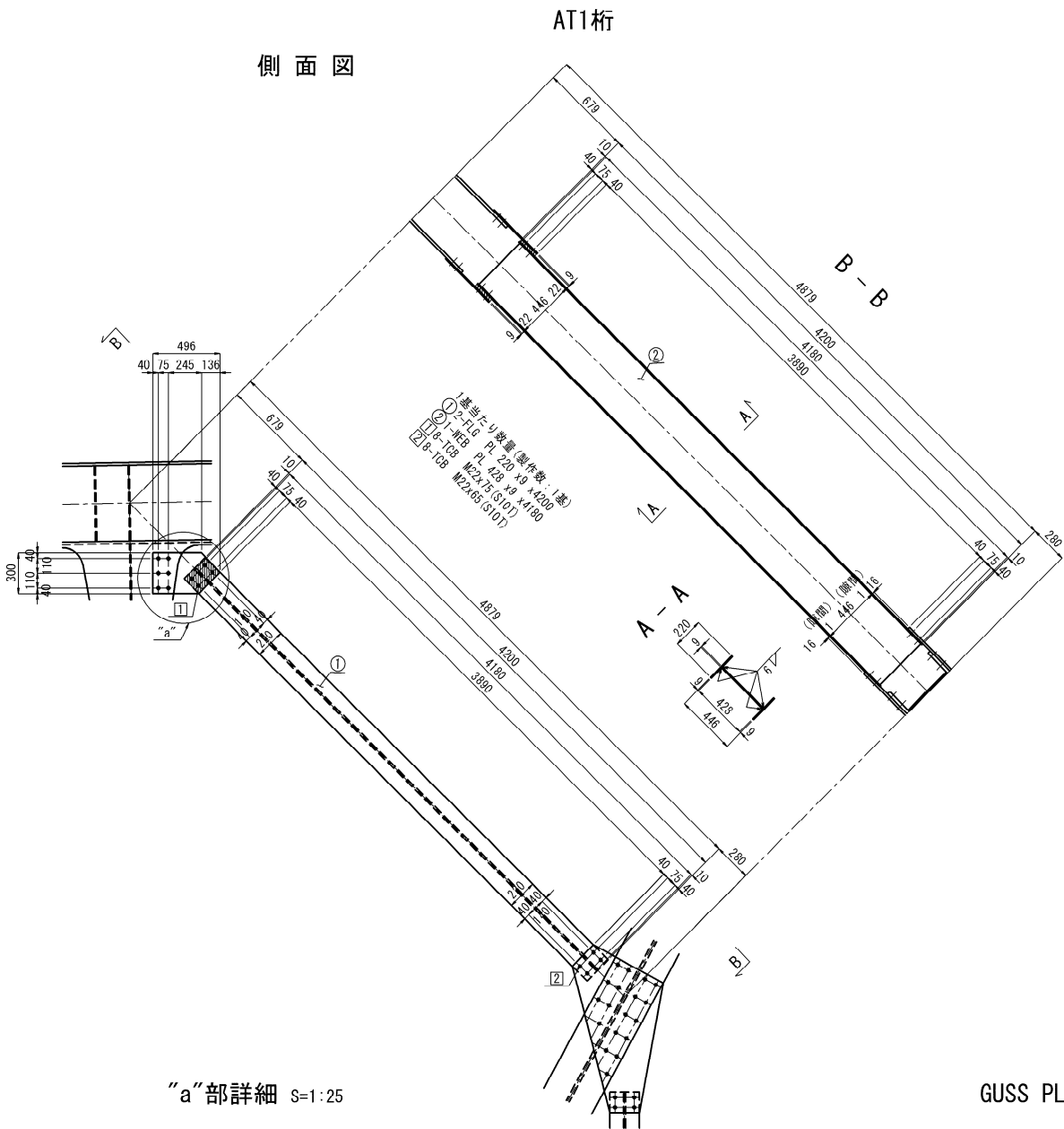
GUSS PL ① 詳細 S=1:25

FILL PL ①詳細 S=1:25

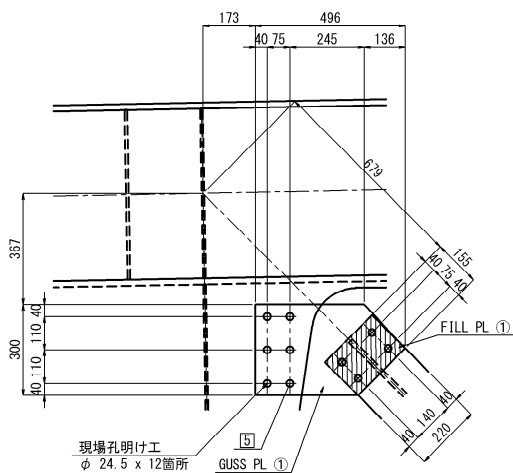
- 注 記
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
 2. 鋼材の加工は現橋の調査・計測を行い構造物の形状を最終的に決めてから行うこと。
 3. 現橋の調査・計測を元に構造物の形状を変更する場合は必要に応じて応力計算を行うこと。
 4. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 5. ④印はTCB M22 (S10T)を示し、ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。
 - ※印はMUTF 24(高カワナサイドボルト)を示し、ボルト孔は既設φ25.5 新設φ26.5とする。
 6. 斜材印はフィラブレートを示す。
 7. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A1橋台 構造物補強工(制震構造) 詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	480/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

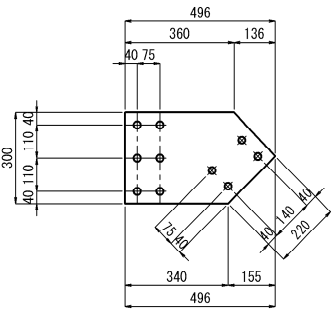
新設斜材



“a”部詳細 S=1:25



GUSS PL ① 詳細 S=1:25

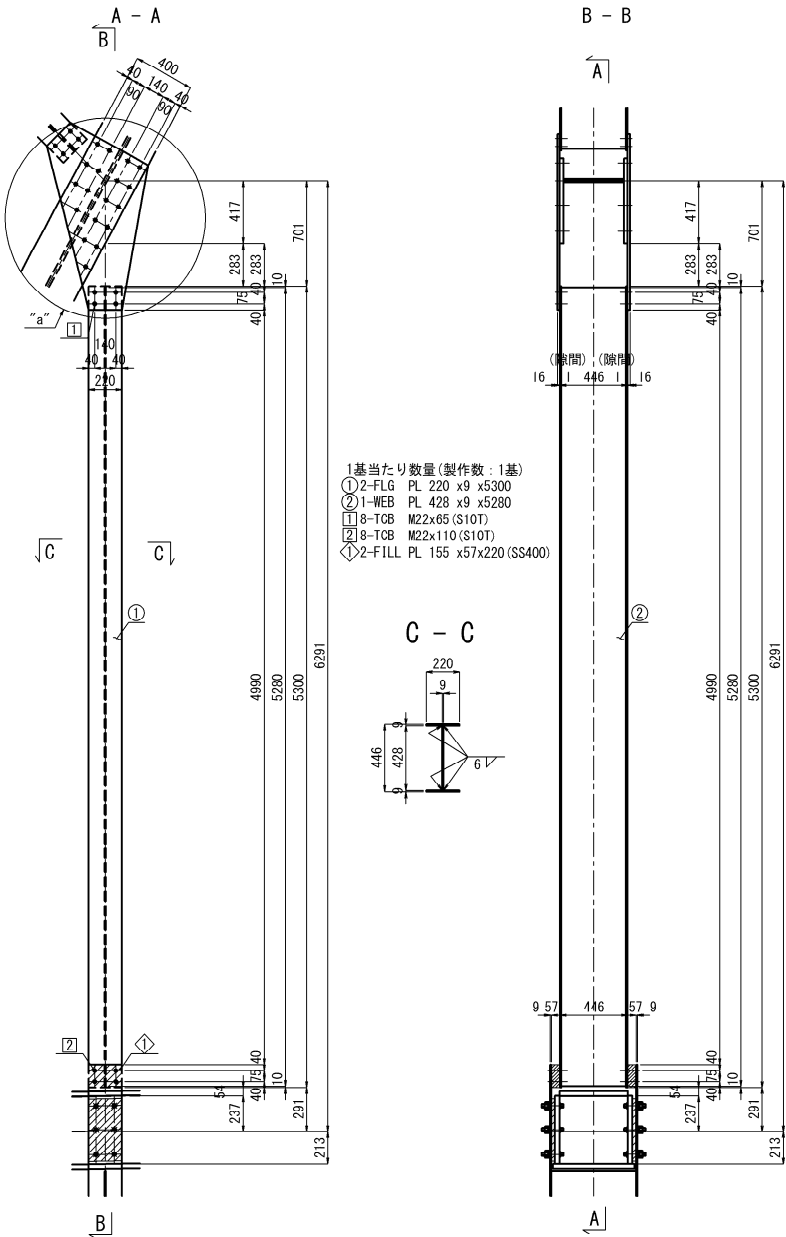


- 注 記
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
 2. 鋼材の加工は現橋の調査・計測を行い構造物の形状を最終的に決めてから行うこと。
 3. 現橋の調査・計測を元に構造物の形状を変更する場合は必要に応じて応力計算を行うこと。
 4. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 5. ④印はTCB M22 (S10T)を示し、ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。
※印はMUTF 24 (高力ワナサイドボルト)を示し、ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
 6. ⑤印はフィラープレートを示す。
 7. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。

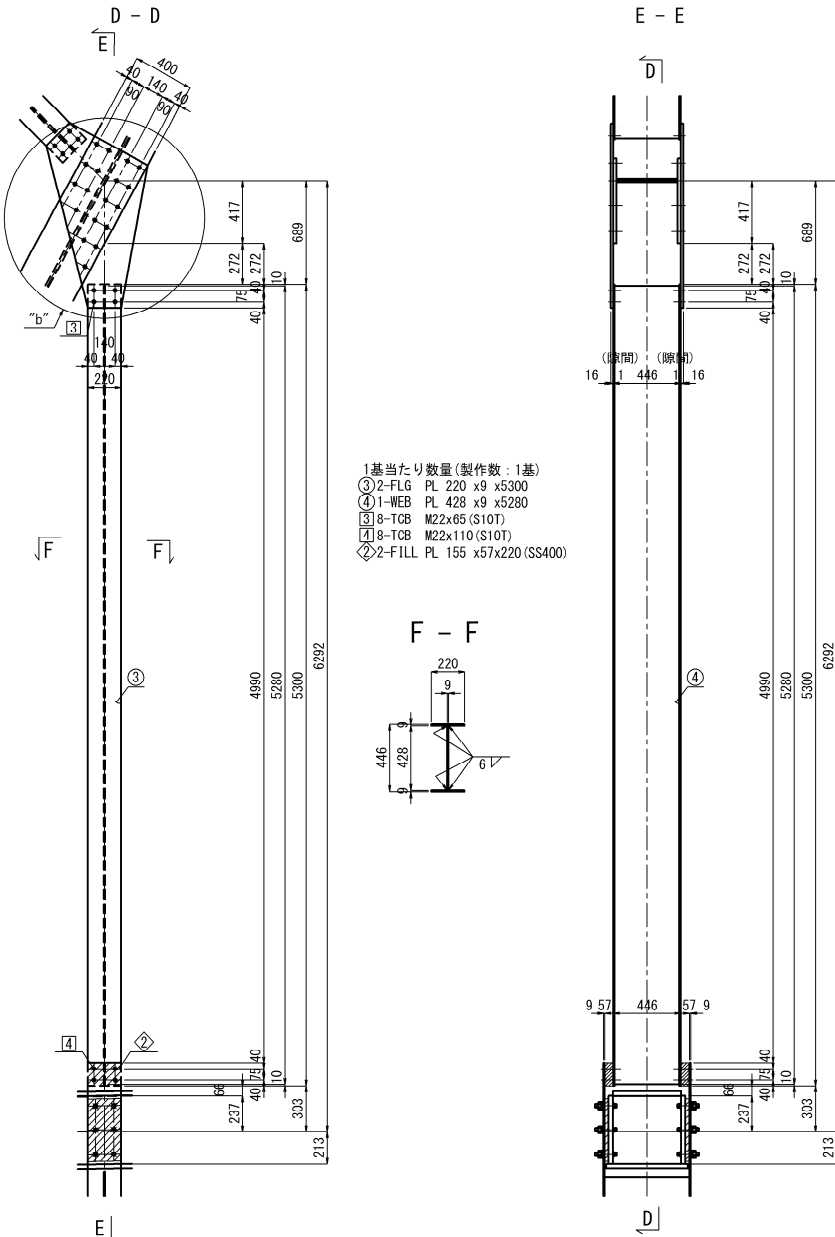
長野自動車道			
五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚		
	構造物補強工(制震構造)詳細図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	481/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

新設鉛直材

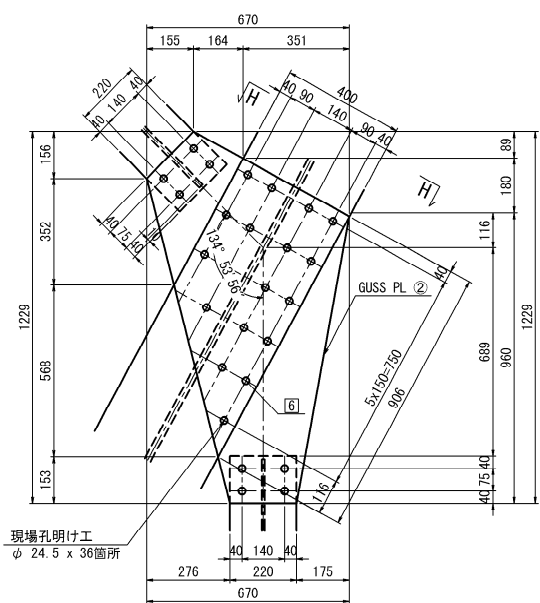
AT1



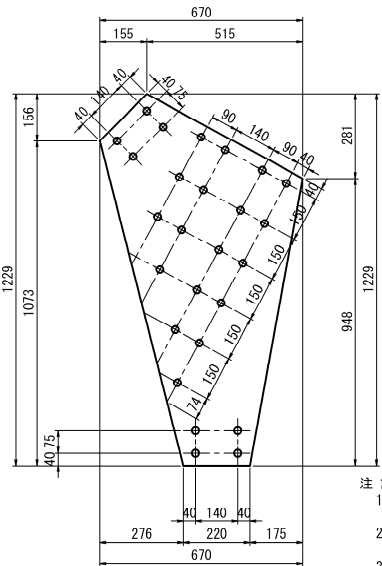
AT2



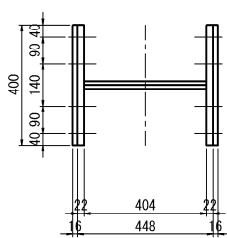
“b”部詳細 S=1:25



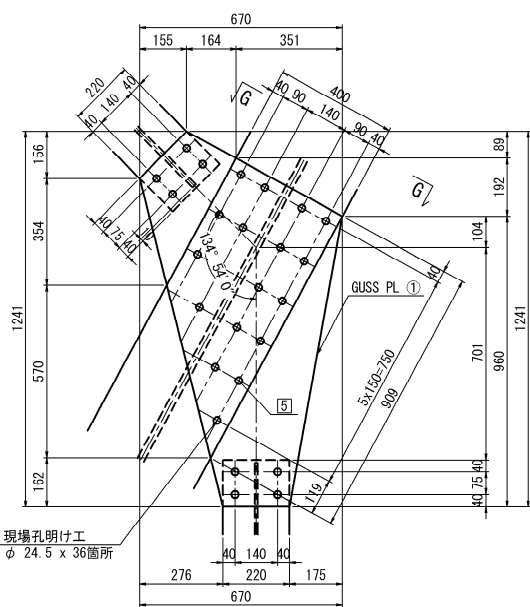
GUSS PL ② 詳細 S=1:25



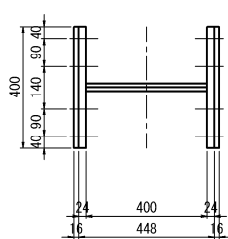
H - H S=1:25



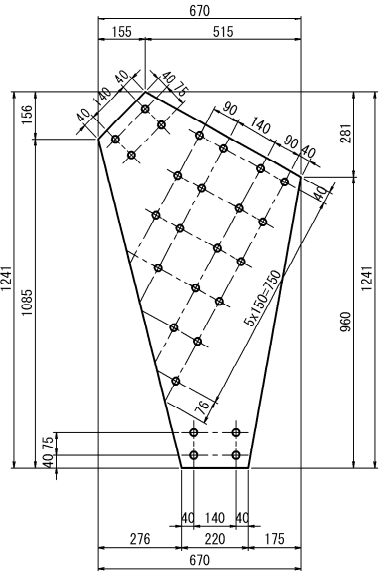
“a”部詳細 S=1:25



G - G S=1:25



GUSS PL ① 詳細 S=1:25



- 1基当たり数量(製作数:1基)
① 2-GUSS PL 670 x16 x1241 (SS400)
⑤ 36-TCB M22x75 (S10T)
- 現場孔明け工
1基当たり数量(1箇所)
φ 24.5 x 36箇所 (SM490、t≤30)

注 記

1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 鋼材の加工は現橋の調査・計測を行い構造物の形状を最終的に決めてから行うこと。
3. 現橋の調査・計測を元に構造物の形状を変更する場合は必要に応じて応力計算を行うこと。
4. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
5. ④印はTCB M22 (S10T)を示し、ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。
- ※印はMUTF 24 (高カワンスイドボルト)を示し、ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
6. ⑦印はフィラープレートを示す。
7. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 構造物補強工(制震構造)詳細図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	482/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

新設材材

AT1桁

AT2桁

側面図

側面図

“b”部詳細 S=1:25

GUSS PL ② 詳細 S=1:25

FILL PL ②詳細 S=1:25

GUSS PL ① 詳細 S=1:25

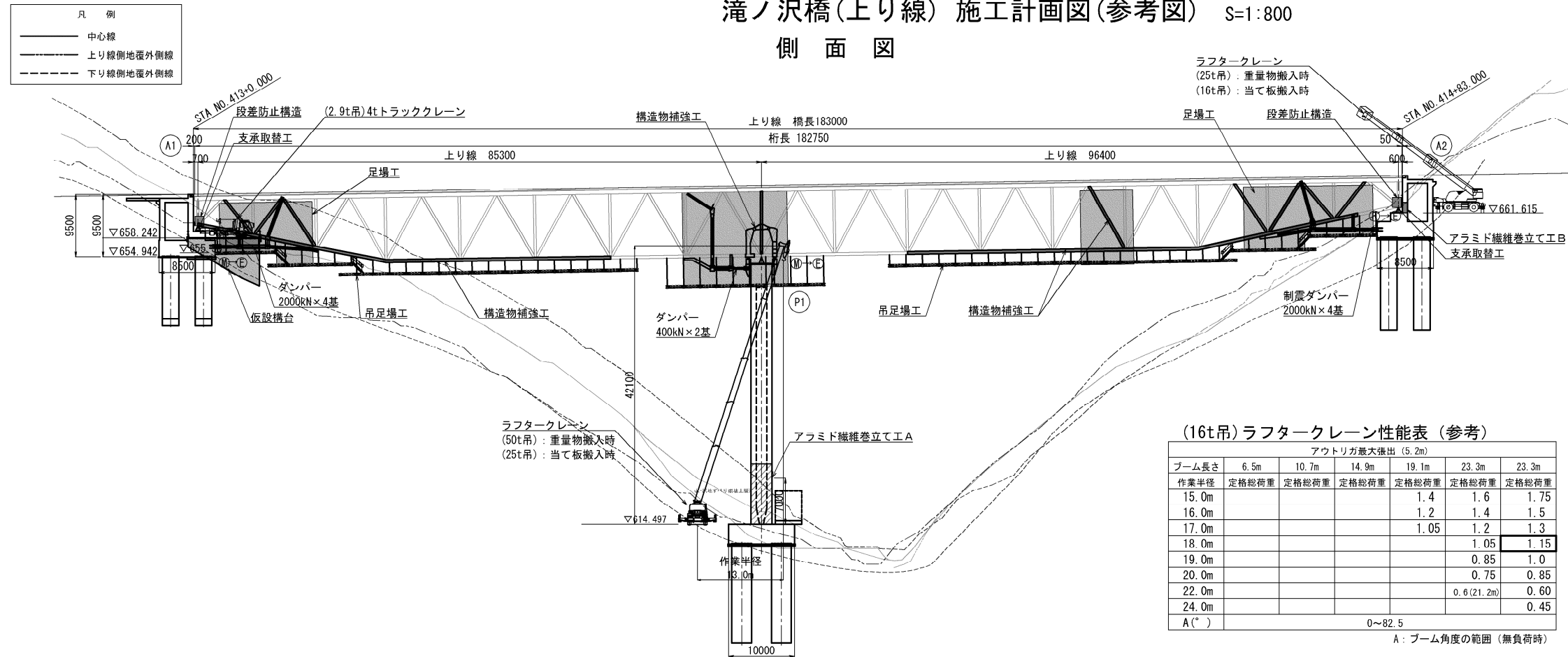
FILL PL ①詳細 S=1:25

“a”部詳細 S=1:25

- 注 記
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
 2. 鋼材の加工は現橋の調査・計測を行い構造物の形状を最終的に決めてから行うこと。
 3. 現橋の調査・計測を元に構造物の形状を変更する場合は必要に応じて応力計算を行うこと。
 4. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 5. Φ 印はTCB M22 (S10T)を示し、ボルト孔は既設 $\phi 24.5$ 新設 $\phi 26.5$ とする。
※印はMUTF 24 (高カワナサイドボルト)を示し、ボルト孔は既設 $\phi 25.5$ 新設 $\phi 26.5$ とする。
 6. 斜線 印はフィラープレートを示す。
 7. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。

長野自動車道			
五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A2橋台 構造物補強工(制震構造)詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	483/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) 施工計画図(参考図) S=1:800
側 面 図



(2.9t吊)4tトラッククレーン性能表 (参考)

作業半径 (m)		2.0	2.2	2.4	2.6	2.7	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.36	前方領域
空車時 定格荷重 (t)	最大性能	2.93	2.93	2.93	2.93	2.93	2.58	2.18	1.88	1.63	1.38	1.28	空車時 定格の 25%
	中間性能	2.93	2.93	2.93	2.93	2.93	2.58	2.18	1.88	1.48	1.23	1.08	
	最小性能	1.63	1.43	1.23	1.08	1.00	0.83	0.63	0.50	0.40	0.33	0.29	
強度定格荷重 (t)		2.93	2.93	2.93	2.93	2.93	2.58	2.18	1.88	1.66	1.48	1.38	

(50t吊)ラフタークレーン性能表 (参考)

ブーム長さ	9.7m	16.0m	22.3m	28.6m	34.9m	38.05m	41.2m
作業半径	定格総荷重	定格総荷重	定格総荷重	定格総荷重	定格総荷重	定格総荷重	定格総荷重
10.0m	12.3	11.9	10.5	9.3	8.5	7.0	
11.0m	10.2	9.9	9.6	8.5	7.8	6.8	
12.0m	8.5	8.25	8.8	7.8	7.2	6.4	
13.0m	7.1	6.9	7.9	7.1	6.6	6.0	
14.0m		5.9	6.9	6.6	6.1	5.6	
16.0m		4.3	5.2	5.7	5.3	4.9	
18.0m		3.0	4.0	4.5	4.6	4.3	
A (°)	0~83.5					16~83.5	26~83.5
標準フック	51トンフック	25トンフック					

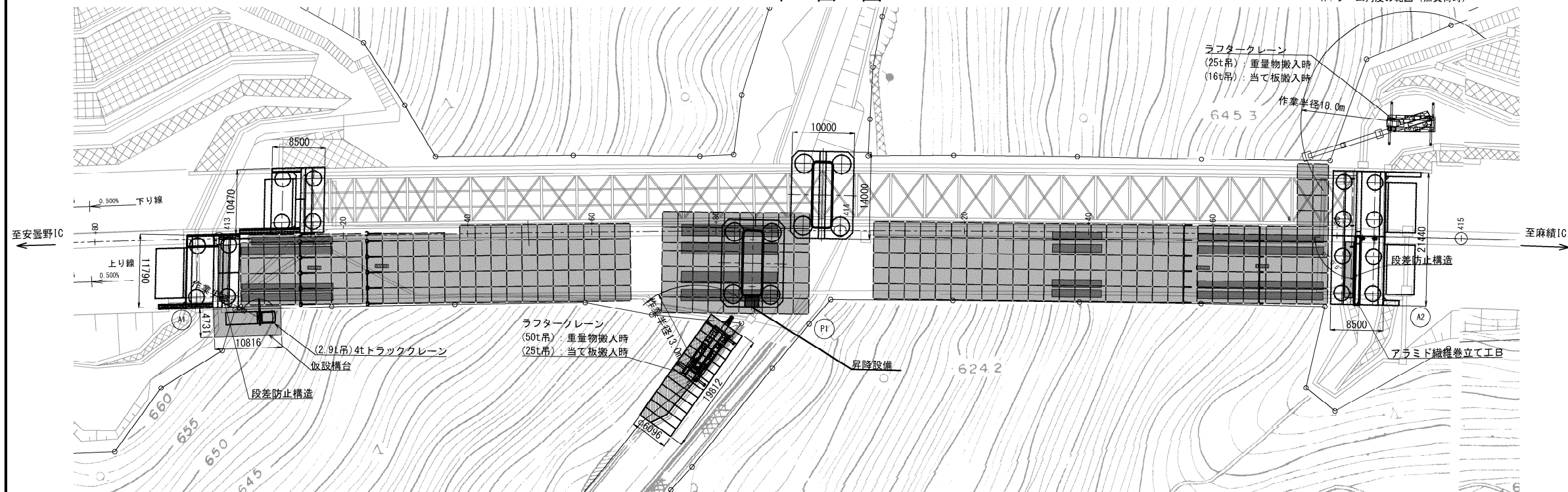
A : ブーム角度の範囲 (無負荷時)

(25t吊)ラフタークレーン性能表 (参考)

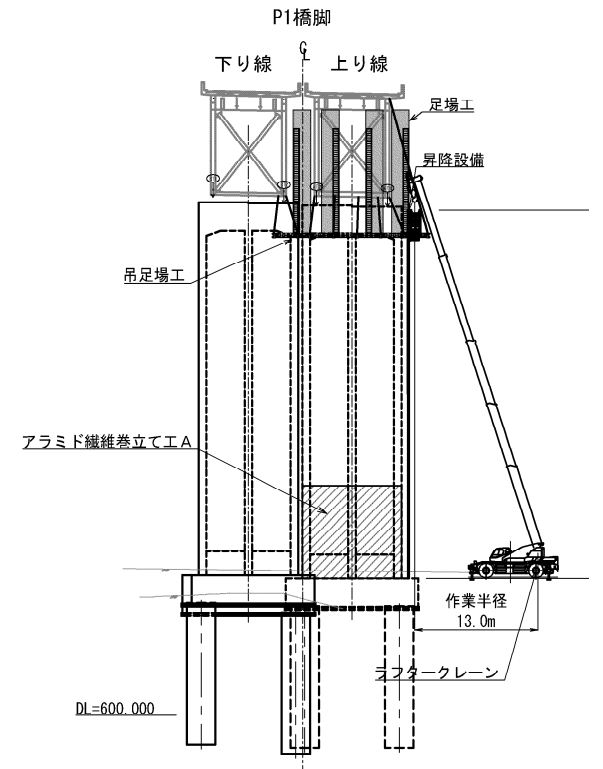
ジグ長さ	30.5mブーム+13.0mジグ							
オフセット	5°		25°		45°		60°	
ブーム 角度	作業半径 (m)	定格総荷重 (t)	作業半径 (m)	定格総荷重 (t)	作業半径 (m)	定格総荷重 (t)	作業半径 (m)	定格総荷重 (t)
84°	5.6	2.2	9.6	1.3	12.9	0.85	14.2	0.65
80°	9.1	2.2	12.9	1.3	15.1	0.85	17.0	0.62
78°	10.8	2.1	14.5	1.3	17.1	0.85	18.2	0.61
76°	12.3	1.95	15.9	1.25	18.4	0.85	19.4	0.61
74°	13.8	1.85	17.3	1.2	19.6	0.85	20.6	0.6
72°	15.3	1.7	18.6	1.15	20.9	0.85	21.6	0.6
70°	16.7	1.65	19.9	1.15	22.1	0.85	22.7	0.6
68°	18.1	1.55	21.2	1.1	23.2	0.85	23.7	0.6
Λ(°)	44~84				59~84			

A. ブーム角度の範囲 (無負荷時)

平面图



断面図 S=1:800



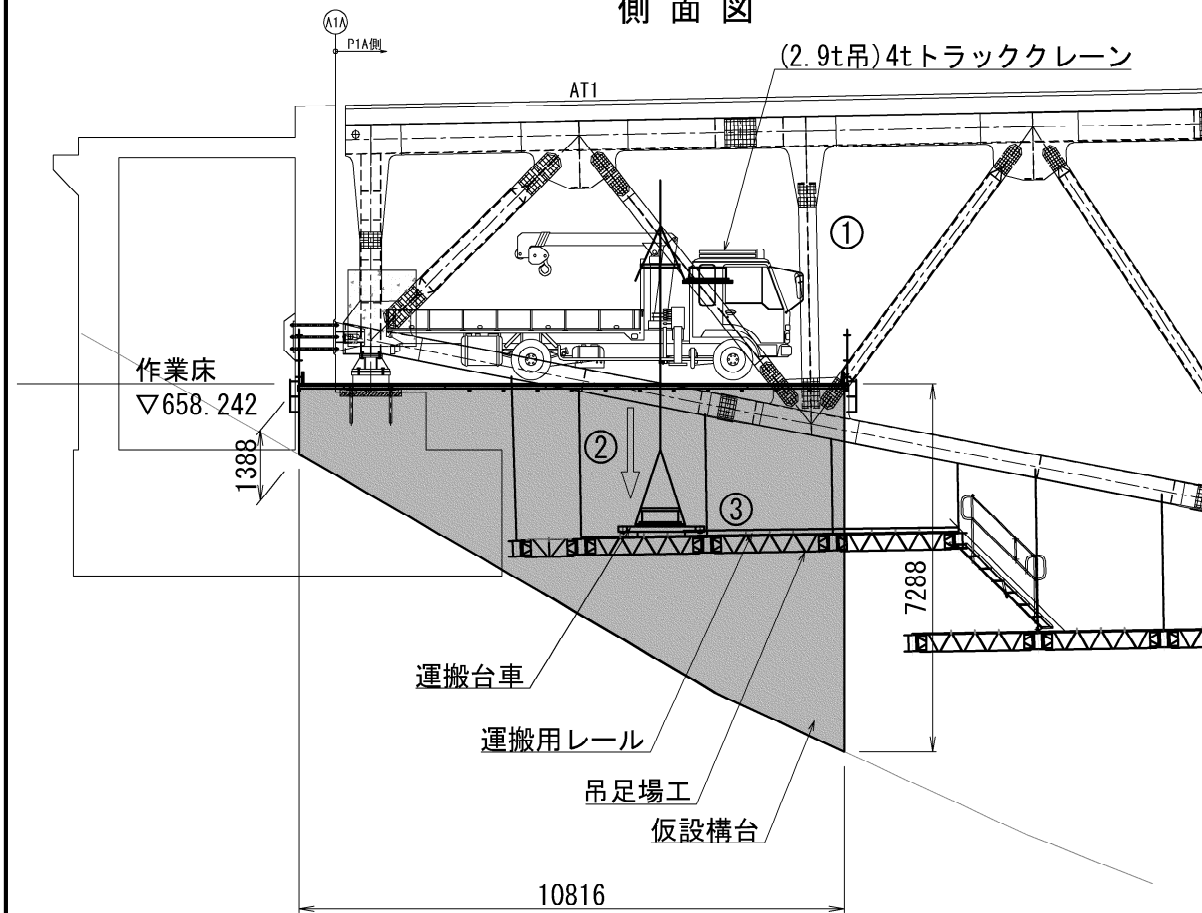
長野自動車道			
五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線)		
	施工計画図(参考図)		
縮尺	1:800	図面番号	484/532
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



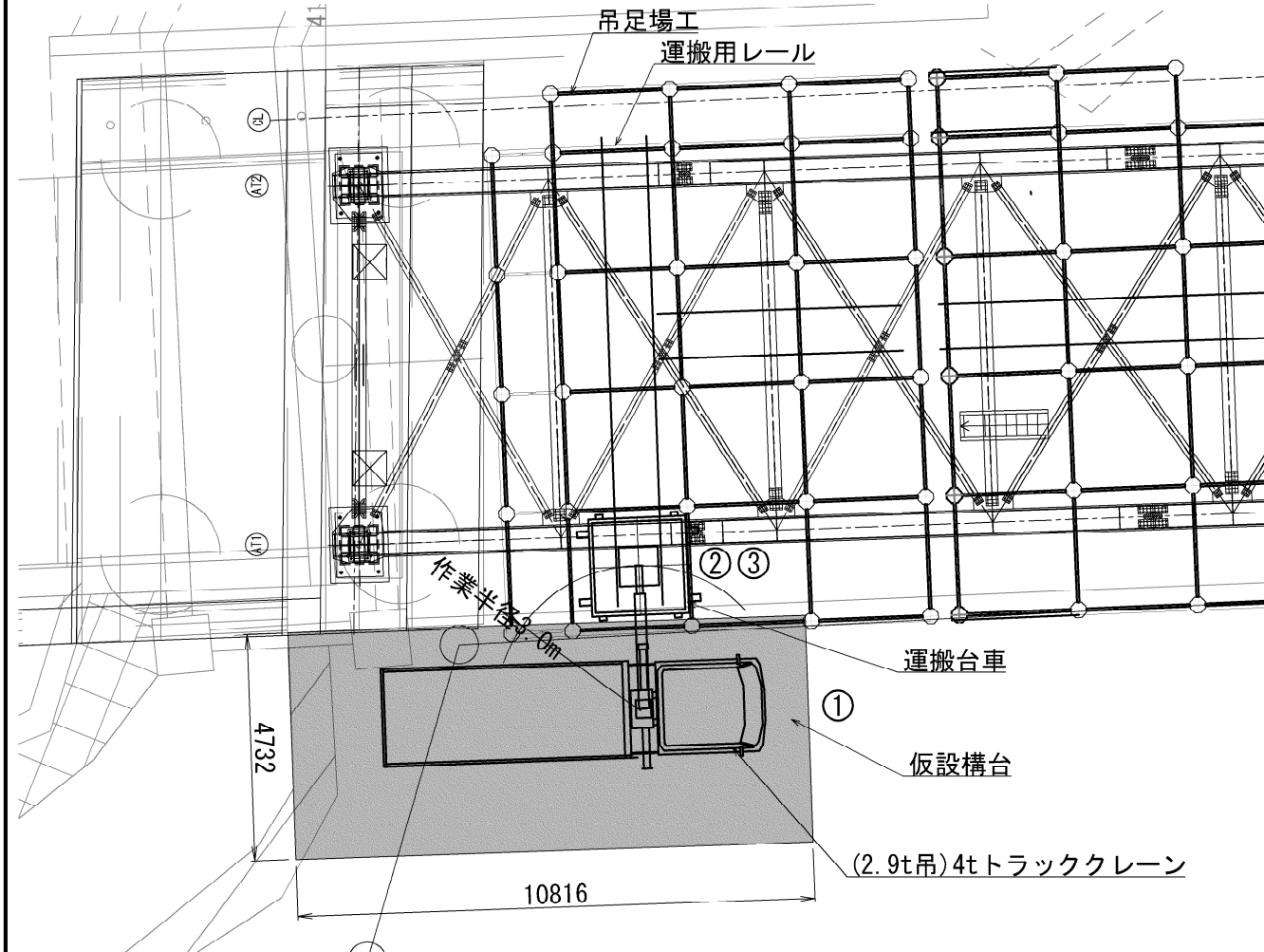
長野自動車道			
五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋（上り線） 施工フロー(参考図)		
縮 尺	-	図面番号	485/532
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) A1橋台 支承取替工 施工要領図(その1)(参考図) S=1:150

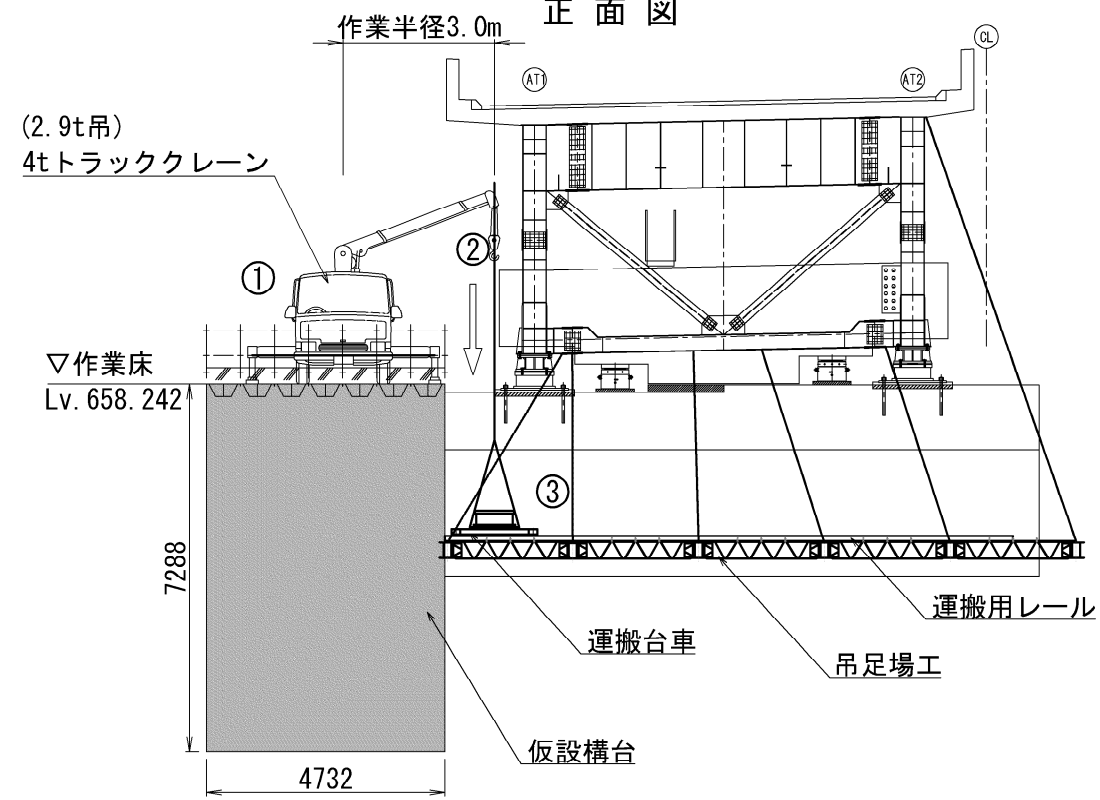
側面図



平面図



正面図



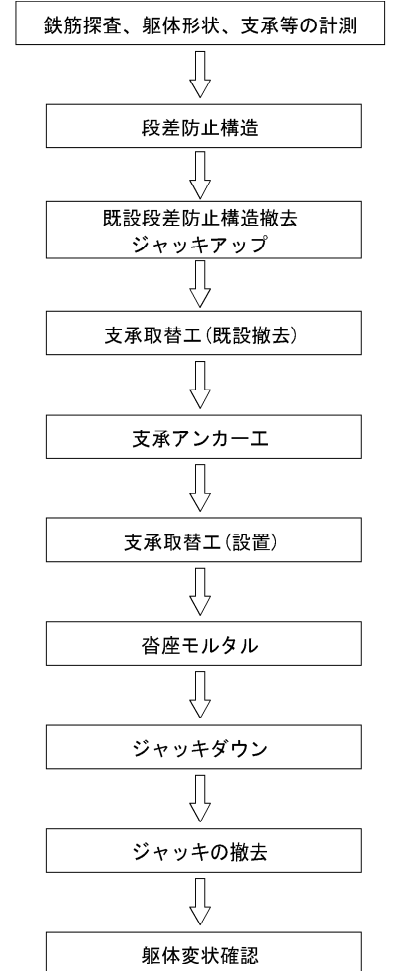
部材搬入方法

- ① 4tトラッククレーンで仮設構台上に輸送
- ② 4tトラッククレーンにてシステム吊足場上に吊下げ
- ③ システム吊足場上を台車等を使用し各補強箇所へ運搬

(2.9t吊)4tトラッククレーン性能表(参考)

作業半径(m)	2.0	2.2	2.4	2.6	2.7	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.36	前方領域
空車時 定格総荷重 (t)	最大性能	2.93	2.93	2.93	2.93	2.93	2.58	2.18	1.88	1.63	1.38	1.28
	中間性能	2.93	2.93	2.93	2.93	2.93	2.58	2.18	1.88	1.48	1.23	1.08
	最小性能	1.63	1.43	1.23	1.08	1.00	0.83	0.63	0.50	0.40	0.33	0.29
強度定格総荷重(t)	2.93	2.93	2.93	2.93	2.93	2.58	2.18	1.88	1.66	1.48	1.38	空車時 定格の 25%

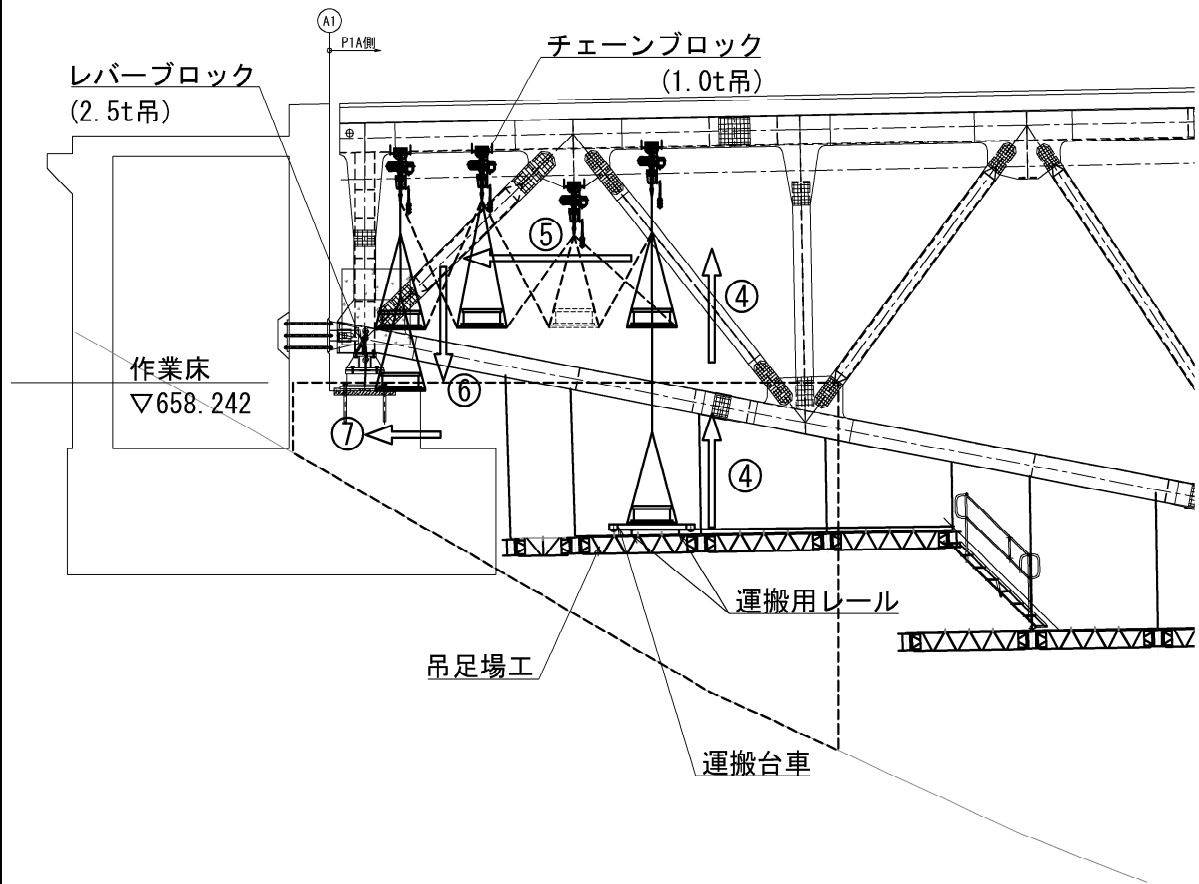
施工フロー



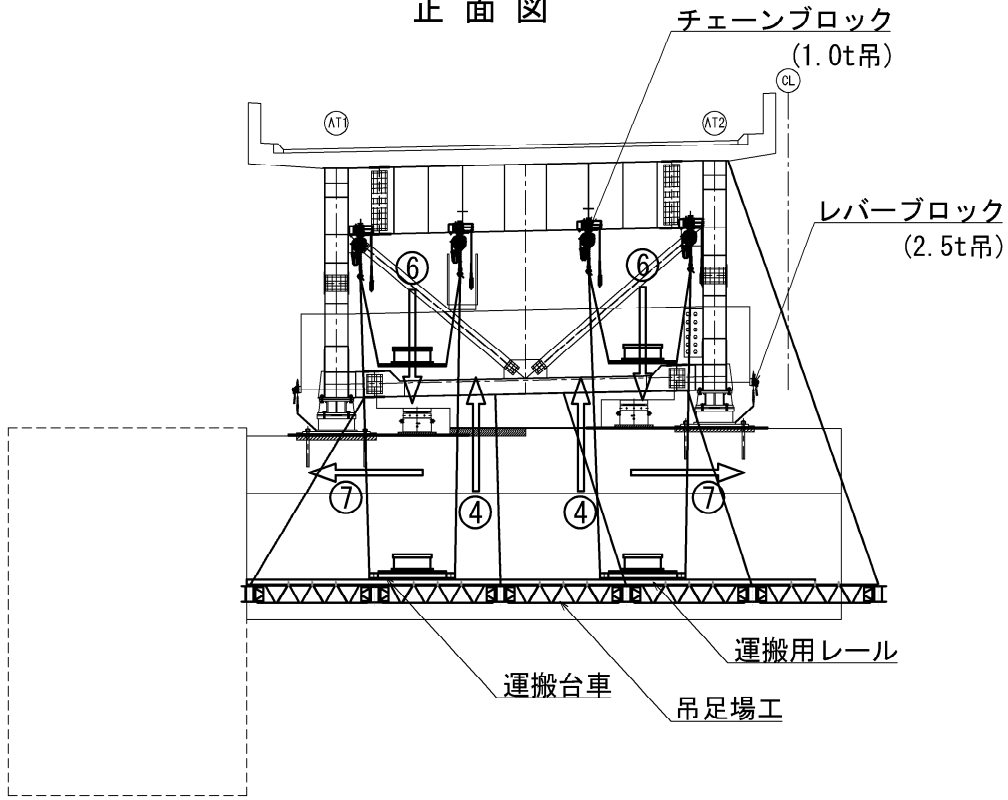
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A1橋台 支承取替工 施工要領図(その1)(参考図)		
縮 尺	1:150	図面番号	486/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) A1橋台 支承取替工 施工要領図(その2)(参考図) S=1:150

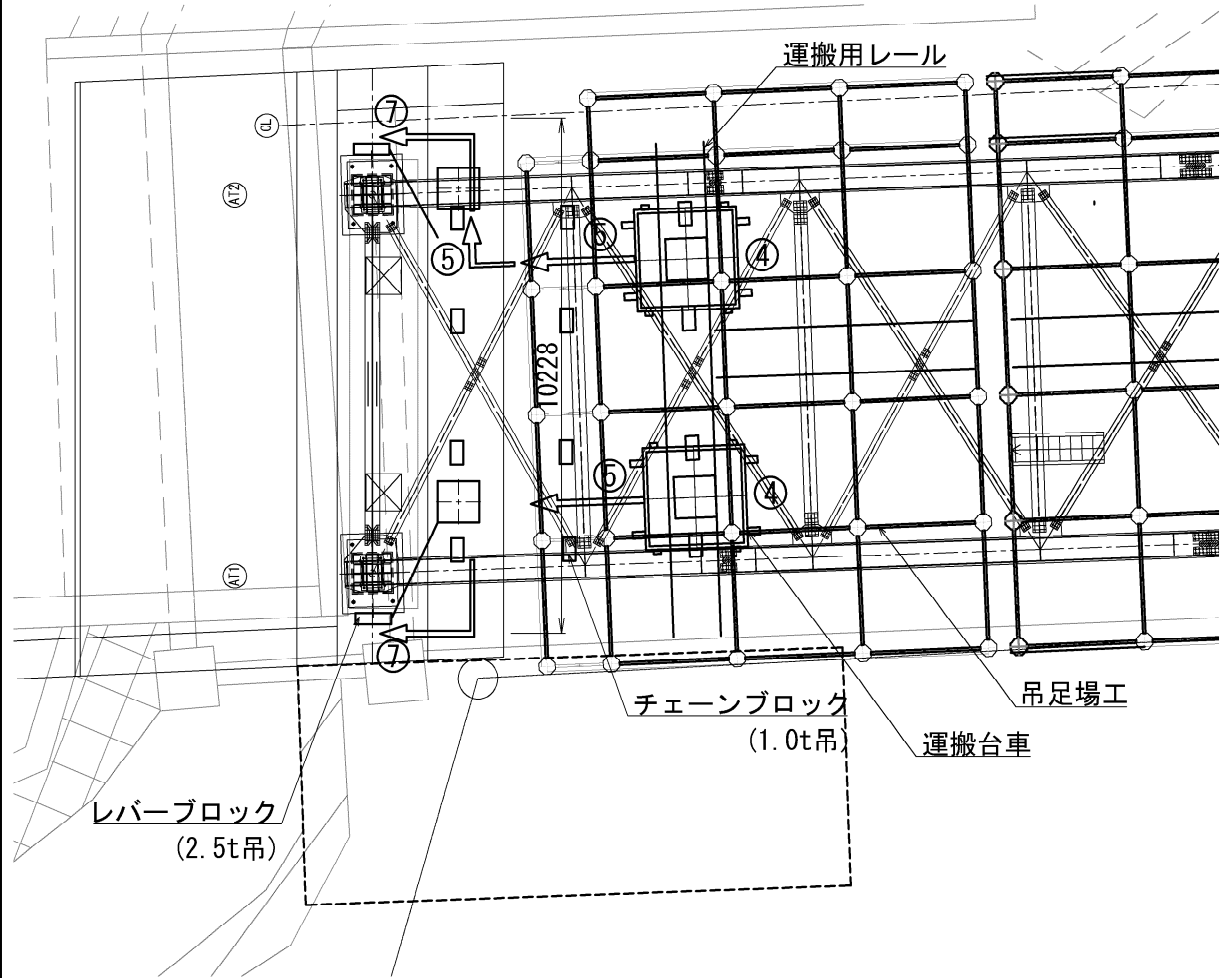
側面図



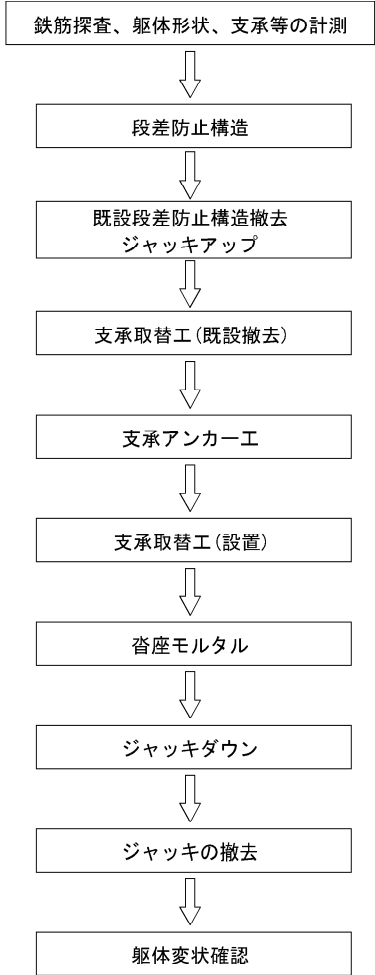
正面図



平面図



施工フロー



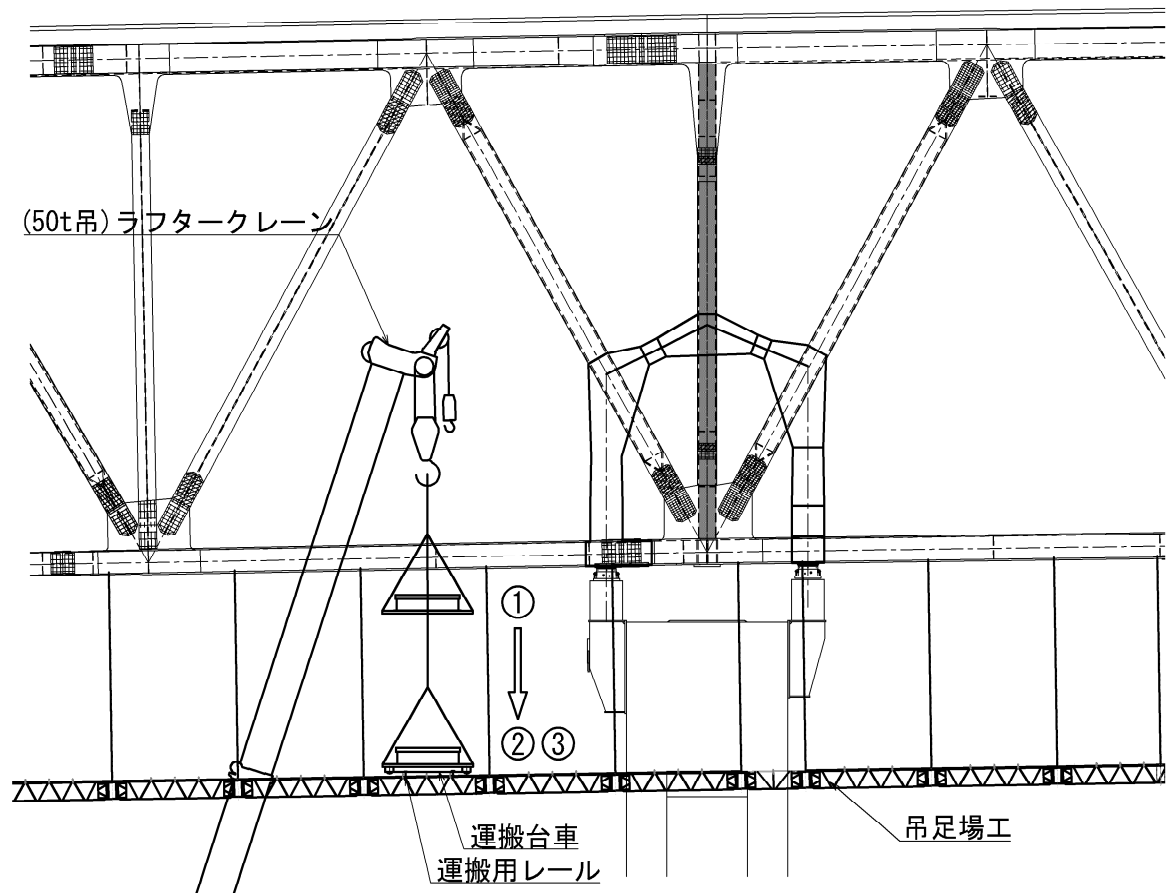
支承搬入手順

- ④ 吊足場上から支承をチェーンブロックで吊り上げ
- ⑤ チェーンブロックで盛替え、移動
- ⑥ 支承をチェーンブロックで吊下げる
- ⑦ レバーブロックで移動
- ⑧ チェーンブロックにて新設支承を所定位置に設置

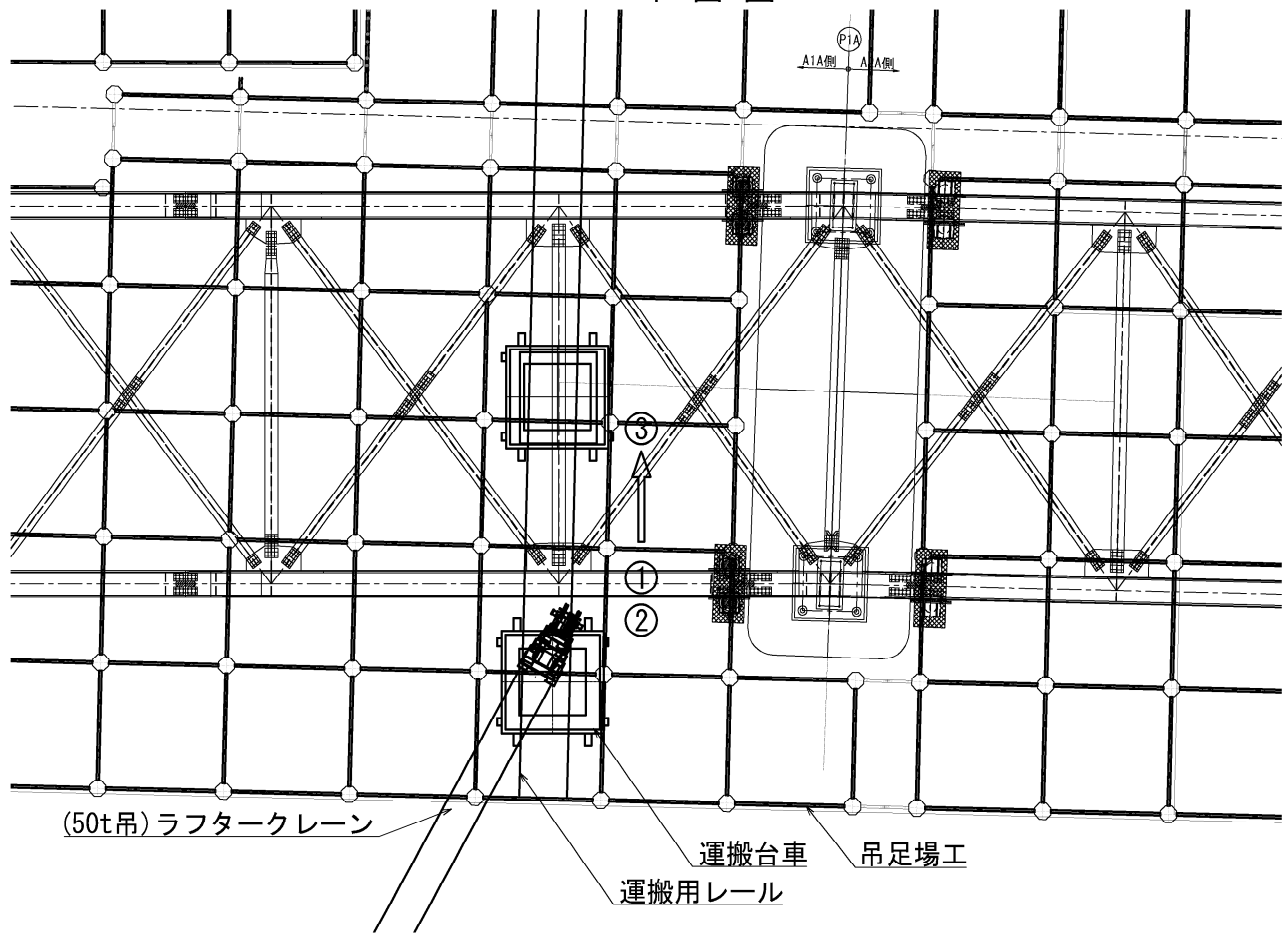
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A1橋台		
	支承取替工 施工要領図(その2)(参考図)		
縮尺	1:150	図面番号	487/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 支承取替工 施工要領図(その1)(参考図) S=1:150

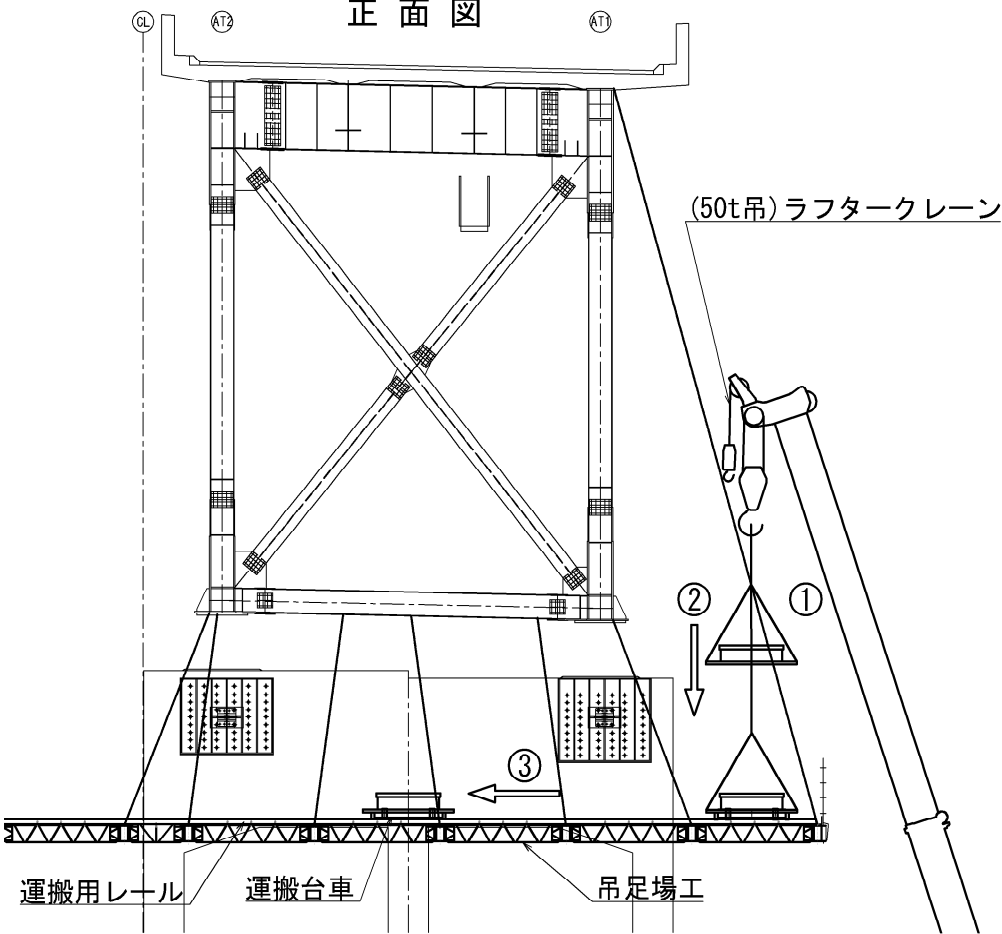
側面図



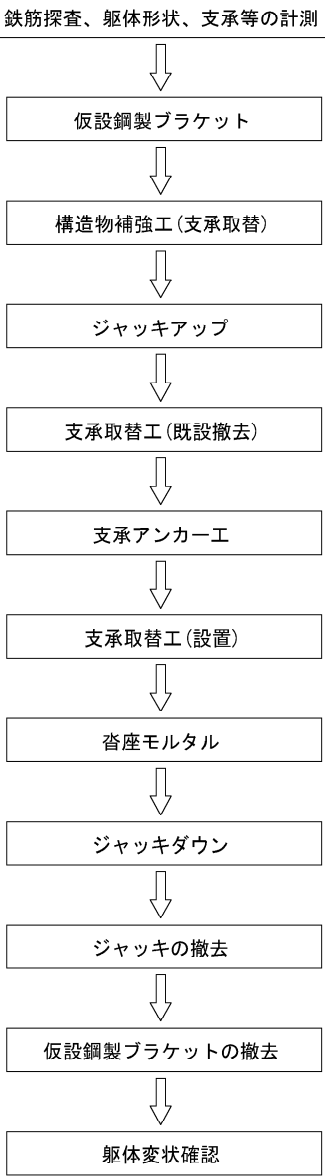
平面図



正面図



施工フロー



支承搬入手順

- ① (50t吊)ラフタークレーンにてP1基部から吊足場上に支承(4.5t)を搬入
- ② 台車の上に配置
- ③ レールを移動

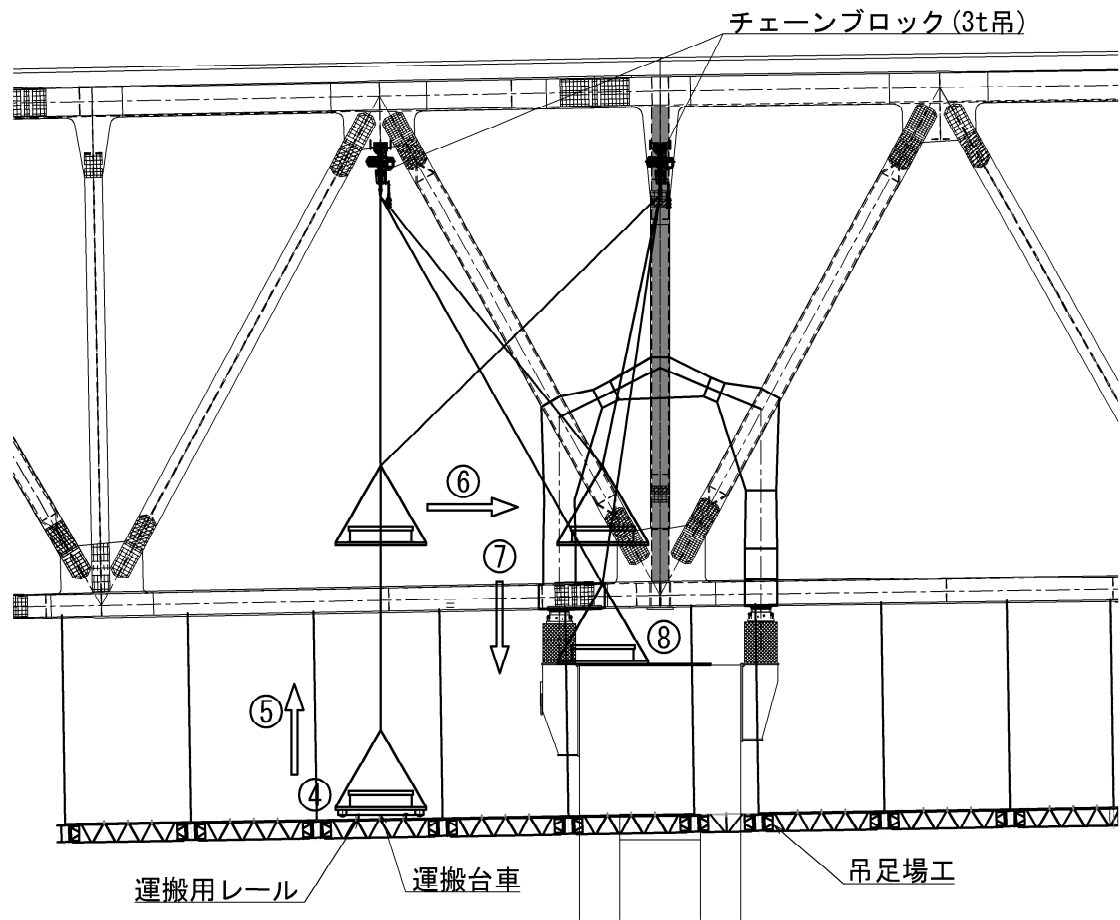
(50t吊)ラフタークレーン性能表(参考)

アウトリガ最大張出(7.4m)							
ブーム長さ	9.7m	16.0m	22.3m	28.6m	34.9m	38.05m	41.2m
作業半径	定格総荷重	定格総荷重	定格総荷重	定格総荷重	定格総荷重	定格総荷重	定格総荷重
10.0m		12.3	11.9	10.5	9.3	8.5	7.0
11.0m		10.2	9.9	9.6	8.5	7.8	6.8
12.0m		8.5	8.25	8.8	7.8	7.2	6.4
13.0m		7.1	6.9	7.9	7.1	6.6	6.0
14.0m			5.9	6.9	6.6	6.1	5.6
16.0m			4.3	5.2	5.7	5.3	4.9
18.0m			3.0	4.0	4.5	4.6	4.3
A(°)	0~83.5					16~83.5	26~83.5
標準フック	51トンフック			25トンフック			

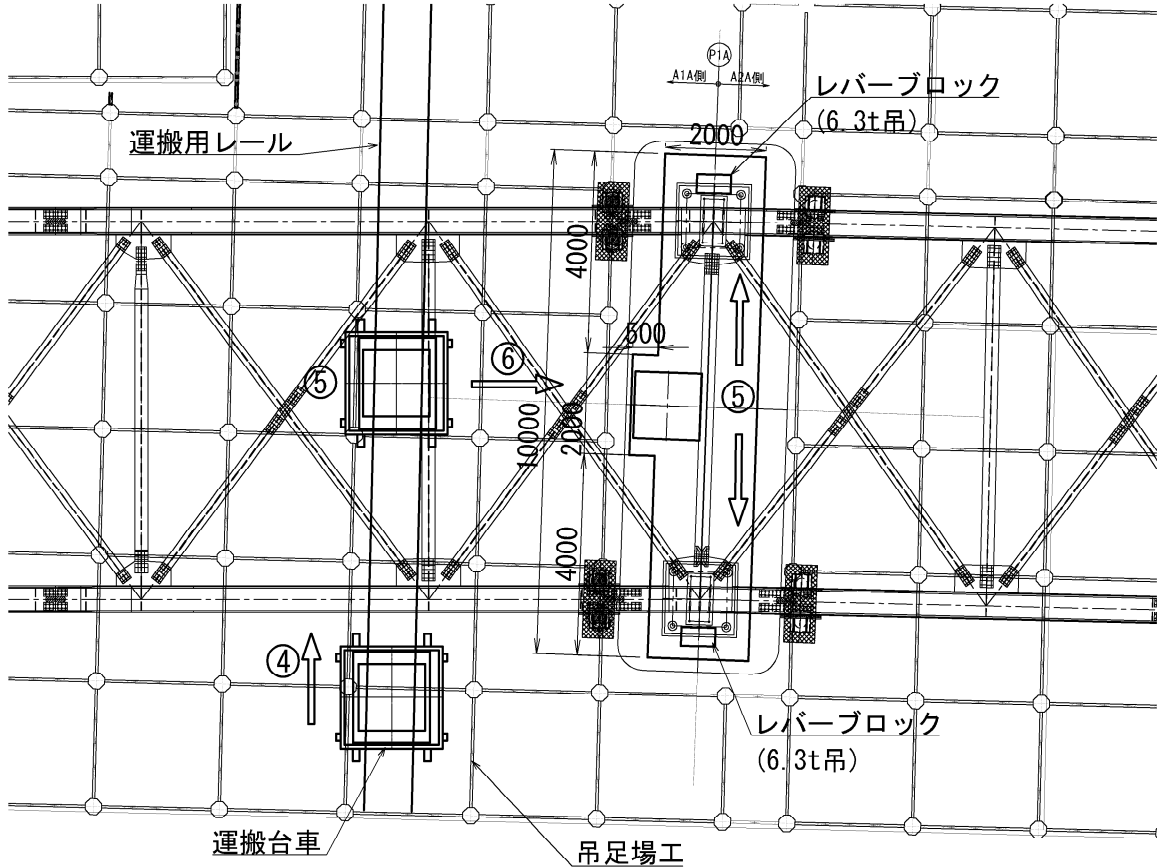
A: ブーム角度の範囲(無負荷時)

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 支承取替工 施工要領図(その1)(参考図)		
縮尺	1:150	図面番号	488/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

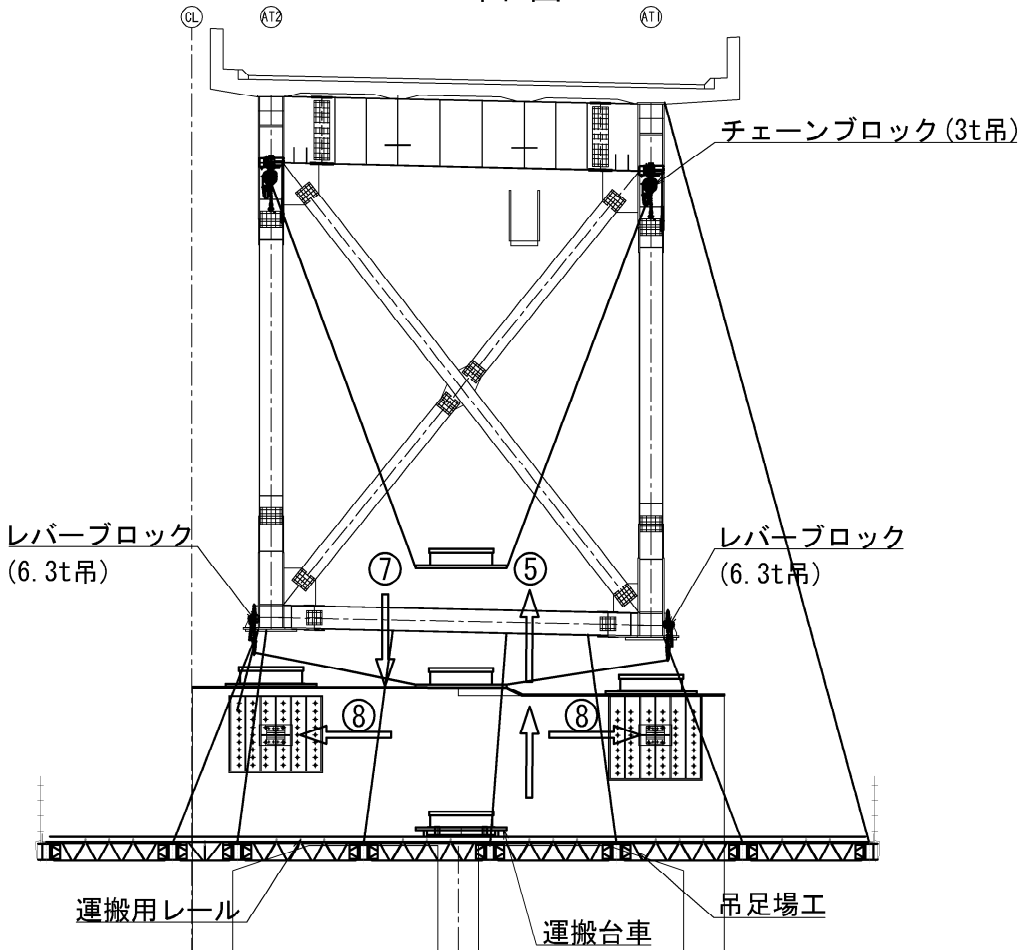
側面図



平面図

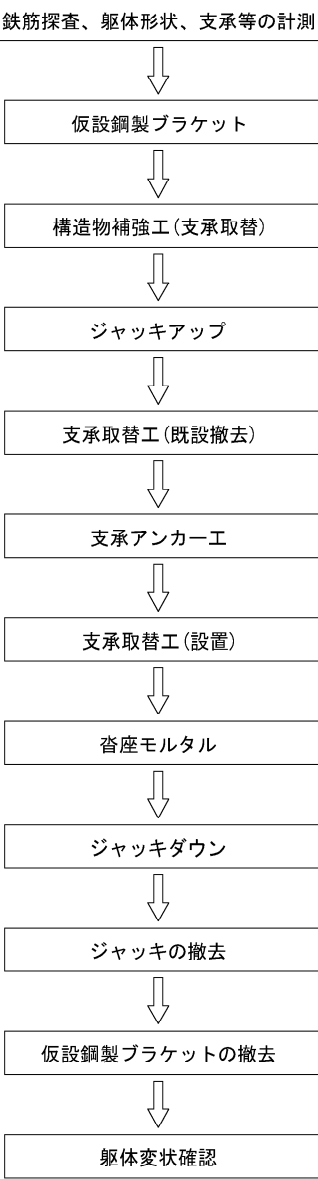


正面図



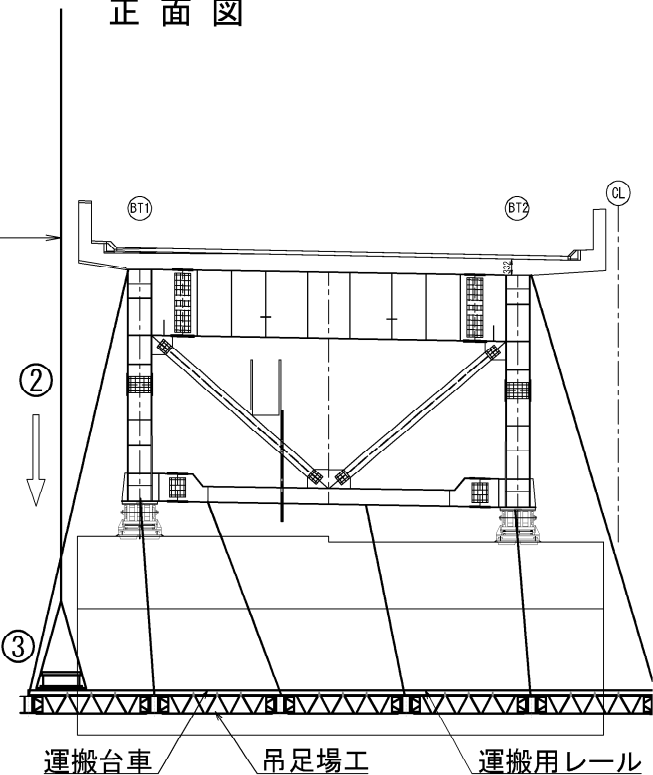
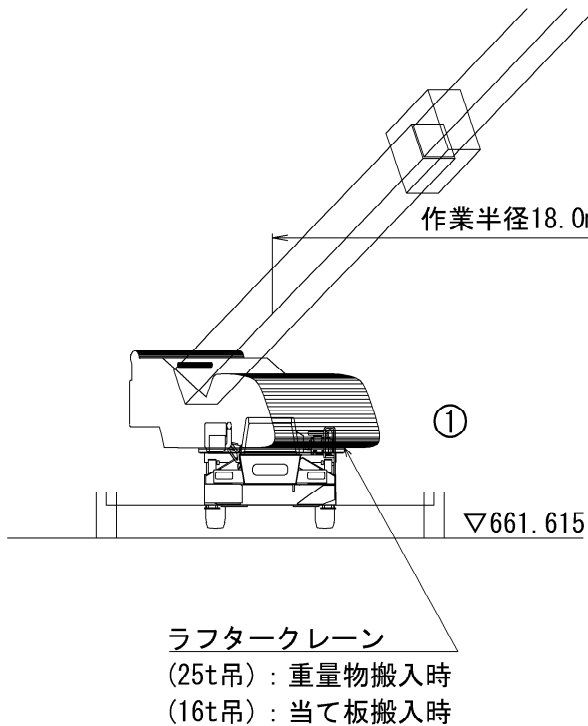
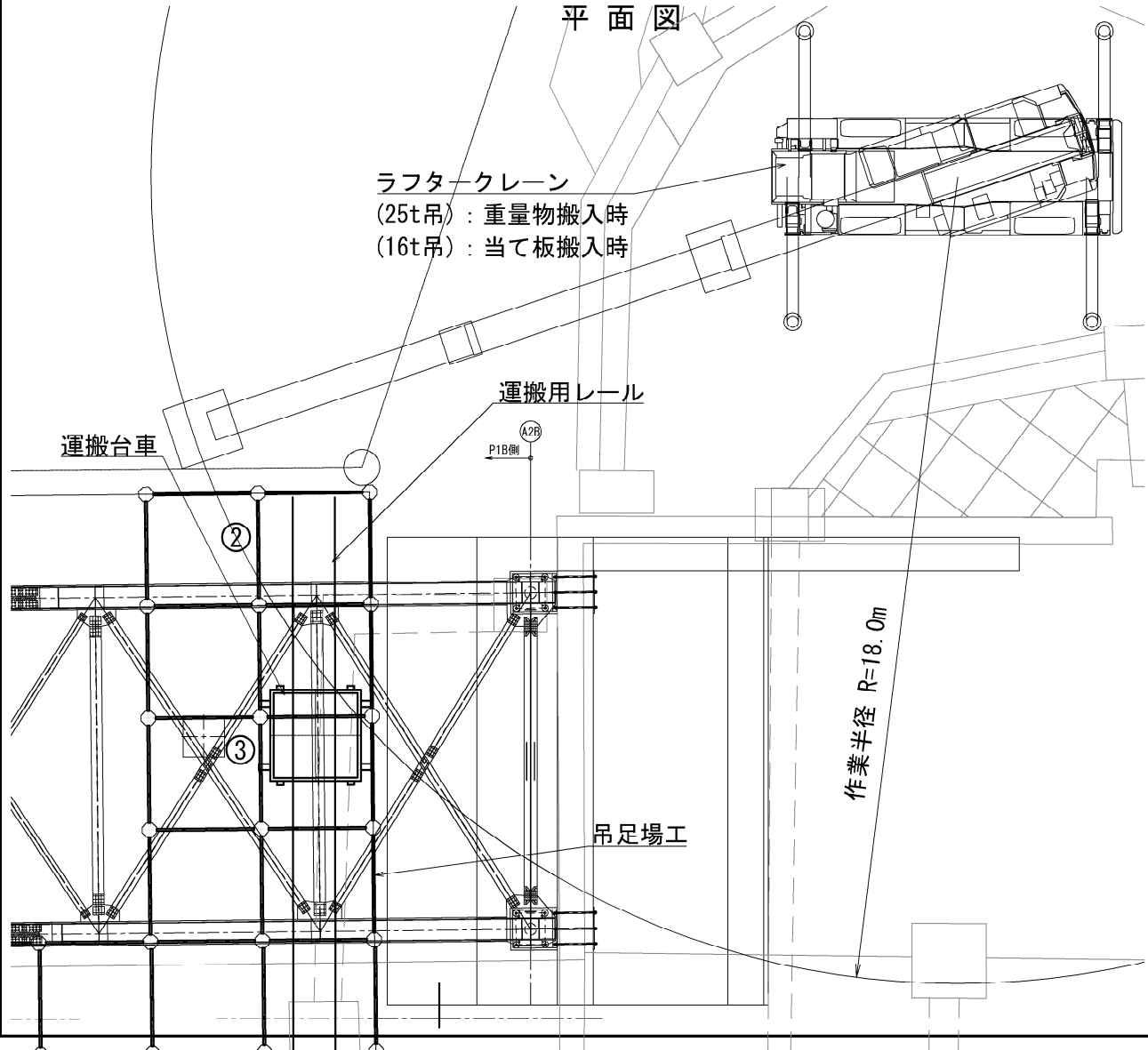
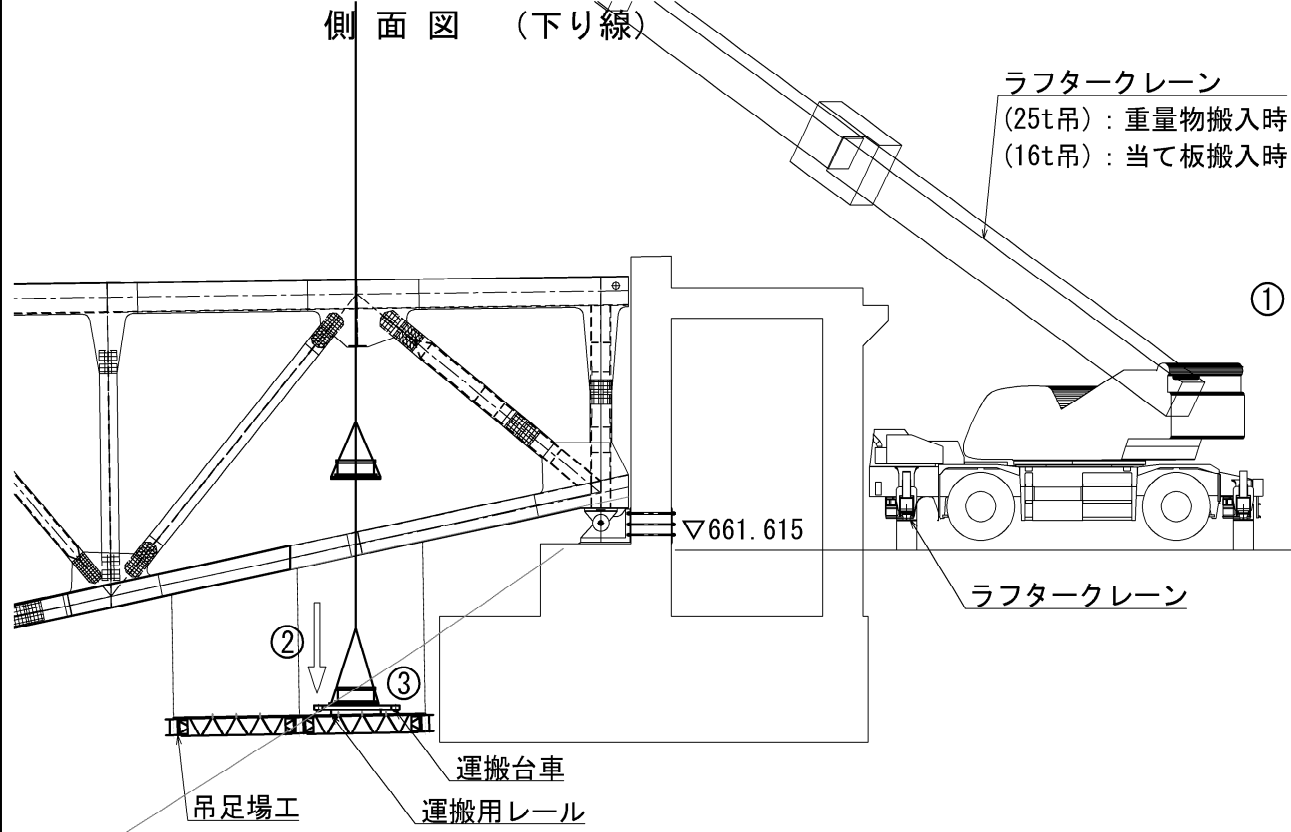
- 支承搬入手順
- ④ 吊足場上の支承をP1橋脚前面まで移動
 - ⑤ チェーンブロックで吊り上げ
 - ⑥ チェーンブロックで盛替え、移動
 - ⑦ 支承をチェーンブロックで吊下げ、橋座上に置く
 - ⑧ レバーブロックで移動
 - ⑨ チェーンブロックにて新設支承を所定位置に設置

施工フロー



長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 支承取替工 施工要領図(その2) (参考図)		
縮 尺	1:150	図面番号	489/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) A2橋台 支承取替工 施工要領図(その1)(参考図) S=1:150



部材搬入方法

- ① 輸送された部材をラフタークレーンにて吊り上げ
- ② ラフタークレーンにて吊足場上に吊下げ
- ③ システム吊足場上を台車等を使用し各補強箇所へ運搬

(16t吊)ラフタークレーン性能表 (参考)

アウトリガ最大張出 (5.2m)						
ブーム長さ	6.5m	10.7m	14.9m	19.1m	23.3m	23.3m
作業半径	定格総荷重	定格総荷重	定格総荷重	定格総荷重	定格総荷重	定格総荷重
15.0m				1.4	1.6	1.75
16.0m				1.2	1.4	1.5
17.0m				1.05	1.2	1.3
18.0m					1.05	1.15
19.0m					0.85	1.0
20.0m					0.75	0.85
22.0m					0.6 (21.2m)	0.60
24.0m						0.45
A(°)	0~82.5					

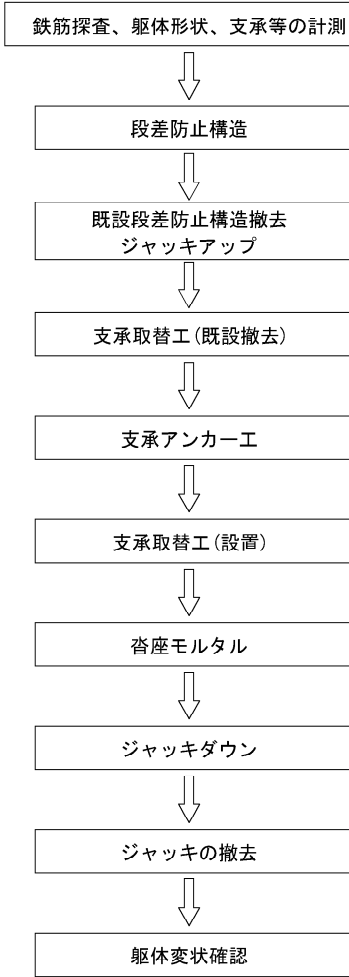
A: ブーム角度の範囲 (無負荷時)

(25t吊)ラフタークレーン性能表 (参考)

アウトリガ最大張出 (6.6m)								
30.5mブーム+13.0mジブ								
ジブ長さ	オフセット							
ブーム 角度	5°		25°		45°		60°	
	作業半径 (m)	定格総荷重 (t)	作業半径 (m)	定格総荷重 (t)	作業半径 (m)	定格総荷重 (t)	作業半径 (m)	定格総荷重 (t)
84°	5.6	2.2	9.6	1.3	12.9	0.85	14.2	0.65
80°	9.1	2.2	12.9	1.3	15.7	0.85	17.0	0.62
78°	10.8	2.1	14.5	1.3	17.1	0.85	18.2	0.61
76°	12.3	1.95	15.9	1.25	18.4	0.85	19.4	0.61
74°	13.8	1.85	17.3	1.2	19.6	0.85	20.6	0.6
72°	15.3	1.7	18.6	1.15	20.9	0.85	21.6	0.6
70°	16.7	1.65	19.9	1.15	22.1	0.85	22.7	0.6
68°	18.1	1.55	21.2	1.1	23.2	0.85	23.7	0.6
A(°)	44~84				59~84			

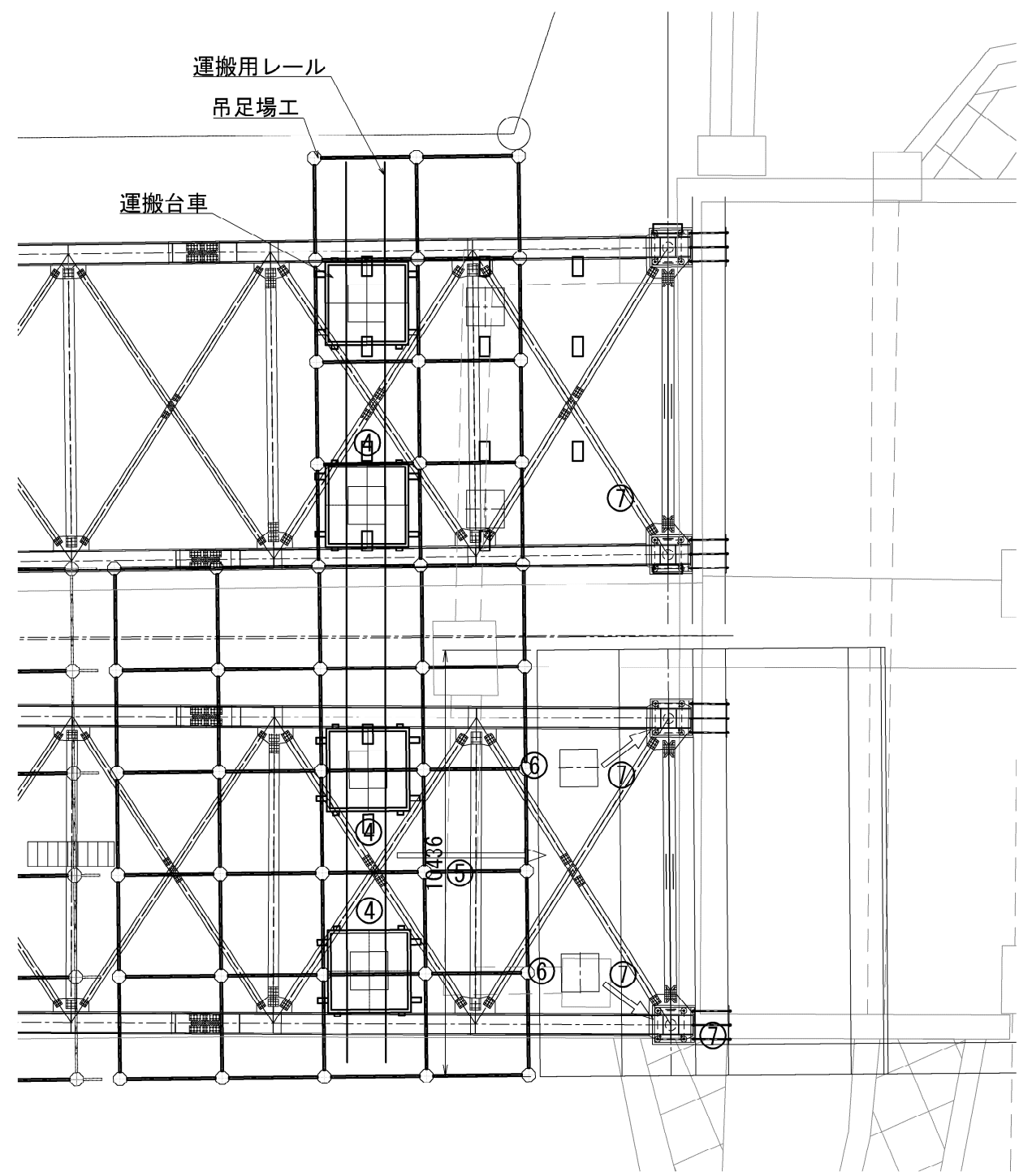
A: ブーム角度の範囲 (無負荷時)

施工フロー

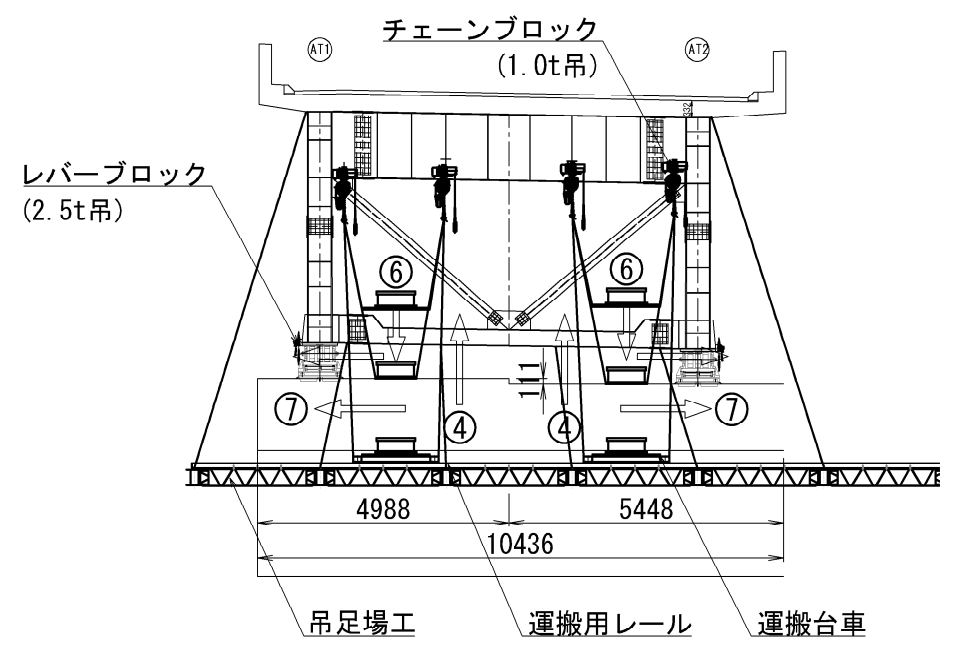


長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A2橋台	図示	図面番号 490/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社	図面番号	490/532
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社	図面番号	490/532
事務所名	長野工務事務所	図面番号	490/532

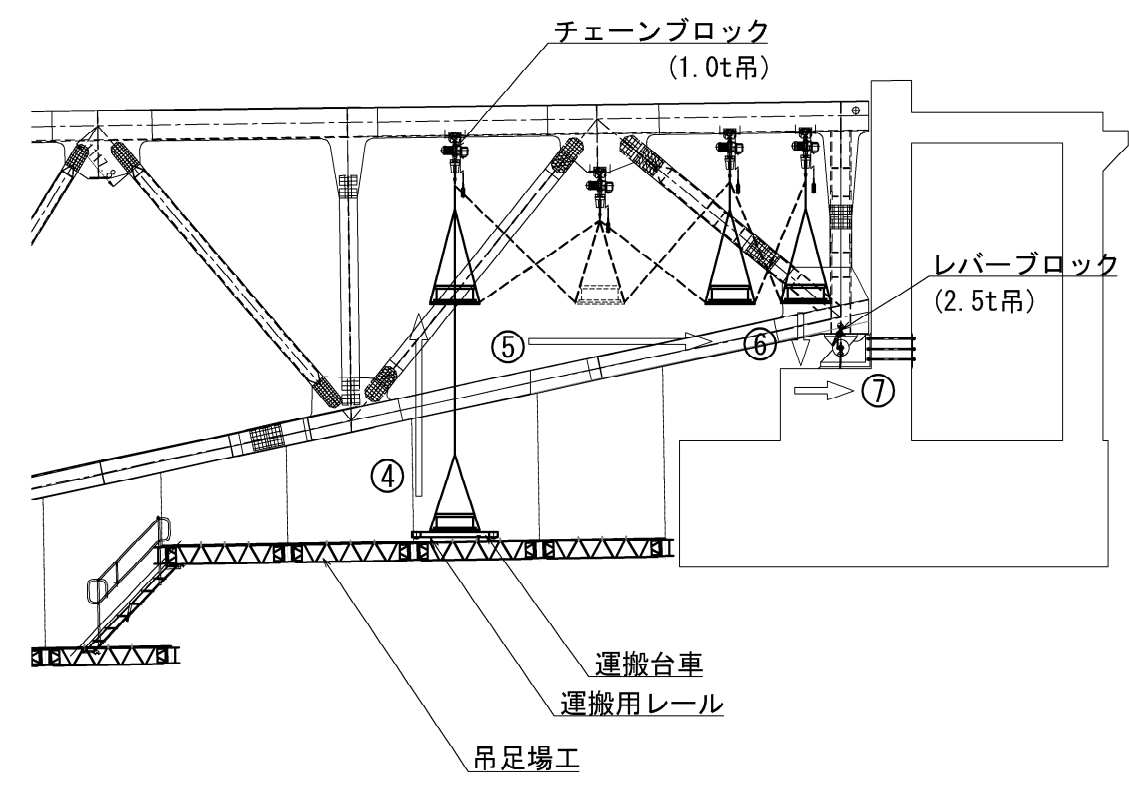
平面図



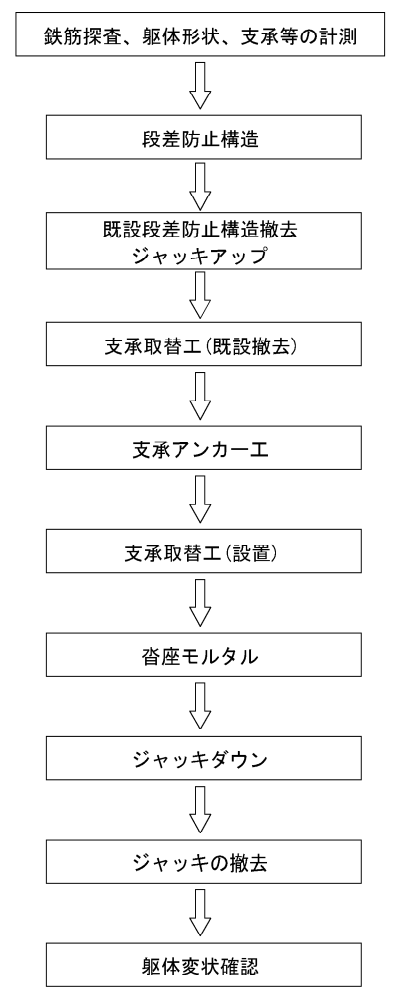
正面図



側面図



施工フロー



支承搬入手順

- ④ 吊足場上から支承をチェーンブロックで吊り上げ
- ⑤ チェーンブロックで盛替え、移動
- ⑥ 支承をチェーンブロックで吊り下げ、橋座上に置く
- ⑦ レバーブロックで移動
- ⑧ チェーンブロックにて新設支承を所定位置に設置

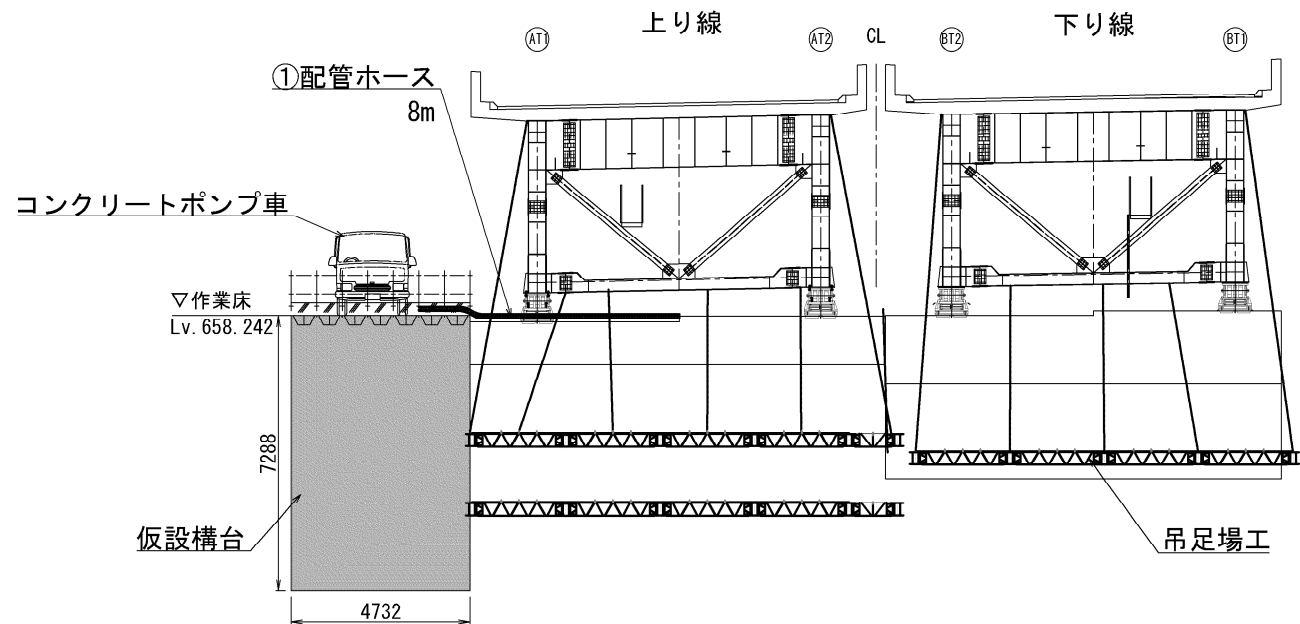
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A2橋台 支承取替工 施工要領図(その2)(参考図)		
縮 尺	1:150	図面番号	491/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) A1・A2橋台 支承取替工(段差防止構造) 施工要領図(参考図) S=1:200

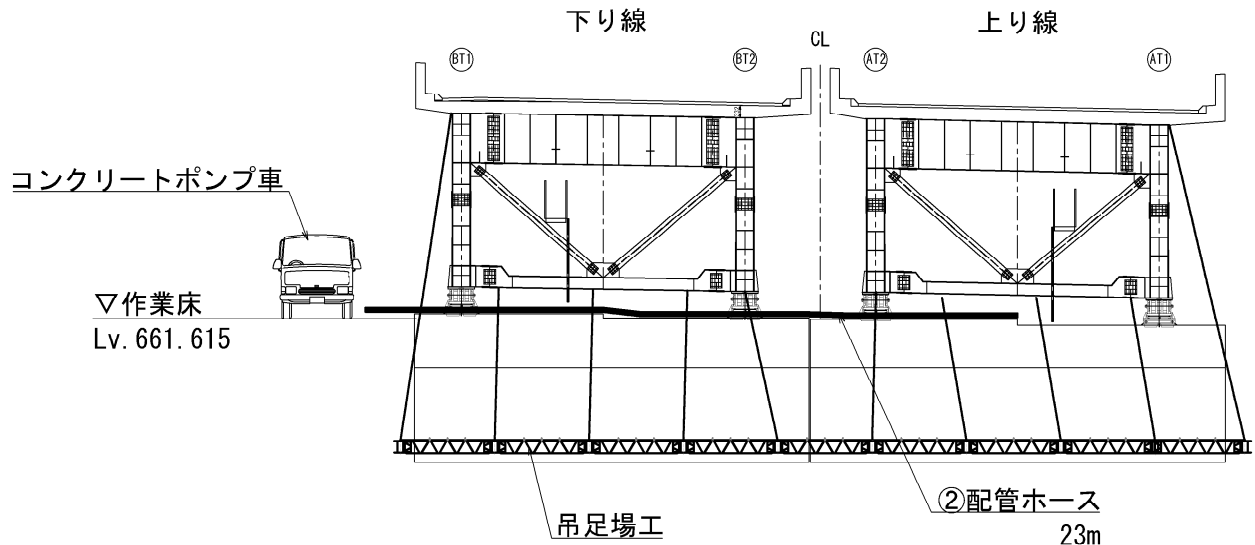
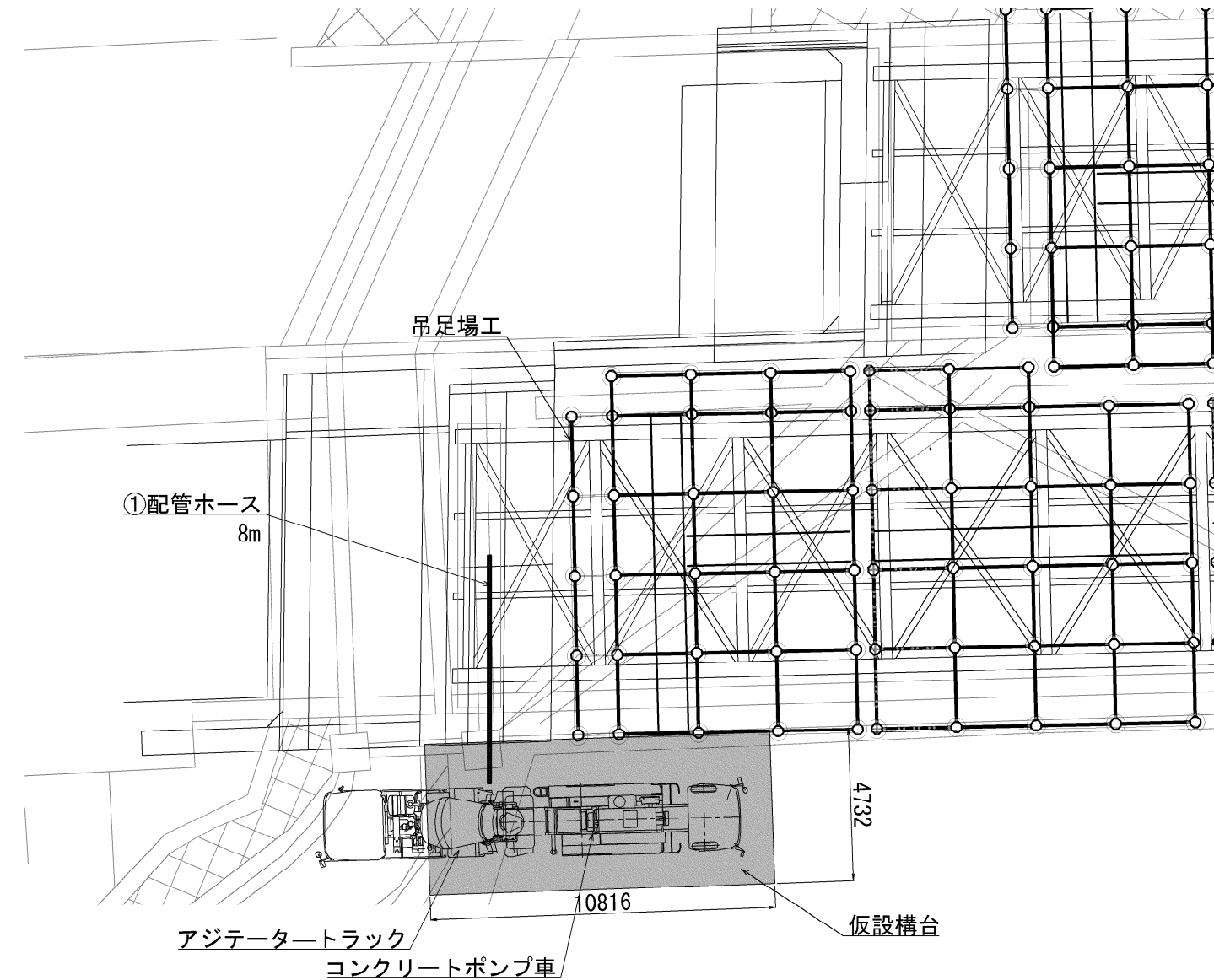
A1橋台
正面図

コンクリートポンプ車 配管ホース

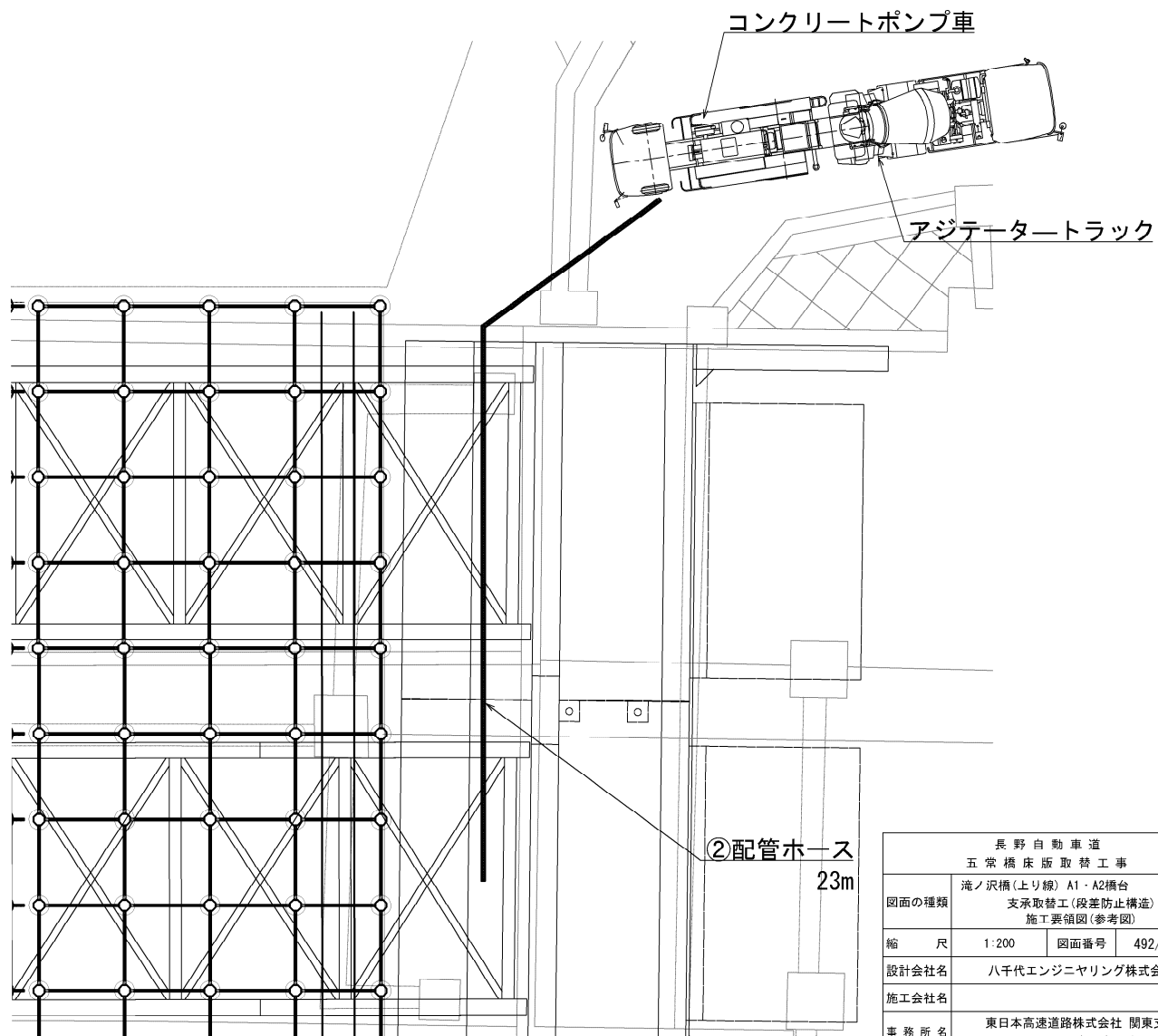
A2橋台
正面図



平面図

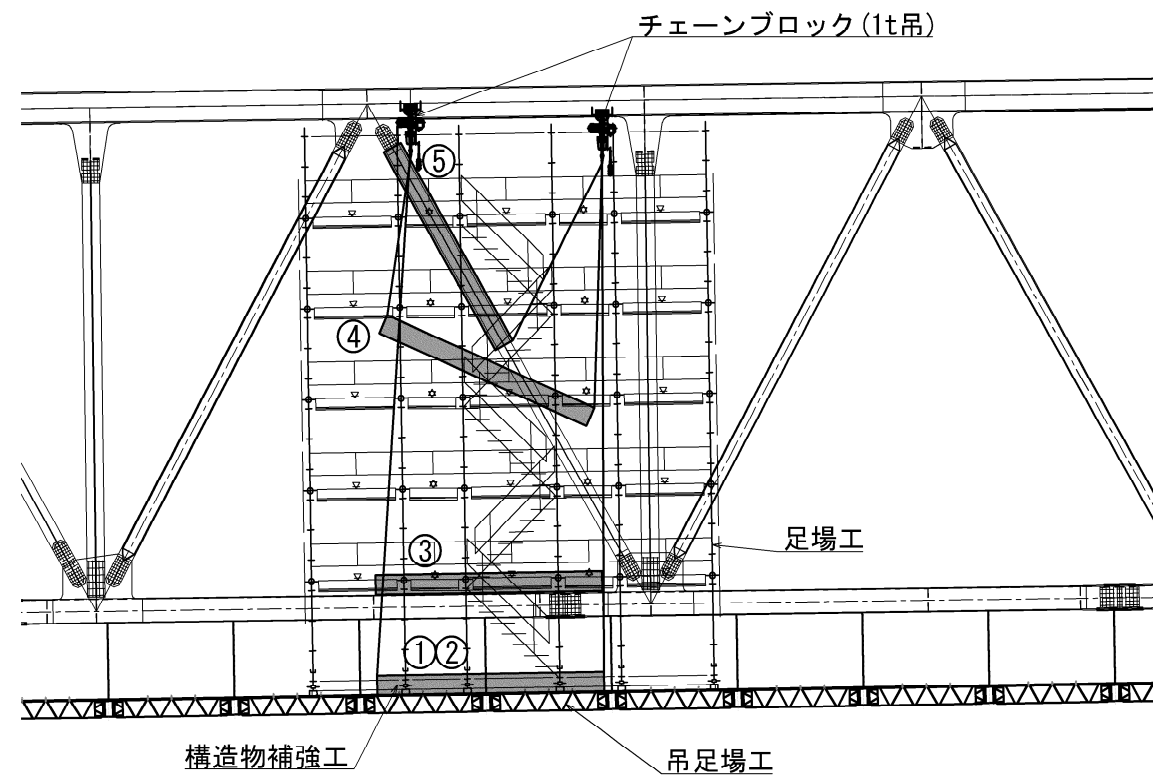


平面図

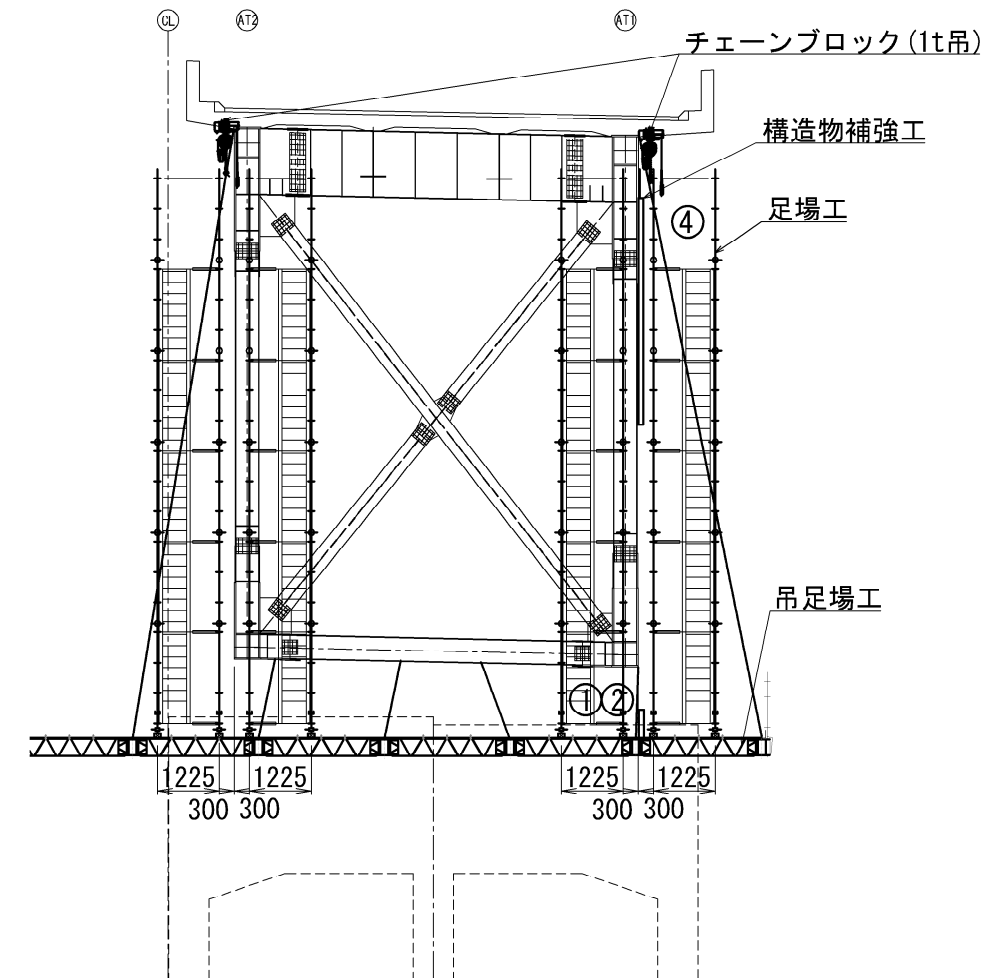


長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A1・A2橋台 支承取替工(段差防止構造) 施工要領図(参考図)		
縮尺	1:200	図面番号	492/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

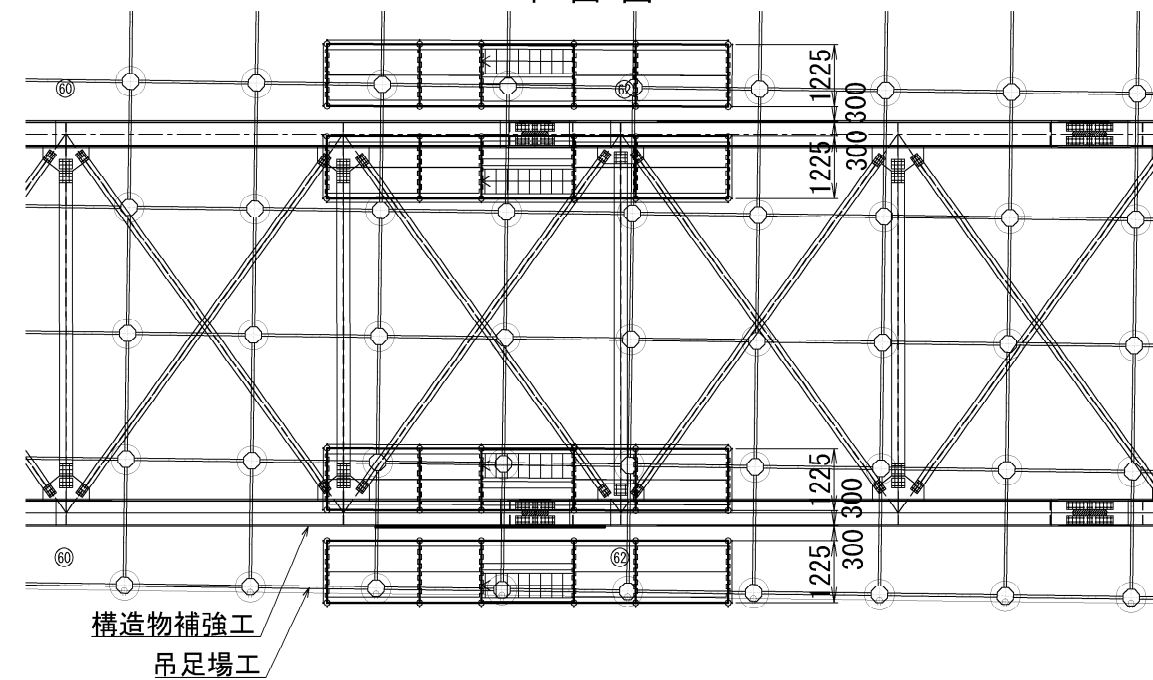
側面図



正面図



平面图



構造物補強工(当て板補強)部材搬入手順

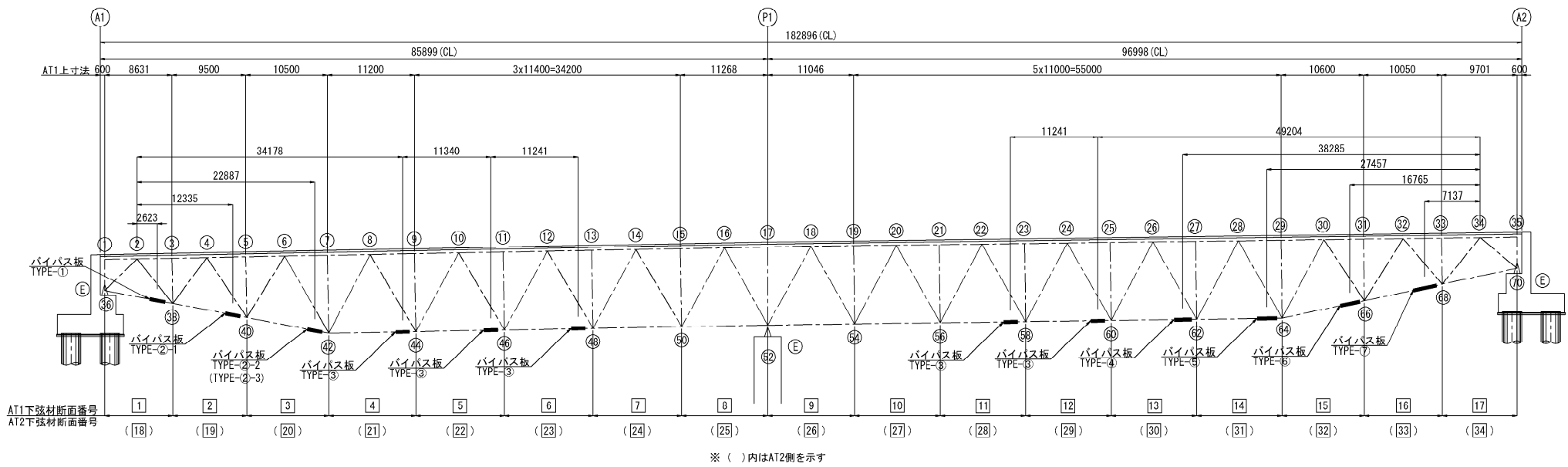
- ① A2橋台下り線側から部材を搬入
- ② 補強箇所下部に部材を移動
- ③～⑤ 補強箇所までチェーンブロックで高さ調整

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ原橋（上り線） 構造物補強工（当て板補強） 施工要領図 （参考図）		
縮 尺	1:150	図面番号	493/532
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野道路事務所		

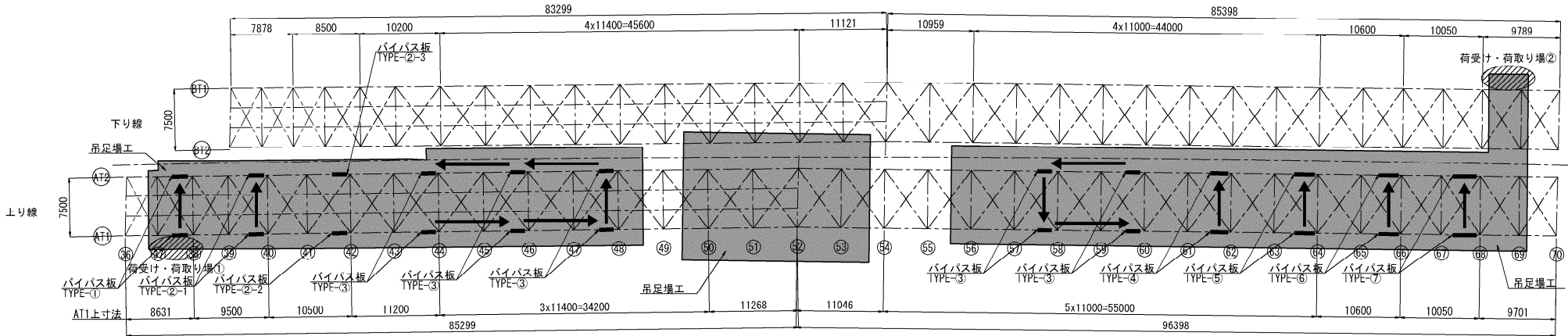
滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強)バイパス板転用計画図(参考図) S=1:750

当て板補強 (バイパス板)

側面図



平面図



→ バイパス板転用ルート

バイパス板転用計画(参考)

- TYPE-① 荷受け場① → 1 → 18 → 荷取り場①
- TYPE-②-1 荷受け場① → 1 → 18 → 荷取り場①
- TYPE-②-2 転用なし
- TYPE-②-3 転用なし
- TYPE-③ 荷受け場① → 4 → 5 → 6 → 23 → 22 → 21 → 荷取り場① → 荷受け場② → 29 → 28 → 11 → 12 → 荷取り場②
- TYPE-④ 荷受け場② → 13 → 30 → 荷取り場②
- TYPE-⑤ 荷受け場② → 14 → 31 → 荷取り場②
- TYPE-⑥ 荷受け場② → 15 → 32 → 荷取り場②
- TYPE-⑦ 荷受け場② → 16 → 33 → 荷取り場②

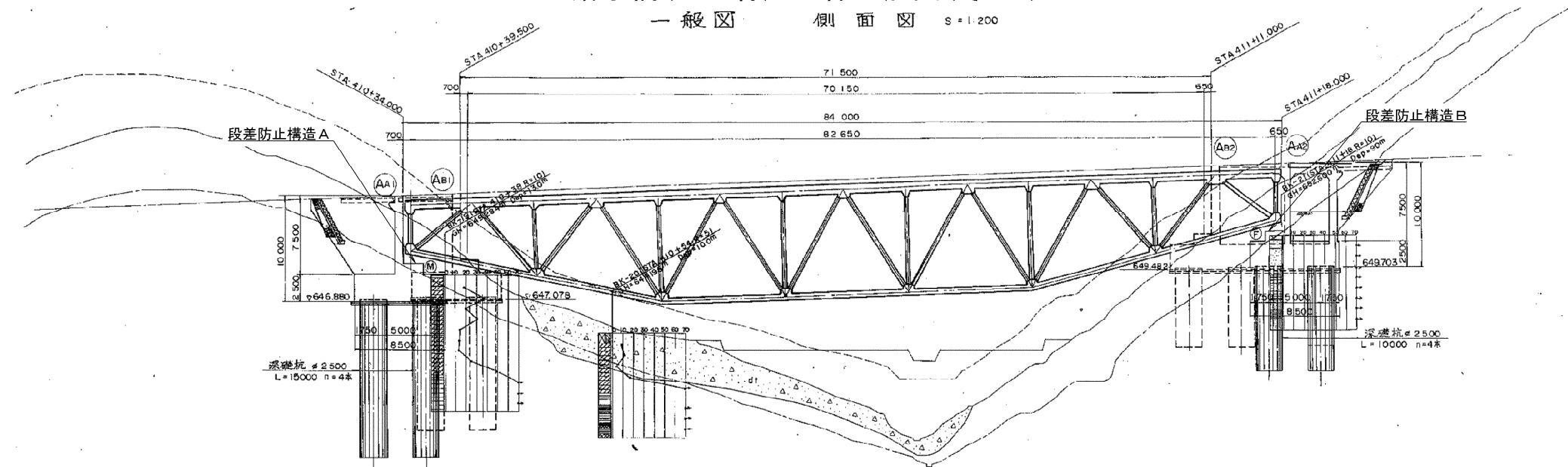
TYPE-①	2か所
TYPE-②-1	2か所
TYPE-②-2	1か所
TYPE-②-3	1か所
TYPE-③	10か所
TYPE-④	2か所
TYPE-⑤	2か所
TYPE-⑥	2か所
TYPE-⑦	2か所

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) バイパス板転用計画図(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	494/532
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

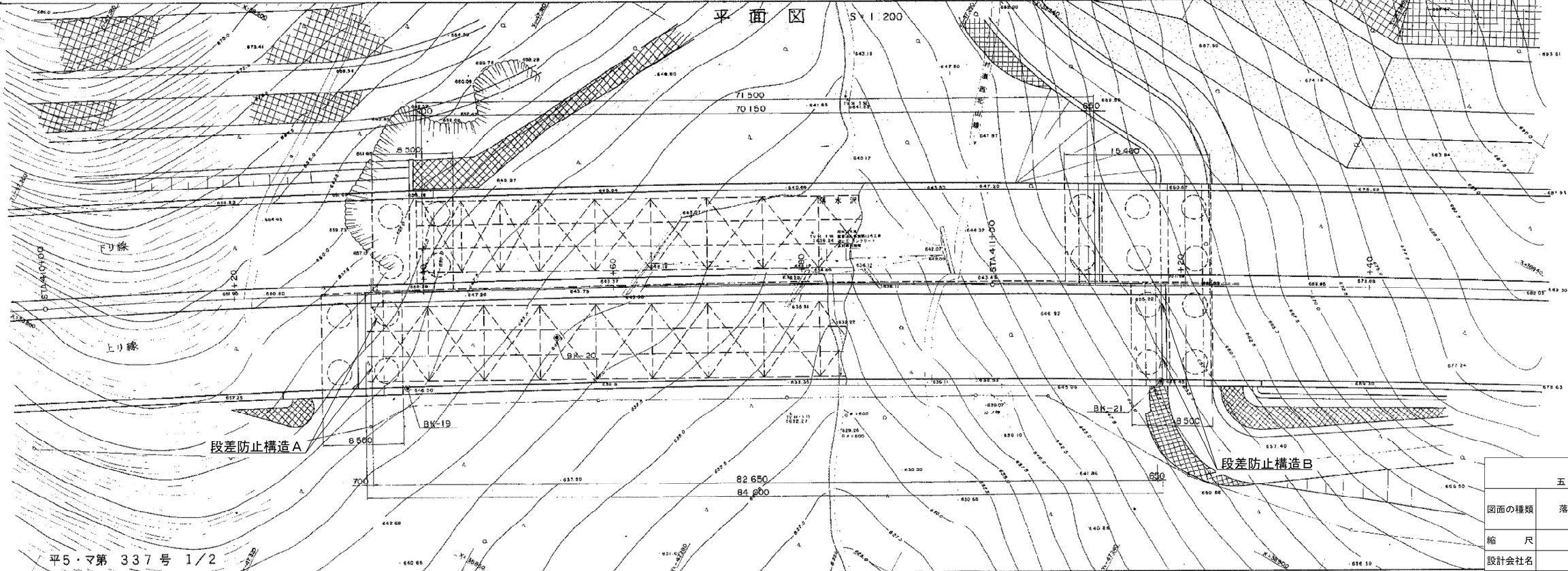
段差防止構造

落水橋(上下線) 全体一般図(その1)

一般図 側面図 S = 1:200



	DL = 630.000	
叶面高	-859.624 -856.371 -856.880 -857.037 -857.055 -857.795	
地盤高		
追加距離	-4100.00 -4109.00 -4109.00 -4109.50 -4109.00	
単距離		
測点	STA -410+00 + 20 A1/A2 + 20 Airplane + 40 + 60 + 80 -411+00 -41000+ A2/Pile -418 000+ B2/Pile + 20 + 40	
平面曲線	L = 219.375 A = 650	
片勾配すり付図		

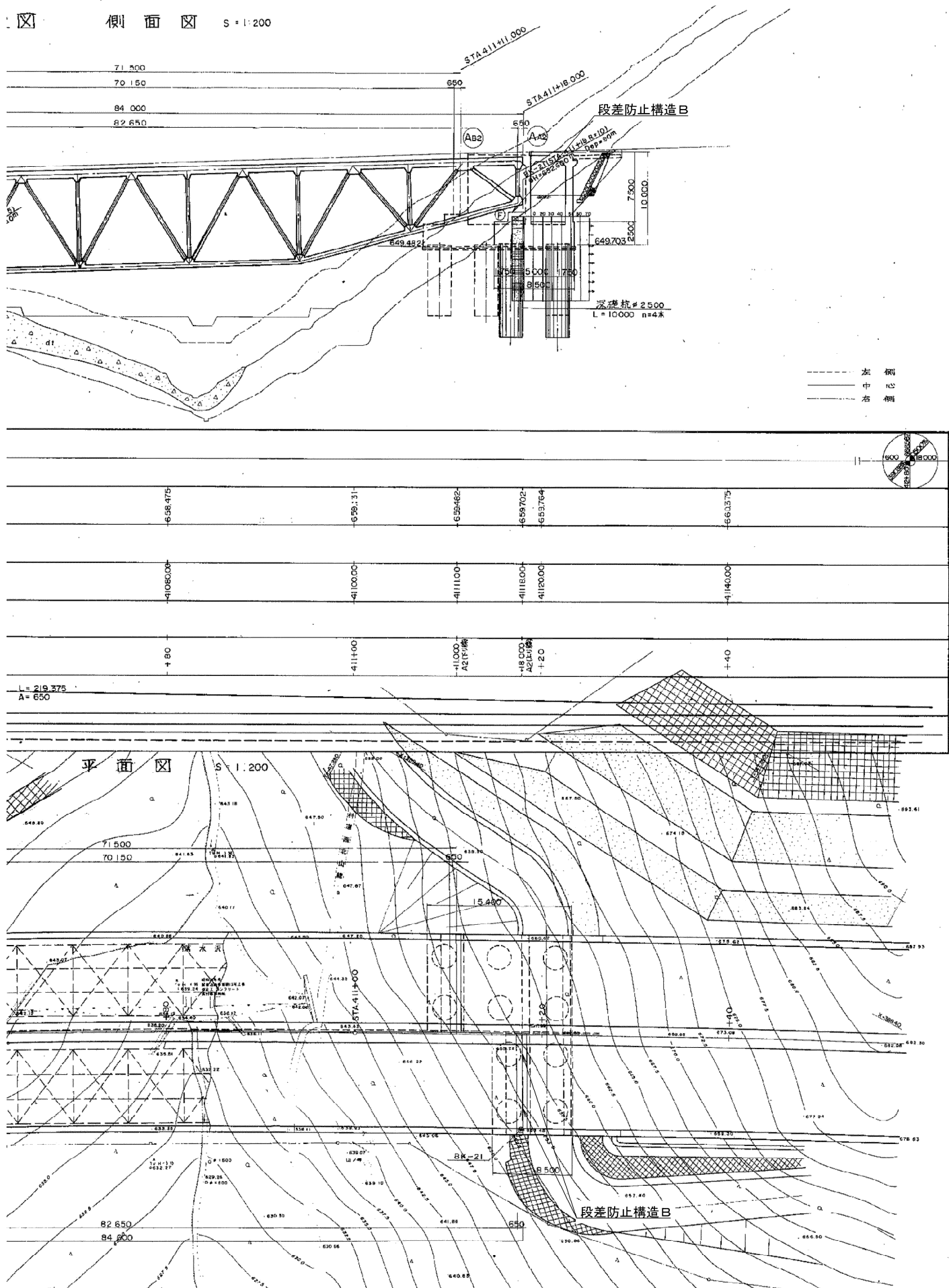


平5・マ第 337号 1/2

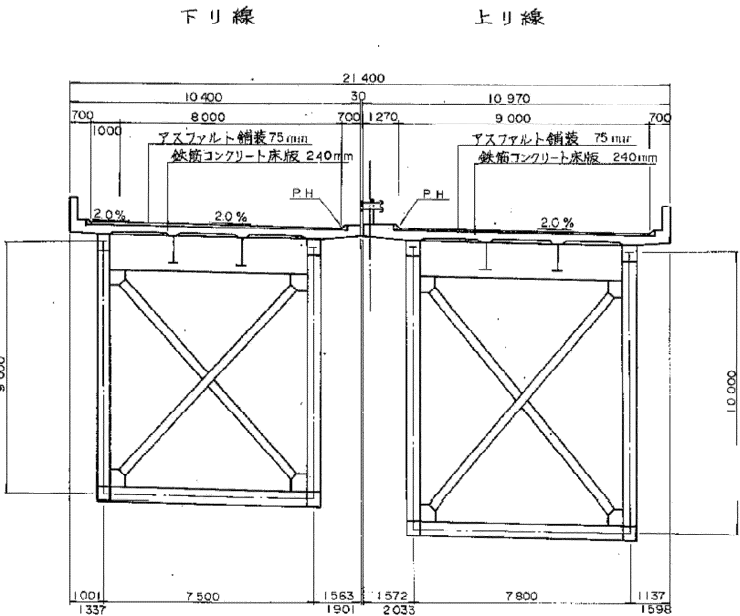
長野自動車道			
五常橋床版取替工事			
図面の種類	落水橋(上下線) 全体一般図(その1)		
縮 尺	-	図面番号	495/532
設計会社名	東日本高速道路株式会社		
施工会社名	-		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

落水橋(上下線) 全体一般図(その2)

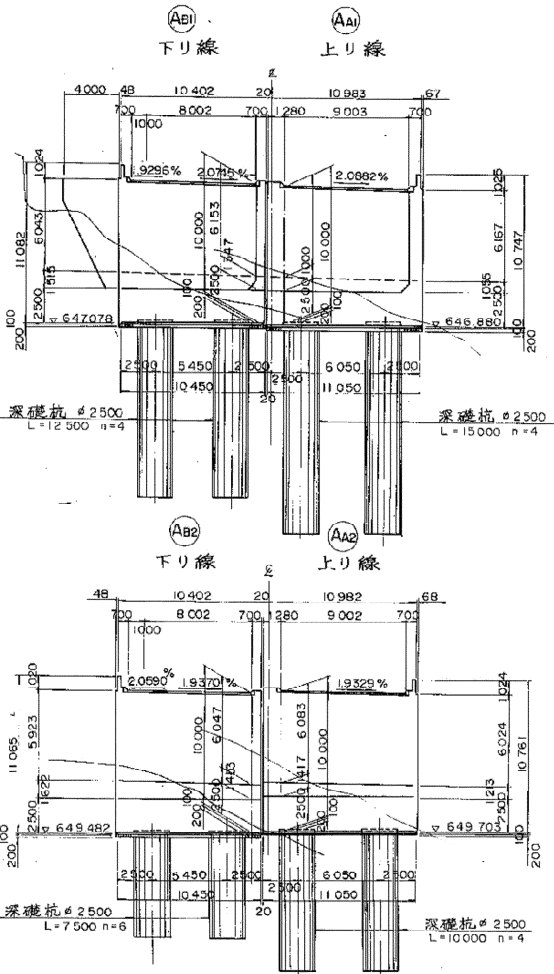
側面図 S=1:200



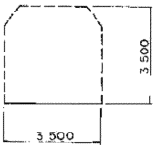
標準断面図 S=1:100



断面図 S=1:200



交差道路

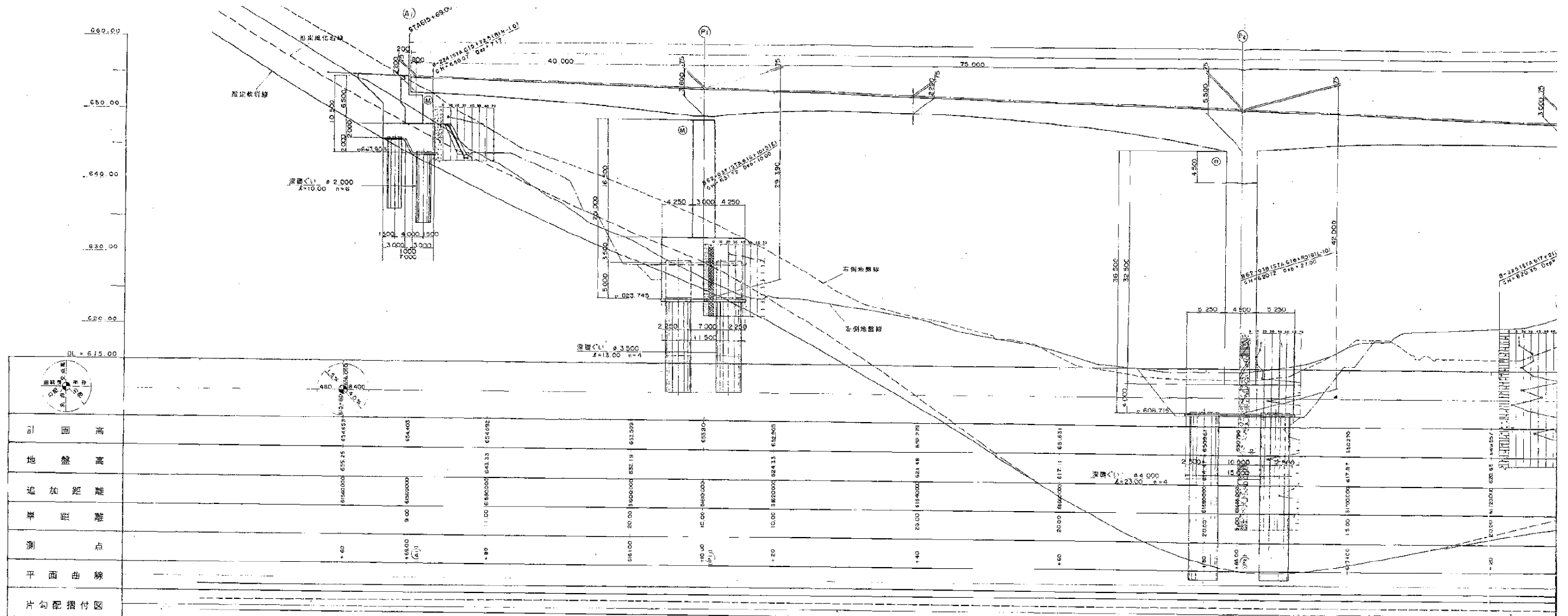


設計条件	
橋長	15.500m (下り線) 15.500m (上り線)
道路区分	第1種3級A 設計速度 V=80km/hr
荷重	TL-20, T-43 添物 W=—kg/m
型式	鋼単軌トラス
支間	(上り線) 8.2650m (下り線) 7.0150m
有効幅員	2 x 9.000m 斜角 90°00'
横断勾配	片勾配 2.0%
縦断勾配	図示
地震係数	水平震度 Kh=0.2x10x10x125=0.25鉛直震度 Kv=±0
コンクリート	上部工 Ck=240kg/cm ² 下部工 Ck=240kg/cm ²
鉄筋	上部工 S535 下部工 S535
適用法令	H2年2月 道路標示方書, 同解説
使用材質	SS400, SM490Y

長野自動車道 五常橋床版取替工事		
図面の種類	落水橋(上下線) 全体一般図(その2)	
縮尺	—	図面番号 496/532
設計会社名	東日本高速道路株式会社	
施工会社名	—	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所	

御麓橋(下り線) 全体一般図(その1)

498/532



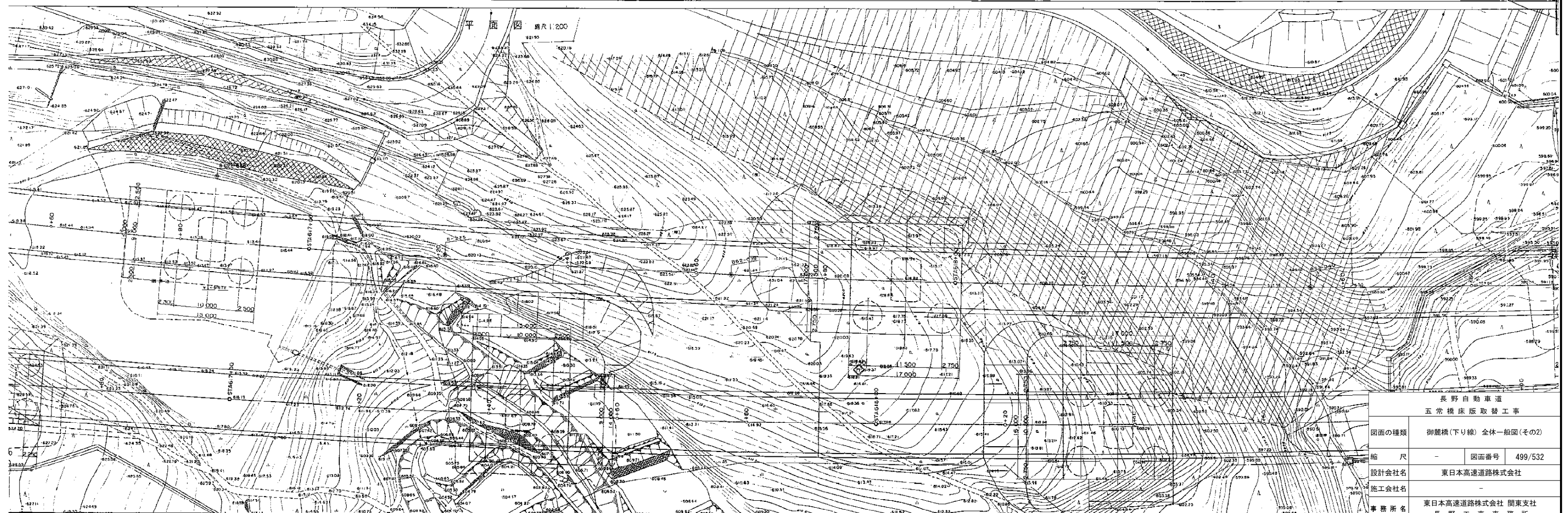
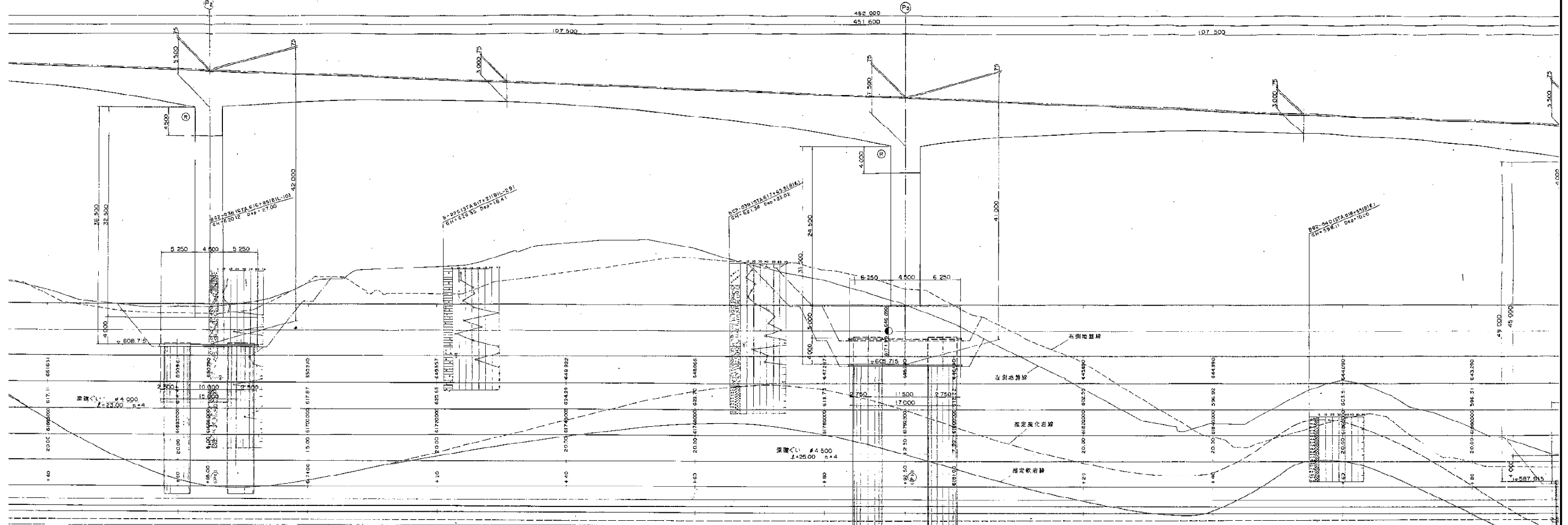
長野自動車道 五常橋床版取替工事	
図面の種類	御麓橋(下り線) 全体一般図(その1)
縮尺	図面番号 498/532
設計会社名	東日本高速道路株式会社
施工会社名	-
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所

御麓橋(下り線) 全体一般図(その2)

499/532

側面図 縮尺 1:200

御麓高架橋一般図(下り線)

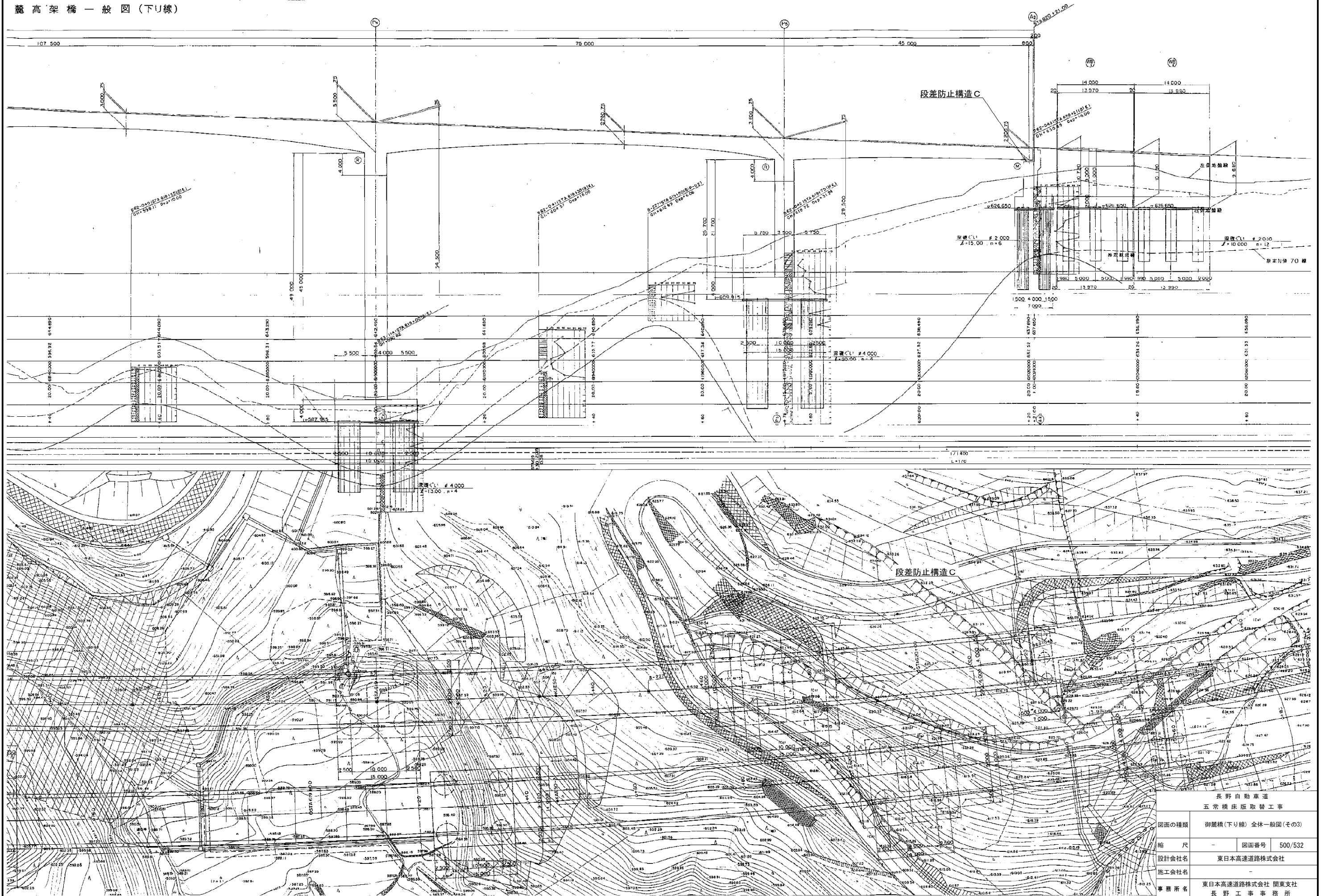


長野自動車道 五常橋床版取替工事	
図面の種類	御麓橋(下り線) 全体一般図(その2)
縮尺	図面番号 499/532
設計会社名	東日本高速道路株式会社
施工会社名	-
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所

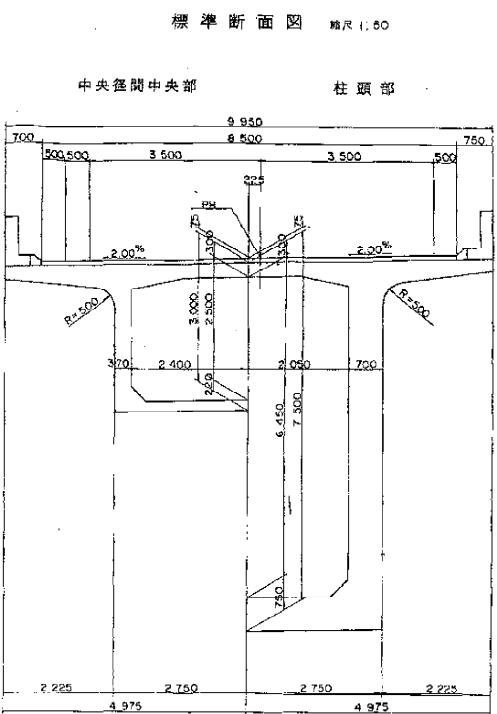
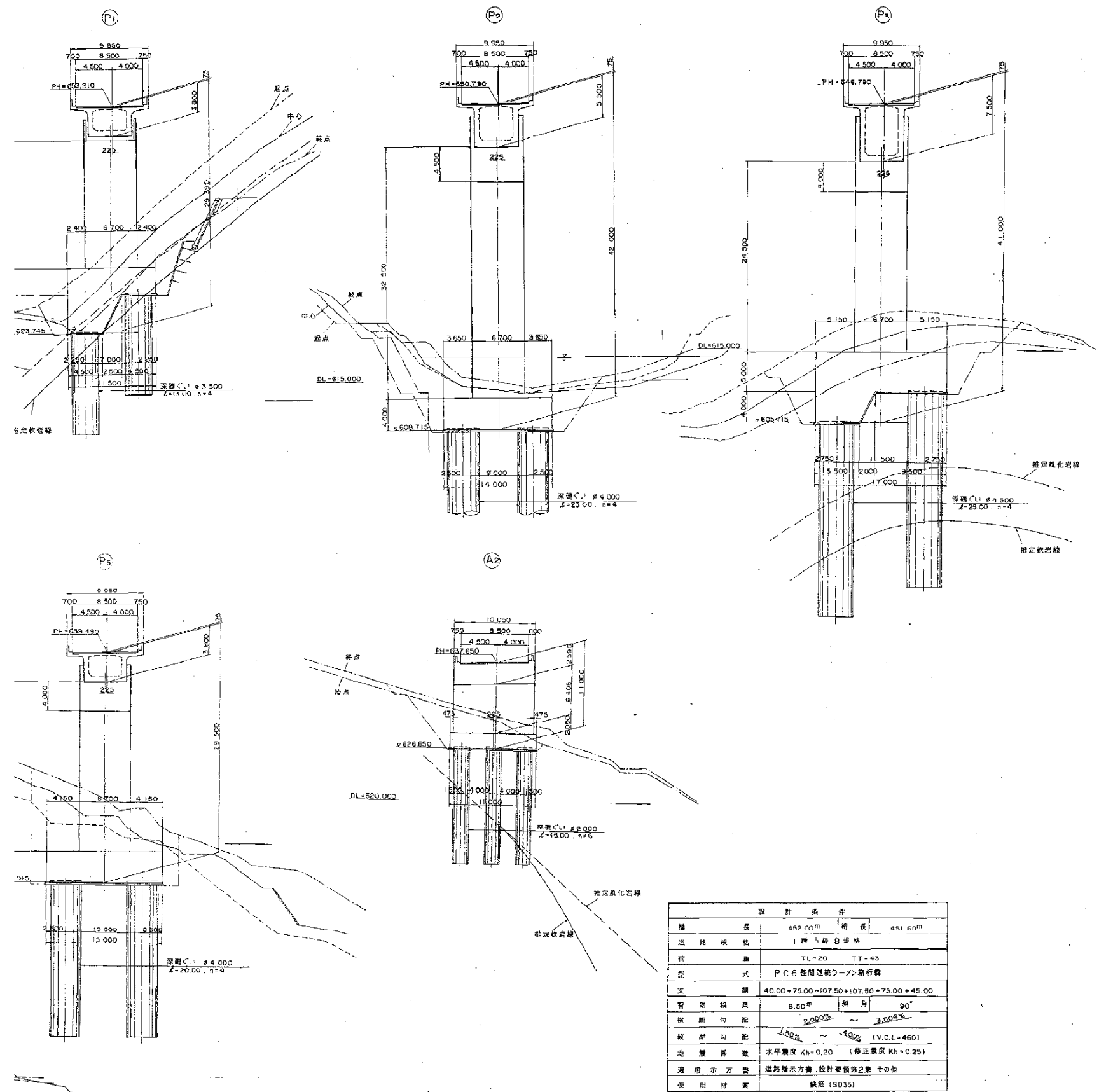
御麓橋(下り線) 全体一般図(その3)

500/532

麓高架橋一般図(下り線)



長野自動車道 五常橋床版取替工事	
図面の種類	御麓橋(下り線) 全体一般図(その3)
縮尺	図面番号 500/532
設計会社名	東日本高速道路株式会社
施工会社名	-
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所

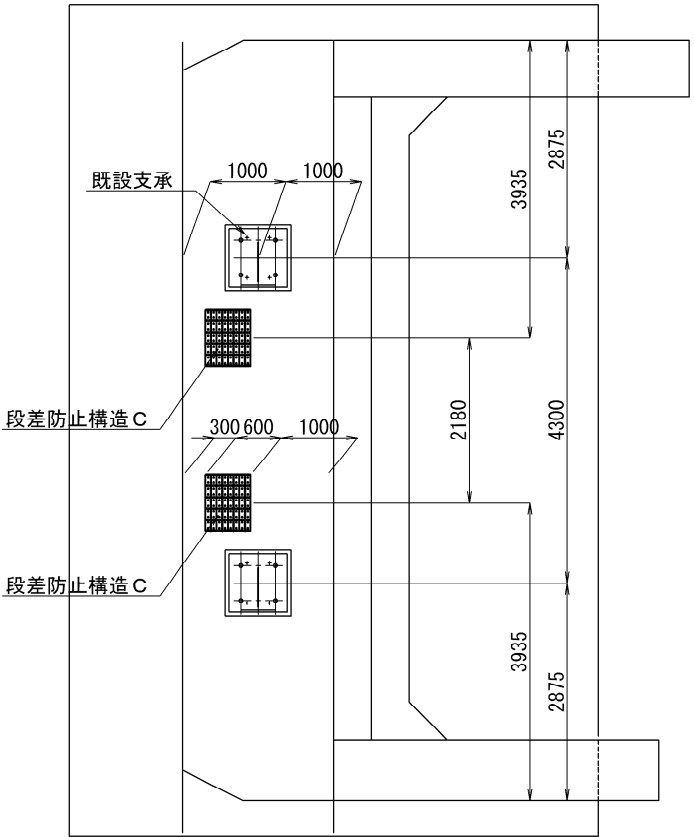
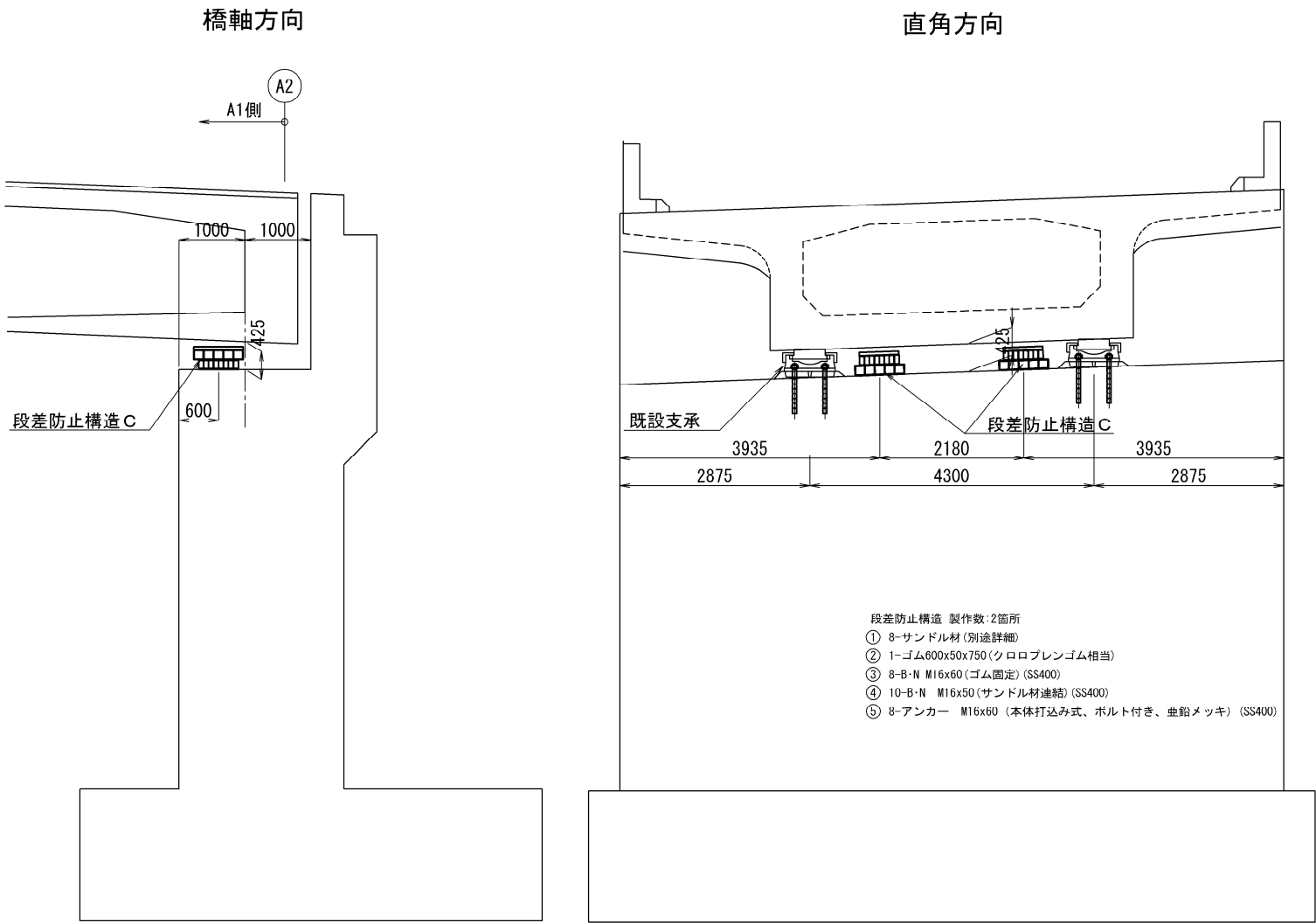


設計条件			
橋長	452.00m	桁長	451.60m
道路規格	I 標準自動車橋		
荷重	TL-20 TT-43		
型式	PC6 径間連続ワーメン橋桁橋		
支間	40.00+75.00+107.50+107.50+75.00+45.00		
有効幅員	8.50m	斜角	90°
縦断勾配	0.000% ~ 0.005%		
横断勾配	1.50% ~ 5.00% (V.C.L=460)		
基礎形式	水平置床 Kh=0.20 (修正置床 Kh=0.25)		
適用示方書	道路橋示方書, 設計要領第2巻 その他		
使用材質	鋼筋 (SD35)		

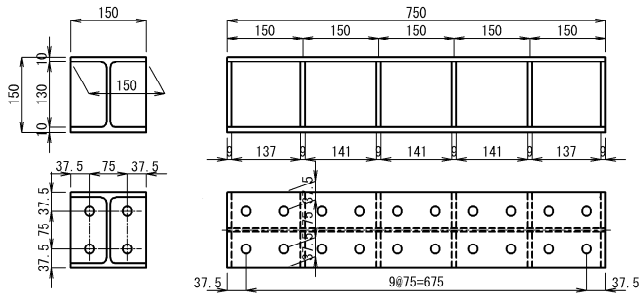
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	御麓橋(下り線) 全体一般図(その5)		
縮尺	-	図面番号	502/532
設計会社名	東日本高速道路株式会社		
施工会社名	-		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

A2橋台

平面図

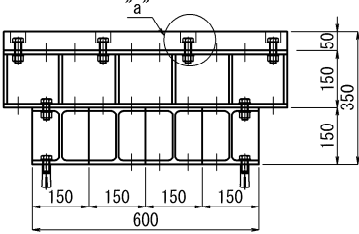


サンドル詳細図 S=1:15



サンドル組立図 S=1:20

A2橋台側 (橋軸方向)



注 記

1. 既設構造物の寸法は現地にて再計測の上施工を行うこと。

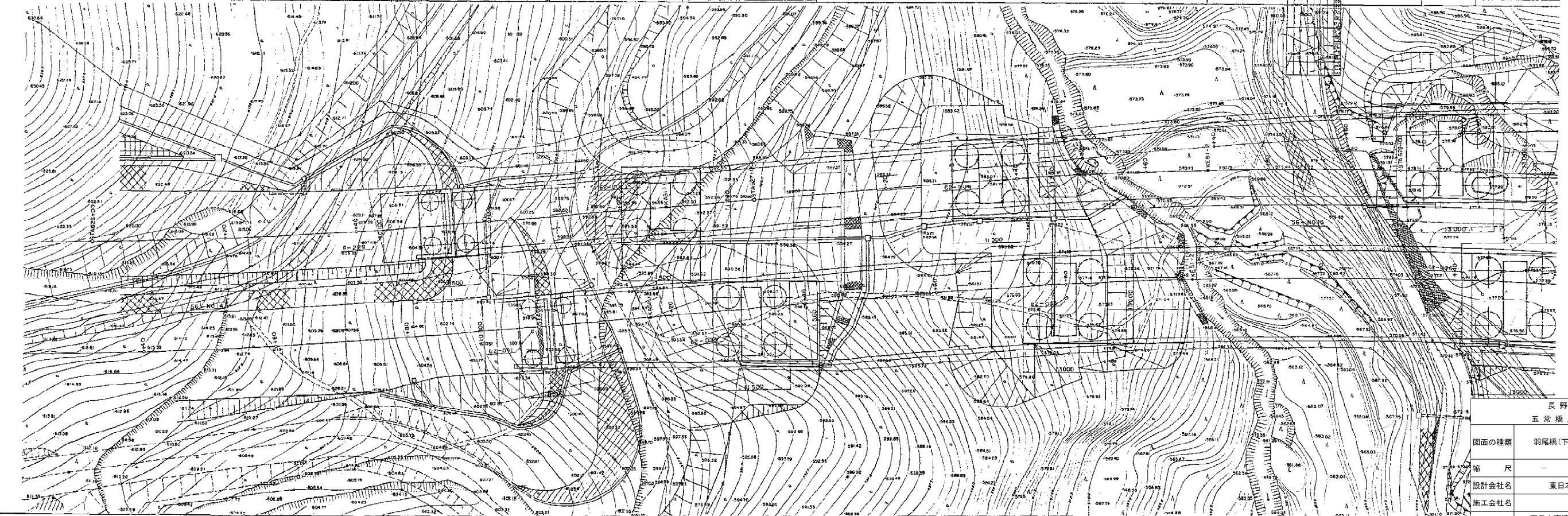
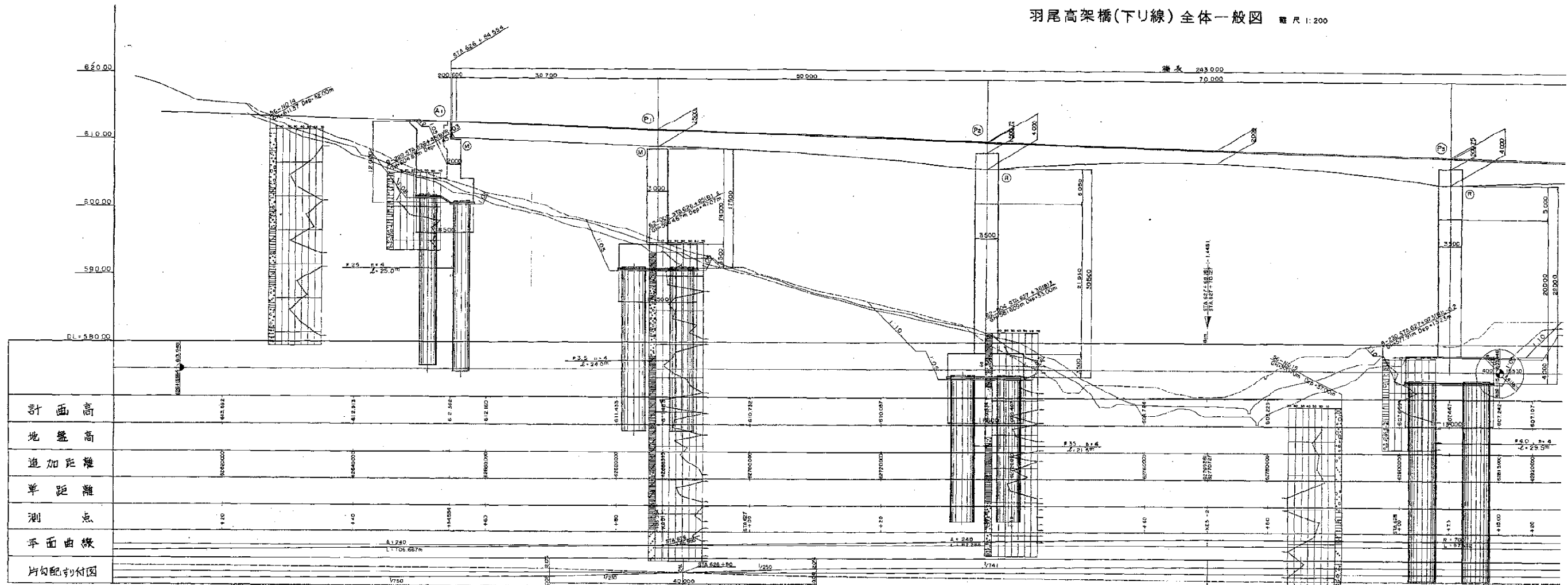
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。

3. 部材は全て溶融亜鉛メッキを施すものとする。

(亜鉛の付着量は、JIS H 8641 HZD177とする。ただし、ボルト・ナットの付着量は、JIS H 8641 HZD149とする。)

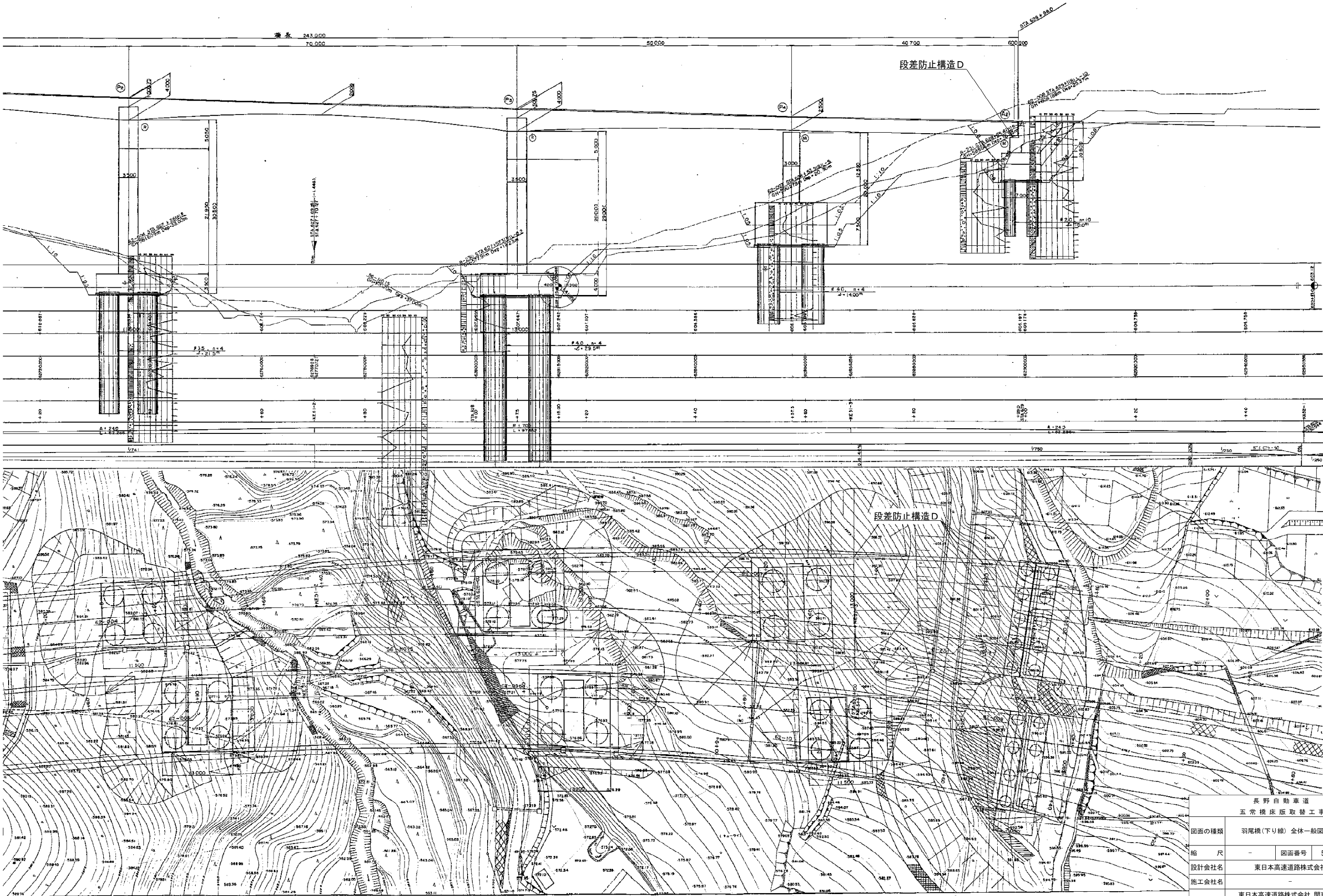
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	御麓橋(下り線) 段差防止構造 C 配置図		
縮 尺	図示	図面番号	503/532
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

羽尾高架橋(下り線) 全体一般図 縮尺 1:200

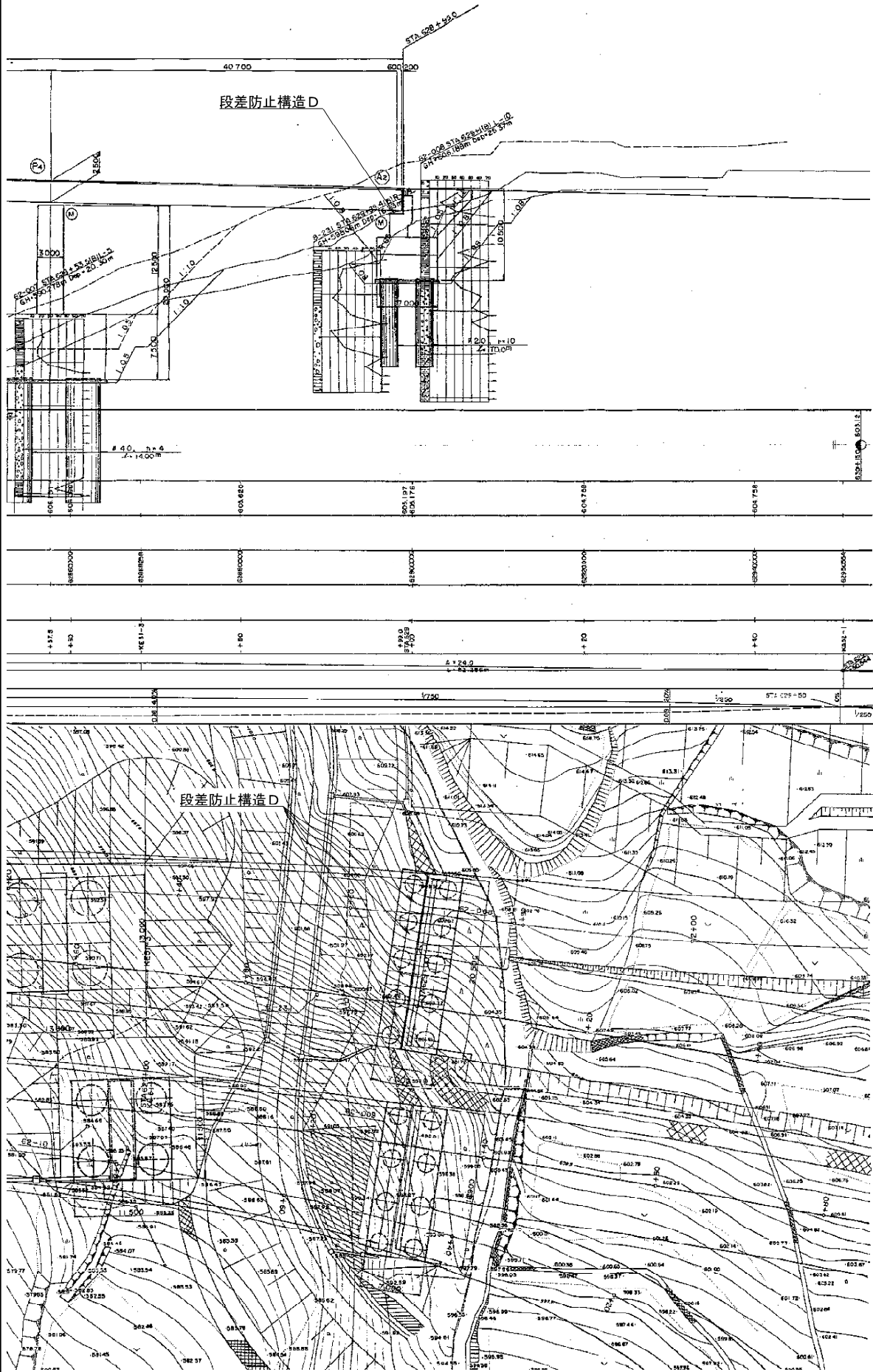


長野自動車道 五常橋床版取替工事	
図面の種類	羽尾橋(下り線) 全体一般図(その1)
縮尺	縮尺 1:200
設計会社名	東日本高速道路株式会社
施工会社名	-
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所

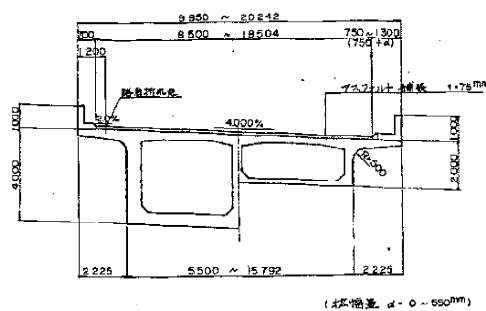
羽尾高架橋(下り線) 全体一般図 縮尺 1:200



長野自動車道 五常橋床版取替工事	
図面の種類	羽尾橋(下り線) 全体一般図(その2)
縮尺	図面番号 505/532
設計会社名	東日本高速道路株式会社
施工会社名	-
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所

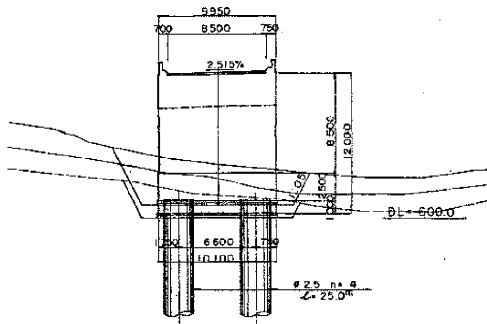


標準断面図 S=1:100



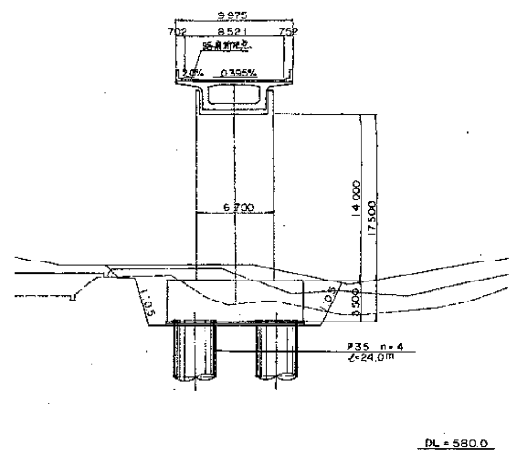
設計条件	
橋 長	243.000m
道路規格	1種 3級 B短橋
車 道	TL-20, TT-43
車 式	上部工 R/C 橋脚連続ラーメン橋脚橋 下部工 連続式橋台、壁式橋脚、基礎杭
支 間	30.700m + 50.000m + 70.000m + 50.000m + 40.700m
有効橋長	8.000m ~ 18.504m
横断勾配	4.000%
縦断勾配	5.000% ~ 1.418%

A1 橋台

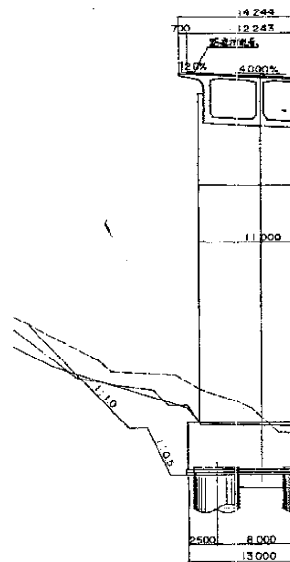


断面図 S=1:200

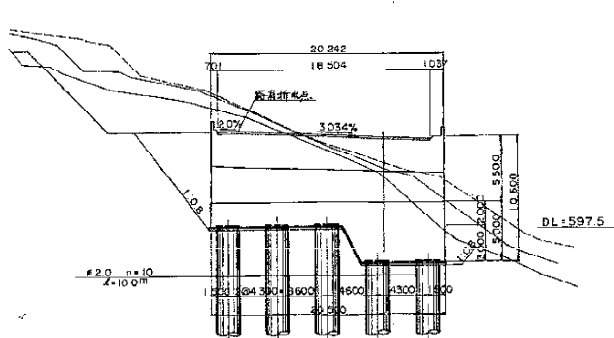
P1 橋脚



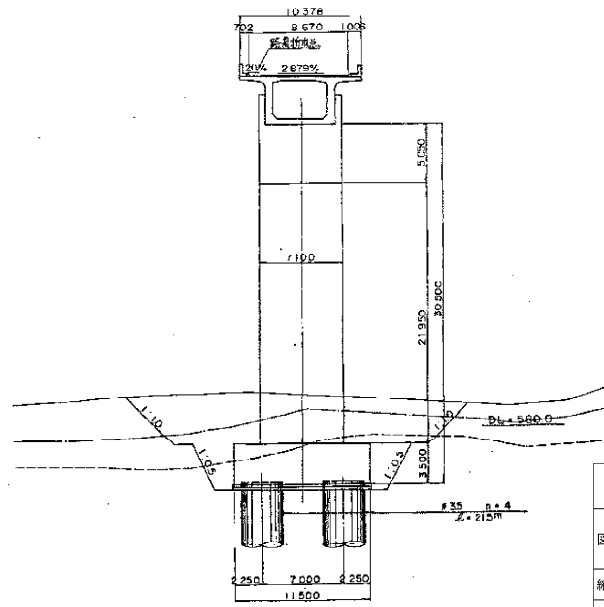
P3 橋脚



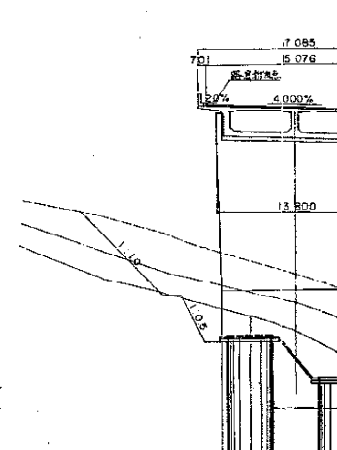
A2 橋台



P2 橋脚

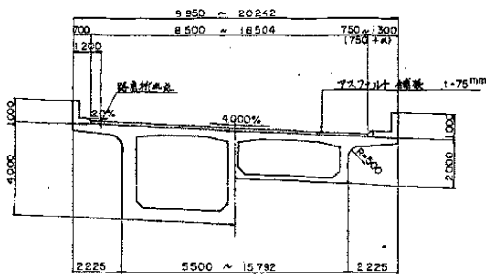


P4 橋脚



長野自動車道 五常橋床版取替工事	
図面の種類	羽尾橋(下り線) 全体一般図(その3)
縮 尺	- 図面番号 506/532
設計会社名	東日本高速道路株式会社
施工会社名	-
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所

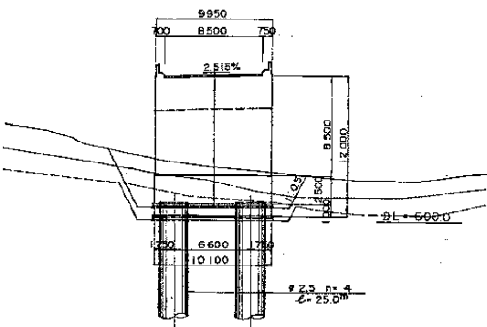
標準断面図 5:1:100



(拡幅量 $\alpha = 0 \sim 250\text{mm}$)

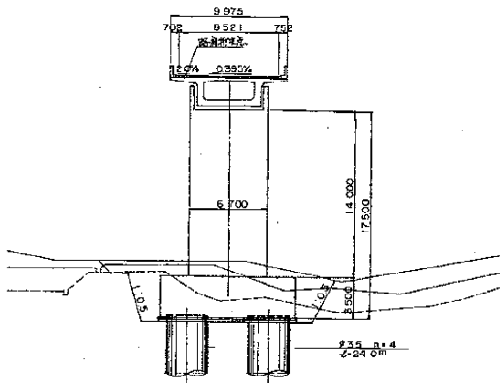
設計条件	
橋長	243.000m
道路規格	1種 3級 8規格
形式	T-20 TT-43
型式	上部工 PC5 偏開通純ララン橋脚橋 下部工 1段式橋台、壁式橋脚、深礎杭
支間	30.700m + 50.000m + 70.000m + 50.000m + 40.700m
有効橋長	8.500m ~ 18.504m
床面勾配	4.000%
縦断勾配	4.000% ~ 1.418%

A1 橋台



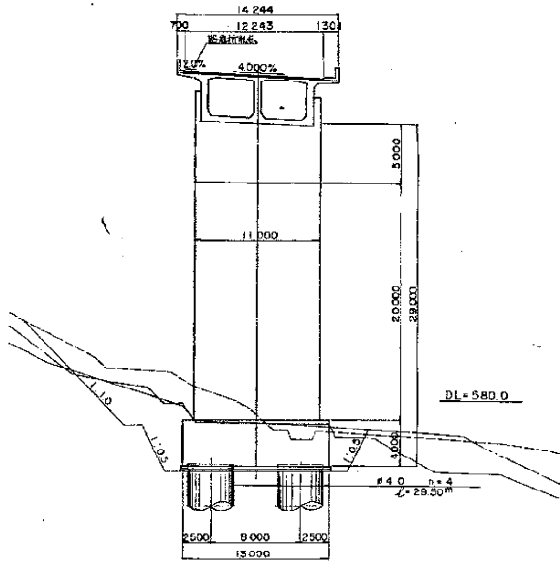
断面図 5:1:200

P1 橋脚



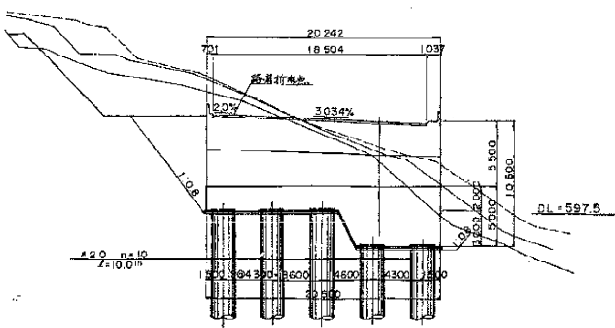
DL = 580.0

P3 橋脚



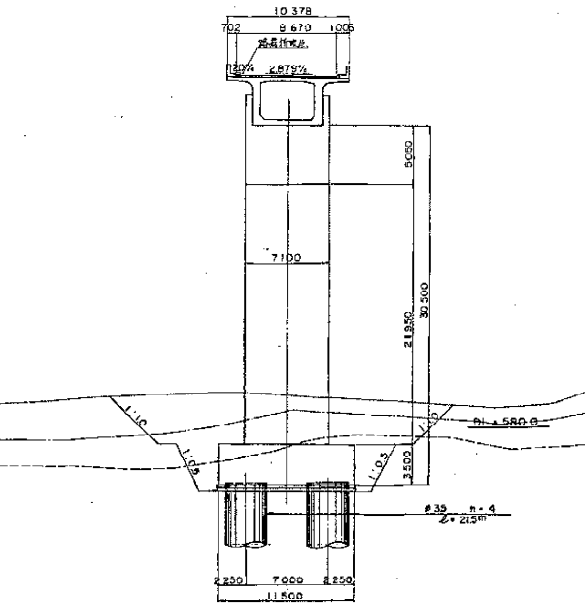
DL = 580.0

A2 橋台



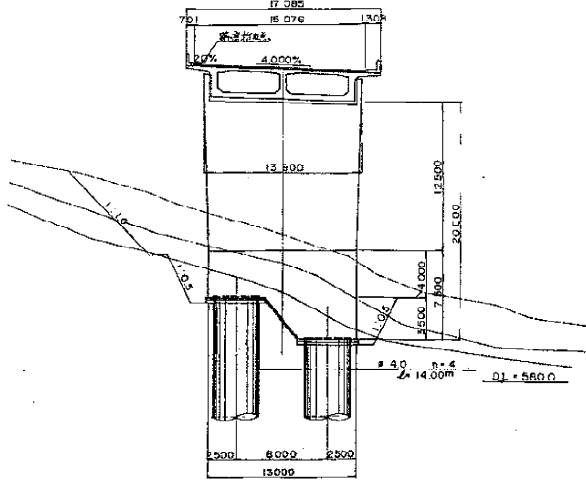
DL = 587.8

P2 橋脚



DL = 580.0

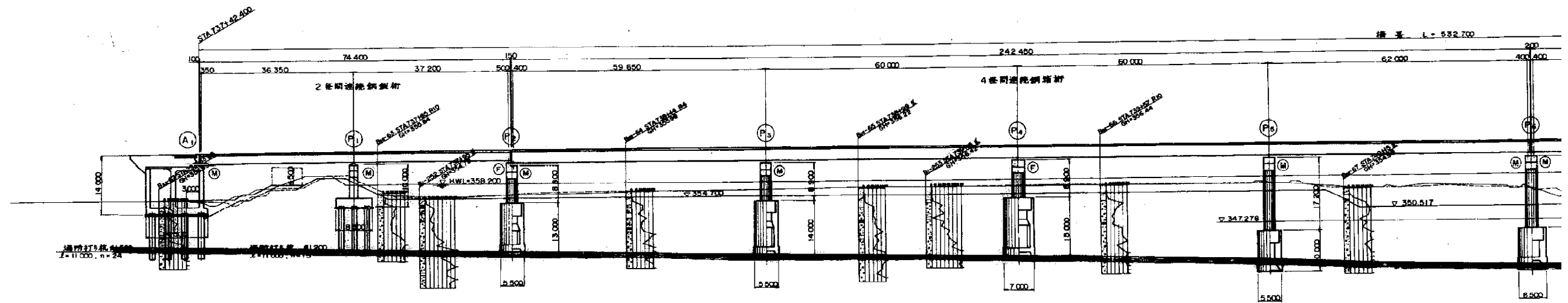
P4 橋脚



DL = 580.0

長野自動車道 五常橋床版取替工事	
図面の種類	羽尾橋(下り線) 全体一般図(その4)
縮尺	- 図面番号 507/532
設計会社名	東日本高速道路株式会社
施工会社名	-
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所

側 面 圖 縮 尺 1:400



平面曲线	測 距	单 距 离	道 加 距 离	地 盤 高	計 面 高
横断面配槽付図	STA 737+20.000	737.000	737.000		365.275
	+20	420.000	737.000		365.376
	+40	20.000	737.000	354.85	365.473
	+42.000	2.400	737.000		
	(A)				
	+60	17.600	737.000	354.69	365.571
	(B)				
	+79.920	18.200	737.000		365.689
	+80	0.800	737.000	355.00	365.689
	(C)				
	STA 759+20.000	759.000	759.000	354.95	365.766
	+20	2.900	759.000	355.43	365.863
	(D)				
	+77.100	17.100	759.000	355.73	365.992
	+80	2.900	759.000	356.21	366.078
(E)					
STA 759+20.000	759.000	759.000	356.36	366.115	
+20	20.000	759.000	356.40	366.136	
(F)					
+37.100	17.100	759.000		366.139	
+40	2.800	759.000	356.38	366.139	
(G)					
+60	20.000	759.000	356.33	366.125	
+80	20.000	759.000	356.36	366.054	
(H)					
+37.100	17.100	759.000		366.054	
STA 740+20.000	740.000	740.000	356.38	366.045	
(I)					
+20	20.000	740.000	355.02	365.980	
+40	20.000	740.000	355.60	365.906	
(J)					
+59.600	18.600	740.000		365.835	
+60	0.400	740.000	354.42	365.835	
(K)					

DL = 310.000

北

南

東

西

0°

90°

180°

270°

0°

90°

180°

270°

0.000

0.300

0.600

0.900

1.200

1.500

1.800

2.100

2.400

2.700

3.000

3.300

3.600

3.900

4.200

4.500

4.800

5.100

5.400

5.700

6.000

6.300

6.600

6.900

7.200

7.500

7.800

8.100

8.400

8.700

9.000

9.300

9.600

9.900

10.200

10.500

10.800

11.100

11.400

11.700

12.000

12.300

12.600

12.900

13.200

13.500

13.800

14.100

14.400

14.700

15.000

15.300

15.600

15.900

16.200

16.500

16.800

17.100

17.400

17.700

18.000

18.300

18.600

18.900

19.200

19.500

19.800

20.100

20.400

20.700

21.000

21.300

21.600

21.900

22.200

22.500

22.800

23.100

23.400

23.700

24.000

24.300

24.600

24.900

25.200

25.500

25.800

26.100

26.400

26.700

27.000

27.300

27.600

27.900

28.200

28.500

28.800

29.100

29.400

29.700

30.000

30.300

30.600

30.900

31.200

31.500

31.800

32.100

32.400

32.700

33.000

33.300

33.600

33.900

34.200

34.500

34.800

35.100

35.400

35.700

36.000

36.300

36.600

36.900

37.200

37.500

37.800

38.100

38.400

38.700

39.000

39.300

39.600

39.900

40.200

40.500

40.800

41.100

41.400

41.700

42.000

42.300

42.600

42.900

43.200

43.500

43.800

44.100

44.400

44.700

45.000

45.300

45.600

45.900

46.200

46.500

46.800

47.100

47.400

47.700

48.000

48.300

48.600

48.900

49.200

49.500

49.800

50.100

50.400

50.700

51.000

51.300

51.600

51.900

52.200

52.500

52.800

53.100

53.400

53.700

54.000

54.300

54.600

54.900

55.200

55.500

55.800

56.100

56.400

56.700

57.000

57.300

57.600

57.900

58.200

58.500

58.800

59.100

59.400

59.700

60.000

60.300

60.600

60.900

61.200

61.500

61.800

62.100

62.400

62.700

63.000

63.300

63.600

63.900

64.200

64.500

64.800

65.100

65.400

65.700

66.000

66.300

66.600

66.900

67.200

67.500

67.800

68.100

68.400

68.700

69.000

69.300

69.600

69.900

70.200

70.500

70.800

71.100

71.400

71.700

72.000

72.300

72.600

72.900

73.200

73.500

73.800

74.100

74.400

74.700

75.000

75.300

75.600

75.900

76.200

76.500

76.800

77.100

77.400

77.700

78.000

78.300

78.600

78.900

79.200

79.500

79.800

80.100

80.400

80.700

81.000

81.300

81.600

81.900

82.200

82.500

82.800

83.100

83.400

83.700

84.000

84.300

84.600

84.900

85.200

85.500

85.800

86.100

86.400

86.700

87.000

87.300

87.600

87.900

88.200

88.500

88.800

89.100

89.400

89.700

90.000

90.300

90.600

90.900

91.200

91.500

91.800

92.100

92.400

92.700

93.000

93.300

93.600

93.900

94.200

94.500

94.800

95.100

95.400

95.700

96.000

96.300

96.600

96.900

97.200

97.500

97.800

98.100

98.400

98.700

99.000

99.300

99.600

99.900

100.200

100.500

100.800

101.100

101.400

101.700

102.000

102.300

102.600

102.900

103.200

103.500

103.800

104.100

104.400

104.700

105.000

105.300

105.600

105.900

106.200

106.500

106.800

107.100

107.400

107.700

108.000

108.300

108.600

108.900

109.200

109.500

109.800

110.100

110.400

110.700

111.000

111.300

111.600

111.900

112.200

112.500

112.800

113.100

113.400

113.700

114.000

114.300

114.600

114.900

115.200

115.500

115.800

116.100

116.400

116.700

117.000

117.300

117.600

117.900

118.200

118.500

118.800

119.100

119.400

119.700

120.000

120.300

120.600

120.900

121.200

121.500

121.800

122.100

122.400

122.700

123.000

123.300

123.600

123.900

124.200

124.500

124.800

125.100

125.400

125.700

126.000

126.300

126.600

126.900

127.200

127.500

127.800

128.100

128.400

128.700

129.000

129.300

129.600

129.900

130.200

130.500

130.800

131.100

131.400

131.700

132.000

132.300

132.600

132.900

133.200

133.500

133.800

134.100

134.400

134.700

135.000

135.300

135.600

135.900

136.200

136.500

136.800

137.100

137.400

137.700

138.000

138.300

138.600

138.900

139.200

139.500

139.800

140.100

140.400

140.700

141.000

141.300

141.600

141.900

142.200

142.500

142.800

143.100

143.400

143.700

144.000

144.300

144.600

144.900

145.200

145.500

145.800

146.100

146.400

146.700

147.000

147.300

147.600

147.900

148.200

148.500

148.800

149.100

149.400

149.700

150.000

150.300

150.600

150.900

151.200

151.500

151.800

152.100

152.400

152.700

153.000

153.300

153.600

153.900

154.200

154.500

154.800

155.100

155.400

155.700

156.000

156.300

156.600

156.900

157.200

157.500

157.800

158.100

158.400

158.700

159.000

159.300

159.600

159.900

160.200

160.500

160.800

161.100

161.400

161.700

162.000

162.300

162.600

162.900

163.200

163.500

163.800

164.100

164.400

164.700

165.000

165.300

165.600

165.900

166.200

166.500

166.800

167.100

167.400

167.700

168.000

168.300

168.600

168.900

169.200

169.500

169.800

170.100

170.400

170.700

171.000

171.300

171.600

171.900

172.200

172.500

172.800

173.100

173.400

173.700

174.000

174.300

174.600

174.900

175.200

175.500

175.800

176.100

176.400

176.700

177.000

177.300

177.600

177.900

178.200

178.500

178.800

179.100

179.400

179.700

180.000

180.300

180.600

180.900

181.200

181.500

181.800

182.100

182.400

182.700

183.000

183.300

183.600

183.900

184.200

184.500

184.800

185.100

185.400

185.700

186.000

186.300

186.600

186.900

187.200

187.500

187.800

188.100

188.400

188.700

189.000

189.300

189.600

189.900

190.200

190.500

190.800

191.100

191.400

191.700

192.000

192.300

192.600

192.900

193.200

193.500

193.800

194.100

194.400

194.700

195.000

195.300

195.600

195.900

196.200

196.500

196.800

197.100

197.400

197.700

198.000

198.300

198.600

198.900

199.200

199.500

199.800

200.000

200.300

200.600

200.900

201.200

201.500

201.800

202.100

202.400

202.700

203.000

203.300

203.600

203.900

204.200

204.500

204.800

205.100

205.400

205.700

206.000

206.300

206.600

206.900

207.200

207.500

207.800

208.100

208.400

208.700

209.000

209.300

209.600

209.900

210.200

210.500

210.800

211.100

211.400

211.700

212.000

212.300

212.600

212.900

213.200

213.500

213.800

214.100

214.400

214.700

215.000

215.300

215.600

215.900

216.200

216.500

216.800

217.100

217.400

217.700

218.000

218.300

218.600

218.900

219.200

219.500

219.800

220.000

220.300

220.600

220.900

221.200

221.500

221.800

222.100

222.400

222.700

223.000

223.300

223.600

223.900

224.200

224.500

224.800

225.100

225.400

225.700

226.000

226.300

226.600

226.900

227.200

227.500

227.800

228.100

228.400

228.700

229.000

229.300

229.600

229.900

230.200

230.500

230.800

231.100

231.400

231.700

232.000

232.300

232.600

232.900

233.200

233.500

233.800

234.100

234.400

234.700

235.000

235.300

235.600

235.900

236.200

236.500

236.800

237.100

237.400

237.700

238.000

238.300

238.600

238.900

239.200

239.500

239.800

240.000

240.300

240.600

240.900

241.200

241.500

241.800

242.100

242.400

242.700

243.000

243.300

243.600

243.900

244.200

244.500

244.800

245.100

245.400

245.700

246.000

246.300

246.600

246.900

247.200

247.500

247.800

248.100

248.400

248.700

249.000

249.300

249.600

249.900

250.200

250.500

250.800

251.100

251.400

251.700

252.000

252.300

252.600

252.900

253.200

253.500

253.800

254.100

254.400

254.700

255.000

255.300

255.600

255.900

256.200

256.500

256.800

257.100

257.400

257.700

258.000

258.300

258.600

258.900

259.200

259.500

259.800

260.000

260.300

260.600

260.900

261.200

261.500

261.800

262.100

262.400

262.700

263.000

263.300

263.600

263.900

264.200

264.500

264.800

265.100

265.400

265.700

266.000

266.300

266.600

266.900

267.200

267.500

267.800

268.100

268.400

268.700

269.000

269.300

269.600

269.900

270.200

270.500

270.800

271.100

271.400

271.700

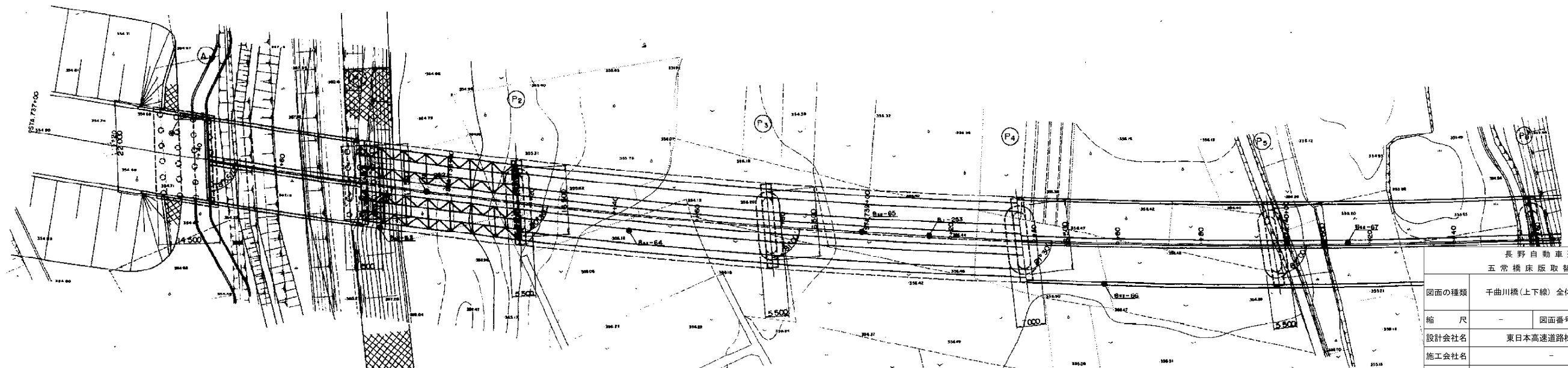
272.000

272.300

272.600

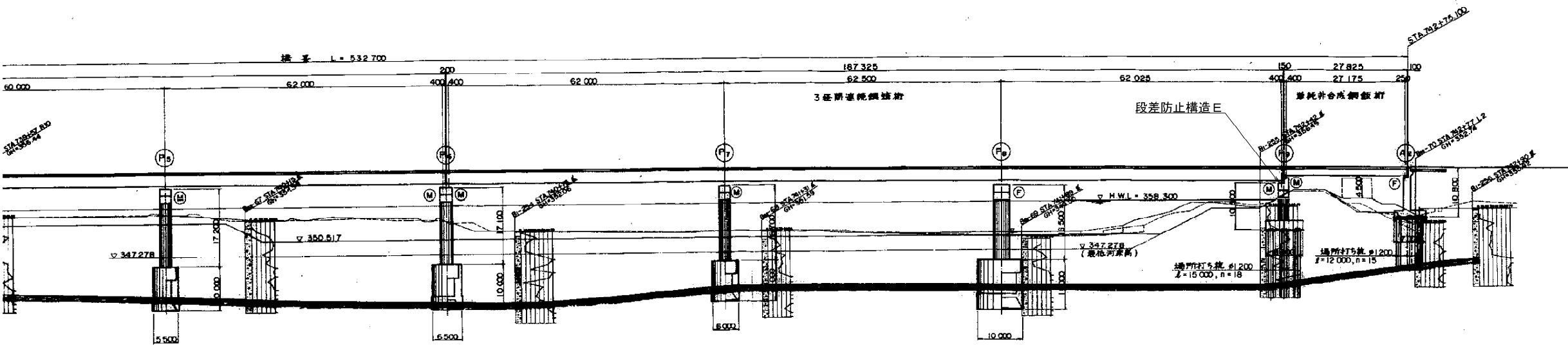
272.900</

平面图 縮尺 1:400

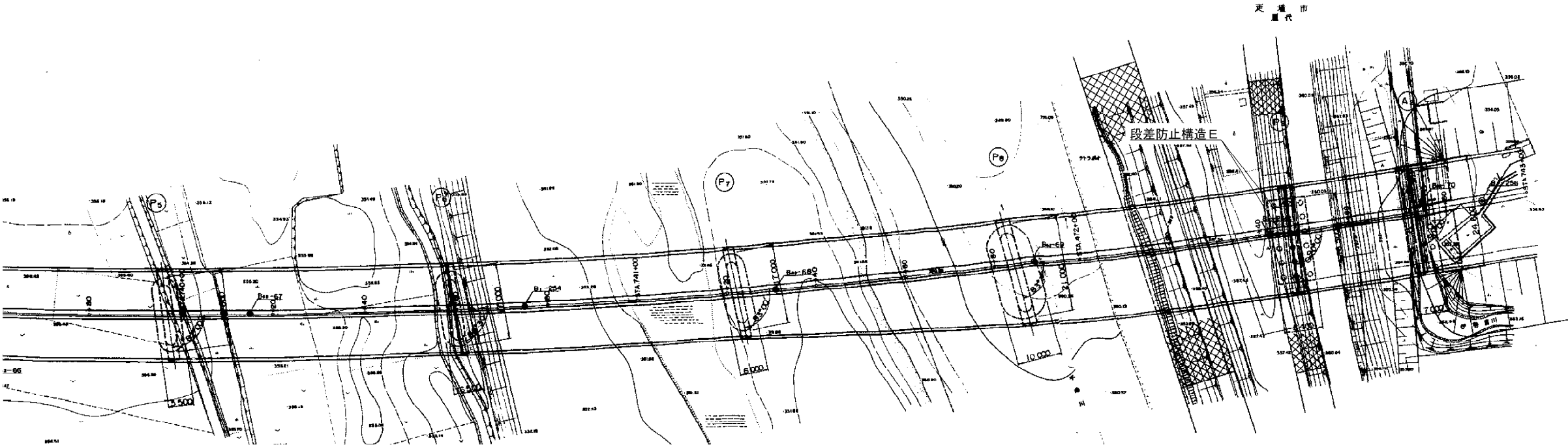


長野自動車道			
五常橋床板取替工事			
図面の種類	千曲川橋(上下線) 全体一般図(その1)		
縮 尺	-	図面番号	509/532
設計会社名	東日本高速道路株式会社		
施工会社名	-		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

千曲川橋 全体一般図



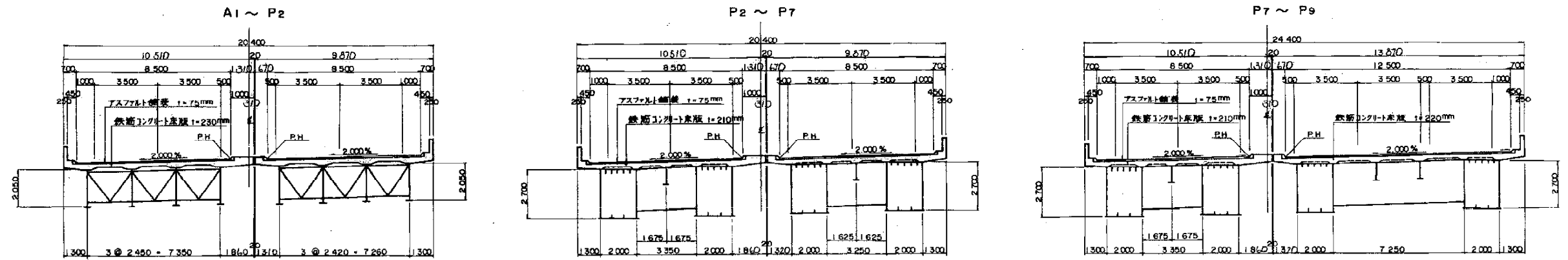
左側地盤線		右側地盤線	
+80	20.000	7980.00	356.36
+87.100	17.100	7997.100	356.45
STA. 740	2.900	7400.000	356.38
+20	20.000	7400.000	355.92
+40	20.000	7400.000	355.90
+59.600	19.400	7400.000	355.83
+60	20.000	7400.000	355.82
+80	20.000	7400.000	355.78
STA. 741	20.000	7400.000	355.63
+40	20.000	7400.000	355.62
+40	20.000	7400.000	355.56
+60	20.000	7400.000	355.46
+80	20.000	7400.000	355.38
+80	20.000	7400.000	355.37
STA. 742	15.400	7400.000	355.31
+20	20.000	7400.000	355.24
+40	20.000	7400.000	355.18
+47.100	7.100	7407.100	355.14
+60	20.000	7400.000	355.08
+75.100	15.100	7407.100	355.03
+80	20.000	7400.000	355.01
STA. 743	20.000	7400.000	354.94



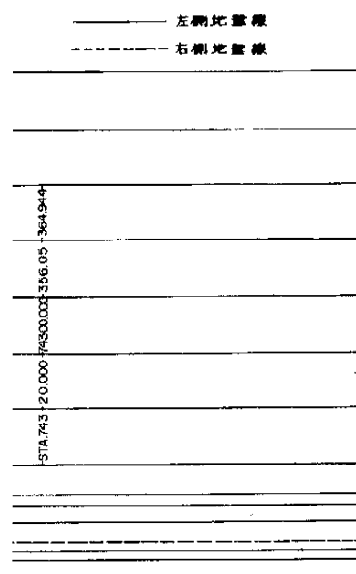
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	千曲川橋(上下線) 全体一般図(その2)		
縮尺	-	図面番号	510/532
設計会社名	東日本高速道路株式会社		
施工会社名	-		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

千曲川橋(上下線) 全体一般図(その3)

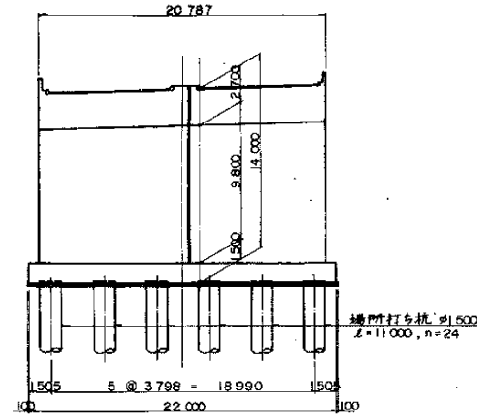
標準断面図 高さ 1:100



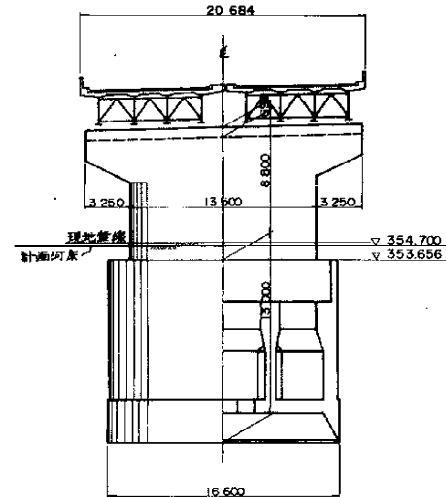
正面図 高さ 1:200



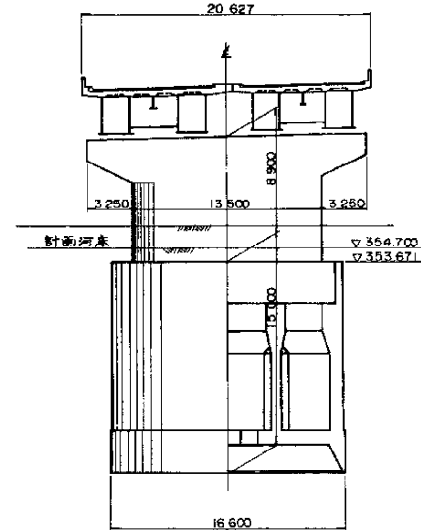
A1 橋台



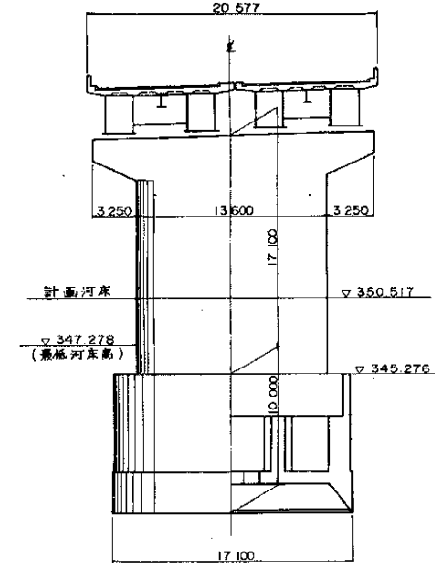
P2 橋脚



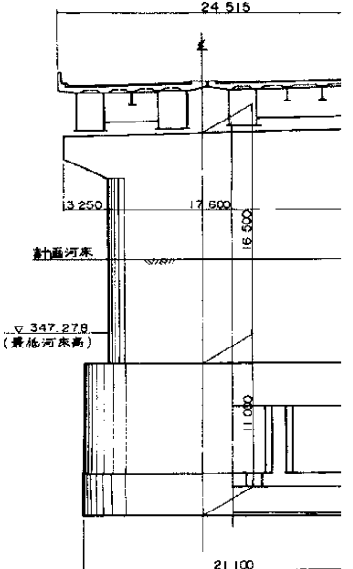
P4 橋脚



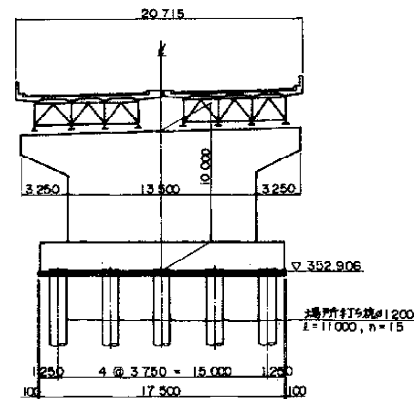
P6 橋脚



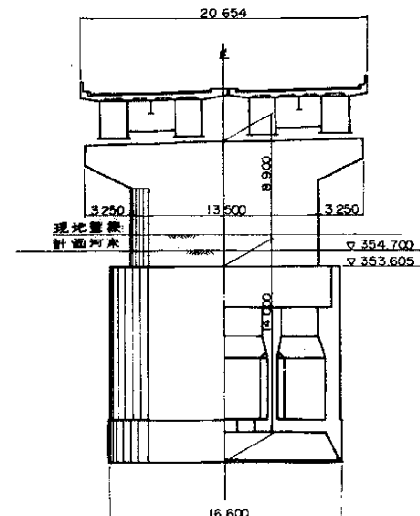
P8 橋脚



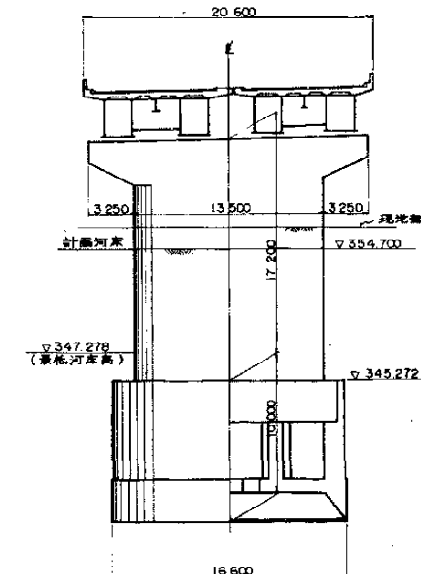
P1 橋脚



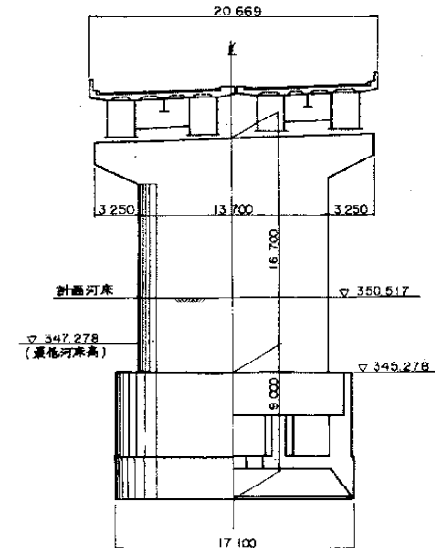
P3 橋脚



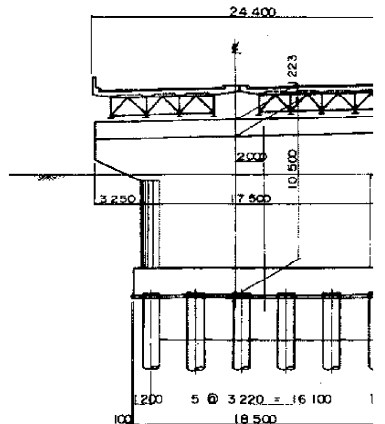
P5 橋脚



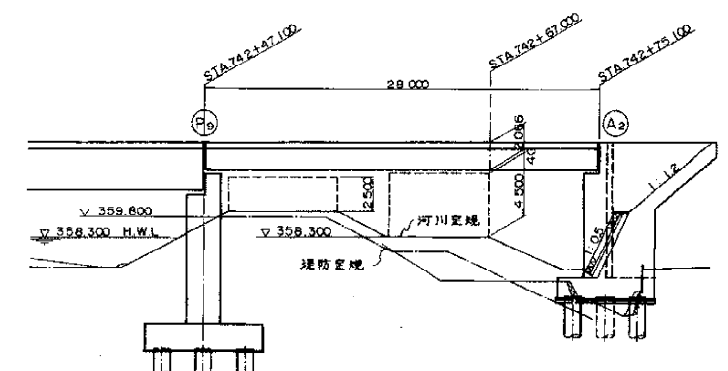
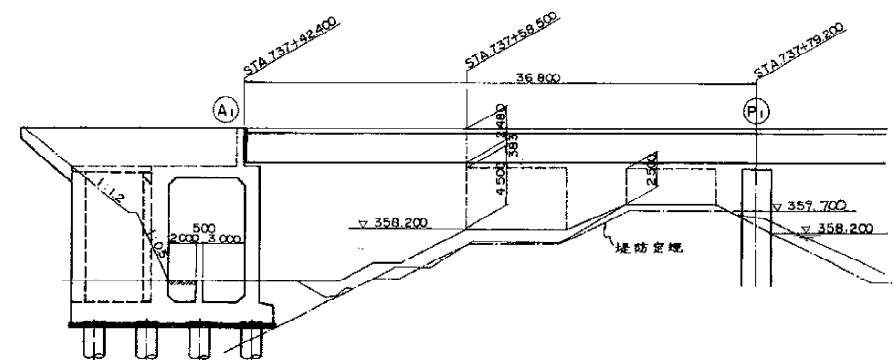
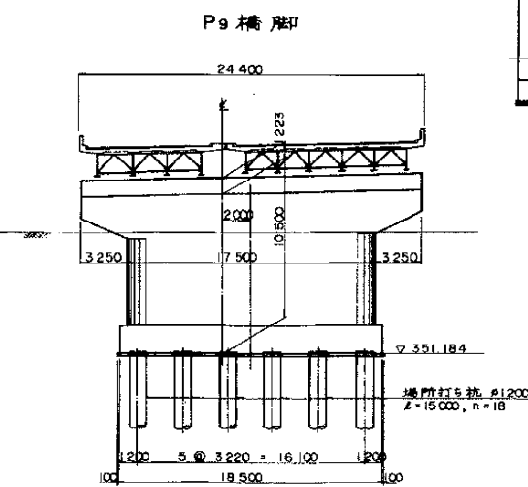
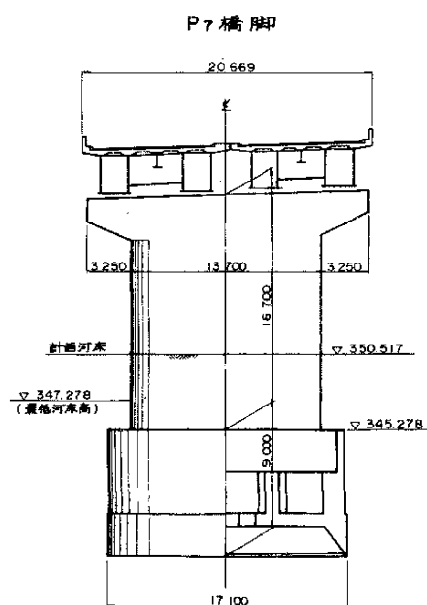
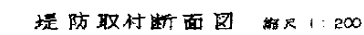
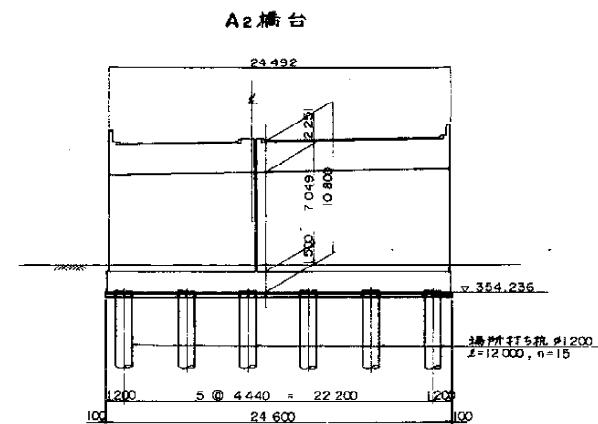
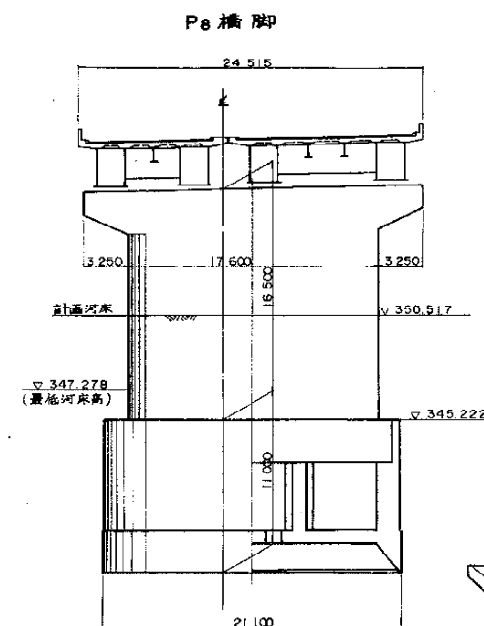
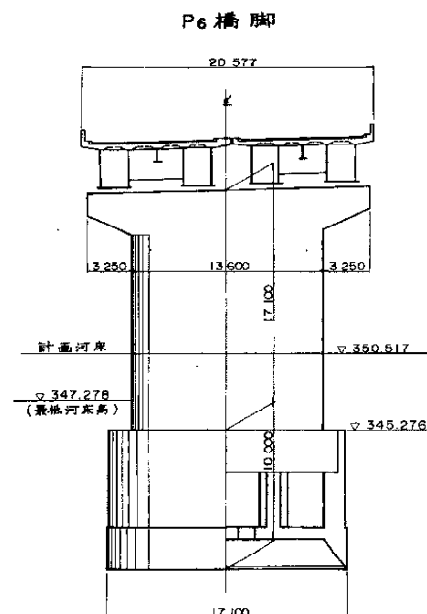
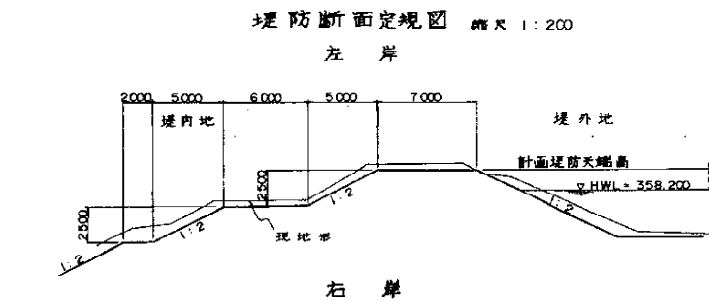
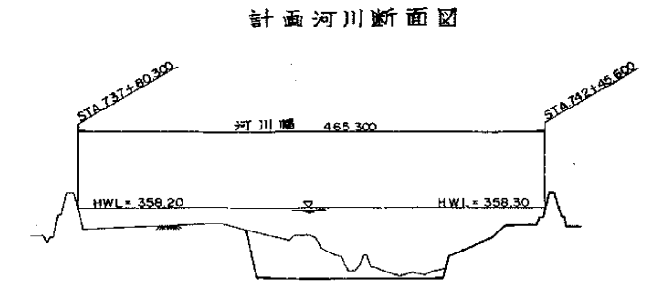
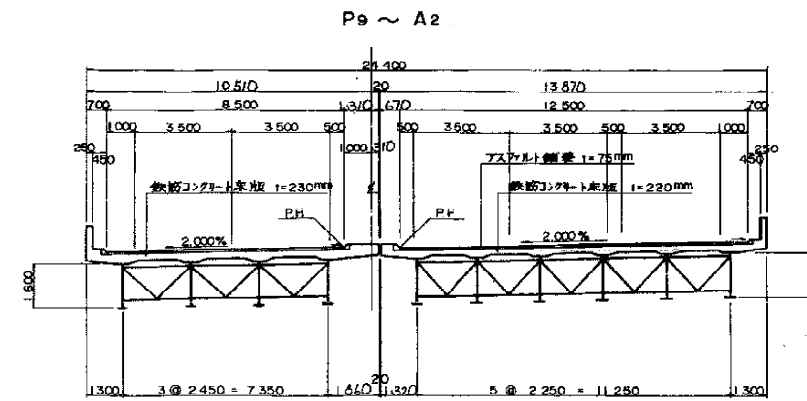
P7 橋脚



P9 橋脚



長野自動車道			
五常橋床版取替工事			
図面の種類	千曲川橋(上下線) 全体一般図(その3)		
縮 尺	-	図面番号	511/532
設計会社名	東日本高速道路株式会社		
施工会社名	-		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

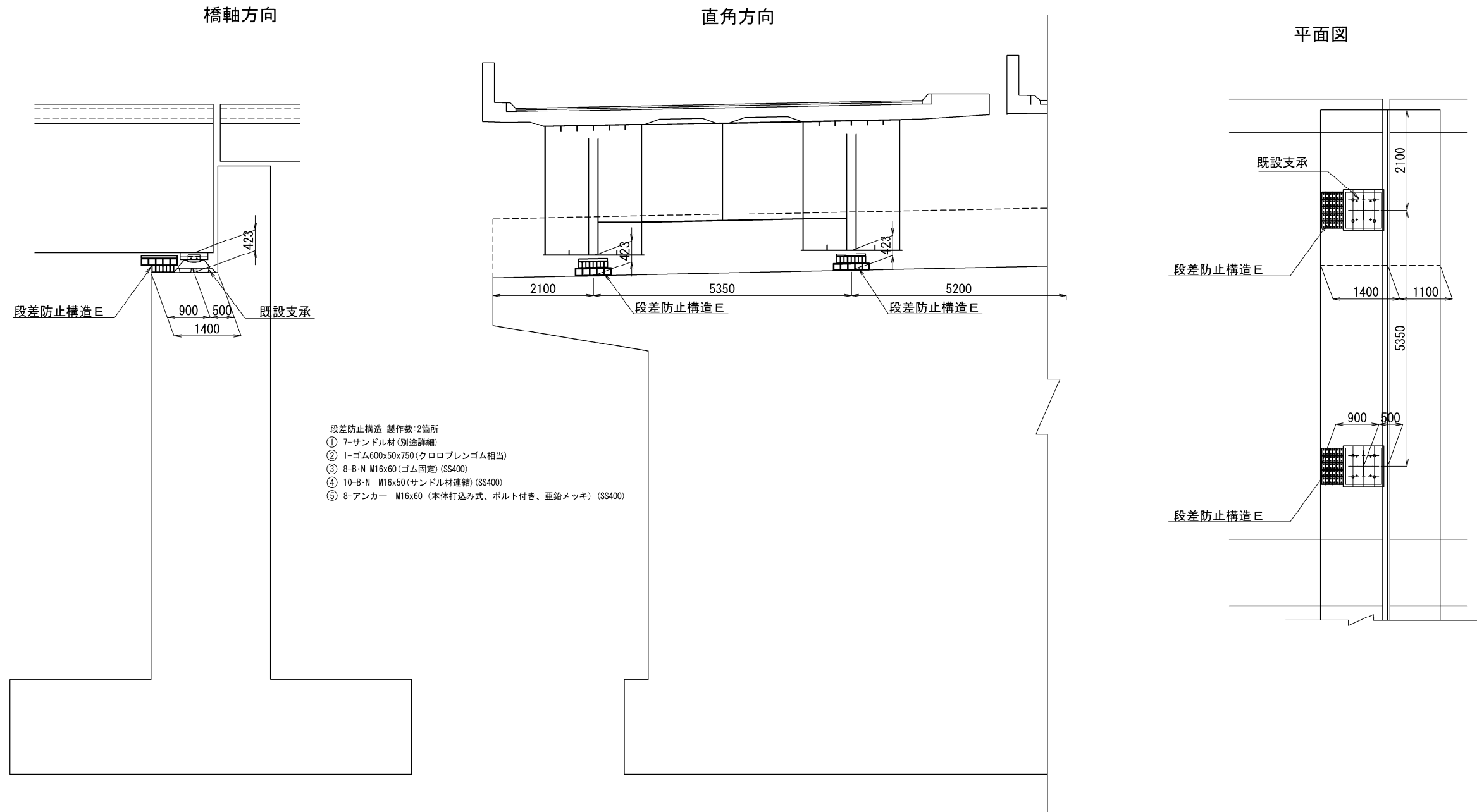


設計条件			
機 長	532.700m	桁 長	74.400+242.450+167.325+27.825
造 路 形 式	第 1 種 5 線 道		
荷 重	T-20 T-43		
型 式	上 部 工 鋼梁現地組立	下 部 工 鋼屎鉄床半成式	ラーメン式橋台、逆 T 式橋台 小形型式橋脚
支 間	36.35+31.20+39.65+50.00+60.00+62.00+62.00+62.00 +62.025+27.175		
有効幅員	8.500m	斜 角	右 L80° ~ L R
横断勾配	2.00% 片勾配		
縦断勾配	<u>0.482%</u> <u>0.370%</u>		
地震係数	K _H = 0.20 K _v = ±0		
床版コンクリート	60cm 24.0kg/cm ²		
床版鉄筋	SD 35 f _{sy} = 1400kg/cm ²		
適用方 材	道路橋示方第 1 ~ V 設計標準第 2 集		
使用鋼材	SS 400 S M 40 Y		

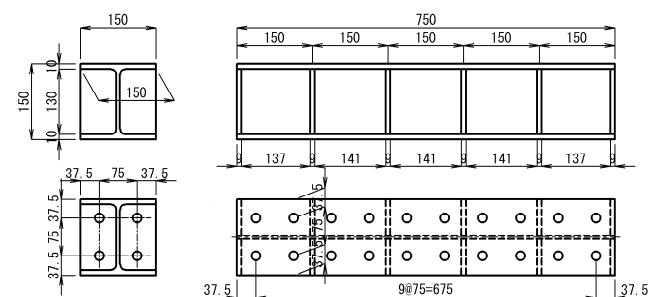
河川設計条件			
河川名	I 飯河川(中河川)		
交差位置	79.75K 付近		
計画洪水流量	$Q=550\text{m}^3/\text{sec}$		
計画堤防高	359.00m(左岸)～359.80m(右岸)		
計画高水径	358.20m(左岸)～358.30m(右岸)		
計画河川幅(HWL上)	465.30m		
項目	基準	準	説 計
橋台前面の位置	堤防先端とHWLの交点より堤内側		堤岸に適合
橋心と堤防先端との距離	原則としていくばく月20°以下		右左岸とも堤岸に平行 (D)
橋台の基礎位置	堤内側は堤高より		堤岸に適合
河槽径率	7%以下		3.96%
橋脚の侵入率	高水状態(最高洪水水深より1m以上) 低水状態(最低洪水水深より2m以上)		354.7より 1m 347.278より 2m
基準橋面高	$L=30+0.005 Q=57.5\text{m}$		575m以上確保 橋上昇降は30m
橋下余裕高	HWL+1.50m以上		確保に適合
橋脚形状	河川沿曲部に位置する場合は、L型		堤岸に適合
管理用道路	$W=H-7.0\text{m}=4.5\text{m}$		右左岸とも確保 右岸は堤防内に近い
管理用の堤防	最大勾配は45.0°とする		右岸は:6.0°
管理工の堤固	$L=10\text{m}$ or $L/2$ 以上確保		堤岸に適合 (2x20.75)

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	千曲川橋(上下線) 金体一般図(その4)		
縮 尺	-	図面番号	512/532
設計会社名	東日本高速道路株式会社		
施工会社名	-		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

P9橋脚(起点側)



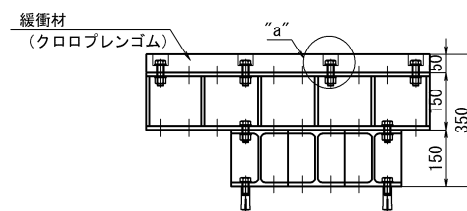
サンドル詳細図 S=1:15



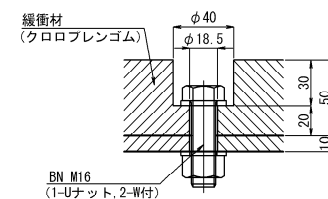
サンドル材 1本当たり
① 1-H150x150x7/10x750
② 12-PL130x9x71.5

サンドル組立図 S=1:20

P9橋脚（起点側）（橋軸方向）



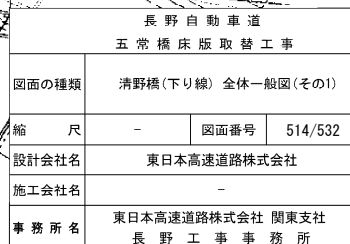
“a”部詳細図 S=1:5



注 記

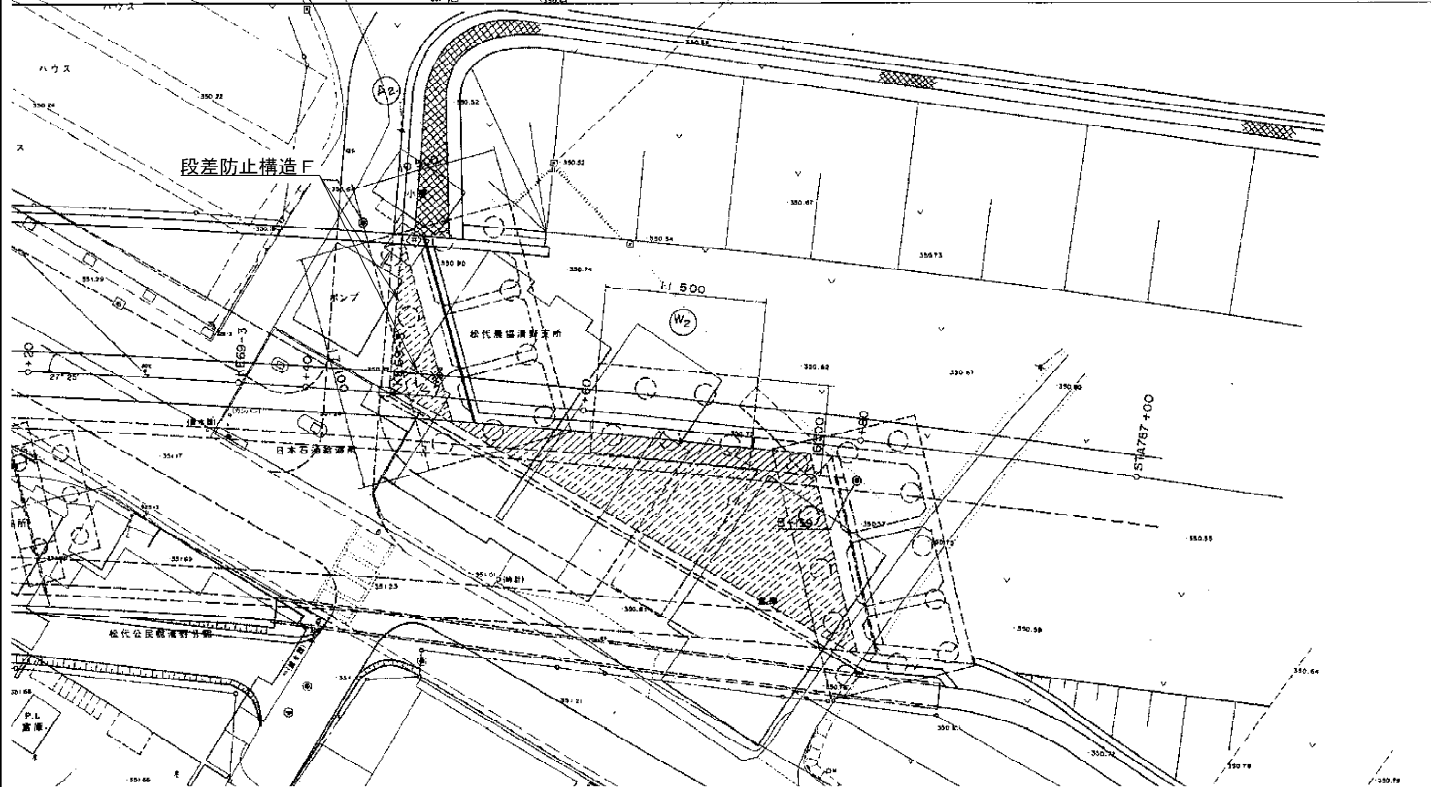
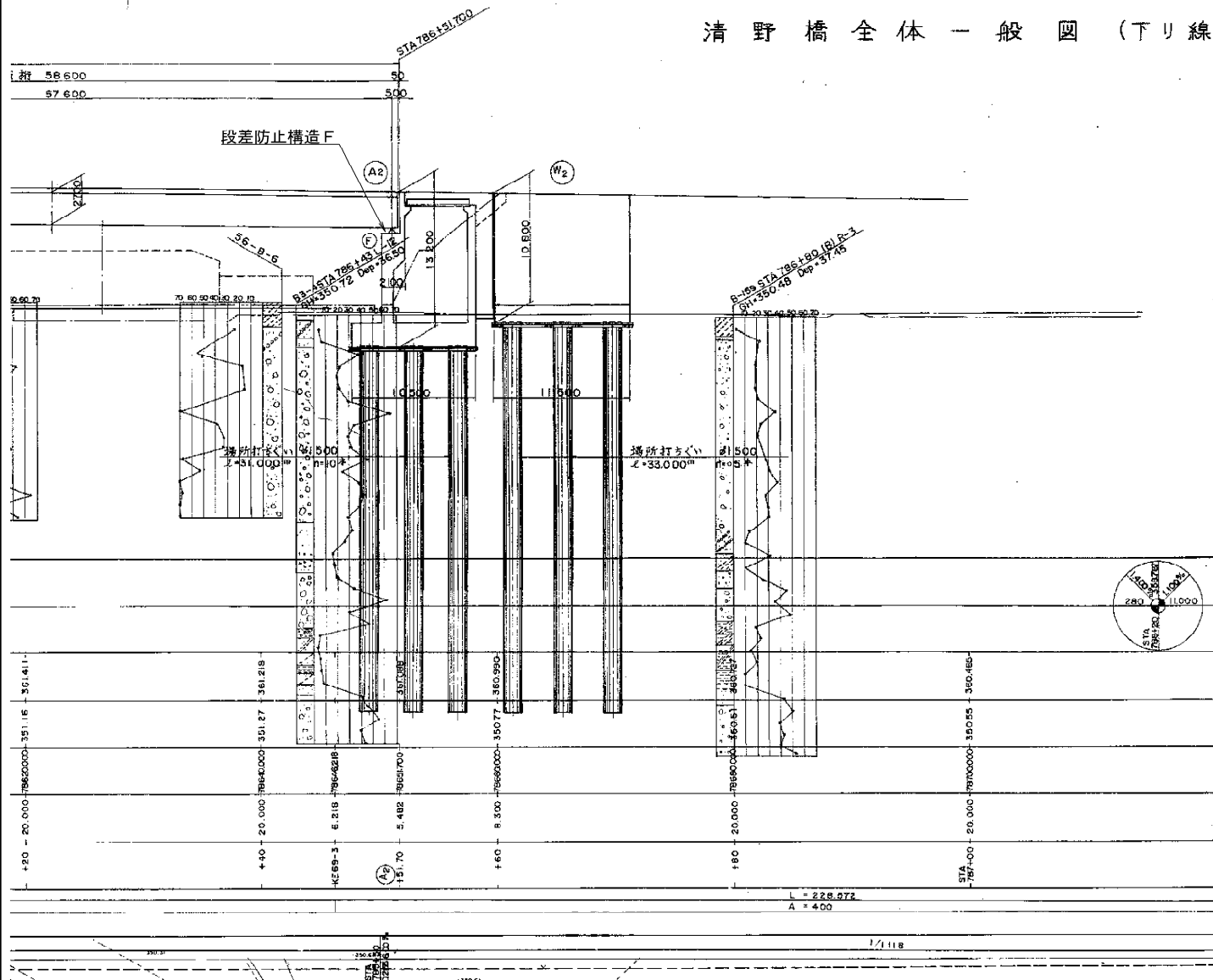
1. 既設構造物の寸法は現地で再計測の上施工を行うこと。
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
3. 部材は全て着亜鉛メッキを施すものとする。
(亜鉛の付着量は、JIS H 8641 HZDT77とする。ただし、ボルト・ナットの付着量は、JIS H 8641 HZDT49とする。)

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	千曲川橋(下り線) 段差防止構造E配置図		
縮 尺	図示	図面番号	513/532
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



清野橋(下り線) 全体一般図(その2)

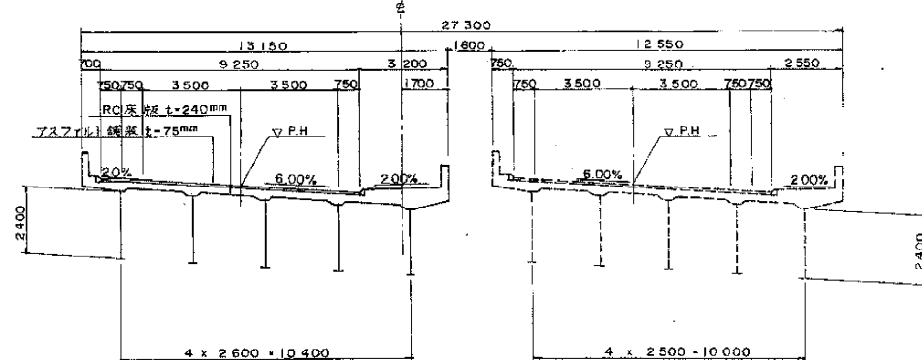
清野橋全体一般図(下り線)



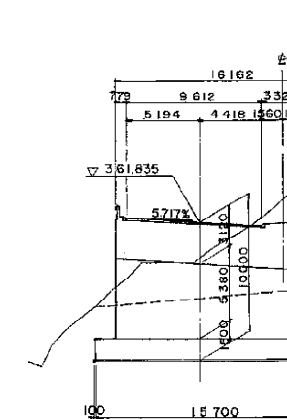
標準横断図 縮尺 1:100

鋼単純非合成鉄桁 (A1)~(P1)

下り線 上り線

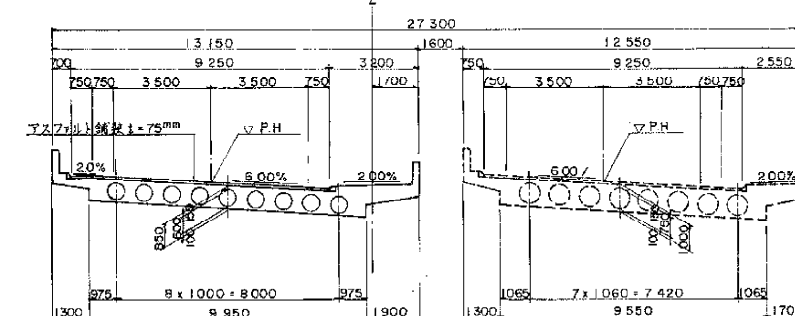


(A1) 橋台

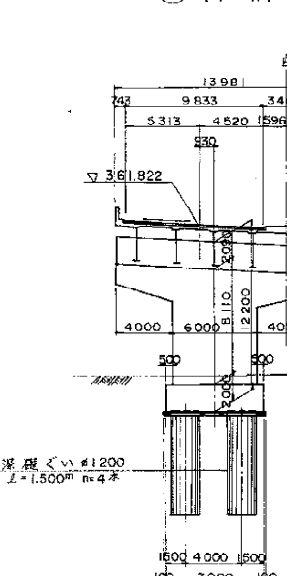


3径間連続RC中空床版 (P1)~(P4)

下り線 上り線

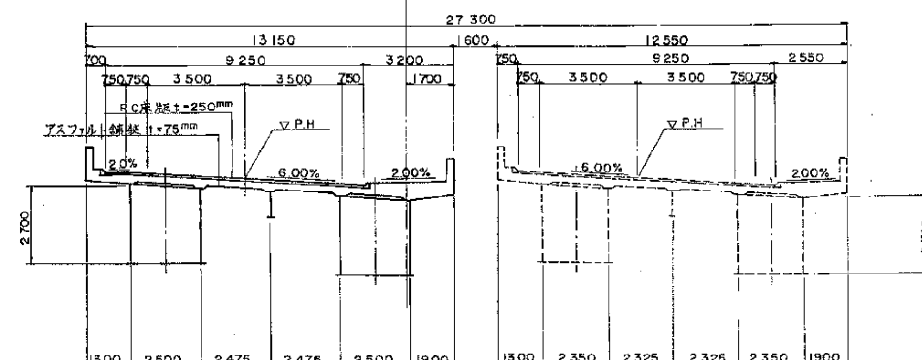


(P1) 橋脚



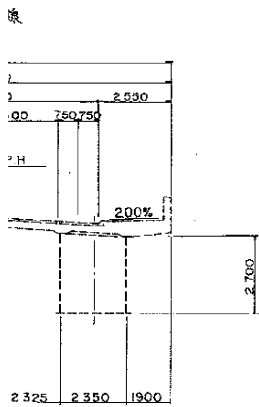
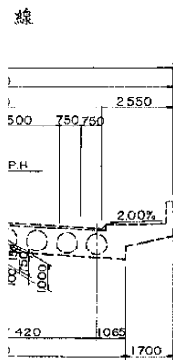
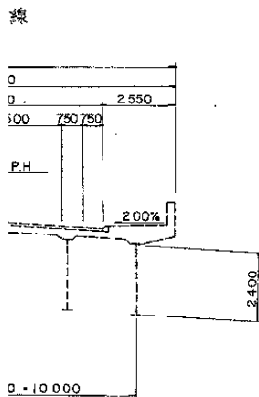
鋼単純非合成鉄桁 (P4)~(P2)

下り線 上り線

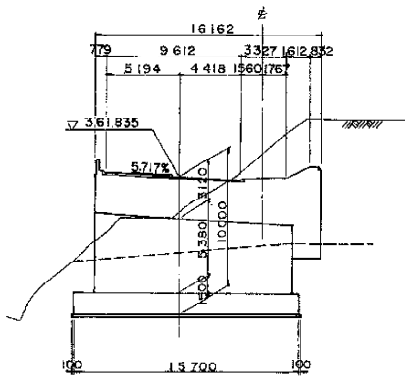


長野自動車道 五常橋床版取替工事	
図面の種類	清野橋(下り線) 全体一般図(その2)
縮尺	- 図面番号 515/532
設計会社名	東日本高速道路株式会社
施工会社名	-
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所

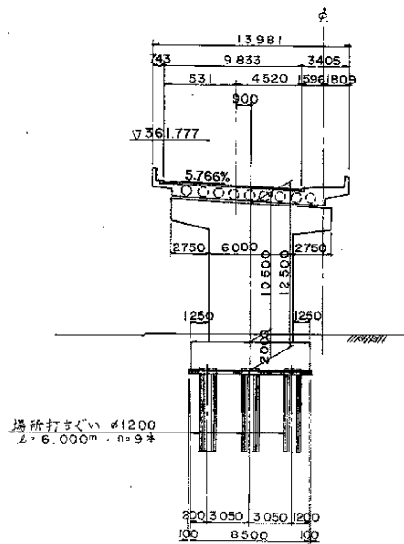
横断図 縮尺 1:200



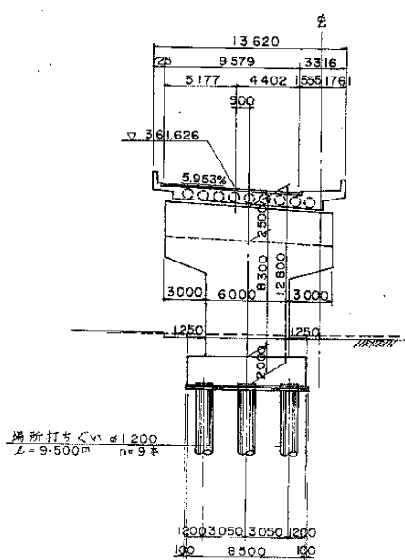
①橋台



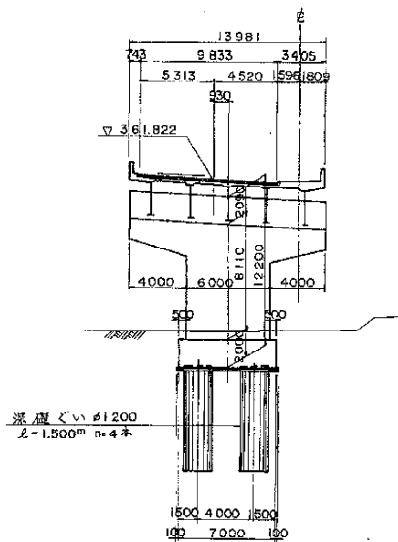
②橋脚



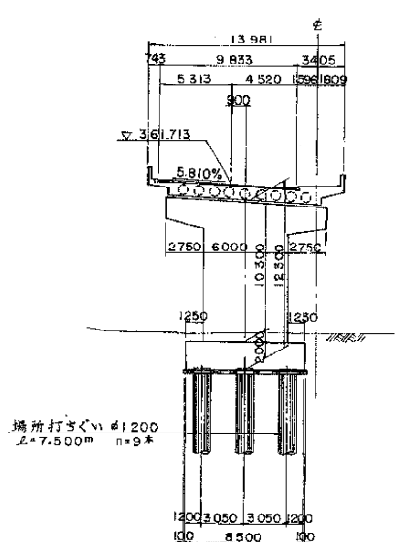
④橋脚



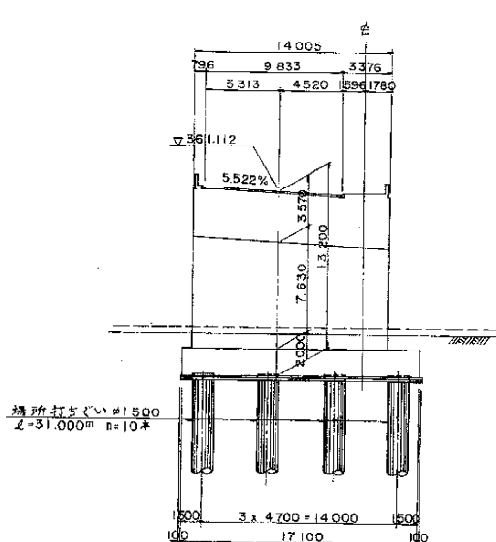
①橋脚



③橋脚



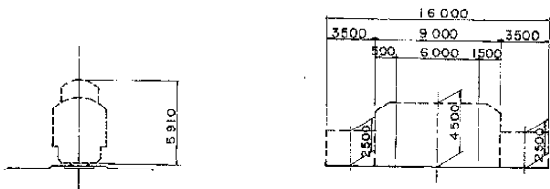
②橋台



交差条件 縮尺 1:200

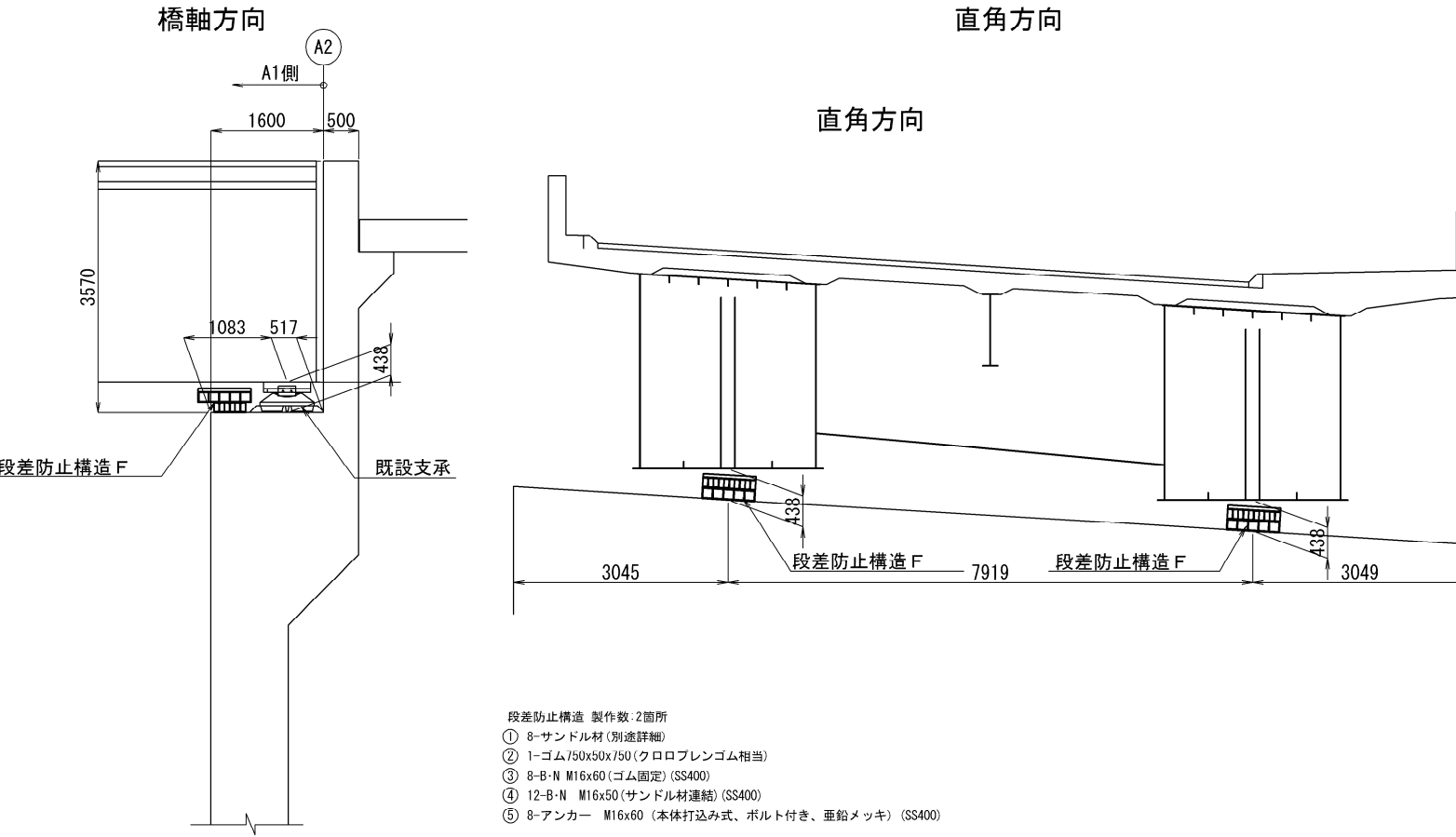
長野電鉄河東線

主要地方道中野更埴線



長野自動車道	
五常橋床版取替工事	
図面の種類	清野橋(下り線) 全体一般図(その3)
縮尺	-
図面番号	516/532
設計会社名	東日本高速道路株式会社
施工会社名	-
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所

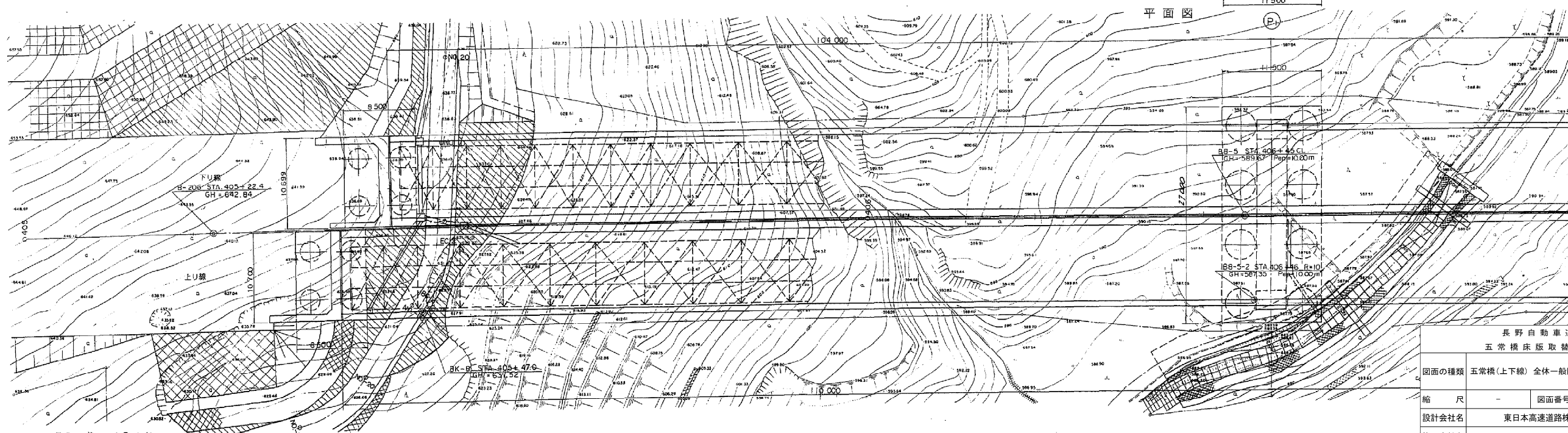
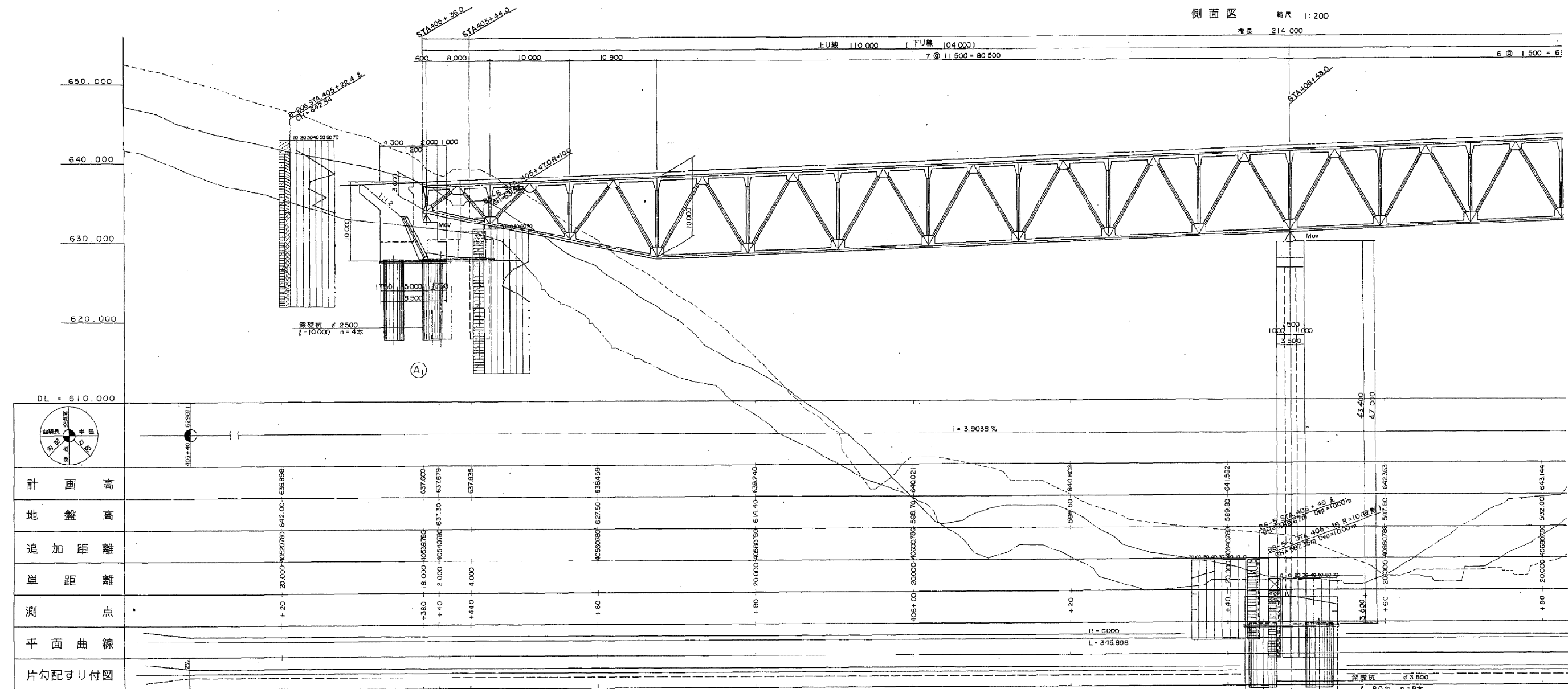
長 野 自 動 車 道 五 常 橋 仮 設 替 工 事			
図面の種類	清野橋(下り線) 段差防止構造 F 配置図		
縮 尺	図示	図面番号	517/532
設計会社名	東日本高速道路株式会社		
施工会社名	関東支社		
事務所名	長野工事事務所		



参考図

五常橋(上下線) 全体一般図(その1)(参考図)

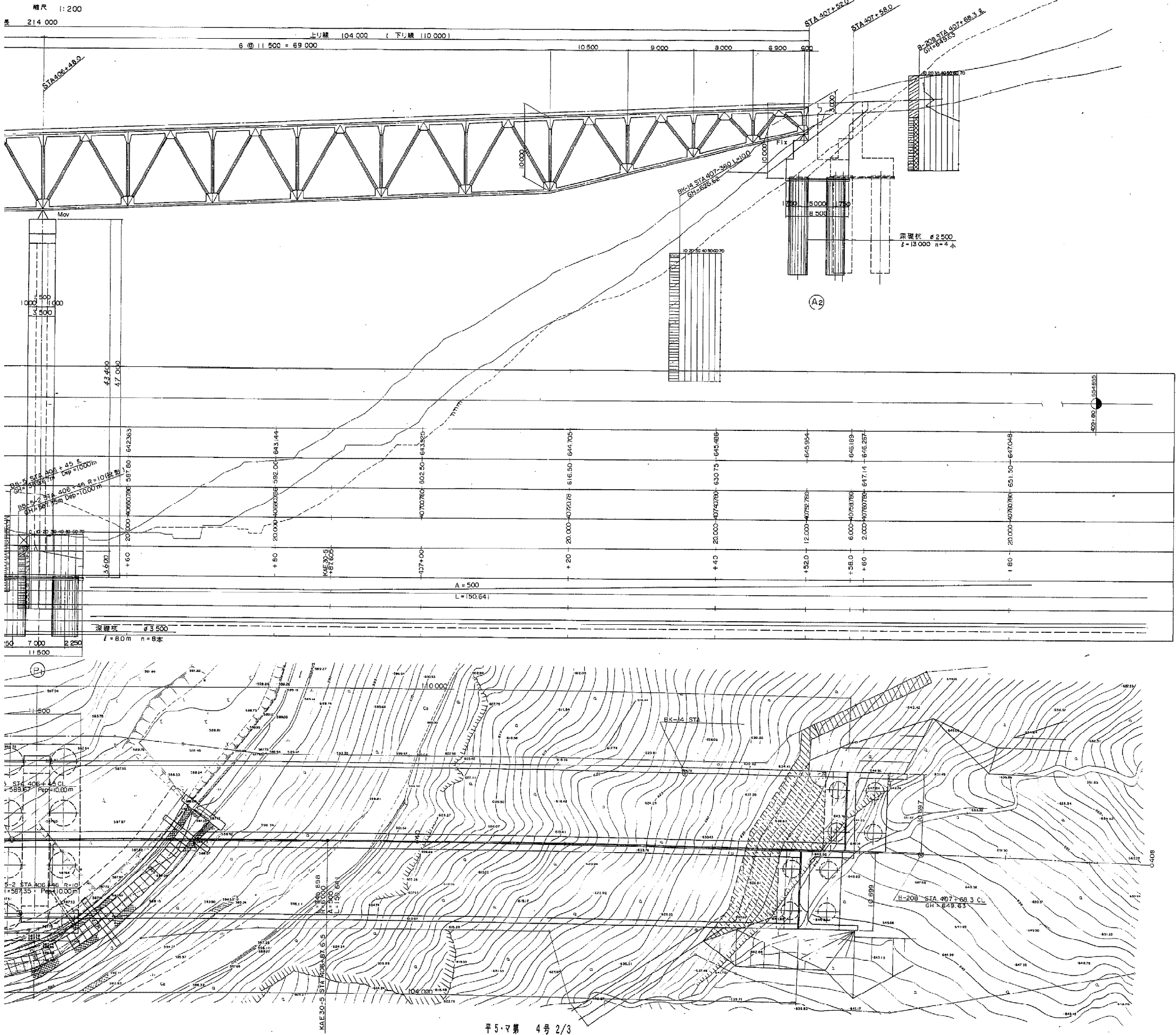
518/532



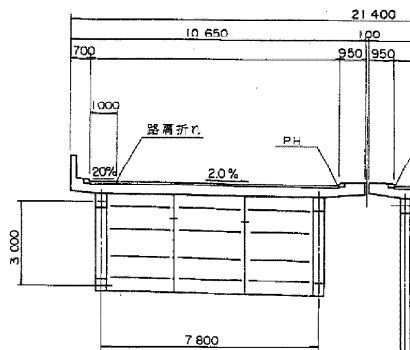
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	五常橋(上下線) 全体一般図(その1)(参考図)	図面番号	518/532
縮尺	-	設計会社名	東日本高速道路株式会社
施工会社名	-	事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所

五常橋(上下線) 全体一般図(その2) (参考図)

519/532

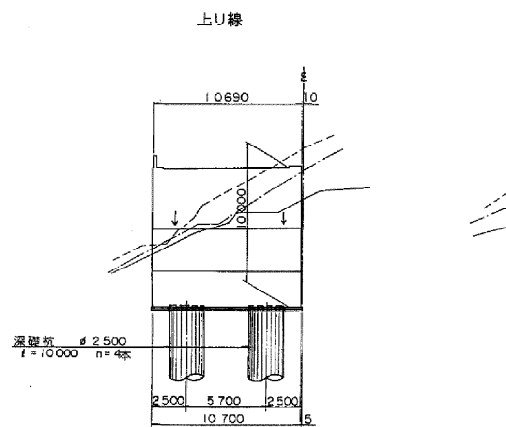


標準断面

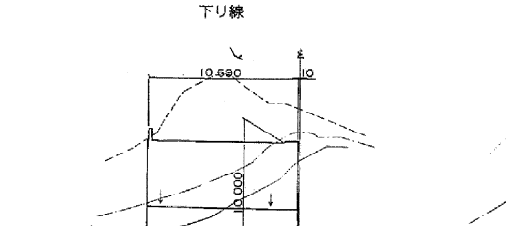


断面図

(A1) 橋台

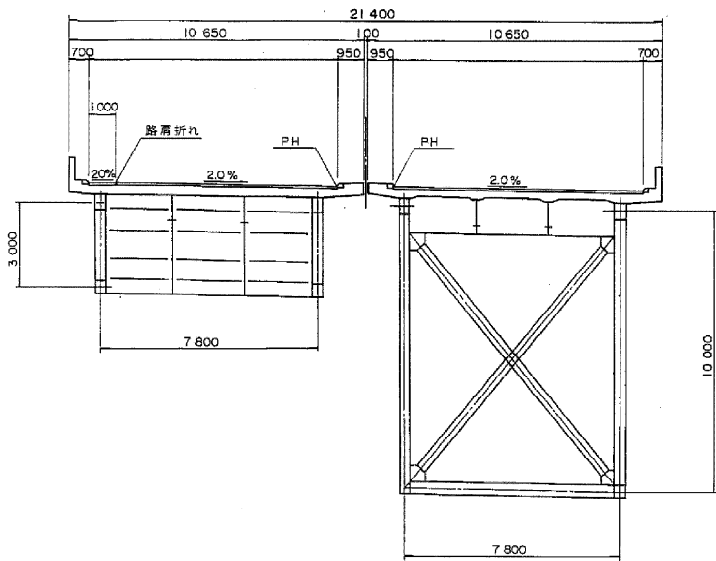


(A2) 橋台

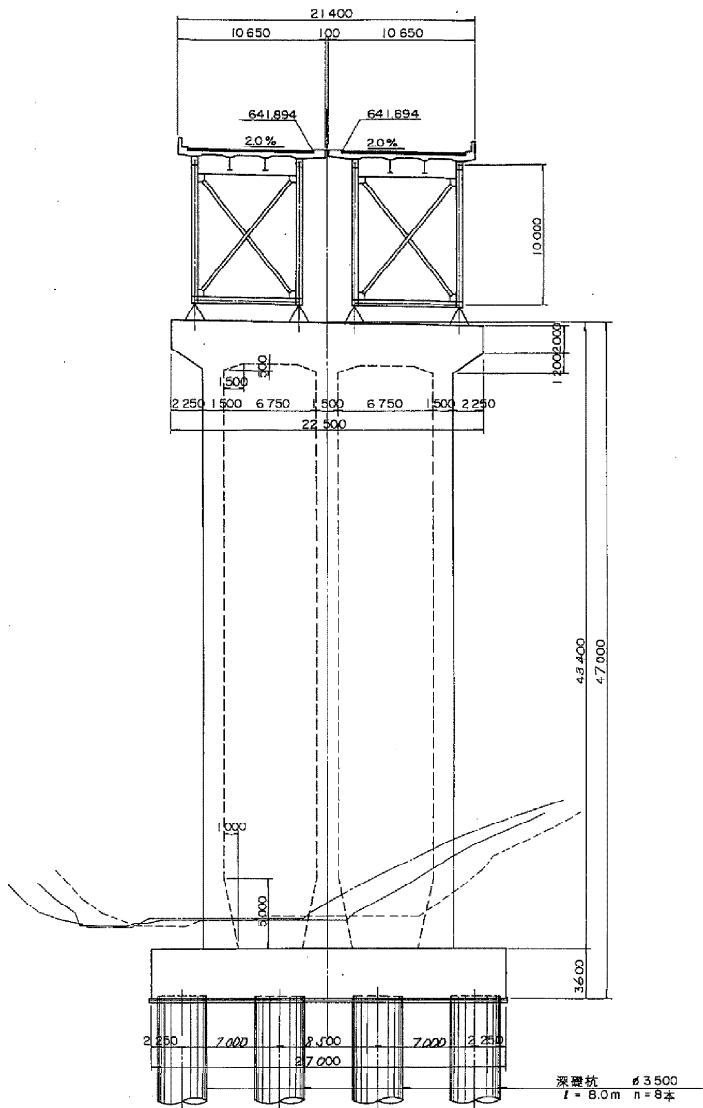


長野自動車道 五常橋床版取替工事	
図面の種類	五常橋(上下線) 全体一般図(その2) (参考図)
縮 尺	図面番号 519/532
設計会社名	東日本高速道路株式会社
施工会社名	-
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所

標準断面図 縮尺 1:100



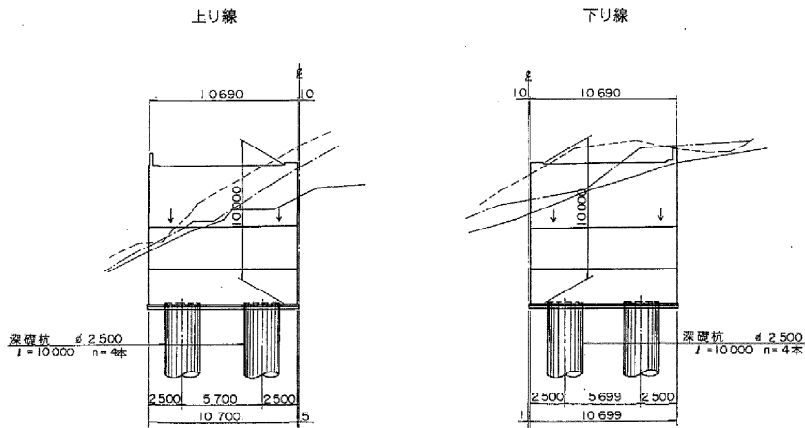
① 橋脚 縮尺 1:200



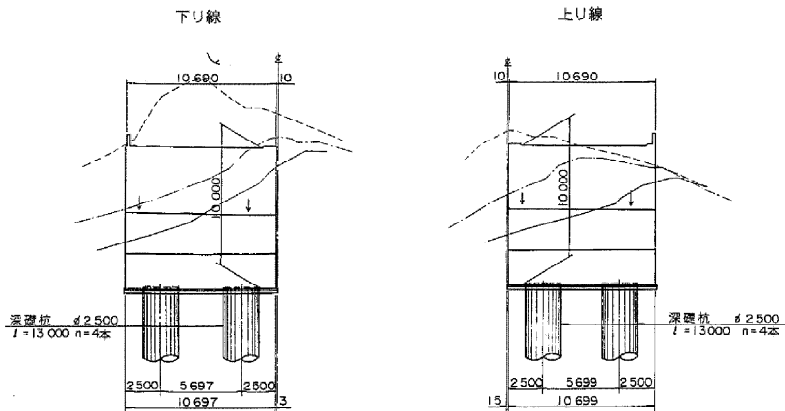
設計条件		
橋梁区別	21400(上り線・下り線)桁長 21200	
道路区分	第1種 3級 A規格	
荷重	TL-20, TT-43	
型式	鋼2路間連続トラス	
支間	{上り線}09.400+103.400 {下り線}05.400+109.400	
有効幅員	2 x 9.000	斜角 90°-00'-00"
横断勾配	片勾配 2%	
縦断勾配	3.9038%	
地震係数	$K_h = 1.0 \times 0.8 \times 1.0 \times 1.25 \times 0.2 = 0.20$	
床版コンクリート	$\sigma_{ck} = 240 \text{ kg/cm}^2$	
床版鉄筋	材質 SD35 $\sigma_{sk} = 1400 \text{ kg/cm}^2$	
適用示方書	平成2年2月 道路橋示方書・同解説	
使用材質	SS41 SM50Y SM53 SMC8	

断面図 縮尺 1:200

① 橋台

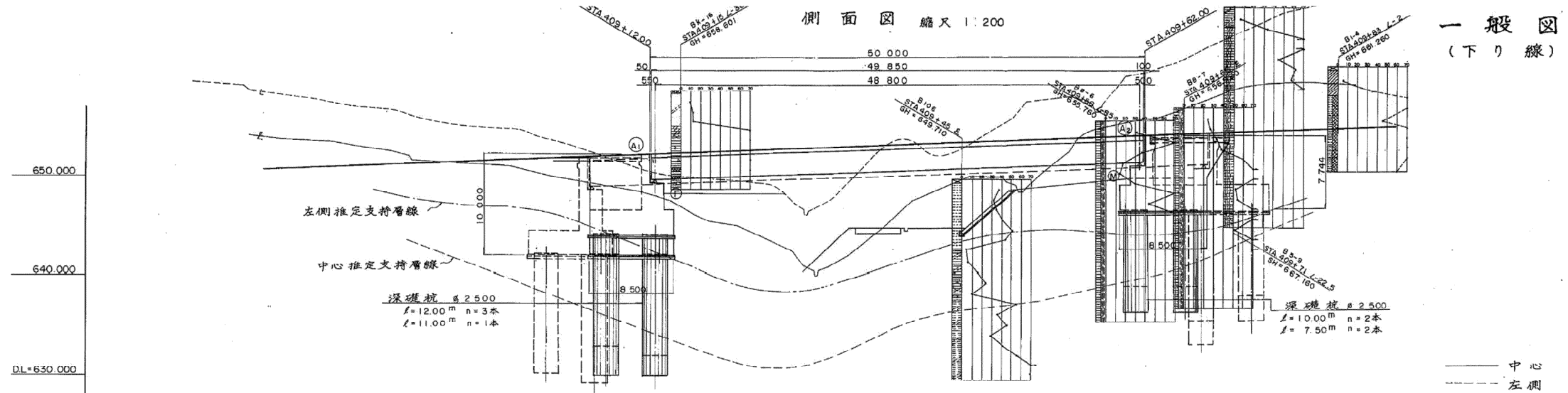


② 橋台

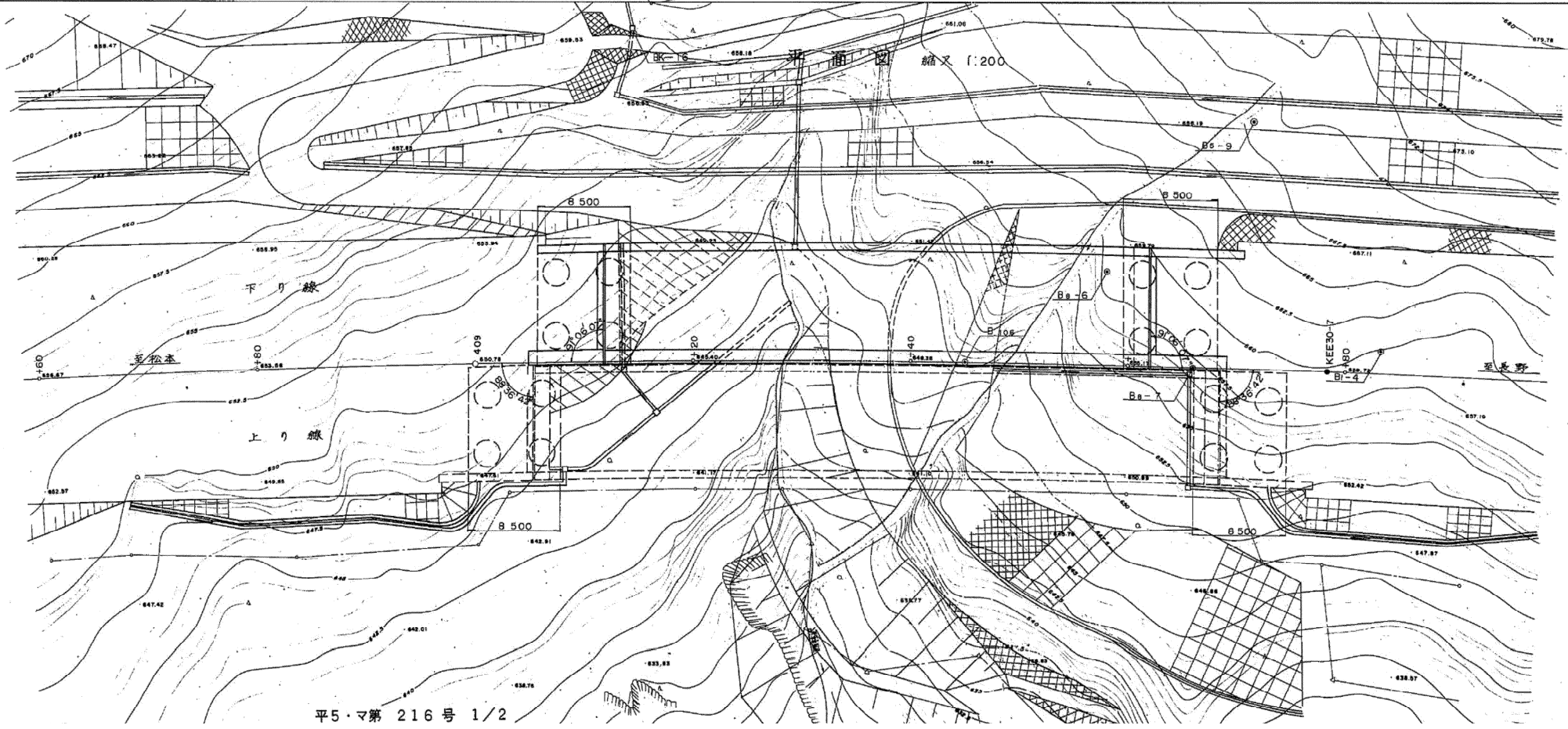


長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	五常橋(上下線) 全体一般図(その3) (参考図)		
縮尺	-	図面番号	520/532
設計会社名	東日本高速道路株式会社		
施工会社名	-		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

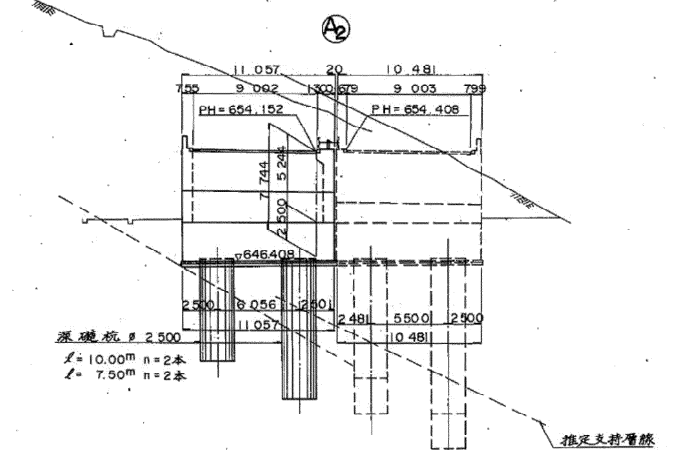
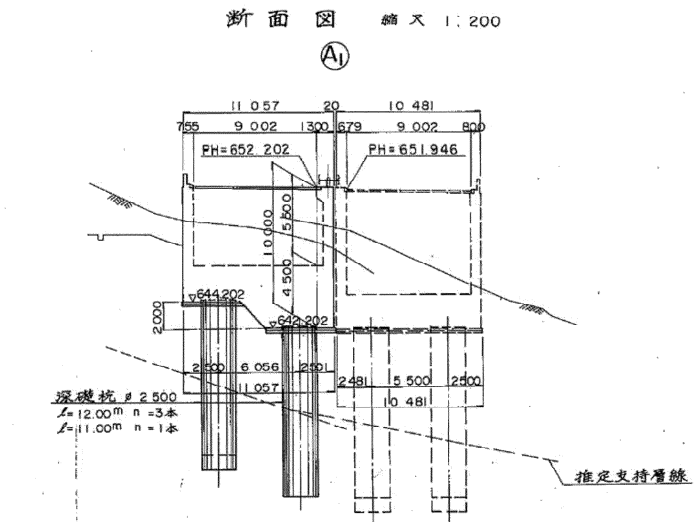
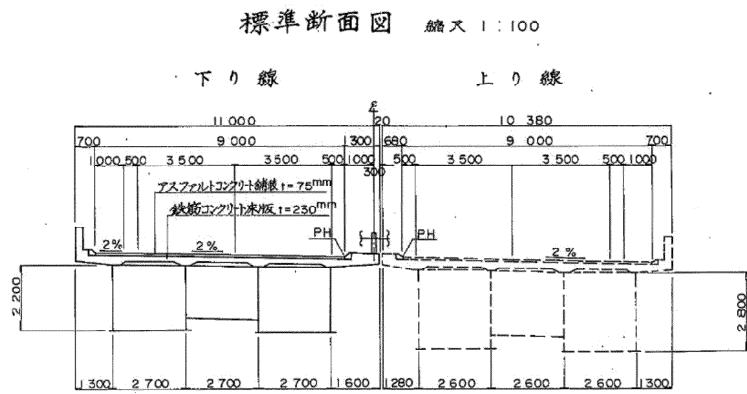
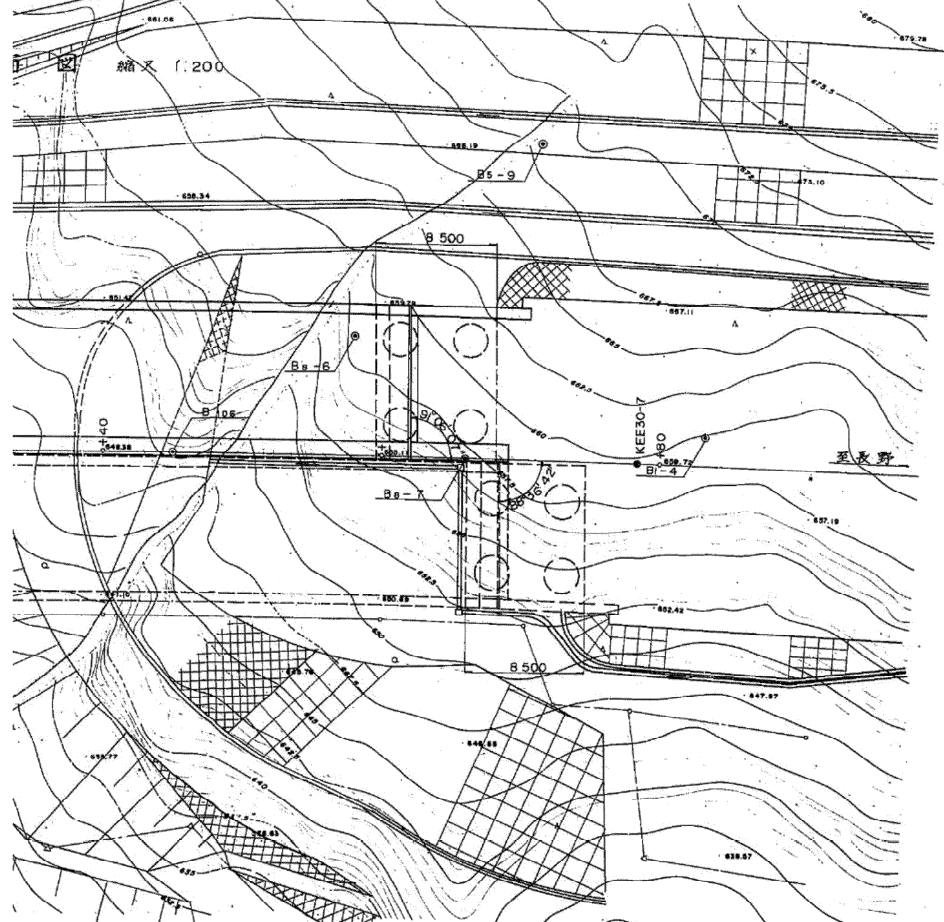
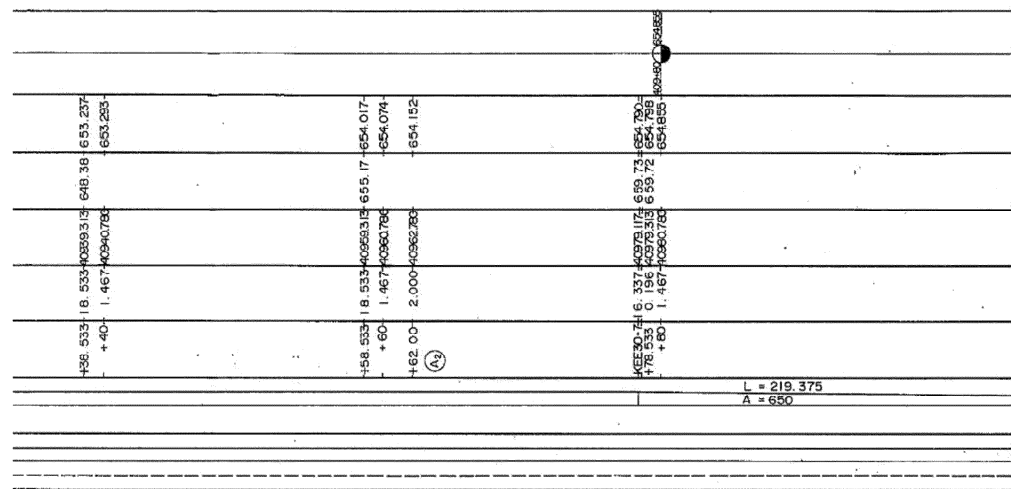
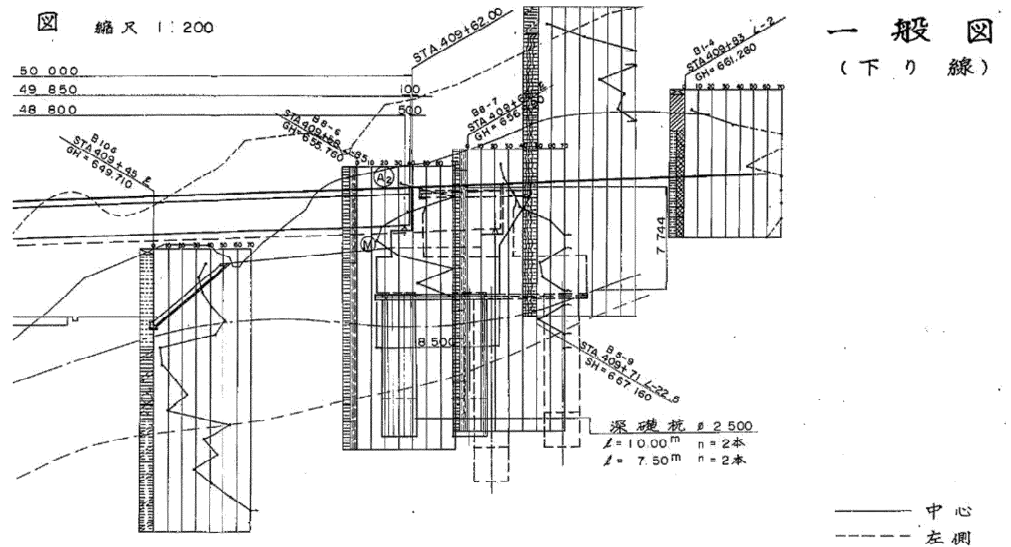
西沢橋(下り線) 全体一般図(その1)(参考図)



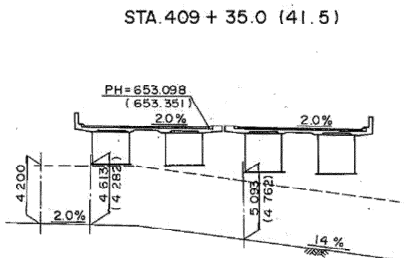
計画高	
地盤高	
追加距離	
単距離	
測点	
平面曲線	
片勾配すり付図	



長野自動車道 五常橋床版取替工事	
図面の種類	西沢橋(下り線) 全体一般図(その1)(参考図)
縮 尺	- 図面番号 521/532
設計会社名	東日本高速道路株式会社
施工会社名	-
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所



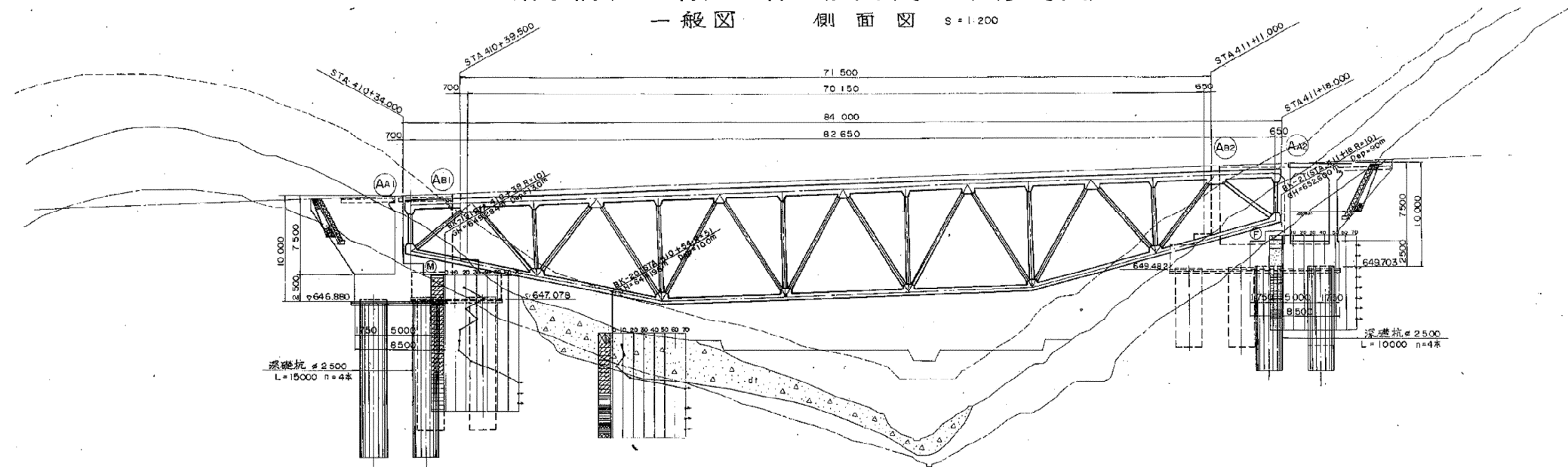
設計条件	
橋長	50m 000
桁長	49m 950
道路規格	1種 3級 A
荷重	TL-20, TT-43
型式	鋼単線箱桁
支間	48m 800
有効幅員	9m 000
横断勾配	2.000%
縦断勾配	3.9038%
地震係数	$K_h = 1.0 \times 1.0 \times 1.25 \times 0.20 = 0.25$, $K_v = 0$
床版コンクリート	左端強度 $\sigma_{ck} = 240 \text{ kg/cm}^2$
床版鉄筋	材質 SD345, 許容引張応力 $\sigma_{sa} = 1400 \text{ kg/cm}^2$
適用示方書	H 2 年 2 月 道路橋示方書, 同解説
使用材質	SM490Y, SS400



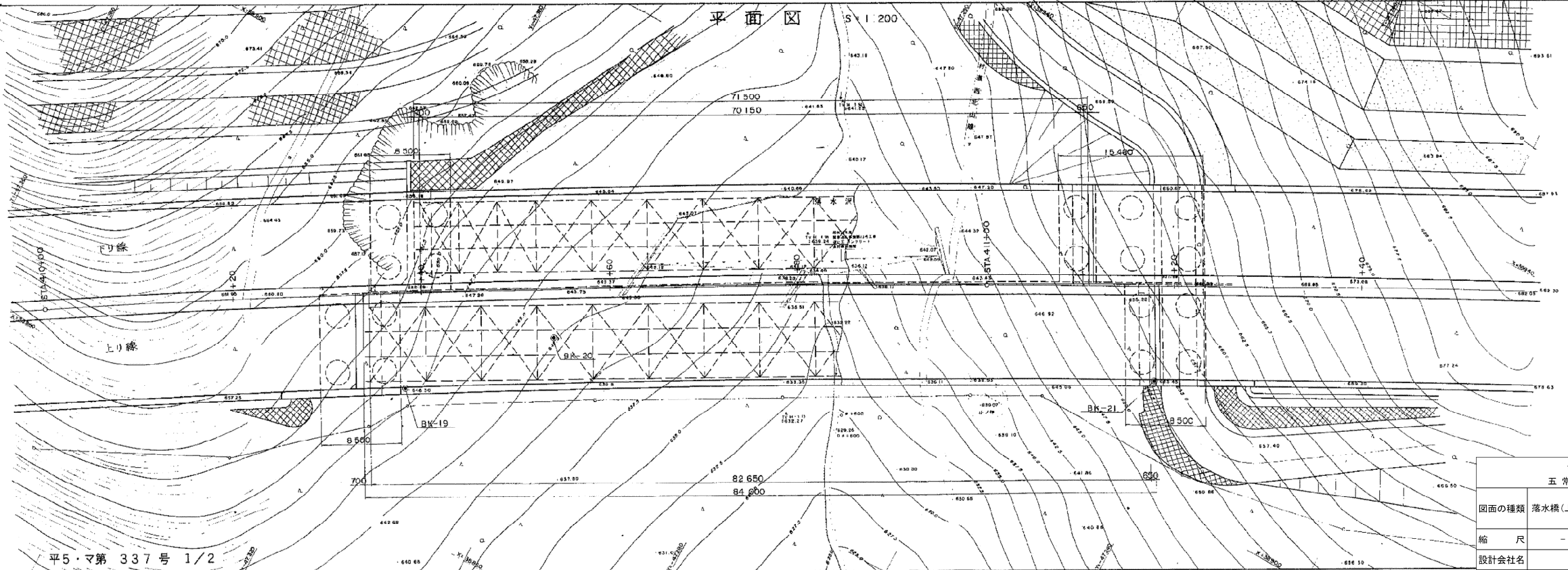
長野自動車道 五常橋床版取替工事	
図面の種類	西沢橋(下り線) 全体一般図(その2) (参考図)
縮尺	-
図面番号	522/532
設計会社名	東日本高速道路株式会社
施工会社名	-
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所

落水橋(上下線) 全体一般図(その1)(参考図)

一般図 側面図 S = 1:200

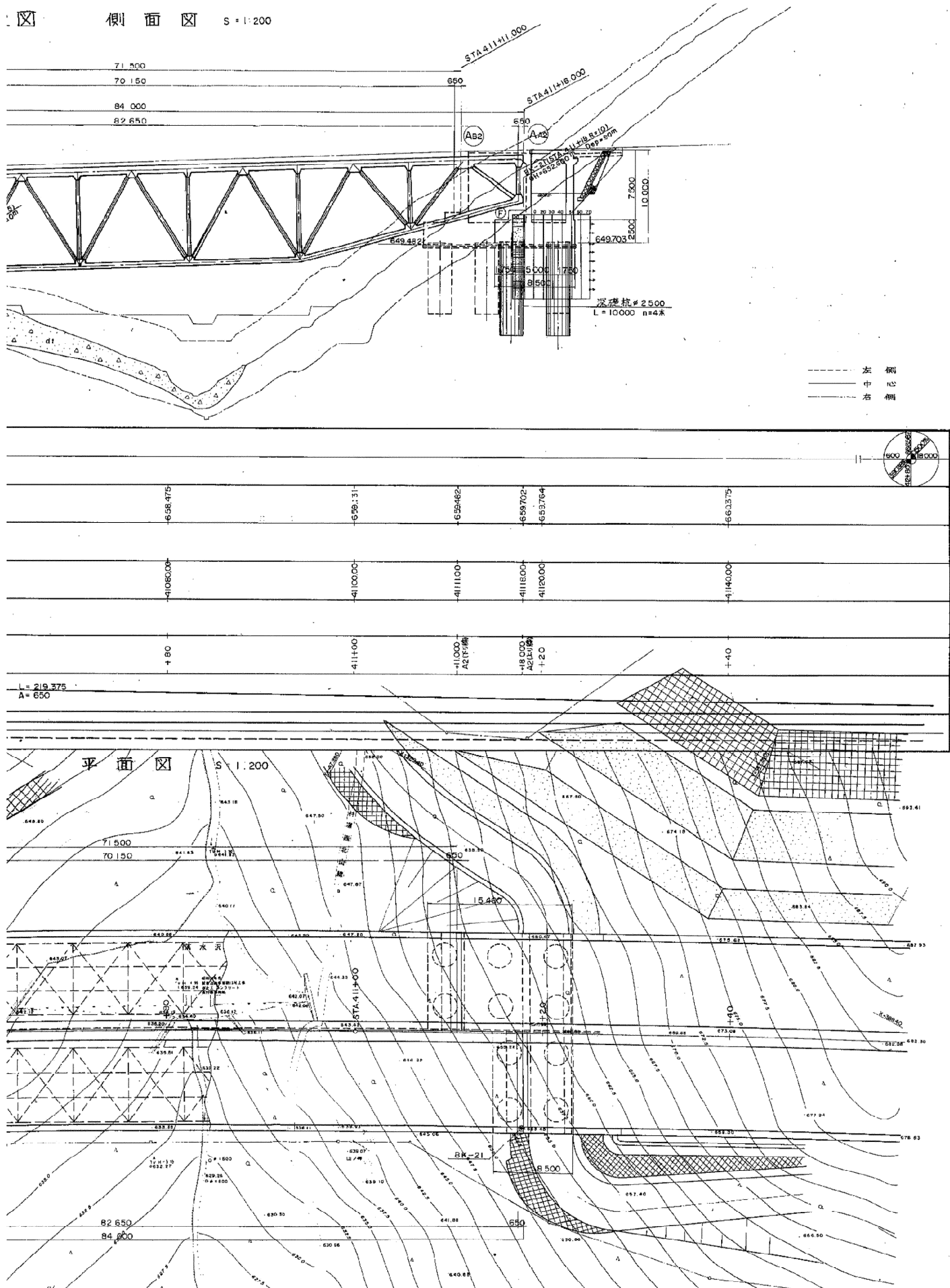


DL = 630.000		DL = 630.000	
計 画 高			
地 盤 高			
追 加 距 離			
単 距 離			
測 点			
平面曲線			
片勾配すり付図			

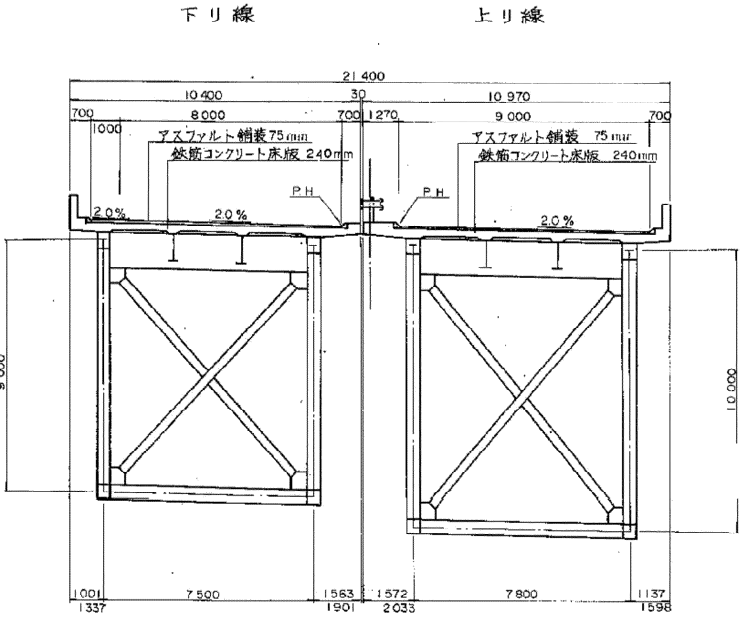


落水橋(上下線) 全体一般図(その2)(参考図)

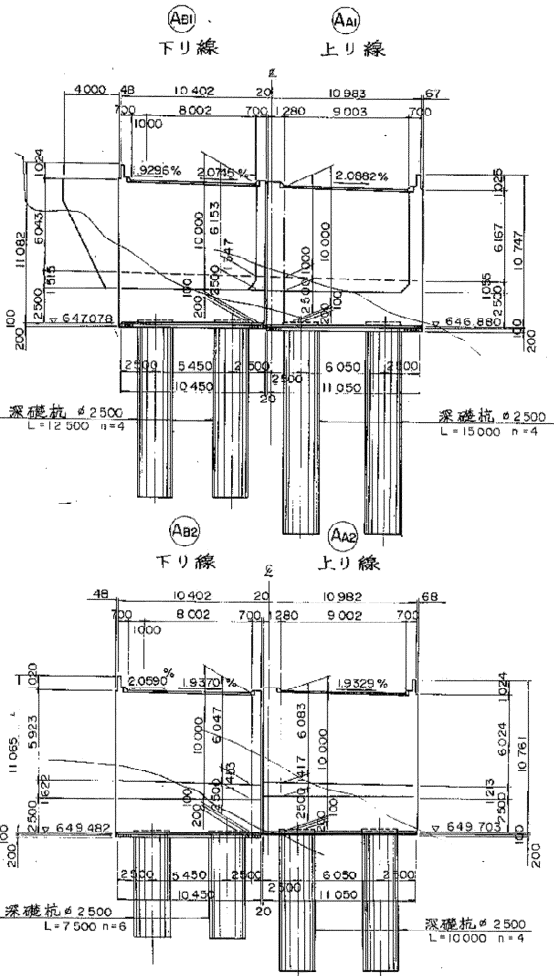
側面図 S=1:200



標準断面図 S=1:100



断面図 S=1:200

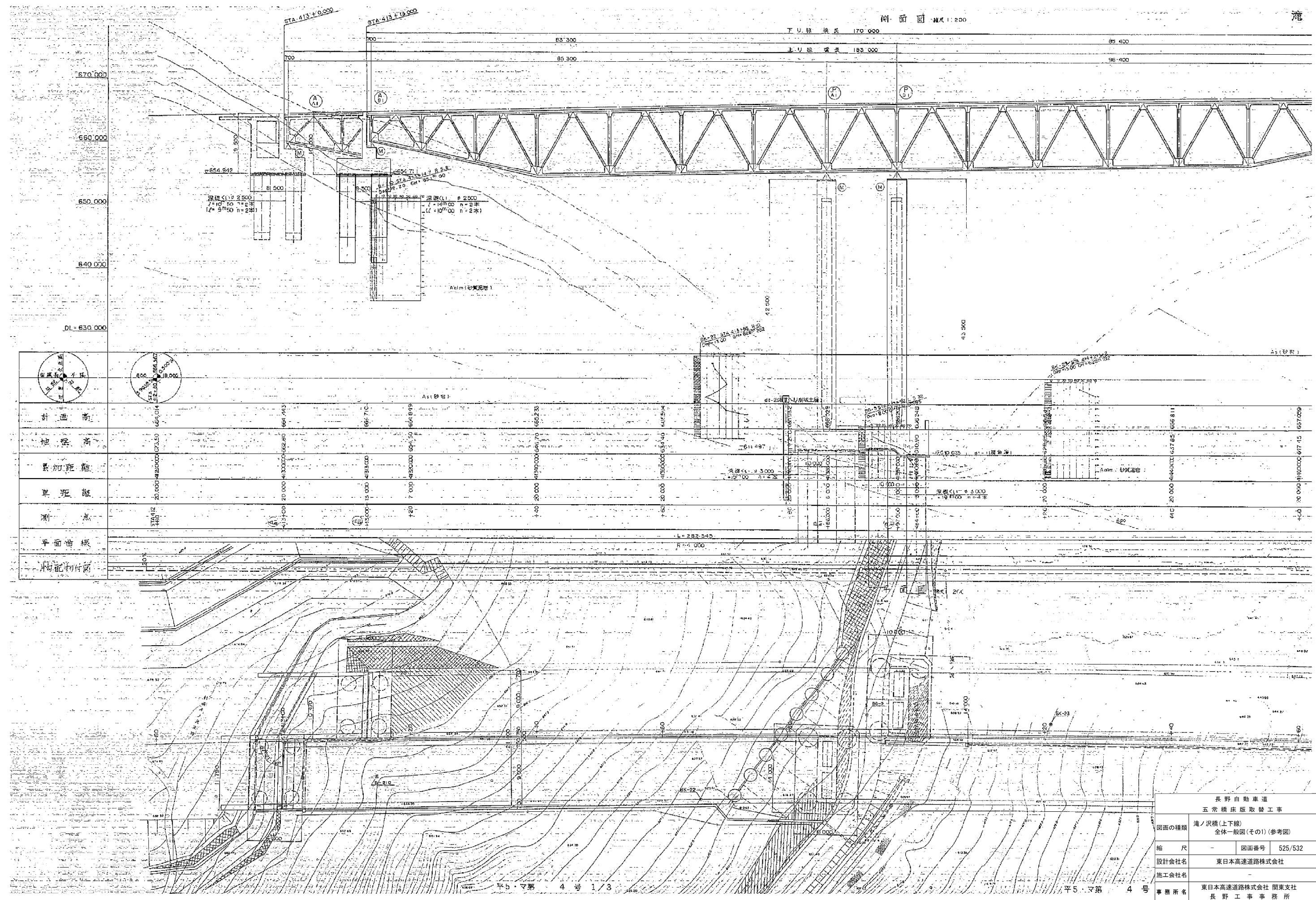


設計条件	
橋長	157.50m (71.50m + 86.00m)
道路区分	第1種3級A 設計速度 V=80km/h
荷重	TL-20, T-43 添物 W=—kg/m
型式	鋼単軌トラス
支間	(上り線) 82.650m (下り線) 70.150m
有効幅員	2 x 9.000m 斜角 90°00'
横断勾配	片勾配 2.0%
縦断勾配	図示
地震係数	水平震度 Kh=0.2x10x10x125=0.25鉛直震度 Kv=±0
コンクリート	上部工 Ck=240kg/cm² 下部工 Ck=240kg/cm²
鉄筋	上部工 SD35 下部工 SD35
適用法令	H2年2月 道路標示方書 同解説
使用材質	SS400, SM490Y

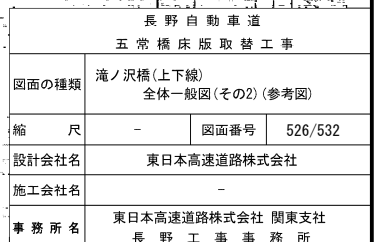
長野自動車道 五常橋床版取替工事	
図面の種類	落水橋(上下線) 全体一般図(その2)(参考図)
縮尺	— 図面番号 524/532
設計会社名	東日本高速道路株式会社
施工会社名	—
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所

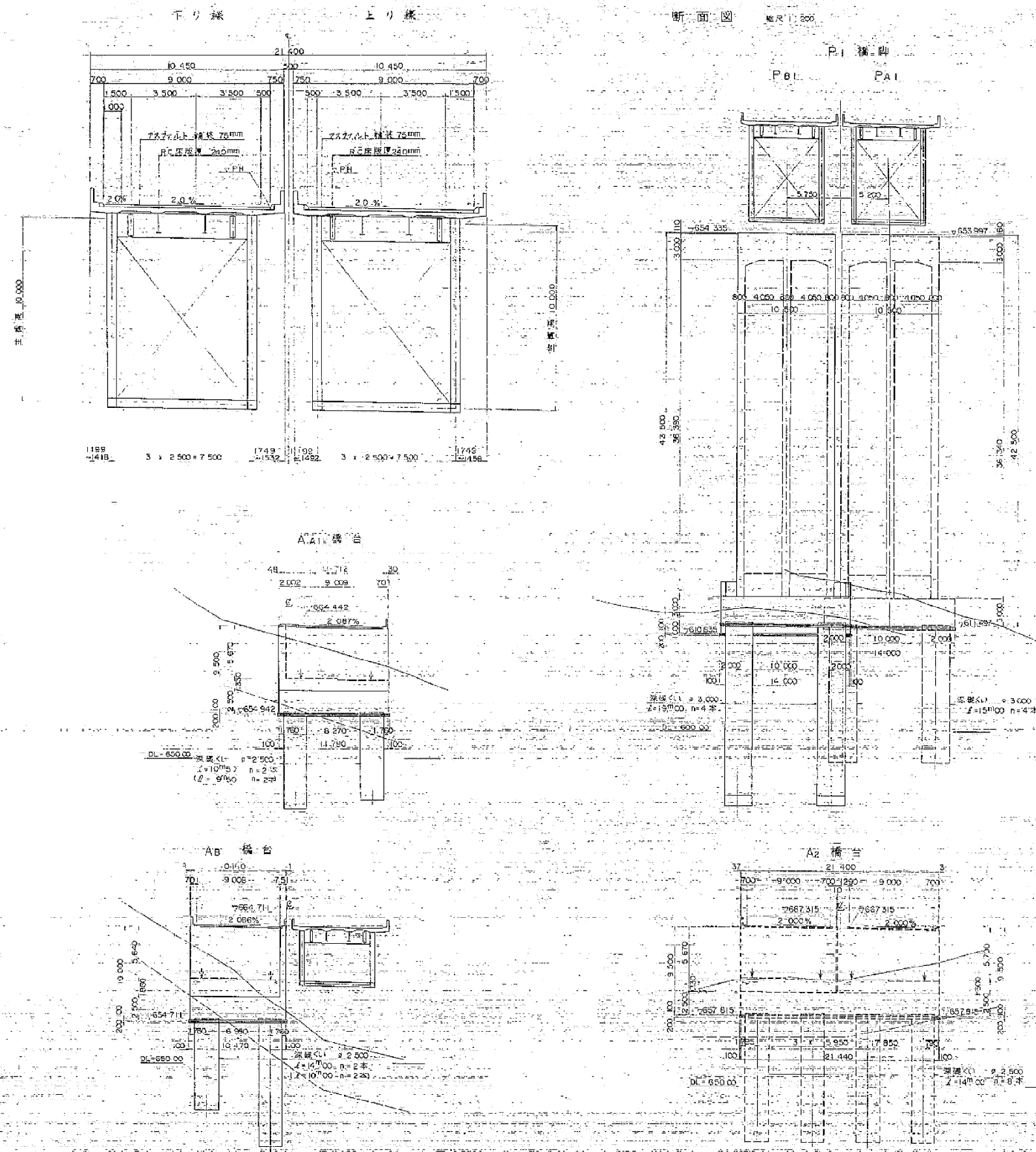
滝ノ沢橋(上下線) 全体一般図(その1)(参考図)

525/532



長野自動車道 五常橋床版取替工事	
図面の種類	滝ノ沢橋(上下線) 全体一般図(その1)(参考図)
縮尺	図面番号 525/532
設計会社名	東日本高速道路株式会社
施工会社名	-
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所

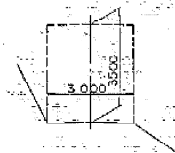




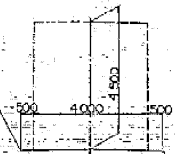
設 計 条 件			
	(F100)	(F100)	(F100) (T100)
橋 長	83.000	170.000	82.750 169.750
道 路 区 分	第Ⅰ種A流橋		
荷 重	TL-20 (TT-43)		
型 式	第2種単線並行トラス		
支 点	(F100) (T100) 85.300+306.400 85.300+85.400		
有 効 幅 員	8×9.000 (斜角) 30°00' (A2)		
橋 脚 勾 配	片側縦2%		
終 端 勾 配	(F100) (T100) 2.08%~1.05% 2.01%~1.05%		
土 質 係 数	K-0=0.20~		
仮設コンクリート	0.6k=240 kg/cm ²		
橋 梁 鉄 筋	材質 SD35 $\sigma_{sa}=1400 \frac{kg}{cm^2}$		
用 料 方 量	設計標準値(表(H.2.5))並橋標示式と同解説(表(H.2.2))		
使 用 材 質	SS41 SM50-Y SB63		

交 差 条 件

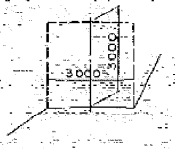
村道施ノ沢支線



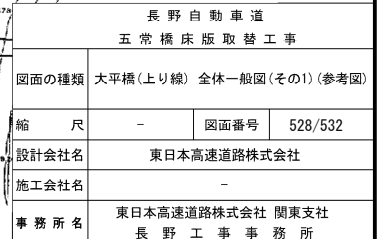
村道滝ノ沢線



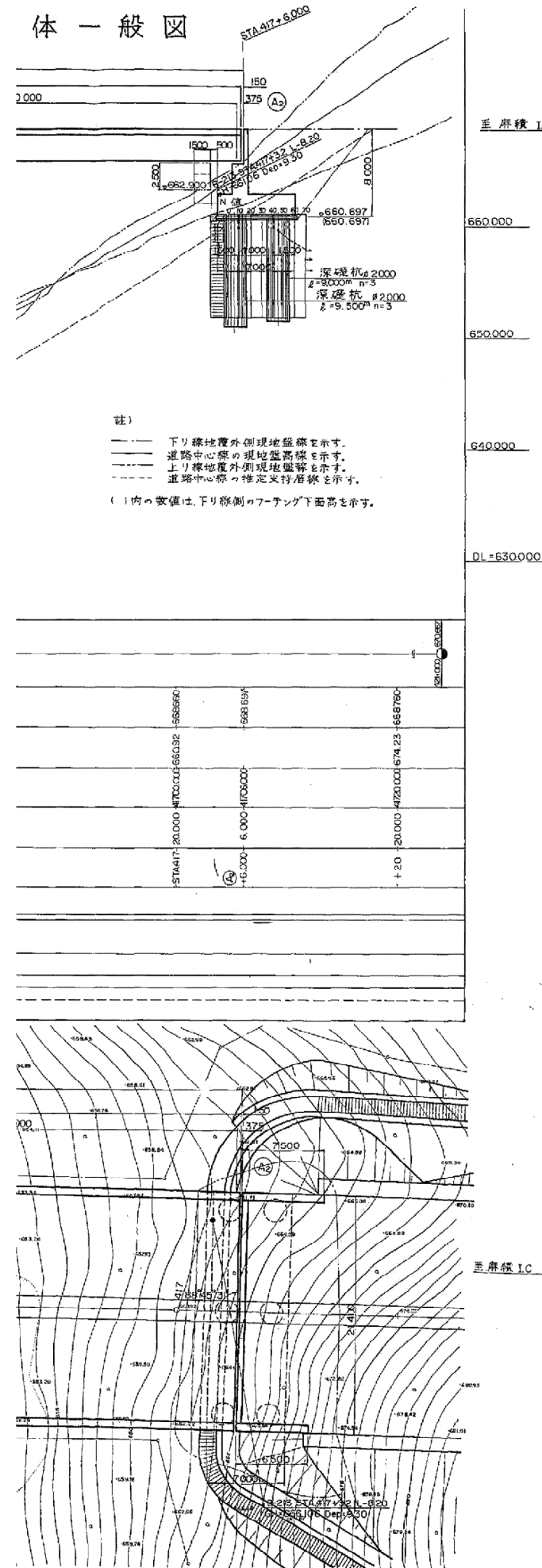
村道中北山線



長野自動車道 五雲橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上下線) 全体一般図(その3)(参考図)		
縮 尺	-	図面番号	527/532
設計会社名	東日本高速道路株式会社		
施工会社名	-		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

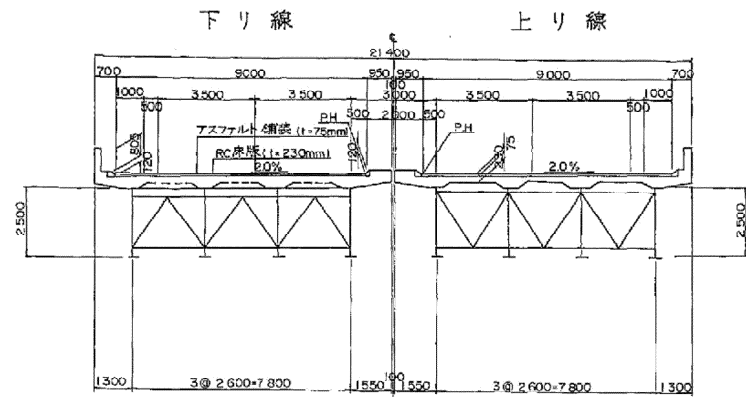


体一般図

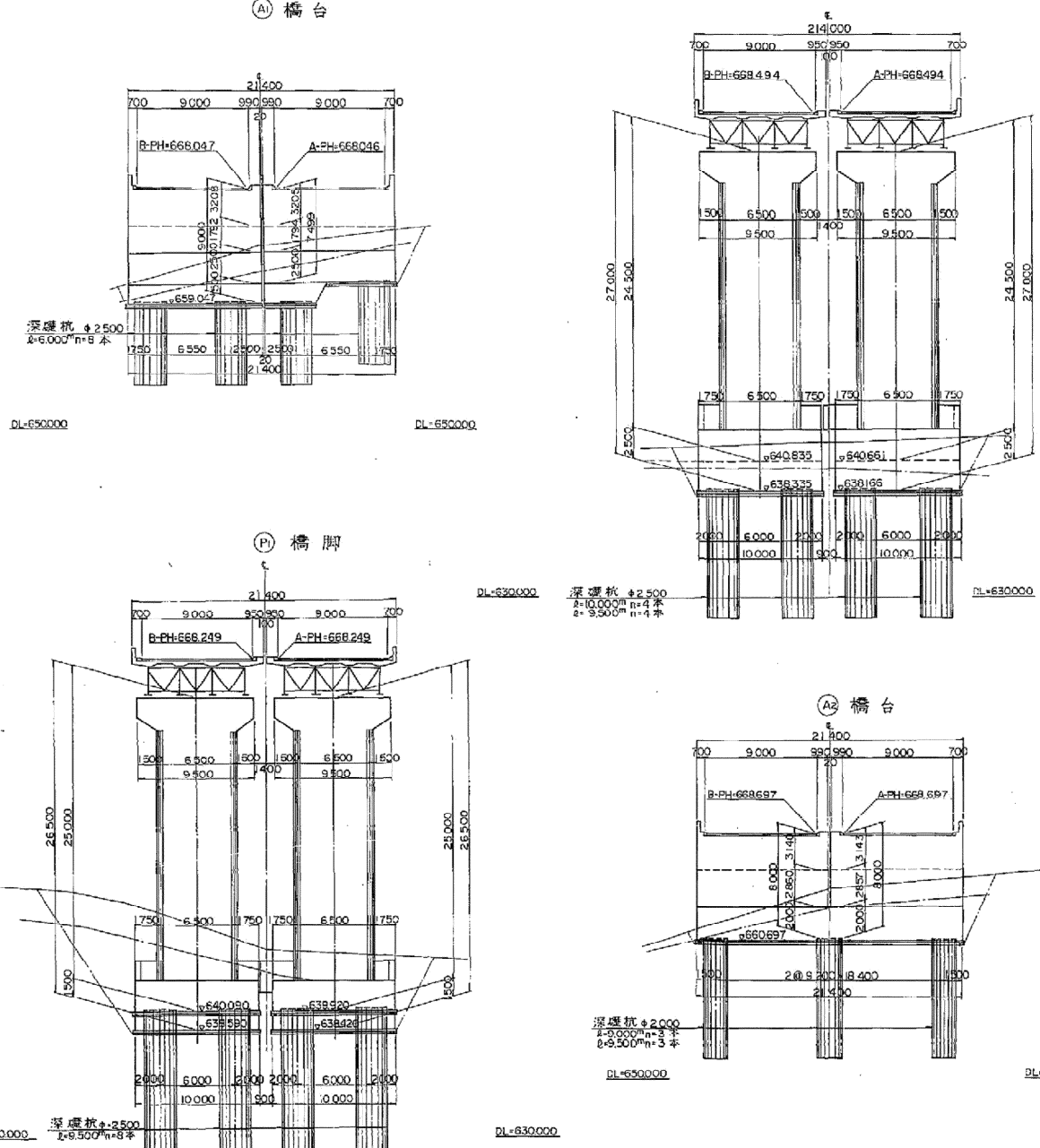


注)
--- 下り線地盤外側現地盤線を示す。
--- 道路中心線の現地盤高線を示す。
--- 上り線地盤外側現地盤線を示す。
--- 道路中心線の推定支持層線を示す。
() 内の数値は、下り線側のワーキング下面高を示す。

標準横断面図 縮尺 1:100



横断面図 縮尺 1:200



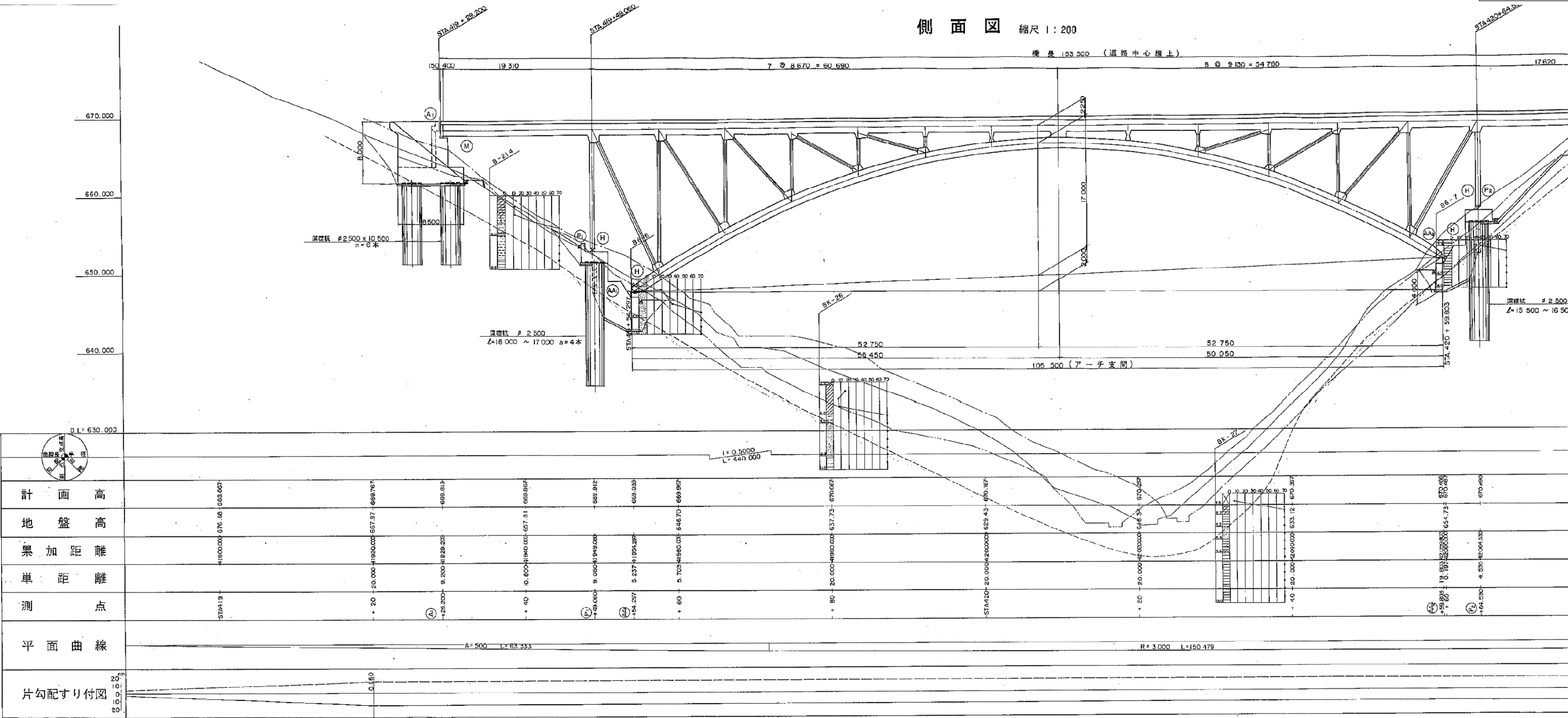
設計条件	
橋長	130.000
道路規格	1-3-A
荷重	TL-20 TT-43
型式	鋼3径間連続板橋
大間	40.000+49.000+40.000
有効幅員	20.9000
横断勾配	2.0%
縦断勾配	0.5%
地震係数	水平震度KH=0.18 鉛直震度Kv=±0
床版コンクリート	圧縮強度Ck=240 kg/cm ²
床版鉄筋	材質SD30B 許容引張応力σsk=1400kg/cm ²
適用示方書	道路橋示方書 阿解説 I.I.I.V
使用材質	SS41, SM50Y, SM53

長野自動車道 五常橋床版取替工事	
図面の種類	大平橋(上り線) 全体一般図(その2)(参考図)
縮尺	- 図面番号 529/532
設計会社名	東日本高速道路株式会社
施工会社名	-
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所

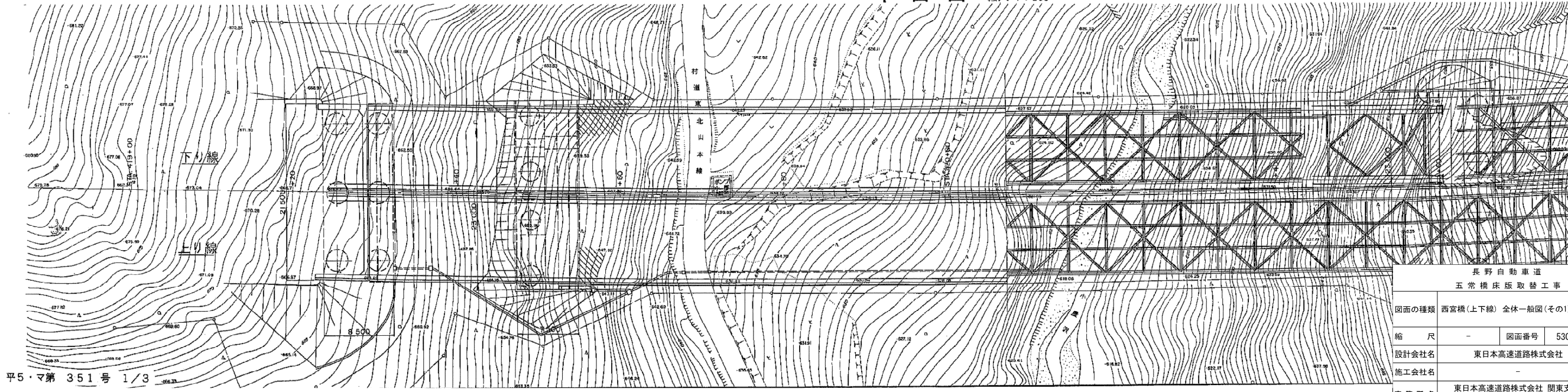
西宮橋(上下線) 全体一般図(その1)(参考図)

530/532

側面図 縮尺 1:200



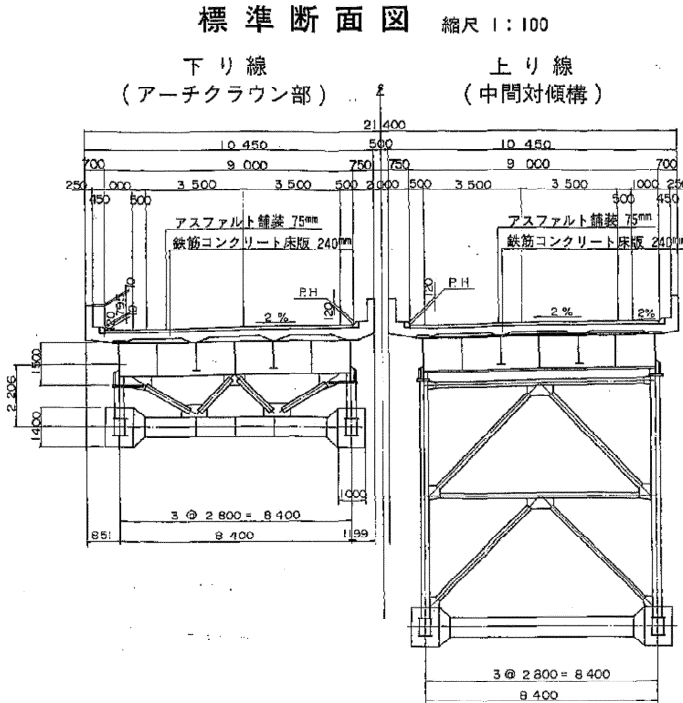
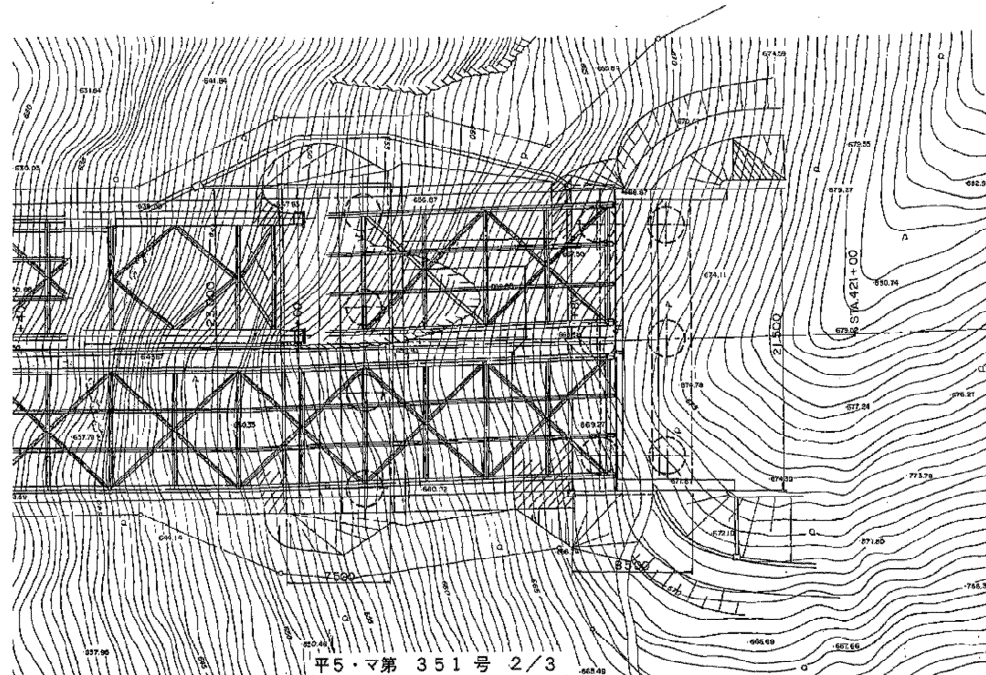
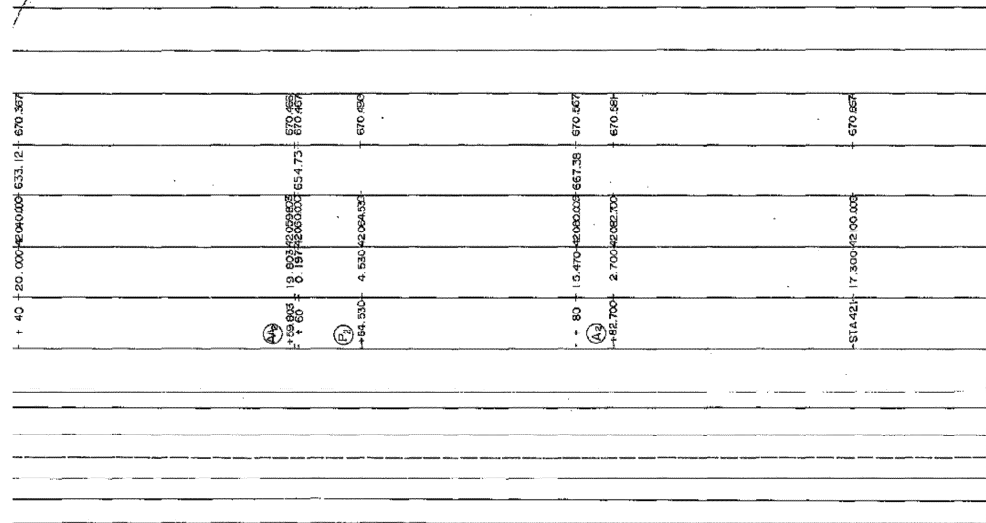
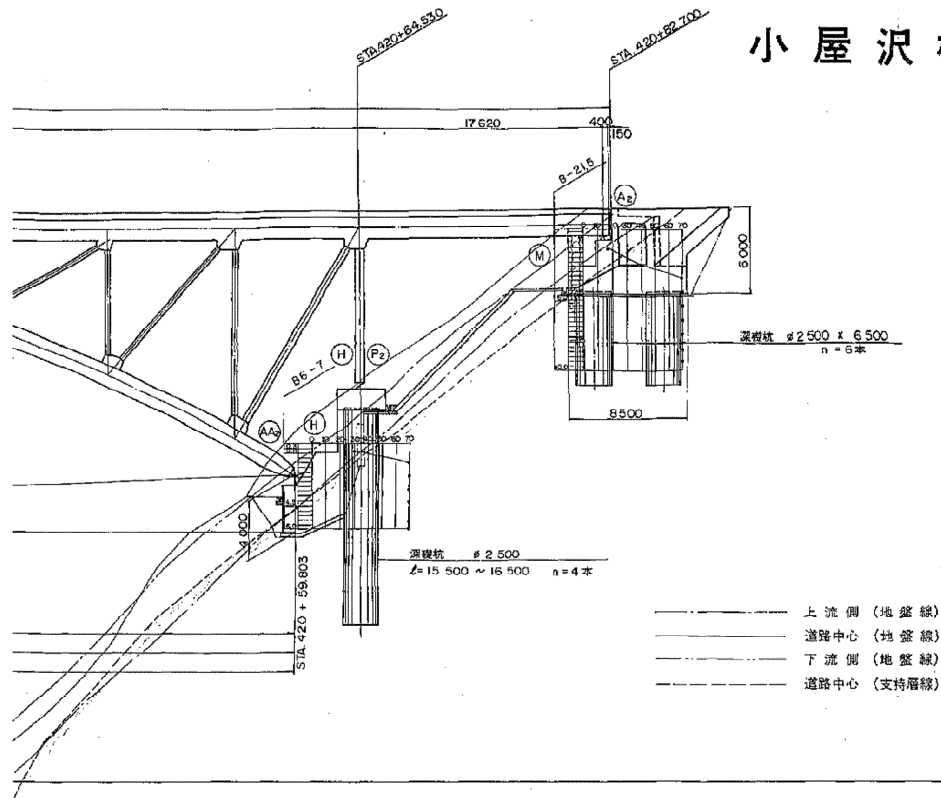
平面図 縮尺 1:200



長野自動車道	
五常橋床版取替工事	
図面の種類	西宮橋(上下線) 全体一般図(その1)(参考図)
縮尺	- 図面番号 530/532
設計会社名	東日本高速道路株式会社
施工会社名	-
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所

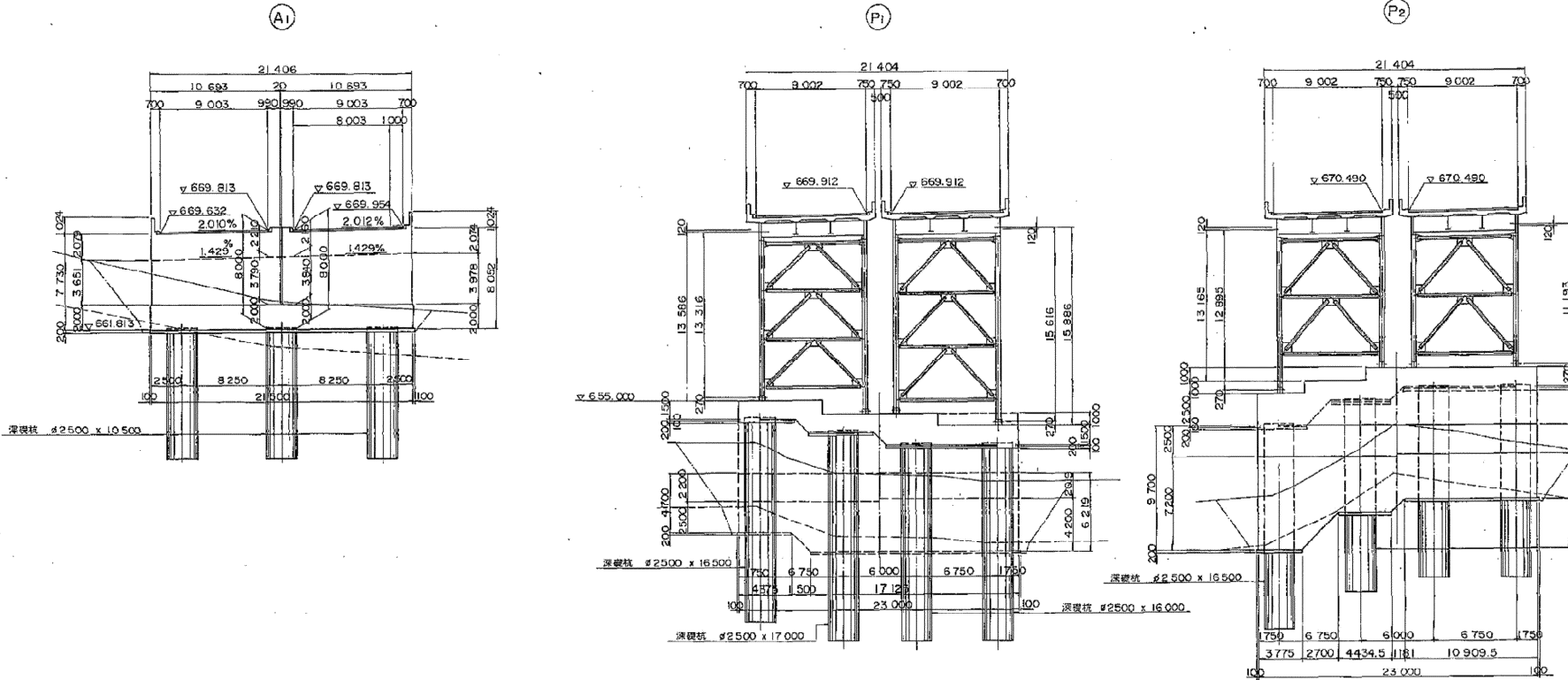
西宮橋(上下線) 全体一般図(その2) (参考図)

小屋沢橋一般図



設計条件	
橋長	163 M 500
道路区分	I 種 3 級 A 規格
荷重	TL-20, TT-43
型式	上路式鋼ローゼ桁
支間	19 M 314 + 115 M 470 + 17 M 624
有効巾員	9 M 000 斜角 $\frac{A}{L}$ 側 88°43'05" 右 $\frac{A}{L}$ 側 88°33'28" 左
横断勾配	2 %
縦断勾配	0.5 %
地震係数	設計水平震度(上部工) $K_{Hm} = 0.23$ 設計水平震度(下部工) $K_H = 0.18$
床版コンクリート	設計基準強度 $\sigma_{ck} = 240 \text{ kg/cm}^2$
床版鉄筋	材質 SD 35 許容応力度 $\sigma_{sa} = 1400 \text{ kg/cm}^2$
T部コンクリート	設計基準強度 $\sigma_{ck} = 240 \text{ kg/cm}^2$
適用示方書	設計要領第二巻、道路橋示方書、同解説
使用材質	鋼材 SS41, SM50Y 鉄筋 SD 35

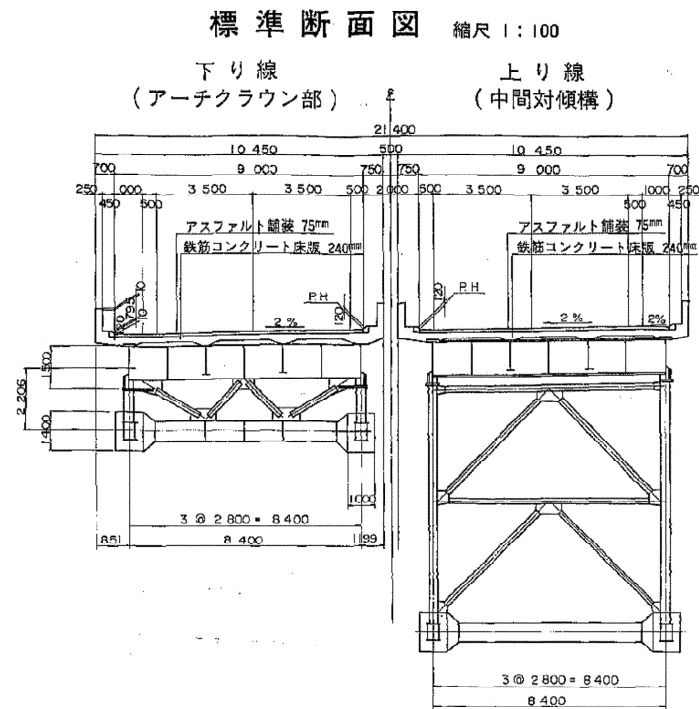
横断面図 縮尺 1:200



長野自動車道 五常橋床版取替工事	
図面の種類	西宮橋(上下線) 全体一般図(その2) (参考図)
縮尺	図面番号 531/532
設計会社名	東日本高速道路株式会社
施工会社名	-
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所

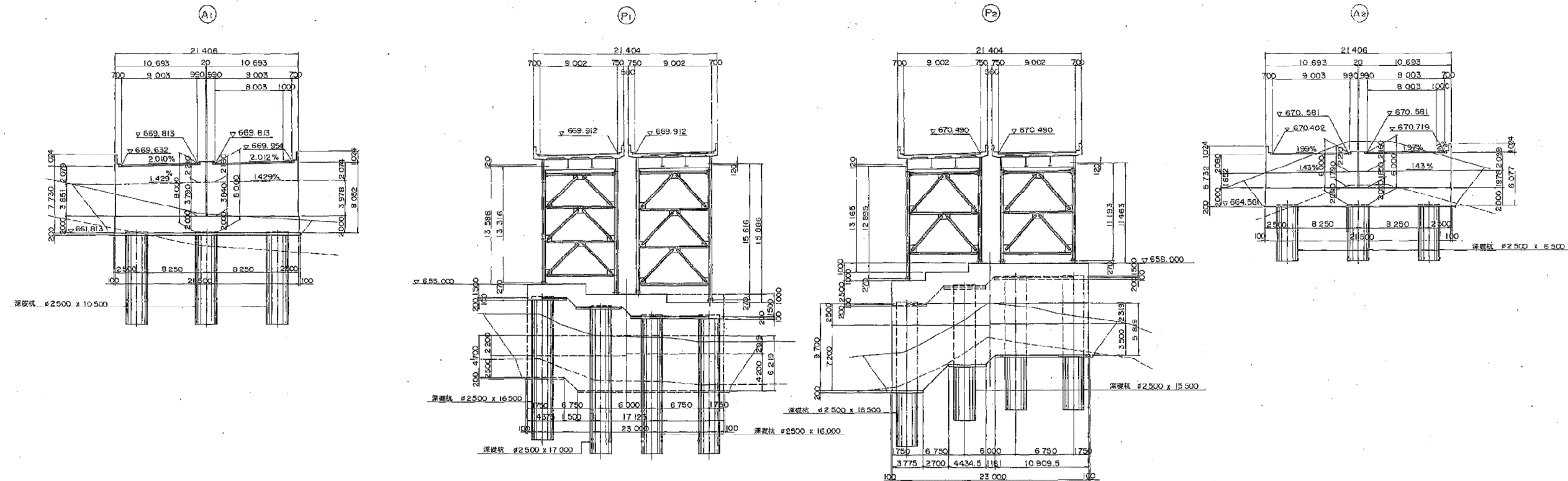
西宮橋(上下線) 全体一般図(その3) (参考図)

一般図



設計条件	
橋長	153 M 500
道路区分	1 種 3 級 A 規格
荷重	TL-20, TT-43
型式	上路式鋼ローゼ桁
支間	19 M 314 + 115 M 470 + 17 M 624
有効巾員	9 M 000 斜角 $\frac{A_1}{A_2}$ 88°43'00" 左
横断勾配	2.3%
縦断勾配	0.5%
地震係数	設計水平震度(上部工) $K_H = 0.23$ 設計水平震度(下部工) $K_H = 0.18$
床版コンクリート	設計基準強度 $\sigma_{ck} = 240 \text{ kg/cm}^2$
床版鉄筋	材質 SD 35 許容応力度 $\sigma_{sa} = 1400 \text{ kg/cm}^2$
下部工コンクリート	設計基準強度 $\sigma_{ck} = 240 \text{ kg/cm}^2$
適用示方書	設計要領第二集、道路橋示方書・同解説
使用材質	鋼材 SS41 SM50Y 鉄筋 SD 35

横断面図 縮尺 1:200



長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	西宮橋(上下線) 全体一般図(その3) (参考図)		
縮尺	-	図面番号	532/532
設計会社名	東日本高速道路株式会社		
施工会社名	-		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		